Ⅰ　国民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するために とるべき措置

1 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信

1-(1) 有形文化財の収集・保管、次代への継承

1-(1)-①　有形文化財の収集等

1-(1)-①-1　所蔵品一覧表

（単位：件） 令和7年3月31日現在

	国立博物館			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館			皇居三の丸尚蔵館		
	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文
合計	150,579	135	1,024	121,156	89	653	9,078	29	207	1,962	13	114	18,317	4	50	66	0	0
絵画	14,162	35	219	11,212	21	105	2,482	9	60	313	4	44	155	1	10	0	0	0
書跡	3,750	37	177	1,930	14	60	1,493	17	80	154	5	29	172	1	8	1	0	0
彫刻	1,726	1	50	1,116	0	24	364	0	3	161	1	16	85	0	7	0	0	0
建築	87	0	2	30	0	0	49	0	1	5	0	0	3	0	1	0	0	0
金工	17,627	3	63	16,450	1	17	702	2	33	173	0	11	261	0	2	41	0	0
刀剣	3,630	21	59	3,503	19	58	0	0	0	16	0	0	111	2	1	0	0	0
陶磁	4,607	0	22	2,977	0	13	1,398	0	3	81	0	0	129	0	6	22	0	0
漆工	4,813	6	32	3,976	4	20	547	0	3	110	2	5	178	0	4	2	0	0
染織	5,389	2	32	4,009	0	23	1,003	1	8	98	1	1	279	0	0	0	0	0
考古	30,772	5	80	28,653	5	55	706	0	11	750	0	8	663	0	6	0	0	0
民族資料	2,618	0	0	1,284	0	0	0	0	0	101	0	0	1,233	0	0	0	0	0
歴史資料	21,632	0	15	6,250	0	5	334	0	5	0	0	0	15,048	0	5	0	0	0
和書	17,560	0	2	17,560	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
写真資料	2,794	0	2	2,794	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東洋 絵画	780	4	31	780	4	31												
東洋 書跡	1,743	10	13	1,743	10	13												
東洋 彫刻	829	0	20	829	0	20												
東洋 金工	1,041	0	0	1,041	0	0												
東洋 陶磁	3,120	0	11	3,120	0	11												
東洋 漆工	529	0	4	529	0	4												
東洋 染織	632	0	1	632	0	1												
東洋 考古	5,998	0	2	5,998	0	2												
東洋 民族	3,595	0	0	3,595	0	0												
法隆寺献納宝物	326	11	185	326	11	185												
黒田記念館収蔵品	819	0	2	819	0	2												
準歴史資料(含和書)	0	0	0	0	0	0												

＊東京国立博物館は、列品管理規程による「東洋関係の列品」あり
　京都国立博物館・奈良国立博物館・九州国立博物館は、東洋の作品も「日本」に含む
＊列品管理規程改正により、新たに「写真資料」が追加され、東京国立博物館の列品「その他」は「写真資料」に変更した。
＊列品に編入されていない資料については、「準歴史資料(含和書)」の項目にしるし、列品化整理中の資料と分けて表示している。
＊東京国立博物館、京都国立博物館では、国宝・重要文化財の数は文化庁の指定件数に合わせている。
＊九州国立博物館の所蔵品件数のカウント方法が、4年度まで一部他館と異なっていたため、5年度資料から表記を改めた。

1-(1)-①-1（参考）
【奈良文化財研究所】

○保管及び所蔵文化財・資料概要（主なもの）

令和7年3月31日現在

保管及び所蔵文化財・資料名	数
［文化遺産部］	
国宝・重要文化財建造物保存図	約30,400枚
国宝・重要文化財建造物摺拓本	約26,000枚
国宝・重要文化財建造物写真乾板	約32,200枚
北浦定政関係資料（重要文化財）	約1,100点
棚田嘉十郎関係資料	26点
関野貞関係資料	54点
菅原大三郎関係資料	7箱
中村泰寄贈文書	一式
森藍資料	約4,500点
村岡正資料	約3,000点
小林剛関係資料	約38箱
牛川喜幸関係資料	2,927点
塚原家寄贈資料（歴史資料）	3箱
岡嶋家寄贈 大極殿標木建設等資料	1箱
溝辺家寄贈 大極殿標木	2本(4片)
川辺富子寄贈資料	一括
［都城発掘調査部（平城地区）］	
平城宮跡出土木簡（国宝）	3,184点
興福寺旧境内土壙（一乗院宸殿跡下層）出土品（重要文化財）	一括
平城宮・京出土土器・土製品	31,579箱
平城宮・京出土木製品・金属製品・石製品	36,826箱
平城宮・京出土瓦類	1,007,610箱
平城宮・京出土木簡	252,795点
塚原家寄贈資料(考古資料)	7箱
長屋王家木簡附平城京跡左京三条二坊出土木簡（重要文化財）	1,809点
［都城発掘調査部(飛鳥・藤原地区)］	
軒丸瓦・軒平瓦	約37,121点
丸瓦・平瓦　　土嚢袋	約167,867袋
丸瓦・平瓦　　整理箱	41,825箱
土器　　整理箱	17,111箱
土製品	15,165点
木器・木製品	34,387点
木簡	35,323点
建築部材	約3,000点
金属製品	20,045点
石器・石製品	15,011点
漏刻復原模型	1点
幢幡復原模型（台付き）	一式
飛鳥大仏頭部複製（模刻）	1点
藤ノ木古墳鞍復原模型	1点
富本銭枝銭復原模型	一式
碁盤復原模型	1点
鉄釜鋳造土坑復原模型	1点
［飛鳥資料館］	
高松塚古墳出土品(海獣葡萄鏡 銀製太刀金具 棺金具 ガラス小玉漆塗り木棺)(重要文化財)	一式
須弥山石	1点
石人像	1点
飛鳥寺塔跡出土舎利荘厳具	一式
飛鳥寺出土瓦類	一式
山田寺跡出土品（重要文化財）	一括
和田廃寺鴟尾（都城発掘調査部（飛鳥・藤原地区所属）	1点
川原寺出土水波紋土磚	2点
岡出土車石	8点
飛鳥各地出土瓦類	一式
川原寺裏山出土三尊磚仏	2点
飛鳥川原宮出土唐居敷	1点
高松塚古墳壁画模写（前田青邨、平山郁夫等）	3面
高松塚古墳人物復元衣装	一式
石上神宮七枝刀レプリカ	1点
水落遺跡遺構1/20模型	1点
猿石模刻	一式
亀石模刻	1点
須弥山石復元模刻	1点
石人像復元模刻	1点
出水酒船石模刻	2点
阿武山古墳出土　玉枕　冠帽　復元模型	3点
川原寺伽藍1/50模型	1点
山田寺金堂復原	1点
飛鳥京復原模型	1点
山田寺発掘遺構1/100模型	1点
石舞台古墳1/20模型	1点
飛鳥寺発掘遺構1/100模型	1点
石のカラト古墳1/20模型	1点
野中寺銅造弥勒菩薩半伽像レプリカ	1点
銅造摩耶夫人及天人像レプリカ	4点
威奈大村骨蔵器レプリカ	1点
長谷寺法華説相図レプリカ	1点
諸陵周垣成就記並諸陵図譜	1点
鼓銅図録	1点
高松塚古墳木棺模造	1点
八釣マキト５号古墳石室	1点
十二支拓本（表装済み・収納箱あり）	一式
キトラ古墳模型	1点
山東省済南市解放橋北唐墓石棺　青龍・白虎・小口面拓本	各1点
近藤千尋関連資料	一式

保管及び所蔵文化財・資料名	数
武人復原	1点
山田寺灯籠復原	1点
具注歴木簡レプリカ	1点
天皇木簡レプリカ	1点
壬申の乱ジオラマ	一式
牽牛子塚古墳ミニジオラマ	1点
キトラ古墳出土品金銅製鐶座金具レプリカ	2点
キトラ古墳出土品銀鐶付六花形飾金具レプリカ	2点
キトラ古墳出土品大刀・銀製鞘尻金具レプリカ	2点
キトラ古墳出土品大刀・銀装把レプリカ	1点
キトラ古墳出土品鉄地銀張金象嵌帯執金具レプリカ	3点
キトラ古墳出土品琥珀玉レプリカ	4点
キトラ古墳出土品金銅製鐶座金具復元品	10点
キトラ古墳出土品銅釘復元品	一括
キトラ古墳出土品銀鐶付六花形飾金具復元品	10点
キトラ古墳出土品円環棺金具復元品	10点
飛鳥池遺跡出土施釉陶器復元品	3点
鍛冶工房風景想定復元図	1点
銅造観音菩薩立像（夢違観音）複製品	1体
隅田八幡宮人物画像鏡複製品	1点
山田寺仏頭複製品	1点
金銅小野毛人墓誌複製品	1点
筑前国嶋郡川辺里大宝２年戸籍残簡複製品	2点
人頭石（光永寺）複製品	1点
鬱淵寺銅造観音菩薩立像複製品	1点
重要文化財囲勝寺銅壺鋳造模型（下道圀依母婦人骨蔵器）	1点
四十八体仏如来坐像複製	1点
丙寅年銘菩薩半跏像複製品	1具
於美阿志神社石塔婆のうち供養具	一括
牽牛子塚古墳出土品	一括
マルコ山古墳出土品	一式
高松塚古墳壁画漆喰印刷複製	一式
飛鳥池遺跡出土施釉陶器復元品	3点一式
飛鳥池遺跡出土木簡複製品	13点
暗文土師器復原制作品（脇田宗孝氏制作）	5点
一町長法寺押出仏複製品	1点
飛鳥寺塔跡出土　蛇行状鉄器複製品	1点
飛鳥寺塔跡出土　馬鈴複製品	1点
扶桑略記　巻二十一～二十八	7冊
高松塚古墳石室　原寸模型	1台
高松塚古墳石室　1/20模型	1台
藤原宮跡木簡複製品	4点一括
飛鳥池遺跡木簡複製品	5点一括
二面石（橘寺　模刻）	1点
呉文字ヘラ書き丸瓦	1点
特別史跡山田寺跡出土「銅板五尊像」　原寸鋳造	1点
特別史跡山田寺跡出土「銅板五尊像」　拡大樹脂製（４倍）	1点
国宝「高松塚古墳壁画」コロタイプ印刷複製品	一式
［埋蔵文化センター］	
埼玉県真福寺貝塚資料	一式
岡山県福田貝塚資料	一式
埼玉県上福岡貝塚資料	一式
神奈川県田戸遺跡資料	一式
神奈川県子母口貝塚	一式
神奈川県大口坂貝塚資料	一式
能登縄文資料（15遺跡）	一式
千葉県曽谷貝塚資料	一式
長野県石小屋遺跡資料	一式
山形県蜂沢洞窟資料	一式
東京都小豆沢貝塚資料	一式
茨城県広畑貝塚資料	一式
中国・朝鮮瓦磚資料	一式
岡山地方陶棺資料	一式
下総国分寺・尼寺資料	一式
関東地方加曽利B式資料	一式
岩手県足沢遺跡資料	一式
茨城県浮島貝塚資料	一式
千葉県幸田貝塚資料	一式
滋賀県安土遺跡資料	一式
岡山県黒土遺跡資料	一式
神奈川県保土ヶ谷貝塚資料	一式
千葉県姥山貝塚資料	一式
宮城県川下り・響き資料	一式
大木囲貝塚	一式
東貝塚	一式
室浜貝塚	一式
福浦島貝塚	一式
里浜貝塚	一式
東北縄文晩期末資料	一式
東北各地発見縄文資料	一式
北海道資料	一式
発見地不詳縄文資料	一式
発見地不詳須恵器資料	一式
発見地不詳石器・石斧資料	一式
愛知県西滋賀貝塚資料	一式
愛知県吉胡貝塚資料	一式
茨城県前浦遺跡資料	一式
関東地方埴輪資料	一式
静岡県登呂遺跡資料	一式
発見地不詳須恵器資料	一式
発見地不詳石器・石斧資料	一式
愛知県西滋賀貝塚資料	一式
茨城県前浦遺跡資料	一式
関東地方埴輪資料	一式
現生動物標本	一式
年輪年代学用木材標本	一式

収蔵品件数合計（過去5か年）

（単位：件）　令和7年3月31日現在

		令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文
収蔵品合計	国立博物館 計	162,277 (145,623)	362	2,409	162,603 (145,950)	365	2,417	163,753 (147,100)	365	2,424	170,600	371	2,427	171,146	373	2,477
	東京国立博物館	123,228	147	948	123,368	147	952	124,124	147	953	124,356	144	953	124,459	145	960
	京都国立博物館	14,796	122	878	14,940	124	879	15,217	123	882	15,656	124	880	15,949	125	890
	奈良国立博物館	3,958	66	442	3,927	66	442	3,925	67	444	3,931	67	444	3,935	67	442
	九州国立博物館	20,295 (3,642)	27	141	20,368 (3,715)	28	144	20,487 (3,834)	28	145	20,486	28	147	20,562	27	178
	皇居三の丸尚蔵館	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6,171	8	3	6,241	9	7
所蔵品	国立博物館 計	148,086 (131,433)	135	1,006	148,424 (131,771)	135	1,006	149,519 (132,866)	135	1,009	150,277	135	1,012	150,579	135	1,024
	東京国立博物館	119,942	89	648	120,073	89	648	120,812	89	649	121,021	89	650	121,156	89	653
	京都国立博物館	8,150	29	200	8,279	29	200	8,526	29	200	9,011	29	200	9,078	29	207
	奈良国立博物館	1,929	13	114	1,930	13	114	1,947	13	114	1,953	13	114	1,962	13	114
	九州国立博物館	18,065 (1,412)	4	44	18,142 (1,489)	4	44	18,234 (1,581)	4	46	18,292	4	48	18,317	4	50
	皇居三の丸尚蔵館	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	0	0	66	0	0
寄託品	国立博物館 計	12,409	196	1,201	12,427	198	1,203	12,506	198	1,203	12,428	197	1,201	12,632	197	1,196
	東京国立博物館	2,651	54	262	2,651	54	262	2,668	54	260	2,675	52	260	2,635	52	258
	京都国立博物館	6,547	88	618	6,562	90	619	6,587	89	619	6,541	90	617	6,767	91	620
	奈良国立博物館	1,988	53	309	1,956	53	309	1,937	54	311	1,937	54	311	1,932	54	309
	九州国立博物館	1,223	1	12	1,258	1	13	1,314	1	13	1,275	1	13	1,298	0	9
	皇居三の丸尚蔵館	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0	0	0	0	0	0
長期借用品	国立博物館 計	1,782	31	202	1,752	32	208	1,728	32	212	7,895	39	214	7,935	41	257
	東京国立博物館	635	4	38	644	4	42	644	4	44	660	3	43	668	4	49
	京都国立博物館	99	5	60	99	5	60	104	5	63	104	5	63	104	5	63
	奈良国立博物館	41	0	19	41	0	19	41	0	19	41	0	19	41	0	19
	九州国立博物館	1,007	22	85	968	23	87	939	23	86	919	23	86	947	23	119
	皇居三の丸尚蔵館	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6,171	8	3	6,175	9	7

＊長期借用品件数には機構施設間での借用品を含まない。（各所蔵施設の所蔵品件数として取り扱う。）
＊九州国立博物館の所蔵品件数のカウント方法が、4年度まで一部他館と異なっていたため、5年度資料から表記を改めた。九州国立博物館所蔵品件数の欄の上段には修正後の数値を、下段の丸括弧内には修正前の数値を記載している。
＊九州国立博物館寄託品件数について、開館直後から生じていた件数の誤計算があったため、5年度において修正し、2年度から4年度の欄に修正後の数値を記載している。
＊5年度より長期借用品件数を追加した。（機構施設間での借用品については従来どおり所蔵施設の所蔵品件数として取り扱う。）

1-(1)-①-3 令和６年度新収品一覧表

（単位：件）　令和7年3月31日現在

	国立博物館			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館			皇居三の丸尚蔵館		
	購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入
合計	302			135			67			9			25			66		
計	42	258	2	15	118	2	7	60	0	8	1	0	12	13	0	0	66	0
絵画	11	15	0	2	3	0	4	9	0	3	1	0	2	2	0	0	0	0
書跡	1	4	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
彫刻	2	2	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
建築	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金工	2	57	0	0	0	0	0	16	0	2	0	0	0	0	0	0	41	0
刀剣	1	44	1	0	34	1			0	0	0	0	1	10	0	0	0	0
陶磁	6	49	0	3	4	0	2	23	0	0	0	0	1	0	0	0	22	0
漆工	1	4	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
染織	7	19	0	4	11	0	0	8	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
考古	6	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0
民族資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歴史資料	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
和書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
写真資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東洋 絵画	1	32	0	1	32	0												
東洋 書跡	0	6	0	0	6	0												
東洋 彫刻	2	3	0	2	3	0												
東洋 金工	0	0	0	0	0	0												
東洋 陶磁	0	1	0	0	1	0												
東洋 漆工	0	0	0	0	0	0												
東洋 染織	1	13	0	1	13	0												
東洋 考古	0	8	0	0	8	0												
東洋 民族	0	0	0	0	0	0												
法隆寺献納宝物	0	0	0	0	0	0												
黒田記念館収蔵品	0	0	0	0	0	0												

＊東京国立博物館は、列品管理規程による「東洋関係の列品」あり
＊列品管理規程改正により、新たに「写真資料」が追加され、東京国立博物館の列品「その他」は「写真資料」に変更した。

付表・文化財収集件数の推移

5年間の新収品一覧表

（単位：件）

	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入	購入	寄贈	編入
合計	242			338			1,097			787			302		
小計	69	155	18	41	254	43	56	436	605	52	674	61	42	258	2
絵画	7	8	0	6	104	1	5	122	0	7	113	0	11	15	0
書跡	3	59	0	2	11	0	1	111	0	1	21	0	1	4	0
彫刻	1	18	0	1	3	0	3	2	0	2	212	1	2	2	0
建築	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0
金工	6	1	0	3	9	0	3	4	19	1	79	5	2	57	0
刀剣	2	9	0	0	0	2	0	31	1	2	0	0	1	44	1
陶磁	4	2	0	1	13	4	2	1	2	8	3	0	6	49	0
漆工	5	1	0	1	6	5	6	6	6	2	3	5	1	4	0
染織	7	5	0	8	2	22	4	127	6	2	85	20	7	19	0
考古	30	31	0	11	41	1	29	12	0	3	16	24	6	1	1
民族資料	1	0	0	0	4	0	0	0	19	0	50	1	0	0	0
歴史資料	3	1	0	2	0	0	3	2	2	2	38	0	1	0	0
和書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
写真資料	0	0	16	0	0	0	0	0	511	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東洋 絵画	0	0	0	5	4	0	0	1	0	11	17	0	1	32	0
東洋 書跡	0	15	0	0	0	0	0	7	0	0	1	0	0	6	0
東洋 彫刻	0	1	0	1	0	0	0	2	0	8	0	0	2	3	0
東洋 金工	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東洋 陶磁	0	0	0	0	30	2	0	2	0	0	28	0	0	1	0
東洋 漆工	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東洋 染織	0	1	0	0	0	2	0	2	1	3	0	0	1	13	0
東洋 考古	0	3	0	0	27	0	0	1	1	0	7	0	0	8	0
東洋 民族	0	0	0	0	0	4	0	3	28	0	0	5	0	0	0
法隆寺献納宝物	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
黒田記念館収蔵品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

1-(1)-①-4 令和6年度新収品一覧
【東京国立博物館】(計135件)

（１）購入（15件）

＜絵画＞（2件）

1　名称	牡丹花肖柏像（ぼたんかしょうはくぞう）	品　　質	絹本着色
作 者 等	尾形光琳（1658～1716）筆	員　　数	1幅
時　　代	江戸時代・17世紀	寸 法 等	98.8cm×44.3cm
作品概要	掛幅装。連歌師である肖柏（1443～1527）の姿と、永正7年（1510）に後柏原天皇（ごかしわばらてんのう）が催した月見の宴で肖柏が詠んだ句「空にをきて見ん世や幾世秋の月」が記されている。落款は光琳のみで法橋がないため、元禄14年（1701）2月（44歳）の法橋叙任以前の作とみえる。また箱書の記載からすると、久我通誠が大納言だった天和4年（1684）～宝永6年（1709）と、竹内惟庸が従三位だった天和3年（1683）～元禄14年（1701）の重なる時期の10月10日の制作と考えられる。法橋前のため元禄13年（1700）以前。光琳初期の数少ない作例として貴重である。		

2　名称	松図屏風（まつずびょうぶ）	品　　質	紙本着色
作 者 等	対青軒印	員　　数	8曲1隻
時　　代	江戸時代・17世紀	寸 法 等	137.7cm×345.4cm
作品概要	屏風装。引手跡があることから、元は襖であったと考えられる。一切の背景をなくし、細かい金の切箔を画面一面にしきつめて、大小の松だけをリズミカルに配置する。具象的な松を描きながら、色と形と面で響きあうことで、宗達作品の特徴ともいえる装飾的リズムを生み出している。「対青軒」印は宗達が使用した印章で、「源氏物語関屋澪標図屏風」（静嘉堂文庫美術館蔵）、「関屋図屏風」（当館蔵）、「牛図」（頂妙寺）等に使用例がある。		

＜彫刻＞（1件）

3　名称	地蔵菩薩立像（じぞうぼさつりゅうぞう）	品　　質	木造、彩色・截金、玉眼
作 者 等		員　　数	1軀
時　　代	鎌倉時代・13世紀	寸 法 等	本体 像高49.8cm ； 台座 高20.3cm
作品概要	円頂。髪際をあらわす。白毫相、三道相をあらわす。内衣、覆肩衣、袈裟をまとい、裙を着ける。内衣は左胸から右脇腹にかけてあらわす。覆肩衣は背面から右肩にかかり右腕を覆って内外に垂らす。袈裟は左肩を覆って右肩に少しかかって正面をわたり、左胸で背面から紐および環で吊り、衣端は左手外側に垂らす。裙は腹部に上端をのぞかせて腰紐で結ぶ。胸飾を付ける。左腕は肘を曲げて掌を上に向け宝珠を持ち、右腕は垂下して錫杖を執る。左足をやや前に踏み出して立つ。 頭体幹部は袈裟の後襟から裙裾にかけて針葉樹二材を前後に矧ぎ寄せ、前面材のみ内刳りを施す。前面材は両足枘に至る。三道下で割首する。面部を割矧いで内刳りを施し、玉眼を嵌入する。両肩から先、両手首先、両足先半ばに各別材を矧ぐ。別材製の胸飾りを釘打ちして固定する。 本体の表面には黒漆塗りに白土を重ねて下地とし、全身に彩色を施す。着衣部のうち、内衣、覆肩衣、袈裟、裙には截金文様を施す。 宝珠は木製。錫杖の頭は銅製鍍金、柄は木製。 台座は木製で、蓮台、敷茄子、華盤、受座、反花、上框、下框の七重とする。蓮台には彩色および截金を施し、他は漆箔仕上げとする。		

＜陶磁＞（3件）

4　名称	色絵山水図大皿（いろえさんすいずおおざら）	品　　質	磁製
作 者 等	高柳快堂（1824～1909）画　香蘭社	員　　数	1枚
時　　代	明治11年（1878）	寸 法 等	高10.5cm 口径63.0cm 高台径35.0cm
作品概要	磁胎。型成形。径が６０センチを超す大皿。染付で下絵付けを施し、透明釉を掛けて高火度で焼成したのち、上絵付けを施し低火度で再度焼成する。見込み部の上絵付けでは、一度クリーム色の絵具で全体を塗りつくしたのち、黒色の絵具で濃淡をつけ、水墨画風の色調で山水と建物、人物が描きこまれる。一部、人物や建物に薄い色絵具で彩色がされる。口縁は、青、赤、金で装飾的に縁取られる。見込み上部の漢詩文から、作画は明治11年（1878）（戊寅）の高柳快堂によるもので、底面の銘から製作は香蘭社によるものであることがわかる。		

5　名称	色絵山水図大瓶（いろえさんすいずたいへい）	品　　質	磁製
作 者 等	高柳快堂（1824～1909）画　香蘭社	員　　数	1口
時　　代	明治14年（1881）	寸 法 等	高78.0cm 口径24.0cm 高台径21.0cm
作品概要	磁胎。ろくろ成形。透明釉を掛けて高火度で焼成したのち、上絵付けを施し低火度で再度焼成する。側面は灰色がかった白色の絵具で全体を塗りつくしたのち、黒色の絵具で濃淡をつけ、水墨画風の色調で雪景山水と建物、人物が描きこまれる。一部、人物や建物に薄い色絵具で彩色がされる。口縁と裾部は、青、緑、金で装飾される。肩部の銘文から作画は明治14年（1881）（辛巳）の高柳快堂によるもので、底面の銘から製作は香蘭社によるものであることがわかる。		

6　名称	色絵山水図ティーセット （いろえさんすいずてぃーせっと）	品　　質	磁製
作 者 等	高柳快堂（1824～1909）画　香蘭社	員　　数	1具
時　　代	明治14年（1881）	寸 法 等	盆 縦13.0cm 横21.0cm ； ポット 総高13.5cm ； 碗 高5cm ； 皿 縦8.7cm 横10.6cm
作品概要	磁胎。盆、ポット、砂糖壺、ミルクピッチャー、2組の碗皿からなる一式。 成形して染付で下絵付けを施し透明釉を掛けて高火度で焼成したのち、上絵付けを施し低火度で再度焼成する。いずれの器にも、黒色の絵具で濃淡をつけ、水墨画風の色調で雪景山水図が描きこまれる。ポットと砂糖壺には獅子の摘みが付く。一部、人物や建物に薄い色絵具で彩色がされる。主に口縁の染付部には金彩で模様が加筆される。盆の銘文から明治14年（1881）（辛巳）の高柳快堂作画によるもので、底面の銘から製作は香蘭社によるものであることがわかる。		

＜染織＞（4件）

7　名称	淡紅地経縞芭蕉衣装 （うすべにじたてじまばしょういしょう）	品　　質	芭蕉、絹
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	第二尚氏時代・19世紀	寸 法 等	身丈124.0cm 裄57.5cm
作品概要	芭蕉衣とは、糸芭蕉の幹から繊維をとり、糸を績み、平織にした琉球独特の織物でできた衣装である。この芭蕉衣は、芭蕉糸を先染にして織り出した煮綛芭蕉布の衣装である。経糸にやや太めの芭蕉糸、緯糸には極めて細い芭蕉糸を用い、経糸の組み合わせが異なる2種類の経縞を織り出している。経縞に用いられる糸は、紺の縞は芭蕉糸であるが、その他の白、淡黄、浅葱の縞は絹糸を染めて織り出したものである。それを筒袖にし、脇に三角形の襠をつけて仕立てた琉球仕立となっている。淡い紅地に経縞を織り出した芭蕉布の衣装は、他にJ.フロントリテイリング史料館、九州国立博物館、沖縄県立博物館・美術館などに所蔵されるが、ことに那覇市歴史博物館が所蔵する同種の芭蕉衣は、琉球王家である尚氏が用いた衣装として知られる。本品も、琉球王朝の貴族女性が用いた衣装と考えられる。		

8　名称	うちくい　紺麻地菖蒲模様　一つ丁子丸紋付 （うちくい　こんあさじしょうぶもよう　ひとつちょうじまるもんつき）	品　　質	麻、紅型
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	第二尚氏時代・19世紀	寸 法 等	縦98.5cm 横102.0cm
作品概要	やや太めの麻糸を平織にし、縦に2枚接ぎ合わせて風呂敷のような単仕立の包み布にする。筒で太い糊の線による菖蒲模様を描き、筆や刷毛を用いて臙脂、藍、黄、緑、紫などさまざまな色で両面染にする、琉球の伝統的な技法を用いる。中央には、一つ丁子丸紋が白上げに染められる。このような包み布は琉球では「うちくい」と称され、日常的に用いられた。		

9　名称	うちくい　紺麻地菖蒲模様 （うちくい　こんあさじしょうぶもよう）	品　　質	麻、紅型
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	第二尚氏時代・19世紀	寸 法 等	縦102.5cm 横103.0cm
作品概要	やや太めの麻糸を平織にし、横に3枚接ぎ合わせて風呂敷のような単仕立の包み布にする。筒で太い糊の線による菖蒲模様を円形に描き、筆や刷毛を用いて、隈取といった2色の暈しも用いながら、だいだい色（弁柄）、藍、臙脂、緑、紫などさまざまな色で両面染にする琉球の伝統的な技法を用いる。このような包み布は琉球では「うちくい」と称され、日常的に用いられた。		

10　名称	うちくい　紺麻地松竹梅模様　丸米字紋付 （うちくい　こんあさじしょうちくばいもよう　まるにこめじもんつき）	品　　質	麻、紅型
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	第二尚氏時代・19世紀	寸 法 等	縦96.5cm 横102.5cm
作品概要	やや太めの麻糸を平織にし、横に3枚接ぎ合わせて風呂敷のような単仕立の包み布にする。筒による太い糊の線を用いて、大きな松樹、梅枝、竹輪などの輪郭線をのびやかに描き、筆や刷毛を用いて、隈取といった2色の暈しも用いながら、だいだい色（弁柄）、藍、臙脂、黄、紫などさまざまな色で両面染にする琉球の伝統的な技法を用いる。中央には、丸に米字紋を白上げに染める。このような包み布は琉球では「うちくい」と称され、日常的に用いられた。		

＜考古＞（1件）

11　名称	[重要美術品]外縁付鈕式銅鐸 （がいえんつきちゅうしきどうたく）	品　　質	青銅製
作 者 等	伝徳島県美馬市脇町出土	員　　数	1個
時　　代	弥生時代（中期）・前2～前1世紀	寸 法 等	総高31.7cm 最大幅19.2cm 重量1,711g
作品概要	銅鐸はベル状の青銅祭器で、内部に棒状の舌を垂下し揺り動かすことで鳴らしたと考えられている。楕円筒形で中空である身の上部に、半環状の吊り手である鈕がつく。銅鐸の変遷は文様帯の拡張と鈕の機能的退化を参考に推定されており、本例は、鈕がやや薄手に退化し、鈕の外縁と身の側方に一連の文様帯を付加するようになる外縁付鈕式の銅鐸である。身や鈕は鋳型陰刻に由来する幾何学文様で飾られ、身を斜格子文帯で四区に区画する文様は四区袈裟襷文と呼ばれる。内区に連続渦文を配する特徴も珍しいものである。		

＜東洋絵画＞（1件）

12　名称	観無量寿経変相断片 （かんむりょうじゅきょうへんそうだんぺん）	品　　質	絹本彩色
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	唐時代・7～10世紀	寸 法 等	高20.5cm 幅11.6cm
作品概要	本作品は観無量寿経変相の一部分で、韋提希夫人が宝池を観想する宝池段、楼閣を観想する宝楼閣段の一部であったと考えられる。畺良耶舎訳『観無量寿経』の構成は、本経が説かれることになった経緯（未生怨）、観想するための13種類の方法（前十三観）、往生するための9種類の方法（九品往生）からなる。観無量寿経変相は『観無量寿経』に基づき、極楽浄土の景観、本経が説かれることになった経緯、観想するための13種類の方法、往生するための9種類の方法をそれぞれ未生怨図、前十三観図、九品往生図として表したものである。この図像は中国で成立し、中国の敦煌や日本にも伝播し、それらの地域で独自に展開したされる。		

＜東洋彫刻＞（2件）

13　名称	如来像頭部（にょらいぞうとうぶ）	品　　質	塑造彩色
作 者 等		員　　数	1個
時　　代	唐時代・8～9世紀	寸 法 等	高24cm 幅22cm 奥行15cm
作品概要	如来像の背面は製作されておらず、土も樹脂で固められ、石膏で固定されている。おそらく採集当初、この如来像頭部は仏龕内壁中央に貼りつけられていたと考えられる。 大正元年（1912）当時、如来像頭部には肉髻が残っていたが、昭和38年（1963）の「シルクロード美術」の時点では肉髻が失われており、今日に至っている。顔面は白く塗られていたが、両眉、両眼の瞳、口鬚、顎鬚を墨で、唇を朱で表す。左眼の下瞼に墨が垂れている。		

14　名称	鬼面（きめん）	品　　質	塑造彩色
作 者 等		員　　数	1個
時　　代	8世紀頃	寸 法 等	高12.3cm 幅11cm 奥行2.1cm
作品概要	顔は目を見開き、牙をむく。頭髪の右上に角のようなものが認められる。頭髪や眉、両眼などを墨で、唇を朱でそれぞれ表す。		

＜東洋染織＞（1件）

15　名称	藍地人物文様更紗（あいじじんぶつもんようさらさ）	品　　質	平織（木綿）、木版蝋防染・媒染
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	14世紀後半	寸 法 等	長さ514.7cm 幅96.5cm
作品概要	白の木綿地に、木版を駆使し染め上げた更紗で5mの完形を保つ。両端には鋸歯文や円文等の幾何学文を配し、中央には3人1組の女性像と「ハムサ」と呼ばれる2羽の鷲鳥、天蓋を繰り返し染めている。中央部分はおそらく縦49cm、横41.5cmの木版を用い、茜の媒染と、藍の蝋防染により染色したものと考えられる。本作は放射性炭素年代測定により14世紀後半から15世紀初頭の製作と推定されており、やや横を向き、鋭くとがった鼻、輪郭から突き出た眼をもつ人物像は同時期に描かれた北西インド絵画の様式に類似する。		

（２）寄贈（118件）

＜絵画＞(3件)

1　名称	随身庭騎絵巻（模本）（ずいしんていきえまき（もほん））	品　　質	紙本墨画淡彩
作 者 等	住吉広行（1755～1811）模	員　　数	1巻
時　　代	江戸時代・天明8年（1788）	寸 法 等	縦25.7cm　横211.9cm
作品概要	巻子装（ただし、未表装）。現在、大倉集古館に所蔵される国宝「随身庭騎絵巻」の模本。原本は鎌倉時代前期の制作で、人物の容貌をスケッチ風に描く似絵の代表作例として著名である。本作は原本の様子を比較的忠実に写している。		

2　名称	浮世絵版画（うきよえはんが）	品　　質	
作 者 等	歌川広重（1797～1858）、二代歌川広重（1826～69）、渓斎英泉（1791～1848）、歌川国貞(三代豊国)（1786～1864）、東洲勝月（生没年不詳）筆	員　　数	1025点
時　　代	江戸時代・19世紀	寸 法 等	
作品概要	歌川広重、二代歌川広重の風景画、花鳥画を中心とするコレクション。主な作品は、「東海道五拾三次之内」（保永堂版）63枚、「木曽海道六拾九次之内」75枚、「六十余州名所図会」70枚、「名所江戸百景」121枚をはじめとする風景画、「魚づくし」などの花鳥画や美人画、下絵。		

3　名称	源氏物語図屏風（げんじものがたりずびょうぶ）	品　　質	紙本着色
作 者 等	伝土佐光孚（1780～1852）筆	員　　数	6曲1双
時　　代	江戸時代・19世紀	寸 法 等	各縦155.7cm　横360.8cm
作品概要	屏風装。『源氏物語』の主要場面を描く屏風。対向する2扇にまたがって1つの場面を配置し、上下に3段（1隻に9場面）、全体で18の場面を描く。場面は『源氏物語』の場面の順序に配置されておらず、両隻の左下に同じく落款印章があり、右左隻の配置を判断するのが難しい。ただ、おおむね四季に振り分けて描かれているようで、春夏を中心とする隻を右隻、秋冬を中心とする隻を左隻とした。		

＜彫刻＞(1件)

4　名称	蓮弁（れんべん）	品　　質	木造、彩色
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	平安～鎌倉時代・12～13世紀	寸 法 等	長19cm 幅13cm 厚さ4.3cm
作品概要	木造、両面とも彩色仕上げ。中ほど3か所に木釘が残存し、周辺7か所に小孔を穿つ。		

＜刀剣＞(34件)

5　名称	刀（かたな）	品　　質	鍛鉄製
作 者 等	片山一文字	員　　数	1口
時　　代	鎌倉時代・13～14世紀	寸 法 等	刃長62.7cm　反り1.9cm
作品概要	形状　鎬造、庵棟。身幅やや細く、腰反り高く、中鋒。 地鉄　よくつんだ精美な板目で、地沸つき、乱映り立つ。 刃文　丁子に互の目を交え、所々逆がかり、物打辺は小模様となる。匂口深く、小沸づいて冴える。 帽子　直ぐに小丸に返る。 彫物　表裏に棒樋を掻き通す。 茎　　大磨上。先は切、鑢目は切、目釘穴は３個のうち２個埋める。無銘。		

6　名称	刀（かたな）	品　　質	鍛鉄製
作 者 等	肥前吉家	員　　数	1口
時　　代	江戸時代・寛永7年(1630)	寸 法 等	刃長69.7cm　反り1.6cm
作品概要	形状　鎬造、庵棟。身幅広く、反り浅く、中鋒やや延びる。 地鉄　よくつんだ精美な小板目で、地沸厚くつき冴える。 刃文　丁子に互の目を交え、足、葉よく入り、匂口深く小沸づき、砂流しかかる。 帽子　浅く湾れて小丸に返る。 茎　　生ぶ。先は浅い栗尻、鑢目は勝手下り、目釘穴は１個。銘文は指裏に作者名、指表に製作年紀を細鏨で切る。		

7　名称	刀（かたな）	品　　質	鍛鉄製
作 者 等	水心子正秀	員　　数	1口
時　　代	江戸時代・文化5年(1808)	寸 法 等	刃長73.3cm　反り2.0cm
作品概要	形状　鎬造、庵棟。身幅やや広く、腰反りつき、中鋒。 地鉄　よくつんだ小板目で無地風となり、地沸つき冴える。 刃文　丁子乱で所々逆がかり、足よく入る。 帽子　乱れ込んで浅く返る。 彫物　指表は薙刀樋に添樋、倶利伽羅の櫃内彫。指裏は棒樋に添樋、三鈷柄剣。 茎　　生ぶ。丸棟で先は刃上り栗尻、鑢目は化粧筋違い、目釘穴は１個。銘文は指表に作者名、指裏に製作年紀と注文者名を切る。また、指表の茎尻に刻印を打つ。		

8　名称	刀（かたな）	品　　質	鍛鉄製
作 者 等	大慶直胤	員　　数	1口
時　　代	江戸時代・19世紀	寸 法 等	刃長75.0cm　反り2.0cm
作品概要	形状　鎬造、庵棟。身幅やや広く、反り高く、中鋒延びる。 地鉄　板目が流れて柾がかり、地沸つく。 刃文　浅く湾れた互の目で、腰元は直刃調となる。全体に砂流し、金筋しきりにかかり、沸づいて冴える。 帽子　掃きかけて丸に返る。 彫物　指表は梵字重ね彫、玉追龍。指裏は梵字に玉追龍。 茎　　生ぶ。丸棟で先は刃上り栗尻、鑢目は化粧大筋違。目釘穴は２個、うち１個は忍穴。銘文は指表に作者名と梵字、指裏に所持者名と神号、梵字を切る。		

9　名称	脇指（わきざし）	品　　質	鍛鉄製
作 者 等	大慶直胤	員　　数	1口
時　　代	江戸時代・19世紀	寸 法 等	刃長44.8cm　反り0.9cm
作品概要	形状　鵜の首造、庵棟。反り浅くつく。 地鉄　板目が流れて柾がかり、地沸つく。 刃文　浅く湾れた直刃調で、全体に砂流し、金筋しきりにかかり、沸づいて冴える。 帽子　掃きかけて小丸に深く返る。 彫物　表裏に梵字と玉追龍。 茎　　生ぶ。丸棟で先は刃上り栗尻、鑢目は化粧大筋違。目釘穴は１個。銘文は指表に作者名と梵字、指裏に所持者名と梵字を切る。		

10　名称	[重要美術品] 太刀（たち）	品　　質	鍛鉄製
作 者 等	来国俊	員　　数	1口
時　　代	鎌倉時代・正応3年（1290）	寸 法 等	刃長 79.2cm ； 反 2.7cm
作品概要	形状　鎬造、庵棟、棟を卸し、身幅やや広く、鎬高く、重ね厚く、中反強くつき、中鋒。 地鉄　小板目、地沸よくつき、地景よく入り、処々に地斑（来肌）交り、区下より棒映り、鎬より沸映り立つ。 刃文　細直刃、小沸よくつき、金筋・砂流かかり、物打付近疲れて刃を繕うも、元来の匂口明るく冴える。 帽子　表裏　刃を繕い、直ぐに大丸とする。 茎　生ぶ、先栗尻、鑢目切、目釘孔２、佩表棟寄りに「来国俊　正応三年三月一日」と銘がある。		

11　名称	[重要美術品] 太刀（たち）	品　　質	鍛鉄製
作 者 等	豊後友行	員　　数	1口
時　　代	南北朝時代・正平年間（1346～1370）	寸 法 等	刃長 85.2cm ； 反 2.7cm
作品概要	形状　鎬造、庵棟、身幅広く、重ね厚く、先反つき、中鋒。 地鉄　小板目約み、地沸よくつき、地斑交り、白気映りややムラに立つ。 刃文　元を乱刃、中ほどから先を小のたれに小互の目を交えた刃とし、小沸つき、小足・葉入り、金筋・砂流処々に入り、匂口締りごころとなる。 帽子　表　僅かに乱れ、先尖りごころ小丸に返る。裏　直ぐに二重刃ごころ、先小丸、浅く返る。 彫物　表裏　棒樋、掻き流し。 茎　区送り、先栗尻、鑢目勝手下り、目釘孔２、佩表棟寄りに「豊後国高田庄住□（藤）原友行」、佩裏に「正平□年三月日」の銘があり、後世樋を掻き直したことで、半分ほどが失われる。		

12　名称	太刀（たち）	品　　質	鍛鉄製
作 者 等	古備前包平	員　　数	1口
時　　代	平安時代・12世紀	寸 法 等	刃長 69.5cm ； 反 2.0cm
作品概要	形状　鎬造、庵棟、磨上げてもなお腰反残り、先伏しごころ、中鋒。 地鉄　小板目肌立ち、地沸よくつき、地斑映り淡く立つ。 刃文　刃幅の広い小乱、一部丁子乱主調となり、小沸厚くつき、処々沸崩れ、足・葉頻りに入り、砂流かかる。 帽子　表裏　直ぐに小丸。 茎　磨上、先切、鑢目（旧）勝手下り（新）切、目釘孔３、佩表棟寄りに「包平」の銘がある。		

13　名称	短刀（たんとう）	品　　質	鍛鉄製
作 者 等	千手院義弘	員　　数	1口
時　　代	南北朝時代・文和2年(1353)	寸 法 等	刃長 28.1cm ； 内反
作品概要	形状　平造、三つ棟、身幅尋常、やや寸延び、内反つく。 地鉄　板目肌立ち、刃寄り強く流れ、地沸厚くつく。 刃文　細直刃、小沸つき、上半一部のたれてほつれごころとなり、他は匂口締まる。 帽子　直ぐに大丸、先僅かに掃き掛ける。 彫物　表裏　丈競の二筋樋、区にて掻き流し。 茎　生ぶ、先栗尻、鑢目勝手下り、目釘孔１、指表中央に「大和□（国）□（添）□（上）郡千手院義弘」、指裏中央に「□（文）和二年八月□（日）」の銘がある。		

14　名称	脇指（わきざし）	品　　質	鍛鉄製
作 者 等	勢州村正	員　　数	1口
時　　代	室町～安土桃山時代・16世紀	寸 法 等	刃長 31.1cm ； 反 0.2cm
作品概要	形状　平造、庵棟、身幅尋常、重ね薄く、寸が少し延び、先反僅かにつく。 地鉄　板目に杢目を交えて肌立ち、裏刃寄り特に流れ、地沸つき、白ける。 刃文　表裏揃いごころの刃で、のたれに大きな互の目や尖り刃を交え、小沸厚くつき、指表一部沸崩れ、金筋・砂流頻りにかかる。 帽子　表裏　乱れ込み、先小丸、掃き掛け、長く焼き下げる。 茎　生ぶ、たなご腹形、先入山形、鑢目切、目釘孔２、指表棟寄りに「村正」の銘がある。		

15　名称	大身槍（おおみのやり）	品　　質	鍛鉄製
作 者 等	下坂派	員　　数	1本
時　　代	江戸時代・17世紀	寸 法 等	刃長 70.0cm
作品概要	形状　平三角造、けら首やや長い。 地鉄　板目ほとんど柾がかって肌立ち、地沸ムラにつき、地斑交る。 刃文　浅いのたれに小互の目交り、小沸ついて小足よく入り、匂口ややムラになり、中程沈み、先喰違風となる。 帽子　直ぐに小丸、先掃き掛ける。 彫物　平面中央に棒樋。 茎　生ぶ、先切、鑢目全体に鏟鋤、けら首から下５センチまでを勝手下りとし、目釘孔１、三角面に「下坂」と銘を切る。		

16　名称	甲冑製作見本一　据文金物（かっちゅうせいさくみほんいちすえもんかなもの）	品　　質	
作 者 等	小澤正実作	員　　数	4組(24点)
時　　代	平成10年（1998）	寸 法 等	径（五段目裏菊座径）6.3cm　高（五段組合）1.8cm
作品概要	大鎧で用いられる据文金物の製作工程を示したもの。 1. 銅笠鋲、小刻座二重(にじゅう)、裏菊座二重（線刻なし）　1組 2. 同（右半分のみ線刻）　1組/ 3. 同（全面線刻）　1組 4. 金銅笠鋲、小刻座二重、裏菊座二重（全面線刻）　1組		

17　名称	甲冑製作見本二　鍬形（かっちゅうせいさくみほんに　くわがた）	品　　質	
作 者 等	小澤正実作	員　　数	11枚
時　　代	平成11年（1999）	寸 法 等	各　幅11.7cm　高14.7cm
作品概要	兜の鍬形を様々な素材で製作したもの。 1. 金銅製（箔鍍金）鍬形　1枚/ 2. 金銅製（アマルガム鍍金）鍬形　1枚/ 3. 金無垢製鍬形　1枚/ 4. 銅製箔鍍銀鍬形　1枚/ 5. 銀無垢製鍬形　1枚/ 6. 素銅製鍬形　1枚/ 7. 山金製鍬形　1枚/ 8. 赤銅製鍬形　1枚/ 9. 真鍮製鍬形　1枚/ 10. 四分一製鍬形　1枚/ 11. 銅製鍍銀鍬形　1枚		

18　名称	甲冑製作見本三　小札（かっちゅうせいさくみほんさん　こざね）	品　　質	
作 者 等		員　　数	18組(31点)
時　　代	平成12年（2000）	寸 法 等	
作品概要	日本の甲冑の基本的な部品である「札(さね)」の各種を製作したもの。 1. 三つ目札（革札、鉄札各一枚）　2枚/ 2. 三つ目札、二枚鉄交　1組/ 3. 黒漆塗(こくしつぬり)三つ目板　1枚/ 4. 本小札（革札、鉄札各一枚）　2枚/ 5. 本小札鉄革一枚交　1組/ 6. 黒漆塗札板　1組/ 7. 本小札（革札、鉄札各一枚、盛上札一枚）　3枚/ 8. 本小札鉄革一枚交　1組/ 9. 黒漆塗札板　1組/ 10. 革盛上札、革伊予札　3枚/ 11. 伊予札　1組/ 12. 黒漆塗伊予札板　1組/ 13. 鉄黒漆塗亀甲金　6枚/ 14. 鉄小札頭切付札　1枚/ 15. 黒漆塗小札頭切付札板　1枚/ 16. 革朱漆塗歌留多札　1枚、革金箔押鱗札　2枚/ 17. 鉄一文字頭切付札板　1枚/ 18. 黒漆塗一文字頭切付札板　1枚		

19　名称	甲冑製作見本四（かっちゅうせいさくみほんよん　のどわ）	品　　質	
作 者 等	小澤正実作	員　　数	2懸
時　　代	平成13年（2001）	寸 法 等	各　幅（一段目札板幅）24.6cm　高（組紐は除く）25.2cm
作品概要	咽喉部を防御する「喉（のど）輪（わ）」の製作行程を二懸の喉輪で示したもの。 1. 喉輪　1懸 月形、鉄。小札、二段下（さが）り。一段目中央の鉄一枚交を除き革札。 2. 本小札紫糸威喉輪　1懸 月形、黒漆塗。紫糸威。縄目・菱縫、紅（くれない）糸威。耳糸、白・紫・萌葱・紺の亀甲打。 蝙蝠附、藻獅子文韋、小縁、五星赤韋。伏縫、白・紅・紺・紫・萌葱。懸緒、白・紫・紺・萌葱の源氏打。		

20　名称	甲冑製作見本五　鉄仕立金物一（かっちゅうせいさくみほんご　てつじたてかなものいち）	品　　質	
作 者 等	小澤正実作	員　　数	9組（15点）
時　　代	平成14年（2002）	寸 法 等	
作品概要	胴丸・腹巻・当世具足で用いられる金具廻。 1. 金銅製前立　1枚/ 2. 金銅製鍬形　1組/ 3. 鉄黒漆塗眉庇および金銅製鍬形台　1組/ 4. 鉄黒漆塗吹返　1双/ 5. 鉄黒漆塗胸板　1枚/ 6. 鉄黒漆塗杏葉　1双/ 7. 鉄黒漆塗脇板（胴丸）　1組/ 8. 鉄黒漆塗肩上・背板・合当理　1組/ 9. 鉄黒漆塗冠板　1双		

21　名称	甲冑製作見本六　半首一（かっちゅうせいさくみほんろく　はっぷりいち）	品　　質	
作 者 等	小澤正実作	員　　数	3面
時　　代	平成15年（2003）	寸 法 等	各　幅17.0cm　高18.0cm
作品概要	面具のひとつ「半首（はっぷり）」の製作工程を三面の半首で示したもの。 1. 鉄半首　1面 2. 鉄漆塗半首（馬手を下地漆、射向を焼付漆）　1面 3. 鉄黒漆塗半首（黒漆塗）　1面		

22　名称	甲冑製作見本七　草摺一（かっちゅうせいさくみほんなな　くさずりいち）	品　　質	
作 者 等	小澤正実作	員　　数	3垂
時　　代	平成16年（2004）	寸 法 等	各　幅（五段目札板幅）18.3cm　高（札板五段分、威糸は除く）25.4cm
作品概要	大腿部を防御する「草摺（くさずり）」の製作工程を三つの草摺で示したもの。 1. 鉄山道頭板札（五段下り）　1垂 2. 同（五段下り、馬手を下地漆叩塗、射向を焼付漆）　1垂 3. 鉄山道頭朱漆金泥叩塗草摺　1垂 板札、鉄板製。一段目から四段目まで朱漆叩塗、裾板のみ金泥叩塗。黒糸素懸威（三通（みどおし））。 耳糸、白・紫・紺・萌葱の啄木打。		

23　名称	甲冑製作見本八　半首二（かっちゅうせいさくみほんはち　はっぷりに）	品　　質	
作 者 等	小澤正実作	員　　数	3面
時　　代	平成17年（2005）	寸 法 等	各　幅16.5cm　高17.5cm
作品概要	半首の製作工程を三面の半首で示したもの。「甲冑製作見本　六」とは技法が異なる。 1. 鉄半首（銅覆輪付）　1面 2. 鉄半首（金銅覆輪付、馬手を下地漆塗、射向を焼付漆）　1面 3. 鉄半首（金銅覆輪付、菱（ひし）襷（だすき）に獅子の丸文の画韋包）　1面		

24　名称	甲冑製作見本九　草摺二（かっちゅうせいさくみほんきゅうくさずりに）	品　　質	
作 者 等	小澤正実作	員　　数	3垂
時　　代	平成18年（2006）	寸 法 等	各　幅（五段目札板幅）17.0cm　高（札板五段分、威糸は除く）21.2cm
作品概要	大腿部を防御する「草摺」の製作工程を三つの草摺で示したもの。「甲冑製作見本　七」とは技法が異なる。 1. 鉄碁石頭板札（五段下り）　1垂 2. 同（五段下り、馬手を下地漆塗、射向を焼付漆）　1垂 3. 碁石頭乾漆塗草摺　1垂 板札五段下り。茶漆石目塗。茶糸毛引威。耳糸、白・紫・黄の啄木打。		

25　名称	甲冑製作見本十　草摺三（かっちゅうせいさくみほんじゅうくさずりさん）	品　　質	
作 者 等	小澤正実作	員　　数	3垂
時　　代	平成19年（2007）	寸 法 等	各　幅（五段目札板幅）19.6cm　高（札板五段分、威糸は除く）24.7cm
作品概要	大腿部を防御する「草摺」の製作工程を三つの草摺で示したもの。「甲冑製作見本　七・九」とは技法が異なる。 1. 革本小札（五段下り）　1垂 2. 同（五段下り、黒漆塗）　1垂 3. 本小札紫絲威草摺　1垂 本小札五段下り。黒漆塗。紫絲威。耳糸、白・紺・萌葱亀甲打。畦目、白・紺・萌葱の啄木打。菱縫、紅(くれない)糸威。		

26　名称	甲冑製作見本十一　立挙一（かっちゅうせいさくみほんじゅういち　たてあげいち）	品　　質	
作 者 等	小澤正実作	員　　数	2面
時　　代	平成20年（2008）	寸 法 等	1. 幅22.0cm　胴高16.0cm　総高（高紐は除く）18.8cm ； 2. 幅24.5cm　胴高（威糸は除く）16.0cm　総高（威糸、高紐は除く）18.7cm
作品概要	大鎧、胴丸あるいは腹巻の前立挙部分。馬手側は完成した状態、射向側は製作途中の状態、あるいは内部構造を示す。 1. 大鎧　1面 胸板、鉄焼付漆、菱襷に獅子の丸文の画韋包、金銅覆輪付。化粧板、木芯菖蒲韋包、金銅八双鋲、水引、金銅鞣付高紐付。 本小札黒漆塗二段下り、白(しろ)韋威。伏縫、白・紺・紫。小縁、赤韋。弦走韋、菱襷に獅子の丸文。 射向三分の一の画韋、化粧板、水引を取り、芯や札を露出させる。 2. 胴丸あるいは腹巻　1面 胸板、鉄焼付漆、藻獅子文の画韋包、金銅覆輪、金銅小桜鋲、金銅鳩目、金銅鞣付高紐付。伏縫、白・紅・紫・萌葱・紺。 小縁、五星赤韋。菱縫、白・紺・萌葱。金銅八双鋲、蓋紋。金銅八双金物、魚々子地切枝文。本小札黒漆塗二段下り、紅糸威。 射向三分の一の画韋、威毛などを取り、芯や札を露出させる。		

27　名称	甲冑製作見本十二　立挙二（かっちゅうせいさくみほんじゅうに　たてあげに）	品　　質	
作 者 等	小澤正実作	員　　数	2面
時　　代	平成21年（2009）	寸 法 等	1. 幅24.0cm　胴高（威糸は除く）15.5cm　総高（威糸、高紐は除く）18.5cm ； 2. 幅24.0cm　胴高（威糸は除く）14.5cm　総高（威糸、高紐は除く）18.0cm
作品概要	胴丸、腹巻の胴二種の前立挙部分。馬手側は完成した状態、射向側は製作途中の状態、あるいは内部構造を示す。 1. 胴丸あるいは腹巻　1面 胸板、鉄焼付漆、藻獅子文の画韋包、金銅覆輪、金銅笠鋲、金銅鳩目、金銅鞣付高紐付。金銅八双鋲、八重菊。 金銅八双金物、切枝文。菱縫、白・紺・萌葱・紫平打。伊予札黒漆塗二段下り、藍韋威。 射向三分の一の画韋、威毛などを取り、芯や札を露出させる。 2. 胴丸あるいは腹巻（燻韋包）　1面 胸板、鉄焼付漆、茶皺革包、金銅覆輪、金銅笠鋲、金銅鳩目、金銅鞣付高紐付。金銅鋲、笠鋲。金銅八双金物、無文。 伊予札黒漆塗二段下り。燻韋包。胸糸一段目を白・紫・紺の小石打の組紐で菱綴と畦目綴、二段目を浅黄糸で菱綴とする。 射向三分の一の燻韋、威毛などを取り、芯や札を露出させる。		

28　名称	甲冑製作見本十三　立挙三（かっちゅうせいさくみほんじゅうさん　たてあげさん）	品　　質	
作 者 等	小澤正実作	員　　数	2面
時　　代	平成22年（2010）	寸 法 等	1. 幅22.0cm　胴高（威糸は除く）16.9cm　総高（威糸、高紐は除く）19.5cm ； 2. 幅23.8cm　胴高18.0cm　総高（高紐は除く）19.5cm
作品概要	当世具足の胴二種の前立挙部分。馬手側は完成した状態、射向側は製作途中の状態、あるいは内部構造を示す。 1. 当世具足一　1面 胸板、鉄錆塗、鉄雁木篠朱漆塗、金銅鳩目、金銅鞣付高紐付。金銅八双鋲、家紋。鉄矢筈頭板札二段下り。 胸糸一段目を白糸菱綴、二段目、三段目白糸素懸威（二通（にどおし））。射向三分の一は威さず。 2. 当世具足二　1面 胸板、鉄捻返茶漆叩塗、金銅鳩目、赤銅鞣付高紐付。鉄一文字板札二段下り。 胸糸一段目を紺糸毛引威、二段目、三段目を紺糸菱綴。射向三分の一は威さず。		

29　名称	甲冑製作見本十四　立挙四（かっちゅうせいさくみほんじゅうよん　たてあげよん）	品　　質	
作 者 等	小澤正実作	員　　数	2面
時　　代	平成23年（2011）	寸 法 等	1. 幅24.5cm　胴高18.0cm　総高（高紐は除く）22.5cm ； 2. 幅27.5cm　胴高17.5cm　総高（高紐は除く）19.5cm
作品概要	当世具足の胴二種の前立挙部分。馬手側は完成した状態、射向側は製作途中の状態、あるいは内部構造を示す。 1. 当世具足三　1面 五枚胴。鉄捻返黒漆塗。胸に赤銅鳩目、馬手側のみに赤銅鞣付高紐付。右より麻布着、下地漆、黒漆塗の三工程を示す。 2. 当世具足四　1面 仏胴。鉄捻返青漆塗。胸に赤銅鳩目、馬手側のみに赤銅鞣付高紐付。右より焼付漆、和紙着、青漆乾漆塗の三工程を示す。		

30　名称	甲冑製作見本十五　鉄仕立金物二（大鎧）（かっちゅうせいさくみほんじゅうご　てつじたてかなものに（おおよろい））	品　　質	
作 者 等	小澤正実作	員　　数	6組(8点)
時　　代	平成24年（2012）	寸 法 等	
作品概要	大鎧で使用される金具。 1. 鉄焼付漆胸板（銅覆輪付）　1個 2. 鉄焼付漆障子板（銅覆輪、笠鋲付）　1双 3. 鉄焼付漆栴檀板（銅覆輪、据文、笠鋲、本小札付）　1個 4. 鉄焼付漆鳩尾板（銅覆輪、据文付）　1個 5. 鉄焼付漆冠板（銅覆輪、化粧板、笠鋲付）　1双 6. 鉄焼付漆壺板（銅覆輪、鳩目付）　1個		

31　名称	甲冑製作見本十六　金銅金物（かっちゅうせいさくみほんじゅうろく　こんどうかなもの）	品　　質	
作 者 等	小澤正実作	員　　数	24組(39点)
時　　代	平成25年（2013）	寸 法 等	
作品概要	金銅製の金具。1から9は大鎧、10から22は胴丸、腹巻、23・24は当世具足で用いられる。 1. 八幡座（玉縁、小刻座二重、裏菊座一重、葵葉座一重、星付）　1個/ 2. 笠印付の鐶（小刻座一重、裏菊座一重）　1個 3. 水呑の鐶（小刻座二重、裏菊座一重）　1双/ 4. 星（小刻座二重）　1個/ 5. 地板および篠垂（星付）　1個 6. 笠鋲（小刻座二重、裏菊座一重）　1個/ 7. 笠鋲（小刻座一重）　1個/ 8. 小桜鋲　1個 9. 大総角の鐶（裏菊座二重）　1個/ 10. 据文金物　1双/ 11. 鳩目（玉縁、小刻座二重）　1個 12. 水呑の鐶（裏菊座二重）　1個/ 13. 笠印付の鐶（小刻座一重）　1個/ 14. 操締(くりじめ)の鐶　1個 15. 茱萸　1双/ 16. 八双鋲（蓋文、小刻座一重・裏菊座一重）　2個/ 17. 鋲（蓋文）　1個 18. 笠鞣、責鞣（高紐）　大2組/ 19. 笠鞣、責鞣（脇板）　小4組/ 20. 胸板覆輪　1個/ 21. 脇板覆輪（馬手）　1組 22. 脇板覆輪（射向）　1個/ 23. 八幡座（玉縁、小刻座、裏菊座二重、丸座）　1個 24. 八幡座（玉縁、小刻座、菊座、裏菊座、葵葉座）　1個		

32　名称	甲冑製作見本十七　長側（かっちゅうせいさくみほんじゅうなな　ながかわ）	品　　質	
作 者 等	小澤正実作	員　　数	3段
時　　代	平成26年（2014）	寸 法 等	1. 幅34.2cm　高7.2cm　奥行29.8cm ； 2. 幅32.5cm　高5.5cm　奥行24.3cm ； 3. 幅28.0cm　高5.2cm　奥行25.0cm
作品概要	大鎧、胴丸、腹巻の胴最下段の小札板。 1. 大鎧の長側（黒漆塗）　1段 2. 胴丸の長側（黒漆塗）　1段 3. 腹巻の長側（黒漆塗）　1段		

33　名称	甲冑製作見本十八　大袖一（かっちゅうせいさくみほんじゅうはち　おおそでいち）	品　　質	
作 者 等	小澤正実作	員　　数	1双
時　　代	平成27年（2015）	寸 法 等	各　幅（化粧板幅、水呑の鐶は除く）33.6cm　高37.7cm
作品概要	胴丸、腹巻に附属する袖で、「甲冑製作見本　二〇」の前工程を示す。 1. 鉄本小札大袖　1双 冠板、鉄製、銅覆輪、小桜鋲付。化粧板、木芯を露出。銅八双鋲、蓋紋。銅八双金物、切枝文。 革本小札七段下り、下地漆のまま。銅笄金物、蓋紋、切枝文。 「甲冑製作見本二十」と同梱。		

34　名称	甲冑製作見本十九　肩上（かっちゅうせいさくみほんじゅうきゅう　わたがみ）	品　　質	
作 者 等	小澤正実作	員　　数	2掛
時　　代	平成28年（2016）	寸 法 等	各　幅11.5cm　高19.6cm
作品概要	腹巻を肩にかける部分となる「肩上」の製作見本。2は完成した状態、1は製作途中の状態、あるいは内部構造を示す。 1. 本小札肩上　1掛 押付板、鉄製、銅覆輪、銅笠鋲・銅小桜鋲付。銅八双金物付。 2. 黒漆塗本小札肩上　1掛 透漆塗。金銅茱萸付きの緒、金銅鞣付の高紐、引合せの緒付。押付板、皺韋包、金銅覆輪、金銅笠鋲、金銅小桜鋲付。 立挙一段目菱綴。金銅八双金物付。		

35　名称	甲冑製作見本二十　大袖二（かっちゅうせいさくみほんにじゅう　おおそでに）	品　　質	
作 者 等	小澤正実作	員　　数	1双
時　　代	平成29年（2017）	寸 法 等	1. 幅（化粧板幅、水呑の鏑、組紐は除く）35.0cm　高39.4cm ; 2. 幅（化粧板幅、水呑の鏑、組紐は除く）35.0cm　高39.1cn
作品概要	「甲冑製作見本　十八」に続く大袖の製作見本。2は完成した状態、1は製作途中の状態、あるいは内部構造を示す。 1. 黒漆塗本小札袖　1面 冠板、焼付漆、金銅覆輪、金銅小桜鋲付。化粧板、木芯を露出。金銅八双鋲、臺紋。金銅八双金物、切枝文。 黒漆塗本小札七段下り。金銅笄金物、臺紋、切枝文。 2. 黒漆塗本小札萌葱糸威袖　1面 冠板、鮫革着黒漆研出、金銅覆輪、金銅小桜鋲付。化粧板、菖蒲韋包。金銅八双鋲、臺紋、金銅八双金物、切枝文。 黒漆塗本小札七段下り、萌葱糸威。金銅笄金物、臺紋、切枝文。組紐、紅丸打。		

36　名称	甲冑製作見本二十一　亀甲金（かっちゅうせいさくみほんにじゅういち　きっこうがね）	品　　質	
作 者 等	小澤正実作	員　　数	1式
時　　代	平成30年（2018）	寸 法 等	
作品概要	亀甲金を下地に綴じた製作見本。襟廻、小鰭、立挙からなる。2は製作途中の襟廻、3は完成した襟廻、4は製作途中の小鱗、5は完成した小鱗、6は製作途中の立挙を示す。 1. 亀甲金菱綴工程見本　1式 下記を木板に嵌装。 ①亀甲金と下地（表 浅黄麻、芯 浅黄木綿）/ ②和紙包/ ③藍韋包/ ④白這糸（表裏1枚づつ）/ ⑤萌黄糸菱綴（表裏1枚づつ）/ ⑥藍韋小縁、萌黄牡丹唐草金襴家地（表裏1枚づつ） 2. 襟廻　1枚 芯木綿、紅韋包、這糸黒糸、菱綴黒糸。 3. 襟廻　1個 紅韋包、這糸黒糸、菱綴黒糸、家地表紅地花唐草文緞子、裏紅地牡丹唐草文銀襴、小縁赤韋、緒赤韋。 4. 小鰭　1対 芯木綿、紅韋包、這糸黒糸、菱綴黒糸。 5. 小鰭　1対 紅韋包、這糸黒糸、菱綴黒糸、家地裏紅地牡丹唐草銀襴、小縁赤韋、緒赤韋。 6. 立挙　1対 紅韋包、這糸黒糸、菱綴黒糸。		

37　名称	甲冑製作見本二十二　籠手・長側（かっちゅうせいさくみほんにじゅうに　こて・ながかわ）	品　　質	
作 者 等	小澤正実作	員　　数	1式
時　　代	令和元年（2019）	寸 法 等	二枚胴 幅33.6cm 高6.0cm ； 五枚胴 幅27.1cm 高6.0cm ； 籠手 各 総長63.5cm
作品概要	当世具足最上段の鉄板札と製作途中の鯰籠手。 1. 二枚胴の長側（焼付漆）　1段 2. 五枚胴の長側（焼付漆）　1段 3. 鯰籠手　1双 諸籠手。 手甲　鉄地、表裏焼付漆、雲形金物素銅、覆輪素銅。 一の座盤　鉄地、表黒漆塗、裏下地漆塗、雲形金物・子持二引両筋金素銅、覆輪素銅。 二の座盤　同上。 肘金　菊花形、鉄地、表黒漆塗、裏下地漆塗、覆輪素銅。 冠板　鉄地、表黒漆塗、裏下地漆塗、雲形金物素銅、覆輪素銅。 鎖　格子鎖、焼付漆。		

38　名称	甲冑製作見本二十三　小札・画韋（かっちゅうせいさくみほんにじゅうさん　こざね・えがわ）	品　　質	
作 者 等	小澤正実作	員　　数	1式
時　　代	令和2年（2020）	寸 法 等	
作品概要	甲冑の札板二段の製作工程と各種の札・画韋等である。 1. 札板二段　1式 2. 小札　33枚 3. 画韋　10枚		

＜陶磁＞(4件)

39　名称	色絵柏葉形向付（いろえかしわばがたむこうづけ）	品　　質	磁製
作 者 等	伊万里	員　　数	5口
時　　代	江戸時代・17世紀	寸 法 等	高2.5cm
作品概要	磁胎。たたらと呼ばれる薄い板状に切り出した粘土を、型に押し当てて葉の形をとる。高台は、器形にあわせた帯状の土を貼り付ける。見込みには、型押しによる葉脈のあとが表現され、一部は染付で実と枝をあらわし、赤と薄緑、黄の上絵具で地文様をあらわす。口縁には、「口錆」と呼ばれる鉄絵具が施される。高台内側には染付で「太明」、側面にも簡略的な文様が3か所ずつあらわされる。		

40　名称	高柳快堂陶磁器画資料（たかやなぎかいどうとうじきがしりょう）	品　　質	磁製、紙本墨画
作 者 等		員　　数	一括
時　　代	明治15年（1882）、明治39年（1906）	寸 法 等	色絵山水図三足皿 高3.3cm 口径17.0cm ； 富士山図 縦30.0cm 横34.0cm
作品概要	【色絵山水図三足皿】磁胎。底面に三つの足がつく皿。成形して透明釉を掛けて高火度で焼成したのち、上絵付けを施し低火度で再度焼成する。見込み部には黒色の絵具で濃淡をつけ、水墨画風の色調で山水と建物、人物が描きこまれる。山肌や人物、建物に薄い色絵具で彩色がされる。口縁は、青、赤、金彩で装飾的に縁取られる。見込み上部の金文字の漢詩文から、明治15（1882）（壬午）の高柳快堂作画で、香蘭社によるものであることがわかる。底面には染付で「白川校製」とあり、高柳快堂が有田白川の学校で後進の指導にあたっていた時期のものと位置付けられる。 【富士山図】掛軸装、木軸。墨で富士山と前景に松の絵を描く。上部の賛末尾から明治39（1906）（丙午）の高柳快堂83才のときの作画であることがわかる。		

41　名称	色絵鷹図大皿（いろえたかずおおざら）	品　　質	磁製
作 者 等	高柳快堂（1824～1909）画　香蘭社	員　　数	1枚
時　　代	明治時代・19世紀	寸 法 等	口径46.5cm
作品概要	磁胎。成形して透明釉を掛けて高火度で焼成したのち、黒、紫、緑と金彩で上絵付けを施し低火度で再度焼成する。見込み部には、木の枝に止まった鷹が2匹の小鳥を狙う様子が描かれ、周りには激しく波打つ水面、口縁部には雲が器面に隙間なく描きこまれる。鷹の右側口縁近くに、赤絵具の四角囲みでその上に金の文字で「快堂」と記され、本作が高柳快堂の作画であること、また底面の銘から香蘭社の製作によるものとわかる。		

42　名称	色絵製陶図大皿（いろえせいとうずおおざら）	品　　質	磁製
作 者 等	有田　酒井田柿右衛門窯	員　　数	1枚
時　　代	江戸～明治時代・19世紀	寸 法 等	口径61.0cm 高9.5cm 高台径33.0cm
作品概要	磁胎。成形して染付で下絵付けを施し透明釉を掛けて高火度で焼成したのち、上絵付けを施し低火度で再度焼成する。見込みには、江戸時代後期頃のやきものづくりの様子が鳥瞰図のように描かれ、総勢40名ほどの男女が水簸（磁土の調整）から、成形（轆轤、型造り）、乾燥、絵付け、釉掛け、窯入れ（焼成）といった工程に携わっている様子が一面のなかで展開されている。		

＜漆工＞(2件)

43　名称	浜松塩屋蒔絵硯箱（はままつしおやまきえすずりばこ）	品　　質	木製漆塗
作 者 等		員　　数	1合
時　　代	江戸時代・17世紀	寸 法 等	縦22.5cm 横21.0cm 高4.6cm
作品概要	方形隅切、蓋表に削面を取る硯箱。蓋表から蓋裏、身の懸子まで共通する浜松塩屋の情景が展開する。身の左側に硯と銅製水滴を嵌め込んだ下水板を置き、右側に一枚懸子を入れる。総体漆塗に梨子地、金銀高蒔絵を基調として岩に切金、極込を多用し、精緻な付描で波を表現する。		

44　名称	海老蒔絵硯箱（えびまきえすずりばこ）	品　　質	木製漆塗
作 者 等		員　　数	1合
時　　代	江戸時代・17世紀	寸 法 等	縦22.5cm 横20.9cm 高3.8cm
作品概要	方形隅切、蓋表削面取り、被蓋造の硯箱。蓋表右下寄りに大きく蓮の葉を配し、そこに海老６尾が乗る様子を描く。蓋裏は梅樹と屋舎に葦手を散らす歌絵であり、身の懸子と下水板にも同様の梅樹が配される。「春くれば宿にまず咲く梅の花　君が千歳のかざしとぞみる」（『古今和歌集』）が主題と知られ、名物「千歳蒔絵硯箱」（藤田美術館蔵）と類似することから同作の写しと見られる。梨子地に高蒔絵、銀金貝、切金を散らす華やかな作風だが、塗膜の縮みが数多く確認できる。		

＜染織＞(11件)

45　名称	袱紗　紺繻子地七福神図（ふくさ　こんしゅすじしちふくじんず）	品　　質	繻子（絹）、刺繍
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	江戸時代・19世紀	寸 法 等	縦96.5cm 横102.5cm
作品概要	紺繻子地に刺繍で七福神を表わした掛袱紗である。掛袱紗とは、慶事に際し、贈物の上に掛けるほぼ正方形に仕立てた装飾用の覆い布である。そのような用途により、装飾用の模様には吉祥模様が表わされることが通例である。この袱紗には、向かって左に唐扇を持って立つ弁財天、向かって右には福袋と打出小槌を持った大黒天、大きな翼を左右につけた兜をかぶった毘沙門天、帽子をかぶり横笛を吹く寿老人、烏帽子をかぶり琵琶を爪弾く恵比寿、大きな頭陀袋を背負い杯に口づける布袋、長い頭の福禄寿を配し、弁財天の芸を楽しむ風である。刺繍の技法は、強い撚りのかかった絹の色糸により、和紙や和紙紐で肉付した上に平繍を施す立体的な技法をベースとし、その上から、菅繍や駒繍で衣服の模様などを上刺しにする。また、老松や岩などに表現される苔には相良繍が用いられる。これらの刺繍技法の特徴は、江戸時代末期から明治初期の掛袱紗に共通するものである。裏地は紅縮緬で仕立てられ、四方に袘が出る。かつては四隅に糸房が付いていたが、現状では裏に糊止めされている。		

46　名称	熨斗目　萌黄地繊　三つ葉葵紋付（のしめ　もえぎじしじらみつばあおいもんつき）	品　　質	繊（絹）
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	江戸時代・17～18世紀	寸 法 等	身丈156.5cm 裄80.5cm
作品概要	経糸に生糸、緯糸に練絹糸を用い、経糸に強撚糸を用いてシボを表わす繊を縞状に織り出した織物で仕立てられた熨斗目である。熨斗目とは直垂、素襖、裃といった武士の正装の下に着用する小袖のことで、通常は腰明きの部分に異なる色や模様を表わして変化をつける点に特徴がある。本品は、経糸を締め切りの技法によって萌黄と白に染め分けることで、腰明きの部分を白く織り出している。また、五つ紋を織紋で表すのが正式な熨斗目の特徴でもあり、本品は三つ葉葵紋が織り出されていることから、徳川家ゆかりの熨斗目であろう。特筆すべきは、その形状にある。通常の小袖に比較し大きくつくられ、しかも、裾下が36.5cmと極めて短く、逆に衿が122cmと長い特徴は、江戸時代初期の仕立の傾向を示す。以上のような特徴から推測されることは、江戸時代初期の演能の際に高位の身分の者が褒美として能役者に下賜する時服としての「小袖ぬぎ」の儀礼において用いられた可能性である。下賜された時服はその場で装束の上からまとい、即興で一曲舞う、ということが行われたことから、通常の小袖よりも大きく仕立てられる傾向がある。このような儀礼に用いられた熨斗目が原状のまま伝存する、極めて珍しい作例である。		

47　名称	熨斗目　紺地横縞模様　四ツ目結紋付（のしめ　こんじよこじまもよう　よつめゆいもんつき）	品　　質	練緯（絹）
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	江戸時代・19世紀	寸 法 等	身丈141.0cm 裄64.5cm
作品概要	武家男性が裃、素襖、大紋の直垂といった正装の下に着用する小袖である。本品は経糸に生糸、緯糸に練絹糸を用いて平織にした練緯で、腰明きの部分を淡黄に締め切りに染め分け、そこに淡い紫の三筋段を織り入れる。また五つ紋には、四ツ目結紋が白糸で織り出される。裏地には紫平絹が用いられ、袖口にのみ黒平絹の袘がみられる。また、袖には身八つ口がある。		

48　名称	熨斗目　紺地緯絣模様　丸に雁紋付（のしめ　こんじよこがすりもよう　まるにかりもんつき）	品　　質	練緯（絹）
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	江戸時代・19世紀	寸 法 等	身丈138cm 裄63.5cm
作品概要	熨斗目とは直垂、素襖、裃といった武家男性の正装の際、下着の小袖として着用する小袖である。経糸に紺の生糸、緯糸に紺の絹練糸を用いて平織にした練緯の熨斗目である。腰明きの部分には、白と紺に染め分けた絣糸を用いて襷模様を緯絣で織り出している。また、五つ紋には丸に雁紋が白い絹糸による並縫いで刺繍されている。裏地には紺の紬が用いられ、八掛に藍平絹を用いる。裾と袖口に袘がある。腰明き部分を締め切りにせずに簡略な織物にしている点、五つ紋が縫い紋である点など、正装用とはならない仕立である。		

49　名称	熨斗目　紅地緯絣模様　左一つ巴紋付（のしめ　べにじよこがすりもよう　ひだりひとつどもえもんつき）	品　　質	練緯（絹）、緯絣
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	江戸時代・19世紀	寸 法 等	身丈136.5cm 裄63.0cm
作品概要	熨斗目とは本来「熨斗目の練緯」、つまり熨して平滑にした練緯のことを言うので、この熨斗目もまた、経糸に生糸、緯糸に練絹糸を用いた平織の生地を用いて、小袖に仕立てられる。熨斗目は武士が直垂や素襖、裃といった正装をする際に下着として着用する小袖である。本品は、腰明きの部分を経糸を締め切りで萌黄に染め、萌黄の部分には緯糸を白く染め遺した絣糸を入れて緯絣の模様を入れる。また、五つ紋には左一つ巴紋の織紋が入る。袖の裾に絣模様が入ることは珍しく、もともと若年用の振袖だったものを成年後、袖を短くした名残かもしれない。袖に身八つ口があり、裏地は白平絹、八掛に素色紬を用い、裾と袖には袘がある。		

50　名称	帯　藍地菱蝶桐模様（おび　あいじひしちょうきりもよう）	品　　質	緞子（絹、木綿）
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	江戸時代・19世紀	寸 法 等	長381.0cm 幅27.5cm
作品概要	江戸時代、帯幅は時代が下るとともに広がる傾向が見られ、江戸時代後期には、浮世絵版画にもみられるように25cmから30cmくらいの広幅となり、帯結びに工夫を凝らした。この帯は、経糸に紺の絹糸、緯糸に紺の木綿糸を用いて模様を織り出した、黄緞風の緞子である。蜀江文を崩したような花入菱文や、蝶、踊り桐文などを織り出す。織幅の広い綾地錦を縦に2つに折り、表も裏も同じ錦で仕立てられた丸帯で、芯に綿が入る。江戸時代、西陣の織物技術が発展するとともに、個性的で緻密な模様を織り出した帯地が町方女性の間で流行したが、緯糸を木綿にしたざっくりとした風合いの織物を用いた例は珍しい。		

51　名称	帯　縹地梅唐草鳳凰丸模様浮文織（おび　はなだじうめからくさほうおうのまるもよううきもんおり）	品　　質	平地浮文織（絹）
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	江戸時代・19世紀	寸 法 等	長399.0cm 幅31.5cm
作品概要	江戸時代、帯幅は時代が下るとともに広がる傾向が見られ、江戸時代後期には、浮世絵版画にもみられるように25cmから30cmくらいの広幅となり、帯結びに工夫を凝らした。この帯は、経糸に白い絹糸、緯糸に藍色の絹糸を用いて平織にし、地色を縹色に見せかけている。そこに金茶色の釜糸で、梅唐草模様と鳳凰丸模様を浮文織にする。織幅の広い綾地錦を縦に2つに折り、表も裏も同じ錦で仕立てられた丸帯で、芯に綿が入る。江戸時代、西陣の織物技術が発展するとともに、個性的で緻密な模様を織り出した帯地が町方女性の間で流行したが、その一例である。		

52　名称	帯　鬱金地菊入襷菊葉模様繻珍（おび　うこんじきくいりたすききくばもようしゅちん）	品　　質	繻珍（絹）
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	江戸時代・19世紀	寸 法 等	長335.0cm 幅28.5cm
作品概要	繻珍とは、サテンのような光沢のある繻子地に、色糸や金糸で模様を織り出した錦の一種である。中国では「七糸緞」と称する。江戸時代中期以降には日本でも盛んに織られるようになり、女性の帯地に愛用された。江戸時代、帯幅は時代が下るとともに広がる傾向が見られ、江戸時代後期には、浮世絵版画にもみられるように25cmから30cmくらいの広幅となり、帯結びに工夫を凝らした。この帯は織幅の広い繻珍を縦に2つに折り、表も裏も同じ錦で仕立てられた丸帯で、芯に綿が入る。菊花紋を入れた3つの菱を合わせた模様と、市松模様を織り出した菊葉の模様を交互に織り出し、精密に模様を織り出す。江戸時代、西陣の織物技術が発展するとともに、個性的で緻密な模様を織り出した帯地が町方女性の間で流行したが、その一例である。		

53　名称	帯　紺地兎霊芝雲唐草模様錦（おび　こんじうさぎれいしくもからくさもようにしき）	品　　質	綾地錦（絹）
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	江戸時代・19世紀	寸 法 等	長375.0cm 幅32.5cm
作品概要	江戸時代、帯幅は時代が下るとともに広がる傾向が見られ、江戸時代後期には、浮世絵版画にもみられるように25cmから30cmくらいの広幅となり、帯結びに工夫を凝らした。この帯は、日本引きそろえた経糸に、太目の緯糸で、経四枚綾地を織り出し、金茶色の釜糸で名物裂の模様をアレンジしたようなデザインで、兎霊芝唐草文を浮文織とした綾地錦で仕立てられる。織幅の広い綾地錦を縦に2つに折り、表も裏も同じ錦で仕立てられた丸帯で、芯に綿が入る。江戸時代、西陣の織物技術が発展するとともに、個性的で緻密な模様を織り出した帯地が町方女性の間で流行したが、その一例である。		

54　名称	帯　縹地色々段模様錦（おび　はなだじいろいろだんもようにしき）	品　　質	錦（絹）
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	江戸時代・19世紀	寸 法 等	長383.0cm 幅30.0cm
作品概要	江戸時代、帯幅は時代が下るとともに広がる傾向が見られた。江戸時代初期には幅5cmほどであった帯が、寛文年間までには15cmほどに、元禄期には20cmほどになる。江戸時代後期には、浮世絵版画にもみられるように幅30cmもある帯を腰に巻き付け、帯結びに工夫を凝らした。この帯は広幅に織られた錦を縦に二つ織とし、表も裏も同じ模様の織物とした丸帯である。横段に様々な色糸を用いて牡丹唐草、回文、壽文字など、様々な段模様を織り出した、意匠を凝らした平地浮文錦である。帯幅から江戸時代後期の町方女性が着用した帯と想定される。		

55　名称	被衣　白生絹地夏秋草模様描絵（かづき　しろすずしじなつあきくさもようかきえ）	品　　質	生絹、描絵
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	江戸時代・19世紀	寸 法 等	身丈131cm 裄62.0cm
作品概要	一見、薄物の単仕立の着物のようにみえるが、衿が前側に14cmあまり下がっており、頭に被って顔を隠すための外出着、被衣である。経糸2本を引きそろえにした絵絹のような生絹に淡彩で直接、月に流水、葛、薄など描絵によって模様を表わし、一部金彩も加える。左前袖には落款と印章がみられる。また、衿裏には武家女性の夏の衣装（単衣）の一部と考えられる、浅葱絽地流水牡丹蝶模様の裂が用いられる。江戸時代中期以降、被衣を着用するのは上方の上流階級での慣行となったが、一般に様式的なデザインが型染などで染められた藍の濃淡を主としたものが中心である。本品は、描絵で模様を表わした珍しい一例である。		

＜東洋絵画＞(32件)

56　名称	江湖独釣図軸（こうこどくちょうずじく）	品　　質	紙本墨画
作 者 等	沈周（1427～1509）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・15～16世紀	寸 法 等	107.0cm×30.0cm
作品概要	掛幅装、木軸。山水を背景に釣りを楽しむ文人を描く。		

57　名称	風雨帰舟図扇面（ふううきしゅうずせんめん）	品　　質	金箋墨画淡彩
作 者 等	周臣（生没年不詳）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・15～16世紀	寸 法 等	17.6cm×50.4cm
作品概要	掛幅装、牙軸。嵐の中、家に帰ろうとする漁夫を描く。		

58　名称	秋光泉声図軸（しゅうこうせんせいずじく）	品　　質	紙本墨画淡彩
作 者 等	文徴明（1470～1559）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・嘉靖27年(1548)	寸 法 等	113.0cm×27.0cm
作品概要	掛幅装、牙軸。山中の書斎にあって滝を眺める高士を描き、五言絶句を書く。		

59　名称	山斎雅集図軸（さんさいがしゅうずじく）	品　　質	絹本墨画淡彩
作 者 等	謝時臣（1487～?）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・16世紀	寸 法 等	113.0cm×60.0cm
作品概要	掛幅装、牙軸。山中の書斎に歓談する高士たちを描く。		

60　名称	華山仙掌図軸（かざんせんしょうずじく）	品　　質	紙本墨画淡彩
作 者 等	謝時臣（1487～?）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・16世紀	寸 法 等	332.0cm×97.5cm
作品概要	掛幅装、牙軸。華山（陝西省）の仙掌崖（黄河の巨霊が山を押した跡があるという崖）を描く。		

61　名称	夏山観瀑図軸（かざんかんばくずじく）	品　　質	紙本墨画淡彩
作 者 等	謝時臣（1487～?）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・嘉靖39年(1560)	寸 法 等	227.0cm×104.0cm
作品概要	掛幅装、牙軸。高山から流れ落ちる瀑布を描く。謝時臣のよく描いた廬山（江西省）の図像である。		

62　名称	山水図軸（さんすいずじく）	品　　質	紙本墨画
作 者 等	沈仕（1488～1565）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・16世紀	寸 法 等	158.2cm×45.1cm
作品概要	掛幅装、木軸。粗放な筆致で山水を描く。		

63　名称	高士観瀑図扇面（こうしかんばくずせんめん）	品　　質	金箋墨画淡彩
作 者 等	仇英（生没年不詳）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・16世紀	寸 法 等	18.8cm×56.7cm
作品概要	掛幅装、七宝製軸。水榭でくつろぐ高士を描く。		

64　名称	松風流水図扇面（しょうふうりゅうすいずせんめん）	品　　質	紙本墨画
作 者 等	宋登春（生没年不詳）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・16世紀	寸 法 等	19.7cm×57.5cm
作品概要	掛幅装、牙軸。風に吹かれながら林の間を散策する高士を描く。		

65　名称	蘆蟹図軸（ろかいずじく）	品　　質	紙本墨画
作 者 等	徐渭（1521～93）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・16世紀	寸 法 等	72.0cm×32.0cm
作品概要	掛幅装、牙軸。金の文人画家、王庭筠（1156～1202、号は黄華山人）に倣って蘆の生える水辺に2匹の蟹を描き、「九秋（深秋）」と題する。晩年の衰えた筆であることを「一蟹不如一蟹」と自嘲的に記す。		

66　名称	倣米芾山水図軸（ほうべいふつさんすいずじく）	品　　質	紙本墨画淡彩
作 者 等	孫克弘（1532～1611）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・16～17世紀	寸 法 等	94.2cm×30.4cm
作品概要	掛幅装、陶軸。北宋の文人画家、米芾（1051～1107）の「海岳菴図」に倣った山水図。		

67　名称	訪隠図軸（ほういんずじく）	品　　質	紙本墨画
作 者 等	居節（1527～86）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・隆慶5年(1571)	寸 法 等	76.0cm×37.0cm
作品概要	掛幅装、牙軸。居節が王寵（1494～1533）の別荘があった石湖（江蘇省蘇州）を訪れ描いたという山中書斎図。		

68　名称	雲林飛瀑図軸（うんりんひばくずじく）	品　　質	紙本墨画淡彩
作 者 等	莫是龍（1537～87）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・万暦14年(1586)	寸 法 等	110.5cm×26.0cm
作品概要	掛幅装、木軸。山中で思い思いに過ごす高士たちを描く。公理なる人物の桐杏軒を訪れ、興が乗って描いたという作品。		

69　名称	霊芝幽蘭図軸（れいしゆうらんずじく）	品　　質	紙本墨画
作 者 等	陳栝（生没年不詳）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・嘉靖2年(1523)	寸 法 等	145.0cm×34.0cm
作品概要	掛幅装、牙軸。蘭と霊芝を描き、上に七言詩を書く。		

70　名称	穆王駿驥図軸（ぼくおうしゅんきずじく）	品　　質	絹本墨画着色
作 者 等	張龍章（生没年不詳）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・万暦31年(1603)	寸 法 等	132.3cm×60.8cm
作品概要	掛幅装、牙軸。周の穆王が所有していた伝説的名馬8頭のうち、盗驪と山子を描く。		

71　名称	拾得渓山図巻（しゅうとくけいざんずかん）	品　　質	紙本墨画
作 者 等	伝沈周（1427～1509）筆	員　　数	1巻
時　　代	明時代・15～16世紀	寸 法 等	32.6cm×567.5cm
作品概要	巻子装。山水景を描く。		

72　名称	清渓釣艇図軸（せいけいちょうていずじく）	品　　質	絹本墨画淡彩
作 者 等	皇甫渙（生没年不詳）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・嘉靖28年(1549)	寸 法 等	119.5cm×45.6cm
作品概要	掛幅装、木軸。元の文人画家、倪瓚（1301～1374）を連想させる一水両岸構図で山水を描く。墨泉なる人物に贈られたもの。		

73　名称	墨竹図軸（ぼくちくずじく）	品　　質	紙本墨画
作 者 等	顧安（1289～?）筆	員　　数	1幅
時　　代	元時代・14世紀	寸 法 等	94.0cm×32.3cm
作品概要	掛幅装、牙軸。葉をよく茂らせた竹の一枝を描き、「勁節（けいせつ）弥堅（やがた）し（強い節は非常にしっかりとする）」と題する。謝子善なる人物に贈られたもの。		

74　名称	周茂叔愛蓮図軸（しゅうもしゅくあいれんずじく）	品　　質	紙本墨画淡彩
作 者 等	陶成（生没年不詳）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・15～16世紀	寸 法 等	142.5cm×73.5cm
作品概要	掛幅装、木軸。北宋の学者で「愛蓮説」の作者としても有名な、周敦頤（1017～73、字は茂叔）を蓮池と共に描く。東アジアで広く愛された画題である。		

75　名称	巉林遠眺図軸（さんりんえんちょうずじく）	品　　質	紙本墨画淡彩
作 者 等	陳祼（1563～?）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・隆慶3年(1569)	寸 法 等	86.9cm×35.2cm
作品概要	掛幅装、木軸。山林を散策する高士を描き、「巉林遠眺（山頂の木々の下で遠くを眺めやる）」と題する。		

76　名称	十八羅漢図巻（じゅうはちらかんずかん）	品　　質	紙本墨画
作 者 等	王問（1497～1576）筆	員　　数	1巻
時　　代	明時代・16世紀	寸 法 等	27.2cm×367.4cm
作品概要	巻子装。十八羅漢を水墨の草々とした筆致で描く。		

77　名称	停舟吹笛図軸（ていしゅうすいてきずじく）	品　　質	絹本墨画淡彩
作 者 等	銭貢（生没年不詳）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・万暦32年（1604）	寸 法 等	48.0cm×76.8cm
作品概要	掛軸装、牙軸。左手に山中の楼閣、右手に断崖と小舟を浮かべて笛を奏でる漁夫が表わされる。もとは、より大画面の山水図で、右上端の落款部分、右上の山景、右下の水景、左半分の山中の楼閣の景は、もとの作品から切り取られ再接合されたものと推察される。		

78　名称	騎驢尋梅図扇面（きろじんばいずせんめん）	品　　質	金箋墨画淡彩
作 者 等	李士達（生没年不詳）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・万暦47年（1619）	寸 法 等	18.5cm×55.3cm
作品概要	掛幅装、牙軸。五言の題詩に合わせ、雪の中を驢馬に乗って進む高士と梅枝を携えてこれに従う侍童を描く。		

79　名称	霜樹寒鴉図扇面（そうじゅかんあずせんめん）	品　　質	金箋墨画
作 者 等	盛茂燁（生没年不詳）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・万暦46年（1618）	寸 法 等	17.5cm×56.2cm
作品概要	掛軸装、牙軸。枯木にとまる鴉の群れを描く。		

80　名称	秋郊策蹇図扇面（しゅうこうさくけんずせんめん）	品　　質	金箋墨画
作 者 等	盛茂燁（生没年不詳）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・崇禎4年（1631）	寸 法 等	16.0cm×50.0cm
作品概要	掛幅装、牙軸。「秋郊策蹇（策蹇：騎驢のこと）」を題に、山中の楼閣に向かって旅をする高士を描く。		

81　名称	秋山観瀑図軸（しゅうざんかんばくずじく）	品　　質	絹本墨画淡彩
作 者 等	盛茂燁（生没年不詳）筆	員　　数	1幅
時　　代	明時代・崇禎6年（1633）	寸 法 等	176.0cm×102.0cm
作品概要	掛幅装、牙軸。王維（701?～761）の詩「輞川閑居贈裴秀才迪」冒頭二句を題にし、王維詩の世界を翻案して、秋の夕暮れ、山中を散策する高士たちを描く。		

82　名称	倣郭熙江寒雁影図軸（ほうかっきこうかんがんえいずじく）	品　質	絹本墨画淡彩
作 者 等	袁尚統（1570～?）筆	員　数	1幅
時　代	明時代・崇禎15年（1642）	寸 法 等	162.0cm×58.0cm
作品概要	掛幅装、牙軸。七言絶句を題し、その内容に沿った秋の水辺の景観を、郭熙の画風によって描く。		

83　名称	竹石図軸（ちくせきずじく）	品　質	紙本墨画
作 者 等	陳元素（生没年不詳）筆	員　数	1幅
時　代	明時代・17世紀	寸 法 等	144.0cm×58.5cm
作品概要	掛幅装、牙軸。水墨で竹、蘭、奇石を描く。		

84　名称	渓亭訪友図軸（けいていほうゆうずじく）	品　質	紙本墨画淡彩
作 者 等	邵弥（1592?～1642?）筆	員　数	1幅
時　代	明時代・17世紀	寸 法 等	50.0cm×34.6cm
作品概要	掛幅装、木軸。山のふもと、渓流のそばで歓談する高士たちを蘇州文人好みの淡彩で描く。		

85　名称	明清諸名家画便面冊（みんしんしょめいかがべんめんさつ）	品　質	金箋墨画ほか
作 者 等	文徴明（1470～1559）筆ほか	員　数	1冊（12図）
時　代	明～清時代・16～19世紀	寸 法 等	17.7cm×51.6cmほか
作品概要	冊子装。12面の扇面画から成る。		

86　名称	明清諸賢画冊便面（みんしんしょけんがさつべんめん）	品　質	金箋墨画淡彩ほか
作 者 等	周臣（生没年不詳）筆ほか	員　数	1冊（12図）
時　代	明～清時代・16～18世紀	寸 法 等	18.0cm×51.0cmほか
作品概要	冊子装。12面の扇面画から成る。		

87　名称	明清名家扇冊（みんしんめいかせんさつ）	品　質	金箋墨画淡彩ほか
作 者 等		員　数	1冊（10図）
時　代	明～清時代・15～18世紀	寸 法 等	19.8cm×52.2cmほか
作品概要	冊子装。10面の扇面画から成る。		

＜東洋書跡＞(6件)

88　名称	草書李白贈懐素草書歌軸（そうしょりはくぞうかいそそうしょかじく）	品　質	絹本墨書
作 者 等	宋濂（1310～81）筆	員　数	1幅
時　代	明時代・14世紀	寸 法 等	184.4cm×48.8cm
作品概要	掛幅装、木軸。李白(701～762)「贈懐素草書歌」を草書で書く。		

89　名称	行書七言絶句軸（ぎょうしょしちごんぜっくじく）	品　質	絹本墨書
作 者 等	方孝孺（1357～1402）筆	員　数	1幅
時　代	明時代・14世紀	寸 法 等	156.5cm×47.2cm
作品概要	掛幅装、牙軸。七言絶句を行書で書く。		

90　名称	草書五言絶句軸（そうしょごごんぜっくじく）	品　質	紙本墨書
作 者 等	解縉（1369～1415）筆	員　数	1口
時　代	明時代・15世紀	寸 法 等	高7.2cm 底径3.3cm
作品概要	掛幅装、木軸。五言絶句を草書で書く。		

91　名称	草書王珪七言律詩軸（そうしょおうけいしちごんりっしじく）	品　質	灑金箋墨書
作 者 等	張弼（1425～87）筆	員　数	1幅
時　代	明時代・15世紀	寸 法 等	124.6cm×34.7cm
作品概要	掛幅装、牙軸。王珪（1019～85）の七言律詩「上元応制」を草書で書く。		

92　名称	草書西苑詩巻（そうしょせいえんしかん）	品　質	紙本墨書
作 者 等	文徴明（1470～1559）筆	員　数	1巻
時　代	明時代・嘉靖31年（1552）	寸 法 等	28.9cm×453.8cm
作品概要	巻子装。文徴明56歳時の自詠「西苑詩」を83歳時に草書で書く。		

93　名称	行草書文語軸（ぎょうそうしょぶんごじく）	品　質	絹本墨書
作 者 等	王世懋（1536～88）筆	員　数	1幅
時　代	明時代・16世紀	寸 法 等	138.1cm×30.4cm
作品概要	掛軸装、木軸。訓戒の文語を行草書で書く。		

＜東洋彫刻＞(3件)

94　名称	四臂神像（しひしんぞう）	品　　質	安山岩製
作 者 等		員　　数	1軀
時　　代	東部ジャワ期　14～15世紀	寸 法 等	像高67.0cm 横31.5cm 奥行20.0cm
作品概要	安山岩製。舟形光背中央に頭光を負い蓮台上に直立する四臂像。面貌は弓型の眉を盛り上げ上下瞼を刻線で表わす。鼻先欠損。四臂のうち左右第一手を腹前で重ね蓮華をのせる。左右第二手は屈臂し、右人差し指先に炎が立ち上がる輪宝を、右は一部欠失し判別しがたいが、羽飾りのある持物を執る。前立て飾りのついた宝冠を被り、胸飾、臂釧、腕釧、足環、花飾りをつけた聖紐などの豪奢な宝飾品を身につける。裳の折り返した襞、条帛の翻った様を刻出する。火炎を表わす輪宝の表現や、頭光に表わされた上方にたなびく冠紐は東部ジャワ期の彫像全般に認められる。		

95　名称	ガネーシャ像（がねーしゃぞう）	品　　質	火山岩製
作 者 等		員　　数	1軀
時　　代	東部ジャワ期　14～15世紀	寸 法 等	総高66.5cm 横42.0cm 奥行29.5cm
作品概要	やや夾雑物を含んだ硬質白磁胎。鍔縁のある丸皿で、見込みを一段削り込んでいる。底はごく低く高台を削り出しており、総釉。畳付きに砂目が残る。火山岩製。四臂のガネーシャ像。台上に両足裏を向かいあわせて坐り、背には背屏をつくる。ガネーシャはヒンドゥー教のシヴァと妃パールヴァティの子で、知恵、学問、幸福をつかさどる神。本像は右第一手に牙らしき持物、第二手に数珠、左第一手に鉢、第二手に斧を執る。長い鼻先は鉢の中に伸ばす。左肩から右脇には体に巻き付けた蛇を表わす。		

96　名称	ナンディン像（なんでぃんぞう）	品　　質	安山岩製
作 者 等		員　　数	1軀
時　　代	14～15世紀	寸 法 等	総高23.0cm 幅21.0cm 長39.0cm
作品概要	安山岩製。シヴァの乗り物とされる牡牛、ナンディンの単独像。一材から台上に伏せる姿のコブウシを彫出する。全体の仕上げはやや粗く、装身具は認められない。		

＜東洋陶磁＞(1件)

97　名称	白磁飛鉋文有蓋壺（はくじとびかんなもんゆうがいこ）	品　　質	磁製
作 者 等		員　　数	1合
時　　代	北宋時代・11～12世紀	寸 法 等	口径4.1cm　高5.5cm　底径6.4cm
作品概要	夾雑物の混じった白磁胎。やや青みを帯びた透明釉が内外にかかる。肩が丸く、背の低い丸壺で、甲盛りの共蓋がつく。蓋はつまみの形から、蓮葉を伏せた形を陶磁で写したものが簡略化したと推測される。身の胴部には肩から縄目をつけたような文様と、飛鉋によって施された刻文が表わされる。蓋裏と身の底部は露胎である。底にカール・ケンペコレクションを示すシールが貼ってある。		

＜東洋染織＞(13件)

98　名称	カシミヤ・ショール　赤地ペイズリー文様綴織縫い合わせ（かしみや・しょーる　あかじぺいずりーもんようつづれおりぬいあわせ）	品　　質	毛織物、綴織
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	19世紀	寸 法 等	長さ196cm 幅201cm
作品概要	カシミヤ山羊の毛を細く紡ぎ、2/2綾織による綴織で織ったショールである。よくみると、ペイズリー文様ひとつ分など、細かなパーツごとに織りあげたものを縫い合わせていることがわかる。各パーツは、色糸の境目にハツリと呼ばれる隙間が生じないよう、緯糸同士を絡めるダブル・インターロックで織り上げられている。また、周囲には花弁文や花唐草文を刺繍した裂をはぎ合せている。およそ正方形のカシミヤ・ショールであることから、19世紀中ごろのヨーロッパの服飾の流行を反映して製作されたと考えられる。		

99　名称	白地立木文様更紗（しろじたちきもんようさらさ）	品　　質	平織（木綿）、手描き蝋防染・媒染
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	18世紀	寸 法 等	長さ163.5cm 幅159.5cm
作品概要	細く紡いだ木綿糸の平織に、花をつけた立木文様を手描き技法で染め出した、ヨーロッパ向け輸出用インド更紗である。黒い輪郭線は鉄媒染、赤の濃淡はアルミニウム媒染の茜染めで、藍はろうけつ染めによるものと考えられる。線やグラデーションは繊細であり、高い技術を以て染めが施されている。現状では立木の一部の周りをコの字状に花唐草文が囲っているが、本来は土坡から生える1本の樹木を大きく染め出した更紗であったと考えられる。		

100　名称	浅葱仏坐像文様緞子（あさぎぶつざそうもんようどんす）	品　　質	緞子（絹）
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	19世紀	寸 法 等	長さ65.5cm 幅42cm
作品概要	非常に細い絹糸を用い、裂の中央部分に文様を織り出した緞子。経五枚繻子地に、緯五枚繻子でチベット仏教の冠を戴き、蓮華に座して印を結ぶ人物像が織り表される。加えて、上方には天蓋や瓔珞、下方には雲文を表す。寺院内の荘厳に用いられたか、あるいは式事に贈られるカターの可能性が考えられる。		

101　名称	祈祷用敷物　淡茶地立木文様（きとうようしきもの　うすちゃじたちきもんよう）	品　　質	平織（羊毛）、紋織、パイル織
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	20世紀	寸 法 等	長さ120cm 幅71.5cm ； 房 長さ9cm
作品概要	中央に立木文様を織り出した敷物である。経糸と緯糸の両方に羊毛を用い平織とした地に、緯糸を結び付け輪奈を作り、それを裁断し起毛させたパイル織で文様を表している。両端の黒と白のラインは、2色1組の緯糸を使い、一方の糸を表面で平織とし、もう一方を裏面で浮かせた紋織によるものである。寸法や文様から、イスラム教の祈祷用に用いられたものと考えられる。		

102　名称	食卓布　段菱繋文様（しょくたくふ　だんひしつなぎもんよう）	品　　質	綾織（山羊毛）、綴織
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	20世紀	寸 法 等	長さ104cm 幅61cm ； 房 長さ5.5cm
作品概要	中央に菱形、端には縞や段文様を織り出した敷物である。経糸と緯糸の両方に山羊毛を用い、経三枚綾の綾流れを変えることで、全体に細かな入子菱文を織り表わしている。中央部分の菱形は、緯糸同士をからめた綴織を用いて表す。寸法や松島氏による作品タグからバローチの人々が食事の際に用いた、食卓布であったと考えられる。		

103　名称	扉飾り　象花幾何文様（とびらかざり　ぞうはなきかもんよう）	品　　質	平織（木綿）、刺繍
作 者 等		員　　数	2枚
時　　代	20世紀	寸 法 等	長さ150.5cm 幅50cm
作品概要	白色の木綿の平織を台裂とし、色とりどりの木綿糸で刺繍した扉飾りである。チェーンステッチとクロスステッチを駆使し、裏面にはほぼ糸を渡さずに花文や象文様を表す。裂の縁は別裂で縁どられており、下方には房飾りをつける。インドでサンキアと呼ばれる、魔よけや運を呼び込むためのL字型の扉飾りであり、長辺が内側となるように、入り口の左右に掛けられていたものと考えられる。		

104　名称	袋物　幾何文様ミラー刺繍（ふくろもの　きかもんようみらーししゅう）	品　　質	平織（木綿）、刺繍（絹）、撚銀糸
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	20世紀	寸 法 等	長さ20cm 幅14.5cm
作品概要	赤色の平織の木綿の裂に、絹糸で刺繍を施した袋物である。凹凸のある菱形は糸を平行に挿し連ねるサテンステッチで表しており、境目には、銀箔を絹糸に巻き付けた撚銀糸を留め付けている。また、ボタンホールステッチを用い小さな鏡を留めた、ミラー刺繍を施している。		

105　名称	刺繍裂（ししゅうぎれ）	品　　質	平織（木綿）、刺繍（絹）
作 者 等		員　　数	4枚
時　　代	20世紀	寸 法 等	1 長さ18.5cm 幅14cm ； 2 長さ29.5cm 幅8cm ； 3 長さ29cm 幅9.5cm ； 4 長さ25cm 幅5.5cm
作品概要	いずれも平織の木綿地に、絹糸で刺繍した裂である。チェーンステッチを用い、幾何学文や花文様を表し、さらにボタンホールステッチで鏡を縫い留める、ミラー刺繍を施す。とりわけ、白い大きな花文はメグワールに認められる特徴であり、インド北西部からパキスタン・シンドにかけて、女性の衣装の胸パネル等に使用されていた刺繍の断片と考えられる。		

106　名称	袋物　山形文様（ふくろもの　やまがたもんよう）	品　　質	平織（木綿）、刺繍（絹）
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	20世紀	寸 法 等	長さ51cm 幅9cm
作品概要	表地が見えなくなるほど、刺繍を施した小袋である。色とりどりの絹糸を用い、針目を整然と揃えながら山形文様を刺し表す。裂の輪を底とし、半分にたたんだ裂の両脇を縫い留めることで袋をつくっている。周囲にはビーズを通した絹糸を配し、房飾りをつける。虫除けを意図して人々が目の周りにつけるための、アンチモニーのケースと考えられる。		

107　名称	飾り紐（かざりひも）	品　　質	木綿、絹、貝
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	20世紀	寸 法 等	長さ18cm 幅7cm
作品概要	多色の木綿糸を、芯に巻きつけて製作された飾り紐である。中央部には赤色の裂で包まれた円形の芯があり、そこから色糸の房やビーズで飾られたコードが垂下する。上部が輪状になっており、女性の髪を編んだ先につける髪飾りと考えられる。		

108　名称	帯　山形文様銀モール（おび　やまがたもんようぎんもーる）	品　　質	経浮紋織（絹）、撚銀糸
作 者 等		員　　数	1条
時　　代	20世紀	寸 法 等	畳んだ状態 長さ35cm 幅8cm
作品概要	経糸に紫色の絹糸を、緯糸に銀モール糸を用いた帯である。緯糸は絹糸を芯とし、銀を巻きつけたもので、一越に2本を引き揃えて織り入れる。経糸はモール糸を平とじとしつつ、文様に応じて浮かせることで山形文や幾何学文を表す。織幅が狭いことから、帯として用いられたと考えられる。		

109　名称	ビーズワーク（びーずわーく）	品　　質	ビーズ、貝
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	20世紀	寸 法 等	長さ37.5cm 幅16.5cm
作品概要	S撚りにした茶色の木綿糸に、ブリックステッチで色とりどりのビーズを繋ぎ、菱繋ぎ文様を表した飾りである。下方にはコヤスガイをつけフリンジとする。同色の菱文を縦に連続させ、白のビーズで縁どる特徴は、ナイジェリア北部やカメルーンに暮らすキルディ族の腰巻などに認められる。本作も西アフリカで用いられた、身体装飾の一部の可能性が考えられる。		

110　名称	儀礼用布　菱文様ミラー刺繍（ぎれいようふ　ひしもんようみらーししゅう）	品　　質	木綿、絹、アップリケ、刺繍
作 者 等		員　　数	2枚
時　　代	20世紀	寸 法 等	1 長さ39cm 幅38cm ； 2 長さ37.5cm 幅37cm
作品概要	白色の木綿の平織を台裂とし、色とりどりの絹地をアップリケとし4つの菱文を表す。その上にはチェーンステッチで幾何学文を刺繍し、加えて、ボタンホールステッチで鏡を取り付けるミラー刺繍を施す。一辺約40cmの正方形の裂であることから、儀礼時に贈り物や食べ物に掛けられたルマールと呼ばれる掛布と考えられる。		

＜東洋考古＞(8件)

111　名称	有蓋高杯（ゆうがいたかつき）	品　　質	土製
作 者 等		員　　数	1合
時　　代	三国時代(加耶)・5世紀前半	寸 法 等	高杯 高16.7cm 口径12.1cm 底径11.8cm ； 蓋 高6.3cm 口径15cm
作品概要	有蓋三角透窓高杯。焼成状態は良好で、暗灰色を帯びる。胎土は細かい砂粒を含んでおり、器壁は厚めで手取りはやや重い。杯部は平坦な底部から胴部はゆるやかに立ち上がる。蓋受けは短く水平に突出し、口縁部は外反気味に内傾する。脚部は円筒形に近く細身だが、脚裾部に下がるにつれて曲線的に開く。脚部には頂点が鋭く尖る三角形透窓が3方向に開けられており、透窓直下には回転ケズリによって作出した突帯が１条廻る。 蓋は形態が杯部とほぼ同形で、内面には自然釉が付着している。つまみは中実つまみで、基部は外反しながら立ち上がり、上面を平坦に仕上げる。蓋の上面にはつまみを中心に櫛状工具を繰り返し押し当てた文様が廻る。 三角透窓は加耶地域の特徴で、特に咸安道項里古墳14号・36号墳(現在の末伊山古墳群)出土品と形態および装飾の類似が認められる。		

112　名称	蓋（ふた）	品　　質	土製
作 者 等		員　　数	1個
時　　代	三国時代(新羅)・6世紀中葉	寸 法 等	高4.5cm 口径10.9cm
作品概要	高杯などに伴う蓋と推定される。焼成が甘く軟質で、灰白色を帯び、胎土には砂粒を少量含む。蓋は上面に平坦面を持ち、ゆるやかな稜を描きながら浅い碗形を呈する。口縁部は外端を弱く折り込んだのち、直立する。つまみは中実つまみで、基部は外反しながら立ち上がる。つまみの上部は左右水平に広がり、上面は中央がくぼむ。内面には回転ナデ、外面には回転ケズリと回転ナデの痕跡が確認される。		

113　名称	蓋（ふた）	品　　質	土製
作 者 等		員　　数	1個
時　　代	三国時代(新羅)・6世紀中葉	寸 法 等	高4.9cm 口径10.7cm
作品概要	高杯などに伴う蓋と推定される。焼成状態は良好で、暗灰色を帯び、胎土は精製されている。蓋は上面に平坦面を持ち、ゆるやかな稜を描きながら浅い碗形を呈する。口縁部は外端を弱く折り込んだのち、直立する。つまみは中実つまみで、基部は外反しながら立ち上がる。つまみの上部は左右水平に広がり、中央がわずかに突出する。内面には回転ナデ、外面には回転ケズリ、回転ナデの痕跡が確認できる。		

114　名称	広口短頸壺（ひろくちたんけいつぼ）	品　　質	土製
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	三国時代(新羅)・6世紀中葉	寸 法 等	総高12.7cm 口径10.7cm 胴径14.5cm 底径7.7cm
作品概要	広口短頸壺。焼成状態は良好で、灰白色を帯びる。胎土は砂粒を少量含むが、精製されている。底部は平底で、底部から胴部にかけて緩やかに立ち上がる。肩部直下に胴部最大径が位置し、肩部から頸部にかけて平坦気味に仕上げる。頸部は直立し、口縁部は直角気味に折れ、口唇部は凹状をなす。内外面には強いロクロ痕が残っており、叩きの痕跡は確認できない。胴部外面下部には横方向のケズリによる器形調整痕が残る。側面には薄い自然釉が付着する。		

115　名称	台付長頸壺（だいつきちょうけいつぼ）	品　　質	土製
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	三国時代(新羅)・6世紀中葉	寸 法 等	総高19.2cm 口径10.1cm 胴径13.9cm 底径9.3cm
作品概要	台付長頸壺。焼成状態は良好で、灰白色を帯びる。胎土は砂粒を少量含むが、精製されている。壺の底部はやや平たい丸底を呈し、胴部は横に張り出してふくらみ、頸部にかけてゆるやかに窄まる。口縁部は直立し、口唇部先端を鋭くおさめる。脚部は基部の径が小さく下方に向かって直線的に広がり、端部を玉縁状に仕上げる。脚部は4方向に長方形の透窓が開けられており、鉤状の道具を用いて右下から時計回りに一筆で粘土を切り取っている。口縁直下に2条、頸部と透窓の直下に1条の突帯が回転ケズリによって作出され、肩部には浅い沈線が1条廻る。		

116　名称	印花文碗（いんかもんわん）	品　　質	土製
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	統一新羅時代・7世紀後半	寸 法 等	高5.3cm 口径10.8cm 底径5.8cm
作品概要	印花文を施した台付碗である。焼成状態は良好で、暗灰色を帯びる。胎土は精製されている。高台は内傾気味に取り付けられ、胴部は半球状を呈し、口縁部は直立する。口唇部は内傾しながら端部を溝状に仕上げている。胴部外面には印花文が横方向に4条廻り、印花文は馬蹄形である。1つずつ密に押されているが、線は細く浅い。口縁直下には沈線が2条廻る。内面には回転ナデの痕跡が確認され、高台は貼付である。高台の周囲にはケズリの痕跡が観察される。		

117　名称	女性土偶（じょせいどぐう）	品　　質	土製
作 者 等		員　　数	1個
時　　代	中期青銅器時代・前2000～前1600年頃	寸 法 等	
作品概要	厚みのない板状の女性土偶である。両腕を水平方向に広げ、両脚は中央の溝によって表現されている。頭部が特徴的であり、仮面のような顔に、丸い目を貼り付け、長細い鼻をつまみ出している。耳から頭にかけての部分が様式化され、四隅には別づくりの装身具をつけるための孔があいている。		

118　名称	女性土偶（じょせいどぐう）	品　　質	土製
作 者 等		員　　数	1個
時　　代	中期青銅器時代・前2000～前1600年頃	寸 法 等	高6.8cm 幅5.4cm
作品概要	厚みのない板状の女性土偶である。両腕を水平方向に広げ、胸に乳房が表現されるタイプである。頭部には鉢巻状の装身具、特徴的な丸い目と長細い鼻が表現されている。耳から頭にかけての部分は様式化され、四隅には別づくりの装身具をつけるための孔があいている。		

（２）編入（2件）

＜刀剣＞1件、＜考古＞1件

1～2　名称	太刀　「神息」と銘がある　ほか（たち　「しんそく」とめいがある　ほか）	員　　数	2件
作品概要	過去に列品として登録されていたが、誤記により台帳から削除された作品のうち、令和6年度に行った列品情報調査の結果、存在が確認された作品2件。		

【京都国立博物館】（計67件）

（１）購入（7件）

＜絵画＞（4件）

1　名称	合戦図屏風（かっせんずびょうぶ）	品　　質	紙本金地著色
作 者 等	狩野永良筆	員　　数	6曲1双
時　　代	江戸時代　18世紀	寸 法 等	各縦158.7cm　横357.8cm
作品概要	いずれの合戦を主題とするのかは不明だが、京狩野第6代永良の数少ない大画面作品として貴重。武者絵という主題も永良としては類例がなく珍しい。日本画家川村曼舟の旧蔵品で、かつて祇園祭宵山の屏風祭で公開されていたこともある京都ゆかりの作品である。		

2　名称	上田秋成像（うえだあきなりぞう）	品　　質	紙本著色
作 者 等	甲賀文麗筆	員　　数	1幅
時　　代	江戸時代　19世紀	寸 法 等	縦86.cm0　横30.0cm
作品概要	上田秋成の肖像画として早くから著名な作で、富岡鉄斎らによる模本が複数作られている。上部に秋成自筆の賛が貼られており、自著の草稿を廃棄した際の心情が綴られる。国文学者の山脇毅旧蔵で、2010年に当館で開催した上田秋成展にも出品された。		

3　名称	高士観瀑図　附西遊紀行　1帖 （こうしかんばくず　つけたりさいゆうきこう　いちじょう）	品　　質	紙本著色
作 者 等	青木木米筆	員　　数	1幅
時　　代	江戸時代　寛政10年（1798）	寸 法 等	縦20.5cm　横11.5cm
作品概要	木米の絵画作品のうち、もっとも早い年記を有する。本図がもと収められていた画帖には月僊や本居宣長らが名を連ねており、その交友関係を知る資料としても貴重である。		

4　名称	六字経曼荼羅図像断簡（ろくじきょうまんだらずぞうだんかん）	品　　質	紙本墨画
作 者 等		員　　数	1幅
時　　代	鎌倉時代　13世紀	寸 法 等	縦64.1cm　横51.7cm
作品概要	六字経法は平安時代後期に日本で発達を遂げた修法で、本図はその本尊画像の図像の断簡。六観音を円相の中に配する真言宗小野流系統の図像で、その中心であった醍醐寺伝来とされる。近代の古美術蒐集家として知られる武藤山治の旧蔵。		

＜陶磁＞（2件）

5　名称	色絵金彩菊文虫籠形三段重（いろえきんさいきくもんむしかごがたさんじゅうだん）	品　　質	施釉陶器
作 者 等		員　　数	1合
時　　代	江戸時代　18世紀	寸 法 等	高24.7cm　幅18.1×20.5cm
作品概要	青と緑、そして金の三色ではあるが、多彩な様子に仕上げられた色絵金彩の段重。いわゆる古清水とよばれるもので、透かし彫りを行い虫籠形に仕上げている。内側に金彩が施され、下段には三つの脚が付けられている。底裏に判読不明であるが墨書がみられる。京焼の中でも代表的な形状のもので、当館に所縁のある上田堪一郎氏旧蔵。		

6　名称	色絵金彩菊丸文虫籠形三段（いろえきんさいきくまるもんむしかごがたさんじゅうだん）	品　　質	施釉陶器
作 者 等		員　　数	1合
時　　代	江戸時代　18～19世紀	寸 法 等	高18.8cm　幅12.8×14.5cm
作品概要	前述の色絵金彩段重と同タイプであるが、やや小ぶりとなるもの。前述のものと同じく虫籠をモチーフにしたものであるが、形状に大小あることがわかることも貴重である。赤絵が施されており、その鮮やかな色調や青と緑の色絵が基調となっており、京都市内における出土事例などからも18世紀末から19世紀にかけて作られたものと考えられる。当館に所縁のある上田堪一郎氏旧蔵。		

＜漆工＞（1件）

7　名称	楼閣山水蒔絵角徳利（ろうかくさんすいまきえかくどっくり）	品　　質	木製、漆塗、蒔絵
作 者 等		員　　数	4本
時　　代	江戸時代　17世紀	寸 法 等	（各）縦6.9cm　横7.6cm　高15.5cm
作品概要	神聖ローマ帝国ブラウンシュヴァイク＝ヴォルフェンビュッテル公爵家のアントン・ウルリッヒ(1633-1714)がかつて所蔵した蒔絵の箱入りの6本揃いの角徳利の一部と推定される品。同コレクションには2本のみが現存する。箱入りの角瓶セットはVOCが香油や酒などを入れて贈答品とした。瓶はガラスや磁器製が多い。本品は吹きガラスの形状を木製で忠実に模し、縁取り文のなかに楼閣山水図や花鳥図を平蒔絵で表す。17世紀後半に西洋で人気を博した輸出漆器の特徴をよく示すと同時に、グローバル時代に各地の技法で同じ形の高級工芸品が作られたことを物語る。		

（２）寄贈（60件）

＜絵画＞（9件）

8　名称	帝堯・四季耕作図（ていぎょう・しきこうさくず）	品　　質	絹本著色
作 者 等	狩野典信筆	員　　数	3幅
時　　代	江戸時代　18世紀	寸 法 等	各縦100.0cm　横43.8cm
作品概要	勧戒画として成立した耕作図を、理想の君主とされた帝堯と組み合わせた作で、大名道具として誂えられたと見て間違いない。耕作図は、既白本の図像系統に連なることが明らかで、耕作図像の流布状況を知る上でも興味深い。		

9　名称	「花守の」自画賛（「はなもりの」じがさん）	品　　質	紙本墨画
作 者 等	与謝蕪村筆	員　　数	1幅
時　　代	江戸時代　18世紀	寸 法 等	縦104.4cm　横28.6cm
作品概要	55歳にして俳諧の宗匠となった与謝蕪村の自画像。自賛には「花守の 身は弓矢なき 案山子かな」の句が記される。この句は蕪村が文台開きに際し詠んだ発句で、自らを案山子になぞらえて謙遜するもの。裏面に、江森月居および寺村百池の墨書がある。		

10　名称	韃靼人狩猟図屏風（だったんじんしゅりょうずびょうぶ）	品　　質	紙本墨画淡彩
作 者 等	雲谷等與筆	員　　数	6曲1双
時　　代	江戸時代　17世紀	寸 法 等	各縦153.8cm　横350.4cm
作品概要	雲谷等顔の孫で、雲谷宗家三代目を継いだ等與の作。雲谷派が得意とした韃靼人狩猟図の一典型を示す佳品である。		

11　名称	松竹群鶏図屏風（しょうちくぐんけいずびょうぶ）	品　　質	紙本金地墨画
作 者 等	鈴木百年筆	員　　数	6曲1双
時　　代	明治14年（1881）	寸 法 等	各縦155.0cm　横358.6cm
作品概要	幕末明治期の京都画壇において重要な位置を占める鈴木百年の大作。諸派を折衷した百年の一つの典型様式を示すが、檀紙に箔を貼って総金地としている点が珍しい。		

12　名称	弾琴図（だんきんず）	品　　質	絹本著色
作 者 等		員　　数	1幅
時　　代	清・17～18世紀	寸 法 等	144.0×30.6cm
作品概要	唐時代・太宗（李世民）が皇帝即位前に設置した「文学館」を舞台とした、いわゆる十八学士を主題とする。士大夫のたしなみとして“琴棋書画（四芸合一）”に興じる姿が描かれ、本図もその一場面であり、4幅対を成していたものの１幅とみられる。画風は明時代中・後期の表現に通じるが、やや形骸化が進んでおり、清朝・17～18世紀に下る蘇州片のような商業的に量産された複製品のひとつであろう。		

13　名称	相伴看山図草稿（そうはあんかんざんずそうこう）	品　　質	紙本墨画
作 者 等	斉白石筆	員　　数	1幅
時　　代	中華民国・20世紀	寸 法 等	97.5×30.6cm
作品概要	館蔵の「相伴看山図」（A甲1019）の草稿。斉白石の絵画は一見すると自由な運筆の文人画的表現のようにも見えるが、実際には構図や造形のバランスなど、賛に至るまで草稿の段階で綿密に計算している様子を知ることが出来る、貴重な資料である。		

14　名称	山水帖（全十二図）（さんすいじょう）	品　　質	紙本墨画淡彩
作 者 等	朱昂之筆	員　　数	1冊
時　　代	清・道光10年（1830）	寸 法 等	各21.9×32.1cm
作品概要	朱昂之（1764～1841）の晩年に近い作例。いずれの図も宋元明の大家の法をとる倣古山水をなす。若年の柔らかで瑞々しい筆致から、後年は細くするどい線を重ねて山や岩の肌を作り、頂上をやや誇張してとがらせるような独自の表現を追求していく。本図にもその特徴がよく表れている。交友のあった銭泳（1759～1844）の題箋をともなう。		

15　名称	墨梅帖（全十二図）（ぼくばいじょう）	品　　質	紙本墨画
作 者 等	朱昂之筆	員　　数	1冊
時　　代	清・19世紀	寸 法 等	各24.1×25.2cm
作品概要	款記がないため制作年は不明であるが、館蔵の朱昂之筆「墨蓮図」（A甲333）と比べると自在な運筆には切れがあり、後年に近い作品ではないかと思われる。梅に添えられた岩の表現などにやや誇張のあるとがった形が表れており、朱昂之独自の味わいを持つ作例。		

16　名称	墨梅帖（全八図）（ぼくばいじょう　ぜんはちず）	品　　質	紙本墨画
作 者 等	達受（六舟）筆	員　　数	1冊
時　　代	清・道光23年（1843）	寸 法 等	各26.5×35.5cm
作品概要	達受（1791～1858）は清朝後期に活躍した僧侶で、青銅器や古碑など金石の膨大な蒐集とともに鑑識や拓本づくりに優れ、阮元（1764-1849）に「金石僧」と称えられた。絵画では墨竹や墨梅を得意とし、書法的な運筆が画法にも通底している。清朝中期の揚州八怪以降、近代の呉昌碩（1844-1927）に至るまでの画梅の展開をつなぐ貴重な作例。中華民国2年（1913）の呉昌碩による題箋をともなう。		

＜書跡＞（2件）

17　名称	松平不昧書状　正月九日付　六月暑中付　九月十日付　五月廿一日付（まつだいらふまいしょじょう　しょうがつここのかづけ　ろくがつしょちゅうづけ　くがつとおかづけ　ごがつにじゅういちにちづけ）	品　　質	紙本墨書
作 者 等		員　　数	4通
時　　代	江戸時代（18～19世紀）	寸 法 等	正月九日付　15.8×49.6cm、六月暑中付　15.8×89.6cm、九月十日付　15.5×101.8cm、五月廿一日付　15.2×131.0cm
作品概要	出雲松江藩主であり茶人として著名な松平不昧（1751～1818）から、丹波福知山藩主の朽木昌綱に宛てた手紙。附属する包紙によれば本来、25通あったようだが、4通のみが残る。両者の交流、なかで茶室の造営やも掛物（墨蹟）の値段、茶碗や茶入についての指南など、茶事にまつわる内容が多い。とくに、茶入として名のあがる「妹背山」「野田」「翁」「畠山」「広沢」は、不昧が著書『古今名物類聚』や『瀬戸陶器濫觴』において、唐物についで重視した瀬戸のもので、当時の価値観をうかがい知ることが出来る。		

18　名称	円山主水書状　附 子々書状 一通　十二月即刻付　正月廿八日付　七月廿一日付　正月七日付　九月廿三日付　十月二日付　二月三日付（まるやまもんどしょじょう　つけたり　ねねしょじょう　いっつう　じゅうにがつそっこくづけ　しょうがつにじゅうはちにちづけ　しちがつにじゅういちにちづけ　しょうがつなのかづけ　くがつにじゅうさんにちづけ　じゅうがつふつかづけ　にがつみっかづけ）	品　　質	紙本墨書
作 者 等		員　　数	7通
時　　代	江戸時代（19世紀）	寸 法 等	二月即刻付　15.9×68.2cm、正月廿八日付　18.0×80.7cm、七月廿一日付　17.6×66.7cm、正月七日付　16.6×102.2cm、九月廿三日付　17.9×71.8cm、十月二日付　16.0×53.2cm、二月三日付　15.9×84.1cm
作品概要	円山主水が小津与右衛門に宛てた手紙。「主水」を名乗る円山は応挙がよく知られているが、文中に登場する人名から、孫の応震（1790～1838）と考えられる。宛所の小津家は応挙のコレクターとして著名な伊勢松阪の豪商で、当該期の当主は久足（桂窓、1804～58）であろう。内容は詠草や菓子の献上、双方の往来といった両家の交流以外に、作品の売却仲介、絵の模写や画料の受け取りなど、同家のコレクションが散逸した現在となっては、その一端を垣間見ることが出来る点で重要である。		

＜彫刻＞（1件）

19　名称	厨子入方形三尊塼仏（ずしいりほうけいさんぞんせんぶつ）	品　　質	厨子：木製、漆塗 塼仏：土製
作 者 等		員　　数	1基
時　　代	飛鳥時代 7世紀	寸 法 等	厨子：幅24.5cm　奥行16.0cm　高37.5cm
作品概要	飛鳥時代（7世紀後半）に奈良県明日香村周辺で造られた塼仏を江戸時代末期とみられる厨子に納めた作品で、京都の旧家に伝来した。南法華寺や橘寺、川原寺裏山遺跡から出土した方形三尊塼仏と同型である。方形三尊塼仏の大多数が破片もしくは断裂したものを再度接着しているなかで、本作は細かな表面の補修はあるがほぼ完形を留めており、図様も極めて鮮明である。		

＜金工＞（16件）

20　名称	太刀　銘備前国長船住義景 （たち　めいびぜんのくにおさふねじゅうよしかげ）	品　　質	鉄製、鍛造
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	鎌倉時代　14世紀	寸 法 等	刃長74.2cm
作品概要	重要文化財。鎌倉時代の備前国長船派・義景の長巻ないし薙刀を磨上げて刀としたもの。仙台藩主伊達家伝来。		

21　名称	太刀　銘備中以下切（たち　めいびっちゅういかきれ）	品　　質	鉄製、鍛造
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	鎌倉～南北朝時代　14世紀	寸 法 等	刃長71.5cm
作品概要	重要文化財。鎌倉～南北朝時代の備中国青江派の刀工による太刀。福岡藩主黒田家伝来		

22　名称	刀　折返銘正恒（かたな　おりかえしめいまさつね）	品　　質	鉄製、鍛造
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	平安時代　12世紀	寸 法 等	刃長67.8cm
作品概要	重要美術品。平安時代末の備前国古備前派・正恒による太刀を磨上げて刀としたもの。仙台藩主伊達家伝来。		

23　名称	刀　額銘則包（かたな　がくめいのりかね）	品　　質	鉄製、鍛造
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	鎌倉時代　13世紀	寸 法 等	刃長72.5cm
作品概要	鎌倉時代の備前国福岡一文字派・則包による太刀を磨上げて刀としたもの。本多忠直佩用。		

24　名称	太刀　無銘（たち　むめい）	品　　質	鉄製、鍛造
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	鎌倉時代　13世紀	寸 法 等	刃長69.4cm
作品概要	鎌倉時代の備前国吉岡一文字派の刀工の手によると思われる太刀を磨上げて刀としたもの。		

25　名称	短刀　銘則重（たんとう　めいのりしげ）	品　　質	鉄製、鍛造
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	鎌倉時代　14世紀	寸 法 等	刃長25.4cm
作品概要	鎌倉時代の越中国・則重の手による短刀。		

26　名称	短刀　無銘（むめい）	品　　質	鉄製、鍛造
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	南北朝時代　14世紀	寸 法 等	刃長43.6cm
作品概要	南北朝時代の山城国・信国の手によると思われる短刀。		

27　名称	短刀　銘日州住藤原国広／天正十七年八月日 （たんとう　めいにっしゅうじゅうふじわらのくにひろ／てんしょうじゅななねんはちがつじつ）	品　　質	鉄製、鍛造
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	室町時代　天正17年（1589）	寸 法 等	刃長37.2cm
作品概要	山城国堀川派・国広が上京以前に製作した短刀。毘沙門天の刀身彫刻と天正17年の紀年銘が貴重。		

28　名称	四季花鳥色紙図三所物（しきかちょうしきしずみところもの） 小柄 銘後藤光晃（花押） 笄 銘後藤光晃（花押） 目貫 際端銘光／晃	品　　質	銅製、鍛造、鍍金、色絵
作 者 等		員　　数	1組
時　　代	江戸時代　19世紀	寸 法 等	小柄：長9.7cm、笄：長21.1cm
作品概要	後藤家十六代・後藤光晃（方乗）による小柄、笄、目貫から成る三所物。		

29　名称	三福神豊漁図三所物（さんふくじんほうりょうずみところもの） 小柄 銘山崎一賀（花押） 笄 銘山崎一賀（花押） 目貫 短冊銘山崎／一賀	品　　質	銅製、鍛造、鍍金、色絵
作 者 等		員　　数	1組
時　　代	江戸時代　19世紀	寸 法 等	小柄：長9.6cm、笄：長21.2cm
作品概要	後藤就乗の弟子・山崎一賀による小柄、笄、目貫から成る三所物。		

30　名称	短刀　無銘（号瀬登剣）（たんとう　むめい　こうせのぼりけん）	品　　質	鉄製、鍛造
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	室町時代　15世紀	寸 法 等	刃長 20.6 cm
作品概要	京都・熊野若王子神社伝来の短刀。桃山時代の院主・澄真が大峯入峯時に携え霊験をあらわしたと伝わる。		

31　名称	短刀　銘正宗（たんとう　めいまさむね）	品　　質	鉄製、鍛造
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	鎌倉時代　14世紀	寸 法 等	長 23.9 cm
作品概要	鎌倉時代の相模国・正宗による短刀。5例（太刀1、短刀4）しかない在銘作例の一つであり、極めて貴重。本庄家伝来。		

32　名称	短刀　銘村正（たんとう　めいむらまさ）	品　　質	鉄製、鍛造
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	室町時代　16世紀	寸 法 等	刃長 23.6 cm
作品概要	室町時代の伊勢国・村正による短刀。		

33　名称	金銅五鈷杵（こんどうごこしょ）	品　　質	銅製、鋳造、鍍金
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	鎌倉時代　13世紀	寸 法 等	長 15.6 ㎝
作品概要	鎌倉時代の五鈷杵。彫刻家・佐藤玄々（朝山）旧蔵。		

34　名称	鉄鏡　銘智仁　大正四年七月吉日　帝室技芸員月山貞一謹作（てつきょう　めいちじん　たいしょうよねんしちがつきちじつ　ていしつぎげいいんがっさんさだかずきんさく）	品　　質	鉄製、鍛造
作 者 等		員　　数	1面
時　　代	大正4年（1915）	寸 法 等	面径10.6cm
作品概要	帝室技芸員・月山貞一による鉄製鏡。		

35　名称	刀装具脂型（とうそうぐやにがた）	品　　質	樹脂
作 者 等		員　　数	1括
時　　代	江戸時代　19世紀	寸 法 等	―――
作品概要	後藤家伝来と伝わる刀装具の見本。もともとは京博所蔵のE乙34「彫金工具」.35「装剣小道具彫金型見本」と同じ家のものと考えられる。		

＜陶磁＞（23件）

36　名称	色絵雲鶴文福字茶碗（いろえうんかくもんふくじちゃわん）	品　　質	色絵磁器
作 者 等	永樂保全作	員　　数	1口
時　　代	江戸時代　19世紀	寸 法 等	高6.2cm　口径12.3cm　高台径4.5×4.3cm
作品概要	江戸後期の京焼の名工、永樂保全作の茶碗である。保全は文人趣味の流行に従い、金襴手、祥瑞、交趾、呉須赤絵などの中国陶磁、そして仁清、古清水など伝統的な京焼などのを写しものを多く手掛けている。本作は胴部に赤絵で雲鶴文が描かれており、見込みに「福」の字が彫られている。赤絵は中国陶磁の呉須赤絵を模したもので、描かれている雲鶴文は朝鮮陶磁によくみられる文様であり、本作は中国陶磁、朝鮮陶磁の特徴的な技法や文様をを組み合わせてつくられている。		

37　名称	色絵梅花鳥文入隅四方皿（いろえばいかちょうもんいりずみよほうざら）	品　　質	色絵磁器
作 者 等	竹内吟秋作	員　　数	1枚
時　　代	明治～大正時代　19～20世紀	寸 法 等	高3.1cm　口径18.6×18.7cm　高台径11.7×11.9cm
作品概要	いわゆる古九谷とよばれる色絵磁器を写した四方皿である。銘などは見られないが、同手の色違いの皿が京都国立博物館(G甲38)に所蔵されており、石川の陶工竹内吟秋の作とわかる。吟秋は京都や東京で陶芸技術を学び、古九谷復興に尽力した人物である。画題や絵付けなど古九谷を再現したかのような仕上がりであり、その技術の高さがうかがえる。		

38　名称	色絵金彩赤壁賦図鉢（いろえきんさいせきへきふずはち）	品　　質	色絵磁器
作 者 等	永樂和全作	員　　数	1口
時　　代	江戸～明治時代　19世紀	寸 法 等	高9.3cm　口径14.0cm　高台径6.8cm
作品概要	永樂保全の後を継いだ和全の作。保全とともに、金襴手、交趾写し、呉須赤絵写しなど、中国陶磁の技法を取り入れた優品を多く作り出している。本作は胴部に北宋時代の詩人蘇軾が読んだ赤壁賦を記し、その情景を描いたものである。中国でも同様のものが五彩や青花の作品がみられ、また江戸時代、文人趣味が流行するなかで日本でも数多く写しものが作られている。高台内には紀州徳川家から拝領した「海濱支流」の丸枠印が捺されている。		

39　名称	鉄絵堇文八角皿（てつえすみれもんはっかくざら）	品　　質	施釉陶器
作 者 等		員　　数	１枚
時　　代	桃山時代　17世紀	寸 法 等	高4.1cm　口径17.0×17.1cm　高台径5.7cm
作品概要	見込みに鉄絵で流暢な筆遣いによる堇の文様が描かれた八角皿である。宴席用の食器で本来は10枚、20枚と組み皿になっていたものと思われる。元和年間（1615 - 24）を中心に桃山陶器が大量にしている京都市中京区三条通界隈からも同手のものが出土しており、桃山時代に本作のようなやきものが京都において流行していたことがわかる。		

40　名称	赤楽菊文香合（あからくきくもんこうごう）	品　　質	施釉陶器
作 者 等	樂了入作	員　　数	1合
時　　代	江戸時代　19世紀	寸 法 等	高2.7cm　口径3.0cm　底径1.2cm
作品概要	江戸時代、楽焼の名工として知られる樂了入の作の香合である。本作は共箱に「翫土老人」の隠居印がおされており、文化8年(1811)に隠居した後につくられたことがわかる。了入は箆削りや釉使いに長けており、本作も小ぶりなものであるがその様子がよく表されたものといえよう。		

41　名称	青磁碗（せいじわん）	品　　質	青磁
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	唐時代・9世紀	寸 法 等	高4.7cm　口径14.3cm　高台径4.8cm　重210.4g
作品概要	中国浙江省の越州窯系の窯で焼かれた青磁碗である。中国河北省の邢州窯系の窯で焼かれた白磁碗とともに、唐時代において喫茶用の茶碗として広く用いられていたものである。唐時代の茶書『茶経』にも青磁碗の記述がみられ、また青磁碗、白磁碗ともに日本にも持ち込まれており、平安京や大宰府など平安時代の遺跡からも同手青磁碗の出土がみられる。		

42　名称	青磁碗（せいじわん）	品　　質	青磁
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	唐時代・9世紀	寸 法 等	高4.5cm　口径15.1cm　高台径5.4cm　重248.9g
作品概要	中国浙江省の越州窯系の窯で焼かれた青磁碗である。中国河北省の邢州窯系の窯で焼かれた白磁碗とともに、唐時代において喫茶用の茶碗として広く用いられていたものである。唐時代の茶書『茶経』にも青磁碗の記述がみられ、また青磁碗、白磁碗ともに日本にも持ち込まれており、平安京や大宰府など平安時代の遺跡からも同手青磁碗の出土がみられる。		

43　名称	青磁碗（せいじわん）	品　　質	青磁
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	唐時代・9世紀	寸 法 等	高5.0cm　口径15.4cm　高台径5.4cm　重253.4g
作品概要	中国浙江省の越州窯系の窯で焼かれた青磁碗である。中国河北省の邢州窯系の窯で焼かれた白磁碗とともに、唐時代において喫茶用の茶碗として広く用いられていたものである。唐時代の茶書『茶経』にも青磁碗の記述がみられ、また青磁碗、白磁碗ともに日本にも持ち込まれており、平安京や大宰府など平安時代の遺跡からも同手青磁碗の出土がみられる。		

44　名称	青磁碗（せいじわん）	品　　質	青磁
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	唐時代・9世紀	寸 法 等	高5.0cm　口径15.2cm　高台径5.8cm　重258.0g
作品概要	中国浙江省の越州窯系の窯で焼かれた青磁碗である。中国河北省の邢州窯系の窯で焼かれた白磁碗とともに、唐時代において喫茶用の茶碗として広く用いられていたものである。唐時代の茶書『茶経』にも青磁碗の記述がみられ、また青磁碗、白磁碗ともに日本にも持ち込まれており、平安京や大宰府など平安時代の遺跡からも同手青磁碗の出土がみられる。		

45　名称	青磁碗（せいじわん）	品　　質	青磁
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	唐時代・9世紀	寸 法 等	高5.6cm　口径16.2cm　高台径6.9cm　重320.4g
作品概要	中国浙江省の越州窯系の窯で焼かれた青磁碗である。中国河北省の邢州窯系の窯で焼かれた白磁碗とともに、唐時代において喫茶用の茶碗として広く用いられていたものである。見込みに八つの目跡が残る。唐時代の茶書『茶経』にも青磁碗の記述がみられ、また青磁碗、白磁碗ともに日本にも持ち込まれており、平安京や大宰府など平安時代の遺跡からも同手青磁碗の出土がみられる。		

46　名称	青磁鉢（せいじはち）	品　　質	青磁
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	唐時代・9世紀	寸 法 等	高6.8cm　口径19.4cm　高台径9.3cm　重427.3g
作品概要	中国浙江省の越州窯系の窯で焼かれた青磁碗である。中国河北省の邢州窯系の窯で焼かれた白磁碗とともに、唐時代において喫茶用の茶碗として広く用いられていたものである。見込みには目跡が残り、重ね焼きがされたものであることがわかる。青磁碗、白磁碗ともに日本にも持ち込まれており、平安京や大宰府など平安時代の遺跡からも同手青磁碗の出土がみられる。		

47　名称	白磁劃花文碗（はくじかっかもんわん）	品　　質	白磁
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	北宋時代・12世紀	寸 法 等	高7.6cm　口径17.8cm　高台径5.2cm　重443.5g
作品概要	中国福建省の同安窯系統の窯で焼かれた白磁碗である。内面全体に箆彫りなどによる草花文様が描かれている。高台周り以外に釉が掛けられている。平安京や大宰府など平安時代の遺跡からも同手の出土がみられる。		

48　名称	青磁碗（せいじわん）	品　　質	青磁
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	唐時代・9～10世紀	寸 法 等	高7.3cm　口径18.3cm　高台径6.2cm　重494.9g
作品概要	中国浙江省の越州窯系の窯で焼かれた無文の青磁碗である。見込みには4つの目跡が残り、重ね焼きがされたものであることがわかる。平安京や大宰府など平安時代の遺跡からも同手青磁碗の出土がみられる。		

49　名称	青磁鎬蓮弁文碗（せいじしのぎれんべんもんわん）	品　　質	青磁
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	南宋～元時代・13～14世紀	寸 法 等	高6.3cm　口径16.5cm　高台径4.8cm　重402.2g
作品概要	胴部に鎬連弁文を施した青磁碗で、中国浙江省の龍泉窯で焼かれたものである。見込みに花文が施されている。日本国内でも伝世しているものも多く、城館や寺院などを中心に全国の中世遺跡からも同手の出土がみられる。		

50　名称	青磁鎬蓮弁文碗（せいじしのぎれんべんもんわん）	品　　質	青磁
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	南宋～元時代・13～14世紀	寸 法 等	高5.2cm　口径16.2cm　高台径5.4cm　重299.1g
作品概要	胴部に鎬連弁文を施した青磁碗で、中国浙江省の龍泉窯で焼かれたものである。見込みは蛇の目状に削り出されている。日本国内でも伝世しているものも多く、城館や寺院などを中心に全国の中世遺跡からも同様の手の出土がみられる。		

51　名称	白磁碗（はくじわん）	品　　質	白磁
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	北宋時代・10～11世紀	寸 法 等	高7.0cm　口径18.4cm　高台径7.3cm　重468.0g
作品概要	口縁を折り重ねて玉縁とし、見込みには浅く段差を設けた白磁碗である。低い輪状の高台で、胎土はわずかに青白色を帯びている。		

52　名称	青花牡丹文盤（せいかぼたんもんばん）	品　　質	青花磁器
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	明時代・17世紀	寸 法 等	高8.3cm　口径32.5cm　高台径13.7cm　重1909.8g
作品概要	胴部外面に四つの牡丹文、見込みに中央と四方に牡丹唐草文を描いた青花盤である。全体に細かい貫入がみられる。箱には「弘化二年(1845)」の書付がみられ、古くから伝世していたことがわかる。		

53　名称	青花芙蓉手花虫文皿（せいかふようでかちゅうもんさら）	品　　質	青花磁器
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	明時代・17世紀	寸 法 等	高3.2cm　口径21.3cm　高台径12.3cm　重320.3g
作品概要	見込み中央に虫と蝶、そして草花文による主文様の周りに花弁状に吉祥文を描いた青花皿である。宴席用の食器で本来は10枚、20枚と組み皿になっていたものと思われる。		

54　名称	青花山水花文皿（せいかさんすいかもんさら）	品　　質	青花磁器
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	清時代・18世紀	寸 法 等	高3.9cm　口径19.4cm　高台径11.9cm　重390.2g
作品概要	見込み中央に虫と蝶、そして草花文による主文様の周りに花弁状に吉祥文を描いた青花皿である。宴席用の食器で本来は10枚、20枚と組み皿になっていたものと思われる。		

55　名称	青花龍文皿（せいかりゅうもんさら）	品　　質	青花磁器
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	清時代・18～19世紀	寸 法 等	高3.4cm　口径16.5cm　高台径10.2cm　重239.4g
作品概要	見込み中央と四方に龍文を描いた青花皿である。口縁部には虫喰いがみられるなど、古染付を模して造られたものと思われる。		

56　名称	青花壽字文鉢（せいかじゅじもんはち）	品　　質	青花磁器
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	清時代・19世紀	寸 法 等	高11.1cm　口径24.4cm　高台径12.0cm　重1115.5g
作品概要	印判による壽字と花瓶状の文様とを交互に配した青花鉢である。中国福建省安渓窯などから同様のものが出土しており、また日本でも長崎より出土がみられるなど、江戸時代には中国より持ち込まれていたことがわかり、京都においても寺院などにおいて伝世しているものがある。		

57　名称	褐釉四耳壺（かつゆうしじこ）	品　　質	施釉陶器
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	元時代・14世紀	寸 法 等	高23.5cm　口径5.7cm　底径6.0cm　胴径11.2cm　重1016.9g
作品概要	口縁部が三角状に張り出した長胴の四耳壺である。元寇襲来の際に沈没したとされる船が沈む、長崎・鷹島海底遺跡などからも同様のものの出土がみられる。		

58　名称	焼締四耳壺（やきしめしじこ）	品　　質	焼締陶器
作 者 等		員　　数	1口
時　　代	タイ・16世紀	寸 法 等	高41.8cm　口径17.7cm　底径18.8cm　胴径38.0cm
作品概要	丸みのある口縁に肩に四つの耳が付けられた焼締め壺である。タイ・アユタヤの窯で焼かれたと考えられる。中世大友府内町遺跡や博多遺跡群、堺環濠都市遺跡などから同様のものの出土がみられる。		

＜染織＞（8件）

59　名称	復原名物裂帛紗（篳篥入）（ふくげんめいぶつぎれふくさ（たんすいり））	品　　質	絹
作 者 等	鈴木　一	員　　数	5枚
時　　代	現代（20世紀）	寸 法 等	各縦28.0cm　横28.0cm
作品概要	名物裂と古渡更紗の研究・復原に生涯を捧げた鈴木一氏（大正14年生）が1958～60年に制作した名物裂5種類（冨田金襴・白地大燈金襴・珠光緞子・藤種緞子・吉野間道）。昭和60年に自身の還暦と研究所設立を記念し、昭和天皇・東京国立博物館・京都国立博物館・三千家（表・裏・武者小路）に寄贈された。制作工程の詳細な記録をともない、途絶えつつある伝統的な技法を知る上でも資料的価値が高い作品といえる。		

60　名称	有職装束裂（ゆうそくしょうぞくぎれ）	品　　質	絹
作 者 等		員　　数	5裂
時　　代	江戸時代　18～19世紀	寸 法 等	イ:5.6×6.8cm　ロ:4.6×7.0cm　ハ:9.9×7.5cm　ニ:7.3×10.0cm　ホ:3.2×4.0cm
作品概要	有職装束の小片5裂。装束の種類や着用者の身分、年代等を墨書した紙縒りが付く。元文四年（1739）、安永九年（1780）、文政八年（1825）の年記があり、江戸時代中期から後期にかけての有職装束の一端を垣間見ることができ、貴重である。		

61　名称	染織裂（せんしょくぎれ）	品　　質	絹、木綿
作 者 等		員　　数	15枚42裂
時　　代	江戸時代　18～19世紀	寸 法 等	台紙：縦31.5cm　横84.0cm
作品概要	白無地の台紙に、小袖の袖ほどの大きさの一裂から微細な断片まで、大小様々な染織裂を貼り交ぜたもの。友禅染や白揚げ、金糸駒繍、摺疋田等による小袖裂のほか、インド更紗や和更紗などもみられ、その種類は多岐にわたる。		

62　名称	白木綿地牡丹文様紅型衣裳（しろもめんじぼたんもんようびんがたいしょう）	品　　質	木綿、紅型
作 者 等		員　　数	1領
時　　代	第二尚氏時代　19世紀	寸 法 等	丈116.0cm　裄71.5cm
作品概要	白木綿地全体に牡丹文様を表わした紅型衣裳。地色を染めずに文様にのみ色を付ける「白地型（しるじがた）」を用い、身頃と袖は片面染め、襟と衽には表裏を寸分違わず染める「両面染」を施す。富貴の象徴である牡丹花を鮮やかな赤で染め、蕊は黄と紫の暈し、蕾は黄、赤、臙脂、紫の暈し、葉は紫、臙脂、緑、青、黒にて摺疋田も交えて表す。白地との明快なコントラストが晴れやかな印象の一領。		

63　名称	五月人形飾り（ごがつにんぎょうかざり）	品　　質	
作 者 等	三世大木平蔵作	員　　数	1式
時　　代	明治三十三年（1900）	寸 法 等	応神天皇：高52.0cm　武内宿禰：高36.0cm　神馬：高39.0cm
作品概要	京都にて明和年間より続く人形司・丸平大木人形店製の五月人形を中心とした節供飾り一式。丸平の主人は代々大木平蔵を名乗り、明治23年には三代目が内国勧業博覧会で受賞するなどで名声を高めた。本作もその代の作と考えられ、応神天皇と武内宿禰、神馬の人形に、燭台、供物台、口花、平薬玉、幕、緑毛氈が付く。京都祇園祭の元黒主山保存会長・深見家より人形作家の林駒夫家（人間国宝）へ譲られたもの。		

64　名称	雛人形飾り（ひなにんぎょうかざり）	品　　質	
作 者 等	三世大木平蔵作	員　　数	1式
時　　代	明治時代　19世紀	寸 法 等	女雛：高25.0cm　男雛：高34.0(含冠)cm
作品概要	京都にて明和年間より続く人形司・丸平大木人形店製の雛人形飾り一式。古今雛一組に三人官女、御殿女中、狆引き官女、胡蝶の舞人が伴い、人形用小袖三種（紫・紅・白）と掻巻布団を収めた長持や衣桁、折敷や膳椀、煎茶道具、長火鉢などの雛道具、口花を挿した徳利に三宝、薬玉等が付く。雛人形の箱内には博覧会褒賞証が付き、胡蝶舞人の蓋裏に「明治廿九年三月新調之」の墨書があるため、名人と謳われた三世大木平蔵の作と考えられる。京都祇園祭の元黒主山保存会長・深見家より人形作家の林駒夫家（人間国宝）へ譲られたもの。		

65　名称	五月飾り（ごがつかざり）	品　　質	
作 者 等		員　　数	1括
時　　代	江戸～明治時代　19世紀	寸 法 等	檜兜：高49.0cm　秀吉：高32.0cm　清正：高34.0cm　千利休：高20.0cm　大将人形（笹龍胆紋）：高33.0cm　大将人形（三日月前立）：高32.0cm
作品概要	人形作家の林駒夫家（人間国宝）伝来の五月飾り一式。檜兜は箱蓋裏に「文久三亥年五月初節供赤尾屋勝之輔」の墨書を有する江戸時代の希少な作例。五月人形は江戸時代の作である豊臣秀吉、千利休、加藤清正の三人立と、明治時代の大将人形二種に、三柏紋付の幟、雛形甲冑、雛形火事頭巾、雛食器などが付く。		

66　名称	毛作り人形　狆（けづくりにんぎょう　ちん）	品　　質	
作 者 等		員　　数	4躯
時　　代	江戸～明治時代　19世紀	寸 法 等	イ：高12.0cm　幅26.0cm　ロ：高12.5cm　幅18.5cm　ハ：高9.5cm　幅12.0cm　ニ：高5.5cm　幅10.0cm
作品概要	江戸時代に大名家のペットとして人気を博した小型犬の狆を、大小の座り姿や立姿で表わした毛作り人形。毛植人形、いと細工とも呼ばれ、張子のボディに無縒りの絹糸を丹念に植込み、動物のような毛並みを再現している。毛植細工は18世紀後半より京都の特産品として知られたが、近代に途絶えた。縮緬地に鹿子絞りや刺繍で装飾し鈴を付けた涎掛け5枚を伴う。染織家の志村ふくみ氏（人間国宝）より人形作家の林駒夫家（人間国宝）へもたらされた。箱底に墨書「明治三拾年／小柳たね／所持」を有する。		

＜考古＞（1件）

67　名称	西宮山古墳発掘報告写真（にしみややまこふんはっくつほうこくしゃしん）	品　　質	冊子（紙焼き写真貼付）
作 者 等		員　　数	1冊
時　　代	昭和30年(1955)頃	寸 法 等	縦26ｃｍ、横18ｃｍ
作品概要	昭和29・30年（1954・1955）にかけておこなわれた西宮山古墳の発掘調査に関する報告写真。発掘調査の様子や出土品の写真とともに、出土した金製耳飾の実測図や玉類（ガラス製・石製）の色などの情報も掲載されている。西宮山古墳の発掘調査や、出土品の整理作業の様子を知ることができる貴重な記録である。		

【奈良国立博物館】　（計9件）

（１）購入（8件）

＜彫刻＞（1件）

1　名称	聖徳太子立像（二歳像）（しょうとくたいしりゅうぞう（にさいぞう）	品　　質	木造　彩色　玉眼嵌入
作 者 等		員　　数	一軀
時　　代	鎌倉時代（13～14世紀）	寸 法 等	像高34.6cm　髪際高32.3cm
作品概要	中世以降、盛んに造られるようになった聖徳太子二歳像の中でも、最初期の制作例とみられる像。一尺あまりという小ささも大変珍しい。		

＜絵画＞（3件）

1　名称	釈迦如来像（清涼寺式）（しゃかにょらいぞう（せいりょうじしき））	品　　質	絹本著色　掛幅装
作 者 等		員　　数	一幅
時　　代	鎌倉時代（13～14世紀）	寸 法 等	本紙：縦108.3cm　横39.1cm　　表具：縦188.0cm　横52.6cm
作品概要	鎌倉時代以降、篤い信仰が寄せられた清涼寺式釈迦を描いたもの。清涼寺本尊の釈迦像（彫刻）を模刻した西大寺の釈迦像と着衣の文様など細部まで一致する。清涼寺釈迦信仰、中世南都の律宗美術などの観点から貴重な作品である。		

1　名称	釈迦八相涅槃図（しゃかはっそうねはんず）	品　　質	絹本著色　掛幅装
作 者 等		員　　数	一幅
時　　代	鎌倉時代（14世紀）	寸 法 等	本紙：縦185.5cm　横208.6cm　　表具：縦274.0cm　横218.0cm
作品概要	横長の画面中央に大きく釈迦が涅槃に入る情景を描き、左右に帯状の区画を設け仏伝を描きこむという、八相涅槃図の稀有な作例。南都絵仏師が関与した可能性が高い。		

1　名称	金胎仏画帖断簡（不空成就如来）（こんたいぶつがじょうだんかん（ふくうじょうじゅにょらい））	品　　質	紙本著色　掛幅装
作 者 等		員　　数	一幅
時　　代	平安時代（12世紀）	寸 法 等	本紙：縦25.0cm　横13.7cm　　表具：縦125.5cm　横36.5cm
作品概要	平安時代末期に制作された彩色本図様集の白眉とされる『金胎仏画帖』の断簡。現存する断簡のなかでも、唯一の如来形である点も高く評価される。		

＜書跡＞（1件）

1　名称	画図讃文断簡（がずさんもんだんかん）	品　　質	紙本墨書　掛幅装
作 者 等		員　　数	一幅
時　　代	奈良時代～平安時代（8～9世紀）	寸 法 等	本紙：縦24.0cm　横58.5cm 第１葉：31.3cm　第２葉：22.8cm　第３葉：4.4cm
no	変文（変相の絵解きをする際の台本）の一種であったと推測される『画図讃文』の断簡。大部分が散佚し、現在本品と一具であった写本の断簡のみが確認されており、仏画の讃文として、また当時の王羲之風の書風を伝える例としても貴重である。		

＜工芸＞（2件）

1　名称	金銅蓮華文磬（こんどうれんげもんけい）	品　　質	銅製鋳造　鍍金
作 者 等		員　　数	一面
時　　代	鎌倉時代（13～14世紀）	寸 法 等	総高11.0cm　幅18.4cm　厚1.2cm
作品概要	鎌倉時代の銅製鋳造仏具として、非常に整った形姿や精美な文様表現が特徴。類品の極めて少ない蓮華文磬としても貴重である。		

1　名称	銅製銀象嵌梵字宝相華唐草文香炉（どうせいぎんぞうがんぼんじほうそうげからくさもんこうろ）	品　　質	銅製鋳造　銀象嵌
作 者 等		員　　数	一口
時　　代	朝鮮半島　高麗（14世紀）	寸 法 等	高：32.5cm　口径：31.1cm　底径21.5cm
作品概要	優れた器形、精緻な銀象眼の文様などを特徴とする香炉。内部などに日本で施された墨書があり、制作からさほど時間をおかず、14世紀中に西大寺に寄進されたことも判明する。東アジア圏における仏具受容の実態からも興味深い作品である。		

＜考古＞（1件）

1　名称	灰釉短頸壺　附銅鋺（伝茨城県石岡市出土）　壺・銅鋺（かいゆうたんけいこ　つけたり　どうわん（でんいばらきけんいしおかししゅつど））	品　　質	壺：陶製　粘土紐巻き上げ成形　轆轤調整　高台貼付　自然降灰による灰釉付着 銅鋺：銅製　鋳造　轆轤挽き
作 者 等		員　　数	壺・銅鋺　各一口
時　　代	奈良時代～平安時代（8世紀～9世紀）	寸 法 等	壺：口径12.4cm　器高25.0cm　最大径27.3cm　高台径13.6cm　重量3020ｸﾞﾗﾑ 銅鋺：口径19.8cm　器高4.6cm　重量290ｸﾞﾗﾑ
作品概要	猿投窯（愛知県）製の壺と完形の碗を火葬骨蔵器として利用した遺品。壺・碗ともに優品であるだけでなく、奈良・平安時代の墓制の事例として優れている。		

（２）寄贈（1件）

＜絵画＞（1件）

2　名称	不動明王像　龍湫周沢筆（ふどうみょうおうぞう　りゅうしゅうしゅうたくひつ）	品　　質	絹本墨画著色　掛幅装
作 者 等	龍湫周沢	員　　数	一幅
時　　代	南北朝時代　永和４年（1378）	寸 法 等	[本紙]：縦112.2cm　横41.1cm [表装]：縦187.5cm　横59.8cm
作品概要	臨済宗夢窓派の高僧、龍湫周沢が永和4年（1378）に描いたもの。周沢は日課として不動明王像を描いており、本品はそのうちの一つ。禅僧が余技として描く禅余画の事例として優れている。		

【九州国立博物館】（計25件）

（１）購入（12件）

＜絵画＞（2件）

1　名称	倣郭熙秋景山水図	品　質	絹本墨画淡彩。掛幅装。
作者等	「文清」印	員　数	1幅
時　代	朝鮮時代	寸法等	本紙：縦108.1　横86.2、表装：縦212.1　横90.1　軸長99.8
作品概要	湧き上がるように聳える主山を中心に、左右に水景と渓流を配置して空間の奥行きを構築的に描き出した、朝鮮時代・15世紀を代表する山水画の優品。その構成と表現は、中国・北宋時代の宮廷画家・郭熙の唯一の現存作品・早春図（台湾・国立故宮博物院）に近似するため、おそらく本図は韓国へ伝来して高い評価を与えられた郭熙の真筆をほぼ直接的に写したものとみられる。その合理的で完成度の高い描写からみて、具体的な作者名を特定できないものの、朝鮮宮廷の図画院の画員が手掛けた作品と考えられる。韓国で積極的に受容されながら、日本ではほとんど顧みられなかった中国の李郭派の山水画様式を伝えるため、日本文化の形成を東アジア美術のなかで理解するための山水画として大きな意義がある。		

2　名称	蔚山城合戦図屏風	品　質	紙本着色
作者等		員　数	6曲3隻
時　代	江戸時代	寸法等	各縦173.4　横375.6
作品概要	本品は、「慶長の役」時、日本軍と明・朝鮮連合軍との間で行われた蔚山城合戦を描いたもの。蔚山籠城戦を描く「第一図」、到着した日本からの援軍と明・朝鮮連合軍との対峙を描く「第二図」、連合軍を追撃する日本軍を描く「第三図」から成る。現存する屏風装の蔚山城合戦図のうち、江戸時代後半に制作された最古級かつ高い完成度を誇る写本であり、現存しない原図の作風を留めるものとして、重要な作例である。 屏風装の蔚山城合戦図の原図は、17世紀前半に佐賀藩主・鍋島家で制作されたが、明治7年(1874)の佐賀の乱で焼失した。しかし、写本として、江戸時代後半に製作された本品と「朝鮮蔚山攻城図」（佐賀県立図書館所蔵、蓮池鍋島家旧蔵。蓮池本）、明治19年(1886)に制作された大久保雪堂（生没年未詳）筆「朝鮮軍陣図屏風」（鍋島報效会所蔵、鍋島侯爵家旧蔵）と、同じく雪堂筆「蔚山城攻城図屏風」（福岡市博物館所蔵、黒田侯爵家旧蔵）、以上4件が現存する。これら写本はいずれも、6曲3隻である。 本品の制作時期から明治時代までの所有者は不明であるが、大正・昭和前期（戦前）には、旧平戸藩主・松浦伯爵家が所有していた。 本品は、これまで知られる屏風装の蔚山城合戦図のなかで、原図から写された最古級の作例である。蓮池本と特徴を同じくする写本であるが、蓮池本は残欠であるのに対し、本品は完品である。平成17年の当館での展示以来、公衆の目に触れられておらず、研究者が公開を待望する作品である。		

＜刀剣＞（1件）

3　名称	短刀　銘安吉	品　質	鉄・鍛造。
作者等	安吉	員　数	1口
時　代	南北朝時代	寸法等	総長39.3　刃長30.6　反0.3
作品概要	平造、三つ棟、幅広く重ねやや薄く、浅く反る。鍛は板目に柾がかる。刃寄りに棒映り立つ。刃文は小互の目乱に小足よく入り、区上に沸つく。帽子は乱れ込んで尖って返る。指表に鎬索、指裏に護摩箸を刻む。本品のような仏教関連の彫物を有する作例は希少であり、本品の大きな見どころとなっている。この極めて特徴的な彫物は早くから注目されていたらしく、埋忠家に来た刀の絵図である『埋忠銘鑑』の第138葉にも収載されている。また、本品に付属する金無垢二重台付桐紋透鍔が、安土桃山時代から江戸時代初期にかけて活躍した金工師の埋忠寿斎によるものである点も注目される。		

＜陶磁＞（1件）

4　名称	青磁劃花菊文坏・托	品　質	青磁
作者等		員　数	1式
時　代	高麗時代	寸法等	坏：高4.7　口径7.9、托：高2.8　径13.8
作品概要	本作品は、朝鮮半島で12世紀に作られた高麗青磁の坏・托である。碗（または坏）と托の組み合わせは、中国で喫茶の流行に伴い発展した。喫茶文化は、7世紀半ばに朝鮮半島に伝わっていたが、高麗時代になり、宮中行事に取り入れられるなどして全盛期を迎えたため、この組合せも普及した。碗は、喫茶用と飲酒用の二種があり、前者は碗が大きく、托座も碗状であるが、後者は碗が小さく、托座が平らである。本作品は、後者の特徴があるため、飲酒用である。灰青緑色の美しい釉色は、「翡色青磁」そのものであり、線彫りされた菊花文などの文様は、繊細ながら立体的ではっきりと残っており、彫りの溝の釉溜りも美しい。1977年刊行の『陶磁大系　第二十九巻　高麗の青磁』に托の写真が掲載されている。		

＜染織＞（3件）

5　名称	白麻地桜立木文様帷子	品　質	表：麻／型染め、刺繍　袖口・衿裏：紅絹
作者等		員　数	1領
時　代	江戸時代 17世紀末	寸法等	丈162.0　裄61.5
作品概要	江戸中期の夏用の衣類。白麻地に桜の立木を表しており、図様は背面左裾から右腰を経由し左袖まで桜樹と桜花を型鹿子と刺繍にて表す。天和3年（1683）に出された奢侈禁止令では惣鹿子と金糸の刺繍が禁止され、鹿子絞りを模した型鹿子（摺匹田）を始めとした型染めが流行するようになった。本品には一部に江戸初期の頃に好まれた文様表現が見られ、古様を示すが、絞り染めの使用が見られないことから、天和の禁令以降の作と考えられ、貞享（1684-88）から元禄の初期頃の作と考えられる。		

6　名称	藍木綿地牡丹鳳凰文様刺繍装飾布	品　質	木綿、刺繍（絹糸）
作者等		員　数	1枚
時　代	17-18世紀	寸法等	238.8×180.5
作品概要	紺木綿地に花と鳳凰を刺繍した装飾布。文様はいずれも刺繍による。繍技は渡し繍およびまつい繍。本作は中国南部からベトナム周辺にて製作されたと考えられる。ヨーロッパ輸出用に製作された刺繍壁掛けの類であり、内区四隅の如意頭状の装飾は、ヨーロッパ輸出用の装飾布によく見られる構図である。京都西陣の機屋である伊達家旧蔵品。		

7　名称	白木綿地龍鳳凰麒麟獅子文様刺繍装飾布	品　　質	木綿、刺繍（絹糸）
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	17-18世紀	寸 法 等	215.8×123.8
作品概要	白木綿地に霊獣と花鳥文を刺繍にてあらわした装飾布。文様は刺繍によるが、一部直線部分は綿織で表される。本作は中国南部からベトナム周辺にて製作されたと考えられる。ヨーロッパ輸出用に製作された刺繍壁掛けの類であるが、本作は主題が龍や鳳凰、麒麟、獅子といった東洋に好まれるモチーフであることから、製作国にて棺覆いなどに用いるため製作された可能性も含む。京都西陣の機屋である伊達家旧蔵品。		

＜考古＞（4件）

8　名称	重要文化財　大珠	品　　質	石製（翡翠製）
作 者 等		員　　数	1個
時　　代	縄文時代	寸 法 等	長14.8　幅3.9　厚3.0
作品概要	鰹節形と称される長楕円形の石製垂飾である。表面には製作時の細かな凹凸を残しているが、比較的丁寧に研磨が行われている。穿孔は中央付近に一か所見られる。石材は翡翠で、新潟県糸魚川産と推定される緑色で透明度の高い良質なものである。 縄文時代後半期には、緑色石材製の垂飾が流行した。大珠はその一例で、中期の東日本で発達し、後期には西日本へと伝わった。本品のような翡翠製のものは、特に東日本で特徴的に見られるものである。九州の大珠は形態的には東日本のものに似るが、石材は緑色や白色の翡翠に似た地元の石材が選択された。各地で出土する大珠から、縄文時代の地域性や交流を知ることができる。伝福島県会津若松市大町出土。指定名称は「硬玉製大珠」。		

9　名称	土偶	品　　質	土製
作 者 等		員　　数	1軀
時　　代	縄文時代	寸 法 等	高8.3　幅5.3　厚2.3
作品概要	縄文時代後期の関東地方に分布する土偶と考えられる。粘土粒貼り付けにより目、口、乳房、臍を表現し、水平沈線により関節や屈曲部等を表現している。小型品ではあるもののほぼ完存しており、破片で出土することの多い土偶の全体形状をうかがい知ることのできる資料である。 九州地方では、縄文時代早期の九州南部で土偶が見られるものの、一旦途絶え、後期になると九州北部で再び出現する。九州北部で土偶が再出現する背景については、東日本からの影響が指摘されている。九州北部の土偶の中には、本品と同様に粘土粒で乳房や臍を表現するものがある。本品は九州と東日本の土偶の共通性を理解する上でたいへん重要である。明治時代の考古資料収集家、成田大野屋旅館の大野市平旧蔵品。		

10　名称	緑釉犬	品　　質	緑釉陶
作 者 等		員　　数	1体
時　　代	中国　後漢時代	寸 法 等	長29.5　幅13.5　高26.5
作品概要	立った姿勢で、牙をむき、首と胴にはハーネスをつけている。ハーネスを装着した犬は後漢時代の画像石で狩猟の場面にしばしば登場する。この緑釉犬もハーネスをつけていることから、猟犬か番犬を表したものと考えられる。 立った姿勢で尻尾を巻き上げた犬の俑は、陝西省、河南省、山東省、四川省などの後漢墓からおもに出土する。大半の例は無釉だが、本作のように緑釉の施されたものも存在する。とくに陝西省西安市の曲江雁鳴小区1号墓（後漢後期）出土例と東京国立博物館が所蔵する緑釉犬（TG-1921）は、本作に形が近い。華北の比較的大きな後漢墓のなかで、盗掘者や邪霊の侵入から墓主を守る「守護者」として納められたと推測される。		

11　名称	重要文化財　埴輪　男子	品　　質	土製
作 者 等		員　　数	1軀
時　　代	古墳時代	寸 法 等	幅37.0　奥行26.0　高108.0
作品概要	盛装した高位の男性をあらわす埴輪である。頭には鈴のついた被り物を被り、髪は下げ美豆良、耳に耳環を着装する。頬に赤色顔料で刺青を表現し、頸には丸玉の首飾りがかけられる。上衣は左前に合わせられ、上下の2ヶ所で紐により結ばれる。胸に当てた両手には手甲がはめられる。腰には二重に突帯を回し帯を表現する。帯には大刀が着装される。脚はズボンをはき、膝で足結い紐により締められる。全体に遺存状況は極めて良い。 本作品は群馬県伊勢崎市天神山古墳出土とされる。天神山古墳は全長127mをはかるとされる古墳時代後期の前方後円墳で、多種多様の人物埴輪や動物埴輪の出土が知られる。本例もそのひとつで、重要文化財に指定された優品である。		

＜歴史資料＞（1件）

12　名称	東西蝦夷山川地理取調紀行	品　　質	紙本木版多色刷。袋綴装。
作 者 等	松浦武四郎著	員　　数	16冊
時　　代	江戸-明治時代	寸 法 等	各縦25.5　横17.8
作品概要	松浦武四郎が蝦夷地における調査報告書を一般向けにまとめなおして出版した紀行文シリーズ。全22冊のうち本品は「後方羊蹄日誌」、「石狩日誌」、「知床日誌」、「十勝日誌」、「納沙布日誌」、「夕張日誌」、「久摺日誌」、「天塩日誌」各1冊の8冊と、「東蝦夷日誌」初編～4編の4冊、「西蝦夷日誌」初編～4編の4冊からなる。松浦武四郎は1845年に初めて蝦夷地に渡り、1858年までに6回の蝦夷地調査をおこなった。その調査報告書をもとに、庶民にも分かりやすいように挿絵や詩歌を交えて、蝦夷地の様子やアイヌ民族の生活風俗を紹介したのが『東西蝦夷山川地理取調紀行』である。挿絵や詩歌は武四郎自作のほか、当時人気のあった画家や歌人に寄せてもらうなど工夫も凝らされている。		

（２）寄贈（13件）

＜絵画＞（2件）

1　名称	羅漢図	品　　質	紙本墨画淡彩。掛幅装。軸首は木製漆塗。
作 者 等	奥原晴湖筆	員　　数	1幅
時　　代	明治時代	寸 法 等	縦115.8　横33.5　表装：縦193.8　横48.0　軸長56.5
作品概要	近代文人画を代表する女性画家・奥原晴湖（1837-1913）による羅漢図。山水画を得意とした晴湖の数少ない道釈人物画として稀少である。「辛卯」という落款から、明治24年(1891)、晴湖55歳の作品と判明する。この年2月16日に東京を去って成田村上川上(現在の熊谷市)に移っており、本図は東京を離れる直前、親交のあった文人画家・西田春耕(1845-1910)の求めに応じて描かれたと推測される。		

2　名称	柳蔭釣舟図	品　　質	絹本著色。掛幅装。
作 者 等	奥原晴湖筆	員　　数	1幅
時　　代	明治時代-大正時代	寸 法 等	本紙：縦137.2　横36.3　表装：縦218.9　横49.3　軸長57.2
作品概要	右下の近景では岸辺に岩塊を配して広葉樹と柳を組み合わせ、水上の船では二人のうち左側の人物が釣り糸を垂れる。中景では柳を含む木立ちのなか建物のそばで紅白の花が咲き、遠景では山下の漁村の汀に数艘の船が浮かぶ。その表現描写や落款印章から作者と判明する奥原晴湖（1837-1913）は、近代文人画の代表的な女性画家のひとりで、谷文晁（1763-1840）の門人・枚田水石（1796-1863）に学び、渡辺華山（1793-1841）に私淑するなど、近世絵画の表現様式を継承したことが知られている。本図は、年代自体は近代の作品ではあるが、江戸時代の文人画の系譜に位置付けることができる伝統的な作風を示す。		

＜書跡＞（1件）

3　名称	二行書「順境如春云々」	品　　質	紙本墨書。掛幅装（袋表具）。軸端は紫檀の撥軸。
作 者 等	佐藤一斎筆	員　　数	1幅
時　　代	江戸時代	寸 法 等	本紙：縦106.1　横30.2、表装：縦193.0　横42.1　軸長48.0
作品概要	江戸時代後期を代表する儒学者である佐藤一斎(1772-1859)による二行書。自身の『言志後録』所収、第86条の格言「順境如春、出遊観花、逆境如冬、堅臥看雪、皆固可楽、冬亦不悪」を揮毫したもの。『言志後録』は、いわゆる「言志四録」（『言志録』・『言志後録』・『言志晩録』・『言志耋録』）の総称）のうちの一つで、全255条。『言志後録』は、文政11年(1828)から天保8年(1837)頃に執筆されたもので、刊行は少し遅れて弘化3年(1846)である。つまり本品の揮毫は、執筆が開始された文政11年以降となる。 一斎の書の多くは、墨が途切れるところまで書き進める点と、特徴的な払いのかすれが見られるが、本品は総じて潤筆であり、貴重な作例といえる。		

＜刀剣＞（10件）

4　名称	脇差　銘典太作	品　　質	鉄・鍛造
作 者 等	典太	員　　数	1口
時　　代	室町時代	寸 法 等	総長42.1　刃長31.8　反0.5
作品概要	平造、庵棟、重ねやや厚い。地鉄は大板目に流れ肌が目立って柾がかる。刃文はきっぱりとした端正な直刃で、帽子は小丸に返る。茎はやや幅広の寸詰まりで、角棟、刃上がり栗尻、銘は指表の目釘孔下に「典太作」と大きく刻む。 筑後国三池（現 福岡県大牟田市）で興った三池派は、平安時代末期の光世にはじまり室町時代に至るまで作刀を行ったとされる。同派の刀工の作は無銘極めのものが大半を占めているのが現状であるが、そのなかにあって本品は在銘作として貴重であり、同派の特徴を知る手がかりとなる重要な資料である。		

5　名称	太刀　銘備前国住親依／元徳二年十二月	品　　質	鉄・鍛造
作 者 等	親依	員　　数	1口
時　　代	南北朝時代	寸 法 等	総長91.7　刃長69.7　反2.5
作品概要	鎬造、庵棟、やや小ぶりな中鋒。腰反りのついた体配で、表裏にやや幅広の棒樋を掻き流す。地鉄は板目肌立ち流れて杢まじり、直刃調に小丁子やの小足の入った互の目を配する。茎は角棟で茎尻は切、佩表に刀工銘「備前國住親依」、佩裏に小ぶりで行書体風の紀年銘「元徳二年十二月」を刻む。 親依は、鎌倉時代から南北朝時代にかけて備前国の吉井川上流の新田庄（現 岡山県和気町）で作刀していた新田庄鍛冶のひとり。親依のほか数名の刀工名が伝わるが、その作風は華やかな丁子乱で知られる一文字派やさまざまな互の目を駆使して大流派をなした長船派とは大きく異なり、細身の刀身に焼きの低い直刃を基調としながら小丁子や小互の目が交じる出来が特徴である。本品は親依の紀年銘作であり、備前物のなかで中心流派とは異なる系列の作例を知る上で非常に貴重な資料である。		

6　名称	刀　銘備前国住長船清光作／天文十九年八月	品　　質	鉄・鍛造
作 者 等	清光	員　　数	1口
時　　代	室町時代	寸 法 等	総長87.4　刃長69.7　反1.8
作品概要	鎬造、庵棟。中鋒。地鉄は板目に柾がかり、淡く乱れ映りが立つ。匂出来の刃文は湾れて互の目が交じり、刃中に金筋入る。茎はやや短く詰まって元先の幅差少なく、角棟、刃上がり栗尻、指表に刀工銘「備前國住長船清光作」、指裏に紀年銘「天文十九年八月」をそれぞれ刻む。 実用本位で数打物と呼ばれた刀の量産化が進んだ室町時代後期の備前国を代表する刀工、清光による紀年銘入りの刀。職名に由来する俗名を伴わず、表裏で銘ぶりがやや異なるため注文打ちとは思われないが、天文年間の銘が入ることから当該期の末備前の作風を知るための貴重な資料となる。		

7　名称	薙刀　銘長曽祢興里入道虎徹／延宝四年三月吉祥日	品　　質	鉄・鍛造
作 者 等	虎徹	員　　数	1口
時　　代	江戸時代	寸 法 等	総長84.0　刃長44.8　反2.7
作品概要	薙刀造、庵棟。鍛は小板目よく約み、地沸つく。刃文は湾れに互の目交じり、砂流しかかる。帽子は湾れ込んで先やや掃きかけて小丸に返る。刀身には表裏ともに薙刀樋を彫り、添樋を区下で角留めする。茎は生で、小肉のついた角棟、先栗尻、目釘孔ひとつ開く。鑢目は勝手下りで、目釘孔下からは鏨鋤状の大筋違となる。表銘は、「興」の下の二角「ハ」が平仮名の「い」に似る「いおき」で、「虎」の異体字「虎」を用いる「ハコトラ」銘となり、裏に年紀銘を刻む。 虎徹は、近江国の長曽祢村（現 滋賀県彦根市）を拠点とした長曽祢鍛冶の流れを汲む刀工である。もとは甲冑師であったが、50歳前後で江戸に出て刀鍛冶へと転向した。本品は、新刀期を代表する刀工虎徹による希少な在銘年紀入りの薙刀である。		

8　名称	刀　銘津田越前守助広／延宝六年八月日	品　　質	鉄・鍛造
作 者 等	助広	員　　数	1口
時　　代	江戸時代	寸 法 等	総長89.6　刃長69.2　反1.4
作品概要	鎬造、庵棟。鋒はやや伸びごころの中鋒。反浅い体配で、地鉄は板目に細かな杢交じり、刃文は小沸むらなく付き、直焼き出しにやや腰の開いた大互の目が続いて、一部に丸味を帯びた飛び焼きが交じり濤乱刃風となる。磨上げた茎はやや丸みを帯びた角棟、尻は切、表は当初孔のすぐ下から刀工銘「津田越前守助廣」、裏はこの孔から僅かに上がったところから紀年銘「延寶六年八月日」をそれぞれ草書体で刻む。本品は、小沸よく付いた乱刃と併せ、茎の表裏とも草書体のいわゆる丸津田銘となり、かつ裏銘の切り出しが表よりも高くなる点などから、本工の延宝期の作例の特徴をおおむね備える。但し、茎には化粧鑢が見られず、銘の鏨づかいが異例でややたどたどしさがある。一世を風靡し各地に影響を与えた大阪新刀の一般的な作風とその展開を理解するための資料としたい。		

9　名称	脇差　無銘	品　　質	鉄・鍛造
作 者 等	江戸法城寺派か	員　　数	1口
時　　代	江戸時代	寸 法 等	総長63.6　刃長48.9　反0.7
作品概要	鎬造、庵棟。反を押さえ平肉のつかない体配で、中鋒。地鉄は、平地鍛が小板目となる一方で鎬地鍛は柾がかる。小沸出来の刃文は小互の目を連ね、物打ちあたりからは数珠刃風となる。帽子はわずかに乱れ込んで小丸に返る。茎は生ながら無銘。 本品は、反の少ない体配や互の目を連ねる刃文などから江戸を拠点に多くの刀工を輩出した法城寺一門の作とみられる。名工虎徹とほぼ同時期に活動した一派で、江戸法城寺とも呼ばれる。正弘を筆頭に貞国、国正、国吉など多くの刀工がおり、貞享年間には同派の吉次が薩摩に移住して作刀したことでも知られる。おおむね小沸のよくついた互の目に太い足の入った刃文が目立ち、なかには虎徹を思わせるような数珠刃の作風のものもある。姿や地鉄、刃文のさまに同派の典型的な特徴が表れており、江戸における新刀期の様式を窺うことができる。		

10　名称	兎図目貫	品　　質	銅・鍛造、彫金。
作 者 等		員　　数	1対
時　　代	江戸時代	寸 法 等	1.2×2.1　1.2×2.2
作品概要	正面向きの真向兎をかたどった、一対の目貫金物。容彫で全体を彫出した上で色揚げし、黒紫色に仕上げる。際端銘や短冊銘は伴わない。目貫は目釘から変化して飾り金具となった一対の金物で、柄の表裏に一つずつ付される。日本刀の拵に取り付けられる各種の刀装具のうち、とりわけ必要不可欠なものとみなされるものであり、その意匠は極めて多岐にわたる。その多くが、裏側から打ち出した後に表から加工を加えてものの形そのものを立体的にあらわす容彫による。本品もまた伝統的な制作技法による江戸時代の目貫金物である。		

11　名称	波龍図縁頭	品　　質	銅・鍛造、彫金。
作 者 等	大森英秀	員　　数	1組
時　　代	江戸時代	寸 法 等	（縁）3.9×2.4、（頭）3.4×1.8
作品概要	波間を泳ぐ龍を雌雄一対にあらわした縁と頭の金具。波涛を鋤下彫で彫出し、細かな波しぶきは、金象嵌であらわす。縁の天井の茎孔左側に作者銘が花押入りで刻まれる。本品の作者である大森英秀（一涛斎、龍雨斎、1730-98）は、町彫の創始者として知られる初代横谷宗珉の門人大森英昌（1705-72）の養子で、江戸を代表する金工師のひとりとして知られる英秀が得意としたのは、蒔絵風の梨地象嵌と「大森波」とも呼ばれた鋤下彫による波涛図である。特に後者は、高く表現したい主文様を残してその周囲の地板を掘り下げることで図様を立体的にあらわす技法で、英秀はこの高度な彫技を考案し、立体感のある波涛図を表現した。本品でも頭の平や縁の腰にはこの技法によって波涛が彫られるとともに、波間を泳ぐ龍があらわされている。		

12　名称	鐔　銘月州山正行	品　　質	鉄・鍛造
作 者 等	正行	員　　数	1枚
時　　代	江戸時代	寸 法 等	7.5×7.2
作品概要	鉄を折り返し鍛錬し、杢目肌鍛となった丸形の鉄鐔。表は柾目風、裏は渦を巻くような杢目肌をなす。明瞭な切羽台は設けず、笄櫃・小柄の櫃孔は伴わない。茎櫃孔を挟んで右に「月刕山」、左に「正行」と刻む。本品の作者である正行は、平戸藩工であった土肥真了の弟子筋ともいわれ、肥前唐津から壱岐に移住し、勝本浦で作刀を行った刀工である。本品の銘にある「月刕山」は、苗字「脇山」の初字を分かち書きした雅名であり、長崎・聖母宮に伝来する文化8年（1811）銘の正行の刀（壱岐市指定文化財、銘壹岐國住月刕山正行／文化八ノ年二月日）でも同様の銘切がなされる。鐔の制作に刀工が携わることはしばしばあり、土肥真了に代表される平戸藩の刀工や、佐賀藩の忠吉一門のなかにも本品と同様の鉄鐔の作例がまま見られる。本品は、正行が制作した鐔のなかで現存が確認できる唯一の作として極めて貴重である。		

13　名称	鐔　銘対州住正久作	品　　質	鉄・鍛造
作 者 等		員　　数	1枚
時　　代	江戸時代	寸 法 等	7.4×6.8
作品概要	茎櫃孔の上下に葵葉を表裏に一枚ずつあらわした鉄地の透かし鐔。中央に切羽台を設け、茎櫃孔の右に「對州住」、左に「正久作」の銘を刻む。小柄櫃孔は楕円形、笄櫃孔は洲浜形にそれぞれ開ける。本品の本歌となったのは、「越前住記内作」の銘で知られる葵葉透かしの入った越前鐔とみられる。意匠化したフタバアオイを茎孔の上下に表裏一葉ずつ配するこの透かし鐔は越前鐔を代表するもので、江戸時代に数多く制作され、かつ各地で流行・模倣された。本品もそうした一例と考えられる。対馬の鐔工としては大宮安明の名が銘鑑などで知られているが、正久については本品が初出である。		

【皇居三の丸尚蔵館】（計66件）

（１）購入（0件）

（２）寄贈（66件）

＜金工・漆工・陶磁＞（65件）

1　名称	ボンボニエールほか	品　　質	銀製、木製漆器、陶器ほか
作 者 等		員　　数	147点
時　　代	昭和～令和時代・20～21世紀	寸 法 等	
作品概要	ボンボニエールは、フランス語bonbonniereが語源で、砂糖菓子を入れる蓋付の容器のことを意味する。皇室では、明治20年代から今日にいたるまで、デザインを凝らした小さな菓子器に金平糖などのお菓子を入れて、饗宴の記念の品として、出席者に配られている。材質は銀製を中心に、陶磁や漆や七宝などさまざまなものがある。本品は、寄贈者が天皇家、各宮家とのお付き合いのなかで受けとられたもので、その年代は昭和50年代から令和にかけてのもの。金工41件69点、漆工2件5点、陶磁22件73点、合計65件147点		

＜書跡＞（1件）

1　名称	御製二首（ぎょせいにしゅ）	品　　質	彩箋墨書
作 者 等	青山杉雨（1912～93）筆	員　　数	1幅
時　　代	平成2年(1990)	寸 法 等	本紙:縦37.0 横29.4cm
作品概要	各書体に通じた書家の青山杉雨が御製の和歌を書いたもの。平成2年11月4日から9日まで東京・上野の森美術館で開催された、上皇陛下（当時天皇陛下）のご即位を記念した「今上天皇御即位記念 歴代天皇御製皇后御歌謹書展」（財団法人全国書美術振興会主催）の出品作。一首目は平成2年、二首目は平成元年に、上皇陛下が、父にあたる昭和天皇を偲んで詠まれた御製で、竹の文様が摺られた料紙が用いられている。		

1-(1)-①-5　有形文化財に関する取組状況（文化財購入費）

令和7年3月31日

	総件数	令和6年度 合計金額（千円）	内訳(千円未満切り捨て)※					
			運営費交付金による購入件数	運営費交付金による購入金額（千円）	寄附金による購入件数	寄附金による購入金額（千円）	目的積立金による購入件数	目的積立金による購入金額（千円）
国立文化財機構	44	1,079,150	34	733,350	10	345,800	0	0
東京国立博物館	15	281,930	11	247,130	4	34,800	0	0
京都国立博物館	7	44,160	6	30,160	1	14,000	0	0
奈良国立博物館	9	359,000	7	172,000	2	187,000	0	0
九州国立博物館	13	394,060	10	284,060	3	110,000	0	0

※１件の購入に際し複数の財源を組み合わせる場合もあるため、内訳内の件数合計は必ずしも総件数と一致する訳では無い

1-(1)-①-6 寄託品一覧表

（単位：件）　令和7年3月31日現在

	国立博物館			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館			皇居三の丸尚蔵館		
	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文
合計	12,632	197	1,196	2,635	52	258	6,767	91	620	1,932	54	309	1,298	0	9	0	0	0
絵画	3,842	58	413	393	12	62	2,467	30	243	555	16	105	427	0	3	0	0	0
書跡	1,695	69	275	388	10	36	886	43	200	362	16	36	59	0	3	0	0	0
彫刻	873	10	192	145	2	39	278	2	64	426	6	88	24	0	1	0	0	0
建築	5	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
金工	983	14	87	126	5	17	570	2	41	198	7	29	89	0	0	0	0	0
刀剣	248	7	56	213	7	47		0	0	16	0	9	19	0	0	0	0	0
陶磁	1,477	1	7	118	0	2	1,012	1	4	8	0	0	339	0	1	0	0	0
漆工	761	15	56	74	6	14	549	4	16	115	5	26	23	0	0	0	0	0
染織	649	7	37	59	2	4	530	3	30	48	2	3	12	0	0	0	0	0
考古	930	12	36	167	4	13	426	6	11	202	2	11	135	0	1	0	0	0
民族資料	160	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	155	0	0	0	0	0
歴史資料	65	0	13	3	0	0	46	0	11	2	0	2	14	0	0	0	0	0
和書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
写真資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東洋 絵画	156	1	14	156	1	14												
東洋 書跡	48	2	8	48	2	8												
東洋 彫刻	14	0	0	14	0	0												
東洋 金工	2	0	1	2	0	1												
東洋 陶磁	185	1	0	185	1	0												
東洋 漆工	28	0	1	28	0	1												
東洋 染織	8	0	0	8	0	0												
東洋 考古	487	0	0	487	0	0												
東洋 民族	3	0	0	3	0	0												
黒田記念館収蔵品	13	0	0	13	0	0												

＊東京国立博物館は、列品管理規程による「東洋関係」あり。京都国立博物館・奈良国立博物館・九州国立博物館は、東洋の寄託品も「日本」に含む。
＊列品管理規程改正により、新たに「写真資料」が追加され、東京国立博物館の列品「その他」は「写真資料」に変更した。
＊東京国立博物館では、国宝・重要文化財の数は文化庁の指定件数に合わせている。

1-(1)-①-7 寄託品増減表

（単位：件）　令和7年3月31日現在

	国立博物館				東京国立博物館				京都国立博物館				奈良国立博物館				九州国立博物館				皇居三の丸尚蔵館			
	5年度	6年度			5年度	6年度			5年度	6年度			5年度	6年度			5年度	6年度			5年度	6年度		
	計	新規	返却	計	計	新規	返却	計	計	新規	返却	計	計	新規	返却	計	計	新規	返却	計	計	新規	返却	計
合計	12,428	340	136	12,632	2,675	8	48	2,635	6,541	276	50	6,767	1,937	1	6	1,932	1,275	55	32	1,298	0	0	0	0
絵画	3,714	171	43	3,842	395	0	2	393	2,327	171	31	2,467	556	0	1	555	436	0	9	427	0	0	0	0
書跡	1,685	23	13	1,695	388	0	0	388	867	23	4	886	363	0	1	362	67	0	8	59	0	0	0	0
彫刻	858	21	6	873	145	2	2	145	263	18	3	278	426	1	1	426	24	0	0	24	0	0	0	0
建築	5	0	0	5	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0
金工	967	26	10	983	126	0	0	126	547	26	3	570	200	0	2	198	94	0	5	89	0	0	0	0
刀剣	276	0	28	248	241	0	28	213					16	0	0	16	19	0	0	19	0	0	0	0
陶磁	1,479	9	11	1,477	120	0	2	118	1,012	9	9	1,012	8	0	0	8	339	0	0	339	0	0	0	0
漆工	752	12	3	761	75	0	1	74	537	12	0	549	116	0	1	115	24	0	1	23	0	0	0	0
染織	658	2	11	649	69	1	11	59	529	1	0	530	48	0	0	48	12	0	0	12	0	0	0	0
考古	928	7	5	930	167	0	0	167	419	7	0	426	202	0	0	202	140	0	5	135	0	0	0	0
民族資料	114	46	0	160	5	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	109	46	0	155	0	0	0	0
歴史資料	51	18	4	65	3	0	0	3	37	9	0	46	2	0	0	2	9	9	4	14	0	0	0	0
和書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
写真資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東洋 絵画	157	0	1	156	157	0	1	156																
東洋 書跡	48	0	0	48	48	0	0	48																
東洋 彫刻	14	0	0	14	14	0	0	14																
東洋 金工	2	0	0	2	2	0	0	2																
東洋 陶磁	181	5	1	185	181	5	1	185																
東洋 漆工	28	0	0	28	28	0	0	28																
東洋 染織	8	0	0	8	8	0	0	8																
東洋 考古	487	0	0	487	487	0	0	487																
東洋 民族	3	0	0	3	3	0	0	3																
黒田記念館収蔵品	13	0	0	13	13	0	0	13																

1-(1)-①-8 登録美術品一覧表

（単位：件）　令和7年3月31日現在

	国立博物館			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館			皇居三の丸尚蔵館		
	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文	計	国宝	重文
合計	8	0	2	6	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
絵画	4	0	2	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
書跡	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
彫刻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
陶磁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
染織	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金工	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東洋 絵画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東洋 陶磁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歴史資料	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
複合資料	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

1-(1)-②　有形文化財の管理・保存・修理等

1-(1)-②-1 各収蔵庫、展示場の温湿度

【東京国立博物館】

会場等		空調実施時間	温度(年間)	湿度（年間）
本館	展覧会場	09：00～17：00	16～31℃	14～86%
	収蔵庫	09：30～17：00	20～29℃	28～75%
平成館	展覧会場	09：00～17：00	19～30℃	29～63%
	収蔵庫	09：30～17：00	21～25℃	45～61%
東洋館	展覧会場	09：30～17：00	16～30℃	35～64%
	収蔵庫	09：30～17：00	15～31℃	44～67%
法隆寺宝物館	展覧会場	24時間運転	21～26℃	44～67%
	収蔵庫	24時間運転	21～24℃	52～59%
黒田記念館	展覧会場	24時間運転	17～23℃	47～73%
	収蔵庫	24時間運転	21～23℃	51～68%
管理棟	収蔵庫	24時間運転	20～23℃	49～61%

【京都国立博物館】

会場等		空調実施時間	温度(年間)	湿度（年間）
明治古都館	展覧会場（閉室中）	休止中		
	収蔵庫	2年12月より休止中		
平成知新館	展覧会場	8：40～17：20	19～25℃	50～60%
	収蔵庫	8：40～17：20	19～25℃	55～60%（金工収蔵庫のみ45～55%
北収蔵庫		9：00～17：30	19～25℃	50～60%
東収蔵庫		9：00～17：30	19～25℃	50～60%
文化財保存修理所		8：30～17：30	20～25℃	50～65%

【奈良国立博物館】

会場等		空調実施時間	温度（年間）			湿度（年間）
			冬	夏	中	
なら仏像館	展覧会場	24時間運転	20±2℃	24±2℃	22±2℃	60±5%
青銅器館	展覧会場	24時間運転	20±2℃	24±2℃	22±2℃	60±5%
西新館	展覧会場	24時間運転	20±2℃	24±2℃	22±2℃	60±5%
東新館	展覧会場	24時間運転	20±2℃	24±2℃	22±2℃	60±5%
	収蔵庫	24時間運転	20±1℃	22±1℃	21±1℃	60±4%
地下回廊	収蔵庫	24時間運転	20±1℃	22±1℃	21±1℃	60±4%

【九州国立博物館】

会場等	空調実施時間	温度（年間）	湿度（年間）
3階展覧会場	8:00～19:00	22～26℃	55±5%
4階展覧会場	7:00～21:00	22～26℃	55±5%
収蔵庫	8:40～21:30	22～24℃	材質別に50±2%、55±2%、60±2%

【皇居三の丸尚蔵館】

会場等	空調実施時間	温度（年間）	湿度（年間）
展覧会場	24時間運転	20～22℃	55±5%
収蔵庫	24時間運転	20～22℃	55±5%

1-(1)-②-2 収蔵品に関する資料等のデジタル化件数（収蔵品写真（フィルム）等のデジタル化件数）

令和7年3月31日現在

東京国立博物館		京都国立博物館		奈良国立博物館	
画像	259件	画像	4,237件	画像	3,203件
和古書・漢籍	15,245件			文字	6,796件
洋古書	6,202件				
九州国立博物館		皇居三の丸尚蔵館			
（完了）		（完了）			

1-(1)-②-3 保存カルテ作成件数

【東京国立博物館】　　令和7年3月31日現在

合計		542	
計		本格修理調査時	応急修理時
		14	528
絵画		2	74
書跡		0	12
彫刻		0	0
建築		0	0
金工		1	1
刀剣		0	6
陶磁		0	1
漆工		0	3
染織		1	233
考古		6	3
歴史資料		0	3
民族資料		0	0
和書		0	56
写真資料		0	69
東洋	絵画	1	5
	書跡	1	2
	彫刻	0	1
	金工	0	0
	陶磁	0	1
	漆工	0	0
	染織	1	31
	考古	1	1
	民族	0	0
法隆寺献納宝物		0	0
その他（黒田含）		0	26

【京都国立博物館・奈良国立博物館・九州国立博物館・皇居三の丸尚蔵館】

計	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	皇居三の丸尚蔵館
	305	288	86	462
絵画	166	89	6	153
書跡	51	54	2	41
彫刻	16	39	0	13
建築	0	0	0	5
金工	8	36	2	102
刀剣		2	0	3
陶磁	7	0	1	60
漆工	10	19	2	28
染織	25	10	2	20
考古	17	33	5	4
民族資料	0	0	0	0
歴史資料	5	0	6	1
和書	0	0	0	0
写真資料	0	6	0	17
その他	0	0	60	15

1-(1)-②-4 本格修理件数

令和7年3月31日現在

		計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	皇居三の丸尚蔵館
合　計		97	64	12	5	16	(19)
絵　画		20	9	6	2	3	(7)
書　跡		3	0	1	0	2	(0)
彫　刻		2	0	0	2	0	(0)
建　築		0	0	0	0	0	(0)
金　工		6	1	5	0	0	(1)
刀　剣		0	0		0	0	(4)
陶　磁		0	0	0	0	0	(0)
漆　工		0	0	0	0	0	(5)
染　織		3	1	0	0	2	(2)
考　古		13	8	0	1	4	(0)
民族資料		0	0	0	0	0	(0)
歴史資料		5	0	0	0	5	(0)
和　書		41	41	0	0	0	(0)
写真資料		0	0	0	0	0	(0)
東洋	絵　画	1	1				
	書　跡	1	1				
	彫　刻	0	0				
	金　工	0	0				
	陶　磁	0	0				
	漆　工	0	0				
	染　織	1	1				
	考　古	1	1				
	民　族	0	0				
法隆寺献納宝物		0	0				
黒田記念館収蔵品		0	0				
館史資料(収蔵品外)		0	0				

※皇居三の丸尚蔵館の修理件数は、文化庁からの長期貸与品の件数。

1-(1)-②-5 修理概況

【東京国立博物館】（計 64件）

＜絵画＞（9件）

1 列品番号	A-11131	品　質	紙本淡彩
名　称	六遠山水図　灑遠	員　数	1幅
時　代	江戸時代	寸 法 等	縦135.7 横57.8
年代世紀	明和3年(1766)	施工会社	㈱光影堂
補足事項	①表装を解体する。 ②剥落止めを施し、汚れを除去する。 ③旧裏打紙を除去する。 ④欠損部に補紙を施す。 ⑤新規裏打ちを行い、折れ伏せを入れる。 ⑥新規裏打ちを重ね、補彩をする。 ⑦表装裂、軸首は再使用し、掛幅装に仕立てる。 ⑧桐製太巻、桐製印籠箱（6幅共用箱、旧蓋板等収納）、包裂、中性紙布貼帙を新調する。 （令和6年度は⑥から⑧まで実施）		

2 列品番号	A-11132	品　質	紙本淡彩
名　称	六遠山水図　幽遠	員　数	1幅
時　代	江戸時代	寸 法 等	縦135.7 横57.8
年代世紀	明和3年(1766)	施工会社	㈱光影堂
補足事項	①表装を解体する。 ②剥落止めを施し、汚れを除去する。 ③旧裏打紙を除去する。 ④欠損部に補紙を施す。 ⑤新規裏打ちを行い、折れ伏せを入れる。 ⑥新規裏打ちを重ね、補彩をする。 ⑦表装裂、軸首は再使用し、掛幅装に仕立てる。 ⑧桐製太巻、桐製印籠箱（6幅共用箱、旧蓋板等収納）、包裂、中性紙布貼帙を新調する。 （令和6年度は⑥から⑧まで実施）		

3 列品番号	A-11133	品　質	紙本淡彩
名　称	六遠山水図　迷遠	員　数	1幅
時　代	江戸時代	寸 法 等	縦135.7 横57.8
年代世紀	明和3年(1766)	施工会社	㈱光影堂
補足事項	①表装を解体する。 ②剥落止めを施し、汚れを除去する。 ③旧裏打紙を除去する。 ④欠損部に補紙を施す。 ⑤新規裏打ちを行い、折れ伏せを入れる。 ⑥新規裏打ちを重ね、補彩をする。 ⑦表装裂、軸首は再使用し、掛幅装に仕立てる。 ⑧桐製太巻、桐製印籠箱（6幅共用箱、旧蓋板等収納）、包裂、中性紙布貼帙を新調する。 （令和6年度は⑥から⑧まで実施）		

4 列品番号	A-11134	品　質	紙本淡彩
名　称	六遠山水図　平遠	員　数	1幅
時　代	江戸時代	寸 法 等	縦135.7 横57.8
年代世紀	明和3年(1766)	施工会社	㈱光影堂
補足事項	①表装を解体する。 ②剥落止めを施し、汚れを除去する。 ③旧裏打紙を除去する。 ④欠損部に補紙を施す。 ⑤新規裏打ちを行い、折れ伏せを入れる。 ⑥新規裏打ちを重ね、補彩をする。 ⑦表装裂、軸首は再使用し、掛幅装に仕立てる。 ⑧桐製太巻、桐製印籠箱（6幅共用箱、旧蓋板等収納）、包裂、中性紙布貼帙を新調する。 （令和6年度は⑥から⑧まで実施）		

5 列品番号	A-11135	品　質	紙本淡彩
名　称	六遠山水図　深淵	員　数	1幅
時　代	江戸時代	寸 法 等	縦135.7 横57.8
年代世紀	明和3年(1766)	施工会社	㈱光影堂
補足事項	①表装を解体する。 ②剥落止めを施し、汚れを除去する。 ③旧裏打紙を除去する。 ④欠損部に補紙を施す。 ⑤新規裏打ちを行い、折れ伏せを入れる。 ⑥新規裏打ちを重ね、補彩をする。 ⑦表装裂、軸首は再使用し、掛幅装に仕立てる。 ⑧桐製太巻、桐製印籠箱（6幅共用箱、旧蓋板等収納）、包裂、中性紙布貼帙を新調する。 （令和6年度は⑥から⑧まで実施）		

6 列品番号	A-11136	品　質	紙本淡彩
名　称	六遠山水図　高遠	員　数	1幅
時　代	江戸時代	寸 法 等	縦135.7 横57.8
年代世紀	明和3年(1766)	施工会社	㈱光影堂
補足事項	①表装を解体する。 ②剥落止めを施し、汚れを除去する。 ③旧裏打紙を除去する。 ④欠損部に補紙を施す。 ⑤新規裏打ちを行い、折れ伏せを入れる。 ⑥新規裏打ちを重ね、補彩をする。 ⑦表装裂、軸首は再使用し、掛幅装に仕立てる。 ⑧桐製太巻、桐製印籠箱（6幅共用箱、旧蓋板等収納）、包裂、中性紙布貼帙を新調する。 （令和6年度は⑥から⑧まで実施）		

7 列品番号	A-60	品　質	絹本着色
名　称	見返り美人図	員　数	1幅
時　代	江戸時代	寸 法 等	縦63.0 横31.2
年代世紀	17世紀	施工会社	㈱半田九清堂
補足事項	①表装を解体する。 ②剥落止めを施し、汚れを除去する。 ③旧裏打紙を除去し、本紙の欠損部に補絹を施す。 ④新規裏打ちを行ない、折れ伏せを入れる。 ⑤新規補絹部分に補彩を施す。 ⑥表装裂、軸首は再使用し、軸木、八双、金具、紐を新調して掛幅装に仕立てる。 ⑦桐製太巻、包裂、桐製保存箱、中性紙製布貼帙を新調する。 （令和6年度は④から⑦まで実施）		

8 列品番号	A-10570	品　質	紙本着色
名　称	佐竹本三十六歌仙絵　住吉大明神	員　数	1幅
時　代	鎌倉時代	寸 法 等	35.4x96.3
年代世紀	13世紀	施工会社	㈱半田九清堂
補足事項	①表装を解体する。②剥落止めを施し、汚れを除去する。③旧裏打ち紙を除去し、本紙の欠損部に補紙を施す。④新規裏打ちを行い、折れ伏せを入れる。 ⑤新規補紙部分には補彩を施す。⑥表装裂地、軸首を再使用し、軸棒、発装、金具、紐を新調して掛幅装に仕立てる。 ⑦桐材太巻芯、黒漆塗り中継ぎ印籠外箱、桐材印籠内箱、羽二重包裂、中性紙布貼り帙を新調する。 （令和6年度は③の途中まで）		

9 列品番号	A-12054	品　質	紙本着色
名　称	佐竹本三十六歌仙絵　壬生忠峯	員　数	1幅
時　代	鎌倉時代	寸 法 等	36.6x59.8
年代世紀	13世紀	施工会社	㈱半田九清堂
補足事項	①表装を解体する。②剥落止めを施し、汚れを除去する。③旧裏打ち紙を除去し、本紙の欠損部に補紙を施す。④新規裏打ちを行い、折れ伏せを入れる。 ⑤新規補紙部分には補彩を施す。⑥表装裂地、軸首を再使用し、軸棒、発装、金具、紐を新調して掛幅装に仕立てる。 ⑦桐材太巻芯、黒漆塗り中継ぎ印籠外箱、桐材印籠内箱、羽二重包裂、中性紙布貼り帙を新調する。 （令和6年度は③の途中まで）		

＜金工＞（1件）

1　列品番号	E-14680	品　　質	陶製
名　　称	壺	員　　数	1個
時　　代	江戸時代	寸 法 等	高24.2 口径12.3 胴径20.2
年代世紀	17世紀	施工会社	㈱東都文化財保存研究所
補足事項	①クリーニングする（旧修理箇所が解体可能な場合は解体する）。②強化する。③欠失部分を補填、復元する。④補填部分に補彩する。		

＜染織＞（1件）

1　列品番号	I-4484	品　　質	綸子（絹）、刺繍、鹿子絞、縫締絞、摺箔
名　　称	小袖 染分綸子地小手毬松楓模様	員　　数	1領
時　　代	江戸時代	寸 法 等	丈 138.4 ； 裄 57.0
年代世紀	17世紀	施工会社	㈱染技連
補足事項	衣桁展示ができるよう、全体の補修と補強を下記の内容で行う。 ①表面清掃②解体③加湿整形④修理材料の作製⑤補修⑥仕立て⑦収納具の作成（令和6年度は②まで）		

＜考古＞（8件）

1　列品番号	J-22409	品　　質	土製
名　　称	壺形土器	員　　数	1個
時　　代	オホーツク文化期	寸 法 等	口径5.6 胴径7.6 底径5.4 高10.4
年代世紀	6～7世紀	施工会社	㈱東都文化財保存研究所
補足事項	①クリーニングする。②強化する。③欠失部分を補填、復元する。④補填箇所に補彩する。　（令和6年度は②～④まで実施）		

2　列品番号	J-22410	品　　質	土製
名　　称	壺形土器	員　　数	1個
時　　代	オホーツク文化期	寸 法 等	口径6.1 胴径6.7 底径3.8 高7.1
年代世紀	6～7世紀	施工会社	㈱東都文化財保存研究所
補足事項	①クリーニングする。②強化する。③欠失部分を補填、復元する。④補填箇所に補彩する。（令和6年度は②～④まで実施）		

3　列品番号	J-7220	品　　質	青銅製
名　　称	細形銅剣	員　　数	1本
時　　代	弥生時代(中期)	寸 法 等	長33.6 関幅3.6 身幅4.3 茎長2.3 重量377
年代世紀	前2～前1世紀	施工会社	㈱東都文化財保存研究所
補足事項	①クリーニングする。②脱塩処理をする。③表面を強化する。（令和6年度は②まで）		

4　列品番号	J-7221	品　　質	青銅製
名　　称	細形銅剣	員　　数	1本
時　　代	弥生時代(中期)	寸 法 等	長21.9 関幅2.1 身幅2.6 茎長1.5 重量97
年代世紀	前2～前1世紀	施工会社	㈱東都文化財保存研究所
補足事項	①クリーニングする。②脱塩処理をする。③表面を強化する。④欠損部を樹脂で補填し、補彩する。（令和6年度は②まで）		

5　列品番号	J-8361	品　　質	青銅製
名　　称	細形銅矛	員　　数	1本
時　　代	弥生時代(中期)	寸 法 等	現存部 長27.8 最大幅4 ；（台座を含む）復元 長29.1
年代世紀	前2～前1世紀	施工会社	㈱東都文化財保存研究所
補足事項	①クリーニングする。②脱塩処理をする。③破面および表面を強化する。④破片を接合し、欠損部を樹脂等で補填し、補彩する。 ⑤形状を復元した安定台を制作する。（令和6年度は②まで）		

6　列品番号	J-8372	品　　質	青銅製
名　　称	銅戈（大阪湾型）	員　　数	1本
時　　代	弥生時代(中期)	寸 法 等	長28.6 内長1.2 内幅2.4 最大幅9.8
年代世紀	前2～前1世紀	施工会社	㈱東都文化財保存研究所
補足事項	①クリーニングする。②脱塩処理をする。③表面および破断面を強化する。④破片を接合し、欠損部を樹脂等で補填する。（令和6年度は②まで）		

7　列品番号	J-34804	品　　質	青銅製
名　　称	中広形銅戈	員　　数	1本
時　　代	弥生時代(中期)	寸 法 等	現存部 長36.4 ； 胡幅11 援幅5 内長2.5 内幅2.4 重量472
年代世紀	前2～前1世紀	施工会社	㈱東都文化財保存研究所
補足事項	①クリーニングする。②脱塩処理をする。③表面および破断面を強化する。④破片を接合し、欠損部を樹脂で補填し、補彩する。（令和6年度は②まで）		

8　列品番号	J-23768	品　　質	土製
名　　称	注口付鉢形土器	員　　数	1個
時　　代	続縄文時代(後期)	寸 法 等	高15cm
年代世紀	1～3世紀	施工会社	㈱東都文化財保存研究所
補足事項	①解体し、石膏などを除去する。②クリーニングする。③強化し、接合する。④欠失部分を補填、復元する。⑤補填箇所に補彩する。（令和6年度は③まで）		

＜和書＞（41件）

1 列品番号	QA-3623-2	品　質	紙本墨書
名　称	《岩手県宝物目録；社寺及人民》	員　数	1冊
時　代	明治時代	寸 法 等	28.3×20.3
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

2 列品番号	QA-3624-1	品　質	袋綴、紙本墨書他
名　称	《岩手県宝物精細簿；単》	員　数	1冊
時　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

3 列品番号	QA-3624-2	品　質	袋綴、紙本墨書他
名　称	《東京府宝物精細簿；甲；公爵徳川家達・侯爵徳川義礼》	員　数	1冊
時　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

4 列品番号	QA-3624-3	品　質	紙本墨書
名　称	《東京府宝物精細簿；乙》	員　数	1冊
時　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

5 列品番号	QA-3624-4	品　質	袋綴、紙本墨書他
名　称	《東京府宝物精細簿；甲；公爵徳川家達・侯爵徳川義礼》	員　数	1冊
時　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

6 列品番号	QA-3624-5	品　質	袋綴、紙本墨書他
名　称	《東京府宝物精細簿；乙》	員　数	1冊
時　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

7 列品番号	QA-3624-6	品　質	袋綴、紙本墨書他
名　称	《徳川公爵宝物精細簿》	員　数	1冊
時　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

8 列品番号	QA-3624-7	品　質	袋綴、紙本墨書他
名　称	《前田公爵宝物精細簿》	員　数	1冊
時　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

9　列品番号	QA-3624-8	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《東京府宝物参攷簿；単》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

10　列品番号	QA-3624-9	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《東京府仮定精細簿》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

11　列品番号	QA-3624-10	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《神奈川県宝物精細簿；単》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

12　列品番号	QA-3624-11	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《神奈川県宝物参攷簿；単》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

13　列品番号	QA-3624-12	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《愛知県宝物精細簿；各社寺人民》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

14　列品番号	QA-3624-13	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《愛知県宝物精細簿；単；社寺士民》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

15　列品番号	QA-3624-14	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《徳川侯爵宝物精細簿；2；附成瀬子爵刀剣之部》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

16　列品番号	QA-3624-15	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《滋賀県宝物精細簿；天；滋賀郡延暦寺・園城寺・安楽律院》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

17　列品番号	QA-3624-16	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《滋賀県宝物精細簿；地；滋賀郡・栗太郡・野洲郡・甲賀郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

18　列品番号	QA-3624-17	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《滋賀県宝物精細簿；人；神崎郡・蒲生郡・愛知郡・犬上郡・坂田郡・東浅井郡・西浅井郡・伊香郡・高島郡・附士民》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

19　列品番号	QA-3624-18	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《滋賀県宝物精細簿；甲；滋賀郡・栗太郡・野洲郡・甲賀郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

20　列品番号	QA-3624-19	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《滋賀県宝物精細簿；乙；蒲生郡・神崎郡・愛知郡・犬上郡・坂田郡・東浅井郡・伊香郡・高島郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

21　列品番号	QA-3624-20	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《滋賀県宝物参攷簿；天；滋賀郡・栗太郡・野洲郡・甲賀郡・蒲生郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

22　列品番号	QA-3624-21	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《滋賀県宝物参攷簿；地；神崎郡・愛知郡・犬上郡・坂田郡・東浅井郡・西浅井郡・伊香郡・高島郡・附士民之部》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

23　列品番号	QA-3624-22	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《滋賀県宝物参攷簿；天》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

24　列品番号	QA-3624-23	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《滋賀県宝物参攷簿；地》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

25　列品番号	QA-3624-24	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《滋賀県史料参攷簿；単；社寺及士民》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

26　列品番号	QA-3624-25	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都市宝物精細簿；1；上京区》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

27　列品番号	QA-3624-26	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都市宝物精細簿；2；下京区；甲》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

28　列品番号	QA-3624-27	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都市下京区精細簿；3；下京区；乙》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

29　列品番号	QA-3624-28	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都府宝物精細簿；4；愛宕郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

30　列品番号	QA-3624-29	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都府宝物精細簿；5；葛野郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

31　列品番号	QA-3624-30	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都府宝物精細簿；6；乙訓郡・紀伊郡・宇治郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

32　列品番号	QA-3624-31	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都府宝物精細簿；7；久世郡・相楽郡・綴喜郡・南桑田郡・北桑田郡・船井郡・天田郡・何鹿郡・加佐郡・与謝郡・中郡・竹野郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

33　列品番号	QA-3624-32	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都市宝物精細簿；8；上京区士民》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

34　列品番号	QA-3624-33	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都府宝物精細簿；9；下京区士民・附各郡士民》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

35　列品番号	QA-3624-34	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都市下京区宝物精細簿；1》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

36　列品番号	QA-3624-35	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都府宝物精細簿；2；愛宕郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

37　列品番号	QA-3624-36	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都府宝物精細簿；3；葛野郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

38　列品番号	QA-3624-37	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都府宝物精細簿；4；乙訓郡・紀伊郡・宇治郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

39　列品番号	QA-3624-38	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都府宝物精細簿；5；久世郡・相楽郡・綴喜郡・南桑田郡・北桑田郡・船井郡・天田郡・何鹿郡・加佐郡・与謝郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

40　列品番号	QA-3624-39	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都市宝物精細簿；6；上京区・下京区・士民・附各郡》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

41　列品番号	QA-3624-40	品　　質	袋綴、紙本墨書他
名　　称	《京都府史要参攷簿》	員　　数	1冊
時　　代	明治時代	寸 法 等	27.8×19.6
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱国宝修理装潢師連盟
補足事項	①修理前調査・状況記録を行う。 ②解体する。 ③整形、クリーニング、補強する。 ④本紙の欠損部に補紙を施す。 ⑤補修紙の余白等を裁断する。 ⑥表紙を補修する。 ⑦修理後撮影を行う。 ⑧元の冊子装に製本する。 ⑨保存箱を作成する。 ⑩報告書を作成する。（令和５年度から令和６年度にかけて②～⑩を実施）		

＜東洋絵画＞（1件）

1　列品番号	TA-375	品　　質	黒絹金銀泥
名　　称	蘭図軸	員　　数	1幅
時　　代	朝鮮時代	寸 法 等	24.3×17.6
年代世紀	16～17世紀	施工会社	東京国立博物館
補足事項	①表装を解体する。②剥落止めを施し、汚れを除去する。③旧裏打ち紙を除去し、本紙の欠損部に補絹を施す。 ④新規裏打ちを行い、折れ伏せを入れる。⑤新規補絹部分には補彩を施す。 ⑥表装裂地、軸首を再使用し、軸棒、発装、金具、紐、台紙を新調して掛幅装に仕立てる。⑦桐材太巻芯、桐材印籠箱を新調する。		

＜東洋書跡＞（1件）

1　列品番号	TB-1175	品　　質	紙本墨書
名　　称	的蔵主あて進道語	員　　数	1幅
時　　代	元時代	寸 法 等	27.9×73.9
年代世紀	至元7年(1341)	施工会社	㈱半田九清堂
補足事項	①表装を解体する。②剥落止めを施し、汚れを除去する。③旧裏打紙を除去し、本紙の欠損部に補紙を施す。④新規裏打ちを行ない、折れ伏せを入れる。 ⑤新規補紙部分に補彩を施す。⑥表装裂、風帯、牙軸は修理して再使用し、掛幅装に仕立てる。 ⑦桐製太巻、包裂、桐製印籠箱、漆塗差込外箱を新調する。（令和6年度は②の途中まで）		

＜東洋染織＞(1件)

1　列品番号	TI-479	品　　質	平絹、印金、描絵
名　　称	ガネーシャ文様印金更紗（サリー）	員　　数	1枚
時　　代		寸 法 等	長375.0 幅153.0
年代世紀	20世紀前半	施工会社	㈱半田九清堂
補足事項	吊下げ展示ができるよう、全体の補修と補強を下記の内容で行う。 ①表面清掃②剥落止め（危険な浮き箇所、描画部分の印金・彩色、文様の印金）③加湿整形④欠損部の補修・補強（全体）⑤ほつれ整え（全体・縁取り裂） ⑥補修裂による補強（全体）⑦収納具の製作（令和6年度は②の途中まで）		

＜東洋考古＞（1件）

1　列品番号	TJ-2986	品　　質	土製
名　　称	家屋	員　　数	1個
時　　代	後漢時代	寸 法 等	高31.5　幅25.5　奥行18.0
年代世紀	2世紀	施工会社	繭山隆司
補足事項	①解体する。②クリーニングする。③強化する。④欠失部を補填しつつ順次復元する。⑤補填箇所に補彩を施す。 （令和6年度は②まで）		

【京都国立博物館】（計12件）

＜絵画＞（6件）

1　名　　称	琴棋書画図 山水図 （きんきしょがず さんすいず）	員　　数	22面
時　　代	室町時代（15～16世紀）	寸 法 等	(1)琴棋書画図 襖貼付 各縦169.3cm 横115.7cm（4面） 各縦169.3cm 横91.2cm（4面） (2)山水図 襖貼付 各縦169.3cm 横115.7cm（4面） (3)山水図 襖貼付 各縦169.3cm 横112.6cm（4面） (4)山水図 襖貼付 各縦169.3cm 横92.2cm（2面） (5)山水図 襖貼付 各縦169.3cm 横87.9cm（2面） (6)山水図 小襖貼付 各縦56.3cm 横88.1cm（2面）
品　　質	紙本墨画淡彩	施工会社	国宝修理装潢師連盟
補足事項	① 本紙の状態を記録・調査し、損傷状況を精査する。 ② 襖貼付装を解体し、本紙肌裏紙以外の旧裏打紙をおおよそ除去する。 ③ 仮裏打を行ったのち、剥落止めを施す。 ④ 本紙の汚れを適切に除去する。 ⑤ 本紙の旧肌裏紙および旧補紙を適切に除去する。 ⑥ 本紙欠失箇所に補紙を施す。 ⑦ 本紙の色合いにあわせ、薄美濃紙を用いて新たに肌裏打ちを行う。 ⑧ 美栖紙などを用い、さらに2層の裏打を施した上、折伏せ入れなども行う。 ⑨ 木製の組子下地を新調し、両面に6種8層の下張りを施して下地を作成する。 ⑩ 絵画4、5と合わせて作成した下地に本紙を貼り込む。表裏は修理前と同じ組み合わせとし、 小襖2面のみは無地の鳥の子紙による白貼りとする。 ⑪ 新たに補った補紙に本紙の地色に合わせて補彩を施す。 ⑫ 新調した漆塗縁木を打ち、元の引手を使用して襖貼付装に仕立てる。 ⑬ 修理後の状態を記録し、修理報告書を作成して修理を完了する。		
指　　定	重要文化財		

2　名　　称	芦雁図 （ろがんず）	員　　数	6面
時　　代	室町時代（15世紀）	寸 法 等	各縦169.3cm 横115.7cm（4面）、各縦169.3cm 横91.2cm（2面）
品　　質	紙本墨画	施工会社	国宝修理装潢師連盟
補足事項	① 本紙の状態を記録・調査し、損傷状況を精査する。 ② 襖貼付装を解体し、本紙肌裏紙以外の旧裏打紙をおおよそ除去する。 ③ 仮裏打を行ったのち、剥落止めを施す。 ④ 本紙の汚れを適切に除去する。 ⑤ 本紙の旧肌裏紙および旧補紙を適切に除去する。 ⑥ 本紙欠失箇所に補紙を施す。 ⑦ 本紙の色合いにあわせ、薄美濃紙を用いて新たに肌裏打ちを行う。 ⑧ 美栖紙などを用い、増裏・中裏を施す。 ⑨ 木製の組子下地を新調し、両面に6種8層の下張りを施して下地を作成する。 ⑩ 絵画3、5と合わせて作成した下地に本紙を貼り込む。表裏は修理前と同じ組み合わせとする。 ⑪ 新たに補った補紙に本紙の地色に合わせて補彩を施す。 ⑫ 新調した縁木を打ち、元の引手を使用して襖貼付装に仕立てる。 ⑬ 修理後の状態を記録し、修理報告書を作成して修理を完了する。		
指　　定	重要文化財		

3　名　　称	四季花鳥図 （しきかちょうず）	員　　数	1式
時　　代	江戸時代	寸 法 等	10面（大8面）　各縦169.5cm 横116.0cm
品　　質	紙本金地著色	施工会社	国宝修理装潢師連盟
補足事項	① 本紙の状態を記録・調査し、損傷状況を精査する。 ② 襖貼付装を解体し、本紙肌裏紙以外の旧裏打紙をおおよそ除去する。 ③ 仮裏打を行ったのち、剥落止めを施す。 ④ 本紙の汚れを適切に除去する。 ⑤ 本紙の旧肌裏紙および旧補紙を適切に除去する。 ⑥ 本紙欠失箇所に補紙を施す。 ⑦ 本紙の色合いにあわせ、薄美濃紙を用いて新たに肌裏打ちを行う。 ⑧ 美栖紙などを用い、増裏・中裏を施す。 ⑨ 木製の組子下地を新調し、両面に6種8層の下張りを施して下地を作成する。 ⑩ 絵画3、4と合わせて作成した下地に本紙を貼り込む。表裏は修理前と同じ組み合わせとする。 ⑪ 新たに補った補紙に本紙の地色に合わせて補彩を施す。 ⑫ 新調した縁木を打ち、元の引手を使用して襖貼付装に仕立てる。 ⑬ 修理後の状態を記録し、修理報告書を作成して修理を完了する。		
指　　定			

4 名　　称	鍾秀斎図　祥啓筆 （しょうしょうさいず　しょうけいひつ）	員　　数	1幅
時　　代	室町時代（16世紀）	寸 法 等	縦78.7cm 横27.6cm
品　　質	紙本墨画	施工会社	㈱光影堂
補足事項	①調査および記録を行う。 ②表装裂地を取り外す。 ③剥落止めを行い、絵具層を強化する。 ④浄化水を用いて本紙の汚れを除去する。 ⑤本紙の肌裏紙を除去する。 ⑥本紙欠損箇所に裏面より補絹を行う。 ⑦各種裏打を施し、折れ伏せを入れる。 ⑧総裏打ののち仮張りし、充分に乾燥させる。 ⑨新たな補紙の箇所に補彩を行う。 ⑩掛幅装に仕立てる。表装裂、軸首等は全て新調する。 ⑪桐太巻添軸、桐屋郎箱を新調し、納入する。 ⑫修理後の記録をとり、報告書を作成する。		
指　　定	重要文化財		

5 名　　称	百犬図　伊藤若冲筆（ひゃっけんず　いとうじゃくちゅうひつ）	員　　数	1幅
時　　代	江戸時代（18世紀）	寸 法 等	縦143cm　横84.4cm
品　　質	絹本著色	施工会社	㈱岡墨光堂
補足事項	①調査および記録を行う。 ②解体し、表装裂地や裏打紙等を取り外す。 ③本紙の処置に備えて適宜、剥落止めを行う。 ④浄化水を用いて本紙の汚れを除去する。 ⑤本紙の肌裏紙を除去する。 ⑥本紙欠損箇所に補修紙を入れる。 ⑦各種の新たな裏打ちを施し、折れ伏せを入れる。 ⑧新たな補修紙の箇所に適宜、補彩を行う。 ⑨掛幅装に仕立てる。 ⑩桐太巻添軸、桐屋郎箱を新調して軸を納める。旧箱等は別置保管する。 ⑪修理後の記録をとり、報告書を作成する。		
指　　定			

6 名　　称	真山水図　狩野元信筆 （しんさんすいず　かのうもとのぶひつ）	員　　数	1幅
時　　代	室町時代（16世紀）	寸 法 等	縦46.6cm　横95.8cm
品　　質	紙本墨画淡彩	施工会社	㈱光影堂
補足事項	①調査および記録を行う。 ②解体し、表装裂地や裏打紙を取り外す。 ③本紙処置に備えて適宜、剥落止めを行う。 ④浄化水を用いて本紙の汚れを除去する。 ⑤本紙の肌裏紙を除去する。 ⑥本紙欠損箇所に補修紙を入れる。 ⑦各種の新たな裏打ちを施し、折れ伏せを入れる。 ⑧新たな補修紙の箇所に適宜、補彩を行う。 ⑨掛幅装に仕立てる。表装裂、軸首等は元使いとする。 ⑩桐太巻添軸、桐屋郎箱を新調して軸を納める。旧箱や添状類、旧表装はまとめて別置保管する。 ⑪修理後の記録をとり、報告書を作成する。		
指　　定			

＜書跡＞（1件）

7 名　　称	古文書手鑑（八十八通） （こもんじょてかがみ　（はちじゅうはっつう））	員　　数	1帖
時　　代	鎌倉～江戸時代（13～17世紀）	寸 法 等	縦39.4cm　横57.6cm　厚9.2cm
品　　質	両面折帖装	施工会社	㈱修美
補足事項	修理期間は４ヶ年を予定し、以下の工程を行う。 ①本紙の状態を調査し、写真撮影等により修理前の記録をとる。 ②手鑑の各本紙を台紙より取り外す。 ③剥落の危険性がある墨層に対し、剥落止めを行う。 ④浄化水を用いて本紙の汚れを除去する。 ⑤旧裏打紙を除去する。 ⑥各料紙と同質の補修紙を作製し、裏面より欠失箇所に補紙を施す。 ⑦各本紙に適した裏打ちを施したのち、仮張りより十分に乾燥させる。 ⑧必要に応じて、本紙の補修を施した箇所に、補彩を行う。 ⑨台紙、表紙裂および見返しを新調する。 ⑩修理の完了した本紙、付箋を元の位置に貼り戻す。 ⑪包裂および保存箱を新調し、納入する。 ⑫写真撮影等により修理後の記録をとり、報告書を作成する。		
指　　定			

＜金工＞（5件）

8 名　称	腰刀 （こしがたな）	員　数	1口
時　代	室町時代（14～15世紀）	寸 法 等	刃長72.1cm 反り2.2cm
品　質	鎬造、庵棟	施工会社	御刀研處真澄庵
補足事項	①金剛砥・備水砥・改正砥を用いて成形し、下地研磨を行う。 ②中名倉砥・細名倉砥を用いて地鉄を整える。 ③内曇砥を用いて刃と地を研磨する。 ④刃艶と地艶を用い、古式研磨法である差込研を行う。 ⑤鋒部分の鉄子を磨き、ナルメを行う。 ⑥鎺を清掃し、調整を行う。 ⑦白鞘を新調する。 ⑧拵のつなぎを新調する。 ⑨柄巻を巻き直す。 ⑩報告書を作成する。		
指　定			

9 名　称	脇差　銘備州長船康光　應永十六年十月日 （わきざし　めいびしゅうおさふねやすみつ　おうえいじゅうろくねんじゅうがつじつ）	員　数	1口
時　代	室町時代（応永16年）	寸 法 等	刃長47.3cm
品　質	鉄製　鍛造	施工会社	御刀研處真澄庵
補足事項	①内曇砥を用いて刃と地を研磨する。 ②刃艶と地艶を用い、古式研磨法である差込研を行う。 ③鋒部分の鉄子を磨き、ナルメを行う。 ④鎺を清掃し、調整を行う。 ⑤割鞘を行い白鞘の内部を清掃する。 ⑥報告書を作成する。		
指　定			

10 名　称	薙刀直シ刀　銘（菊紋） （なぎなたなおしかたな　めい（きくもん）	員　数	1口
時　代	南北朝時代（14世紀）	寸 法 等	刃長80.9cm
品　質	鉄製　鍛造	施工会社	御刀研處真澄庵
補足事項	①金剛砥・備水砥・改正砥を用いて成形し、下地研磨を行う。 ②中名倉砥・細名倉砥を用いて地鉄を整える。 ③内曇砥を用いて刃と地を研磨する。 ④刃艶と地艶を用いて仕上げ、鉄肌拭いをかけて刃取を行う。 ⑤鋒部分の鉄子を磨き、ナルメを行う。 ⑥純銀で一重鎺を新調する。 ⑦白鞘を新調する。 ⑧報告書を作成する。		
指　定			

11 名　称	短刀　銘陸奥守大道作 （たんとう　めいむつのかみおおみちさく）	員　数	1口
時　代	室町時代（16世紀）	寸 法 等	刃長25.6cm
品　質	鉄製　鍛造	施工会社	玉置美術刀剣研磨処
補足事項	①金剛砥・備水砥・改正砥を用いて成形し、下地研磨を行う。 ②中名倉砥・細名倉砥を用いて地鉄を整える。 ③内曇砥を用いて刃と地を研磨する。 ④刃艶と地艶を用い、古式研磨法である差込研を行う。 ⑤鋒部分の鉄子を磨き、ナルメを行う。 ⑥鎺を清掃し、調整を行う。 ⑦白鞘を新調する。 ⑧拵のつなぎを新調する。 ⑨報告書を作成する。		
指　定			

12 名　称	刀　銘繁慶 （かたな　めいしげよし）	員　数	1口
時　代	江戸時代（17世紀）	寸 法 等	刃長68.6cm
品　質	鉄製　鍛造	施工会社	玉置美術刀剣研磨処
補足事項	①金剛砥・備水砥・改正砥を用いて成形し、下地研磨を行う。 ②中名倉砥・細名倉砥を用いて地鉄を整える。 ③内曇砥を用いて刃と地を研磨する。 ④刃艶と地艶を用いて仕上げ、鉄肌拭いをかけて刃取を行う。 ⑤鋒部分の鉄子を磨き、ナルメを行う。 ⑥鎺を清掃し、調整を行う。 ⑦白鞘を新調する予定であるが、現状のものを修理できる場合は修理する。 ⑧報告書を作成する。		
指　定			

【奈良国立博物館】（計5件）

＜絵画＞（2件）

1　名　　称	聖徳太子及道慈律師像	員　　数	2幅
時　　代	室町時代 14～15世紀	寸 法 等	［聖徳太子像］縦119.5cm　横49.2cm（表装：縦198.8cm　横64.6cm） ［道慈律師像］縦119.2cm　横49.2cm（表装：縦197.9cm　横64.5cm）
品　　質	絹本著色　掛幅装	施工会社	株式会社光影堂
補足事項	本紙料絹の強い横折れ、裏打紙の劣化などの構造的な不具合を改善するために、表装を解体し裏打紙を取り替える本格修理を行う。まず光学機器を用いた調査に基づいて詳細な損傷図面を作成し、欠失や旧補絹などの状態を明らかにした上で、修理方針を決定。濾過水を噴霧して吸取紙に汚れを吸収させるクリーニングを施す。旧肌裏紙の除去に際しては乾式肌上げ法を採用する。膠着力の低下した絵具層に、膠などの接着剤を用いて剝落止めの処置を行う。尊像部分の旧補絹は全て再使用を基本とし、図様に関わらない部分を中心に旧補絹を除去する。料絹が剝落して露出した裏打紙に絵具が残存している箇所には、電子線劣化絹を用いて表面から補絹を施し、欠失箇所については裏面から補絹を施す。新調した美濃紙による肌裏打ち、美栖紙による中裏打ち、折れを軽減するために折れ伏せを施した上で、宇陀紙による総裏打ちを施す。本紙寸法は両幅を同寸に仕上げる。新たに補絹を施した箇所に地色補彩を行う。表装裂・上下軸木・啄木・軸首を新調し、軸装に仕立てる。桐太巻添軸・包裂・桐印籠箱・裂貼四方帙を新調し納入。修理記録を整理し、報告書を作成する。3か年修理2年目。 令和6年度は、調査、解体、剝落止め、クリーニング、損傷図作製、肌裏紙や補絹の修理方針協議、旧肌裏紙除去などを行った。		
指　　定			

2　名　　称	藤原鎌足像	員　　数	1幅
時　　代	安土桃山時代（16世紀）	寸 法 等	（本紙）縦117.2cm　横40.2cm　（表具）縦198.6cm　横58.5cm
品　　質	絹本著色　掛幅装	施工会社	株式会社文化財保存
補足事項	表装を解体し裏打紙を全て取り替える本格修理を行う。解体後、本紙表面から濾過水を噴霧して吸取紙に汚れを吸収させるクリーニングを施す。旧肌裏紙の除去には乾式肌上げ法を採用する。経年による膠着力の低下や巻き解き時の擦れによる剝落が進む絵具層に、膠水溶液などの接着剤を用いて剝落止めの処置を行う。旧補絹・旧補紙は全て除去して、欠失箇所に本紙料絹の織り組織に合わせた電子線劣化絹を新たに補い、補填箇所に地色補彩を行う。新調した美濃紙による肌裏打ち、美栖紙による増裏打ち・中裏打ち、宇陀紙による総裏打ちを施す。折れを軽減するために適宜折れ伏せを施す。表装裂、軸首・端喰金具等の金具は再使用、上下軸木・啄木・吊り鐶等を新調して軸装に仕立てる。桐太巻添軸・包裂・裂貼四方帙および一重収納箱を新調。修理記録を整理、報告書を作成。		
指　　定			

＜彫刻＞（2件）

3　名　　称	木造増長天立像	員　　数	１軀
時　　代	平安～鎌倉時代（11～12世紀）	寸 法 等	像高163.2センチメートル
品　　質	木造　彩色	施工会社	公益財団法人美術院
補足事項	（１）経年の埃は刷毛等を用いて、できる限り除去する。また、表面各所の微細な針状物質はクリーニング時に除去し、サンプリングsuる。 （２）表面層の彩色や下地の経年劣化による浮き上がりは、樹脂やふのり、膠を用いて剝落止めをおこなう。 （３）各所にみられる後世の修理箇所の変色は、周囲になじむように古色修整をおこなう。 （４）本体各所にみられる材の割損や木屎漆の劣化によると思われる亀裂および虫蝕箇所は、損傷移行のおそれがあれば漆や膠、樹脂等で補修する。損傷移行のおそれがなければそのままとする。 （５）動揺している別材製の胸甲の甲締具、胸下中央の甲締具の紐等は、緩む釘を締めて固定する。 （６）方座天板の矧ぎ目が緩み、亀裂や目違いが生じている箇所は、要すれば一部解体し、できる限り目違いを修整し、緩みがないよう漆または膠、樹脂等で接着する。 令和7年度5月末完了予定。		
指　　定	重要文化財		

4　名　　称	木造多聞天立像	員　　数	1軀
時　　代	平安～鎌倉時代（11～12世紀）	寸 法 等	像高155.5センチメートル
品　　質	木造　彩色	施工会社	公益財団法人美術院
補足事項	（１）経年の埃は刷毛等を用いて、できる限り除去する。 （２）表面の浮き上がりは、樹脂やふのり、膠等を用いて剝落止めを行う。 （３）後世の修理箇所の変色は、周囲に馴染むよう古色修整を行う。 （４）亀裂や動揺は、損傷移行のおそれがあれば、漆や膠、樹脂等で補修する。損傷移行のおそれがなければ、現状のままとする。 （５）腐食する釘は、アクリル樹脂で防錆処置を行う。割損については動揺がみられず、損傷移行のおそれがないため、現状のままとする。 （６）安定を欠いている持物の宝塔や左右天衣は、取り付け部の枘および枘穴を修整し、取り付けを安定させる。 （７）左天衣の裏面に付着した左腰脇の表面は、可能であれば天衣より剝がし、本体への復位を検討する。 （８）現状で取り外しが可能な頭部と両腕は、体幹部と緊結し、外れない仕様にするかを検討する。また、両腕の蟻枘は別材製であり、木ネジ等をもちいて固定されているが、腕の角度を精査したうえで、要すれば蟻枘を一旦解体し、角度を調整のうえ蟻枘を復位する。 令和7年度5月末完了予定。		
指　　定	重要文化財		

＜考古＞（1件）

5　名　　称	経筒（伝北九州出土）	員　　数	1口
時　　代	平安時代（12世紀）	寸 法 等	総高41.5　蓋径20.8　口径15.0
品　　質	銅製　鍛造　鍍金　ガラス製（宝珠）　火焔宝珠紐 傘蓋　八角宝幢形	施工会社	公益財団法人元興寺文化財研究所
補足事項	①保存修理前の対象資料の状況や素材について調査するため、写真撮影、X線写真撮影、微小部観察（顕微鏡観察）、エネルギー分散型蛍光X線分析、赤外分光分析 FT-IR （蓋付着繊維の材質分析。試料採取）、顕微鏡断面観察（樹種同定、繊維同定のため。試料採取）をおこなう。 ②経筒の保存処理のため、表面の土・錆等のクリーニング、有機溶剤等による洗浄、必要に応じて防錆処理を行い、合成樹脂等の含浸・塗布等で強化処理をおこなう。 ③木製台座のクリーニングをおこなう。 ④ 演示具、アクリル台、シリコーンシート作製（三次元計測含む）をおこなう。 ⑤処理中に使用した薬剤名や写真記録、作業工程、費やした時間等の修理に関する情報を整理し、修理報告書を作成し、最低３部納品する。 作業工程上令和7年度6月末完了予定。		
指　　定			

【九州国立博物館】（計16件）

＜絵画＞（3件）

1　名　　称	宝冠阿弥陀如来像	員　　数	1幅
時　　代	中国　南宋時代・13世紀	寸 法 等	本紙：縦108.8　横49.2　表装：縦163.0　横69.2　軸長74.6(cm)
品　　質	絹本著色	施工会社	修理工房宰匠株式会社
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.絵具層の剝落止を行う。 3.解体し、汚れを除去する。 4.再度、絵具層の剝落止を行う。 5.本紙表面から施された旧補修絹を除去し、新たに補修を行う。 6.表打を行い、旧肌裏紙と本紙裏面から施された旧補修絹を除去する。 7.本紙裏面より欠失箇所と本紙四方周囲に補修を行う。 8.肌裏打、増裏打、折伏を行う。 9.表装裂地に肌裏打と増裏打を行う。 10.本紙と表装裂地を元の表装形態に付け廻す。 11.中裏打、総裏打を行う。 12.補修箇所に補彩を施す。 13.掛幅装に仕立てる。 14.桐製太巻添軸、桐製印籠箱を新調し納入する。 15.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。 （令和6～7年度　2か年継続事業、令和6年度は工程7までを実施）		

2　名　　称	列祖図冊	員　　数	1帖
時　　代	江戸時代・17世紀	寸 法 等	本紙：縦54.2　横40.1　表装：縦62.0　横45.7(cm)
品　　質	紙本著色	施工会社	修理工房宰匠株式会社
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.解体し、剝落止を行い、汚れを除去する。 3.表打を行い、旧肌裏紙を除去する。 4.本紙裏面より補修を行う。 5.肌裏打及び2回目の裏打を行う。 6.補修箇所に補彩を施す。 7.台紙を作製し、表紙裂と見返しを取り付けて画帖に仕立てる。 8.下足板付桐被箱を新調し納入する。 9.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。 （令和4～6年度　3か年継続事業、令和6年度は工程7の50%以降を実施）		

3　名　　称	水辺村童図	員　　数	1幅
時　　代	江戸時代・天保11年（1840）	寸 法 等	本紙：縦95.4　横34.8　表装：縦 162.5　横39.9　軸長44.9(cm)
品　　質	絹本著色	施工会社	修理工房宰匠株式会社
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.絵具層の剝落止を行う。 3.解体し、汚れを除去する。 4.再度、絵具層の剝落止を行う。 5.旧肌裏紙を除去し、裏面より本紙四方周囲に補修を行う。 6.肌裏打を行い、欠失箇所に補修を行う。 7.増裏打、折伏、中裏打、総裏打を行う。 8.本紙と表装裂地を元の表装形態に付け廻す。 9.補修箇所に補彩を施す。 10.掛幅装に仕立てる。 11.桐製太巻添軸、桐製印籠箱を新調する。 12.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。 （令和5～6年度　2か年継続事業、令和6年度は工程5以降を実施）		

＜書跡＞（2件）

4　名　　称	瀟湘八景詩	員　　数	1巻
時　　代	江戸時代・17世紀	寸 法 等	縦33.5　全長638.0(cm)
品　　質	絹本墨書・墨画	施工会社	修理工房宰匠株式会社
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.解体し、ドライクリーニングを行う。 3.墨書の剝落止を行う。 4.汚れを除去し、旧裏打紙を除去する。 5.本紙欠失箇所と本紙四方周囲に補修を行う。 6.肌裏打、増裏打、折伏を行う。 7.中裏打、総裏打を行う。 8.補修箇所に補彩を施す。 9.本紙を継ぎ合わせ、巻子装に仕立てる。 10.桐製太巻添軸、桐製印籠箱を新調し納入する。 11.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。		

5 名　称	色定法師一筆一切経	員　数	3巻1枚
時　代	(1)鎌倉時代・建暦3年(1213)頃　(2)・(3)鎌倉時代・建久5 年(1194)　(4)鎌倉時代・建久5年(1194)頃	寸 法 等	(1)縦25.0　横772.1　(2)縦24.8 横820.2　(3)縦24.9 横659.6 (4)縦23.8 横5.7(cm)
品　質	紙本墨書	施工会社	修理工房宰匠株式会社
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.ドライクリーニングを行う。 3.解体し、本紙料紙の継ぎを外す。 4.墨書の剝落止を行う。 5.汚れを除去し、旧裏打紙と旧補修紙を除去する。 6.本紙欠失箇所に補修を施す。 7.本紙を継ぎ戻す。 8.肌裏打、折伏、総裏打を行う。 9.巻子装に仕立てる。 10.桐製太巻添軸、桐製印籠箱を新調し納入する。 （令和6～7年度　2か年継続事業、令和6年度は工程8の50%までを実施）		

＜染織＞（2件）

6 名　称	水色地稲妻に楓桔梗文紅型衣裳	員　数	1領
時　代	琉球 第二尚氏時代・19世紀	寸 法 等	身丈109.5　裄51.0　袖丈38.0　衿長81.0　袖巾11.0(cm)
品　質	木綿モスリン地袷両面紅型衣裳	施工会社	株式会社松鶴堂
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.一部解体し、衿と袖の裏地を取り外す。 3.裏地表面の付着物を除去する。 4.折れ皺を緩和させる。 5.衿と袖の裏地を新調しの欠失箇所を補修して再使用し、衿と袖を縫い合わせる。 6.仕立糸を新調し、損傷個所の補強を行う。 7.枕、手掛かり綿布付き中性紙製台紙、アーカイバルボード製保存箱を作製し納入する。 8.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。		

7 名　称	白綸子地染繍小袖裂	員　数	1枚
時　代	江戸時代・17世紀	寸 法 等	縦100.0　横70.0(cm)
品　質	綸子地	施工会社	株式会社染技連
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.付着した両面テープを除去し、台板から取り外す。 3.折れ皺を緩和させ、織り目を整える。 4.裏面より全体に絹製補修裂を縫い当て、欠失箇所の補修を行う。 5.仕立て糸のほつれに絹糸を掛けて安定させる。 6.台裂に縫い留めて補強する。 7.枕、手掛かり綿布付き中性紙製台紙、アーカイバルボード製保存箱を作製し納入する。 8.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。		

＜考古＞（4件）

8 名　称	深鉢型土器	員　数	1口
時　代	縄文時代・前3,000 年-前2,000年	寸 法 等	最大径37.0　高51.0(cm)
品　質	土製	施工会社	株式会社芸匠
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.旧修理による接合を解体し、汚れを除去する。 3.破断面等にアクリル樹脂による強化を行う。 4.破片を接着し、目地や欠失箇所の充填、復元を行う。 5.充填・復元箇所に補彩を施す。 6.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。		

9 名　称	山口県竹島古墳出土品	員　数	1括（銅鏡3面、銅鏃26本、鉄剣4振、鉄鏃1本、鉄斧1個）
時　代	古墳時代・3-4世紀	寸 法 等	銅鏡　径22.3ほか、銅鏃　長さ5.0ほか、鉄剣　長さ27.1ほか、鉄鏃長さ3.7、鉄斧長さ8.8(cm)
品　質	青銅製、鉄製	施工会社	株式会社芸匠
補足事項	(銅製品) 1.修理前写真の撮影と、X線透過写真の撮影、記録を行う。 2.汚れを除去する。 3.防錆処理を行う。 4.アクリル樹脂で強化を行う。 5.破片を接合し、目地や欠失箇所を充填・補強する。 6.充填箇所に補彩を施す。 7.台座を作製する。 8.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。 (鉄製品) 1.修理前写真の撮影と、X線透過写真の撮影、記録を行う。 2.破断面等にアクリル樹脂による強化を行う。 3.破片を接合し、目地や欠失箇所を充填・補強する。 4.充填箇所に補彩を施す。 5.台座を作製する。 6.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。 （令和6～7年度　2か年継続事業、令和6年度は銅鏡3面を実施）		

10 名　　称	鞍橋金具	員　　数	1背
時　　代	古墳時代・6世紀	寸 法 等	前輪：長29.5　高16.5　厚2.8　中央高3.5 後輪：長45.9　高17.2　厚8.2　中央高1.4(cm)
品　　質	鉄地金銅張	施工会社	株式会社芸匠
補足事項	1.修理前写真の撮影と、X線透過写真の撮影、記録を行う。 2.汚れを除去する。 3.アクリル樹脂を塗布して養生した後、脱塩処理を行う。 4.防錆処理を行い、錆等を除去する。 5.アクリル樹脂を含浸させて強化し、破片を接合する。 6.欠失部分の充填を行う。 7.充填部分に補彩を施す。 8.台座を作製する。 9.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。 （令和5～6年度　2か年継続事業、令和6年度は工程8以降を実施）		

11 名　　称	三雲南小路遺跡出土連弧文鏡	員　　数	1面
時　　代	弥生時代・前2世紀-後1世紀	寸 法 等	最大径8.3(cm)
品　　質	青銅製	施工会社	株式会社芸匠
補足事項	1.修理前写真の撮影と、X線透過写真の撮影、記録を行う。 2.汚れを除去する。 3.破断面をアクリル樹脂で強化する。 4.破片を接合する。 5.台座を作製する。 6.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。		

＜歴史資料＞（5件）

12 名　　称	対馬宗家関係資料 箱 22　巻1～11	員　　数	11巻
時　　代	江戸時代・18 世紀	寸 法 等	巻1：(第1紙)縦23.5 横64.1　巻2：(第1紙)縦23.4 横64.0 巻3：(第1紙)縦20.3 横54.3　巻4：(第1紙)縦20.2 横51.9 巻5：(第1紙)縦20.2 横52.6　巻6：(第1紙)縦20.4 横55.2 巻7：(第1紙)縦20.0 横53.8　巻8：(第1紙)縦34.3 横47.3 巻9：(第1紙)縦20.0 横27.5　巻10：(第1紙)縦20.2 横53.8 巻11：(第1紙)縦17.4 横52.0(cm)
品　　質	紙本墨書	施工会社	修理工房宰匠株式会社
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.解体する。 3.剥落止を行い、汚れを除去する。 4.再度、剥落止めを行い、旧肌裏紙及び旧補修紙を除去する。 5.欠失箇所に補修を行う。 6.肌裏打、折伏、総裏打を行う。 7.表紙を本紙に継ぎ合わせ、巻子装に仕立てる。 8.桐製太巻添軸、包裂を新調し納入する。 9.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。 （令和5～8年度　4か年継続事業、令和6年度は巻4～6を施工）		

13 名　　称	亀図	員　　数	1幅
時　　代	江戸時代・嘉永元年（1848）	寸 法 等	本紙：縦102.4　横35.5　表具：縦184.5　横47.8(cm)
品　　質	絹本墨画淡彩	施工会社	修理工房宰匠株式会社
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.絵具層の剥落止を行う。 3.解体し、汚れを除去する。 4.再度、絵具の剥落止を行い、旧肌裏紙を除去する。 5.肌裏打、増裏打、折伏を行う。 6.表装裂地に肌裏打と増裏打を行う。 7.本紙と表装裂地を元の表装形態に付け廻す。 8.総裏打を行い、掛幅装に仕立てる。 9.桐製太巻添軸、桐製印籠箱を新調し納入する。 10.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。		

14 名　　称	書「国本」	員　　数	1幅
時　　代	江戸時代・19世紀	寸 法 等	本紙：縦51.4　横37.3　表具：縦132.2　横48.4(cm)
品　　質	紙本墨書	施工会社	修理工房宰匠株式会社
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.解体し、汚れを除去する。 3.墨書及び朱印の剥落止を行い、旧肌裏紙を除去する。 4.肌裏打、増裏打、折伏を行う。 5.表装裂地を新調し、肌裏打と増裏打を行う。 6.本紙と表装裂地を元の表装形態に付け廻す。 7.総裏打を行い、掛幅装に仕立てる。 8.桐製太巻添軸、桐製印籠箱を新調し納入する。 9.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。		

15 名　　称	幸信筆寿老人図	員　　数	1幅
時　　代	江戸時代・17世紀	寸 法 等	本紙：縦148.0　横39.3　表具：縦148.0　横39.3(cm)
品　　質	紙本墨画淡彩	施工会社	修理工房宰匠株式会社
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.解体し、汚れを除去する。 3.絵具層の剥落止を行う。 4.肌裏打、増裏打、折れ伏せ、総裏打を行う。 5.掛幅装に仕立てる。 6.桐製太巻添軸、桐製印籠箱を新調し納入する。 7.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。		

16 名　　称	「君送蕉府庭、明月満前川」	員　　数	1幅
時　　代	江戸時代・19世紀	寸 法 等	本紙：縦40.0　横14.2　表具：縦168.0　横38.0(cm)
品　　質	紙本墨書	施工会社	修理工房宰匠株式会社
補足事項	1.修理前写真の撮影と調査、記録を行う。 2.解体し、汚れを除去する。 3.墨書の剥落止を行う。 4.旧肌裏紙を除去し、裏面より本紙欠失箇所の補修を行う。 5.肌裏打、増裏打、折伏を行う。 6.表装裂地に肌裏打と増裏打を行う。 7.本紙、台紙、表装裂地を元の表装形態に付け廻し、総裏打を行う。 8.補修箇所に補彩を施す。 9.掛幅装に仕立てる。 10.桐製太巻添軸、桐製印籠箱を新調し納入する。 11.修理後写真の撮影、記録、報告書作成を行う。		

【皇居三の丸尚蔵館】（計19件）

※皇居三の丸尚蔵館の修理件数は、文化庁からの長期貸与品について文化庁事業として実施された件数

＜絵画＞（7件）

1 列品番号	SZK000009	品　　質	絹本着色
名　　称	旭日老松双鶴図	員　　数	2幅
時　　代	江戸時代	寸 法 等	各縦126.4　横69.9(cm)
年代世紀	安永8年(1779)	施工会社	㈱半田九清堂
補足事項	①表装を解体する。 ②剥落止めを施し、汚れを除去する。 ③旧裏打紙を除去する。 ④新規裏打ちを行い、折れ伏せを入れる。 ⑤新規裏打ちをおこなう。⑥元の裂を修理し、掛幅装に仕立てる。⑦桐製太巻、桐製印籠箱、包裂、帙を新調する。		

2 列品番号	SZK000697	品　　質	紙本着色
名　　称	三蟲之図巻	員　　数	1巻
時　　代	江戸時代	寸 法 等	縦34.8 横-(cm)
年代世紀	19世紀	施工会社	㈱岡墨光堂
補足事項	①表装を解体する。 ②剥落止めを施し、汚れを除去する。 ③旧裏打紙を除去する。 ④欠損部に補紙を施す。 ⑤新規裏打ちを行い、折れ伏せを入れる。 ⑥新規裏打ちを重ね、補彩をする。 ⑦２巻に分けて巻子装に仕立てる。 ⑧桐製太巻、桐製印籠箱（計26巻共用箱、旧蓋板等収納）、包裂、中性紙布貼帙を新調する。 （令和5年度の宮内庁事業として開始し、文化財機構移管後に引き継いで実施）		

3 列品番号	SZK003263	品　　質	絹本着色
名　　称	遠浦晴光図	員　　数	１幅
時　　代	昭和時代	寸 法 等	縦80.5　横115.8(cm)
年代世紀	20世紀	施工会社	㈱光影堂
補足事項	①表装を解体する。 ②剥落止めを施し、汚れを除去する。 ③旧裏打紙を除去する。 ④新規裏打ちを行う。 ⑤表装裂を新調し、掛幅装に仕立てる。 ⑥桐製太巻、桐製印籠箱を新調する。		

4 列品番号	SZK000691	品　　質	絹本着色
名　　称	孔雀図	員　　数	1幅
時　　代	江戸時代	寸 法 等	縦158.7　横89.0(cm)
年代世紀	18～19世紀	施工会社	㈱岡墨光堂
補足事項	①表装を解体する。 ②剥落止めを施し、汚れを除去する。 ③旧裏打紙を除去する。 ④欠損部に補紙を施す。 ⑤新規裏打ちを行い、折れ伏せを入れる。 ⑥新規裏打ちを重ね、補彩をする。 ⑦２巻に分けて巻子装に仕立てる。 ⑧桐製太巻、桐製印籠箱（計26巻共用箱、旧蓋板等収納）、包裂、中性紙布貼帙を新調する。 （令和5年度の宮内庁事業として開始し、文化財機構移管後に引き継いで実施）		

5　列品番号	SZK000716	品　　質	紙本着色
名　　称	酒伝童子絵巻巻一・巻二	員　　数	2巻
時　　代	江戸時代	寸 法 等	（巻1）縦35.0 横1179.2、（巻2）縦35.1 横1208.7(cm)
年代世紀	17世紀	施工会社	㈱岡墨光堂
補足事項	①表装を解体する。 ②剥落止めを施し、汚れを除去する。 ③旧裏打紙を除去する。 ④欠損部に補紙を施す。 ⑤新規裏打ちを行い、折れ伏せを入れる。 ⑥新規裏打ちを重ね、補彩をする。 ⑦２巻に分けて巻子装に仕立てる。 ⑧桐製太巻、桐製印籠箱（計26巻共用箱、旧蓋板等収納）、包裂、中性紙布貼帙を新調する。 （令和5年度の宮内庁事業として開始し、文化財機構移管後に引き継いで実施）		

6　列品番号	SZK002981	品　　質	紙本金地着色
名　　称	菊花図簾屏風	員　　数	6曲1双
時　　代	江戸時代	寸 法 等	各縦154.0 横360.0(cm)
年代世紀	17世紀	施工会社	㈱岡墨光堂
補足事項	①表装を解体する。 ②剥落止めを施し、汚れを除去する。 ③旧裏打紙を除去する。 ④欠損部に補紙を施す。 ⑤新規裏打ちを行い、折れ伏せを入れる。 ⑥新規裏打ちを重ね、補彩をする。 ⑦２巻に分けて巻子装に仕立てる。 ⑧桐製太巻、桐製印籠箱（計26巻共用箱、旧蓋板等収納）、包裂、中性紙布貼帙を新調する。 （令和5年度の宮内庁事業として開始し、文化財機構移管後に引き継いで実施）		

7　列品番号	SZK005056	品　　質	紙本着色
名　　称	彦火々出見尊絵巻　巻一	員　　数	1巻
時　　代	江戸時代	寸 法 等	縦32.3　横589.4(cm)
年代世紀	17世紀	施工会社	㈱岡墨光堂
補足事項	①表装を解体する。 ②剥落止めを施し、汚れを除去する。 ③旧裏打紙を除去する。 ④欠損部に補紙を施す。 ⑤新規裏打ちを行い、折れ伏せを入れる。 ⑥新規裏打ちを重ね、補彩をする。 ⑦２巻に分けて巻子装に仕立てる。 ⑧桐製太巻、桐製印籠箱（計26巻共用箱、旧蓋板等収納）、包裂、中性紙布貼帙を新調する。 （令和5年度の宮内庁事業として開始し、文化財機構移管後に引き継いで実施）		

＜染織＞（2件）

8　列品番号	SZK000590	品　　質	天鵞絨地、友禅染
名　　称	天鵞絨友禅修学院離宮図掛幅	員　　数	1幅
時　　代	明治時代	寸 法 等	縦311.0 横115.0(cm)
年代世紀	明治27年(1894)	施工会社	
補足事項	①修理前の状態を調査し、記録を作成する。②必要に応じて解体する。 ③適切なクリーニングを行う。 ④欠損部など必要な個所を適切な方法で補強する。 ⑤風帯を補強し、取り付ける。 ⑥必要に応じて部材を新調し、掛幅装に仕立てる。 ⑦桐製太巻芯、中性紙保存箱を作成し、包裂に本紙を包み納める。⑧損傷状態や修理内容を記録、修理後の状態を撮影し、報告書を作成する。（令和８年度までの事業とし、令和６年度は①までのスケジュールとする）		

9　列品番号	SZK000610	品　　質	天鵞絨地、友禅染
名　　称	天鵞絨友禅栂尾図掛幅	員　　数	1幅
時　　代	明治時代	寸 法 等	縦310.0 横115.0(cm)
年代世紀	明治27年(1894)	施工会社	
補足事項	①修理前の状態を調査し、記録を作成する。②必要に応じて解体する。 ③適切なクリーニングを行う。 ④欠損部など必要な個所を適切な方法で補強する。⑤適切な方法で本紙を裏打ちする。 ⑥風帯を補強し、取り付ける。⑦必要に応じて部材を新調し、掛幅装に仕立てる。 ⑧桐製太巻芯、中性紙保存箱を作成し、包裂に本紙を包み納める。９損傷状態や修理内容を記録、修理後の状態を撮影し、報告書を作成する。（令和８年度までの事業とし、令和６年度は①までのスケジュールとする）		

＜漆工＞5件

10　列品番号	SZK003121	品　　質	漆塗、蒔絵
名　　称	宇治川蛍蒔絵料紙箱硯箱	員　　数	1具
時　　代	江戸時代	寸 法 等	(料紙箱)H.17.1 33.9×41.2 (硯箱)H.5.7 23.7×26.0
年代世紀	安永4年(1775)	施工会社	鈴鹿五郎
補足事項	収納箱新調　（料紙箱に硯箱を収め、収納箱を1つとしていたところ、料紙箱と硯箱にそれぞれ収納箱を作成した）		

11　列品番号	SZK002829	品　　質	漆塗、蒔絵
名　　称	蒔絵色紙箱・短冊箱　岩涛文様	員　　数	1具
時　　代	昭和時代	寸 法 等	短冊箱39.3×9.5×4.4色紙箱24.1×21.5×4.6
年代世紀	昭和3年(1928)	施工会社	山下好彦
補足事項	クリーニング、欠損部分の補強と形状の復元、蒔絵層の補強、覆輪の錆除去		

12　列品番号	SZK002842	品　　質	玳瑁、象嵌
名　　称	玳瑁装身具　鴛鴦菊文様	員　　数	1具
時　　代	昭和時代	寸 法 等	外箱31.6×35.4×9.5
年代世紀	昭和3年(1928)	施工会社	山下好彦
補足事項	クリーニング、蓋の割れの接着、象嵌の浮きの一部接着		

13　列品番号	SZK002834	品　　質	漆塗、蒔絵
名　　称	蒔絵香炉盆　岩に浪	員　　数	1点
時　　代	昭和時代	寸 法 等	24.6×33.7×2.2
年代世紀	昭和3年(1928)	施工会社	山下好彦
補足事項	クリーニング、蒔絵層の日焼けや色むらの調整と補強、覆輪の錆の剥落止め		

14　列品番号	SZK002818	品　　質	漆塗、蒔絵
名　　称	蒔絵手箱　菊花に鵲鴒文様	員　　数	1点
時　　代	昭和時代	寸 法 等	29.0×22.2×10.7
年代世紀	昭和3年(1928)	施工会社	山下好彦
補足事項	クリーニング、蒔絵層の補強、覆輪の錆の剥落止め		

＜金工＞（1件）

15　列品番号	SZK003077	品　　質	ガラス、犀角ほか
名　　称	碧瑠璃把斑犀鞘刀子（法隆寺献納宝物）	員　　数	1点
時　　代	奈良時代	寸 法 等	全長18.8(cm)
年代世紀	8世紀	施工会社	小野敬博
補足事項	研磨　①差し込み研ぎで仕上げる　②鞘を新調する		

＜刀剣＞（4件）

16　列品番号	SZK006168	品　　質	刀剣
名　　称	刀　銘　瑞泉源秀明謹作	員　　数	1点
時　　代	昭和時代	寸 法 等	刃長71.4　反1.4(cm)
年代世紀	昭和8年(1933)	施工会社	小野敬博
補足事項	研磨　①差し込み研ぎで仕上げる　②鞘を新調する		

17　列品番号	SZK006166	品　　質	刀剣
名　　称	太刀　銘　秀明勤作	員　　数	1点
時　　代	昭和時代	寸 法 等	刃長66.9　反1.4(cm)
年代世紀	昭和7年(1932)	施工会社	小野敬博
補足事項	研磨　①差し込み研ぎで仕上げる　②鞘を新調する		

18　列品番号	SZK006161	品　　質	刀剣
名　　称	短刀　銘　高橋貞次勤作	員　　数	1点
時　　代	昭和時代	寸 法 等	刃長23.6(cm)
年代世紀	昭和19年(1944)	施工会社	小野敬博
補足事項	研磨　①差し込み研ぎで仕上げる　②鞘を新調する		

19　列品番号	SZK003077	品　　質	ガラス、犀角ほか
名　　称	碧瑠璃把斑犀鞘刀子（法隆寺献納宝物）	員　　数	1点
時　　代	奈良時代	寸 法 等	全長18.8(cm)
年代世紀	8世紀	施工会社	小野敬博
補足事項	研磨　①差し込み研ぎで仕上げる　②鞘を新調する		

1-(1)-②-6 文化財修理データのデータベース化件数

令和7年3月31日現在

		計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館
合　計		359	18	163 (5,849)	52 (1,308)	126 (1,034)
絵　画		137	2	88 (2,454)	12 (457)	35 (419)
書　跡		53	0	27 (1,296)	8 (246)	18 (104)
彫　刻		54	0	22 (1,477)	23 (385)	9 (85)
建　築		3	0	1 (16)	0 (1)	2 (9)
金　工		2	0	0 (2)	0 (5)	2 (8)
刀　剣		2	0	0 (0)	0 (0)	2 (8)
陶　磁		2	0	0 (1)	0 (0)	2 (10)
漆　工		15	0	0 (40)	8 (149)	7 (69)
染　織		9	1	5 (205)	1 (30)	2 (42)
考　古		22	7	0 (18)	0 (0)	15 (79)
民族資料		4	0	2 (10)	0 (2)	2 (13)
歴史資料		39	0	9 (260)	0 (31)	30 (180)
和　書		0	0	0 (0)	0 (0)	0 (7)
写真資料		0	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)
その他		9	0	9 (70)	0 (2)	0 (1)
東洋	絵　画	1	1			
	書　跡	1	1			
	彫　刻	0	0			
	金　工	0	0			
	陶　磁	0	0			
	漆　工	0	0			
	染　織	0	0			
	考　古	6	6			
	民　族	0	0			
法隆寺献納宝物		0	0			
黒田記念館収蔵品		0	0			
館史資料(収蔵品外)		0	0			

※ 東京国立博物館は、列品管理規程による「旧東洋課所掌分」あり。

※ 記載の件数は当年度新規入力件数、（　）内は当年度までの新規入力件数の累計。

1-(2) 展覧事業
1-(2)-① 平常展
1-(2)-② 特別展等

1-(2)-①・②-1 来館者数推移（入館料別）(過去５か年)　（後述の資料に記載）◎共通資料a-①

1-(2)-①・②-2 来館者数推移（展覧会別）(過去５か年)　（後述の資料に記載）◎共通資料a-②

1-(2)-①・②-3 平常展・特別展・海外展　（後述の資料に記載）◎共通資料a-③

1-(2)-①-4 平常展の展示替件数　（後述の資料に記載）◎共通資料a-③

1-(2)-①-5 平常展の展示総件数　（後述の資料に記載）◎共通資料a-③

1-(2)-①-6 平常展来館者アンケート　（後述の資料に記載）◎共通資料e

1-(2)-②-7 特別展来館者アンケート　（後述の資料に記載）◎共通資料e

1-(2)-③ 観覧環境の向上等

1-(2)-③-1 観覧環境に関する来館者アンケート　（後述の資料に記載）◎共通資料e
1-(2)-③-2 多言語表記に関する外国人アンケート　（後述の資料に記載）◎共通資料e

1-(2)-③-3バリアフリー施設・設備の設置状況

令和7年3月31日現在

	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	皇居三の丸尚蔵館
トイレ(多目的トイレ、車いす対応)	18か所 （本館6、平成館3、東洋館2、法隆寺宝物館1、資料館1、黒田記念館2、正門プラザ2、庭園1）	9か所 （平成知新館5、明治古都館1、南門施設1（乳児ベッド併設）、屋外トイレ1、文化財保存修理所1）	3か所 （東新館1、地下回廊2）	10か所 （本体建物7、屋外3）	2か所
エレベータ(手すり、押しボタン、車いす対応)	10基 （本館1、平成館1、東洋館4、法隆寺宝物館1、黒田記念館2、表慶館1）	5基 （平成知新館4,東収蔵庫1） 昇降装置1基 （旧管理棟1）	4基 （なら仏像館1、なら仏像館附属棟1、東新館1、西新館1）	7基 （本体建物）	なし
スロープ	5か所 （本館、東洋館、法隆寺宝物館、表慶館、黒田記念館）	4か所 （平成知新館1、明治古都館1、南門施設1、文化財保存修理所1）	4か所 （なら仏像館1、なら仏像館附属棟1、西新館1、庭園1）	1か所 （通用口）	2か所 （入口・通用口）
ハンディキャップ優先駐車	2台	3台	4台	23台	なし
車椅子	28台 （正門・正門プラザ5、本館5、東洋館3、平成館11、法隆寺宝物館2、黒田記念館1）	12台 (検札2、平成知新館7、倉庫保管3)	14台	33台	3台 （介助式2、自走式1）
乳幼児用設備	○ベビーカー　3台 ○ベビーシート　16か所 ○ベビーチェア　13か所 ○授乳室　1か所	○ベビーカー　8台 ○ベビーシート　12か所 ○ベビーチェア　11か所 ○授乳室　2か所	○ベビーシート　2か所 ○ベビーチェア　1か所 ○おむつ交換台　1か所	○ベビーカー　9台 ○ベビーシート　15か所 ○ベビーチェア　6か所 ○幼児用補助便座　6か所 ○授乳室　1か所	○ベビーカー　1台 ○ベビーシート　2か所 ○ベビーチェア　3か所
自動扉	61台(多目的トイレ含む)	33台(多目的トイレ含む)	16台	19台(多目的トイレ含む)	3台
5年度整備事項			地下回廊の和式便器を洋式便器へ改修した（計６台）。 館内看板はイラストやピクトグラムを活用することで、外国人来館者や障がい者にもわかりやすい内容となるよう工夫した。また、4言語（日、英、中、韓）となるよう作成・更新を行った。	WC3多目的トイレに壁掛けのオストメイト配慮設備を設置した。	

1-(2)-③-4 音声ガイド実施状況

令和7年3月31日現在

東京国立博物館	
6年度計（台）：	146,374台
・建立900年 特別展「中尊寺金色堂」（日）	9,750台
・特別展「法然と極楽浄土」（日）	23,304台
・創建1200年記念特別展「神護寺―空海と真言密教のはじまり」（日）	40,533台
・特別展挂甲の武人　国宝指定50周年記念　特別展「はにわ」（日）	42,433台
・開創1150年記念 特別展「旧嵯峨御所 大覚寺―百花繚乱 御所ゆかりの絵画―」（日）	30,354台
（参考） 5年度ダウンロード件数	47,070件
・「トーハクなび」（リニューアル版）	
Android版	13,323件
iOS版	33,747件
アプリ端末貸出（日英）	貸出終了
音声ガイド貸出（中韓）	貸出終了
「法隆寺宝物館30分ナビ」iOSアプリ	公開終了

※1 建立900年 特別展「中尊寺金色堂」は全期間41,865台のうち令和6年度分のみを記載
※2「内藤礼　生まれておいで 生きておいで」「カルティエと日本 半世紀のあゆみ「結 MUSUBI」展 ― 美と芸術をめぐる対話」「Wang Yancheng's World ―Contemporary Art」「Hello Kitty展　―わたしが変わるとキティも変わる―」は音声ガイドなし

京都国立博物館	
6年度計（台）：	34,986台
・親鸞聖人生誕850年特別展「親鸞―生涯と名宝」	13,934台
うち日本語版	13,326台
うち英語版	608台
・特別展「東福寺」	10,819台
うち日本語版	10,132台
うち英語版	687台
名品ギャラリー（平常展）	10,233台
うち日本語版・一般向け	2,531台
うち日本語版・ジュニア版	56台
うち英語版・一般向け	1,656台
うち英語版・ジュニア版	54台
うち中国語版・一般向け	5,354台
うち中国語版・ジュニア版	326台
うち韓国語版・一般向け	249台
うち韓国語版・ジュニア版	7台

奈良国立博物館	
6年度計（台）：	68,961台
・特別展「空海 KUKAI ―密教のルーツとマンダラ世界」	36,475台
うち日本語版	36,475台
うち英語版	―
うち中国語版	―
うち韓国語版	―
・「第76回正倉院展」	27,891台
うち日本語版・一般向け	26,201台
うち日本語版・ビギナーズ向け	507台
うち英語版	169台
うち中国語版	965台
うち韓国語版	49台
・なら仏像館名品展	4,595台
うち日本語版	2,003台
うち英語版	527台
うち中国語版	1,691台
うち韓国語版	75台
うち日本語版・子供向け	276台
うち英語版・子供向け	23台

九州国立博物館	
6年度計（台）：	7,191台
・特別展「はにわ」	7,191台
うち日本語版	7,191台
うち英語版	－
うち中国語版	－
うち韓国語版	－
うち日本語版	
うち英語版	－
うち中国語版	－
うち韓国語版	－
うち日本語版	
うち英語版	－
うち中国語版	－
うち韓国語版	－
（参考） ・文化交流展 端末貸出数※1	6,733台

※1　特別展「憧れの東洋陶磁―大阪市東洋陶磁美術館の至宝」は音声ガイドの実施なし。
※2　4年度より、文化交流展の音声ガイドはスマートフォンアプリ（ナビレンス）に切り替えたため、利用者数の集計はできない。上記は、スマートフォンを持っていない来館者への代替機器貸出数。合計値には含まない。

1-(3) 教育・普及活動等

1-(3)-① 教育普及活動の充実等

1-(3)-①-1 学習機会の提供（過去5か年）

令和7年3月31日現在

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
○講演会等の回数					
東京国立博物館					
講演会等　実施回数	19回	39回	32回	59回	46回
講演会等　参加者数	52,032人	34,403人	42,910人	55,322人	10,781人
①講演会	10回	14回	15回	24回	16回
	29,875人	10,199人	3,291人	6,257人	4,340人
アンケート結果（満足度）	ー	84.9%	84.9%	86.2%	89.7%
（内訳）					
・月例講演会等	8回	12回	12回	12回	12回
	24,923人	8,777人	2,570人	3,369人	3,350人
アンケート結果（満足度）	ー	86.74%	83.39%	84.33%	89.74%
・記念講演会	0回	1回	3回	8回	4回
	0	135人	721人	2,318人	990人
アンケート結果（満足度）	ー	67.80%	82.99%	90.53%	ー
・シンポジウム	2回	1回	0回	0回	0回
	4,952人	1,287人	人	人	人
アンケート結果（満足度）	ー	ー	ー	ー	ー
・テーマ別講演会	0回	0回	0回	0回	0回
	0人	0人	0人	0人	0人
アンケート結果（満足度）	ー	ー	ー	ー	ー
・その他講演会	0回	0回	0回	4回	0回
	0人	0人	0人	570人	0人
アンケート結果（満足度）	ー	ー	ー	86.18%	ー
②列品解説（ギャラリートーク等）	9回	23回	15回	32回	27回
	22,157人	23,701人	38,415人	48,348人	5,663人
③連続講座	0回	1回	1回	1回	1回
	0人	276人	317人	470人	560人
アンケート結果（満足度）	ー	94.50%	91.20%	ー	98.00%
④公開講座	0回	1回	1回	2回	2回
	0人	227人	887人	247人	218人
アンケート結果（満足度）	ー	ー	ー	ー	ー
京都国立博物館					
講演会等　実施回数	23回	31回	34回	38回	32回
講演会等　参加者数	1,435人	3,164人	3,488人	3,570人	3,640人
①土曜講座	7回	12回	13回	22回	19回
	572人	583人	835人	1,810人	1908人
アンケート結果（満足度）	84%	82%	83%	84%	88%
②記念講演会	12回	14回	17回	12回	9回
	1,227人	1,106人	2,207人	1,537人	1,454人
アンケート結果（満足度）	83%	81%	83%	82%	80%
③夏期講座	1回（2日）	1回（2日）	1回（2日）	1回（2日）	1回（2日）
	60人	73人	84人	77人	148人
アンケート結果（満足度）	94%	96%	88%	85%	94%
④社会科教員のための向上講座	0回	1回	1回	1回	1回
	0人	34人	34人	77人	61人
⑤ギャラリートーク・シンポジウム等	3回	3回	2回	2回	2回
	248人	1,368人	328人	69人	69人
奈良国立博物館					
講演会等　実施回数	12回	27回	26回	21回	22回
講演会等　参加者数	847人	1,865人	1,856人	2,504人	2,501人
①特別展等講座	5回	15回	10回	8回	9回
	353人	1,060人	716人	1,095人	1,106人
アンケート結果（満足度）	91.0%	93.0%	89.3%	94.7%	91.6%
②夏季講座	0回	0回	4回	1回（5講2日）	1回（5講2日）
	ー	ー	270人	154人	136人
アンケート結果（満足度）	ー	ー	87.6%	97.8%	93.5%
③サンデートーク	7回	12回	12回	12回	12回
	494人	805人	870人	1,255人	1,259人
アンケート結果（満足度）	90%	90%	87.5%	94.6%	92.9%
九州国立博物館					
講演会等　実施回数	13回	50回	53回	44回	40回
講演会等　参加者数	308人	2,229人	3,237人	2,889人	2,337人
①特別展記念講演会	0回	3回	4回	2回	1回
	0人	385人	662人	410人	236人
アンケート結果（満足度）	ー	92.9%	94.4%	97.2%	92.0%
②講演及びシンポジウム	0回	20回	24回	14回	11回
	0人	1,395人	1,881人	1,681人	1,340人
アンケート結果（満足度）	ー	91.7%	95.0%	94.9%	92.5%
③ミュージアムトーク	13回	27回	25回	28回	28回
	308人	449人	694人	798人	761人
皇居三の丸尚蔵館					
講演会等　実施回数	ー	ー	ー	5回	38回
講演会等　参加者数	ー	ー	ー	442人	2,645人
①特別講演会	ー	ー	ー	1回	6回
	ー	ー	ー	140人	614人
②ギャラリートーク	ー	ー	ー	4回	32回
	ー	ー	ー	302人	2,031人

1-(3)-①-2 講座・講演会等の開催実績

	東京国立博物館		京都国立博物館		奈良国立博物館		九州国立博物館		皇居三の丸尚蔵館	
回数・人数※1	**回数計**	**48回**	**回数計**	**32回**	**回数計**	**22回**	**回数計**	**40回**	**回数計**	**38回**
	参加者計	**10,781人**	**参加者計**	**3,640人**	**参加者計**	**2,501人**	**参加者計**	**2,362人**	**参加者計**	**3,084人**
	講演会	16回 4,340人	土曜講座	19回 1,908人	特別展等講座	9回 1,106人	特別展 記念講演会	1回 236人	特別講演会	6回 873人
	列品解説（ギャラリートーク等）	29回 5,663人	記念講演会	9回 1,454人	夏期講座（2日間）	1回 136人	講演及び シンポジウム	11回 1,340人	ギャラリートーク	32回 2,211人
	連続講座（2日間）	1回 560人	夏期講座（2日間）	1回 148人	サンデートーク	12回 1,259人	ミュージアムトーク	28回 786人		
	公開講座	2回 218人	社会科教員のための向上講座	1回 61人						
			ギャラリーツアー・シンポジウム等	2回 69人						
	その他展示に関連するイベント	9回 381人	その他展示に関連するイベント	— —	その他展示に関連するイベント	6回 3,147人	その他展示に関連するイベント	23回 3,402人	その他展示に関連するイベント	2回 12人

※1実施事業のうち、参加者数をカウントしていない、又は当該事業を実施した建物の入館者数のみ把握しているものについては、合計値に参加者数を計上していない。（実施回数は計上している。）

【東京国立博物館】

1) 講演会　　16回　　4,340人

①月例講演会

12回　　3,350人

	開催日	テーマ	講師等	参加者数	"良い"の割合
1	4月27日	「国宝「埴輪 挂甲の武人」の最新調査.」	考古室主任研究員　河野正訓	323人	95.30%
2	5月11日	「近代数寄者（すきしゃ）と横河民輔」	東洋室長　三笠景子	190人	89.30%
3	6月8日	「吉野・熊野に宿る神仏と造形」	工芸室主任研究員　清水 健	312人	89.70%
4	7月13日	「『ことば』と日本刀」	工芸室 主任研究員　酒井 元樹	320人	94.00%
5	8月17日	「『内藤礼　生まれておいで 生きておいで』との出会い」	神奈川県立近代美術館　三本松倫代、当館 海外展室長 品川欣也	254人	86.50%
6	9月14日	「東博の文庫（ふみくら）ーもう一つの宝物庫ー」	情報資料室長　山崎 美和	275人	82.90%
7	10月12日	「近代絵画の冒険-黒田清輝と東博の近代絵画コレクション—」	東京文化財研究所　文化財情報資料部研究員　吉田 暁子	279人	86.60%
8	11月16日	「日本の宮廷工芸」	工芸室長　猪熊 兼樹	297人	91.50%
9	12月14日	「大谷探検隊が収集した西域の美術」	海外展室特任研究員　勝木 言一郎	291人	93.69%
10	1月18日	「考古学が語る青銅器時代文明の終焉」	ボランティア室長　小野塚 拓造	290人	91.02%
11	2月15日	「拓本のたのしみ」	台東区立書道博物館長　鍋島 稲子、東洋室研究員　六人部 克典	300人	93.17%
12	3月8日	「国立博物館誕生物語ー歴代館長編ー」	文化財活用センター企画担当主任研究員　神辺知加	219人	83.23%

②記念講演会

4回　　990人

	開催日	テーマ	講師等	参加者数	"良い"の割合
1	5月10日	「知恩院蔵『早来迎』、修理でわかった名画の秘密」	京都国立博物館　大原嘉豊	300人	—
2	5月19日	「上野の山で動物めぐり　～ひとりでくらすか、みんなでくらすか～」	講座室主任研究員　横山梓、恩賜上野動物園　小泉侑里、国立科学博物館　川田 伸一郎	238人	—
3	5月23日	「会期後半にみてほしい 法然と極楽浄土展7つのポイント」	列品管理室長　瀬谷愛	272人	—
4	7月15日	「生まれておいで生きておいで」	美術家　内藤礼、東京大学 大学院総合文化研究科 准教授　星野太	180人	—

＊特別展関連講演会・イベント等の実施は、学芸企画部特別展室へ職掌が移行。

③シンポジウム

0回　　0人

④テーマ別講演会

0回　　0人

⑤その他講演会

0回　　0人

2)　列品解説（ギャラリートーク等）　　29回　　5,663人

①ギャラリートーク

25回　　5,564人

	開催日	テーマ	講師等	参加者数
1	4月17日	武器を象る祭りの道具―弥生時代の武器形青銅器―	特別展室員　菊池望（撮影時考古室研究員）	4,435人
2	4月23日	VRスライドトーク「描かれた極楽浄土の景色ー当麻曼荼羅図について」	列品管理課長　沖松健次郎	63人
3	5月26日	子どものためのギャラリートーク「よりそう動物をみてみよう」	教育講座室主任研究員　横山梓	83人
4	5月26日	子どものためのギャラリートーク「まねっこポーズをしてみよう」	教育普及室アソシエートフェロー　阿部美里	86人
5	5月26日	子どものためのギャラリートーク「仏さまのお花をさがそう」	教育普及室アソシエートフェロー　内山美代子	98人
6	7月9日	VRスライドトーク「もうー歩近づいて見る『国宝　線刻蔵王権現像』」	工芸室主任研究員　清水健	55人
7	7月28日	「江戸きものファッションショー」	文化財活用センター企画担当研究員　沼沢ゆかり	181人
8	10月1日	アジ旅スペシャルトーク「アジア☆ファッションチェック」	文化財活用センター企画担当研究員　沼沢ゆかり	81人
9	10月5日	留学生の日やさしい日本語で話す「トーハクへようこそ」	教育講座室アソシエイトフェロー　山本桃子	47人
10	10月5日	中国語によるギャラリートーク「茶道具から見る日本の美意識」	国際交流室アソシエイトフェロー　銭 正枝/セン・セイシ	64人
11	10月5日	韓国語によるギャラリートーク「日本の北と南ーアイヌと琉球の工芸」	国際交流室アソシエートフェロー　朴 祥炫/パク・サンヒョン	3人
12	10月5日	英語によるギャラリートーク「武士の武具入門」	国際交流室専門職　ミウォシュ ヴォズニ	85人
13	10月5日	英語によるギャラリートーク「日本語を読まない書の鑑賞」	国際交流室アソシエートフェロー　足立奈緒子	63人
14	10月29日	アジ旅スペシャルトーク「仏さまだっておしゃれしたい！仏像にみるファッションあれこれ。」	企画課長　原田あゆみ	100人
15	11月24日	こどものためのギャラリートーク「仏さまのお花をさがそう」	教育普及室アソシエートフェロー　内山美代子	120人
16	3月31日	The Art of the Samurai Armor	特別展室長　佐藤寛介	―
17	3月31日	Ukiyo-e Scenes of the Sasons and Everyday Life	絵画彫刻室研究員　村瀬可奈	―

※1はオンラインギャラリートークとして実施した（事前収録・YouTube配信）。開催日は配信日、参加者数は再生回数からの算定数値である。3・4・5・7・15はキッズデーに開催。3・4・5・15は1日2回開催、7は1日4回開催。9～13は留学生の日に開催。9は1日2回開催。16・17は作製まで、公開は令和7年度開始。

②特別展関連ギャラリートーク

0回　　0人

③東京藝術大学大学院インターンシップによるギャラリートーク

4回　　99人

	実施日	回数	テーマ	氏名	参加者
1	6年2月4日・6日・12日・15日	4回	「色絵花鳥図平鉢」と吉祥文様	田中佑奈	99人

3)　連続講座　　2日間（計1回）　　1回　　560人

	開催日	テーマ・講師等	参加者数	″良い″の割合
1	2月28日～3月1日	R7年度連続講座　「百花繚乱　大覚寺の名宝」 第1講　「華と心経の寺の1200年―大覚寺の歴史」金井裕子（東京国立博物館　教育講座室長） 第2講「仏師明円と大覚寺五大明王像」増田政史（東京国立博物館　特別展室研究員） 第3講　「大覚寺中興の祖　後宇多天皇の三つの肖像」土屋貴裕（東京国立博物館　絵画・彫刻室長） 第4講　「密法を伝える書　大覚寺の後宇多天皇宸翰」樋笠逸人（奈良国立博物館　美術室研究員） 第5講　「『薄緑／膝丸』『鬼切丸／髭切』にみる日本刀の特質」佐藤寛介（東京国立博物館　特別展室長） 第6講　「正寝殿の剣璽間の由緒」猪熊兼樹（東京国立博物館　工芸室長） 第7講　「帳台構の桐竹蒔絵」猪熊兼樹（東京国立博物館　工芸室長） 第8講　「大覚寺の飾金具」清水健（東京国立博物館　工芸室主任研究員） 第9講　「宸殿・正寝殿の障壁画の謎」金井裕子 事前質問への回答ほか　金井裕子、増田政史	560人	98.00%

4)　公開講座　　2回　　218人

	開催日	テーマ・講師等	参加者数	会場
1	9月4日～9月8日	教育連携事業「博物館学講座」	34人	平成館小講堂他
2	9月6日	「博物館セミナー」 第1講　博物館の運営　総務課長　竹之内勝典 第2講　総合文化展の仕組み　平常展調整室主任専門職　髙木結美 第3講　特別展の仕組み　特別展室研究員　熊谷美和 第4講　博物館の情報アーカイブと活用　博物館情報課長　村田良二 第5講　博物館の教育普及活動　博物館教育課長　鈴木みどり 第6講　博物館の国際交流　国際交流室専門職　君波妙子 第7講　博物館の文化財活用　文化財活用センター企画担当課長　藤田千織	184人	平成館大講堂

5）その他展示に関連する事業　　9回　　381人

	実施日	内容	会場	参加者数	備考
1	3月15日～4月10日	博物館でお花見を俳句応募「花見で一句」	館内	278人	小学生以下244句、一般34句
2	5月14日～6月16日	特集リーフレット「よりそう動物たち―家族、仲間のすがたとかたち一」	館内	―	親と子のギャラリー関連
3	10月1日～11月10日	博物館でアジアの旅リーフレット「アジ旅マップ2024」	東洋館	―	博物館でアジアの旅関連
4	11月8日～3月31日	ウェルカムリーフレット「はくぶつかんへようこそ！」	館内	―	主に未就学児と保護者向け
5	1月2日～2月16日	ワークシート『東博雪見「雪のもようをさがしてみよう」』	本館14室	―	特集『日本の伝統模様「雪」』関連。主に子ども向け
6	1月2日～1月31日	2025年1・2月カレンダーポストカード	本館	―	博物館で初もうで関連
7	3月20日	おとなのためのワークショップ「季節の模様のお皿づくり」	本館みどりのライオン	41人	博物館でお花見を関連
8	3月27日	お花見ヨガin法隆寺宝物館	法隆寺宝物館	62人	博物館でお花見を関連、一日2回

【京都国立博物館】

1)　土曜講座　　19回　　1,908人

特別展覧会関連などの講座

	開催日	テーマ	講師	参加者数
1	6月22日	金属工芸の修理―重要文化財 縹糸威胴丸の修理―	主任研究員　末兼俊彦	110人
2	6月29日	博物館の舞台裏シリーズ②文化財写真の撮影	写真技師　岡田愛 教育室長　大原嘉豊	77人
3	7月6日	戦国期の東国と画家たち	主任研究員　森道彦	81人
4	7月13日	豊臣秀次一族の追善と瑞泉寺	関西学院大学文学部教授　山川曉	198人
5	7月20日	瓦伝来の道のり―東アジアから日本へ―	考古室長　石田由紀子	58人
6	8月3日	埴輪の人物と動物	研究員　古谷毅	89人
7	8月24日	上田コレクションの密教図像の価値	教育室長　大原嘉豊	129人
8	8月31日	伝神写照―中国の人物表現	研究員　森橋なつみ	34人
9	9月7日	平成知新館 開館10周年記念 名品ギャラリーの魅力について	館長　松本伸之	102人
10	1月11日	唐代金銀器の諸相	館長　松本伸之	50人
11	1月18日	技法書「陶工必用」と御室仁清窯跡出土陶片	上席研究員兼保存科学室長　降幡順子	57人
12	1月25日	巳づくし―蛇を表す・蛇で表す―	主任研究員　水谷亜希	121人
13	2月1日	新時代の山城鍛冶―三品派と堀川派―	主任研究員　末兼俊彦	200人
14	2月8日	古墳時代の武装―日本文化における武威の源流―	研究員　古谷毅	70人
15	2月15日	名刀再臨―時代を超える優品たち―	主任研究員　末兼俊彦	193人
16	2月22日	絵巻における絵と詞	主任研究員　井並林太郎	107人
17	3月1日	雛まつりの装い	主任研究員　山内麻衣子	73人
18	3月8日	墓誌の時代―小野毛人墓誌と威奈大村墓誌をめぐって―	特任研究員　宮川禎一	102人
19	3月15日	ロクロ回転でたどる桃山陶工の足跡―美濃・唐津・高取技術交流論―	学芸部長兼工芸室長　尾野善裕	57人

2)　記念講演会　　9回　　1,454人

	実施日	テーマ	講師	参加者数(人)
1	4月13日	誰が雪舟を画聖にして来た（いる）のか？	花園大学文学部教授　福島恒徳	164人
2	4月20日	どうして雪舟！？	文化庁主任文化財調査官　綿田稔	175人
3	4月27日	浮世絵に流れる雪舟DNA	十文字学園女子大学教育人文学部教授　樋口一貴	120人
4	5月11日	雪舟伝説前史ー戦国社会における雪舟流	主任研究員　森道彦	200人
5	5月18日	雪舟的なもののゆくえ	保存修理指導室長　福士雄也	200人
6	10月12日	知恩院と天下和順―歴史の中の法然上人―	佛教大学名誉教授・総本山知恩院史料編纂所編纂主任　今堀太逸	149人
7	10月19日	浄土宗と仏画とのかかわり	教育室長　大原嘉豊	133人
8	11月9日	法然尊慕―肖像と絵伝を中心に―	主任研究員　井並林太郎	153人
9	11月16日	阿弥陀仏の造形	主任研究員　竹下麟子	160人

3)　夏期講座　　1回　　148人

	開講日	テーマ	講師	参加者数(人)
1	7月26日	第1講 戦国の世と曲直瀬道三	企画室長兼美術室長　羽田聡	148人
		第2講 遣明船の終焉―入明記から読み解く16世紀の日明関係	東京大学史料編纂所中世史料部門准教授　須田牧子	
		第3講 狩野永徳を支えた画家―宗心種永のこと―	保存修理指導室長　福士雄也	
	7月27日	第1講 信長の城、秀吉の城	愛媛大学社会共創学部准教授　佐藤大規	
		第2講 戦国仏教論から見た仏画の世界	教育室長　大原嘉豊	
		第3講 ルネサンスの光と影―芸術、宗教、政治の間で	京都大学大学院文学研究科教授　平川佳世	

4)　社会科教員のための向上講座　　1回　　61人

	開講日	テーマ	講師	参加者数(人)
1	8月20日	講演「密教図像とコピーの技術」	教育室長　大原嘉豊	61人
		京都国立博物館　教育室の取り組み	主任研究員　水谷亜希	
		社会科の学習内容とのかかわり	京都市総合教育センター指導室　指導主事　田華茂	

5)　ギャラリーツアー・シンポジウム等　　2回　　69人

	開講日	テーマ・講師		参加者数(人)
1	4月23日	浄土真宗を中心とした祖師信仰とその造形	青山学院大学教授　津田徹英 西勝寺住職　山田雅教 学芸部　企画室主任研究員　井並林太郎 学芸部　保存修理指導室長　羽田聡	53人
2	2月25日	留学生の日（多言語スタッフによるギャラリーツアー）	学芸部　調査・国際連携室　主任専門職員　リンネマリサ 学芸部　企画室　多言語アソシエイトフェロー 王　珏人、権　保慶、Pearce Chloe	16人

※キャンパスメンバーズ限定講演会については1-(3)-①-4 大学生・大学院生を対象とした教育事業　に記載。

【奈良国立博物館】

1)　特別展等講座　　9回　　1,106人

	開催日	事業名称等	講師	参加者数
1	4月27日	「空海マンダラの世界　ー宇宙へのいざないー」	高野山大学副学長　松長 潤慶	151人
2	5月18日	「日本仏教史における空海と密教」	学芸部列品室長　斎木 涼子	98人
3	5月25日	「高雄曼荼羅ー弘法大師御筆の両界曼荼羅」	学芸部企画室長　谷口 耕生	108人
4	7月27日	わくわくトーク！「ナゾとき！神さまのびじゅつ」	学芸部研究員　翁 みほり	67人
5	8月10日	スペシャルリレートーク「住友春翠と中国古代青銅器・仏教美術」	泉屋博古館館長　廣川守 学芸員　山本堯 学芸員　竹嶋康平	138人
6	11月2日	「紫地鳳形錦御軾再現ー伝統技術とデジタル技術の融合ー」	宮内庁正倉院事務所保存課整理室長　田中　陽子	129人
7	11月10日	「黄金瑠璃鈿背十二稜鏡の魅力について」	学芸部長　吉澤 悟	152人
8	1月11日	「はじまった頃の春日若宮おん祭をたどる」	春日大社権祢宜　千鳥 祐兼	95人
9	2月15日	「声明稽古の進めかたとは」	東大寺長老・東大寺総合文化センター総長　狭川普文	168人

2)　夏季講座　　1回　　136人

	実施日	テーマ	解説者	参加者数(人)
1	8月22日	第一講「神像彫刻の造形的特質と意義」	龍谷大学文学部非常勤講師　山下　立	136人
		第二講「《辟邪絵》から読み解く中世の鬼神の姿」	共立女子大学准教授　梅沢　恵	
	8月23日	第三講「獅子・狛犬の歴史と造形―神々をまもる霊獣」	学芸部研究員　内藤　航	
		第四講「熊野速玉大社の古神宝類にみる熊野の神々」	成城大学文芸学部芸術学科准教授　安永　拓世	
		第五講「能楽からみた神々の造形」	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫教授　高橋　悠介	

3)　サンデートーク　　12回　　1,259人

	実施日	テーマ	解説者	参加者数(人)
1	4月21日	神社と鏡	学芸部教育室長　中川 あや	147人
2	5月19日	仏さまの《スカート》	学芸部美術室長　岩井 共二	135人
3	6月16日	甦る古代美術―修復と復元、そして創作―	学芸部主任研究員　三田 覚之	138人
4	7月21日	文化財の生物被害対策　ー文化財を生物被害から守るー	学芸部アソシエイトフェロー　小峰 幸夫	85人
5	8月18日	日本に舞い降りた鳳凰	学芸部研究員　樋笠 逸人	151人
6	9月15日	第８回 茶室・八窓庵をのぞいてみませんか	学芸部長　吉澤 悟	73人
7	10月20日	机のない学校？ー18世紀オーストリアにおける初等学校教育の変遷ー	学芸部アソシエイトフェロー　久米 彩也加	25人
8	11月17日	東アジアにおける墓誌銘の歴史	学芸部アソシエイトフェロー　安 賢善	68人
9	12月15日	文化財を科学するⅨ	学芸部保存修理指導室長　鳥越 俊行	83人
10	1月19日	古写真と仏像研究	学芸部主任研究員　山口 隆介	109人
11	2月16日	密教法具の魅力を旅する	学芸部主任研究員　三本 周作	148人
12	3月16日	文化財修理とX線CT調査	学芸部アソシエイトフェロー　加藤 沙弥	97人

4)　その他展示に関連するイベント　　6回　　3,147人

	実施日	内容	会場	参加者
1	10月28日	「第76回正倉院展」研究員レクチャー付き鑑賞会（10:00～、15:00～）	講堂	341人
2	11月6日	「第76回正倉院展」研究員レクチャー付き鑑賞会（10:00～、15:00～）	講堂	342人
3	11月11日	「第76回正倉院展」研究員レクチャー付き鑑賞会（10:00～、15:00～）	講堂	346人
4	10月30日	「第76回正倉院展」VR「正倉院　時を超える想い」特別上演会付き観覧会（10:00～、11:00～、13:00～、14:00～、15:00～、16:00～）	講堂	801人
5	10月31日	「第76回正倉院展」VR「正倉院　時を超える想い」特別上演会付き観覧会（10:00～、11:00～、13:00～、14:00～、15:00～、16:00～）	講堂	600人
6	11月1日	「第76回正倉院展」VR「正倉院　時を超える想い」特別上演会付き観覧会（10:00～、11:00～、13:00～、14:00～、15:00～、16:00～）	講堂	717人

【九州国立博物館】

1)特別展記念講演会　　1回　　236人

	開催日	事業名称等	講師	参加者数
1	7年3月16日	特別展「はにわ」記念講演会 「国宝「埴輪 挂甲の武人」の歴史的意義ー最新の修理と調査ー」	東京国立博物館主任研究員　河野正訓	236人

2)講演及びシンポジウム等　　11回　　1,340人

	開催日	事業名称等	講師	参加者数
1	4月6日	きゅーはく☆とっておき講座 「刀職と語る北崎徹郎の刀剣コレクション」	刀匠　小宮國天 刀剣技師　小宮光敏 学芸部企画課特別展室主任研究員　望月規史	165人
2	6月1日	きゅーはく☆とっておき講座 「影絵人形たちの再会―金子量重コレクションのワヤン・クリ―」	学芸部長　白井克也	32人
3	8月3日	全国高等学校歴史学フォーラム2024	【ポスター掲示・研究発表】 ・福岡県立朝倉高等学校　史学部Ａ ・神奈川県立足柄高等学校　歴史研究部 ・福岡県立小郡高等学校　郷土研究部 ・群馬県立高崎北高等学校 ・常磐高等学校（福岡県） ・福岡県立朝倉高等学校　史学部Ｂ ・埼玉県立熊谷西高等学校 ・西南学院高等学校　社会調査研究部（福岡県） ・日本大学東北高等学校（福島県 ・栃木県立矢板東高等学校　リベラルアーツ同好会 【特別参加・甲冑２領の展示】 ・福岡県立香椎工業高等学校　電子機械科	300人

4	9月14日	きゅーはく☆とっておき講座 「さわって体験！本物のひみつ2024 手話通訳・要約筆記付き	学芸部展示課長　齋部麻矢	25人
5	11月16日	特集展示「人吉球磨の玉手箱」リレー講座①	学芸部展示課長　齋部麻矢 相良村教育委員会教育課長　出合宏光氏 学芸部企画課文化交流展室アソシエイトフェロー　小池寧々 学芸部文化財課資料登録室研究員　大澤信	30人
6	11月4日	「モンゴル襲来の痕跡を探る」関連シンポジウム 「モンゴル襲来と海の路 ーえ元の軍船の航路を探るー」	鹿児島大学名誉教授　高津孝 九州大学比較社会文化研究院教授　伊藤 幸司 長崎県埋蔵文化財センター職員	120人
7	11月30日	特集展示「人吉球磨の玉手箱」リレー講座②	手柴 友美子　氏（人吉市教育委員会） 岸田 裕一　氏（人吉市教育委員会） 手柴 智晴　氏 （ひみつ基地ミュージアム館長）	48人
8	12月21日	きゅーはく☆とっておき講座 「福岡に残るモンゴル襲来の痕跡」	九州大学総合研究博物館　福永将大 九州歴史資料館　國生知子	110人
9	7年1月25日	特別展「はにわ」リレー講座 「もっと楽しもう！特別展『はにわ』」第1回	学芸部長　白井克也 展示課主任研究員　岸本圭	204人
10	7年2月1日	特別展「はにわ」リレー講座 「もっと楽しもう！特別展『はにわ』」第2回	展示課主任研究員　小澤佳憲 企画課研究員　桑原有寿子	177人
11	2月15日	「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 公開講座　第2回「加耶と沖ノ島」（共催）	宋 源永氏（大成洞古墳博物館館長） 李 昌熙氏（大韓民国釜山大学校教授） 高田 貫太氏（国立歴史民俗博物館教授） 太田　智氏（宗像市世界遺産課）	129人

3)　ミュージアムトーク　　28回　　参加者総数　　786人

・事業内容　文化交流展示室にて担当の研究員が作品に関する解説を行った。

（原則として第1、3、5火曜日の15時より15～30分間、夜のミュージアムトークは原則として第2、4土曜日の18時より15～30分間）

	開催日	テーマ	解説者	参加者数（人）
1	4月2日	犬！？鹿！？	学芸部展示課主任研究員　小澤佳憲	22人
2	4月16日	写経所の仕事	学芸部文化財課長　野尻忠	30人
3	4月30日	奈良・平安の写経	学芸部展示課主任研究員　一瀬智	30人
4	5月14日	二つの和蘭商館	学芸部交流課主任研究員　今井涼子	29人
5	5月28日	弥勒ー遠い遠い未来の仏ー	学芸部企画課文化交流展室アソシエイトフェローー 小池寧々	31人
6	6月11日	古墳の番人たち	学芸部展示課主任研究員　岸本圭	28人
7	6月25日	アジアの民族資料	学芸部企画課文化交流展室長　川村佳男	16人
8	7月2日	夫婦道ー男神・女神のエトセトラー	学芸部文化財課資料登録室研究員　大澤信	30人
9	7月17日	箏と琴	学芸部企画課特別展室長　川畑憲子	24人
10	7月30日	おしゃれな古代人ー中国編ー	学芸部企画課文化交流展室長　川村佳男	25人
11	8月13日	ワヤン・クリのバイプレーヤーたち	学芸部長　白井克也	16人
12	8月31日	さわって体験！本物のひみつ	学芸部展示課長　齋部麻矢	32人
13	9月3日	おしゃれな馬	学芸部展示課主任研究員　小澤佳憲	17人
14	9月18日	海を渡った塔	学芸部企画課特別展室アソシエイトフェローー 折山桂子	27人
15	10月1日	流麗なる墨線～女性の書～	学芸部文化財課資料登録室主任研究員　松浦晃佑	32人
16	10月16日	仏教と仏像のたどった道	学芸部文化財課資料登録室研究員　大澤信	37人
17	10月29日	銅鐸、作ってみたんですけど	学芸部展示課主任研究員　小澤佳憲	26人
18	11月12日	「人吉球磨の玉手箱」展解説	学芸部展示課長　齋部麻矢	32人
19	11月26日	「ガンダーラの美術―釈迦の生涯をたどる―」	副館長　小泉恵英	40人
20	12月3日	モンゴル襲来の痕跡を探る	学芸部交流課主任研究員　今井涼子	38人
21	12月17日	遮光器土偶	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史	22人
22	7年1月8日	晴れなる輝き ―大名婚礼調度について	学芸部企画課特別展室長　川畑憲子	26人
23	7年1月15日	X線CTによる文化財の調査	学芸部博物館科学課環境保全室研究員　渡辺祐基	21人
24	7年1月28日	古代中国の鋳物師（いもじ）たち	学芸部企画課文化交流展室長　川村佳男	32人
25	7年2月11日	鏡の国をめぐる旅	学芸部長　白井克也	32人
26	7年2月26日	モノクロ vs カラフル ―500年前の屏風絵たち―	文化財課主任研究員　畑靖紀	43人
27	7年3月11日	花々をあらわしたきゅーはくの名品	企画課 酒井田　千明	23人
28	7年3月25日	イスラームの青い器	展示課 齋部麻矢	25人

4)　その他展示に関連するイベント　　**23回**　　**3,402人**

	実施日	内容	会場	参加者数	備考
1	8月4日	やきもの技法ワークショップ「かきかきデコレーション～線彫りに挑戦！～」ちびっこコース	研修室	27人	
2	8月4日	やきもの技法ワークショップ「かきかきデコレーション～線彫りに挑戦！～」一般コース	研修室	19人	
3	8月11日	甕棺墓埋葬体験ワークショップ「やさしい日本語 de きゅーはく2024　王さまが死んだ！ 甕棺に入れよう」	ミュージアムホール	30人	
4	9月29日	特集展示「さわって体験！本物のひみつ2024」関連イベント 視覚障がい者と楽しむ対話型鑑賞会	文化交流展示室・研修室	19人	
5	10月26日	特集展示「人吉球磨の玉手箱」関連イベント 　ウンスンカルタ体験会	研修室	15人	
6	11月17日	特集展示「人吉球磨の玉手箱」関連イベント 　くまモンがきゅーはくにやってくる！	エントランス	70人	
7	11月24日	特集展示「人吉球磨の玉手箱」関連イベント 　映画「夏空ダンス」無料上映会①	ミュージアムホール	40人	
8	11月30日	文化交流展関連イベント　衣装体験イベント　「古代人に変身！」	3階エントランスホール	150人	
9	12月1日	特集展示「人吉球磨の玉手箱」関連イベント 　映画「夏空ダンス」無料上映会②	ミュージアムホール	66人	
10	1月21日～5月11日	NHKなつかしの番組「お～い！はに丸」フォトスポット	エントランス	―	
11	1月21日～5月11日（仮）	特別展「はにわ」関連イベント　クイズラリー（仮）	特別展示室	―	
12	1月21日～2月16日	特別展「はにわ」関連イベント　大野城心のふるさと館「発掘された日本列島2024」連携企画	特別展示室・大野城心のふるさと館	996人	
13	1月31日・2月1日	特別展「はにわ」関連イベント　ハニワ部長グリーティング	九州国立博物館敷地内・太宰府天満宮参道	180人	
14	2月8日・9日	特別展「はにわ」関連イベント　かみつけの里博物館体験エリア	研修室	―	
15	3月10日～5月7日	特別展「はにわ」関連イベント「はにわを古墳に並べよう」（仮）	エントランス	―	
16	3月14日	特別展「はにわ」関連イベント　はに丸グリーティング	エントランス	―	
17	3月15日	特別展「はにわ」関連イベント　「『はにわ王決定戦』～はに丸とはにわクイズに挑戦！～」	ミュージアムホール	430人	
18	3月15日・16日・22日・23日	特別展「はにわ」関連イベント　「はにわーくしょっぷ　オリジナルはにわをつくろう！」	エントランス	230人	
19	3月15日・16日・22日・23日	特別展「はにわ」関連イベント　はにわクイズラリー	特別展示室	908人	
20	3月29日	特別展「はにわ」関連イベント　「垂飾付耳環づくり体験 with きゅーはく女子考古部」	研修室	84人	
21	3月29日	特別展「はにわ」関連イベント　「だれでも武人はにわ体験（甲冑着用体験）」	エントランス	70人	
22	3月29日・30日	特別展「はにわ」関連イベント　「はにわグッズマーケット～九博はにわで古代フェス～」	エントランス	―	
23	3月30日	特別展「はにわ」関連イベント　「＃はにわトーク　令和のはにわのつくりかた～はにわ、作っちゃいました～」	ミュージアムホール	68人	

【皇居三の丸尚蔵館】

1)特別講演会　　**6回**　　**873人**

	開催日	事業名称等	講師	参加者数	備考
1	4月20日	講演会「日本の書の成立と楽しみ」 香川県立ミュージアムホール	館長　島谷弘幸	218人	香川県立ミュージアムにおける地方展開催（4月20日～5月26日）の関連イベントとして実施。
2	5月11日	講演会「若冲花鳥画の魅力」 香川県立ミュージアムホール	副館長　朝賀浩	307人	香川県立ミュージアムにおける地方展開催（4月20日～5月26日）の関連イベントとして実施。
3	9月21日	講演会「美が結ぶー皇室と北海道」 北海道立近代美術館講堂	学芸部管理・情報課長　五味聖	116人	北海道立近代美術館における地方展開催（9月21日～10月27日）の関連イベントとして実施。
4	10月12日	講演会「絵画がつないだ人々ー蠣崎波響を中心として」 北海道立近代美術館講堂	学芸部管理・情報課研究員　上嶋悟史	117人	北海道立近代美術館における地方展開催（9月21日～10月27日）の関連イベントとして実施。
5	11月10日	講演会「山本芳翠と皇室、宮内省」 岐阜県美術館講堂	学芸部展示・普及課研究員　田中純一朗	89人	岐阜県美術館における地方展開催（9月27日～12月8日）の関連イベントとして実施。
6	7年2月8日	講演会「皇居三の丸尚蔵館収蔵品にみる皇室と新潟とのゆかり」 新潟県立近代美術館講堂	学芸部調査・保存課研究員　細川晋太郎	26人	新潟県立近代美術館における地方展開催（7年2月7日～3月16日）の関連イベントとして実施。

2)　ギャラリートーク　　**32回**　　**参加者総数**　　**2,211人**

・担当研究員数　　延べ　　46人

・事業内容　展示室にて担当の研究員が作品に関する解説を行った。

	開催日	テーマ	解説者	参加者数（人）
1	4月12日	開館記念展「皇室のみやびー受け継ぐ美ー」第3期「近世の御所を飾った品々」ギャラリートーク（午前）	学芸部管理・情報課長　五味聖	130人
2	4月12日	開館記念展「皇室のみやびー受け継ぐ美ー」第3期「近世の御所を飾った品々」ギャラリートーク（午後）	学芸部管理・情報課長　五味聖	130人
3	4月27日	開館記念展「皇室のみやびー受け継ぐ美ー」第3期「近世の御所を飾った品々」ギャラリートーク（午前）	学芸部展示・普及課長　戸田浩之	143人

4	4月27日	開館記念展「皇室のみやびー受け継ぐ美ー」第3期「近世の御所を飾った品々」ギャラリートーク（午後）	学芸部展示・普及課長　戸田浩之	167人
5	5月24日	開館記念展「皇室のみやびー受け継ぐ美ー」第4期「三の丸尚蔵館の名品」ギャラリートーク	学芸部管理・情報課主任研究員　小林彩子	160人
6	5月28日	開館記念展「皇室のみやびー受け継ぐ美ー」第4期「三の丸尚蔵館の名品」ギャラリートーク	学芸部管理・情報課研究員　上嶋悟史	160人
7	6月7日	開館記念展「皇室のみやびー受け継ぐ美ー」第4期「三の丸尚蔵館の名品」ギャラリートーク	学芸部展示・普及課研究員　田中純一朗	160人
8	7月12日	展覧会「いきもの賞玩」ギャラリートーク	学芸部調査・保存課主任研究員　清水緑	26人
9	7月19日	展覧会「いきもの賞玩」ギャラリートーク	学芸部調査・保存課長　髙梨真行	35人
10	7月26日	展覧会「いきもの賞玩」特別鑑賞会ギャラリートーク	副館長　朝賀浩、学芸部調査・保存課長　髙梨真行、学芸部調査・保存課主任研究員　清水緑	19人
11	8月2日	展覧会「いきもの賞玩」ギャラリートーク	学芸部管理・情報課研究員　三島大暉	57人
12	8月9日	展覧会「いきもの賞玩」ギャラリートーク	学芸部調査・保存課長　髙梨真行	50人
13	8月23日	展覧会「いきもの賞玩」ギャラリートーク	学芸部管理・情報課研究員　野中愛理	62人
14	8月30日	展覧会「いきもの賞玩」特別鑑賞会ギャラリートーク	副館長　朝賀浩、学芸部調査・保存課長　髙梨真行、学芸部調査・保存課主任研究員　清水緑	19人
15	9月20日	展覧会「花鳥風月」ギャラリートーク	学芸部管理・情報課研究員　三島大暉	78人
16	9月27日	展覧会「花鳥風月」特別鑑賞会ギャラリートーク	副館長　朝賀浩、学芸部調査・保存課長　髙梨真行、学芸部調査・保存課主任研究員　清水緑	19人
17	10月4日	展覧会「花鳥風月」ギャラリートーク	学芸部調査・保存課主任研究員　清水緑	84人
18	10月18日	展覧会「花鳥風月」特別鑑賞会ギャラリートーク	副館長　朝賀浩、学芸部調査・保存課長　髙梨真行、学芸部調査・保存課主任研究員　清水緑	20人
19	11月1日	展覧会「公家の書」ギャラリートーク	館長　島谷弘幸	51人
20	11月8日	展覧会「皇室の美術振興」ギャラリートーク	学芸部展示・普及課研究員　木村真美	35人
21	11月29日	展覧会「公家の書」「皇室の美術振興」特別鑑賞会ギャラリートーク	副館長　朝賀浩、学芸部調査・保存課長　髙梨真行、学芸部展示・普及課主任研究員　岡本隆志	20人
22	12月6日	展覧会「公家の書」ギャラリートーク	学芸部調査・保存課研究員　山田千穂	50人
23	12月13日	展覧会「皇室の美術振興」ギャラリートーク	学芸部展示・普及課研究員　田中純一朗	46人
24	7年1月10日	展覧会「瑞祥のかたち」ギャラリートーク	学芸部管理・情報課研究員　上嶋悟史	78人
25	7年1月31日	展覧会「瑞祥のかたち」特別鑑賞会ギャラリートーク	副館長　朝賀浩、学芸部管理・情報課長　五味聖、学芸部管理・情報課主任研究員　小林彩子	19人
26	7年2月7日	展覧会「瑞祥のかたち」ギャラリートーク	学芸部管理・情報課研究員　上嶋悟史	112人
27	7年2月24日	新潟県立近代美術館における地方展開催（2月7日～3月16日）に伴うギャラリートーク	学芸部調査・保存課研究員　細川晋太郎	100人
28	7年2月28日	展覧会「瑞祥のかたち」特別鑑賞会ギャラリートーク	副館長　朝賀浩、学芸部管理・情報課長　五味聖、学芸部管理・情報課主任研究員　小林彩子	20人
29	7年3月14日	展覧会「百花ひらく」ギャラリートーク	学芸部調査・保存課研究員　山田千穂	97人
30	7年3月18日	展覧会「百花ひらく」中国語ギャラリートーク	学芸部展示・普及課アソシエイトフェロー　周思敏	13人
31	7年3月19日	展覧会「百花ひらく」英語ギャラリートーク	学芸部展示・普及課アソシエイトフェロー　松井邦子	30人
32	7年3月28日	展覧会「百花ひらく」特別鑑賞会ギャラリートーク	副館長　朝賀浩、学芸部展示・普及課長　戸田浩之	21人

3)　その他展示に関連するイベント

2回　　12人

	実施日	内容	会場	参加者数	備考
1	7年1月13日、19日	こども鑑賞会「はじめのいっぽ」	皇居三の丸尚蔵館展示室１・２	12人	展覧会「瑞祥のかたち」にあわせて開催

1-(3)-①-3 児童生徒を対象とした教育普及事業

	東京国立博物館		京都国立博物館		奈良国立博物館		九州国立博物館		皇居三の丸尚蔵館	
回数・人数※1※2	**回数計**	**1,177回**	**回数計**	**241回**	**回数計**	**2,144回**	**回数計**	**410回**	**回数計**	**2回**
	参加者計	**19,176人**	**参加者計**	**60,386人**	**参加者計**	**80,010人**	**参加者計**	**7,629人**	**参加者計**	**12人**
	体験型プログラム等	942回 7,382人	体験型プログラム等	225回 59,597人	体験型プログラム等	2,085回 76,243人	体験型プログラム等	319回 2,195人	体験型プログラム等	2回 12人
	学校との連携事業	235回 11,794人	学校との連携事業	16回 789人	学校との連携事業	59回 3,767人	学校との連携事業	91回 5,434人	学校との連携事業	― 回 ― 人
	児童生徒を対象とした刊行物	6件 121,500部	児童生徒を対象とした刊行物	2件 42,500部	児童生徒を対象とした刊行物	9件 316,876部	児童生徒を対象とした刊行物	4件 8,000部	児童生徒を対象とした刊行物	2件 14,000部
	児童生徒を対象とした音声ガイド	― ―	児童生徒を対象とした音声ガイド	1件 443台	児童生徒を対象とした音声ガイド	2件 299台	児童生徒を対象とした音声ガイド	― ―	児童生徒を対象とした音声ガイド	― ―

※1ー定期間通して実施した事業については、期間の日数＝回数としてカウントする

※2実施事業のうち、参加者数をカウントしていない、又は当該事業を実施した建物の入館者数のみ把握しているものについては、合計値に参加者数を計上していない。（実施回数は計上している。）

【東京国立博物館】

1)体験型プログラム等　　942回　　7,382人

①ハンズオン展示等

848回　　2,257人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	通年	東洋館オアシス6室「アジアの占い体験」	東洋館6室	291回	―	通年で開催。数値は4月1日～3月末の開室日。参加者のカウントなし。
2	通年	本館19室みどりのライオン体験コーナー	本館19室	262回	―	通年で開催。参加者のカウントなし。工程見本展示は「押出仏ができるまで」（～12/1）。2/4～よろいのハンズオン展示実施。
3	通年	日本文化のひろば	本館特別4室	291回	―	通年開催。参加者のカウントなし。
4	5月26日、7月28日、11月24日、1月26日	キッズスペース	本館地下教育普及スペース	4回	2,257人	トーハクキッズデー関連イベントとして実施。（5月214人、7月848人、11月592人、1月603人）

②ワークショップ

63回　　4,926人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	5月26日	子どものためのギャラリートーク「よりそう動物をみてみよう」	本館特別2室	2回	83人	1日2回開催、1回目31人、2回目52人
2	5月26日	子どものためのギャラリートーク「まねっこポーズをしてみよう」	本館18室	2回	86人	1日2回開催、1回目55人、2回目31人
3	5月26日、11月24日	子どものためのギャラリートーク「仏さまのお花をさがそう」	法隆寺宝物館第2室	4回	218人	1日2回開催、5月:98人、11月:120人
4	5月26日、7月28日（2回）、1月26日、2月16日	アートスタジオ「子どもの勾玉づくり」	本館地下みどりのライオン	5回	100人	ボランティアのグループ「アートスタジオ」による定例ワークショップ（5月18人、7月43人、1月22人、2月17人）
5	5月26日、7月28日、11月24日、1月26日	こどもたてものさんぽツアー　～たんけんマップをもって～	構内	8回	533人	トーハクキッズデー関連ボランティアイベント（1日2回実施、5月108人、7月77人、11月234人、1月114人）
6	5月26日、7月28日、11月24日、1月26日	手遊び＆散策「ユリノキからたんけん！」	構内	4回	156人	トーハクキッズデー関連ボランティアイベント（5月52人、7月39人、11月33人、1月32人）
7	5月26日、7月28日、11月24日、1月26日	東洋館でさがしてみよう！	東洋館	4回	408人	トーハクキッズデー関連ボランティアイベント（5月55人、7月137人、11月146人、1月70人）

8	7月28日	江戸きものファッションツアー	本館10室、特別4室	4回	181人	1日4回開催、1回目39人、2回目45人、3回目52人、4回目45人
9	7月28日	「トーハク新聞」～おすすめ作品を紹介しよう	本館2階	2回	51人	トーハクキッズデー
10	7月28日、11月24日、1月26日	お気に入りの色で仏像プラ板をつくろう	本館地下みどりのライオン	3回	295人	トーハクキッズデー関連ボランティアイベント（7月101人、11月113人、1月81人）
11	7月28日、1月26日	キッズ18室へ、これなーんだ！	本館18室	2回	459人	トーハクキッズデー関連ボランティアイベント(7月250人、1月209人）
12	7月28日、1月26日	法隆寺宝物館でさがしてみよう！	法隆寺宝物館	2回	132人	トーハクキッズデー関連ボランティアイベント（7月30人、1月102人）
13	7月28・30・31日	ひいながたぬりえ	本館19室	3回	711人	キッズデー関連を含む。28日335人、30日190人、31日186人
14	10月17日、3月23日	アートスタジオ「親子で楽しむ根付づくり」	本館地下みどりのライオン	2回	35人	ボランティアのグループ「アートスタジオ」による定例ワークショップ(10月17人）、博物館でお花見を関連ワークショップ（3月18人）
15	11月8～10日	アジアの旅ぬりえ	本館19室	3回	381人	博物館でアジアの旅関連
16	11月24日・1月26日	考古展示室ではにわをみよう	平成館考古展示室	3回	111人	トーハクキッズデー関連ボランティアイベント、11月1日2回実施、1月1日1回実施（11月69人、1月42人）
17	11月24日・12月15日・1月26日	アートスタジオ「親子で楽しむ勾玉づくり」	本館地下みどりのライオン	3回	56人	ボランティアのグループ「アートスタジオ」による定例ワークショップ(12月18人）、トーハクキッズデー関連ボランティアイベ
18	1月26日	お茶室たんけん！	九条館	3回	168人	トーハクキッズデー関連イベント、1日3回実施（35人、65人、71人）
19	1月26日	東博雪見　雪のもようでデザインしよう	本館特別4室	1回	311人	トーハクキッズデー関連
20	3月14～16日	春らんまん！桜ぬりえ	本館特別4室	3回	451人	博物館でお花見を関連

③その他の体験型プログラム

1回　199人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	5月26日	うるし体験ペーパークラフトサービス	本館特別4室	1回	199人	トーハクキッズデー関連イベント

④児童生徒を対象とした展示

30回　― 人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	5月14日～6月16日	親と子のギャラリー「よりそう動物たち～家族、仲間のすがたとかたち～」	本館特別2室	30回	―	東京都恩賜上野公園、国立科学博物館、東京国立博物館連携企画「上野の山で動物めぐり」。回数は開催日数。参加者の計測はなし。

⑤児童生徒を対象とした鑑賞会

― 回　― 人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考

2)学校との連携事業　235回　11,794人

①スクールプログラム、来館学校団体等への対応

216回　11,662人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	通年	スクールプログラム	本館地下みどりのライオン・平成館大講堂ほか	211回	11,641人	
2	通年	盲学校のためのスクールプログラム	本館地下みどりのライオン、本館展示室	5回	21人	

②出前授業等　　― 回　　― 人

③職場体験

14回　　44人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	通年	職場体験の受け入れ	本館及び東洋館展示室など	14回	44人	14校、のべ46日

④教員を対象とした研修　　4回　　83人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	7月26日	教員研修「神護寺」	平成館大講堂	1回	65人	神護寺展担当研究員による解説、教育担当研究員による授業等での活用の提案および見学
2	8月6日	台東区社会科教員研修	平成館小講堂	1回	14人	考古と浮世絵を題材とした授業案の提案および見学
3	8月8日	狛江市社会科教員研修	平成館小講堂	1回	3人	神護寺展および仏教美術に関する解説および見学
4	1月17日	都城市小学校教員研修	平成館小講堂	1回	1人	教育プログラムに関するレクチャー、意見交換および見学

⑤その他の学校、社会教育関係団体、国内外の博物館等との連携協力に基づいた事業

1回　　5人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	11月27日	都立久我山青光学園視覚障害教育部門PTA	本館地下みどりのライオン、本館展示室	1回	5人	盲学校のためのスクールプログラム体験による研修

3)児童生徒を対象とした刊行物、音声ガイドの制作

①刊行物　　6件　　121,500部

	名　　称	発行部数	備　考
1	トーハクキッズデー当日イベントスケジュール	6,500部	正門、インフォメーション他で配布
2	キッズデーミニうちわ	2,000部	正門、キッズスペースで配布
3	親と子のギャラリー「よりそう動物たち～家族、仲間のすがたとかたち～」リーフレット	3,000部	インフォメーションで配布
4	ウェルカムガイドリーフレット「はくぶつかんへようこそ」(日・英・中・韓)	77,000部	和文6万部は正門、インフォメーション他で11月8日より1月31日まで配布。英文1万部、中文5,000部、韓文2,000部は3月より順次配布。
5	ワークシート『東博雪見「雪のもようをさがしてみよう」』	3,000部	特集『日本の伝統模様「雪」』関連
6	2025年1・2月カレンダーポストカード	30,000部	「博物館で初もうで」関連

②音声ガイド　　― 件　　― 台

③その他メディア　　― 件　　― 台

【京都国立博物館】

1)体験型プログラム等　　225回　　59,597人

①ハンズオン展示等

136回　　20,200人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	4月13日～7年3月23日	さわって発見！ミュージアム・カート！	京都国立博物館　平成知新館	136回	20,200人	名品ギャラリーの展示期間中に実施、 参加者数は概算

②ワークショップ

87回　　8,929人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	4月13日～5月26日	めくって雪舟	京都国立博物館　平成知新館	39回	4,287人	特別展「雪舟伝説」関連ワークショップ
2	10月8日～12月1日	とびだせ!たいまマンダラ	京都国立博物館　平成知新館	48回	4,642人	特別展「法然と極楽浄土」関連ワークショップ

③その他の体験型プログラム

1回　　10人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	8月9日	第15回少年少女博物館くらぶ 体験！昔のコピー技術―油紙を中心に―	京都国立博物館　平成知新館	1回	10人	参加者は当該期間の入館者数

④児童生徒を対象とした展示

1回　　30,458人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	7年1月2日～2月2日	新春特集展示「巳づくし―干支を愛でる―」	京都国立博物館　平成知新館	1回	30,458人	参加者は当該期間の入館者数

⑤児童生徒を対象とした鑑賞会

―回　　―人

2)学校との連携事業　　16回　　789人

①スクールプログラム、来館学校団体等への対応

4回　　27人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	6月13日	立命館守山高等学校　2年生 「共創探究」の授業	京都国立博物館	1回	4人	博物館の仕事についてのインタビュー 対応：水谷亜希（主任研究員）
2	6月20日	京都女子大学附属小学校　2年生 「町たんけん」の授業	京都国立博物館	1回	10人	博物館の仕事・建築についてのインタビュー 対応：森考平（総務課長）、田島章雅（課長補佐）、大原嘉豊（教育室長）・水谷亜希（主任研究員）
3	11月30日	京都府私立中学高等学校連合会 社会科研究会の研修	京都国立博物館	1回	9人	特別展「法然と極楽浄土」に関する解説 解説：大原嘉豊（教育室長）
4	12月14日	学校法人浪速学院 浪速高等学校・中学校 特別講座「OWN-Selection」	学校法人浪速学院 浪速高等学校	1回	4人	博物館の仕事についての講座 講師：水谷亜希（主任研究員）

②出前授業等

7回　　484人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	6月18日	文化財に親しむ授業 京都市立嵐山小学校　6年生	京都市立嵐山小学校	1回	51人	教材：俵屋宗達筆「風神雷神図屏風」（複製）、講師：文化財ソムリエ
2	7月17日	文化財に親しむ授業 京都市立安朱小学校　6年生	京都市立安朱小学校	1回	50人	教材：俵屋宗達筆「風神雷神図屏風」（複製）、講師：文化財ソムリエ
3	9月12日	文化財に親しむ授業 京都市立鏡山小学校　6年生	京都市立鏡山小学校	1回	67人	教材：雪舟筆「天橋立図」（複製）、講師：文化財ソムリエ
4	10月1日	文化財に親しむ授業 京都市立梅津小学校　6年生	京都市立梅津小学校	1回	83人	教材：俵屋宗達筆「風神雷神図屏風」（複製）、講師：文化財ソムリエ
5	10月25日	文化財に親しむ授業 京都市立七条中学校　1年生	京都市立七条中学校	1回	165人	教材：伊藤若冲筆「果蔬涅槃図」（複製）、講師：文化財ソムリエ
6	11月22日	文化財に親しむ授業 京都市立九条弘道小学校　6年生	京都市立九条弘道小学校	1回	15人	教材：雪舟筆「四季花鳥図屏風」（複製）、講師：文化財ソムリエ
7	12月9日	文化財に親しむ授業 京都市立下鴨小学校　6年生	京都市立下鴨小学校	1回	53人	教材：雪舟筆「天橋立図」（複製）、講師：文化財ソムリエ

③職場体験

―回　　―人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1						

④教員を対象とした研修

1回　　61人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	8月20日	社会科教員のための向上講座（（小・総）社会科授業実践力向上講座、（中・高・総）社会科教員指導力向上講座）	京都国立博物館	1回	61人	講義「密教図像とコピーの技術」大原嘉豊（教育室長）ほか 主催：京都市教育委員会、京都国立博物館、京都市小学校社会科教育研究会、京都市立中学校教育研究会社会科部会、京都市立高等学校社会科研究会

⑤その他の学校、社会教育関係団体、国内外の博物館等との連携協力に基づいた事業

4回　　217人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	7月9日	京都市立春日丘中学校　1年生 鑑賞の授業	京都市立春日丘中学校	1回	120人	複製（俵屋宗達筆「風神雷神図屏風」）を活用した授業への助言・当日の補助を行った
2	11月13日	京都市立花背小中学校　1-9年生 鑑賞の授業	京都市立花背小中学校	1回	32人	複製（俵屋宗達筆「風神雷神図屏風」）を活用した授業への助言・当日の補助を行った

3	12月11日	京都市立烏丸中学校　2年生 鑑賞の授業	京都市立烏丸中学校	1回	44人	複製（俵屋宗達筆「風神雷神図屏風」）を活用した授業への助言・当日の補助を行った
4	5月18日	京都府立丹後郷土資料館「ワークショップ・体験コーナー　初めての仏像体験」	京都府立丹後郷土資料館	1回	21人	ワークショップで使用するハンズ・オン教材（玉眼模型）の貸出と、研究員による事前の研修を行った

3)児童生徒を対象とした刊行物、音声ガイドの制作

①刊行物

2件　　42,500部

	名　　称	発行部数	備　　考
1	博物館Dictionary No.235,236,237,238,239,240	No.235 8,700部 No.236 5,000部 No.237 4,000部 No.238 7,000部 No.239 4,800部 No.240 4,800部	6月、7月、8月、7年1月、2月発行。観覧者（子ども～大人）対象。ウェブサイトにも掲載。
2	新春特集展示「巳づくし―干支を愛でる―」関連ワークシート「さがしてみよう！　こんなへび」	（日・英） 6,500部 （中・韓） 1,700部	7年1月発行。観覧者（6歳以上～）対象。

②音声ガイド　　1件　　443台

	名　　称	台数	備　　考
1	名品ギャラリー ジュニア版音声ガイド（日本語・英語・中国語・韓国語）	443台	各言語につき、作品解説など26本作成。利用台数443台。

③その他メディア　　5件

	名　　称	発行部数	備　　考
1	虎ブログ	―	公式キャラクター「トラりん」のブログを活用し、展覧会やイベント等について親しみやすく紹介。
2	トラりんX（旧Twitter）	―	公式キャラクター「トラりん」のX（旧Twitter）を活用し、展覧会やイベント等について親しみやすく紹介。
3	トラりんFacebook	―	公式キャラクター「トラりん」のFacebookを活用し、展覧会やイベント等について親しみやすく紹介。
4	トラりんYouTube	―	公式キャラクター「トラりん」のYouTubeを活用し、展覧会やイベント等について親しみやすく紹介。
5	京博Instagram	―	京都国立博物館のInstagramを活用し、公式キャラクター「トラりん」も投稿に登場し、展覧会やイベント等について親しみやすく紹介。

【奈良国立博物館】

1)体験型プログラム等　　2,085回　　76,243人

①ハンズオン展示等　　397回　　6,161人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	通年	さわって！発見！仏像の木	ならはく教育普及スペース「ちえひろば」	284回	-人	※とくべつワークショップ開催日以外の開館日毎日実施 ※参加者数カウントなし
2	4月14日、5月5日、5月12日、6月9日、7月14日、8月11日、9月8日、10月13日、11月10日、12月8日、1月12日、2月9日、3月9日、学校プログラムの開催日	「阿弥陀如来立像（裸形）」のレプリカのハンズオン展示	ならはく教育普及スペース「ちえひろば」	64回	1,969人	※回数：展示日数 ※参加者数：着つけ体験の参加者数
3	4月28日、5月25日、6月23日、7月28日、8月25日、9月22日、10月27日、11月24日、12月22日、1月26日、2月23日、3月23日	国宝「辟邪絵」、国宝「地獄草紙」、国宝「信貴山縁起絵巻」の絵巻レプリカのハンズオン展示	ならはく教育普及スペース「ちえひろば」	12回	828人	※回数：展示日数 ※参加者数：絵巻レプリカに触れる体験の参加者数
4	2月19日～	国宝「薬師如来坐像」の模像のハンズオン展示	ならはく教育普及スペース「ちえひろば」	37回	3,364人	※回数：展示日数 ※参加者数：模像に触れる体験の参加者数

②ワークショップ

1,019回　　69,364人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	見学・参加者数	備　考
1	通年	仏像＆ならはくミニクイズ！	ならはく教育普及スペース「ちえひろば」	284回	22,093人	※とくべつワークショップ開催日以外の開館日毎日実施
2	通年	ならはく５・７・５をつくろう！	ならはく教育普及スペース「ちえひろば」	284回	2,094人	※とくべつワークショップ開催日以外の開館日毎日実施

3	通年	今日会える仏像	ならはく教育普及スペース「ちえひろば」	284回	35,551人	※7/1以降開始、とくべつワークショップ開催日以外の開館日毎日実施
4	4月14日、5月5日、5月12日、6月9日、7月14日、8月11日、9月8日、10月13日、11月10日、12月8日、1月12日、2月9日、3月9日	とくべつワークショップ「ほとけさまに服を着せよう！」	ならはく教育普及普及スペース「ちえひろば」	13回	見学者数：1,273人 着つけ体験参加者数：1,083人	※基本毎月第二日曜に開催 ※回数：実施日数
5	通年	学校プログラム向け とくべつワークショップ「ほとけさまに服を着せよう！」	ならはく教育普及普及スペース「ちえひろば」	51回	見学者数：3,524人 着つけ体験参加者数：696人	※学校プログラム参加者対象に実施 ※回数：学校プログラム受け入れ校数
6	4月28日、5月25日、6月23日、7月28日、8月25日、9月22日、10月27日、11月24日、12月22日、1月26日、2月23日、3月23日	とくべつワークショップ「絵巻物をみて！きいて！さわろう！」	ならはく教育普及普及スペース「ちえひろば」	12回	絵巻芝居の見学者数：1,570人 絵巻レプリカに触れる体験への参加者数：828人	※基本毎月第四日曜に開催 ※回数：実施日数
7	7月20日～9月1日	ワークショップ「体験！お面をつくってポーズをとろう！」	西新館	40回	1,326人	※わくわくびじゅつギャラリー「フシギ！日本の神さまのびじゅつ」の関連事業。 ※回数：会期中の開館日数 ※参加者数：お面の掲示枚数
8	7月20日～9月1日	ワークショップ「描こう！神さまのびじゅつ」	西新館	40回	1,752人	※わくわくびじゅつギャラリー「フシギ！日本の神さまのびじゅつ」の関連事業。 ※回数：会期中の開館日数 ※参加者数：イラストの掲示枚数
9	7月27日、28日	ワークショップ「仏像ハカセのほとけさまファッション講座」	石川県立美術館	4回	58人	※石川県立美術館で開催の特別展「まるごと奈良博―奈良国立博物館 至高の仏教美術コレクション―」の関連事業。 ※当館研究員が講師となり実施。
10	8月3日	ワークショップ「絵巻物（辟邪絵）をみて！きいて！さわろう！」	石川県立美術館	5回	75人	※石川県立美術館で開催の特別展「まるごと奈良博―奈良国立博物館 至高の仏教美術コレクション―」の関連事業。 ※当館研究員が講師となり実施。
11	8月12日	わくわくびじゅつギャラリー「フシギ！日本の神さまのびじゅつ」親子向けワークショップ「ダンボールびわをつくろう！～神さま　さまざま　ワークサマー①～」	地下回廊	1回	28人	※奈良教育大学大学院との連携事業 ※わくわくびじゅつギャラリー「フシギ！日本の神さまのびじゅつ」関連事業
12	8月12日	わくわくびじゅつギャラリー「フシギ！日本の神さまのびじゅつ」親子向けワークショップ「しかけ絵本をつくろう！～神さま　さまざま　ワークサマー②～」	地下回廊	1回	20人	※奈良教育大学大学院との連携事業 ※わくわくびじゅつギャラリー「フシギ！日本の神さまのびじゅつ」関連事業

③その他の体験型プログラム　　― 回　　― 人

④児童生徒を対象とした展示　　659回　　― 人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	通年	地下回廊の仏像模型コーナーの子ども向け題箋の設置	地下回廊	284回	-人	地下回廊にある仏像模型コーナーに、子ども向け題箋6点を設置 ※回数：展示日数
2	通年	なら仏像館の子ども向け題箋の設置	なら仏像館	284回	-人	なら仏像館に子ども向け題箋17点を設置 ※回数：展示日数
3	4月13日～6月9日	特別展「空海 KOKAI -密教のルーツとマンダラ世界」の子ども向け題箋・パネルの設置	新館	51回	-人	特別展会場内に子ども向け題箋17点、子ども向け解説パネルを7点設置 ※回数：会期中の開館日数
4	7月20日～9月1日	わくわくびじゅつギャラリー「フシギ！日本の神さまのびじゅつ」	西新館	40回	-人	※回数：会期中の開館日数

⑤児童生徒を対象とした鑑賞会　　10回　　718人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	7月24日・7月25日	みんなで学ぼう！奈良博ワクワク講座「仏像っておもしろい！」	講堂・ならはく教育普及スペース「ちえひろば」・なら仏像館	2回	101人	奈良市教育委員会共催事業
2	7月27日	わくわくトーク！「ナゾとき！神さまのびじゅつ」	講堂	2回	67人	
3	8月4日	親子向けわくわくトーク「『ほっとけ』んよ！奈良博のお宝！」	石川県立美術館	6回	550人	

2)学校との連携事業　　59回　　3,767人

①スクールプログラム、来館学校団体等への対応

54回　　3,628人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
学校プログラム「ならはく『世界遺産学習』」の実施校						
1	4月12日	武庫川女子大学附属中学校2年生	地下回廊・なら仏像館	1回	123人	
2	4月25日	金沢市立清泉中学校2年生	地下回廊・なら仏像館	1回	32人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
3	5月8日	和泉市立光明台南小学校5.6年生	地下回廊・なら仏像館	1回	102人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
4	5月24日	相模原市立相模台中学校3年生	地下回廊・なら仏像館	1回	53人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
5	6月6日	枚方市立樟葉南小学校6年生	地下回廊・なら仏像館	1回	72人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
6	6月13日	奈良市立平城西小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	67人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
7	6月14日	奈良市立鼓阪小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	8人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
8	6月14日	奈良市立大宮小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	84人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
9	6月28日	奈良市立都跡小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	76人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
10	6月28日	堺市立東三国丘小学校6年生	地下回廊・なら仏像館	1回	126人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
11	7月3日	新島村立式根島中学校3年生	地下回廊・なら仏像館	1回	5人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
12	7月5日	奈良市立伏見小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	140人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
13	9月13日	奈良市立平城小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	89人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
14	9月26日	奈良市立椿井小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	35人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
15	9月26日	奈良市立ならやま小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	59人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
16	9月27日	奈良市立済美小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	81人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
17	9月27日	奈良市立帯解小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	15人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
18	10月3日	奈良県立郡山高等学校1年生	地下回廊・なら仏像館	1回	38人	
19	10月3日	奈良県立郡山高等学校1年生	地下回廊・なら仏像館	1回	37人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
20	10月8日	宝塚市立売布小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	118人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
21	10月10日	奈良市立佐保小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	75人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
22	10月10日	比叡山中学校1.2年生	地下回廊・なら仏像館	1回	121人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
23	11月14日	奈良市立鶴舞小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	58人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
24	11月15日	奈良市立東市小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	24人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
25	11月15日	奈良市立大安寺小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	34人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
26	11月19日	奈良市立月ヶ瀬小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	6人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
27	11月20日	寝屋川市立第六中学校1年生	地下回廊・なら仏像館	1回	101人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
28	11月20日	寝屋川市立第六中学校1年生	地下回廊・なら仏像館	1回	101人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
29	11月21日	奈良市立伏見南小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	57人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
30	11月22日	奈良市立あやめ池小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	95人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
31	11月26日	奈良市立鼓阪北小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	22人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館

32	11月26日	奈良市立済美南小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	28人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
33	11月28日	奈良市立二名小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	74人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
34	11月28日	奈良市立興東小学校・柳生小学校5年生合同	地下回廊・なら仏像館	1回	10人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
35	11月29日	奈良市立明治小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	48人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
36	11月29日	奈良市青和小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	84人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
37	12月3日	奈良市立登美ヶ丘小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	93人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
38	12月6日	奈良市立三碓小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	116人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
39	12月6日	奈良市立大安寺西小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	66人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
40	12月10日	関西大学第一中学校3年生	地下回廊・なら仏像館	1回	103人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
41	12月10日	関西大学第一中学校3年生	地下回廊・なら仏像館	1回	102人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
42	12月17日	熊本市立西山中学校2年生	地下回廊・なら仏像館	1回	67人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
43	12月17日	熊本市立西山中学校2年生	地下回廊・なら仏像館	1回	107人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
44	1月16日	奈良市立富雄北小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	62人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
45	1月17日	奈良市立鳥見小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	81人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
46	1月23日	奈良市立富雄南小学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	78人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
47	1月31日	奈良市立富雄第三小中学校5年生	地下回廊・なら仏像館	1回	55人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
48	2月4日	埼玉栄中学校2年生	地下回廊・なら仏像館	1回	103人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
49	2月23日	京都芸術大学（博物館学芸員課程）	地下回廊・なら仏像館	1回	34人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
50	3月19日	箕面自由学園高等学校1年生	地下回廊・なら仏像館	1回	121人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
51	3月25日	広島市立基町高等学校2年生	地下回廊・なら仏像館	1回	38人	当館より事前学習キットを提供し、事前学習を実施した上で来館
学校団体等の児童・生徒を対象にしたオンライン中継プログラムの実施						
52	11月25日	遠隔操作ロボットを活用した展示案内プログラム（対象：佐伯市立切畑小学校6年生）	佐伯市立切畑小学校・なら仏像館	1回	11人	大分県商工観光労働部先端技術挑戦室課との連携事業
53	1月20日	遠隔操作ロボットを活用した展示案内プログラム（対象：佐伯市立佐伯小学校6年生）	佐伯市立佐伯小学校・なら仏像館	1回	42人	大分県商工観光労働部先端技術挑戦室課との連携事業
54	2月10日	奈良市オンライン中継授業/世界遺産学習（対象：奈良市立左京小学校5年生）	奈良市立左京小学校・なら仏像館	1回	51人	奈良市世界遺産学習の一環

②出前授業等　　2回　　131人

1	9月20日	奈良教育大学附属中学校2年生社会科歴史的分野特別授業「正倉院宝物―つくった人・守り継ぐ人びとの思い―」	奈良教育大学附属中学校	2回	131人	奈良教育大学附属中学校2年生を対象に実施

③職場体験　　2回　　8人

1	11月14日・11月15日	奈良県立青翔中学校2年生	講堂・ならはく教育普及スペース「ちえひろば」・なら仏像館	1回	4人	
2	12月4日・12月5日・12月6日	奈良市立若草中学校2年生	講堂・ならはく教育普及スペース「ちえひろば」・なら仏像館	1回	4人	

④教員を対象とした研修　　― 回　　― 人

⑤その他の学校、社会教育関係団体、国内外の博物館等との連携協力に基づいた事業

1回　　― 人

1	7月20日～9月1日	奈良教育大学附属中学校美術部による わくわくびじゅつギャラリー「フシギ！日本の神さまのびじゅつ」親子向けワークショップのチラシ制作	奈良教育大学附属中学校	1回	-人	奈良教育大学附属中学校美術部との連携事業

3)児童生徒を対象とした刊行物、音声ガイドの制作

①刊行物　　9件　　316,876部

	名　称	発行部数	備　考
1	特別展「空海 KŪKAI -密教のルーツとマンダラ世界」鑑賞ワークシート	77,000部	4月発行。観覧者（子ども～大人）対象。特別展会場にて配布。また、PDFデータを当館ウェブサイト内にある教育普及ウェブサイト「ならはく教育普及室」にて公開した。
2	仏像をもっと楽しむ鑑賞ガイド「かたちで見分ける！仏像4つのグループ」日本語版	150,000部	10月発行。観覧者（子ども～大人）対象。なら仏像館にて配布。また、PDFデータを当館ウェブサイト内にある教育普及ウェブサイト「ならはく教育普及室」にて公開した。
3	仏像をもっと楽しむ鑑賞ガイド「かたちで見分ける！仏像4つのグループ」英語版	25,000部	3月発行。観覧者（子ども～大人）対象。なら仏像館にて配布。また、PDFデータを当館ウェブサイト内にある教育普及ウェブサイト「ならはく教育普及室」にて公開した。
4	仏像をもっと楽しむ鑑賞ガイド「かたちで見分ける！仏像4つのグループ」中国語版	25,000部	3月発行。観覧者（子ども～大人）対象。なら仏像館にて配布。また、PDFデータを当館ウェブサイト内にある教育普及ウェブサイト「ならはく教育普及室」にて公開した。
5	なら仏像館クイズ＆ミッションシート、解答解説シート	3,524部	学校プログラム ならはく「世界遺産学習」の現地学習の際に配布する教材。
6	わくわくびじゅつギャラリー「フシギ！日本の神さまのびじゅつ」ワークシート『クイズではっけん！神さまのびじゅつのハテナ』日本語版	13,894部	7月発行。観覧者（子ども～大人）対象。特別展会場にて配布。また、PDFデータを当館ウェブサイト内にある教育普及ウェブサイト「ならはく教育普及室」にて公開した。
7	わくわくびじゅつギャラリー「フシギ！日本の神さまのびじゅつ」ワークシート『クイズではっけん！神さまのびじゅつのハテナ』英語版	7,884部	7月発行。観覧者（子ども～大人）対象。特別展会場にて配布。また、PDFデータを当館ウェブサイト内にある教育普及ウェブサイト「ならはく教育普及室」にて公開した。
8	わくわくびじゅつギャラリー「フシギ！日本の神さまのびじゅつ」ワークシート『クイズではっけん！神さまのびじゅつのハテナ』中国語版	14,050部	7月発行。観覧者（子ども～大人）対象。特別展会場にて配布。また、PDFデータを当館ウェブサイト内にある教育普及ウェブサイト「ならはく教育普及室」にて公開した。
9	わくわくびじゅつギャラリー「フシギ！日本の神さまのびじゅつ」ワークシート『クイズではっけん！神さまのびじゅつのハテナ』韓国語版	524部	7月発行。観覧者（子ども～大人）対象。特別展会場にて配布。また、PDFデータを当館ウェブサイト内にある教育普及ウェブサイト「ならはく教育普及室」にて公開した。

②音声ガイド　　2件　　299台

	名　称	制作件数	備　考
1	なら仏像館こども音声ガイド（日本語版）	276台	作品解説など15本作成。利用台数203台。6月より運用開始。
2	なら仏像館こども音声ガイド（英語版）	23台	作品解説など15本作成。利用台数20台。6月より運用開始。

③その他メディア　　3件

	名　称	件数	備　考
1	動画「ならはく世界遺産学習」	1件	学校プログラム ならはく世界遺産学習の事前学習教材として、当館の案内動画をYouTube上で公開した。
2	学校プログラムの事前学習シート「仏像ちょこっとクイズ」	1件	PDFにし、学校プログラムで来館する各学校に提供した。
3	動画「国宝 薬師如来坐像　再現プロジェクト！」	1件	当館所蔵の国宝 薬師如来坐像の模像の制作過程を動画で撮影し、そのダイジェスト版の動画をならはく教育普及スペース「ちえひろば」で公開した。

【九州国立博物館】

1)体験型プログラム等　　319回　　2,195人

①ハンズオン展示（あじっぱ・あじ庵・あじぎゃら）等

307回　　― 人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	4月1日～3月31日	体験型展示室「あじっぱ」でのハンズオン展示	あじっぱ	307回	―	展示日数

②ワークショップ　　5回　　190人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	8月10日、11日、12日	甕棺墓埋葬体験ワークショップ「やさしい日本語 deきゅーはく2024　王さまが死んだ！ 甕棺に入れよう」	ミュージアムホール	3回	30人	
2	11月2日	馬頭琴ワークショップ「きゅーはくdeアジアの楽器」	ミュージアムホール	1回	10人	
3	11月30日	文化交流展関連イベント「衣装体験イベント　「古代人に変身！」	3階エントランスホール	1回	150人	

③その他の体験型プログラム　　7回　　2,005人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	6月2日	きゅーはくきゃらばん（古代衣装体験）	いせきんぐ宗像	1回	200人	移動博物館車「きゅーはく号」運行
2	7月4日	きゅーはくきゃらばん（民族楽器体験）	福岡視覚特別支援学校	1回	35人	
3	10月12日、13日	きゅーはくきゃらばん（民族楽器体験）	福岡タワー前広場	2回	1,200人	移動博物館車「きゅーはく号」運行
4	11月17日	きゅーはくきゃらばん（民族楽器体験）	クローバープラザ	1回	300人	移動博物館車「きゅーはく号」運行
5	11月17日	きゅーはくきゃらばん（古代衣装体験）	なみきスクエア	1回	70人	
6	11月24日	きゅーはくきゃらばん（民族楽器・玩具体験、レプリカ触察体験）	九州歴史資料館	1回	200人	移動博物館車「きゅーはく号」運行

④児童生徒を対象とした展示　　― 回　　― 人

⑤児童生徒を対象とした鑑賞会　　― 回　　― 人

2)学校との連携事業　　91回　　5,434人

①スクールプログラム、来館学校団体等への対応

32回　　1,878人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	5月17日	添田町立添田小学校	ミュージアムホール/文化交流展示室	1回	47人	
2	6月6日	宗像市立自由ヶ丘小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	83人	
3	6月18日	久留米市立山川小学校	ミュージアムホール/文化交流展示室	1回	73人	
4	6月19日	古賀市立古賀西小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	82人	
5	7月2日	直方市立植木中学校	ミュージアムホール/文化交流展示室	1回	68人	
6	7月3日	桂川町立桂川中学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	125人	
7	7月5日	宗像市立日の里小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	53人	
8	9月6日	大任町立大任小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	41人	
9	9月10日	八女市立川崎小学校	ミュージアムホール/文化交流展示室	1回	12人	
10	9月11日	筑紫野市立天拝小学校	ミュージアムホール/文化交流展示室	1回	49人	
11	9月13日	川崎町立真崎小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	40人	
12	9月18日	築上町立椎田中学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	82人	
13	9月20日	福智町立市場小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	64人	
14	9月27日	みやま市立南小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	40人	
15	10月2日	赤村立赤中学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	35人	
16	10月3日	古賀市立千鳥小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	71人	
17	10月4日	みやま市立山川中学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	49人	
18	10月23日	みやこ町立犀川中学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	34人	
19	10月29日	豊前市立合岩中学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	44人	
20	10月30日	広川町立広川中学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	34人	
21	11月7日	うきは市立吉井小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	32人	
22	11月13日	直方市立下境小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	48人	
23	11月15日	行橋市立中京中学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	93人	
24	11月19日	八女市立西中学校	ミュージアムホール/文化交流展示室	1回	66人	
25	11月20日	久留米市立三潴小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	74人	
26	11月26日	久留米市立南薫小学校	ミュージアムホール/文化交流展示室	1回	88人	
27	11月29日	添田町立落合小学校	研修室/バックヤード/文化交流展示室	1回	9人	
28	12月5日	久留米市立安武小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	65人	
29	12月11日	みやま市立東山中学校	ミュージアムホール/文化交流展示室	1回	45人	
30	12月12日	川崎町立川崎中学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	132人	
31	12月19日	八女市立星野中学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	47人	
32	12月20日	春日市立日の出小学校	研修室/文化交流展示室/バックヤード	1回	53人	

②出前授業等

9回　　410人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	7月24日	九州国立博物館について	福岡建設専門学校	1回	90人	
2	11月6日	アバターを用いた遠隔授業事前学習	大分市立神崎小学校 玖珠町立古後小学校	1回	21人	
3	11月11日	九州国立博物館について	福岡市立香陵小学校	1回	80人	
4	11月18日	アバターを用いた遠隔授業	大分市立神崎小学校 玖珠町立古後小学校	1回	43人	
5	11月27日	きゅうぱっく体験	小郡市立三国小学校	1回	27人	
6	12月25日	九州国立博物館について	福岡市堤公民館	1回	40人	
7	2月3日	進路学習、職業講話	太宰府市立太宰府東中学校	1回	40人	
8	2月18日	進路学習、職業講話	太宰府市立太宰府中学校	1回	25人	
9	2月27日	モンゴルの馬頭琴体験	筑紫野市立阿志岐小学校	1回	44人	

③職場体験

11回　　44人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	6月4日､5日	東峰村立東峰中学校	バックヤード、展示室、あじっぱ	1回	1人	
2	6月25日､26日	太宰府市立太宰府東中学校	バックヤード、展示室、あじっぱ	1回	5人	
3	7月2日	筑紫野市立天拝中学校	バックヤード、展示室、あじっぱ	1回	4人	
4	7月9日	星槎国際高等学校	バックヤード、展示室、あじっぱ	1回	1人	
5	7月9日､10日	太宰府市立太宰府中学校	バックヤード、展示室、あじっぱ	1回	4人	
6	7月31日､8月1日	福岡県立輝翔館中等教育学校	バックヤード、展示室、あじっぱ	1回	2人	
7	9月18日､19日	太宰府市立学業院中学校	バックヤード、展示室、あじっぱ	1回	6人	
8	12月17日､18日	大野城市立御陵中学校	バックヤード、展示室、あじっぱ	1回	6人	
9	1月22日､23日	大野城市立大野中学校	バックヤード、展示室、あじっぱ	1回	3人	
10	1月28日､29日	大野城市立大野東中学校	バックヤード、展示室、あじっぱ	1回	6人	
11	1月30日､31日	筑紫野市立筑紫野南中学校	バックヤード、展示室、あじっぱ	1回	6人	

④教員を対象とした研修

― 回　　― 人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考

⑤その他の学校、社会教育関係団体、国内外の博物館等との連携協力に基づいた事業

39回　　3,102人

	開催日	事業名称等	開催場所	回数	参加者数	備　考
1	4月1日～3月31日	学校貸出キット「きゅうぱっく」の貸し出し	―	35回	2,929人	計39パック
2	8月3日	全国高等学校歴史学フォーラム2024	研修室 ミュージアムホール	1回	25人	
3	9月29日	国立扶餘博物館との人的交流	国立扶餘博物館	1回	60人	国立扶餘博物館との人的交流事業による講演会
4	9月30日	国立公州博物館との人的交流	国立公州博物館	1回	60人	国立公州博物館との人的交流事業による講演会
5	10月6日	ガムラン・ワークショップ「アジア伝統音楽の力～ジャワのガムラン演奏体験」	ミュージアムホール	1回	28人	筑紫女学園大学公開講座との共同開催

3)児童生徒を対象とした刊行物、音声ガイドの制作

①刊行物　　4件　　8,000部

	名　　称	冊数	備　　考
1	まるわかりきゅーはく	3,000部	スクールプログラムでの来館学校団体及び出前授業の実施校
2	きゅーはくきゃらばん利用ガイド	2,000部	スクールプログラムでの来館学校団体及び出前授業の実施校
3	はじめて九州国立博物館に行く人のための　あんしんガイド	1,500部	発達障がい者やはじめて当館を訪れる人のためのガイドブック。
4	はじめて九州国立博物館に行く人のための　あんしんガイド（同伴者用）	1,500部	

②音声ガイド　　―件　　―台

③その他メディア　　―件　　―回

【皇居三の丸尚蔵館】

1)体験型プログラム等　　2回　　12人

①ハンズオン展示等　　－　　－

②ワークショップ　　－　　－

③その他の体験型プログラム　　－　　－

④児童生徒を対象とした展示

⑤児童生徒を対象とした鑑賞会　　**2回**　　**12人**

	名　称	参加者数	備　考
1	こども鑑賞会「はじめのいっぽ」	12人	展覧会「瑞祥のかたち」期間（1月13日、19日）

2)学校との連携事業　　― 回　　― 人

3)児童生徒を対象とした刊行物、音声ガイドの制作

①刊行物　　2件　　14,000部

	名　称	冊数	備　考
1	鑑賞シート「しょうぞうかんでこれみっけ！」	4,000部	開館記念展「皇室のみやび」、展覧会「いきもの賞玩」期間
2	ワークシート　「○○いたよ！」	10,000部	展覧会「いきもの賞玩」期間

②音声ガイド　　― 件　　― 台

③その他メディア　　― 件　　― 台

1-(3)-①-4　大学生・大学院生を対象とした教育事業

令和7年3月31日現在

	東京国立博物館		京都国立博物館		奈良国立博物館		九州国立博物館	
	インターンシップ	23 人	インターンシップ	0 人	インターンシップ	0 人	インターンシップ	0 人
	大学との連携講座	2 件 216 人	大学との連携講座	1 件 16 人	大学との連携講座	2 件 33 人	大学との連携講座	1 件 29 人
	見学対応	15 回 558 人	見学対応	1 回 1 人	見学対応	0 回 0 人	見学対応	0 回 0 人
	その他	0 回 0 人	その他	24 回 215 人	その他	2 回 126 人	その他	10 回 686 人

【東京国立博物館】

1)　インターンシップ　　23 人

受入期間	7月17日～3月31日		
受入部署	情報資料室、情報管理室、出版企画室、教育講座室、上席研究員、東洋室、総務課		
参加者数	23 人	学校数	18 大学／　　0 専門学校
担当研究員数	8 人		
事業内容	博物館学芸員を目指す学生の学習意欲の喚起、高い職業意識の育成を目的とした就業体験プログラム。学生は受入部署において、10～30日間の活動を行った。		

2)　大学等との連携講座　　2 件　　216 人

期　　間	9月2日～9月3日、9月5日～9月6日		
回　　数	1回		
開催場所	平成館小講堂、本館2階会議室、本館地下修理施設、本館地下写場、管理棟修復室		
参加者数	34 人	学校数	20 大学／
担当研究員数	23 人		
事業内容	キャンパスメンバーズ校を対象とした教育連携事業「博物館学講座」を実施した。		

期　　間	9月4日		
回　　数	1 回		
開催場所	平成館大講堂		
参加者数	182 人	学校数	23 大学／
担当研究員数	9 人		
事業内容	キャンパスメンバーズ校を対象とした教育連携事業「博物館セミナー」を実施した。		

3)　見学対応　　15 回　　558 人

期　　間	年間		
開催場所	全館対象		
参加者数	558 人	学校数	9 大学／　　6 専門学校
担当研究員数	8人		
事業内容	専門学校が6校338名、大学9校220名。留学生を含む対象へのガイダンス、キャリア学習、ガイダンス動画の配信などを行った。		

4)　その他　　0 回　　0 人

【京都国立博物館】

1) インターンシップ　　0 人

受入期間	8月21日～10月31日		
受入部署			
参加者数	0 人	学校数	0 大学／　　0 専門学校
担当研究員数	0 人		
事業内容	毎年、文化財の修理に関わる学科を有する5大学で構成する文化財修復大学院生インターンシップ協議会より推薦を受けた学生について、国宝修理装潢師連盟の協力を得て、大学院生のインターンを文化財保存修理所にて受け入れているが、6年度は参加希望者がいなかった。		

2) 大学等との連携講座　　1 件　　16 人

内　　容	京都大学大学院人間・環境学研究科の歴史文化社会論講座
実施日	通年
開催場所	京都国立博物館
受入人数	16 人
担当研究員数	4 人

3) 見学対応　　1 回　　1 人

期　　間	年間		
開催場所	京都国立博物館		
参加者数	1 人	学校数	1 大学／　　0 専門学校
担当研究員数	1 人		
事業内容	・6月4日 筑波大学大学院の院生(1人) 「障壁画の保存・活用」についてのインタビュー 水谷亜希（主任研究員）		

4) その他　　23 回　　215 人

期　　間	5月15日、5月29日、6月5日、6月12日、6月19日、7月3日、7月10日、7月17日、7月24日、8月28日、9月4日、9月18日、9月25日、10月16日、10月23日、10月30日、11月6日、11月27日、12月4日、7年1月15日、1月29日
回　　数	21 回
開催場所	京都国立博物館
参加者数	20 人　　学校数　　11 大学／　　0 専門学校
担当研究員数	4 人
事業内容	「文化財ソムリエに向けたスクーリング」 京都市内の小中学校で文化財の高精細複製品を用いた訪問授業を行う「文化財ソムリエ」養成のためのスクーリングを実施した。 参加者は、京都市内及びその周辺の大学で日本文化等を専門に学ぶ大学生、大学院生。スクーリングでは、教材となる文化財の取り扱い方法や作品の専門的な知識について当館の研究員が解説をした。また、授業案の作成では文化財ソムリエ同士の主体的な議論を促し、必要に応じて助言をした。

期　　間	4月21日、10月13日		
回　　数	2 回		
開催場所	京都国立博物館		
参加者数	184 人	学校数	33～34　大学／　　0 専門学校
担当研究員数	2 人		
事業内容	京都国立博物館キャンパスメンバーズ会員校の学生・教職員を対象とした、特別展「雪舟伝説　―「画聖（カリスマ）」の誕生―」、特別展「法然と極楽浄土」にかかる講演会を実施した。		

期　　間	9月13日		
回　　数	1 回		
開催場所	京都国立博物館		
参加者数	11 人	学校数	6 大学／　　0 専門学校
担当研究員数	2 人		
事業内容	保存修復技術を専攻する大学院生のための研修会を開催し、各工房の見学及び文化財修理に関する質疑応答を行った。		

【奈良国立博物館】

1) インターンシップ　　0 人

2) 大学等との連携講座　　2 件　　33 人

内　　容	奈良女子大学大学院人間文化研究科との連携講座
実施日	前期、後期
開催場所	奈良女子大学、奈良国立博物館
受入人数	3 人　（前期2人、後期1人）
担当研究員数	2 人

内　　容	神戸大学大学院人文学研究科との連携講座
実施日	通年
開催場所	奈良国立博物館
受入人数	30 人
担当研究員数	2 人

3) 見学対応　　0 回　　0 人

4) その他　　2 回　　126 人

期　　間	4月24日・11月8日		
回　　数	2 回		
開催場所	奈良国立博物館		
参加者数	126 人	学校数	21 大学／　　専門学校
担当研究員数	2 人		
事業内容	奈良国立博物館キャンパスメンバーズ加盟校の学生・教職員を対象とした講演会を、特別展「生誕1250年記念特別展　空海　KŪKAI―密教のルーツとマンダラ世界」と第76回正倉院展において実施した。		

【九州国立博物館】

1) インターンシップ　　0 人

2) 大学等との連携講座　　1 件　　29 人

内　　容	放送大学の面接授業
実施日	12月4日、5日
開催場所	九州国立博物館研修室
受入人数	29人
担当研究員数	8人

3) 見学対応　　0 回　　0 人

4) その他　　10 回　　686 人

期　　間	8月20日、21日、22日、23日、26日、27日（6日間）		
回　　数	1回		
開催場所	全館		
参加者数	20 人	学校数	18 大学／　　0 専門学校
担当研究員数	16 人		
事業内容	博物館実習		

期　　間	6月21日、7月12日、9月20日、9月27日、10月18日、12月12日		
回　　数	6回		
開催場所	九州国立博物館1階エントランス（オープンカフェ）		
参加者数	630 人	学校数	1 大学／　　0 専門学校
担当研究員数	-　　人		
事業内容	カフェコンサート（福岡女子短期大学音楽科）		

期　　間	10月14日		
回　　数	1回		
開催場所	九州国立博物館1階研修室		
参加者数	11 人	学校数	1 大学／　　0 専門学校
担当研究員数	1 人		
事業内容	崇城大学芸術学部「博物館実習」学外見学実習		

期　　間	7年1月11日		
回　　数	1回		
開催場所	九州国立博物館1階研修室		
参加者数	25 人	学校数	1 大学／　　0 専門学校
担当研究員数	-　　人		
事業内容	九州産業大学「博物館浴」		

期　　間	7年2月11日～16日		
回　　数	1回		
開催場所	九州国立博物館1階エントランス		
参加者数	－人	学校数	1 大学／　　0 専門学校
担当研究員数	－人		
事業内容	九州女子大学　第57回卒業書作展		

1-(3)-①-5 キャンパスメンバーズ

令和7年3月31日現在

東京国立博物館	京都国立博物館（※）	奈良国立博物館（※）	九州国立博物館
72校	36校	29校	21校

※うち京都国立博物館・奈良国立博物館共通加入23校

【東京国立博物館】

①　加入校数(72校)

	学校名	学生数	入会日	備考
1	桜美林大学	11,746人	20年4月1日	
2	武蔵野美術大学	8,574人	20年4月1日	
3	文化学園（文化学園大学、文化ファッション大学院大学、文化服装学院、文化外国語専門学校）	8,041人	20年4月1日	
4	東京学芸大学	6,117人	20年4月1日	
5	東京藝術大学	4,655人	20年4月1日	
6	東京大学	35,317人	20年4月1日	
7	お茶の水女子大学	3,365人	20年4月1日	
8	大正大学	5,465人	20年4月1日	
9	東海大学	31,466人	20年4月1日	
10	青山学院大学	22,645人	20年4月1日	
11	メイ・ウシヤマ学園（ハリウッド大学院大学、ハリウッド美容専門学校）	650人	20年4月1日	
12	多摩美術大学	5,401人	20年4月1日	
13	立教大学	23,724人	20年4月1日	
14	東京都立大学	9,704人	20年4月1日	
15	女子美術大学・女子美術大学短期大学部	4,177人	20年4月1日	
16	東京造形大学	1,996人	20年4月1日	
17	法政大学	40,077人	20年4月1日	
18	筑波大学	20,541人	20年4月1日	
19	昭和女子大学	7,427人	20年4月1日	
20	実践女子大学・実践女子大学短期大学部	4,685人	20年5月1日	
21	東洋大学	33,306人	20年6月1日	
22	東洋美術学校	1,130人	20年6月1日	
23	日本大学（芸術学部・芸術学研究科）	4,775人	20年6月1日	
24	文教大学	9,109人	20年7月1日	
25	上智学院（上智大学、上智大学短期大学部）	16,173人	20年10月1日	
26	国際基督教大学	3,356人	21年4月1日	
27	学習院女子大学	1,785人	21年11月1日	
28	獨協大学	8,687人	22年4月1日	
29	学習院大学	10,439人	22年4月1日	
30	東京科学大学	18,353人	22年7月1日	
31	日本女子大学	9,263人	23年4月1日	
32	二松学舎大学	3,475人	23年5月1日	
33	東京家政大学・東京家政大学短期大学部	7,562人	23年6月1日	
34	神奈川大学	20,182人	24年6月1日	
35	東京女子大学	4,360人	24年8月1日	
36	中央大学（文学部・文学研究科）	4,508人	25年6月1日	
37	麗澤大学	2,721人	25年6月1日	
38	慶應義塾大学	47,413人	25年8月1日	
39	共立女子大学・共立女子短期大学	6,792人	26年4月1日	
40	成城大学（文芸学部・文学研究科）	1,815人	26年4月1日	
41	日本文化大學	1,024人	27年4月1日	
42	鶴見大学（文学部・文学研究科）	1,349人	27年5月1日	
43	十文字学園女子大学	3,736人	27年6月1日	
44	早稲田大学	52,269人	27年6月1日	
45	横浜国立大学	10,703人	28年4月1日	
46	國學院大學・國學院大學北海道短期大学部	12,333人	28年4月1日	
47	聖心女子大学	2,831人	28年5月1日	
48	津田塾大学	3,803人	29年8月1日	
49	清泉女子大学	1,812人	29年10月1日	
50	立正大学（文学部・文学研究科）	2,257人	30年4月1日	
51	東京国際大学・東京国際大学付属日本語学校	7,531人	30年4月1日	
52	明治大学	37,929人	30年5月1日	
53	大妻女子大学・大妻女子大学短期大学部	7,981人	31年4月1日	
54	宝塚大学	1,177人	元年5月29日	
55	東京理科大学	21,624人	2年4月1日	
56	駒澤大学	15,578人	2年8月1日	
57	中央学院大学	3,302人	3年4月1日	
58	東京家政学院大学	1,774人	4年7月25日	
59	日本体育大学	7,999人	4年8月1日	
60	東京女子医科大学・東京女子医科大学看護専門学校	3,325人	4年11月1日	
61	東京音楽大学	2,216人	5年4月1日	
62	淑徳大学（人文学部・経営学部・留学生別科）	1,111人	5年4月1日	
63	文京学院大学	4,754人	5年7月19日	
64	流通経済大学	5,417人	5年8月8日	
65	米山ファッション・ビジネス専門学校	279人	5年10月18日	
66	東京外国語大学	4,724人	5年12月26日	
67	東北福祉大学・東北福祉看護学校	8,338人	6年3月1日	
68	第一工科大学（工学部　情報・AI・データサイエンス学科）	724人	6年4月1日	
69	立命館大学	40,083人	6年4月1日	
70	武蔵野大学（文学部・文学研究科）	850人	6年6月15日	
71	国士舘大学（21世紀アジア学部・グローバルアジア研究科）	1,618人	6年9月18日	
72	総合研究大学院大学	557人	7年1月1日	

※キャンパスメンバーズ対象人数が学生＋教員数のため、学生数には教員の人数も含む。
※職員（事務・技術）は含まず。

【京都国立博物館】

① 加入校数(36校)

	学校名	学生数	入会日	入会内容	備考
1	学校法人　瓜生山学園	22,447人	18年6月1日	京博のみ	
2	帝塚山大学	3,081人	18年6月1日	奈良博との共通加入	
3	奈良女子大学	2,631人	18年6月1日	奈良博との共通加入	
4	学校法人　京都女子学園	7,157人	18年7月1日	奈良博との共通加入	
5	京都精華大学	4,277人	18年7月1日	奈良博との共通加入	
6	京都橘大学	8,068人	18年7月1日	奈良博との共通加入	
7	学校法人　大覚寺学園	1,158人	18年7月1日	奈良博との共通加入	
8	龍谷大学、龍谷大学短期大学部	21,592人	18年7月1日	奈良博との共通加入	
9	成安造形大学	942人	18年8月1日	京博のみ	
10	国立大学法人　京都大学	23,219人	18年9月1日	奈良博との共通加入	
11	近畿大学　文芸学部・総合文化研究科	2,254人	18年9月1日	奈良博との共通加入	
12	花園大学	1,395人	18年11月1日	京博のみ	
13	大谷大学	3,318人	18年12月1日	京博のみ	
14	佛教大学	13,873人	19年4月1日	奈良博との共通加入	
15	京都工芸繊維大学	4,007人	19年6月1日	奈良博との共通加入	
16	学校法人　同志社　（同志社大学、同志社女子大学、同志社高等学校、同志社香里高等学校、同志社女子高等学校、同志社国際高等学校）	38,918人	19年6月1日	奈良博との共通加入	
17	奈良大学	3,893人	19年6月1日	奈良博との共通加入	
18	国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	1,252人	19年12月1日	奈良博との共通加入	
19	就実大学　人文科学部	1,024人	20年4月1日	奈良博との共通加入	
20	京都市立芸術大学	1,076人	20年8月1日	京博のみ	
21	国立大学法人　大阪大学	24,310人	20年12月1日	奈良博との共通加入	
22	学校法人　京都外国語大学、京都外国語短期大学	5,757人	21年8月1日	奈良博との共通加入	
23	学校法人　関西大学（関西大学、関西大学第一高等学校、関西大学北陽高等学校、関西大学高等部）	33,570人	23年6月1日	奈良博との共通加入	
24	京都府立大学	2,313人	23年7月1日	京博のみ	
25	学校法人　京都産業大学	17,311人	24年8月1日	京博のみ	
26	学校法人　立命館	37,439人	26年4月1日	奈良博との共通加入	
27	学校法人　二本松学院	3,148人	29年4月1日	京博のみ	
28	四天王寺大学　文学部・社会学部・人文社会学部・教育学部	2,659人	29年5月1日	奈良博との共通加入	
29	学校法人　関西学院	28,021人	30年4月1日	奈良博との共通加入	
30	学校法人　大手前学園	3,960人	30年6月1日	京博のみ	
31	大阪大谷大学	2,541人	30年11月1日	奈良博との共通加入	
32	追手門学院大学　文学部・国際学部・国際教養学部	1,407人	4年6月1日	奈良博との共通加入	
33	京都先端科学大学　人文学部・人間文化研究科	585人	4年6月1日	京博のみ	
34	国立大学法人　神戸大学	16,842人	6年10月1日	奈良博との共通加入	
35	京都華頂大学	896人	6年10月8日	京博のみ	
36	国立大学法人　総合研究大学院大学	534人	7年1月1日	奈良博との共通加入	

【奈良国立博物館】

① 加入校数(29校)

	学校名	学生数	入会日	入会内容	備考
1	奈良教育大学	1,273人	18年4月4日	奈良博のみ	
2	帝塚山大学	3,448人	18年5月8日	京博との共通加入	
3	奈良女子大学	2,660人	18年5月15日	京博との共通加入	
4	学校法人　大覚寺学園	1,157人	18年6月9日	京博との共通加入	
5	京都精華大学	4,147人	18年6月28日	京博との共通加入	
6	京都橘大学	7,376人	18年6月30日	京博との共通加入	
7	龍谷大学、龍谷大学短期大学部	21,107人	18年6月30日	京博との共通加入	
8	国立大学法人　京都大学	23,044人	18年8月22日	京博との共通加入	
9	近畿大学文芸学部、近畿大学大学院総合文化研究科	2,223人	18年8月24日	京博との共通加入	
10	佛教大学	14,190人	19年4月1日	京博との共通加入	
11	奈良大学	4,024人	19年5月2日	京博との共通加入	
12	京都工芸繊維大学	3,974人	19年6月1日	京博との共通加入	
13	学校法人　同志社　（同志社大学、同志社女子大学、同志社高等学校、同志社香里高等学校、同志社女子高等学校、同志社国際高等学校）	37,975人	19年6月1日	京博との共通加入	
14	国立大学法人　奈良先端科学技術大学院大学	1,198人	19年11月7日	京博との共通加入	
15	就実大学　人文科学部	970人	20年4月1日	京博との共通加入	
16	天理大学	2,836人	20年7月1日	奈良博のみ	
17	国立大学法人　大阪大学、大阪大学歯学部附属歯科技工士学校	24,164人	20年12月1日	京博との共通加入	
18	学校法人　京都外国語大学、京都外国語短期大学	5,931人	21年8月1日	京博との共通加入	
19	学校法人　関西大学（関西大学、関西大学第一高等学校、関西大学北陽高等学校、関西大学高等部）	32,723人	23年6月1日	京博との共通加入	
20	奈良工業高等専門学校	1,108人	23年7月1日	奈良博のみ	
21	学校法人　立命館	37,439人	26年4月1日	京博との共通加入	
22	学校法人　京都女子学園	7,079人	29年4月1日	京博との共通加入	
23	四天王寺大学　人文社会学部・教育学部	2,820人	29年5月1日	京博との共通加入	
24	学校法人　関西学院	27,443人	30年4月1日	京博との共通加入	
25	大阪大谷大学	2,719人	30年11月1日	京博との共通加入	
26	奈良県立大学	636人	2年6月1日	奈良博のみ	
27	追手門学院大学　文学部・国際教養学部・国際学部	1,409人	4年6月1日	京博との共通加入	
28	神戸大学	16,842人	6年10月1日	京博との共通加入	
29	総合研究大学院大学	534人	7年1月1日	京博との共通加入	

【九州国立博物館】

① 加入校数(21校)

	学校名	学生数	入会日	備考
1	九州産業大学	10,220人	19年4月1日	
2	久留米大学	6,909人	19年4月1日	
3	筑紫女学園大学	2,850人	19年4月1日	
4	福岡大学	19,600人	19年4月1日	
5	九州産業大学造形短期大学部	311人	19年4月1日	
6	福岡女子短期大学	283人	19年4月1日	
7	久留米大学医学部附属臨床検査専門学校	136人	19年4月1日	
8	久留米大学附設高等学校	606人	19年4月1日	
9	筑紫女学園高等学校	1,254人	19年4月1日	
10	筑紫台高等学校	1,407人	19年4月1日	
11	福岡大学附属大濠高等学校	1,799人	19年4月1日	
12	福岡大学附属若葉高等学校	1,539人	19年4月1日	
13	放送大学福岡学習センター	2,703人	19年5月1日	
14	九州大学	18,905人	20年5月1日	
15	九州情報大学	555人	21年4月1日	
16	日本経済大学（福岡キャンパス）	3,018人	21年5月1日	
17	第一薬科大学	1,076人	27年4月1日	
18	福岡工業大学	4,424人	2年10月1日	
19	福岡工業大学短期大学部	381人	2年10月1日	
20	福岡工業大学附属城東高等学校	1,942人	2年10月1日	
21	平岡栄養士専門学校	191人	06年4月1日	

1-(3)-①-6 「留学生の日」

館名・日程	内容	アンケート結果概要
東京国立博物館 10月5日（土） 9：30～20：00	○来館者数（総合文化展のみ）8,020人《4,095人》 対象者来館数　671人《567人》 内訳　留学生　620人《537人》 同伴者　46人《30人》 ＡＬＴ　5人《 0人》 ・総合文化展の無料観覧 ・国際交流室員によるギャラリートーク（英語・中国語・韓国語）を実施　参加者：英語計148人、中国語64人、韓国語3人） ・ボランティアによる各種ガイド（平易な日本語）を実施　参加者：計161人 ・ボランティアによるアートスタジオ「留学生のための根付づくり」を実施　参加者：34人 ・やさしい日本語で話す「トーハクへようこそ」を実施　参加者：計47人	・留学生アンケート回答者数39人 （回収率6.3%）
京都国立博物館 7年2月23日(日) 9：30～17：00	○来館者数　1,617人《1,358人》 留学生　227人《38人》 ・名品ギャラリー（平常展示）無料観覧 ・音声ガイドの無料貸出 ・トラりんノベルティグッズプレゼント	・留学生アンケート回答者数31人 （回収率14%） ・来館頻度：来たことがある35% ・「留学生の日」参加：初めて68% ・認知経路：ポスター・チラシを見て20%、HPを見て17%、チラシをもらって8%、友人・教師44%　他11% ・展示内容:とても良かった65%、良かった35%、普通以下0% ・出身国：中国 55%、台湾 23%、インドネシア10%
奈良国立博物館 7年2月17日(月) 13：30～16:00	○イベント参加者数　12人 留学生　12人 ・留学生の日イベント「お水取りをから学ぶ日本文化」を実施	・関連イベント留学生アンケート回答者数12人（回収率100%） ・来館頻度：はじめて8人　来たことがある4人 ・認知経路：公式ウェブサイト2人、館内チラシ1人、大学からの紹介9人 ・出身国：中国3名、フィリピン2名、インドネシア、韓国、スリランカ、ポーランド、マレーシア、ドイツ、アメリカ各1名　計12名 ・満足度：とても良かった7人　よかった5人
九州国立博物館 11月3日(日・祝) 9：30～17：00	○来館者数 文化交流展(平常展)　1,341人《2,063人》 令和６年度留学生イベント 「きゅーはく大冒険」 参加者14人 ※同伴者のカウントはなし ・文化交流展（平常展）のみ無料観覧	・留学生アンケート回答者数14人 ・出身国：アメリカ1人、中国5人、ドイツ2人、マレーシア1人、シンガポール1人、アイルランド1人、インドネシア1人、南アフリカ1人、バングラディシュ1人 ・来館回数：1回5人、2回4人、3回2人、4回1人、5回1人、10回1人 ・認知経路（複数回答）：ポスター・チラシ2人、学校（教師）から9人、友人から5人、その他1人

＊来館者数、参加者数等：《　》内は令和6年度

1-(3)-①-7　ボランティア受入実績　　（後述の資料に記載）◎共通資料b

1-(3)-①-8 友の会・メンバーズパス等

1) 会員数

友の会　　令和7年3月31日現在

区分 / 館名	友の会会員数	(参考)年会費
東京国立博物館	12,055人	7,000円
九州国立博物館	32人	7,500円

メンバーズプレミアムパス　　令和7年3月31日現在

区分(年会費) / 館名	会員数	一般(5,000円)	一般(4,500円)	一般(3,800円)	学生(2,500円)
奈良国立博物館(奈良博メンバーシップカード)	2,254人	976人	1,278人		
九州国立博物館	457人			447人	10人

国立博物館メンバーズパス（4館共通）　　令和7年3月31日現在

区分(年会費) / 館名	会員数	一般(2,500円)	学生(1,200円)
東京国立博物館	4,662人	4,430人	232人
京都国立博物館	407人	383人	24人
奈良国立博物館	83人	81人	2人
九州国立博物館	56人	53人	3人

※九州国立博物館では令和6年4月からの3階特別展示室閉室に伴い、令和5年6月12日から友の会とメンバーズプレミアムパスの販売を中断。

2)各種会員を対象とした事業

友の会会員を対象とした事業

【東京国立博物館】

特別展無料観覧券3枚贈呈、ミュージアムシアター無料観覧券1枚贈呈、当館ミュージアムショップ・レストラン・カフェでの割引。

【九州国立博物館】

当館特別展観覧券6枚贈呈、季刊情報誌「アジアージュ」、特別展示ちらし、特別展連続講座等イベント案内送付、当館ミュージアムショップ・レストラン･カフェでの割引、入会時の記念品プレゼント。

メンバーズプレミアムパスを対象とした事業

【奈良国立博物館】（奈良博メンバーシップカード）

①当館特別展の無料観覧（計4回まで、うち同一展は2回まで）
②当館名品展（平常展）の無料観覧
③機構内他館特別展の団体料金観覧
④機構内他館平常展の無料観覧
⑤（5,000円版のみ）『奈良国立博物館だより』（年4回）の送付
⑥（5,000円版のみ）『奈良国立博物館展示案内』（年1回）の送付
⑦当館ミュージアムショップでの展覧会図録の割引
⑧当館レストランでの飲食料金の割引
⑨近隣他館の入館料金割引または無料
⑩当館研究員による解説付きの別鑑賞会を実施
・4月25日（木）生誕1250年記念特別展　空海　KŪKAI　―密教のルーツとマンダラ世界
特別鑑賞会　参加人数　209人
・11月8日（金）　特別展「第76回正倉院展」
特別鑑賞会　参加人数　162人

【九州国立博物館】

①当館特別展の無料観覧（計4回まで、うち同一展は2回まで）
②当館平常展の無料観覧
③東京・京都・奈良国立博物館の平常展の無料観覧
④京都・奈良国立博物館の館特別展の団体料金観覧

1-(3)-①-9 賛助会

1) 会員数

令和7年3月31日現在

館名	東京国立博物館	京都国立博物館		奈良国立博物館	九州国立博物館
		一般社団法人清風会	ﾐｭｰｼﾞｱﾑ・ﾊﾟｰﾄﾅｰ		
件数	690件	541件	9件	182件	51件
内訳	プラチナ会員(個人) 13人 ゴールド会員(個人) 92人 シルバー会員(個人) 505人 プレミアム会員(団体) 1団体 特別会員(団体) 25団体 維持会員(団体) 54団体	賛助会員(個人) 0人 賛助会員(団体) 28団体 特別会員(個人) 40人 特別会員(団体) 26団体 普通会員(個人) 425人 普通会員(団体) 21団体 名誉会員(個人) 1人	個人会員 3人 団体会員 6団体	特別支援会員 4団体 特別会員 8団体 一般会員(個人) 156人 一般会員(団体) 14団体	ﾌﾟﾚﾐｱﾑ会員(個人) 0人 ﾌﾟﾚﾐｱﾑ会員(団体) 1団体 特別会員(個人) 5人 特別会員(団体) 2団体 維持会員(個人) 28人 維持会員(団体) 15団体

2) 賛助会員を対象とした事業

【東京国立博物館】

①当館総合文化展、特別展（シルバー会員以外）の無料観覧
②各特別展開会式・内覧会へのご招待
③賛助会感謝デーへのご招待
④『東京国立博物館ニュース』（年4回）の配布
⑤当館ミュージアムショップの商品の一部割引
⑥当館レストラン、カフェでの飲食料金の割引
⑦賛助会員（個人プラチナ会員）向けの特別見学（ガイドツアー）の開催
　6年度は4回開催。
⑧賛助会個人会員限定のツアー（研究員が案内）の実施
※プラチナ会員の内1人はダイヤモンド会員。プラチナ会員と同じ特典を10年継続

【京都国立博物館】

①『京都国立博物館だより』（年4回）の配布
②当館平常展（平成知新館名品ギャラリー）、特別展の無料観覧
③清風会が行う鑑賞会、見学会、会報に協力
④当館ミュージアムショップの商品の一部割引
⑤国際シンポジウム（年1回）案内の発送

【奈良国立博物館】

①当館名品展（平常展）、特別展の無料観覧
②各特別展開会式（内覧会）へのご招待
③展覧会図録の1冊贈呈
④『奈良国立博物館だより』（年4回）の送付
⑤当館ミュージアムショップでの展覧会図録の割引
⑥当館レストランでの飲食料金の割引
⑦当館研究員による解説付きの賛助会員特別鑑賞会を実施
・4月23日（火）生誕1250年記念特別展　空海　KŪKAI　―密教のルーツとマンダラ世界
　特別鑑賞会　参加人数　68人
・11月8日（金）　特別展「第76回正倉院展」
　特別鑑賞会　参加人数　115人

【九州国立博物館】

①当館文化交流展、特別展の無料観覧
②各特別展開会式へのご招待
③各特別展につき1回の特別鑑賞会へのご招待（特別鑑賞会中止。代わりに日時指定のない招待券を送付）
④特別展図録の贈呈
⑤季刊情報誌『アジアージュ』（年4回）の配布
⑥当館駐車場無料利用
⑦当館施設利用料割引
⑧当館レストラン、カフェでの飲食料金の割引

1-(3)-①-10 渉外活動

令和7年3月31日現在

【東京国立博物館】

1) 会場提供　2件（イベント、講演会等）

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者数（人）	備考
1	5月14日	イベント	第79期　本因坊戦	九条館	約200	主催：毎日新聞社、日本棋院、関西棋院
2	9月10日～9月16日	展示会	台東区主催によるイベント（第19回　台東区の伝統工芸職人展）	平成館ラウンジ	10,414	主催：台東区 共催：東京国立博物館

2) 館主催・協力イベント　20件

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者数（人）	備考
1	4月3日	音楽会	東京・春・音楽祭2024「東博でバッハ vol.67」津田裕也	平成館ラウンジ	112	主催：東京・春・音楽祭実行委員会 共催：東京国立博物館
2	4月9日	音楽会	東京・春・音楽祭2024「東博でバッハ vol.68」鈴木大介	平成館ラウンジ	175	主催：東京・春・音楽祭実行委員会 共催：東京国立博物館
3	4月11日	音楽会	東京・春・音楽祭2024「東博でバッハ vol.69」新倉 瞳	法隆寺宝物館エントランスホール	100	主催：東京・春・音楽祭実行委員会 共催：東京国立博物館
4	6月23日	音楽会	初夏のコンサート　近藤嘉宏	平成館ラウンジ	99	主催：東京国立博物館、サロン・ド・ソネット
5	7月11日～13日	イベント	東京国立博物館アンバサダー企画朗読会「夏の夜の怪談話」	応挙館	148	主催：東京国立博物館
6	8月27日～9月1日	イベント	東博縁日	本館、平成館、屋外	249	主催：東京国立博物館
7	9月20日 ～10月20日(オープニングセレモニー：9月19日)	イベント	JRA70周年特別展示「世界一までの蹄跡」	表慶館	48,215	主催：日本中央競馬会 特別協力：東京国立博物館
8	9月23日	音楽会	秋のコンサート　北條陽子／アレハンドロ・ベラ	平成館ラウンジ	160	主催：東京国立博物館、サロン・ド・ソネット
9	9月27日～9月28日	イベント	DINO-A-LIVE 恐竜大パレード in 東博「恐竜大夜行」	本館前庭	3,864	主催：株式会社ON-ART 特別協力：東京国立博物館
10	10月6日	音楽会	Music Program TOKYO まちなかコンサート～芸術の秋、音楽さんぽ～	平成館ラウンジ	482	主催：東京都、東京文化会館
11	10月13日	音楽会	クラリネットコンサート2024　稲垣征夫／東京クラリネット・クワイアー	平成館ラウンジ	745	主催：東京国立博物館、東京クラリネット・クワイアー
12	10月17日、19日、24日、26日、31日、11月7日、9日、14日、16日、21日、23日、28日、30日	イベント	令和6年度 柳瀬荘アート教育プロジェクト	柳瀬荘	528	主催：日本大学芸術学部美術学科彫刻コース、東京国立博物館
13	10月31日～11月4日	イベント	「創エネ・あかりパーク2024」に伴う特別ライトアップ	本館前	―	主催：創エネ・あかりパーク実行委員会
14	11月10日～11日	イベント	東京国立博物館アンバサダー企画	応挙館	51	主催：東京国立博物館
15	12月15日	音楽会	Christmas Concert　ゴラン・フィリペツ	平成館ラウンジ	87	主催：東京国立博物館、サロン・ド・ソネット
16	1月2・3日	イベント	和太鼓（湯島天神白梅太鼓）	本館前特設ステージ	5,715	主催：東京国立博物館
17	1月2・3日	イベント	獅子舞（葛西囃子中村社中）	本館前特設ステージ	4,042	主催：東京国立博物館
18	1月2・3日	イベント	吟剣詩舞（正義流詩舞同好会・神刀無念凱山流）	本館前特設ステージ	3,293	主催：東京国立博物館
19	3月19日	音楽会	東京・春・音楽祭2025「東博でバッハ vol.70」鈴木大介	法隆寺宝物館エントランスホール	99	主催：東京・春・音楽祭実行委員会 共催：東京国立博物館
20	3月27日	音楽会	東京・春・音楽祭2025「東博でバッハ vol.71」鈴木大介	法隆寺宝物館エントランスホール	106	主催：東京・春・音楽祭実行委員会 共催：東京国立博物館

【京都国立博物館】

1）会場提供　81件（イベント、講演会等）

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者（人）	備考
1	4月1日	研修会	雪舟展スタッフ研修	平成知新館　会議室１、研修室	45	
2	4月1日	イベント	展示販売会	明治古都館　中央ホール、玄関ホール、展示室１、展示室２、技術資料参考館１F、茶室	350	
3	4月2日	茶席	訪日旅行者のお茶席体験	茶室	5	
4	4月3日	イベント	展示販売会	技術資料参考館１F	350	
5	4月8日	研修会	雪舟展スタッフ研修	平成知新館　研修室	12	
6	4月14日	茶席	松野吟耀社　春の園遊会	茶室	30	
7	4月15日	研修会	鑑賞会「雪舟伝説」	平成知新館　講堂	200	
8	4月17日	茶席	顧客を招いての茶会	茶室	90	
9	4月19日	研修会	国宝修理装潢師連盟　修理技術者資格制度　新任者研修会、認証式	平成知新館　会議室１、研修室	16	
10	4月22日	鑑賞会	協賛社特別鑑賞会	平成知新館展示室、接客室3	500	
11	4月23日	研修会	八王子商工会議所による視察「ユニークベニューの活用について」	平成知新館　講堂	16	
12	4月27日	茶席	茶道研究会	茶室	5	
13	5月10日	審査	国宝修理装潢師連盟　修理技術者資格制度　登録審査	平成知新館　会議室１、会議室２	12	
14	5月11日	茶席	茶会開催	茶室	9	
15	5月17日	理事会	公益財団法人仏教美術研究上野記念財団第1回理事会開催のため	平成知新館　研修室	10	
16	6月3日	演奏会	配信チャンネル　ロームミュージックチャンネルの番組「Kyoto×Classics」Vol.10収録のため	明治古都館、技術資料参考館、接客室１、接客室２	40	
17	6月8日	研修会	講義	技術資料参考館１F	40	
18	6月8日	茶席	茶会の開催	茶室	56	
19	6月11日	理事会	公益財団法人仏教美術研究上野記念財団定例評議会開催のため	平成知新館　会議室1	10	
20	6月12日	講演会	米国プリンストン大学主催の会議参加者（大学関係者、学術研究者等）へ国立博物館での特別なレクチャー	平成知新館　講堂	67	
21	6月15日	会議	社内会議	技術資料参考館1F	10	
22	6月16日	講演会	講演会	平成知新館　講堂	180	
23	6月18日	茶席	お茶会	茶室	25	
24	7月2日	イベント	CBK ACP Client Reception Japan（レセプションパーティー）	明治古都館玄関ホール、中央ホール、展示室１、平成知新館講堂、京都国立博物館来館者用駐車場	60	
25	7月3日	調査・研究	ボーリング調査及び物理探査	大型バス駐車場および敷地内通路	不明	
26	7月6日	茶席	茶道研究会	茶室	3	
27	7月10日	研修会	国宝修理装潢師連盟　修理技術者資格制度　第1回試験準備委員会	平成知新館　研修室	11	
28	7月12日	研修会	国宝修理装潢師連盟　修理技術者資格制度　上級・中級講習会	平成知新館　会議室１、会議室２	20	
29	7月19日	茶席	訪日旅行者（アメリカ）のお茶席体験	茶室	8	
30	8月16日	研修会	第13回指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー実施のため	平成知新館　会議室１	30	
31	8月24日	茶席	茶道研究会	茶室	3	
32	9月3日	研修会	立命館大学ユネスコ・チェア「文化遺産と危機管理」国際研修2024	平成知新館　会議室1	30	
33	9月14日	結婚式	結婚式	明治古都館　中央ホール、展示室１	80	
34	9月22日	コンサート	コンサート	明治古都館　玄関ホール	45	
35	9月24日	研修会	法然展スタッフ研修（看視・インフォメーション・事務棟受付）	平成知新館　研修室、会議室1	45	
36	9月28日	茶席	茶道研究会	茶室	3	
37	9月28日	会議	会議	明治古都館　中央ホール	50	
38	9月30日	研修会	法然展スタッフ研修（集札・売札スタッフ）	平成知新館　研修室	12	
39	10月3日	茶席	訪日旅行者（アメリカ）のお茶席体験	茶室	5	
40	10月7日	イベント	特別展「法然と極楽浄土」にかかる音声ガイドの貸し出し等	平成知新館	20	
41	10月7日	イベント	特別展「法然と極楽浄土」にかかる図録、展覧会グッズの販売等	平成知新館	20	
42	10月11日	茶席	訪日旅行者（アメリカ）のお茶席体験	茶室	5	

43	10月14日	講演会	東京大学IOGジェレントロジー産学連携プロジェクト講演	平成知新館　講堂	150	
44	10月15日	研修会	鑑賞会「法然と極楽浄土」	講堂	200	
45	10月16日	研修会	国宝修理装潢師連盟　修理技術者資格制度　主任技師／技師長　第１次試験	平成知新館　研修室、会議室1、会議室2	19	
46	10月20日	イベント	「わいず倶楽部」関連イベント「英語DE講談入門＆『法然物語』序章」の開催	平成知新館　講堂	50	
47	10月21日	控室	撮影の際の出演者の待機場所・着替え場所	技術資料参考館1F	20	
48	10月21日	イベント	よみうりカルチャー主催　特別展「法然と極楽浄土」休館日特別講座・鑑賞会	平成知新館　展示室、講堂	150	
49	10月21日	イベント	特別展「法然と極楽浄土」の特別協賛社・Ｔ＆Ｄ保険グループ関係者を対象にした休館日鑑賞会開催のため。	平成知新館　展示室	500	
50	10月22日	茶席	茶会	茶室	20	
51	10月23日	講演会	公立学校共済組合　友の会を対象とした講演会実施のため	平成知新館　講堂	100	
52	10月26日	茶席	茶道研究会	茶室	4	
53	10月27日	講演会	訪日した「Santa Barbara Museum of Art」の理事会のメンバーの方々への説	平成知新館　講堂	25	
54	11月3日	イベント	京都モダン建築祭の開催	茶室、技術資料参考館、明治古都館　玄関ホール、中央ホール、平成知新館　接客室3	500	
55	11月4日	茶席	茶会の開催	茶室	80	
56	11月9日	控室	撮影のためのヘアメイクなどの準備および昼食を含む控室	技術資料参考館1F	23	
57	11月10日	講演会	歯科医師向けの講演会	平成知新館　講堂	100	
58	11月14日	イベント	よみうりカルチャー主催 特別展「法然と極楽浄土」特別講座・鑑賞会の開催	平成知新館　講堂	150	
59	11月17日	茶席	茶道研究	茶室	4	
60	11月18日	鑑賞会	特別展「法然と極楽浄土」の協賛社を対象にした休館日鑑賞会開催のため。	平成知新館　展示室	200	
61	11月18日	鑑賞会	特別展「法然と極楽浄土」の特別協賛社である大和証券グループ関係者を対象にした休館日鑑賞会開催のため。	平成知新館　展示室	100	
62	11月19日	研修会	国宝修理装潢師連盟　修理技術者資格制度　主任技師／技師長　第2次試験	平成知新館　研修室、会議室1、会議室2	14	
63	11月23日	茶席	お茶事	茶室	35	
64	11月29日	茶席	茶会・古美術品展示鑑賞・交流会	茶室	60	
65	11月29日	研修会	国宝修理装潢師連盟　修理技術者資格制度　初級講習会	平成知新館　会議室1、会議室2	17	
66	12月6日	茶席	茶会	茶室	8	
67	12月7日	茶席	茶会	茶室	40	
68	12月10日	イベント	京都文化塾例会の開催	平成知新館グランドロビー	30	
69	12月12日	イベント	ブランドのディナーイベント	平成知新館　グランドロビー、噴水広場、表門前広場	50	
70	12月14日	結婚式	結婚式	明治古都館　中央ホール、展示室1	90	
71	12月15日	コンサート	ピアノ　エレクトーン発表会	平成知新館　講堂	100～150	
72	12月21日	結婚式	結婚式	明治古都館　中央ホール、展示室1	120	
73	12月22日	茶席	訪日旅行者（アメリカ）のお茶席体験	茶室	6	
74	1月9日	研修会	JNTO（日本政府観光局）ガイド研修のため	旧レストラン、敷地	20	
75	1月26日	茶席	お茶会	茶室	20	
76	2月9日	茶席	茶道研究会	茶室	3	
77	2月10日	鑑賞会	障害のある方（海外）の鑑賞会	平成知新館　講堂、展示室	80	
78	2月23日	コンサート	演奏会	平成知新館　講堂、接客室１、接客室２	20	
79	3月3日	会議	公益財団法人仏教美術研究上野記念財団研究委員会開催のため	平成知新館　会議室１	12	
80	2月19日	イベント	ARTISTS' FAIR KYOTO 2025 の開催	明治古都館　中央ホール、玄関ホール、展示室１、技術資料参考館１F、敷地表門（西門）前広場	2593	
81	3月19日	理事会	公益財団法人仏教美術研究上野記念財団理事会・評議員会開催のため	平成知新館　会議室１	20	

2）館主催・協力イベント　13件

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者（人）	備考
1	4月21日	講演会	特別展「雪舟伝説　―「画聖（カリスマ）」の誕生―」キャンパスメンバーズ講演会	講堂	91	主催：京都国立博物館
2	5月19日	コンサート	コンサート	講堂・接客室１	120	主催：Hijiya Music Club（京都国立博物館ミュージアムパートナー）　後援：当館
3	6月30日	イベント	京都・らくご博物館【春】	講堂	122	主催：京都国立博物館 制作協力：米朝事務所
4	8月11日	イベント	光る影絵と人形劇	講堂	228	主催：京都国立博物館
5	9月8日	イベント	京都・らくご博物館【秋】	講堂	169	主催：京都国立博物館 制作協力：米朝事務所
6	10月13日	講演会	特別展「法然と極楽浄土」キャンパスメンバーズ講演会	講堂	93	主催：京都国立博物館
7	10月24日	イベント	笑い飯　哲夫と仏教について語る	講堂	177	主催：京都国立博物館
8	10月28日	鑑賞会	障がいのある方のための特別鑑賞会	平成知新館展示室	130	主催：京都国立博物館、三菱商事株式会社関西支部
9	11月24日	コンサート	コンサート	講堂・接客室１	120	主催：Hijiya Music Club（京都国立博物館ミュージアムパートナー）　後援：当館
10	1月19日	イベント	芸舞妓　春の舞	講堂	268	主催：京都国立博物館
11	2月23日	イベント	留学生の日	平成知新館展示室	227	主催：京都国立博物館
12	3月11日	イベント	国立アイヌ民族博物館	明治古都館　玄関ホール、中央ホール、展示室１、技術資料参考館１階	7356	主催：国立アイヌ民族博物館　協力：当館
13	3月2日	イベント	京都・らくご博物館【冬】	講堂	173	主催：京都国立博物館 制作協力：米朝事務所

【奈良国立博物館】

1）会場提供　71件（イベント、講演会等）

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者（人）	備考
1	4月1日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側	-	（株）スタジオゼロ
2	4月4日	撮影	ウェディングフォト	仏教美術資料研究センター	-	（株）スタジオゼロ
3	4月5日	撮影	ウェディングフォト	仏教美術資料研究センター	-	（株）スタジオゼロ
4	4月6日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側	-	スタジオTVB
5	4月14日	撮影	住友生命奈良支社　チャリティーカレンダーの写真撮影	仏教美術資料研究センター		共同精版印刷株式会社
6	4月18日	撮影	ウェディングフォト	仏教美術資料研究センター	-	（株）スタジオゼロ
7	4月19日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側		スタジオTVB
8	4月20日・21日	イベント	謎解きイベント	敷地内	30	奈良県立大学
9	4月22日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側		（株）ハピネス
10	4月27日	イベント	特別展「空海」関連イベント	講堂・展示室	30	NHK大阪放送局
11	5月10日	研修会	総会	会議室	20	結の会
12	5月12日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側		スタジオTVB
13	5月16日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側		スタジオゼロ
14	5月17日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側		ケープ・ライト
15	5月20日	イベント	特別展「空海」関連イベント	講堂	30	読売新聞大阪本社
16	5月21日	研修会	真言宗研修会	講堂・応接室	40	海住山寺
17	5月23日	イベント	特別展「空海」関連イベント	仏教美術資料研究センター	80	高野山大学
18	5月25日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側	-	（株）スタジオゼロ
19	5月25日	イベント	特別展「空海」関連イベント	仏教美術資料研究センター	80	高野山大学
20	5月26日	イベント	特別展「空海」関連イベント	仏教美術資料研究センター	80	高野山大学
21	5月27日	イベント	特別展「空海」関連イベント	講堂・展示室	150	読売新聞大阪本社
22	6月1日	イベント	フォトロゲーニングイベント	敷地内	70	奈良女子大学付属小学校
23	6月2日	イベント	サイクリングのスタート・ゴール場所	なら仏像館西側	100	モールトンオーナーズクラブ
24	6月9日	イベント	NPO法人奈良芸能文化協会理事会・総会	講堂	40	NPO法人奈良芸能文化協会

25	6月18日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側	-	（株）スタジオゼロ
26	6月18日	撮影	ウェディングフォト	仏教美術資料研究センター		スタジオTVB
27	7月2日	撮影	大阪・関西万博公式キャラクターミャクミャク撮影	敷地内	-	日本国際博覧会協会
28	7月6日	イベント	AutomobilesareCultureProject Summer Touring2024	なら仏像館西側	8080	（株）ツーアンドフォー
29	7月7日	撮影	ウェディングフォト	茶室・園地	-	（株）スタジオゼロ
30	7月12日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側	-	ファーストステージ
31	7月15日	撮影	雑誌SWEET撮影	なら仏像館西側	-	（株）宝島社
32	7月17日～9月4日	イベント	ショップ展開	西新館1階	-	仏教美術協会
33	7月30日	研修会	社員セミナー	応接室	18	（株）文化財保存
34	8月3日～16日	イベント	奈良燈花会	敷地内		奈良燈花会の会
35	8月6日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側	-	（株）スタジオゼロ
36	9月26日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側		スタジオTVB
37	10月1日	イベント	氷室神社例祭にかかる渡御	敷地内	50	氷室神社
38	10月2日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側		スタジオTVB
39	10月5日・6日・7日	イベント	春日野音楽祭	なら仏像館西側	300	春日野音楽祭実行委員会
40	10月6日	茶席	茶会	茶室・園地	40	個人
41	10月9日	撮影	ウェディングフォト	茶室・園地		No1_WEDDING
42	10月10日	イベント	ヨルダン日本外交関係樹立70周年記念特別講演	仏教美術資料研究センター	80	駐日ヨルダン大使館
43	10月11日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側		スタジオTVB
44	10月21日	撮影	ウェディングフォト	仏教美術資料研究センター		SORAIRO
45	10月21日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側	-	（株）スタジオゼロ
46	10月21日～11月15日	イベント	ショップ展開	西新館1階・地下回廊		仏教美術協会
47	10月26日	イベント	前正倉院展事務所長西川様による講演会	会議室	20	法華寺
48	10月26日	イベント	SGC向け正倉院展講座	講堂	50	読売新聞大阪本社
49	10月27日	イベント	SGC向け正倉院展講座	講堂	50	読売新聞大阪本社
50	10月27日	イベント	第76回正倉院展「特別講演会と鑑賞」	講堂	180	大阪読売サービス株式会社　よみうりカルチャーOSAKA
51	11月2日・3日	イベント	NHKワールドの広報	なら仏像館西側		NHK
52	11月4日	イベント	第76回正倉院展親子ワークショップ	講堂	40	読売新聞大阪本社「新聞のちから」委員会
53	11月4日	イベント	わいず倶楽部インターナショナル講演会	講堂	20	読売新聞大阪本社「新聞のちから」委員会
54	11月9日	イベント	行基生誕１３５６年記念シンポジウム準備	仏教美術資料研究センター		近畿地方整備局
55	11月10日	イベント	行基生誕１３５６年記念シンポジウム	仏教美術資料研究センター	100	近畿地方整備局
56	11月13日	撮影	超国宝展特集用画像	敷地内	-	ユース・プランニングセンター
57	11月23日・24日	茶席	茶会	茶室・園地	35	歓茶会
58	11月30日	茶席	茶会	茶室・園地	20	個人
59	12月1日	イベント	謎解きイベント	敷地内	30	奈良県立大学
60	12月11日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側	-	トライアングル
61	12月13日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側		（株）スタジオゼロ
62	12月17日	イベント	春日若宮おん祭お渡り式	敷地内	-	春日若宮おん祭保存会春日大社
63	1月19日	茶席	茶会	茶室・園地	16	白珪会
64	1月20日	茶席	茶会	茶室・園地	13	個人
65	２月６日・７日	茶席	第11回珠光茶会	茶室・園地	60	珠光茶会実行委員会
66	2月6日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側		（株）スタジオゼロ
67	2月12日	撮影	YouTube正倉院展公式ホームページ用撮影	なら仏像館西側		読売テレビ放送株式会社
68	2月19日	撮影	雑誌時空旅人撮影	なら仏像館西側		株式会社三栄
69	3月1日	イベント	NHKカルチャー茶室拝見	茶室・園地	20	一般財団法人　今日庵
70	3月29日	撮影	ウェディングフォト	なら仏像館西側		（株）スタジオゼロ
71	3月30日	茶席	茶会	茶室・園地	30	歓茶会

2）館主催・協力イベント　18件

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者（人）	備考
1	4月23日	講演会	特別展「空海」賛助会員向け特別鑑賞会		68	
2	4月24日	講演会	特別展「空海」キャンパスメンバーズ向け特別鑑賞会		43	
3	4月25日	講演会	特別展「空海」メンバーシップカード向け特別鑑賞会		209	
4	5月21日	イベント	特別展「空海」入館１０万人セレモニー		-	
5	5月22日	法要	春季仏像供養		-	読売新聞　奈良支局（協力）
6	7月30日	法要	夏季仏像供養		-	
7	10月3日	法要	秋季仏像供養		-	奈良国立博物館主催
8	10月28日	講演会	第76回正倉院展 研究員によるレクチャー	レクチャー付鑑賞券販売	341	奈良国立博物館・大和ハウス工業株式会社主催
9	10月30日	イベント	VR「正倉院　時を超える思い」	奈良国立博物館、TOPPAN主催	801	奈良国立博物館・奈良教育大学大学院修士課程「伝統文化の継承と発信」主催
10	10月31日	イベント	VR「正倉院　時を超える思い」	奈良国立博物館、TOPPAN主催	600	ムジークフェストなら実行委員会　（協力）
11	11月1日	イベント	VR「正倉院　時を超える思い」	奈良国立博物館、TOPPAN主催	717	レクチャー付鑑賞券販売
12	11月6日	講演会	第76回正倉院展 研究員によるレクチャー	レクチャー付鑑賞券販売	342	奈良国立博物館、TOPPAN主催
13	11月8日	講演会	第76回正倉院展賛助会員向け特別鑑賞会		115	奈良国立博物館、TOPPAN主催
14	11月8日	講演会	第76回正倉院展キャンパスメンバーズ向け特別鑑賞会		83	
15	11月8日	講演会	第76回正倉院展メンバーシップカード向け特別鑑賞会		162	
16	11月11日	講演会	第76回正倉院展 研究員によるレクチャー	レクチャー付鑑賞券販売	346	レクチャー付鑑賞券販売
17	1月9日	イベント	文化財保存修理所公開		111	レクチャー付鑑賞券販売
18	1月29日	法要	冬季仏像供養		-	

【九州国立博物館】

1）会場提供　5件（イベント、講演会等）

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者（人）	備考
1	7月28日	コンサート	夏休みこどもコンサート	ミュージアムホール	220	主催：株式会社Mエンタープライズ
2	11月4日	ワークショップ	ヨガワークショップ	和室	12	主催：aroma yoga Natua
3	2月24日	ワークショップ	ヒマラボ	研修室	25	主催：ヒマラボ　北里虎大
4	3月7日	イベント	九州茶道文化交流協会茶会	茶室	30	主催：九州茶道文化交流協会
5	3月13日	講演会	筑紫地区法人会講演会	研修室	50	主催：公益社団法人筑紫地区法人会

2）館主催・協力イベント　136件

	期間	種類（イベント、講演会等）	イベント等の概要	会場	出席者（人）	備考
1	4月6日	講演会	きゅーはく☆とっておき講座「刀職と語る北﨑徹郎の刀剣コレクション」	ミュージアムホール	165	主催：九州国立博物館
2	4月14日	講演会	おはなをさがそうトークショー	ミュージアムホール	221	主催：九州国立博物館
3	4月21日	イベント	第18回太宰府門前真舞祭	屋外ひろば	799	主催：太宰府観光協会、太宰府門前真舞祭実行委員会、九州国立博物館
4	5月4日､5日	イベント	まんず来てけれ！（どうぞ来てください！）秋田フェア2024	エントランス中央/屋外ひろば	-	主催：秋田県福岡事務所、九州国立博物館
5	5月4日	ワークショップ	GWイベント　オリジナル鯉のぼり工作	エントランスカフェ前	146	主催：九州国立博物館
6	5月4日	イベント	GWイベント　きゅーはくクイズラリー	エントランス中央	219	主催：九州国立博物館
7	5月5日	イベント	きゅーはく夢ひろば　大道芸・神楽演舞	ミュージアムホール	380	主催：九州国立博物館
8	5月11日	ワークショップ	ボランティア　WSカブトを作ろう	研修室	20	主催：九州国立博物館ボランティア

9	5月12日	イベント	親子で茶道体験	茶室	31	主催：九州国立博物館
10	5月22日	講演会	国立扶餘博物館・国立公州博物館研究者招聘記念講演会『科学の力で歴史をひもとく－文化財の科学調査－』	研修室	50	主催：九州国立博物館
11	5月26日	イベント	手話通訳付きバックヤードツアー	研修室	12	主催：九州国立博物館 ボランティア
12	6月1日	講演会	きゅーはくとっておき講座	ミュージアムホール	32	主催：九州国立博物館
13	6月9日	ワークショップ	ボランティア　WS織り機でコースターを作ろう！	研修室	16	主催：九州国立博物館 ボランティア
14	6月16日	ワークショップ	４階展示　WSてるてる坊主をつくろう！	３階エントランス	35	主催：九州国立博物館
15	6月21日	イベント	きゅーはくカフェコンサート	エントランスカフェ前	130	主催：九州国立博物館
16	6月23日	イベント	きゅーはくミュージアムコンサート 和胡	ミュージアムホール	240	主催：九州国立博物館
17	6月23日	ワークショップ	ボランティア　WSエコバック製作	研修室	20	主催：九州国立博物館 ボランティア
18	6月23日	イベント	ボランティア　手話通訳付きバックヤードツアー	研修室	8	主催：九州国立博物館 ボランティア
19	6月29日	イベント	第九十五回はじめての茶道体験	茶室	34	主催：九州国立博物館
20	6月30日	イベント	第9回つくし郷土かるた大会	ミュージアムホール	400	主催：九州国立博物館を愛する会
21	7月10日	イベント	日中青少年書画展　審査会	研修室/和室	10	主催：九州日中文化協会
22	7月12日	イベント	きゅーはくカフェコンサート	エントランスカフェ前	110	主催：九州国立博物館
23	7月14日	ワークショップ	ボランティア　WS九博の杜の植物を日本画で描こう！	屋外	40	主催：九州国立博物館 ボランティア
24	7月14日	イベント	手話通訳付きバックヤードツアー	研修室	3	主催：九州国立博物館 ボランティア
25	7月15日	イベント	～博物館と科学の世界～五十嵐美樹のわくわくサイエンスショー	ミュージアムホール	310	主催：九州国立博物館
26	7月20日､21日	イベント	きゅーはく子ども向け夏休みイベント いこうよ！あじっぱ夏まつり	ミュージアムホール	800	主催：九州国立博物館
27	7月23日～8月4日	展示イベント	新紙幣発行記念　日本と世界のお金の歴史	エントランス中央	-	主催：九州国立博物館
28	8月3日	イベント	全国高等学校歴史学フォーラム2024	ミュージアムホール	300	主催：九州国立博物館
29	8月4日	ワークショップ	かきかきデコレーション～線彫せんぼりに挑戦！	研修室	46	主催：九州国立博物館
30	8月4日	イベント	親子で茶道体験	茶室	62	主催：九州国立博物館
31	8月4日～25日	展示イベント	全国高等学校歴史学フォーラム展示	エントランスカフェ前	-	主催：九州国立博物館
32	8月9日～9月1日	展示イベント	高校生写真展	エントランス中央	-	主催：九州国立博物館
33	8月10日～12日	ワークショップ	甕棺ワークショップ 「王おうさまが死しんだ！甕棺に入いれよう」	ミュージアムホール	30	主催：九州国立博物館
34	8月11日	ワークショップ	ボランティア　WSペーパークラフトで作る！自分だけのきゅーはく号のストップボタン	３階エントランス	48	主催：九州国立博物館 ボランティア
35	8月16日	ワークショップ	吉野ヶ里Ｄａｙ ｉｎ 九州国立博物館	ミュージアムホール	180	主催：佐賀県文化課文化財保護・活用室
36	8月17日	イベント	博物館たんけん隊	文化交流展示室	30	主催：九州国立博物館
37	8月18日	講演会	博物館で昆虫採集　アリの先生の講演会「働らかない働らきアリがいるって本当？アリたちの不思議ふしぎな世界」	ミュージアムホール	155	主催：九州国立博物館
38	8月21日	ワークショップ	和とじ本をつくろう！よめる仮名？	３階エントランス	20	主催：九州国立博物館 ボランティア
39	8月22日～3月10日	展示イベント	飾り山笠展示	エントランスあじっぱ前	-	主催：九州国立博物館
40	8月25日	ワークショップ	真珠核で文房具をつくろう！	研修室	40	主催：九州国立博物館 ボランティア
41	8月26日	イベント	飾り山笠御神入れ	エントランスあじっぱ前	30	主催：博多祇園山笠振興会
42	9月1日	イベント	手話通訳付きバックヤードツアー	研修室	12	主催：九州国立博物館 ボランティア
43	9月1日	ワークショップ	４階展示　短冊作りWS 和歌を書こう！	３階エントランス	20	主催：九州国立博物館
44	9月7日	ワークショップ	糸刺し曼荼羅をつくろう！	研修室	10	主催：九州国立博物館 ボランティア
45	9月8日	ワークショップ	甕棺ワークショップ	３階エントランス/研修室	24	主催：九州国立博物館
46	9月14日	講演会	きゅーはく☆とっておき講座　さわって体験!本物のひみつ	ミュージアムホール	25	主催：九州国立博物館
47	9月16日	イベント	Seed of the world PROJECT2024 西村麻里ライブペインティング＆講演会	ミュージアムホール/エントランス中央	200	主催：特定非営利活動法人Wing-Wing
48	9月18日～29日	展示イベント	太宰府天満宮七夕揮毫大会展示	エントランス中央	-	主催：太宰府天満宮
49	9月20日	イベント	きゅーはくカフェコンサート	エントランスカフェ前	110	主催：九州国立博物館
50	9月21日	ワークショップ	やきものワークショップ	研修室	46	主催：九州国立博物館
51	9月27日	イベント	きゅーはくカフェコンサート	エントランスカフェ前	80	主催：九州国立博物館
52	9月28日	イベント	第九十六回はじめての茶道体験	研修室	13	主催：九州国立博物館
53	9月28日	ワークショップ	竹ひごを使って花かごをつくろう！	茶室	20	主催：九州国立博物館 ボランティア
54	9月29日	イベント	特集展示「さわって体験！本物のひみつ2024」関連　視覚障がい者とともに楽しむ対話型鑑賞会　「見えると見えない～対話で楽しむ博物館～」	文化交流展示室	19	主催：九州国立博物館
55	10月5日	ワークショップ	ガムランワークショップ	ミュージアムホール	28	主催：筑紫女学園大学

56	10月6日	イベント	手話通訳付きバックヤードツアー	研修室	12	主催：九州国立博物館ボランティア
57	10月6日	ワークショップ	九博の杜の植物を使ってレリーフをつくろう！	研修室	40	主催：九州国立博物館ボランティア
58	10月8日～20日	展示イベント	日・トルコ外交関係樹立100周年記念 煌めきのトルコ　トルコランプ　展示	エントランス中央	-	主催：九州国立博物館
59	10月12日	イベント	煌めきのトルコ　トルコ伝統楽器コンサート	ミュージアムホール	220	主催：九州国立博物館
60	10月18日	イベント	きゅーはくカフェコンサート	エントランスカフェ前	90	主催：九州国立博物館
61	10月20日	ワークショップ	水引きでアクセサリーを作りましょう！	研修室	20	主催：九州国立博物館ボランティア
62	10月22日～11月17日	展示イベント	きゅーはくの魅力を発信しよう！夏休み小学生新聞コンクール展示	エントランスカフェ前	-	主催：九州国立博物館
63	10月22日～12月8日	展示イベント	特集展示「人吉球磨の玉手箱」関連パネル展示	エントランス中央	-	主催：九州国立博物館
64	10月26日	ワークショップ	特集展示「人吉球磨の玉手箱」関連ウンスンカルタ教室	研修室	16	主催：九州国立博物館
65	10月27日	講演会	鞠智城シンポジウム	ミュージアムホル	267	主催：熊本県、九州国立博物館
66	10月29日～12月22日	展示イベント	特集展示「モンゴル襲来の痕跡を探る」関連イベント　パネル展「『モンゴル襲来　』の痕跡を探る」	３階エントランス	-	主催：九州国立博物館
67	11月2日､3日	イベント	きゅーはくミュージアムコンサート「きゅーはくdeアジア楽器」　演奏体験ワークショップ	ミュージアムホール	230	主催：九州国立博物館
68	11月3日	イベント	令和6年度留学生イベント「きゅーはく大冒険」	研修室	14	主催：九州国立博物館
69	11月4日	講演会	特集展示「モンゴル襲来展」関連　シンポジウム　「モンゴル襲来と海の路 - 元の軍船の航路を探る -」	ミュージアムホール	120	主催：九州国立博物館
70	11月16日	講演会	特集展示「人吉球磨の玉手箱」関連　人吉球磨の歴史リレー講座①	ミュージアムホール	48	主催：九州国立博物館
71	11月16日､17日	イベント	特集展示「人吉球磨の玉手箱」関連　物産展	エントランス中央	-	主催：九州国立博物館
72	11月16日､17日	イベント	特集展示「モンゴル襲来展」関連　バーチャル水中考古学ミュージアム 元寇船VR体験	３階エントランス	82	主催：九州国立博物館
73	11月17日	イベント	特集展示「人吉球磨の玉手箱」関連　くまモンがやってくる!	エントランス中央	80	主催：九州国立博物館
74	11月17日	イベント	～みんなdeきゅーはくを楽しもう!!～模型de博物館たんけん隊	文化交流展示室	40	主催：九州国立博物館
75	11月19日～12月1日	展示イベント	宮地嶽第57回光の道全国競書大会	エントランスカフェ前	-	主催：宮地嶽神社
76	11月21日	イベント	MOA美術児童作品展　作品審査	研修室	-	主催：MOA美術館
77	11月24日	イベント	特集展示「人吉球磨の玉手箱」関連　夏空ダンス上映会①	ミュージアムホール	33	主催：九州国立博物館
78	11月24日	イベント	きゅーはくもみじ茶会	茶室	42	主催：九州国立博物館
79	11月30日	講演会	特集展示「人吉球磨の玉手箱」関連　人吉球磨の歴史リレー講座②	ミュージアムホール	48	主催：九州国立博物館
80	11月30日	ワークショップ	衣装体験イベント「古代人に変身！」	３階エントランス	150	主催：九州国立博物館
81	12月1日	イベント	ボランティア　手話通訳付きバックヤードツアー	研修室	12	主催：九州国立博物館ボランティア
82	12月1日	イベント	特集展示「人吉球磨の玉手箱」関連　夏空ダンス上映会②	ミュージアムホール	73	主催：九州国立博物館
83	12月1日	ワークショップ	４階展示　WS「オリジナル扇子を作ろう！」	研修室	24	主催：九州国立博物館
84	12月7日	イベント	きゅーはくクリスマスコンサート	ミュージアムホール	495	主催：九州国立博物館
85	12月7日	ワークショップ	キャンドルづくりワークショップ	エントランスカフェ前	60	主催：九州国立博物館
86	12月10日～15日	展示イベント	特集展示「人吉球磨の玉手箱」関連パネル展示	エントランスカフェ前	-	主催：九州国立博物館
87	12月10日～15日	展示イベント	第40回筑紫地区中学校美術展	エントランス中央	-	主催：筑紫地区中学校美術教育研究会
88	12月13日	イベント	きゅーはくカフェコンサート	エントランスカフェ前	110	主催：九州国立博物館
89	12月13日	イベント	全九州高等学校総合文化祭福岡大会	ミュージアムホール	160	主催：九州高等学校文化連盟、福岡県高等学校芸術・文化連盟、九州国立博物館
90	12月15日	ワークショップ	ワークショップ「折形の木の花包みで正月飾りを作りましょう！」/「干支のご祝儀袋を作ろう！」	研修室	34	九州国立博物館ボランティア
91	12月21日	講演会	きゅーはく☆とっておき講座「福岡に残るモンゴル襲来の痕跡」	ミュージアムホール	110	主催：九州国立博物館
92	12月22日	イベント	ふくおか県芸術文化祭2024表彰式	ミュージアムホール	280	主催：ふくおか県芸術文化祭実行委員会、九州国立博物館
93	1月1日～19日	展示イベント	きゅーはくヘビ年新春ツアー「カエルの逆襲」関連イベント　「守ろう宝満山の自然」カエルの絵の展覧会	エントランス中央	-	主催：九州国立博物館
94	1月2日	イベント	きゅーはくでお正月！2025　ニューイヤーコンサート	ミュージアムホール	475	主催：九州国立博物館
95	1月2日､3日	イベント	きゅーはくでお正月　書初め	エントランスカフェ前	925	主催：九州国立博物館
96	1月11日	ワークショップ	九州国立博物館で、博物館浴しよう！	研修室	25	主催：九州産業大学

97	1月12日	イベント	「不思議なカエルに魅せられて～１ｃｍの登山者たち～」上映会＆トークショー	ミュージアムホール	90	主催：九州国立博物館
98	1月18日	イベント	みゅーじあむ寄席～蝶花楼桃花・林家つる子二人会～	ミュージアムホール	241	主催：九州国立博物館
99	1月18日～3月31日	展示イベント	はに丸ひんべえ　フォトスポット	エントランス入り口横	–	主催：NHK福岡放送局・九州国立博物館
100	1月21日～26日	展示イベント	第8回MOA美術館児童作品展 in 九州国立博物館	エントランス中央	–	主催：MOA美術館、九州国立博物館
101	1月25日	イベント	第九十七回はじめての茶道体験	茶室	12	主催：九州国立博物館
102	1月25日	イベント	見えない人や見えにくい人のためのバックヤードツアー	研修室	0	主催：九州国立博物館ボランティア
103	1月25日	講演会	特別展「はにわ」リレー講座　もっと楽しもう！特別展「はにわ」①	ミュージアムホール	204	主催：福岡県、NHK福岡放送局・NHKエンタープライズ九州、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス、朝日新聞社、九州国立博物館
104	1月26日	イベント	MOA美術館児童作品展表彰式	ミュージアムホール	300	主催：MOA美術館
105	1月31日､2月1日	イベント	はにわ部長グリーティング	エントランスカフェ前	180	主催：西日本新聞社、九州国立博物館
106	2月1日	講演会	特別展「はにわ」リレー講座　もっと楽しもう！特別展「はにわ」②	ミュージアムホール	177	主催：福岡県、NHK福岡放送局・NHKエンタープライズ九州、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス、朝日新聞社、九州国立博物館
107	2月1日	イベント	ワークショップ 語りと展示　苅萱と石童丸絵傳	研修室	30	主催：九州国立博物館ボランティア
108	2月1日	イベント	特別展「はにわ」　子ども記者	研修室	40	主催：西日本新聞社、九州国立博物館
109	2月2日	イベント	ボランティアあつもりWSイベント	研修室	40	九州国立博物館ボランティア
110	2月4日～9日	展示イベント	日本遺産「やばけい遊覧」PR	エントランス中央	–	主催：中津玖珠日本遺産推進協議会、九州国立博物館
111	2月4日～16日	展示イベント	八女福島　パネル展示	エントランスカフェ前	–	主催：九州国立博物館、九州国立博物館振興財団
112	2月8日､9日	ワークショップ	かみつけの里博物館コラボワークショップ	研修室	180	主催：九州国立博物館
113	2月9日	イベント	ボランティア　よめる仮名	研修室	40	主催：九州国立博物館ボランティア
114	2月9日	イベント	さいふごま大会	ミュージアムホール	150	主催：九州国立博物館
115	2月11日	イベント	ボランティア室イベント研究会WS	研修室　東屋	37	主催：九州国立博物館ボランティア
116	2月14日	講演会	世界遺産国際シンポジウム	ミュージアムホール	180	主催：「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会、九州国立博物館
117	2月16日	主催	八女福島燈籠人形公演	ミュージアムホール	470	主催：九州国立博物館、九州国立博物館振興財団
118	2月22日	イベント	きゅーはく子どもフェスタ	ミュージアムホール/エントランスカフェ前/中央/研修室/和室	639	九州国立博物館ボランティア、九州国立博物館を愛する会、博悠会、九州国立博物館振興財団
119	2月22日	イベント	親子で茶道体験茶道体験	茶室	10	主催：九州国立博物館
120	2月26日～3月9日	展示イベント	筑紫地区文化財写真展	エントランス中央	–	主催：筑紫地区社会教育振興協議会事務局、九州国立博物館
121	3月11～3月23日	展示イベント	豊前感応楽　パネル展	エントランスカフェ前	–	主催：九州国立博物館、九州国立博物館振興財団
122	3月11～3月31日	展示イベント	特別展「はにわ」巨大古墳出現	エントランスあじっぱ前	–	九州国立博物館
123	3月11日	講演会	特別展「はにわ」　大野城シニア大学はにわ講座	研修室	40	九州国立博物館
124	3月14日	イベント	特別展「はにわ」　はに丸出現　グリーティング	ミュージアムホール/エントランス	-	主催：NHK福岡放送局、九州国立博物館
125	3月15日	イベント	特別展「はにわ」　はに丸出現　ステージイベント	ミュージアムホール	430	主催：NHK福岡放送局、九州国立博物館
126	3月15日	イベント	特別展「はにわ」　はにわーくしょっぷ	エントランス中央	109	主催：九州国立博物館
127	3月15日	イベント	特別展「はにわ」　はにわクイズラリー	エントランス中央	452	主催：九州国立博物館
128	3月16日	講演会	特別展「はにわ」記念講演会　国宝「埴輪 挂甲の武人」の歴史的意義 －最新の修理と調査－	ミュージアムホール	236	主催：福岡県、NHK福岡放送局・NHKエンタープライズ九州、西日本新聞社、西日本新聞イベントサービス、朝日新聞社、九州国立博物館
129	3月22日	イベント	さくら茶会	茶室	16	九州国立博物館

130	3月22日	イベント	豊前感応楽公演	屋外イベント広場	-	主催：九州国立博物館・九州国立博物館振興財団
131	3月22日	イベント	特別展「はにわ」　はにわーくしょっぷ	エントランス中央	121	主催：九州国立博物館
132	3月22日	イベント	特別展「はにわ」　はにわクイズラリー	エントランス中央	456	主催：九州国立博物館
133	3月29日	講演会	太宰府学研究	ミュージアムホール	270	主催：九州国立博物館
134	3月29日	イベント	特別展「はにわ」コダイプレイスマルシェ	エントランス中央	-	主催：西日本新聞社
135	3月29日	イベント	特別展「はにわ」甲冑着用体験	エントランスカフェ前	70	主催：九州国立博物館
136	3月30日	講演会	特別展「はにわ」複製はにわトークショー	ミュージアムホール	68	主催：九州国立博物館

1-(3)-② 有形文化財に関する情報の発信と広報の充実

1-(3)-②-1 収蔵品に関する資料等のデジタル化件数（収蔵品写真（フィルム）等のデジタル化件数）

（前述の資料に記載）1-(1)-②-2 収蔵品等に関する資料等のデジタル化件数（収蔵品写真（フィルム）等のデジタル化件数）

1-(3)-②-2 収集した情報資料数（総数）

令和7年3月31日現在

		東京国立博物館		京都国立博物館		奈良国立博物館		九州国立博物館		皇居三の丸尚蔵館	
		6年度新規	総数	6年度新規	総数	6年度新規	総数	6年度新規	総数	6年度新規	総数
写真原板(フィルム)		51件	324,218件	0件	257,681件	0件	361,503件	0件	23,622件	0件	7,520件
デジタル撮影		15,886件	186,775件	6,006件	79,723件	2,623件	69,576件	3,591件	43,977件	5,336件	48,450件
資料	模造	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	模写	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	その他	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件
	計	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
図書	和書	4,657冊	236,312冊	1,631冊	159,495冊	1,612冊	99,756冊	3,112冊	212,758冊	320冊	20,034冊
	漢書	797冊	43,225冊	143冊	22,803	25冊	5,431冊	0件	0冊	0件	0冊
	洋書	170冊	15,912冊	9冊	4,851	28冊	2,163冊	49冊	3,178冊	2冊	276冊
	計	5,624冊	295,449冊	1,783冊	187,149冊	1,665冊	107,350冊	3,161冊	215,936冊	322冊	20,310冊
映画フィルム		0巻	0巻	0巻	0巻	0巻	30巻	0巻	0巻	0巻	0巻
スライド		0本	0本	0本	26巻	0本	21巻	0本	0本	0本	0本
		0コマ	0コマ	0コマ	2,779コマ	0コマ	2,192コマ	0コマ	12コマ	0コマ	0コマ
マイクロフィルム		0巻	3,601巻	0巻	643巻	0巻	68巻	0巻	515巻	0巻	146巻

東京国立博物館資料館の利用者数（過去5年間）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開館日数	177日	122日	173日	227日	224日
利用者数	1,219人	1,103人	2,172人	3,373人	3,433人
閉架図書（閲覧）	4,151枚	3,112枚	3,680件	4,491枚	4,419枚
マイクロフィルム（閲覧）	507枚	189枚	372件	541枚	249枚
レファレンスサービス	1,954件	1,934件	2,413件	2,429件	2,638件
レファレンス協同データベース被参照数	3,474件	94,505件	81,255件	66,127件	329,898件
コピーサービス	23,331枚	19,540枚	23,754枚	27,751枚	27,083枚

※新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言発出に伴い2年度は4月1日～6月1日、3年度は4月25日～5月31日に臨時休館した。
開館時間も前後1時間短縮し、10:30～16:00開館とした。
また、同じく感染拡大防止のため、2年6月2日から予約制・人数制限の下で再開、3年2月15日からは開館日を週3日に減らして開館し、3年度も週3日開館を継続した。4年度は10月18日から週5日開館とし、1月4日から予約制を撤廃、開館時間も9:30～17:00に戻した。
※マイクロフィルム閲覧において6年度10月より館史資料の提供を停止した。停止までの移行期間として、5月～9月は事前申請・審査制とし、制限を設けた。
※レファレンス協同データベース被参照数は、6年度システムリプレイスによりカウント方法が変更になり、以後件数が大きく変わった。

1-(3)-②-3 特別観覧件数

申請件数

令和7年3月31日現在

区　分	国立博物館			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館			皇居三の丸尚蔵館		
	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料
合　計	463	1	462	146	0	146	137	0	137	86	1	85	83	0	83	8	0	11
写真撮影	140	1	139	0	0	0	62	0	62	38	1	37	40	0	40	0	0	0
映画撮影	4	0	4	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
テレビ撮影							0	0	0		0	3	0	0	0	0	0	0
ビデオ撮影							1	0	1				0	0	0	0	0	0
模写	11	0	11	2	0	2	0	0	0	9	0	9	0	0	0	0	0	0
模造							0	0	0				0	0	0	0	0	0
熟覧	308	0	308	144	0	144	74	0	74	36	0	36	43	0	43	8	0	11

点数

令和7年3月31日現在

区　分	国立博物館			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館			皇居三の丸尚蔵館		
	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料
合　計	2,270	1	2,269	1,072	0	1,072	524	0	524	243	1	242	426	0	426	5	0	5
写真撮影	560	1	559	0	0	0	246	0	246	111	1	110	203	0	203	0	0	0
映画撮影	11	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
テレビ撮影							0	0	0	10	0	10	0	0	0	0	0	0
ビデオ撮影							1	0	1				0	0	0	0	0	0
模写	27	0	27	3	0	3	0	0	0	24	0	24	0	0	0	0	0	0
模造							0	0	0				0	0	0	0	0	0
熟覧	1,672	0	1,672	1,069	0	1,069	277	0	277	98	0	98	223	0	223	5	0	5

1-(3)-②-4 画像利用件数（フィルムを含む）

申請件数

令和7年3月31日現在

区　分			国立博物館			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館			皇居三の丸尚蔵館		
			合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料
画像利用	フィルムでの提供	モノクロ	0	0	0	（画像提供業務を外部へ委託）									0	0	0	0	0	0
		カラー	0	0	0										0	0	0	0	0	0
	デジタルデータ提供	モノクロ	1,322	823	499				604	437	167	261	106	155	13	4	9	0	0	0
		カラー													83	33	50	361	243	118
	プリントでの提供	モノクロ	43	29	14				39	29	10	4	0	4				0	0	0
		カラー	2	0	2				0	0	0	2	0	2				0	0	0
画像再利用			205	148	57							99	66	33	9	7	2	97	75	22

点数

令和7年3月31日現在

区　分			国立博物館			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館			皇居三の丸尚蔵館		
			合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料	合計	有料	無料
画像利用	フィルムでの提供	モノクロ	0	0	0	（画像提供業務を外部へ委託）									0	0	0	0	0	0
		カラー	0	0	0										0	0	0	0	0	0
	デジタルデータ提供	モノクロ	6,971	1,868	5,103				3,872	1,104	2,768	1,266	258	1,008	57	7	50	0	0	0
		カラー													1,018	79	939	758	420	338
	プリントでの提供	モノクロ	273	58	215				172	58	114	101	0	101				0	0	0
		カラー	66	0	66				0	0	0	66	0	66				0	0	0
画像再利用			1,052	348	704							785	186	599	20	18	2	247	144	103

1-(3)-②-5 広報実績一覧
【本部文化財活用センター】

・国宝「唐獅子図屏風」の高精細複製品をキヤノン株式会社との共同研究で制作

会期	4月9日(火)～6月30日(日)(東京国立博物館本館特別3室「日本美術のとびら」にて展示)
ターゲット	一般の美術愛好者、若年層
重点項目	ライトユーザー
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつウェブサイト「展示とイベント」ページ、ぶんかつSNSの情報発信(X (旧Twitter))計2回
その他	アットプレスによるプレスリリース配信
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	読売新聞、北海道新聞
テレビ、ラジオ	―
雑誌	コンバーテック　5月号
インターネットメディア	毎日新聞、LINEニュース、@nifty ニュース、マイナビニュースなど、計72媒体
その他	YouTubeにて制作工程動画を公開、ビズハック！にて174いいね！

・江戸きものLOOKBOOK

会期	7月23日(火)～9月23日(月・休)
ターゲット	若年層、訪日観光客、一般の美術愛好者
重点項目	ライトユーザー
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつウェブサイト「展示とイベント」、「プレスの方へ」ページ、ぶんかつSNSの情報発信(X (旧Twitter) /Instagram)計18回、ぶんかつブログでの紹介計1回
その他	アットプレスによるプレスリリース配信、SNS広告(Instagram、7月23日(火)～7月28日(日)、9月7日(土)～9月14日(土)の計2回)、記者プレビューの開催(7月22日(月))
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	―
インターネットメディア	毎日新聞、LINE NEWS、livedoor、woman.excite、ニコニコニュースなど計115媒体
その他	共同通信社、ビズハック！など計189いいね！

・日本美術のつばさ×HANEDA・東京国際クルーズターミナル

会期	6月27日(木)～3月31日(月)
ターゲット	訪日観光客、一般の美術愛好者、若年層
重点項目	訪日観光客
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―

テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつウェブサイト「展示とイベント」、「プレスの方へ」ページ、ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)計7回、ぶんかつブログでの紹介1回
その他	アットプレスによるプレスリリース配信
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	―
インターネットメディア	毎日新聞、徳島新聞Web、livedoorなど計70媒体
その他	ビズハック！Facebook 186いいね！

・「８Ｋで楽しむ国宝屏風『洛中洛外 京めぐり』」の公開実証（NHK名古屋放送局）

会期	10月5日（土）～10月14日（月）
ターゲット	訪日観光客、一般の美術愛好者、若年層
重点項目	訪日観光客
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	NHK名古屋放送局「美術を楽しもうキャンペーン」チラシ
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	NHK名古屋放送局ウェブサイト、NHK名古屋放送局X（旧Twitter）、ぶんかつウェブサイト「展示とイベント」、ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)計2回
その他	
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	NHK名古屋「まるっと！」中継（10月4日）内での紹介、30秒スポット、Yahooニュース記事（【名古屋東区】NHK名古屋で相国寺展を予習！８Ｋで見る国宝屏風、土井善晴先生の解説がおもしろい！）
雑誌	―
インターネットメディア	
その他	NHK名古屋放送センタービル内における告知看板およびチラシ掲出

・「８Ｋ文化財」[国宝　洛中洛外図屏風（舟木本）]の体験展示の公開実証（佐賀県立美術館）

会期	12月6日（金）～7年1月29日（水）
ターゲット	各開催会場来場者、古美術愛好者、歴史愛好者、ファミリー層、小学生などの子どもとその親、観光客
重点項目	一般媒体、開催地域の地元向け媒体、インターネット媒体
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	
交通広告	
新聞・雑誌広告	
テレビ広告	
「東京国立博物館ニュース」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	佐賀新聞社ウェブサイト、ぶんかつウェブサイト「展示とイベント」、ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)計2回、ぶんかつブログ1回
その他	
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	佐賀新聞社、共同通信社
テレビ、ラジオ	RKBラジオ、NHK佐賀放送局
雑誌	―
インターネットメディア	佐賀新聞社(ウェブ記事）,gooニュース、docomoニュースほか
その他	

・国立文化財機構の寄附キャンペーン(寄附者限定「動く！名品カード」をプレゼント)

会期	12月2日(月)～12月26日(木)
ターゲット	美術・歴史・考古系愛好者・文化財防災関係者、一般の美術愛好者、若年層
重点項目	芸術、考古等に関心のある層へ広く寄附を募集
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつウェブサイト「プレスの方へ」「寄附ポータル」ページ、ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)計5回
その他	アットプレスによるプレスリリース配信、SNS広告配信(Instagram、12月14日(土)～20日(金))
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	―
インターネットメディア	J-CAST NEWS、livedoor、@niftyなど計76媒体
その他	―

・6年度国立博物館収蔵品貸与促進事業実施について

会期	7月24日（水）～7年4月6日（日）（全国6施設にて開催）
ターゲット	各開催会場来場者、古美術愛好者、歴史愛好者、ファミリー層、小学生などの子どもとその親、観光客
重点項目	一般媒体、開催地域の地元向け媒体、インターネット媒体
特記事項	貸与促進事業全体の活動周知を目的とする広報
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	開催会場に貸与促進事業の説明及び年間の事業実施会場について掲載したパネルを掲出
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつウェブサイトでの紹介、ぶんかつSNS(X（旧Twitter）/Instagram)での情報発信計1回、ぶんかつブログでの紹介
その他	アットプレスによるプレスリリース配信
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	美術の窓
インターネットメディア	livedoor、ニコニコニュースなど計50媒体
その他	facebook@Press　1いいね！

・6年度貸与促進事業　鹿児島市立美術館　「鹿児島市立美術館開館70周年記念　没後100年　黒田清輝とその時代」

会期	7月24日(水)～9月1日(日)
ターゲット	古美術愛好者、近代美術愛好者、歴史愛好者、ファミリー層、小学生などの子どもとその親、観光客
重点項目	開催地域の地元向け媒体、インターネット媒体、一般の美術愛好者向け雑誌媒体
特記事項	（※）は、文化財活用センターから支出された広報費による掲出
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	ポスター・チラシ
交通広告	JR在来線中吊りポスター（鹿児島・宮崎近郊電車、鹿児島近郊DC）、鹿児島市電　窓吊ポスター、鹿児島市バス　中央額面（※）

新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	テレビＣＭ
「東京国立博物館ニュース」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつウェブサイト「展覧会情報」ページ、ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)計4回、ぶんかつブログでの紹介計1回
その他	デジタルサイネージ（※）、アーケード吊り看板（※）、屋外看板（※）
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	MBC南日本放送「どーんと鹿児島」
雑誌	―
インターネットメディア	―
その他	―

・6年度貸与促進事業　岐阜県美術館　「清流の国ぎふ」文化祭2024　PARALLEL MODE：山本芳翠展」

会期	9月27日（金） ～ 12月8日（日）
ターゲット	古美術愛好者、近代美術愛好者、歴史愛好者、ファミリー層、小学生などの子どもとその親、観光客
重点項目	開催地域の地元向け媒体、インターネット媒体、一般の美術愛好者向け雑誌媒体
特記事項	（※）は、文化財活用センターから支出された広報費による掲出
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつウェブサイト「展覧会情報」ページ、ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)計4回、ぶんかつブログでの紹介計1回
その他	Facebook及びInstagramによる広報（※）
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	―
インターネットメディア	―
その他	―

・6年度貸与促進事業　福井市立郷土歴史博物館　「鉄の名工　越前明珍」

会期	10月19日（土） ～ 12月1日（日）
ターゲット	古美術愛好者、近代美術愛好者、歴史愛好者、ファミリー層、小学生などの子どもとその親、観光客
重点項目	開催地域の地元向け媒体、インターネット媒体、一般の美術愛好者向け雑誌媒体
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	ポスター・チラシ
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつウェブサイトでの紹介「展覧会情報」ページ、ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)計4回、ぶんかつブログでの紹介計1回
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	―

インターネットメディア	―
その他	―

・6年度貸与促進事業　豊橋市美術博物館　「銅鐸の国－伊奈銅鐸出土100年－」

会期	11月30日（土） ～ 7年2月2日（日）
ターゲット	古美術愛好者、近代美術愛好者、歴史愛好者、ファミリー層、小学生などの子どもとその親、観光客
重点項目	開催地域の地元向け媒体、インターネット媒体、一般の美術愛好者向け雑誌媒体
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	ポスター・チラシ
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつウェブサイトでの紹介「展覧会情報」ページ、ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)計4回、ぶんかつブログでの紹介計1回
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	―
インターネットメディア	―
その他	―

・6年度貸与促進事業　佐野市立吉澤記念美術館　「佐野市制20周年記念特別企画展　丸山瓦全と佐野のお宝保護作戦！ーエラスムス立像を見つけ、天明鋳物をまもったー」

会期	7年1月25日（土） ～ 3月9日（日）
ターゲット	古美術愛好者、近代美術愛好者、歴史愛好者、ファミリー層、小学生などの子どもとその親、観光客
重点項目	開催地域の地元向け媒体、インターネット媒体、一般の美術愛好者向け雑誌媒体
特記事項	（※）は、文化財活用センターから支出された広報費による掲出
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	ポスター・チラシ
交通広告	―
新聞・雑誌広告	下野新聞（※）
テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつウェブサイトでの紹介「展覧会情報」ページ、ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)計4回、ぶんかつブログでの紹介計1回
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	―
インターネットメディア	―
その他	―

・6年度貸与促進事業　茨城県立歴史館　「開館50周年記念 春の特別展　雪村―常陸に生まれし遊歴の画僧―」

会期	7年2月15日（土） ～ 4月6日（日）
ターゲット	古美術愛好者、近代美術愛好者、歴史愛好者、ファミリー層、小学生などの子どもとその親、観光客
重点項目	開催地域の地元向け媒体、インターネット媒体、一般の美術愛好者向け雑誌媒体
特記事項	（※）は、文化財活用センターから支出された広報費による掲出
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	在来線中吊りポスター（※）、駅貼りポスター（※）
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつウェブサイトでの紹介「展覧会情報」ページ、ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)計4回、ぶんかつブログでの紹介計1回
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	―
インターネットメディア	―
その他	―

・東京国立博物館創立150年記念 踊る埴輪＆見返り美人 修理プロジェクト

会期	―
ターゲット	一般の美術愛好者、若年層
重点項目	ライトユーザー
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	2回（第776号、第777号）
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	修理関係：ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)計7回、ぶんかつブログでの紹介2回、東博ブログでの紹介計3回、東博Youtubeでの紹介計1回
その他	「埴輪 挂甲の武人ミク、埴輪 踊る人々リン・レン」に関してアットプレスによるプレスリリース配信(3月13日(木)配信)
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	―
インターネットメディア	①スケールフィギュア　初音ミク 見返り美人ミクVer.：電撃ホビーウェブ、HOBBY Watchほか ②久月コラボ日本人形　見返り美人ミクVer. ：電撃ホビーウェブ、初音ミク公式ブログほか ③埴輪 挂甲の武人ミク、埴輪 踊る人々リン・レン：初音ミク公式ブログほか
その他	Yahoo！ニュース、livedoor、ニコニコニュースなど計99媒体
③「埴輪 踊る人々」特別鑑賞会	
実施日	10月15日
人数等	74名

・地域の宝をみんなで守る｜文化財防災・救援プロジェクト2025

会期	7年3月11日（火）～6月9日（月）
ターゲット	文化財防災関係者、美術館・博物館関係者、行政関係者一般の美術愛好者、寄付サービスユーザー
重点項目	文化財防災関係者、Readyforユーザー
特記事項	―

①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつWEBでのプロジェクトページの公開、ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)計4回
その他	アットプレスによるプレスリリース配信
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	読売新聞
テレビ、ラジオ	―
雑誌	―
インターネットメディア	Readyforのプロジェクトページの公開、毎日新聞、NHK、LINEニュースなど107媒体
その他	クラウドファンディングサービス「READYFOR」の情報発信計4回

・2025(令和7)年度 国立文化財機構所蔵品貸与促進事業 実施対象館が決定！

会期	―
ターゲット	各開催会場来場者、古美術愛好者、歴史愛好者、ファミリー層、小学生などの子どもとその親、観光客
重点項目	一般媒体、開催地域の地元向け媒体、インターネット媒体
特記事項	貸与促進事業全体の活動周知を目的とする広報
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	ぶんかつSNSの情報発信(X（旧Twitter）/Instagram)計1回
その他	アットプレスによるプレスリリース配信
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	―
インターネットメディア	livedoor、徳島新聞web、ニコニコニュースなど計65媒体
その他	アットプレスのX広告でリポスト1回

【東京国立博物館】
(1) 総合文化展（平常展）

・「博物館でお花見を」

会期	3月12日（火）～4月7日（日）（25日間）
ターゲット	比較的外出する傾向にあり、SNSを多用している若年層。一般の美術愛好家
重点項目	一般のマスコミ及びインターネット・SNSによる情報提供
特記事項	
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	館内掲示用ポスター作成
交通広告	デジタルサイネージ：JR上野駅（公園口）
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジン・SNSでの情報配信など。
その他	SNS広告（TikTok、Instagram、Facebook）、アットプレスによるリリース発信

②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	新美術新聞、朝日新聞
テレビ、ラジオ	J:COM11チャンネル台東区広報番組「ニュースたいとう」
雑誌	―
インターネットメディア	サンケイリビング、スフマート、OZモール、あみゅーぜん など
その他	―

・「博物館でアジアの旅」

会期	10月1日（火）～11月10日（日） （36日間）
ターゲット	一般の東洋美術愛好家、小学生などの子どもとその親、若年層（学生など）
重点項目	一般のマスコミ及びインターネット・SNSによる情報提供
特記事項	
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	館内掲示用にポスターのみ作成
交通広告	デジタルサイネージ：JR上野駅（公園口）
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、ブログ関連記事4回、メールマガジン・SNSでの情報配信など。
その他	SNS広告（X、Instagram、Facebook、TikTok。動画、静止画を配信）、アットプレスによるリリース発信
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	東洋経済新聞（9/29）、日本教育新聞（10/7）、台東CATV（10/13）
テレビ、ラジオ	J-WAVE「Dig Up!」（10/15、16）
雑誌	―
インターネットメディア	TOKYO WALKING、ファッションプレス、美術展ナビ、イロハニアート、月刊「うえの」、Padograph ほか
その他	J-WAVEライブイベントを東洋館で実施（10/3）

・「博物館に初もうで」

会期	7年1月2日（木）～1月26日（日）（22日間）
ターゲット	一般の美術愛好家、ファミリー層、若年層（学生など）、在日外国人
重点項目	一般のマスコミ及びインターネット・SNSによる情報提供
特記事項	
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	館内掲示用にポスターのみ作成
交通広告	デジタルサイネージ：JR上野駅（公園口）
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジン・SNSでの情報配信など
その他	SNS広告（X、Instagram〈英語も含む〉、Facebook、TikTok）、アットプレスによるリリース発信
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	朝日新聞、読売新聞、東京新聞、しんぶん赤旗
テレビ、ラジオ	台東区ケーブルテレビ、J-WAVE「PEOPLE’S ROASTERY」、ニッポン放送 ラジオ「辛坊治郎ズーム そこまで言うか!」
雑誌	Precious
インターネットメディア	JR西日本おでかけガイド、じゃらんnet、ぶんかる、Inside Out Tokyo、美術展ナビ、サンケイリビングweb、ファッションプレス、旅色、うえの、Padograph ほか
その他	―

・特集「拓本のたのしみ―明清文人の世界―」

会期	7年1月2日（木）～3月16日（日）（65日間）
ターゲット	書道家、書道ファン
重点項目	拓本について一般の興味を喚起し、書作品への一般の理解を深める

特記事項	7年1月6日、報道内覧会実施
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	チラシ約2,700件(美術館・博物館等)に送付、館内配布
交通広告	駅貼り(JR上野・鶯谷)、上野駅構内デジタルサイネージ
新聞・雑誌広告	—
テレビ広告	—
「東京国立博物館ニュース」掲載	1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、ブログ関連記事4回予定、メールマガジン・SNSでの情報配信
その他	—
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	—
テレビ、ラジオ	台東区CATV
雑誌	書21
インターネットメディア	美術展ナビ、サンケイリビングweb、うえの、展玩 ほか
その他	—

(2) 特別展、共催展等

・特別展「法然と極楽浄土」

会期	4月16日（火）～6月9日（日）（49日間）
ターゲット	仏教美術ファン、日本文化・美術愛好家全般
重点項目	マスコミ及び交通広告、新聞広告等による広く一般への情報提供
特記事項	
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約7,000件(美術館・博物館、古美術骨董、各種教室等)に送付、館内配布
交通広告	東京メトロ 駅構内電飾看板、Ｂ１ポスター　寺社仏閣・美術館最寄り駅貼り、JR・京急　Ｂ１ポスター寺社仏閣最寄り駅貼り、京成電鉄特別タイアップ、JR上野駅公園口改札横シート広告、有楽町ビックビジョンＣＭ放送
新聞・雑誌広告	読売新聞（全国版）社告2回、本紙広告 全５段 2回、半２段ほか　朝刊社会面（モノクロ）（不定期掲載）、テレビ面ＰＲ枠　朝刊（カラー）（会期中随時）、読売家庭版　４月号、５月号、６月号　他
テレビ広告	日テレ、BS日テレ、NHK展覧会紹介
「東京国立博物館ニュース」掲載	告知2回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、当館メールマガジンでの情報配信、公式サイト・共催者(読売新聞社、NHK、NHKプロモーション)ウェブサイトでの紹介 SNS:公式ツイッター、「紡ぐ」公式ツイッター、当館ツイッター・フェイスブックでの情報発信　ほか
その他	SNS広告実施6回（計79日間）、東京都浴場組合加入の銭湯・よみうりランドで広報物掲出、ステッカー設置、東京ドーム巨人軍ホーム戦試合開始前に広告放映（会期中）
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	読売新聞、朝日新聞、日経新聞ほか
テレビ、ラジオ	NHK「日曜美術館」「チコちゃんに叱られる！」「謎解き！ヒミツの至宝さん」、ニッポン放送「辛坊治郎ズーム そこまで言うか！」
雑誌	宝島社　「名宝で辿る 法然と浄土思想のすべて」、三栄　時空旅人4月号「法然　極楽浄土への祈り」、日経BP社　日経トレンディ『別冊日経おとなのOFF』12月号、新潮社 芸術新潮12月号、1月増刊号、生活の友社　美術の窓 12月号、浄土宗　浄土宗新聞4月号ほか
インターネットメディア	読売新聞「紡ぐプロジェクトWeb」「美術展ナビ」、美術出版社「美術手帖」、ドワンゴ「ニコニコ美術館」ほか
その他	—
③報道発表会	
実施日	2023年10月24日（平成館大講堂）
人数等	38名出席
④報道内覧会	
実施日	2024年4月15日（月）
人数等	133名出席

・特別企画「内藤礼　生まれておいで 生きておいで」

会期	6月25日（火）～9月23日（月・休）（79日間）
ターゲット	一般の美術愛好家・現代美術ファン全般・特に若年層（大学生～30代）

重点項目	美術ファンを中心とした新規来館者層への情報提供および来館誘致
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約2,500件（美術館・博物館・学校等)に送付、館内配布。名刺大のPRカードを作成し、上野近辺や現代美術ファン層が利用する店舗等に送付。
WEB広告	e-flux（アメリカの美術媒体）WEB記事掲載およびメルマガ配信
SNS広告	Facebook・Instagram（6月10日～23日／7月19日～28日の2期）、YouTubeインストリーム広告（7月19日～8月1日）
「東京国立博物館ニュース」掲載	告知3回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、ブログ関連記事4回、メールマガジンでの情報配信 SNS:公式Twitter、当館Twitter・Facebook・Instagram、福武財団SNSでの情報発信
その他	国際アートフェア「東京現代」との連携事業。チケット代（一般前売1,400円）×100枚分で、7月2日・3日の開館時間内に、東京現代のVIP客を各日上限50名様ずつ招待するという内容。同社ウェブサイト・メルマガに本展情報を掲載。
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、日本経済新聞　ほか
テレビ、ラジオ	NHK「日曜美術館」（8/25、9/1）、BSテレ東「ファッション通信」（9/14）、中央エフエム「Hello! RADIO CITY」（7/19）
雑誌	「ELLE」4月号、「GQ」5月号、「ノジュール」「いけばな龍生」「季刊 草月」6月号、「美術の窓」「アートコレクターズ」7月号、「ブレーン」「spoon.」「FIGARO japon」「Casa BRUTUS」「GINZA」「ART COLLECTION＋DESIGN」「新建築」「月刊美術」8月号、「女性自身」8月6日号（光文社）、「建築画報」「eclat」「芸術新潮」「商店建築」「ユリイカ」9月号、「リンネル」「25ans」「東京人「新建築」10月号、「Harper's BAZAAR」11月号、「ONBEAT」vol.21　ほか
インターネットメディア	美術手帖、Yahoo!ニュース、TOKYO ART BEAT、FASHION PRESS、ART AgendA、Fashionsnap.com、AXIS Web Magazine、marie claire、GQ、TimeOut、ぴあニュース、美術展ナビ、ARToVILLA（instagram)、藝大アートプラザ、artscape、イロハニアート、アートテラー・とに～の【ここにしかない美術室】、the fashion post、ELLE、pen online、クロワッサンオンライン、MODERN LIVING、GQ、SPUR.JP、VOGUE JAPAN　ほか
その他	銀座メゾンエルメス フォーラムのチラシ、ウェブサイト等に本展情報掲載。本展関連ワークショップ（エルメス財団主催、当館共催）について同社ウェブサイト等に掲載。
③報道発表会	
実施日	―（実施せず）
人数等	―
④報道内覧会	
実施日	6月24日
人数等	82名出席

・創建1200年記念　特別展「神護寺―空海と真言密教のはじまり」

会期	7月17日（水）～9月8日（日）（47日間）
ターゲット	仏教美術ファン、歴史ファン、日本文化・美術愛好家全般、訪日外国人
重点項目	マスコミ及び交通広告、新聞広告等による広く一般への情報提供。英語チラシ制作などインバウンド向け施策
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約7,700件（美術館・博物館・マスコミ・寺社等)に送付、館内配布
交通広告	京成線タイアップ B全ポスター駅貼り150枚、B3ポスター車内ドア横2,320枚、チラシ10,000枚 B1ポスター駅貼り（メトロ上野・銀座・表参道・六本木・恵比寿・明治神宮前など）　ほか
新聞・雑誌広告	読売紙面（全5段広告「就活ON！」全5段、番組面最終面小枠ほか）、芸術新潮広告　ほか
テレビ広告	有楽町ビックビジョン（15秒スポット）、日本テレビ、BS日テレ（15秒スポット）NHK（30秒スポット）ほか
「東京国立博物館ニュース」掲載	告知2回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、ブログ関連記事8回、メールマガジンでの情報配信、公式サイトでの紹介 SNS:公式Twitter・Instagramでの解説動画、当館Twitter・Facebook・Instagramでの情報発信
その他	・上野近隣5施設（上野松坂屋・マルイ・エキュート・アトレ・パルコヤ）とのタイアップ連携 ・銀座蔦屋でのタイアップ広報展開 ・訪日外国人向けにホテルのCNN放送内に広告 ・8/27～9/1で「東博縁日」を実施　ほか
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、東京新聞、　ほか主要地方紙
テレビ、ラジオ	調布「ゆうがた5」（6/25）、NHK「NHKニュース」（7/16）、NHK「日曜美術館」（8/4）

雑誌	「美術展ナビムック」（2024年版）、「月刊ギャラリー」（2024年4月号）、「ノジュール」（2024年6月号）、「美術の窓」（2024年8月号）、「月刊ギャラリー」（2024年7月号）、「禅の友」（2024年7月号）「時空旅人」（2024年7月号）、「男の隠れ家」（2024年8月号）、「和楽」（2024年8・9月号）、「歴史人」（2024年8月号）、「サライ」（2024年8月号）、「散歩の達人」（2024年8月号）、「美術の窓」（2024年8月号）、「芸術新潮」（2024年9月号）　ほか
インターネットメディア	インターネットミュージアム、ファッションプレス、SPICE、美術展ナビ、美術散歩、レッツエンジョイ東京、ART ACCESS、芸術新潮オンライン、月刊うえの、美術手帖オンライン、サライ.jp、たいとう文化マルシェ、モノンクル、美術評論プラス、WEBぴあ　ほか
その他	―
③報道発表会	
実施日	2月14日（水）（平成館大講堂）
人数等	会場出席者：31名
④報道内覧会	
実施日	7月16日（火）
人数等	126名出席

・挂甲の武人　国宝指定50周年記念　特別展「はにわ」

会期	10月16日（水）～12月8日（日）（48日間）
ターゲット	日本文化・美術愛好家全般、考古学ファン、埴輪ファン、若年層、子ども
重点項目	マスコミ及び交通広告、新聞広告等による広く一般への情報提供
特記事項	11月4日（月）は開館、11月5日（火）は本展のみ開館
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約7,000件（美術館・博物館・マスコミ等)に送付、館内配布
交通広告	メトロUボード13駅（銀座、表参道、上野、日本橋、新橋、赤坂見附、渋谷、池袋、大手町、東京、新宿、茅場町、六本木）、東急田園都市線渋谷、アドサークル、田園都市線、渋谷駅B2F、ハチ公口改札内外、本数7本、メトロMCVパッケージ9駅（上野(銀座線、日比谷線)、新宿、池袋、有楽町、六本木、豊洲、恵比寿、明治神宮前、秋葉原）、東武日比谷線・半蔵門線、B3ポスター社内ドア横、JR湘南新宿ライン・上野東京ライン、B3ポスター車内中づり、メトロ 竹橋駅、B1ポスター駅貼り、京王線タイアップ　ほか
新聞・雑誌広告	朝日新聞（全国版）社告5回、本紙広告
Web広告	X、META、Googleデマンド、LINE、Yahooリスティング、Tiktok、Gデマンドジェネレーション
テレビ広告	―
「東京国立博物館ニュース」掲載	告知2回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、ブログ関連記事8回、メールマガジンでの情報配信、公式サイトでの紹介 SNS:公式Twitter、当館Twitter・Facebook・Instagramでの情報発信
その他	上野タイアップ 上野さくらテラス柱巻き広告、名刺型ノベルティー配布（アトレ上野、上野マルイ、エキュート上野、松坂屋上野店、のれん会一部店舗） 銀座蔦屋でのタイアップ広報展開 蔦屋銀座店内での埴輪フェア（チラシ、名刺型ノベルティー配布、図録を販売）
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	時事通信社、日刊スポーツ、朝日新聞、朝日小学生新聞、公明新聞、西日本新聞、しんぶん赤旗、天理時報ほか
テレビ、ラジオ	NHK「びじゅチューン！挂甲武人モーメント」（8月30日、9月1日、10月25日、10月27日）、NHK「木村多江の、いまさらですが・・・」（9月30日）、NHK「歴史探偵」（10月16日）、NHK「おはよう日本」（10月16日）、NHK「謎解き！ヒミツの至宝さん」（10月18日）、NHK「はにわ王決定戦」（10月1日、10月3日、10月6日）、NHK「はなかっぱスペシャル」（11月4日）、NHK「はなかっぱ1分ミニ」（11月4日）、NHK Eテレ「日曜美術館」（11月10日）、NHK「チコちゃんに叱られる！」（11月15日、11月16日）NHK「TheWakeyShow」（11月5日）、NHK「あさイチ」（11月7日）、NHK「有吉のお金発見 突撃!カネオくん」（11月23日、11月30日）、テレビ朝日「クイズプレゼンバラエティーQさま！！」（11月25日）テレビ朝日「グッド！モーニング」（11月26日、27日）、NHK「ねこのめ美じゅつかん」（11月28日）「古墳にコーフンラジオ」（10月5日）、ニッポン放送「辛坊治郎 ズーム そこまで言うか！」（11月5日）、J-WAVE「RADIO DONUTS」（11月13日）、TBSラジオ「アフター6ジャンクション2」（11月19日）　ほか
雑誌	「目の眼」4月号、「美術展ナビMOOK」4月号、「ノジュール」6月号、「炎芸術」9月号、「うえの」10月号、「楽しく学べるはにわ図鑑」10月号、「芸術新潮」10月号、「陶説」10月号、「美術の窓」11月号、「時空旅人」11月号、「サライ」11月号、「東京人」 11月号、「和樂」11月号、月刊「ニュースがわかる」11月号、「サンデー毎日」11月号、「ＭＯＥ」12月号　ほか
インターネットメディア	「モノンクル」、「美術手帖オンライン」、「美術展ナビ」、「ものすごい図鑑　文化財編」、「レッツエンジョイ東京」、「ほぼ日刊イトイ新聞」、「ANA　Cargo」、「numan」、「BE-PAL」、「kufuma」、「三菱商事」 ほか

その他	―
③報道発表会	
実施日	4月22日（月）
人数等	64名出席
④報道内覧会	
実施日	10月15日（火）
人数等	215名出席

・開創1150年記念 特別展「旧嵯峨御所 大覚寺－百花繚乱 御所ゆかりの絵画－」

会期	2025年1月21日（火）～3月16日（日）（49日間）
ターゲット	日本文化・美術愛好家全般
重点項目	マスコミ及び交通広告、新聞広告等による広く一般への情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約4,000件（美術館・博物館・マスコミ等)に送付、館内配布
交通広告	東京メトロコルトン看板（六本木、上野、乃木坂、清澄白河、木場） ほか
新聞・雑誌広告	読売新聞 朝刊（7月5日）、読売新聞小枠広告（7年1月22日、28日） ほか
テレビ広告	日テレCM ほか
「東京国立博物館ニュース」掲載	告知3回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、ブログ関連記事5回、メールマガジンでの情報配信、公式サイトでの紹介 SNS:公式X・Instagram、当館X・Facebook・Instagramでの情報発信
その他	・SNS広告配信（Twitter（X)、Instagram） ・YouTube「スーツ交通」 ほか
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	読売新聞正月特集「25年の主な展覧会」（1月9日）、 ほか
テレビ、ラジオ	フジテレビ「めざましテレビ」（1月21日）、日本テレビ「日テレＤａｙＤａｙ.」（2月3～6日、10～13日）、日本ラジオ「坂上みきのエンタメGo! Go!」（2月10～14日）、日本テレビ「日テレアップDate！」（2月23日）
雑誌	「芸術新潮」（12月号）、「美術の窓」（12月号）、「日経おとなのOFF美術展」（12月号）、「美術展びあ2025」（12月号）、「時空旅人」（7年2月号）、「サライ」（7年2月号）、「発見上手」（冬月号）、「美術の窓」（11月号）、和楽「11月号」ほか
インターネットメディア	美術展ナビ、芸術新潮、歴史人、美術散歩、GOTOTOKYO、月刊うえの、シネフィル、銀座室礼、和楽ウェブ ほか
その他	―
③報道発表会	
実施日	7月4日（木）（平成館大講堂）
人数等	会場出席者：54名
④報道内覧会	
実施日	7年1月20日（月）
人数等	215名出席

【京都国立博物館】
(1)名品ギャラリー（平常展）

・豊臣秀次公430回忌 特集展示「豊臣秀次と瑞泉寺」

会期	6月18日（火） ～8月4日（日）（42日間）
ターゲット	日本美術ファン、歴史ファン、大河ドラマファン
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	館内掲出用のポスター・チラシのみ制作
交通広告	京都駅地下街サイネージ、祇園祭うちわ配布、京都市営地下鉄特殊額面、駅貼り広告(京阪電車：京橋駅、天満橋駅、淀屋橋駅)
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「京都国立博物館だより」掲載	特集2回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、トラりんブログ関連記事1回、トラりんYouTube動画1本、メールマガジンでの情報配信 SNS:当館X（旧Twitter）、Instagram、トラりんX（旧Twitter）・Facebookでの情報発信
その他	―

②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	中外日報、京都民報
テレビ、ラジオ	KBS京都「KBS京都ニュース」（6/18）、「きょうとDays」（6/18）
雑誌	美術の窓（生活の友）、きょうの歳時記（エイブル）、近鉄ニュース（近鉄電車）、関西ウォーカー2024夏（KADOKAWA）、ほか2件
インターネットメディア	瑞泉寺公式サイト（瑞泉寺）、わいず倶楽部（読売新聞）、沿線おでかけ情報（阪急電鉄）、ほか計7件
その他	―

・修理完成記念 特別公開「重要文化財 縹糸威胴丸」

会期	6月18日（火） ～8月4日（日）（42日間）
ターゲット	日本美術ファン、歴史ファン、甲冑ファン
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「京都国立博物館だより」掲載	特集2回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、トラりんブログ関連記事1回、メールマガジンでの情報配信 SNS:当館X（旧Twitter）、Instagram、トラりんX（旧Twitter）・Facebookでの情報発信
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	きょうの歳時記（エイブル）
インターネットメディア	わいず倶楽部（読売新聞）、京都で遊ぼうART（エグザム）、ウェブ版美術手帖　ほか計1件
その他	―

・上田コレクション収蔵記念 特集展示「密教図像の美」

会期	8月7日（水）～9月8日（日）（29日間）
ターゲット	日本美術ファン、歴史ファン、仏教ファン
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	館内掲出用のポスター・チラシのみ制作
交通広告	駅貼り広告(京阪電車：京橋駅、天満橋駅、淀屋橋駅)
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「京都国立博物館だより」掲載	特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、トラりんブログ関連記事1回、メールマガジンでの情報配信 SNS:当館X（旧Twitter）、トラりんX（旧Twitter）・Facebookでの情報発信
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	美術の窓（生活の友社）、きょうの歳時記（エイブル）、近鉄ニュース（近鉄電車）
インターネットメディア	京都新聞ウェブ、京都観光Navi（京都市）、デジスタイル京都（太平印刷）
その他	―

・新春特集展示「巳づくし―干支を愛でる―」

会期	7年1月2日（木）～2月2日（日）（28日間）
ターゲット	日本美術ファン、年末年始の観光客
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供

特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約1,570件（※博物館・美術館・学校（小・中・高・大）、図書館、ギャラリー等）
交通広告	JR京都駅サイネージ、京都駅地下街サイネージ、京都市営地下鉄京都駅ホームドアシート、駅貼り広告(京阪電車：京橋駅、天満橋駅、淀屋橋駅)
新聞・雑誌広告	ー
テレビ広告	ー
「京都国立博物館だより」掲載	予告1回、特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、トラりんブログ関連記事1回、メールマガジンでの情報配信 SNS:当館X（旧Twitter）、Instagram、トラりんX（旧Twitter）・Facebookでの情報発信
その他	ー
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	朝日新聞、リビング京都、新聞赤旗、文化時報
テレビ、ラジオ	ー
雑誌	サきょうの歳時記（エイブル）、近鉄ニュース（近鉄電車）、歴史の旅人（歴史街道推進協議会）、月刊京都（白川書院）　ほか計3件
インターネットメディア	京都観光Navi（京都市）、アートアジェンダ、わいず倶楽部（読売新聞）、美しいキモノ（ハースト婦人画報社）、サライjp（小学館）　ほか計18件
その他	ー

・特集展示「新時代の山城鍛冶―三品派と堀川派―」

会期	7年1月2日（木） ～3月23日（日）（70日間）
ターゲット	刀剣ファン、歴史ファン、坂本龍馬ファン、日本美術ファン
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	ー
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	館内掲出用のポスター・チラシのみ制作
交通広告	JR京都駅サイネージ、京阪各駅（天満橋、北浜、祇園四条、出町柳）サイネージ、駅貼り広告(京阪電車：京橋駅、天満橋駅、淀屋橋駅)
新聞・雑誌広告	ー
テレビ広告	―
「京都国立博物館だより」掲載	特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、トラりんブログ関連記事1回、メールマガジンでの情報配信 SNS:当館X（旧Twitter）、Instagram、トラりんX（旧Twitter）・Facebookでの情報発信
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	文化時報
テレビ、ラジオ	ー
雑誌	きょうの歳時記（エイブル）、CLasism（編集工房XYZ）
インターネットメディア	アートアジェンダ、わいず倶楽部（読売新聞）、沿線おでかけ情報（阪急電鉄）、京都で遊ぼうART（エグザム）、そうだ京都行こう（京都新聞COM）　ほか計8件
その他	SNS広告（Facebook、Instagram）

・特別公開「名刀再臨ー時代を超える優品たちー」

会期	7年1月2日（木） ～3月23日（日）（70日間）
ターゲット	刀剣ファン、歴史ファン、日本美術ファン
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	ー
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	館内掲出用のポスター・チラシのみ制作
交通広告	JR京都駅サイネージ、京阪各駅（天満橋、北浜、祇園四条、出町柳）サイネージ、駅貼り広告(京阪電車：京橋駅、天満橋駅、淀屋橋駅)
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「京都国立博物館だより」掲載	特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、トラりんブログ関連記事1回、トラりんYouTube動画1本、メールマガジンでの情報配信 SNS:当館X（旧Twitter）、Instagram、トラりんX（旧Twitter）・Facebookでの情報発信

その他	SNS広告（Yahoo！）
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	京都新聞、読売新聞
テレビ、ラジオ	―
雑誌	きょうの歳時記（エイブル）、刀剣春秋（宮帯出版）、刀剣画報（ホビージャパン）、週刊文春（文藝春秋）
インターネットメディア	アートアジェンダ、わいず倶楽部（読売新聞）、沿線おでかけ情報（阪急電鉄）、W LIFE　ほか計4件
その他	―

・特集展示「雛まつりと人形」

会期	7年2月15日（土）～3月23日（日）（32日間）
ターゲット	日本美術ファン、人形ファン
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	産経新聞
テレビ広告	―
「京都国立博物館だより」掲載	特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、トラりんブログ関連記事1回、メールマガジンでの情報配信 SNS:当館X（旧Twitter）、Instagram、トラりんX（旧Twitter）・Facebookでの情報発信
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	近鉄ニュース(近鉄電車)
インターネットメディア	JRおでかけネット（インフォメーションテクノロジー関西）、W LIFE、ウェブ版美術手帖、新唐人テレビ　ほか計4件
その他	―

(2)特別展覧会、共催展等

・特別展「雪舟伝説―「画聖（カリスマ）」の誕生―」

会期	4月13日（土）～5月26日（日）（38日間）
ターゲット	雪舟ファン、日本美術ファン、水墨画ファン
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	2,010件（※博物館・美術館・学校（小・中・高・大）、図書館、ギャラリー等）
交通広告	車内吊り広告（JR、京阪）、大阪・京都主要駅サイネージ（JR、京阪、阪急）、JR京都駅地下東口フラッグ
新聞・雑誌広告	日本経済新聞
テレビ広告	テレビ大阪
「京都国立博物館だより」掲載	予告1回、特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、トラりんブログ関連記事3回、トラりんYouTube動画1本、メールマガジン、展覧会公式サイトでの情報配信 SNS:当館X（旧Twitter）、Instagram、トラりんFacebook・X（旧Twitter）、展覧会公式X（旧Twitter）での情報発信
その他	SNS広告（Instagram）
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	日本経済新聞、読売新聞、毎日新聞　ほか計52件
テレビ、ラジオ	NHK Eテレ「日曜美術館アートシーン」（1/1、4/28）、「ねこのめ美じゅつかん」（4/11ほか）、NHK関西ラジオワイド（4/16）　ほか計1件
雑誌	美術の窓（生活の友社）、サライ（小学館）、和樂（小学館）、芸術新潮（新潮社）　ほか計63件
インターネットメディア	ウェブ版美術手帖、美術展ナビ、FASHION PRESS　ほか計62件

その他	南海国際旅行　ほか5件
③報道発表会	
実施日	5年9月27日（水）
人数等	32媒体、36人出席
④報道内覧会	
実施日	5年11月20日（月）
人数等	16媒体、17人出席
⑤報道内覧会	
実施日	4月12日（金）
人数等	80媒体、97人出席

・特別展「法然と極楽浄土」

会期	10月8日（火）～12月1日（日）（48日間）
ターゲット	仏教美術ファン、仏像ファン、浄土宗信徒
重点項目	広く一般のマスコミ及びSNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約2,010件（※博物館・美術館・学校（小・中・高・大）、図書館、ギャラリー等）
交通広告	車内吊り広告(JR、京阪、阪急、近鉄)、大阪・京都主要駅サイネージ（JR、京阪、阪急）
新聞・雑誌広告	読売新聞
テレビ広告	NHKスポット
「京都国立博物館だより」掲載	予告1回、特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB:当館ウェブサイトでの紹介、トラりんブログ関連記事2回、トラりんYouTube動画50本、メールマガジン、展覧会公式サイトでの情報配信 SNS:当館X（旧Twitter）、Instagram、トラりんFacebook・X（旧Twitter）、展覧会公式X（旧Twitter）・Instagramでの情報発信
その他	SNS広告（facebook、Instagram）
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、京都新聞　ほか計89件
テレビ、ラジオ	NHK（関西向け）「ぐるっと関西おひるまえ」（10/10）、NHK関西ラジオワイド（10/25）、NHKラジオ深夜便（11/9）　ほか計6件
雑誌	美術展ぴあ（ぴあ）、芸術新潮（新潮社）、美術の窓（生活の友社）　ほか計59件
インターネットメディア	美術展ナビ、婦人画報デジタル（ハースト婦人画報社）、京都で遊ぼうART（エグザム）　ほか計31件
その他	第一観光
③報道発表会	
実施日	5年10月24日（火）
人数等	30媒体、38人出席
④報道内覧会	
実施日	7月1日（月）
人数等	29媒体、33人出席
⑤報道発表会	
実施日	10月7日（月）
人数等	50媒体、65人出席

【奈良国立博物館】
(1)名品展(平常展)

・名品展「珠玉の仏たち」

会期	常時開催
ターゲット	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術（仏像）ファン、外国人観光客、小・中・高・大学生
重点項目	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術（仏像）ファン、外国人観光客、小・中・高・大学生向けに、マスメディアやSNSを通じた情報提供
特記事項	2017年10月28日より音声ガイド（日・英・中・韓）導入。 2024年6月11日よりこども向け音声ガイド（日・英）サービス開始。
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―

テレビ広告	―
「奈良国立博物館だより」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	関西ウォーカー秋2024、歩いて楽しむ奈良大和路、るるぶドライブ関西ベストコース、るるぶ奈良26　ほか
インターネットメディア	奈良県観光リコメンドサービス、るるぶ&more、MU　ほか
その他	―

・名品展「中国古代青銅器」

会期	常時開催
ターゲット	一般の歴史及び美術ファン、青銅器ファン、外国人観光客、小・中・高・大学生
重点項目	一般の歴史及び美術ファン、青銅器ファン、外国人観光客、小・中・高・大学生向けに、マスメディアやSNSを通じた情報提供
特記事項	2017年10月28日より音声ガイド（日・英・中・韓）導入。
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「奈良国立博物館だより」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	関西ウォーカー秋2024、歩いて楽しむ奈良大和路、るるぶドライブ関西ベストコース、るるぶ奈良26　ほか
インターネットメディア	奈良県観光リコメンドサービス、るるぶ&more、MU　ほか
その他	―

・名品展「珠玉の仏教美術」

会期	12月7日（土）～7年1月13日（月・祝月）、7年2月8日（土）～3月16日（日）
ターゲット	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術（仏像）ファン、外国人観光客、小・中・高・大学生
重点項目	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術（仏像）ファン、外国人観光客、小・中・高・大学生向けに、マスメディアやSNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「奈良国立博物館だより」掲載	紹介1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	―

インターネットメディア	―
その他	―

・名品展　特別公開「金峯山寺仁王門　金剛力士立像」

会期	3年2月23日（火・祝）～10年度予定
ターゲット	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術ファン、小・中・高・大学生
重点項目	―
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「奈良国立博物館だより」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	関西ウォーカー秋2024、歩いて楽しむ奈良大和路、るるぶドライブ関西ベストコース、るるぶ奈良26　ほか
インターネットメディア	奈良県観光リコメンドサービス、るるぶ&more、MU　ほか
その他	―

・特別陳列「泉屋博古館の名宝―住友春翠の愛でた祈りの造形―」

会期	7月20日（土）～9月1日（日）
ターゲット	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術ファン、青銅器ファン、外国人観光客
重点項目	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術ファン、青銅器ファン、外国人観光客向けに一般のマスメディアやSNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約1,780件　博物館、美術館、学校（幼・小・中・高・大）、ギャラリー、社寺、図書館、近隣商店街、文化施設、ホテル・旅館、報道・出版、旅行会社
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「奈良国立博物館だより」掲載	紹介2回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	京都新聞、朝日新聞（7/16）、新美術新聞
テレビ、ラジオ	―
雑誌	美術の窓、和樂8・9月号　ほか
インターネットメディア	アートアジェンダ、奈良ぶら、神戸観光コンシェルジュ、美術手帖、関西美術展案内　ほか
その他	近鉄ニュース、アートの旅、yomiっこ、南海国際旅行チラシ

・わくわくびじゅつギャラリー「フシギ！日本の神さまのびじゅつ」

会期	7月20日（土）～9月1日（日）
ターゲット	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術ファン、小・中・高・大学生、外国人観光客
重点項目	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術ファン、小・中・高・大学生、外国人観光客向けに一般のマスメディアやSNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等

ポスター・チラシ・DM送付	約1,780件　博物館、美術館、学校（幼・小・中・高・大）、ギャラリー、社寺、図書館、近隣商店街、文化施設、ホテル・旅館、報道・出版、旅行会社、教育委員会
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「奈良国立博物館だより」掲載	紹介2回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	京都新聞、新美術新聞、毎日新聞
テレビ、ラジオ	―
雑誌	美術の窓、和樂8・9月号　ほか
インターネットメディア	奈良ぶら、神戸観光コンシェルジュ、美術手帖、Sufmart　ほか
その他	近鉄ニュース、アートの旅、yomiっこ

・特別陳列「東大寺伝来の伎楽面―春日人万呂と基永師―」

会期	10月1日（火）～12月22日（日）
ターゲット	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術ファン、伎楽面ファン、正倉院展に関心のある方
重点項目	広く一般のマスメディアやSNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「奈良国立博物館だより」掲載	紹介1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）
その他	東大寺ウェブサイト
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	京都新聞、産経新聞、朝日新聞（10/15）、新美術新聞
テレビ、ラジオ	―
雑誌	日本歴史、月刊大和路ならら、和樂12・1月号、美術の窓
インターネットメディア	奈良ぶら、Fasion Press、アートアジェンダ、神戸観光コンシェルジュ、美術手帖　ほか
その他	―

・特別陳列「聖武天皇の大嘗祭木簡」

会期	10月22日（火）～11月11日（月）
ターゲット	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術ファン、正倉院展に関心のある方
重点項目	広く一般のマスメディアやSNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「奈良国立博物館だより」掲載	紹介1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）
その他	奈良文化財研究所公式X（旧Twitter）
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	新美術新聞
テレビ、ラジオ	―
雑誌	和樂12・1月号、美術の窓

インターネットメディア	美術手帖
その他	―

・特別陳列「春日若宮おん祭の信仰と美術」

会期	6年12月7日（土）～7年1月13日（月・祝）
ターゲット	おん祭（12/17）前後および年末年始の春日大社参拝客、一般の歴史及び美術ファン、仏教美術ファン
重点項目	おん祭（12/17）前後および年末年始の春日大社参拝客、一般の歴史及び美術ファン、仏教美術ファン向けに一般のマスメディアやSNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約1,700件　博物館、美術館、学校（幼・小・中・高・大）、ギャラリー、社寺、図書館、近隣商店街、文化施設、ホテル・旅館、報道・出版、旅行会社
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「奈良国立博物館だより」掲載	紹介1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	美術新聞、京都新聞、朝日新聞（12/10）
テレビ、ラジオ	―
雑誌	藝術新潮、美術の窓、和樂12.1月号　ほか
インターネットメディア	アートアジェンダ、神戸観光コンシェルジュ、奈良ぶら、美術手帖　ほか
その他	近鉄ニュース12月号、編集サービス12月号

・特集展示「新たに修理された文化財」

会期	6年12月17日（火）～7年1月13日（月・祝）
ターゲット	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術ファン、歴史ファン、写真ファン
重点項目	広く一般のマスメディアやSNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「奈良国立博物館だより」掲載	紹介1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	京都新聞、新美術新聞
テレビ、ラジオ	―
雑誌	美術の窓、和樂12・1月号　ほか
インターネットメディア	美術手帖
その他	―

・特別陳列「お水取り」

会期	7年2月8日（土）～3月16日（日）
ターゲット	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術ファン一般の歴史及び美術ファン、「お水取り」（お松明）を見に来る観光客。
重点項目	広く一般のマスメディアやSNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	

種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約1,700件　博物館、美術館、学校（幼・小・中・高・大）、ギャラリー、社寺、図書館、近隣商店街、文化施設、ホテル・旅館、報道・出版、旅行会社
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「奈良国立博物館だより」掲載	紹介1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	朝日新聞（1/28）、毎日新聞、京都新聞
テレビ、ラジオ	―
雑誌	藝術新潮、美術の窓、和樂12.1月号　ほか
インターネットメディア	アートアジェンダ、神戸観光コンシェルジュ、奈良ぶら、美術手帖　ほか
その他	近鉄ニュース12月号、編集サービス12月号、アートの旅　2025冬号

・特別公開「秘仏 深大寺 元三大師坐像 ―日本最大の肖像彫刻―」

会期	7年1月15日（水）～3月16日（日）
ターゲット	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術ファン
重点項目	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術ファン向けに一般のマスメディアやSNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	国立博物館、近隣の博物館、美術館、観光案内所
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
「奈良国立博物館だより」掲載	紹介1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	宗教新聞、文化時報
テレビ、ラジオ	―
雑誌	―
インターネットメディア	美術手帖、ぱーぷる　ほか
その他	―

(2)特別展、共催展等

生誕1250年記念特別展「空海　KŪKAI―密教のルーツとマンダラ世界」

会期	4月13日（土）～6月9日（日）（51日間）
ターゲット	一般の歴史及び美術ファン、仏教美術（仏像）ファン、歴史ファン、仏像ファン、外国人観光客、空海ファン
重点項目	広く一般のマスメディアやSNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約1,710件　博物館、美術館、学校（幼・小・中・高・大）、ギャラリー、社寺、図書館、近隣商店街、文化施設、ホテル・旅館、報道・出版、旅行会社、展覧会関連社寺
交通広告	近鉄、JR、Osaka Metro、奈良交通、京都市営地下鉄
新聞・雑誌広告	読売新聞
テレビ広告	―
「奈良国立博物館だより」掲載	紹介1回、特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）
その他	展覧会公式サイト、展覧会公式X（旧Twitter）、奈良県サイネージ、奈良市サイネージ
②メディア掲載等	

種類	メディア名称、件数等
新聞	高野山時報、週刊大阪日日新聞、読売新聞、奈良新聞、宗教新聞、産経新聞、毎日新聞　ほか
テレビ、ラジオ	エフエム三木、ならどっとFM、エフエム愛媛【Fine】、ならナビ、FM COCOLO、日曜美術館、FM802　など
雑誌	文化時報、日経おとなのOFF、美術展ぴあ2024、美術の窓、芸術新潮、和樂、月刊美術、懸賞なび、関西ウォーカー　ほか
インターネットメディア	美術展ナビ、Japanマガジン、アートアジェンダ、美術手帖、Yahoo！JAPANニュース、インターネットミュージアム、共同通信、じゃらんnet、おでかけガイド、ウォーカープラス　ほか
その他	InstagramやXなどのSNS、旅行会社など
③報道発表会	
実施日	10月2日（東京にて開催）
人数等	26媒体30名
④報道内覧会	
実施日	―
人数等	―

特別展「第76回正倉院展」

会期	10月26日（土）～11月11日（月）（17日間）
ターゲット	一般の歴史及び美術ファン、正倉院展のリピーター客、外国人観光客
重点項目	一般の歴史及び美術ファン、正倉院展のリピーター客、外国人観光客向けにテレビや新聞など広く一般のマスメディアやSNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約1,710件　博物館、美術館、学校（幼・小・中・高・大）、ギャラリー、社寺、図書館、近隣商店街、文化施設、ホテル・旅館、報道・出版、旅行会社、展覧会関連社寺
交通広告	近鉄、JR、Osaka Metro、奈良交通、東京メトロ
新聞・雑誌広告	中日新聞、中国新聞　ほか
テレビ広告	讀賣テレビ
「奈良国立博物館だより」掲載	特集1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイト、X（旧Twitter）
その他	正倉院展公式サイト、正倉院展公式X（旧Twitter）、奈良県サイネージ、奈良市サイネージ
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	読売新聞、奈良新聞、産経新聞、紀州新聞、中日新聞、熊野新聞、中外日報、新美術新聞、愛媛新聞、岩手日報、朝日新聞　ほか
テレビ、ラジオ	FM COCOLO、ゆうドキ、NHKニュース、かんさい情報ネットten.、中国中央電視台番組、日曜美術館、ktvニュース　ほか
雑誌	季刊「書21」、和樂、中国收藏、目の眼、月刊大和路ならら、文化財発掘出土情報、週刊文春、CANS芸術新聞、なごみ　ほか
インターネットメディア	アートアジェンダ、Fasion Press、旅のひろば、じゃらん、美術展ナビ、神戸観光コンシェルジュ、インターネットミュージアム、ラジトピ、Yahoo！ニュース、奈良ぶら、紡ぐプロジェクト、大人のおしゃれ手帖　ほか
その他	フリーペーパーや会員誌、SNSなど
③報道発表会	
実施日	7月31日
人数等	19媒体、45名
④報道内覧会	
実施日	―
人数等	―

【九州国立博物館】
(1)文化交流展（平常展）

・新収品展

会期	5月21日（火）～7月15日（月・祝）（49日間）
ターゲット	一般の歴史・考古学ファン、文化財に関心のある一般市民等
重点項目	一般のマスメディア、SNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―

交通広告	―
新聞・雑誌広告	九州王国
テレビ広告	―
季刊情報誌「アジアージュ」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、X(旧Twitter)での情報発信、当館刊行物のLINE配信での情報発信、Instagramでの情報発信、当館ブログでの紹介
その他	展示・イベントチラシ掲載、広報だざいふ
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	朝日新聞
テレビ、ラジオ	―
雑誌	―
インターネットメディア	―
その他	―

・さわって体験！本物のひみつ2024

会期	7月17日（水）～10月14日（月・祝）（79日間）
ターゲット	一般の歴史ファン、文化財に関心のある一般市民、視覚や聴覚のある方等
重点項目	一般のマスメディア、SNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約1,150件　美術館、博物館、資料館、図書館、文化センター、各種学校（小・中・高・大・特別支援学校）、自治体文化財課、福祉協議会など
交通広告	特集１回
新聞・雑誌広告	九州王国
テレビ広告	―
季刊情報誌「アジアージュ」掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、X(旧Twitter)での情報発信、Instagramでの情報発信、当館刊行物のLINE配信での情報発信
その他	展示・イベントチラシ掲載、広報だざいふ、参道フラッグ掲出
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	朝日新聞、読売新聞
テレビ、ラジオ	LOVE FM
雑誌	九州王国、月刊はかた、ぐらんざ、旅行読売
インターネットメディア	イベントバンク、福岡おでかけナビ、Walkerplus
その他	―

・人吉球磨の玉手箱

会期	10月22日（火）～12月15日（日）（48日間）
ターゲット	一般の歴史ファン、仏像ファン、文化財に関心のある一般市民、視
重点項目	一般のマスメディア、SNSを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約310件　美術館、博物館、資料館、図書館、文化センター、近隣の学校団体、自治体文化財課など
交通広告	西鉄福岡駅ピールオフ広告
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
季刊情報誌「アジアージュ」掲載	特集１回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報発信、X(旧Twitter)での情報発信、当館刊行物のLINE配信での情報発信、Instagramでの情報発信、YouTubeでの情報発信
その他	展示・イベントチラシ掲載、エントランスバナー設置、参道フラッグ掲出、広報だざいふ
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	西日本新聞、毎日新聞
テレビ、ラジオ	RKBラジオ
雑誌	九州王国、月刊はかた

インターネットメディア	Walkerplus、ファンファン福岡、西日本新聞me、イベントバンク、おでかけナビ、ふくおかみんなで家族月刊
その他	志賀島国民休暇村

・モンゴル襲来の痕跡を探る

会期	10月29日（火）～7年1月19日（日）（65日間）
ターゲット	一般の歴史ファン、文化財に関心のある一般市民、太宰府天満宮参拝客等
重点項目	一般のマスメディア、SNSを通じた情報提供
特記事項	－
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約280件　美術館、博物館、資料館、図書館、文化センター、近隣の学校団体、自治体文化財課など
交通広告	－
新聞・雑誌広告	－
テレビ広告	－
季刊情報誌「アジアージュ」掲載	特集１回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報発信、Twitterでの情報発信、当館刊行物のLINE配信での情報発信、Instagramでの情報発信
その他	展示・イベントチラシ掲載、参道フラッグ掲出、エントランスバナー設置、
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	朝日新聞、西日本新聞
テレビ、ラジオ	ケーブルステーション、RKBラジオ
雑誌	九州王国、月刊はかた、ぐらんざ、サライ
インターネットメディア	Walkerplus、クロスロード福岡、西日本新聞me、イベントバンク、おでかけナビ
その他	志賀島国民休暇村

・晴れなる輝き一徳川美術館所蔵　菊の白露蒔絵調度

会期	7年1月1日（水・祝）～1月26日（日）（23日間）
ターゲット	一般の歴史ファン、太宰府天満宮参拝客、文化財に関心のある一般市民、視
重点項目	一般のマスメディア、SNSを通じた情報提供
特記事項	－
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約330件　美術館、博物館、資料館、図書館、文化センター、近隣の学校団体、自治体文化財課など
交通広告	－
新聞・雑誌広告	－
テレビ広告	－
季刊情報誌「アジアージュ」掲載	特集１回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、メールマガジンでの情報発信、Twitterでの情報発信、当館刊行物のLINE配信での情報発信、Instagramでの情報発信
その他	－
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	－
テレビ、ラジオ	－
雑誌	－
インターネットメディア	Walkerplus、西日本新聞me
その他	展示・イベントチラシ掲載、参道フラッグ掲出、エントランスバナー設置

【皇居三の丸尚蔵館】

(1)企画展（平常展）

・皇居三の丸尚蔵館　開館記念展「皇室のみやびー受け継ぐ美ー」

会期	令和5年11月3日（金・祝）～令和6年6月23日（日）（114日間）
ターゲット	皇室ファン、日本美術・歴史ファン、外国人観光客
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等

ポスター・チラシ・DM送付	613件＋ハガキ件数（美術館、博物館、図書館、ホテル、地方展開開催館、宮内庁、皇居外苑、JNTO TIC等）
交通広告	デジタルサイネージ広告（大手町駅・東京駅・成田空港各ターミナル内）、駅貼りポスター（乃木坂・竹橋駅・三越前駅・大手町駅・表参道駅・恵比寿駅・霞ヶ関駅・二重橋前駅・京橋駅）、チラシポケット（京成スカイライナー）、まど上ポスター（東京メトロ千代田線）
新聞・雑誌広告	読売新聞
テレビ広告	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB：館ウェブサイト、読売新聞社（紡ぐプロジェクト公式サイト）、文化庁ウェブサイト、文化庁広報誌ぶんかる（ウェブサイト）、館公式SNS（Instagram）、JNTO（公式ウェブサイト・Facebook・ニュースレター・ブログ）、エクスポート・ジャパン（Japan guide Travel News）、JTB（Japan Web Magazine・JAPAN INFOCUS）、TOPPAN（Tokyo Weekender）、千代田区（Facebook）
その他	皇居大手門・平川門・北桔橋門の掲示版へ掲示、成田空港第1ターミナル Visitor Service Center内にパンフレット配架
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	読売新聞・毎日新聞・朝日新聞・産経新聞・日本経済新聞・中日新聞・富山新聞・北國新聞・千葉日報・奈良新聞・北陸中日新聞・岩手日日新聞・釧路新聞・島根日日新聞・伊勢新聞・北日本新聞・熊本日日新聞・下野新聞・福井新聞・山形新聞・南海日日新聞・岐阜新聞・十勝毎日新聞・苫小牧民報・陸奥新聞・八重山毎日新聞・デーリー東北・長野日報・茨城新聞・東奥日報・河北新報・山梨日日新聞・高知新聞・埼玉新聞・新潟日報・徳島新聞・茨城新聞・西日本新聞・毎日小学生新聞・文教ニュース・紀州新聞・秋田魁新報・岩手日報・山陰中央新報・愛媛新聞・大分合同新聞・南日本新聞・宮崎日日新聞・高知新聞・いわき民法・北日本新聞・神奈川新聞・市民タイムス・福島民友・南信州新聞・宗教新聞・読売中高生新聞・夕刊フジ・週刊文教ニュース
テレビ、ラジオ	NHK（ニュース、日曜美術館アートシーン）、テレビ朝日（グッド！モーニング、スーパーJチャンネル）、テレビ東京（皇室の窓）、日本テレビ（newsevery、newszero、情報ライブミヤネ屋、ズームイン!!サタデー）、TBS（ゴゴスマ、Nスタ、皇室アルバム）、フジテレビ（FNN LiveNewsdays、FNN LiveNewsα、Live Newsイット！、めざましどようび、日曜報道THE PRIME、皇室ご一家）など
雑誌	女性セブン・週刊ダイヤモンド・週刊新潮・美術の窓・新美術新聞・目の眼・月刊美術・芸術新潮・ムー・婦人画報・エクラ・小さな蕾・美しいキモノ・美じょん新報・墨・茶道雑誌・ひらがなタイムズ・典蔵古美術・AERA dot.・東京人・ACT4 ・中央公論・スカパー！TVガイド・デジタルTVガイド（全国版、関西版）・おとなのデジタルテレビナビ（全国版・関西版）・IN RED・Dream Navi・ノジュール・月刊バレーボール・美術展ナビムック・TV LIFE（首都圏版、関西版）・Kyodo Weekly・TV Station・茶道雑誌・書21・JMS
インターネットメディア	インターネットミュージアム・アートアジェンダ・スフマート・TSUMUGU・ぴあオンライン・Tokyo Live＆Exhibits・イロハニアート・W LIFE・美術展ナビ・美術手帖オンライン・Imoress Watch・リビング東京WEB・JB PRESS・丸の内LOVE Walker・あるくあるけるMAP＆NEWS・TCVB・イーヒルズ、ミュージアムマン、ウェッジ、アイエム・婦人画報デジタル・WEB太陽・Hint-Pot・ひとときWEB　ほんのひととき・ぶらり美術館
その他	T-LIFEツアーパンフレット
③報道発表会	
実施日	令和5年9月29日
人数等	54名
④報道内覧会	
実施日	令和5年11月2日、令和6年1月9日、令和6年3月11日、令和6年5月20日
人数等	86名（11/2）、32名（1/9）、65名（3/11）、55名（5/20）

・展覧会「いきもの賞玩」

会期	令和6年7月9日（火）～令和6年9月1日（日）（48日間）
ターゲット	皇室ファン、日本美術・歴史ファン、外国人観光客
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	613件＋ハガキ件数（美術館、博物館、図書館、ホテル、地方展開開催館、宮内庁、皇居外苑、JNTO TIC等）
交通広告	デジタルサイネージ広告（東京駅・上野駅）、駅貼りポスター（大手町駅・霞ヶ関駅・虎ノ門駅・乃木坂・竹橋駅・三越前駅・恵比寿駅・銀座駅）、大手町駅臨時パネル
新聞・雑誌広告	朝日小学生新聞・東京新聞・読売新聞
テレビ広告	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB：館ウェブサイト、読売新聞社（紡ぐプロジェクト公式サイト）、文化庁ウェブサイト、文化庁広報誌ぶんかる（ウェブサイト）、館公式SNS（Instagram）、JNTO（公式ウェブサイト・Facebook・ニュースレター・ブログ）、エクスポート・ジャパン（Japan guide Travel News）、JTB（Japan Web Magazine・JAPAN INFOCUS）、TOPPAN（Time Out TOKYO）
その他	皇居大手門・平川門・北桔橋門の掲示版へ掲示、成田空港第1ターミナル Visitor Service Center内にパンフレット配架、東京都内郵便局企業広告スペースへの出稿（27カ所）
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等

新聞	読売新聞・毎日新聞・朝日新聞・岩手日日新聞・中国新聞・岐阜新聞・四国新聞・島根日日新聞・東愛知新聞・デーリー東北・北羽新報・上毛新聞・福島民報・山形新聞・長野日報・静岡新聞・北日本新聞・苫小牧民報・新美術新聞
テレビ、ラジオ	テレビ朝日（中居正広の土曜日な会）
雑誌	男の隠れ家・日経トレンディ・中央公論・ひととき・サンデー毎日・週刊新潮・月刊美術・美術の窓・淡交・遠州
インターネットメディア	アートアジェンダ・ファッションプレス・スフマート・紡ぐTSUMUGU: Japan Art & Culture・美術展ナビ・Tokyo Live&Exhibits・SENLY・インターネットミュージアム・美術手帖オンライン・JB Press・あるくあるけるMAP&NEWS・リビング東京web・婦人画報デジタル
その他	千代田図書館内でのパネル掲示
③報道発表会	
実施日	
人数等	
④報道内覧会	
実施日	令和6年7月8日（ムービーカメラ）、令和6年7月9日（ペン・スチール）
人数等	8名（7/8）・48名（7/9）

・展覧会「花鳥風月－水の情景・月の風景」

会期	令和6年9月10日（火）～令和6年10月20日（日）（41日間）
ターゲット	皇室ファン、日本美術・歴史ファン、外国人観光客
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	613件＋ハガキ件数（美術館、博物館、図書館、ホテル、地方展開開催館、宮内庁、皇居外苑、JNTO TIC等）
交通広告	デジタルサイネージ広告（日本橋駅・日比谷駅）、駅貼りポスター（大手町駅・東京駅・上野駅・銀座駅・霞ヶ関駅・虎ノ門駅・乃木坂・京橋駅・三越前駅・恵比寿駅）、車両まど上ポスター（東京メトロ千代田線・東京メトロ半蔵門線）、大手町駅臨時パネル
新聞・雑誌広告	東京新聞・読売新聞2回
テレビ広告	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB：館ウェブサイト、読売新聞社（紡ぐプロジェクト公式サイト）、文化庁ウェブサイト、文化庁広報誌ぶんかる（ウェブサイト）、館公式SNS（Instagram）、JNTO（公式ウェブサイト・Facebook・ニュースレター・ブログ）、エクスポート・ジャパン（Japan guide Travel News）、JTB（Japan Web Magazine・JAPAN INFOCUS）、TOPPAN（Time Out TOKYO）、千代田区（Facebook）
その他	皇居大手門・平川門・北桔橋門の掲示版へ掲示、成田空港第1ターミナル Visitor Service Center内にパンフレット配架、東京都内郵便局企業広告スペースへの出稿（21カ所）、JRE Ads（JR東日本が保有するデータを活用したオリジナル運用型WEB広告）
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	読売新聞・東京新聞・朝日新聞・毎日新聞・産経新聞・中外日報・The Japan News・教育家庭新聞・新美術新聞
テレビ、ラジオ	NHK-Eテレ（日曜美術館）・テレビ朝日（グッド！モーニング）
雑誌	ゆうゆう・サライ・私の花生活・東京人・In RED・中央公論・女性自身・茶道雑誌・書21・月刊ギャラリー
インターネットメディア	ファッションプレス・アートアジェンダ・スフマート・MIRAI・紡ぐTSUMUGU: Japan Art & Culture・ぴあアプリ・美術展ナビ・美術手帖オンライン・Tokyo Live&Exhibits・婦人画報デジタル・リビング東京・ミュージアムピック・美術展ナビ
その他	―
③報道発表会	
実施日	
人数等	
④報道内覧会	
実施日	令和6年9月9日（ムービーカメラ）、令和6年9月10日（ペン・スチール）
人数等	1名（9/9）・42名（9/10）

・展覧会「公家の書」「皇室の美術振興」

会期	令和6年10月29日（火）～令和6年12月22日（日）（55日間）
ターゲット	皇室ファン、日本美術・歴史ファン、外国人観光客・書道家・書道ファン
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供

特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	613件＋ハガキ件数（美術館、博物館、図書館、ホテル、地方展開開催館、宮内庁、皇居外苑、JNTO TIC等）
交通広告	デジタルサイネージ広告（日本橋駅・六本木駅）、駅貼りポスター（大手町駅・上野駅・銀座駅・霞ヶ関駅・虎ノ門駅・表参道駅・竹橋駅・二重橋前駅・東急上野毛駅）、車両ドア横ポスター（都営地下鉄三田線・都営地下鉄浅草線）、大手町駅臨時パネル
新聞・雑誌広告	朝日新聞・毎日新聞　　皇室・墨・芸術新潮
テレビ広告	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB：館ウェブサイト、読売新聞社（紡ぐプロジェクト公式サイト）、文化庁ウェブサイト、文化庁広報誌ぶんかる（ウェブサイト）、館公式SNS（Instagram）、JNTO（公式ウェブサイト・Facebook・ニュースレター・ブログ）、エクスポート・ジャパン（Japan guide Travel News）、JTB（Japan Web Magazine・JAPAN INFOCUS）、TOPPAN（Time Out TOKYO）、千代田区（Facebook）
その他	皇居大手門・平川門・北桔橋門の掲示版へ掲示、成田空港第1ターミナル Visitor Service Center内にパンフレット配架、東京都内郵便局企業広告スペースへの出稿（23カ所）、JRE Ads（JR東日本が保有するデータを活用したオリジナル運用型WEB広告）、丸の内商業施設内デジタルサイネージ95台での広告掲載、トレンドニュースキャスターからの記事配信（トレンドニュースキャスター記事からの転載37媒体）
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	読売新聞・朝日新聞・毎日新聞・産経新聞・中外日報・The Japan News・教育家庭新聞・中日新聞・河北新報・山梨日日新聞・高知新聞・日本海新聞・山形新聞・岐阜新聞・長崎新聞・伊勢新聞・千葉日報・信濃毎日新聞・中国新聞SELECT・福島民報・茨城新聞・新潟日報・秋田魁新報・文教ニュース・中外日報・新美術新聞
テレビ、ラジオ	NHK（ニュース）・テレビ朝日（グッド！モーニング）・YOUテレビ（横浜ミストリー）
雑誌	男の隠れ家・潮・中央公論・美術の窓（11月号・12月号）・美じょん新報・美術の窓・月刊JMS
インターネットメディア	ファッションプレス・アートアジェンダ・スフマート・MIRAI・紡ぐTSUMUGU: Japan Art & Culture・美術展ナビ・美術手帖オンライン・Tokyo Live&Exhibits・リビング東京web・コモレバ・今見られる全国のおすすめ展覧会
その他	Vチューバー（「よろづ萩葉の万葉ちゃんねる」）
③報道発表会	
実施日	
人数等	
④報道内覧会	
実施日	令和6年10月28日（ムービーカメラ）、令和6年10月29日（ペン・スチール）
人数等	9名（10/28）・37名（10/29）

・展覧会「瑞祥のかたち」

会期	令和7年1月4日（土）～令和7年3月2日（日）（58日間）
ターゲット	皇室ファン、日本美術・歴史ファン、外国人観光客
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	613件＋ハガキ件数（美術館、博物館、図書館、ホテル、地方展開開催館、宮内庁、皇居外苑、JNTO TIC等）
交通広告	デジタルサイネージ広告（日本橋駅・六本木駅）、駅貼りポスター（大手町駅・上野駅・霞ヶ関駅・虎ノ門駅・表参道駅・二重橋前駅・六本木駅）、大手町駅臨時パネル、タクシーシェルター広告（コレド日本橋前、有楽町駅京橋口前）
新聞・雑誌広告	産経新聞2回・読売新聞2回・東京新聞　　皇室・婦人画報
テレビ広告	CNNj（スポットCM）
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB：館ウェブサイト、読売新聞社（紡ぐプロジェクト公式サイト）、文化庁ウェブサイト、文化庁広報誌ぶんかる（ウェブサイト）、館公式SNS（Instagram）、JNTO（公式ウェブサイト・Facebook・ニュースレター・ブログ）、エクスポート・ジャパン（Japan guide Travel News）、JTB（Japan Web Magazine・JAPAN INFOCUS）、TOPPAN（Time Out TOKYO）、千代田区（Facebook）
その他	皇居大手門・平川門・北桔橋門の掲示版へ掲示、成田空港第1ターミナル Visitor Service Center内にパンフレット配架、東京都内郵便局企業広告スペースへの出稿（23カ所）、JRE Ads（JR東日本が保有するデータを活用したオリジナル運用型WEB広告）、丸の内商業施設内デジタルサイネージ95台での広告掲載
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	
テレビ、ラジオ	テレビ朝日（グッド！モーニング）
雑誌	
インターネットメディア	
その他	
③報道発表会	

実施日	
人数等	
④報道内覧会	
実施日	令和7年1月6日（ムービーカメラ）、令和7年1月7日（ペン・スチール）
人数等	

・展覧会「百花ひらく」

会期	令和7年3月11日（火）～令和7年5月6日（火・休）（57日間）
ターゲット	皇室ファン、日本美術・歴史ファン、外国人観光客
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	613件＋ハガキ1,243件（美術館、博物館、図書館、ホテル、地方展開開催館、宮内庁、皇居外苑、JNTO TIC等）、千代田区内交換便　22か所
交通広告	デジタルサイネージ（銀座駅、JR上野駅2回、JR東京駅丸の内地下連絡通路2回）、改札ロビジョン（丸ノ内線池袋駅、新宿三丁目駅、霞ヶ関駅2カ所、東西線大手町駅2カ所、千代田線大手町駅2カ所）、駅貼りポスター（東京メトロ大手町駅、霞ヶ関駅、虎ノ門駅、表参道駅、六本木駅、上野駅、日本橋駅、二重橋前駅）、臨時パネル（東京メトロ大手町駅）
新聞・雑誌広告	産経新聞、読売新聞、婦人公論（３月号）
テレビ広告	
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	WEB：館ウェブサイト、読売新聞社（紡ぐプロジェクト公式サイト）、文化庁ウェブサイト、文化庁広報誌ぶんかる（ウェブサイト）、館公式SNS（Instagram）、JNTO（公式ウェブサイト・Facebook・ニュースレター・ブログ）、エクスポート・ジャパン（Japan guide Travel News）、JTB（Japan Web Magazine・JAPAN INFOCUS）、TOPPAN（Time Out TOKYO）、千代田区（Facebook）、「美術手帖オンライン」SNSブー
その他	皇居大手門・平川門・北桔橋門の掲示版へ掲示、東京都内郵便局企業広告スペースへの出稿（23カ所）、JRE Ads（JR東日本が保有するデータを活用したオリジナル運用型WEB広告）、丸の内商業施設内デジタルサイネージ95台での広告掲載、トレンドニュースキャスターからのウェブ記事配信（トレンドニュースキャスター記事からの転載43媒体）、東京国立近代美術館とのセット券販売に伴い、東京国立近代美術館のウェブサイト・チラシへ掲載
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	読売新聞、東京新聞、毎日新聞、朝日新聞、河北新報、、伊勢新聞、岐阜新聞、下野新聞、京都新聞、高知新聞、埼玉新聞、志賀京都新聞、中国新聞、千葉日報、山梨日日新聞、日本海新聞、信濃毎日新聞、新潟日報、福島民報、秋田魁新報、長野市民新聞、文教ニュース、聖教新聞
テレビ、ラジオ	NHK-Eテレ（日曜美術館）・テレビ朝日（グッド！モーニング）
雑誌	きものサロン、園芸ガイド、中央公論、ハルメク、男の隠れ家、サンデー毎日、芸術新潮、淡交、新美術新聞、月刊美術、アートコレクターズ、いけ花龍生
インターネットメディア	ファッションプレス、アートアジェンダ、MIRAI、美術展ナビ、スフマート（2/1）、目の眼、TSUMUGU、ぴあアプリ、丸の内LOVE Waiker、コモレバ、婦人画報デジタル、日英協会Facebook、美術手帖オンライン、アート噺、アート噺（Instagramリール）、TOKYO WALKING、スフマート（3/24）、JB PREESS
その他	ツアーパンフレット（エアトラベル徳島）
③報道発表会	
実施日	
人数等	
④報道内覧会	
実施日	令和7年3月10日（ムービーカメラ）、令和7年3月11日（ペン・スチール）
人数等	4名（3/10）・64名（3/11）

【平城宮跡資料館】

(1)平常展

会期	4月1日（土）～7年3月31日（日）（301日間）
ターゲット	平城宮跡訪問者、考古学愛好家
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
広報刊行物掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、SNSでの情報配信
その他	―

②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	朝日新聞、読売新聞
テレビ、ラジオ	―
雑誌	―
インターネットメディア	―
その他	―

(2)特別展等

・平城宮いざない館 企画展示室 令和6年度夏期企画展「万葉挽歌（レクイエム）－人形からみる古の奈良－」

会期	7月13日（土）～ 9月1日（日）（51日間）
ターゲット	平城宮跡訪問者、考古学愛好家
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	735件(博物館・研究機関・教育委員会・神社、寺・大学・旅行会社・観光、報道関係等)
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
広報刊行物掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、SNSでの情報配信
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	毎日新聞、産経新聞、奈良新聞、読売新聞、朝日新聞、
テレビ、ラジオ	―
雑誌	―
インターネットメディア	―
その他	―
③報道発表会	
実施日	7月12日
人数等	7媒体（場所：平城宮いざない館企画展示室）
④報道内覧会	
実施日	―
人数等	―

・令和6年度平城宮跡資料館秋期特別展「聖武天皇が即位したとき。―聖武天皇即位1300年記念―」

会期	10月22日（火）～12月8日（日）（42日間）
ターゲット	平城宮跡訪問者、考古学愛好家
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	733件(博物館・研究機関・教育委員会・神社、寺・大学・旅行会社・観光、報道関係等)
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
広報刊行物掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、SNSでの情報配信
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	毎日新聞、産経新聞、奈良新聞、読売新聞、朝日新聞、中外日報
テレビ、ラジオ	奈良テレビ、KCN
雑誌	―

インターネットメディア	―
その他	―
③報道発表会	
実施日	10月17日
人数等	7媒体（場所：平城宮跡資料館展示室）
④報道内覧会	
実施日	―
人数等	―

・奈良国立博物館特別陳列「聖武天皇の大嘗祭木簡」（奈良国立博物館と共催）

会期	10月22日（火）～11月11日（月）（21日間）
ターゲット	奈良国立博物館訪問者、考古学・歴史愛好家
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
広報刊行物掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、SNSでの情報配信
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	読売新聞、朝日新聞、産経新聞、毎日新聞、奈良新聞、共同通信、京阪神エルマガジン社
テレビ、ラジオ	NHK、奈良テレビ、KCN
雑誌	―
インターネットメディア	―
その他	―
③報道発表会	
実施日	10月2日
人数等	10媒体（場所：奈良文化財研究所大会議室）
④報道内覧会	
実施日	10月21日
人数等	12媒体（場所：奈良国立博物館）

・令和6年度平城宮跡資料館春期企画展UnEarth2025

会期	令和7年2月15日(土) ～ 4月13日(日)（令和6年度は38日間）
ターゲット	平城宮跡訪問者、考古学愛好家
重点項目	広く一般のマスコミを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
広報刊行物掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、SNSでの情報配信
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	―

インターネットメディア	―
その他	―
③報道発表会	
実施日	2月14日
人数等	4媒体（場所：平城宮跡資料館展示室）
④報道内覧会	
実施日	―
人数等	―

【藤原宮跡資料室】

(1)平常展

会期	4月1日（月）～3月31日（月）（351日間）
ターゲット	特別史跡藤原宮跡等見学者、香具山等周辺遺跡への訪問者
重点項目	飛鳥・藤原地域での発掘・調査研究の成果と遺跡理解の促進
特記事項	新聞・インターネットメディア等で展示紹介記事掲載
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
広報刊行物掲載	旅行ガイドブック、奈良県ポータルサイト等に掲載
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	―
その他	橿原市観光案内所等にリーフレット配置
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	―
雑誌	まっぷるマガジン奈良
インターネットメディア	奈良県観光局奈良まほろば館よりSNS投稿
その他	―

【飛鳥資料館】

(1)平常展

会期	4月1日（月）～7年3月31日（月）（301日間）
ターゲット	飛鳥を訪れる観光客、歴史・考古学の愛好家など
重点項目	広く一般のマスコミ、SNS、ウェブを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	―
交通広告	―
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
広報刊行物掲載	―
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、SNSでの情報配信
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名、件数等
新聞	―
テレビ、ラジオ	（ラジオ）ＦＭヤマト
雑誌	るるぶ奈良、奈良散策情報まっぷる情報、東海歴史散歩、　ほか
インターネットメディア	あをによしなら旅ネット、日本政府観光局グローバルサイト、るるぶウェブサイト、奈良のミュージアム
その他	―

(2)特別展等

・ミニ展示「高松塚古墳壁画 国宝指定50周年記念展」

会期	4月19日（金）～5月19日（日）(27日間)
ターゲット	歴史・考古学愛好家など
重点項目	広く一般のマスコミ、SNS、ウェブを通じた情報提供
特記事項	—
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約17件(近隣観光施設等)
交通広告	—
新聞・雑誌広告	—
テレビ広告	—
広報刊行物掲載	奈文研ニュース告知1回
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、ブログ、SNSでの情報配信
その他	—
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	奈良新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞
テレビ、ラジオ	—
雑誌	広報あすか
インターネットメディア	なら旅ネット
その他	橿原ナビプラザ
③報道発表会	
実施日	4月22日
人数等	7媒体（場所：飛鳥資料館特別展示室）
④報道内覧会	
実施日	—
人数等	—

・夏期企画展「第15回 写真コンテスト作品展「飛鳥の音」」

会期	7月12日（金）～9月16日（月）(56日間)
ターゲット	歴史・考古学愛好家、写真愛好家、飛鳥を散策したい観光客、
重点項目	写真投稿サイト、写真雑誌、地域の写真サークル、高校・大学の写真部などへの情報提供
特記事項	—
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約1,026件(47都道府県博物館・美術館・教育委員会・調査機関・寺社・図書館・大学、高校・中学･小学校(県内)・道の駅・ホテル・旅館、近隣観光施設等)
交通広告	近鉄沿線主要駅駅にチラシ配置
新聞・雑誌広告	—
テレビ広告	—
広報刊行物掲載	文化庁広報誌ぶんかる「文化財のトビラ」
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、ブログ、SNSでの情報配信
その他	—
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	奈良新聞、読売新聞
テレビ、ラジオ	—
雑誌	広報あすか
インターネットメディア	インターネットミュージアム、イベントバンク、チラシミュージアム、なら旅ネットほか
その他	橿原ナビプラザ
③報道発表会	
実施日	—
人数等	—
④報道内覧会	
実施日	—
人数等	—

・秋期特別展「水と暮らしの風景史-古地図と景観がひらく飛鳥」

会期	10月4日（金）～12月1日（日）(51日間)
ターゲット	歴史・考古学愛好家など
重点項目	広く一般のマスコミ、SNS、ウェブを通じた情報提供
特記事項	―
①広告・広報	
種類	設置場所、件数等
ポスター・チラシ・DM送付	約1,461件(47都道府県博物館・美術館・教育委員会・調査機関・寺社・図書館・大学、高校・中学･小学校(県内）・道の駅・ホテル・旅館、近隣観光施設等)
交通広告	近鉄沿線主要駅にチラシ配置
新聞・雑誌広告	―
テレビ広告	―
広報刊行物掲載	文化庁広報誌ぶんかる「文化財のトビラ」
博物館ウェブサイト、SNSによる発信	当館ウェブサイトでの紹介、ブログ、SNSでの情報配信
その他	―
②メディア掲載等	
種類	メディア名称、件数等
新聞	朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、奈良新聞、産経新聞
テレビ、ラジオ	NHKテレビとラジオ
雑誌	広報あすか　月刊奈良　ほか
インターネットメディア	インターネットミュージアムイベントバンク、チラシミュージアム、なら旅ネットほか
その他	橿原ナビプラザ
③報道発表会	
実施日	10月3日
人数等	3媒体（場所：飛鳥資料館特別展示室）
④報道内覧会	
実施日	―
人数等	―

1-(3)-②-6 広報刊行物一覧

【本部】

刊　行　物　名	発　行　部　数	配　　布　　先
文化財活用センター事業報告書2023年度	200部	・視察者、関係施設等に配布 ・関係省庁等に配布
2023年度ぶんかつアウトリーチプログラム報告書	300部	・文化庁、首都圏小中学校、都道府県教育委員会、都道府県教育センター、国内の美術館・博物館等に送付及び配布
2026年度　国立文化財機構所蔵品貸与促進事業実施対象館募集　チラシ	2,500部	・地方公共団体、国内の美術館・博物館等に送付及び配布
デジタル法隆寺宝物館リーフレット（日英中韓）	(増刷)日本語33,000部／英語6,000部 中国語5,000部	・館内で来館者に無償配布
2025年度ぶんかつアウトリーチプログラム募集　パンフレット	3,000部	・首都圏小中学校、都道府県教育委員会、都道府県の教育センター、国内の美術館・博物館等に送付及び配布
2025年度なぶんけん×ぶんかつアウトリーチプログラム募集　チラシ	4,500部	・近畿小中学校、都道府県教育委員会、国内の美術館・博物館・埋文センター等に送付及び配布
「埴輪 踊る人々」の修理	300部	・踊る埴輪＆見返り美人修理プロジェクト寄附者等及び関係者に配布
独立行政法人国立文化財機構 遺贈・相続財産寄附のご案内	300部	・文化財活用センターウェブサイトにて公開 ・希望者へ無償配布

【東京国立博物館】

刊　行　物　名	発　行　部　数	配　　布　　先
東京国立博物館ニュース	6・7・8月号　40,000部 9・10・11月号　40,000部 12月・7年1・2月号　40,000部 7年3・4・5月号　40,000部	来館者、マスコミ媒体（新聞・雑誌・放送局各社）、定期郵送希望者、友の会・賛助会等会員、キャンパスメンバーズ会員校、国内外の美術館・博物館・大学・研究所等に送付
東京国立博物館総合案内パンフレット 5年3月改訂	日本語　66,500部 英語　69,500部 中国語（簡体字）　35,000部 中国語（繁体字）　14,000部 韓国語　11,000部 フランス語　17,000部 スペイン語　6,000部 ドイツ語　5,000部	館内で来館者に無償配布、ウェブサイトにPDFを掲出

【京都国立博物館】

刊　行　物　名	発　行　部　数	配　　布　　先
京都国立博物館だより	222号（4・5・6月）　15,000部 223号（7・8・9月）　10,000部+増刷5,000部 224号（10・11・12月）　13,000部 225号（7年1・2・3月）　10,000部	館内で来館者に無償配布 新聞・雑誌・放送局各社、学校・図書館・美術館・博物館ほか郵送希望者にも発送
Kyoto National Museum Newsletter	Vol.161（4・5・6月）　3,000部 Vol.162（7・8・9月）　3,000部 Vol.163（10・11・12月）3,000部 Vol.164（7年1・2・3月）3,000部	館内で来館者に無償配布
2024年度年間スケジュール	10,000部+増刷5,000部	館内で来館者に無償配布 新聞・雑誌・放送局各社、学校・図書館・美術館・博物館ほか郵送希望者にも発送
京都国立博物館　平成知新館 展示案内 6年8月増刷	中国語（簡体字）4,000部 韓国語　1,000部 フランス語　1,000部 スペイン語　1,000部	館内で来館者に無償配布
京都国立博物館パンフレット2022	4年度の残部を使用し新規印刷は無し	来訪者に無償配布

【奈良国立博物館】

刊　行　物　名	発　行　部　数	配　　布　　先
奈良国立博物館だより （年4回）	春(129)号　20,000部 夏(130)号　20,000部 秋(131)号　20,000部 冬(132)号　20,000部	美術館・博物館・学校・研究所・寄託者・寄贈者・郵送希望者等　約1,430件に発送
奈良国立博物館展示案内	25,000部	館内で来館者に配布 奈良国立博物館だより130号送付時に同封

刊　行　物　名	発 行 部 数	配　　布　　先
奈良国立博物館リーフレット	和文は昨年度の残部を使用し新規印刷は無し	館内で来館者に配布

【九州国立博物館】

刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
九州国立博物館案内リーフレット	日本語版　30,000部 中国語版（簡体字）　5,000部 中国語版（繁体字）　3,000部 韓国語版　3,500部 英語版　6,000部 ドイツ語版　500部 フランス語版　1,000部 スペイン語版　500部 合計　49,500部	・館内で来館者に配布 ・学校関係、視察者等へ配布
文化交流展示室案内マップ	日本語版　12,900部 合計　12,900部	・館内で来館者に配布 ・学校関係、視察者等へ配布
九州国立博物館概要	日本語版　1,500部 中国語版　300部 韓国語版　300部 英語版　400部 合計　2,500部	・視察者等に配布 ・学校関係へ郵送
季刊情報誌「アジアージュ」	春(72)号　45,000部 夏(73)号　45,000部 秋(74)号　45,000部 冬(75)号　45,000部 合計　180,000部	・館内で来館者に配布 ・美術館・博物館、近隣文化施設、県内市町村 近隣大学、太宰府市、友の会会員等へ郵送
九州国立博物館の展示並びにイベントのご案内	隔月発行　各号16,000部	・館内で来館者に配布 ・郵便局、学校、図書館、ホテル、公共施設、道の駅等に配布
九州国立博物館　2024年間スケジュール	10,000部	・館内で来館者に配布 ・近隣駅、観光案内所等で配布
きゅーはくきゃらばん利用ガイド	2,000部	・館内で来館した学校に配布 ・アウトリーチ活動（きゅーはくきゃらばん）で出向いた学校・イベント先で配布

【皇居三の丸尚蔵館】

刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
皇居三の丸尚蔵館案内リーフレット	日本語版　増刷6,000部	・館内で来館者に無償配布 ・美術館・博物館、近隣施設、ホテルへ郵送 ・東京観光デジタルパンフレットギャラリーにPDFを掲出 ※掲出は以下の5言語6種 ・日本語版 ・中国語版（簡体字） ・中国語版（繁体字） ・韓国語版 ・英語版 ・フランス語版

1-(3)-②-7 ウェブサイトアクセス件数　　（後述の資料に記載）◎共通資料d

1-(5) 国内外の博物館活動への寄与

1-(5)-① 国内外の博物館等への有形文化財の貸与

1-(5)-①-1国内外の博物館等への所蔵品・寄託品貸与件数

令和7年3月31日現在

		国立博物館計			東京国立博物館			京都国立博物館			奈良国立博物館			九州国立博物館			皇居三の丸尚蔵館		
		計	国内	海外	計	国内	海外	計	国内	海外	計	国内	海外	計	国内	海外	計	国内	海外
貸与先件数		229	220	9	98	91	7	71	71	0	30	30	0	30	28	2	0	0	0
合　　計		1,386	1,345	41	611	578	33	338	338	0	336	336	0	101	93	8	0	0	0
絵画		440	434	6	132	132	0	170	170	0	119	119	0	19	13	6	0	0	0
書跡		138	137	1	30	29	1	53	53	0	48	48	0	7	7	0	0	0	0
彫刻		87	87	0	9	9	0	27	27	0	51	51	0	0	0	0	0	0	0
建築		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
金工		106	105	1	45	44	1	13	13	0	43	43	0	5	5	0	0	0	0
刀剣		9	9	0	5	5	0		0	0	2	2	0	2	2	0	0	0	0
陶磁		32	32	0	11	11	0	7	7	0	0	0	0	14	14	0	0	0	0
漆工		63	43	20	39	19	20	10	10	0	14	14	0	0	0	0	0	0	0
染織		54	48	6	13	8	5	25	25	0	12	12	0	4	3	1	0	0	0
考古		251	250	1	139	138	1	28	28	0	47	47	0	37	37	0	0	0	0
民族資料		2	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歴史資料		28	27	1	16	16	0	5	5	0	0	0	0	7	6	1	0	0	0
和書		13	13	0	8	8	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	0
写真資料		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東洋	絵画	9	9	0	9	9	0												
	書跡	4	4	0	4	4	0												
	彫刻	14	14	0	14	14	0												
	金工	1	0	1	1	0	1												
	陶磁	14	12	2	14	12	2												
	漆工	1	1	0	1	1	0												
	染織	3	2	1	3	2	1												
	考古	33	32	1	33	32	1												
	民族	1	1	0	1	1	0												
法隆寺献納宝物		0	0	0	0	0	0												
黒田記念館収蔵品		71	71	0	71	71	0												
その他		11	11	0	11	11	0												

＊巡回展等で複数館に貸与する場合は、それぞれ館数と文化財件数をカウント。

付表・貸与件数の推移

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
貸与先件数		204	236	236	241	229
合　　計		1,235	1,688	1,579	1,584	1,386
絵画		278	411	417	395	440
書跡		67	78	122	90	138
彫刻		124	165	127	158	87
建築		16	9	7	3	1
金工		89	150	69	129	106
刀剣		26	30	13	10	9
陶磁		58	81	91	87	32
漆工		135	127	131	85	63
染織		105	97	42	47	54
考古		164	239	341	388	251
民族資料		0	60	45	1	2
歴史資料		33	21	17	20	28
和書		8	9	37	23	13
写真資料		0	0	11	0	0
東洋	絵画	30	23	9	26	9
	書跡	8	13	9	14	4
	彫刻	19	6	2	2	14
	金工	0	0	0	0	1
	陶磁	5	45	30	22	14
	漆工	2	4	2	6	1
	染織	0	0	0	1	3
	考古	22	55	38	48	33
	民族	0	0	0	0	1
法隆寺献納宝物		43	47	0	0	0
黒田記念館収蔵品		3	18	11	14	71
その他		0	0	8	15	11

＊東京国立博物館は、列品管理規程による「旧東洋課所掌分」あり。

1-(5)-①-2 国内外の博物館等への所蔵品・寄託品貸与先別件数

○所蔵品　　令和7年3月31日現在

	国立博物館計	
	貸与先件数	文化財件数
合計（国内+海外）	186	1,018
国内	177	984
国・国立	30	165
地方・公立	102	648
私立団体	45	171
海外	9	34

	東京国立博物館		京都国立博物館		奈良国立博物館		九州国立博物館		皇居三の丸尚蔵館	
	貸与先件数	文化財件数	貸与先件数	文化財件数	貸与先件数	文化財件数	貸与先件数	文化財件数	貸与先件数	文化財件数
合計（国内+海外）	91	543	49	157	22	258	24	60	0	0
国内	84	511	49	157	22	258	22	58	0	0
国・国立	12	97	10	47	3	9	5	12	0	0
地方・公立	50	296	22	74	15	235	15	43	0	0
私立団体	22	118	17	36	4	14	2	3	0	0
海外	7	32	0	0	0	0	2	2	0	0

○寄託品　　令和7年3月31日現在

	国立博物館計	
	貸与先件数	文化財件数
合計（国内+海外）	89	354
国内	86	347
国・国立	19	129
地方・公立	43	155
私立団体	24	63
海外	3	7

	東京国立博物館		京都国立博物館		奈良国立博物館		九州国立博物館		皇居三の丸尚蔵館	
	貸与先件数	文化財件数	貸与先件数	文化財件数	貸与先件数	文化財件数	貸与先件数	文化財件数	貸与先件数	文化財件数
合計（国内+海外）	20	68	39	181	21	78	9	27	0	0
国内	19	67	39	181	21	78	7	21	0	0
国・国立	4	15	8	93	3	15	4	6	0	0
地方・公立	8	32	20	70	13	40	2	13	0	0
私立団体	7	20	11	18	5	23	1	2	0	0
海外	1	1	0	0	0	0	2	6	0	0

［参考］

○長期借用品

令和7年3月31日現在

	皇居三の丸尚蔵館	
	貸与先件数	文化財件数
合計（国内+海外）	16	181
国内	16	181
国・国立	0	0
地方・公立	13	178
私立団体	3	3
海外	0	0

1-(5)-①-3 海外への列品貸与

令和7年3月31日現在

【東京国立博物館】　外貸与先　9件　　海外貸与文化財40件[うち寄託品1件]

	展覧会名称	申請者 【 会場 】	貸与期間	種別・員数
1	常設展示（長期貸与）	フランス国立ギメ美術館【フランス国立ギメ美術館（フランス共和国パリ市）】	平成14年1月1日～7年12月31日	2件 東洋彫刻2件
2	常設展示「日本 仏教彫刻の世界」（長期貸与）	国立中央博物館（大韓民国ソウル市）	4年3月13日～6年10月29日	5件 彫刻5
3	企画展「東アジア仏教美術と女性」	三星文化財団 湖巌美術館（大韓民国京畿道龍仁市）	6年3月5日～7月5日	4件 染織3件（うち寄託品1件） 東洋染織1件
4	韓日中国立博物館共同特別展「三国三色ー東アジアの漆器」	国立中央博物館（大韓民国ソウル市）	6年7月10日～9月22日	14件 漆工14
5	「万国津梁：東アジアの海に浮かぶ琉球王国」	國立故宮博物院南部院区（台湾）	6年8月13日～12月20日	3件 書跡1 染織2
6	「儒家文化特別展」	故宮博物院（中華人民共和国北京市）	6年9月9日～7年1月24日	6件 漆工6件
7	「シルクロード」	大英博物館（英国ロンドン）	6年9月17日～7年3月21日	2件 彫刻1件 金工1件
8	特別展「高麗時代の象形青磁」	国立中央博物館（大韓民国ソウル市）	6年11月5日～7年3月24日	2件 東洋陶磁2件
9	「過去をかたどる：中国における青銅の力1100ー1900」	メトロポリタン美術館（米国ニューヨーク市）	7年2月10日～10月17日	2件 東洋金工1 東洋考古1

【京都国立博物館】　海外貸与先 0件　　海外貸与文化財　0件[うち寄託品 0件]

【奈良国立博物館】　海外貸与先 0件　　海外貸与文化財 0件[うち寄託品 0件]

	展覧会名称	申請者 【 会場 】	貸与期間	種別・員数

【九州国立博物館】　海外貸与先 2件　　海外貸与文化財 8件[うち寄託品 6件]

	展覧会名称	申請者 【 会場 】	貸与期間	種別・員数
1	「東アジア仏教美術と女性」	三星文化財団【湖巌美術館】（大韓民国京畿道龍仁市）	6年2月26日～5月24日	3件 （うち寄託品2件） 絵画3
2	「万国津梁：東アジアの海に浮かぶ琉球」	國立故宮博物院（南部院区）（中華民国嘉義縣太保市）	6年8月1日～12月27日	5件 （うち寄託品4件） 絵画3件 染織1件 歴史資料1件

1-(5)-①-4 考古の相互貸借実績

無し

1-(5)-② 国内外の博物館等への援助・助言等

1-(5)-②-1 国内外の博物館への援助・助言等に関する取組状況
（専門的・技術的な援助・助言の件数、行政、公私立博物館等の各種委員会等の各種委員等への就任件数、依頼事項への対応件数等）

【東京国立博物館】182件

	機　関	内　容	期　間	担　当　者
1	東京国立近代美術館	評議委員	10月31日	学芸企画部長　松嶋雅人
2	国際展覧会オーガナイザー	日本の特別展運営について	4月11日～12日	学芸企画部上席研究員　鬼頭智美
3	文化庁	令和6年度美術品補償制度部会・専門調査会委員	6月1日～3月31日	学芸企画部上席研究員　鬼頭智美
4	エルメス財団	展示作品のメンテナンスについて	6月25日～9月23日	学芸企画部上席研究員　鬼頭智美
5	文化庁	博物館での現代美術展示企画について	8月7日	学芸企画部上席研究員　鬼頭智美
6	国立民族学博物館 JICA委託研修「博物館とコミュニティ開発コース」	日本の国立博物館～東京国立博物館概要説明	11月14日	学芸企画部上席研究員　鬼頭智美
7	美術解剖学会	美術解剖学会 第29回美術解剖学会大会　大会実行委員長	7月20日	学芸企画部上席研究員　木下史青
8	神奈川県教育委員会教育局	空間づくりのための照明（神奈川県立図書館（前川國男館）の再整備に関する意見聴取）	11月8日	学芸企画部上席研究員　木下史青
9	品川区O美術館	特別展「金工／鍛金の世界「相武常雄 沌・転・歓・展」」開催に関わる展示及び照明（監修業務）	10月19日～7年11月27日	学芸企画部上席研究員　木下史青
10	一般社団法人 照明学会	日本照明賞審査委員会	10月22日～12月10日	学芸企画部上席研究員　木下史青
11	宗教法人 平等院	登録博物館館(鳳翔館)照明および史跡名勝庭園の展示照明ならびに夜間拝観照明	12月1日～12月30日	学芸企画部上席研究員　木下史青
12	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館	特別展の展示照明に関する指導（大型絵画・刀剣等）	7年3月13日	学芸企画部上席研究員　木下史青
13	小平市役所	小平市文化財審議審議会委員	4月1日～7年3月31日	企画課海外展室研究員　勝木言一郎
14	大分県立歴史博物館	博物館運営に係る協議委員会	5年4月～7年3月	企画課長・原田あゆみ
15	岡山県文化財保護審議会　委員	文化財保護審議会委員	4月1日～7年3月31日	企画課特別展室長　佐藤寛介
16	鳥取県文化財保護審議会　委員	文化財保護審議会委員	4月1日～7年3月31日	企画課特別展室長　佐藤寛介
17	文化庁	第13回指定文化財（美術工芸品）企画展示セミナー講師	7月8日	企画課特別展室長　佐藤寛介
18	備前長船刀剣博物館	展示指導	7月24日、8月19日	企画課特別展室長　佐藤寛介
19	徳川美術館	講演会	8月4日	企画課特別展室長　佐藤寛介
20	公益財団法人 瀬戸内市歴史まちづくり財団	講演会	12月7日	企画課特別展室長　佐藤寛介
21	NHK歴史探偵 「サムライたちの甲冑」	監修、出演	7年1月22日	企画課特別展室長　佐藤寛介
22	文化庁	国宝春日大社所蔵古神宝類復元模造事業審査委員会委員	7年2月7日～3月31日	企画課特別展室長　佐藤寛介
23	Smarthistory 「Samurai Armor (Gusoku) with a Two-Piece Cuirass and Black Lacing」	監修、出演	7年2月10日～	企画課特別展室長　佐藤寛介
24	NHK WORLD JAPAN 「Japanese Sword in Kabuki」	監修、出演	7年2月23日～	企画課特別展室長　佐藤寛介
25	公益財団法人根津美術館	有形文化財買取委員会臨時委員	6月19日	企画課特別展室主任研究員　福島 修
26	公益社団法人日本工芸会	日本伝統工芸展漆芸部会出品者研究会	9月12日	企画課特別展室主任研究員　福島 修
27	公益社団法人日本工芸会	日本伝統工芸展漆芸部門第一次鑑査委員	7月26日	企画課特別展室主任研究員　福島 修
28	東京都生活文化スポーツ局	東京都江戸東京博物館資料収蔵委員会資料評価部会（工芸品・生活民俗部会）臨時委員	10月3日	企画課特別展室主任研究員　福島 修
29	文化庁	皇居三の丸尚蔵館所蔵文化財（工芸品・漆工）保存修理事業」審査委員会委員	7年3月12日	企画課特別展室主任研究員　福島修
30	香川県教育委員会	文化財指定事業に関わる助言（銅鐸）	7月～7年3月	企画課特別展室研究員　菊池望
31	江戸東京博物館	展示ケースデザインに関する指導助言	8月1日～12月31日	企画課デザイン室長　矢野賀一
32	福岡市博物館	展示ケースデザインに関する指導助言	7月5日	企画課デザイン室長　矢野賀一
33	福岡県立美術館	展示ケースデザインに関する指導助言	10月3日	企画課デザイン室長　矢野賀一
34	フィリピン・ロペス美術館	展示ケースデザインに関する指導助言	11月11日	企画課デザイン室長　矢野賀一
35	江戸東京博物館	改修に伴う展示キャプション、グラフィックについての助言	9月27日	企画課デザイン室研究員　荻堂正博
36	一般社団法人　霞会館	松方コレクション由来所蔵品に関する助言	9月19日	企画課出版企画室主任研究員　遠藤楽子
37	文化庁	国宝奈良県藤ノ木古墳出土品保存修理事業協力者会議の協力者として助言・協力	委嘱承認日～7年3月31日	企画課海外展室長　品川欣也
38	国立アイヌ民族博物館	国立アイヌ博物館買取協議会委員として助言・協力	6月1日～8年3月31日	企画課海外展室長　品川欣也
39	国立アイヌ民族博物館	国立アイヌ博物館運営会議内学術交流ワーキング会議構成員として助言・協力	6月15日～7年3月31日	企画課海外展室長　品川欣也
40	国立アイヌ民族博物館	国立アイヌ博物館運営会議内構成員として助言・協力	6月25日～8年3月31日	企画課海外展室長　品川欣也

41	郡山市文化スポーツ部国際政策課	郡山市内に開会予定の博物館の展示解説にかかる多言語化への助言・協力	7月1日	企画課海外展室長　品川欣也
42	国立民族博物館・福岡大学	館蔵台湾民族資料の調査研究にかかる助言・協力	8月23日	企画課海外展室長　品川欣也
43	公益財団法人アイヌ民族文化財団	ウポポイ（民族共生象徴空間）で開催される企画事業にかかる助言・協力	10月3日	企画課海外展室長　品川欣也
44	ケ・ブランリ美術館	同館で2027年に開催予定に特別展の運営に関する助言・協力	10月30日	企画課海外展室長　品川欣也
45	リコージャパン	3Dプリンタ用いた文化財の復元模造にかかる助言	12月3日	企画課海外展室長　品川欣也
46	台湾国立史前文化博物館	同館で2026年に開催予定に特別展の運営に関する助言・協力	12月6日	企画課海外展室長　品川欣也
47	京都国立博物館	同館の国際連携調査に関する助言・協力	7年3月10日	企画課海外展室長　品川欣也
48	茨城県立歴史館	茨城県立歴史館協議会委員	4月～7年3月	企画課海外展室主任研究員　高橋真作
49	公益財団法人氏家浮世絵コレクション	評議員	7月1日～	企画課海外展室主任研究員　高橋真作
50	日本博物館協会	美術品梱包技能取得認定試験の試験監督・審査員	7年2月2日	企画課海外展室主任研究員　高橋真作、博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一、学芸研究部特任研究員　今井敦、調査研究課工芸室主任研究員　清水健、調査研究課絵画・彫刻室研究員　村瀬可奈ほか
51	茨城県立歴史館	展示指導（特別展「雪村 ー常陸に生まれし遊歴の画僧ー」）	7年3月10日	企画課海外展室主任研究員　高橋真作
52	東京都立上野高等学校	学校連絡協議会委員	4月1日～7年3月31日	博物館教育課長　鈴木みどり
53	岡山県立美術館	センサリーマップについて	5月14日	博物館教育課長　鈴木みどり
54	東京藝術大学	博物館と福祉について	5月25日	博物館教育課長　鈴木みどり
55	東海大学	博物館での他施設・他分野連携について	7月3日	博物館教育課長　鈴木みどり
56	大阪大学大学院	センサリーマップについて	7月12日	博物館教育課長　鈴木みどり
57	切手の博物館	第２１回切手はり絵コンテスト審査員	8月25日	博物館教育課長　鈴木みどり
58	東京都人権啓発センター	センサリーマップについて	8月26日	博物館教育課長　鈴木みどり
59	江東区文化コミュニティ財団	センサリーマップについて	10月25日	博物館教育課長　鈴木みどり
60	東京都産業労働局	センサリーマップについて(アクセシブル・ツーリズム推進事例)	10月31日	博物館教育課長　鈴木みどり
61	韓国国立中央博物館	博物館の障がい者対応について	11月27日	博物館教育課長　鈴木みどり
62	シンガポール建国記念公園	博物館の教育普及事業について	12月6日	博物館教育課長鈴木みどり、博物館教育課教育普及室長　川岸瀬里、博物館教育課教育普及室研究員　中村麻友美、博物館教育課ボランティア室長　小野塚拓三、博物館教育課ボランティア室主任専門職　永田香織
63	玉川大学	博物館の教育普及と進路について	12月18日	博物館教育課長　鈴木みどり
64	京都産業大学	センサリーマップについて	12月25日	博物館教育課長　鈴木みどり
65	京都府立清明高等学校	センサリーマップについて	7年1月31日	博物館教育課長　鈴木みどり
66	オハイオ州立大学	博物館のユニバーサルデザインと視覚障がい者対応について	7年3月11日	博物館教育課長　鈴木みどり
67	葛城市歴史博物館	教育プログラムの企画立案について	5月8日	博物館教育課教育普及室長　川岸瀬里
68	韓国・顯忠祠管理所	教育プログラムについて	11月12日	博物館教育課教育普及室長　川岸瀬里
69	韓国・国立済州博物館	博物館の教育普及事業について	11月13日	博物館教育課教育普及室長　川岸瀬里
70	北京故宮	博物館の教育普及事業について	11月26日	博物館教育課教育普及室長　川岸瀬里
71	長野県立歴史館	教育プログラムについて	7年1月26日	博物館教育課教育普及室長　川岸瀬里
72	九州国立博物館	ワークショップについて	7年3月4日	博物館教育課教育普及室長　川岸瀬里、博物館教育課教育普及室アソシエイトフェロー　内山美代子
73	石山寺	文化財調査	12月21日～12月22日	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一
74	早稲田大学	令和6年度文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業「諸外国の文化政策等に関する調査・研究」（早稲田大学・事業責任者：秋野有紀）「文化財写真と博物館教育の現場から」	7年2月14日	博物館教育課教育講座室アソシエイトフェロー　山本桃子
75	トルコ文化財博物館総局、ハタイ博物館、シャンルウルファ考古学博物館、ほか7施設	東京国威立博物館の展示や収蔵環境において実践している防災対策について	7年2月1日	博物館教育課ボランティア室長　小野塚拓造
76	スレイマニヤ博物館	東京国立博物館のコレクションと東洋館での展示の特徴、文化財の活用について	7年2月1日	博物館教育課ボランティア室長　小野塚拓造
77	東京国立近代美術館	「令和6年度第2回MOMATガイドスタッフフォローアップ研修」講師	8月24日	博物館教育課ボランティア室主任専門職　永田香織

78	明治大学	学芸員養成課程博物館実習特別講師	11月15日	博物館教育課ボランティア室主任専門職　永田香織
79	泉大津市立図書館	図書館協議会委員	4年3月1日～6年2月29日	博物館情報課情報管理室長　阿児雄之
80	千葉県庁	千葉県立中央博物館リニューアル基本計画検討懇談会委員	5年11月17日～7年3月31日	博物館情報課情報管理室長　阿児雄之
81	中部大学	中部大学民族資料博物館外部専門委員会委員	4月1日～8年3月31日	博物館情報課情報管理室長　阿児雄之
82	国立西洋美術館	国立西洋美術館「みんなの 3D ロダン図鑑」特設ウェブサイト構築業務実施事 業者選定委員会委員	10月25日	博物館情報課情報管理室長　阿児雄之
83	文化庁	令和6年度文化庁の対外発信企画実施事業審査委員会委員	4月8日～7年3月31日	博物館情報課情報管理室長　阿児雄之
84	文化庁	令和6年度博物館機能強化推進事業（InnovateMUSEUM事業）補助選定委員	委嘱承認日　～　7年3月31日	博物館情報課情報管理室長　阿児雄之
85	文化庁	「博物館機能強化推進事業（専門的人材派遣による博物館支援と職員の資質向上に関する調査研究）」委託事業選定委員会委員	委嘱承認日　～　7年3月31日	博物館情報課情報管理室長　阿児雄之
86	文化庁	令和6年度「博物館機能強化推進事業（博物館の収集方針に関する調査研究）」 委託事業選定委員会委員	委嘱承認日　～　7年3月31日	博物館情報課情報管理室長　阿児雄之
87	泉大津市立図書館	地域の歴史・文化再発見講座「インターネットで出会う和泉の歴史と文化」講師	9月12日～9月12日	博物館情報課情報管理室長　阿児雄之
88	株式会社ブレインテック	図書館総合展内イベントでの講師	11月20日	博物館情報課情報管理室長　阿児雄之
89	原美術館ARC	収蔵品解説、音声解説録音に関する協力	12月1日～7年1月31日	小野美香
90	八王子市文化財課、図書館課、集いの拠点整備課	令和8年同市内に設立予定の新博物館におけるキッズスペースについての調査	11月29日	総務企画課総務担当係長　武田卓、広報室主任専門職　江原香、広報室主任専門職　小島佳
91	東京国立近代美術館	東京国立近代美術館及び「美術館の春まつり」を核とする外国人旅行者を対象とするプロモーション業務委託の企画競争における外部評価委員	12月11日～19日	広報室主任専門職　小島佳
92	東京国立近代美術館	東京国立近代美術館及び「美術館の春まつり」を核とする外国人旅行者を対象とするプロモーション業務委託（再公募）の企画競争における外部評価委員	7年1月29日～2月13日	広報室主任専門職　小島佳
93	東京都江戸東京博物館	リニューアルオープンにかかる広報施策についての照会	7年2月18日	広報室主任専門職　宇野裕喜、広報室主任専門職　小島佳、広報室係員　中東達矢
94	宗像大社文化局・福岡県・宗像市	国宝「宗像大社沖津宮祭祀遺跡出土品および伝宗像大社沖津宮祭祀遺跡の調査委員	12月11日～19日	学芸研究部長　河野一隆
95	福岡県教育委員会	福岡県装飾古墳総合調査指導委員	4月1日～7年3月31日	学芸研究部長　河野一隆
96	高浜町郷土資料館	高浜町史編さん委員（二子山3号墳調査報告書作成）	4月1日～7年3月31日	学芸研究部長　河野一隆
97	くまもと文学・歴史館	特別展「文字が語る古代のくまもと」連続講演会「デジタルでよみがえる消えた文字」	4月13日	学芸研究部長　河野一隆
98	東アジアの古代文化を考える会	講演会「石製模造品と横穴式石室ー東西の古墳文化」	8月31日	学芸研究部長　河野一隆
99	早稲田大学エクステンションセンター	王墓の謎―なぜ人は王のために墓を築いたのか?	10月26日、11月30日、12月7日	学芸研究部長　河野一隆
100	郡山市大安場史跡公園	歴史講演会「古墳文化の東と西 ー埴輪、石製模造品と埋葬施設ー」	10月27日	学芸研究部長　河野一隆
101	イイヅカコスモスコモン	2024年度古代史講座「考古学から見た女王国王権」	11月9日	学芸研究部長　河野一隆
102	文化庁	文化審議会専門委員（文化財分科会）	4月1日～7年3月31日	学芸研究部特任研究員　救仁郷秀明
103	文化庁	文化審議会専門委員（文化財分科会）	4月1日～7年3月31日	学芸研究部特任研究員　田沢裕賀
104	東京都江戸東京博物館	資料収蔵委員会委員	4月1日～7年8月31日	学芸研究部特任研究員　田沢裕賀
105	新宿区	新宿区文化財保護審議会委員	4月1日～7年11月30日	学芸研究部特任研究員　田沢裕賀
106	千葉市	千葉市美術品等収集審査会委員	4月1日～8年1月6日	学芸研究部特任研究員　田沢裕賀
107	(公財)氏家浮世絵コレクション	評議員	7月10日～7年3月31日	学芸研究部特任研究員　田沢裕賀
108	東京都江戸東京博物館	東京都収蔵候補作品調査	9月7日	学芸研究部特任研究員　田沢裕賀
109	大分県美術協会	講演会「日本美術史の線と面」	10月20日	学芸研究部特任研究員　田沢裕賀
110	町田市立博物館	運営委員	～7年6月30日	学芸研究部特任研究員　今井敦
111	九谷赤絵：宮本屋窯と飯田屋八郎右衛門の世界（仮）全国巡回展開催実行委員会	実行委員	～8年6月28日	学芸研究部特任研究員　今井敦
112	九谷赤絵：宮本屋窯と飯田屋八郎右衛門の世界（仮）東京展開催実行委員会	実行委員	～6月3日	学芸研究部特任研究員　今井敦
113	文化庁	文化審議会専門委員（文化財分科会）	4月1日～7年3月31日	学芸研究部特任研究員　今井敦
114	聖心女子学院生涯学習センター	講座講師	6月6日～12月12日	学芸研究部特任研究員　今井敦
115	日本伝統工芸士会	第26回日本伝統工芸士会作品展審査委員	9月4日～11月8日	学芸研究部特任研究員　今井敦
116	苫小牧市美術博物館	サンセットトーク講師	8月24日	学芸研究部特任研究員　今井敦
117	兵庫陶芸美術館	記念講演会講師	9月14日	学芸研究部特任研究員　今井敦
118	国宝修理装潢師連盟	修理技術者育成のための資格試験委員	4月～7年3月	列品管理課長　沖松健次郎
119	国立印刷局	新紙幣発行記念展示のための助言・指導	6月11日～7月15日	列品管理課長　沖松健次郎
120	アウシュビッツ平和博物館・Bridge Asia Foundation	Bridge Asia Foundation　所蔵のM.コシチェルニャック作品展示のための助言・指導及び輸送・展示撤収作業	10月3日～12月16日	列品管理課長　沖松健次郎

121	Rio Tinto社・オーストラリア大使館	「TK-3444亀を線刻した石」の採取地のアボリジナル部族によるセレモニー実施にかかる協力・助言	9月24日	列品管理課長　沖松健次郎
122	一般社団法人　学士会	第2回　学士会フェスタにおける当館所蔵「見返り美人図」高精細レプリカの展示にかかる助言・協力	9月1日	列品管理課長　沖松健次郎
123	神奈川県教育委員会	文化財保護審議会委員	4月11日～8年4月10日	列品管理課登録室長　瀬谷愛
124	鎌倉国宝館	協議会委員	3年11月15日～7年11月14日	列品管理課登録室長　瀬谷愛
125	日本学術会議	連携会員	2年10月1日～7年9月30日	列品管理課登録室長　瀬谷愛
126	鎌倉市	文化財専門委員	平成28年6月1日～7年5月31日	列品管理課登録室長　瀬谷愛
127	法隆寺	法隆寺金堂壁画保存活用委員会・壁画ワーキンググループ・美術史班	平成31年4月1日～7年3月31日	列品管理課登録室長　瀬谷愛
128	日本博物館協会	「博物館総合調査」委員会	5年9月～7年3月	列品管理課登録室長　瀬谷愛
129	東京都教育庁	東京都西多摩郡彫刻調査委員会委員	5年12月9日～	列品管理課登録室主任研究員　西木政統
130	福岡県文化振興課新県立美術館建設室	新館建設に係る展示ケース導入にかんする助言	10月3日	列品管理課平常展調整室長　市元塁
131	静岡県掛川市	掛川市三熊野神社大祭の祢里行事無形民俗文化財記録作成事業(天幕)	2年9月～7年3月	列品管理課平常展調整室主任専門職　髙木結美
132	学校法人根津育英会武蔵学園	武蔵学園所蔵「朝田家染色関係資料」調査事業	4年9月～7年3月	列品管理課平常展調整室主任専門職　髙木結美
133	文化庁	文化審議会専門委員	4月1日～3月31日	調査研究課長　小山弓弦葉
134	文化庁	令和6年度「選定保存美術広報事業」企画審査	7月～8月	調査研究課長　小山弓弦葉
135	五島美術館	展示指導	11月11日	調査研究課長　小山弓弦葉
136	島根県立岩見美術館	収蔵品調査	11月19日	調査研究課長　小山弓弦葉
137	文化庁	天鷲絨友禅掛幅 保存修理事業審査委員	11月25日～7年3月31日	調査研究課長　小山弓弦葉
138	文化庁	国宝春日大社所蔵古神宝類復元模造事業 審査委員会委員	7年2月17日～3月31日	調査研究課長　小山弓弦葉
139	文化庁	重要文化財林原美術館所蔵能装束復元模造事業 審査委員会委員	7年2月17日～3月31日	調査研究課長　小山弓弦葉
140	国立国会図書館	デジタル化資料の解題原稿執筆	7月～7年2月	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕
141	北海道立近代美術館	展示指導	7月5日、29日	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕
142	文化庁	非常勤調査員	4月1日～7年3月31日	調査研究課絵画・彫刻室主任研究員　植松瑞希
143	日本工芸会	第71回日本伝統工芸展第1次鑑査委員	8月1日	調査研究課工芸室長　猪熊兼樹
144	福岡県美術展覧会実行委員会	第79回福岡県美術展覧会審査員	8月7日	調査研究課工芸室長　猪熊兼樹
145	文化庁	無形文化財工芸技術資料買取協議会	12月27日	調査研究課工芸室長　猪熊兼樹
146	五條市	五條市史編集委員会専門部会員（美術工芸部会）	5年4月～7年3月	調査研究課工芸室主任研究員　清水健
147	静岡県	文化財保護審議会委員	6年3月15日～8年3月14日	調査研究課工芸室主任研究員　清水健
148	滋賀県	文化財保護審議会委員	6年8月19日～7年5月31日	調査研究課工芸室主任研究員　清水健
149	中尊寺	中尊寺建立900年事業・調査研究会委員	6年9月1日～7年3月31日	調査研究課工芸室主任研究員　清水健
150	熊野三山協議会	世界遺産登録20周年記念シンポジウム「自然への祈りと那智大滝」	6年8月3日	調査研究課工芸室主任研究員　清水健
151	文化庁	文化財の特質と取扱・梱包実習【考古資料】 第13回指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー	7月10日	調査研究課考古室長　井出浩正
152	日本考古学協会	入会資格審査委員	12月7日	調査研究課考古室主任研究員　河野正訓
153	ウィーン世界博物館	ウィーン万博収集のアイヌコレクションについて	7月11日～7月12日	調査研究課考古室主任研究員　飯田茂雄
154	国立アイヌ民族博物館	ウィーン万博収集のアイヌコレクションについて	12月5日	調査研究課考古室主任研究員　飯田茂雄
155	文化庁	国有文化財修理監督	6月4日、7月10日、9月4日、12月12日	調査研究課東洋室研究員　六人部克典
156	台北・國立故宮博物院	「萬國津梁：東亞海上的琉球」特展に係る展示指導・解説提供	9月7日～12月1日	調査研究課東洋室研究員　六人部克典
157	文化庁	国有文化財保存修理事業審査委員会委員	7年2月3日～2月17日	調査研究課東洋室研究員　六人部克典
158	法隆寺	法隆寺金堂壁画保存活用委員会保存環境ワーキンググループ専門委員	4月1日～7年3月31日	保存科学課長　和田浩
159	文化庁	文化審議会専門委員	4月1日～7年3月31日	保存科学課長　和田浩
160	埼玉県立さきたま史跡の博物館	埼玉県立さきたま史跡の博物館展示ケース製作設置業務委託にかかる総合評価審査委員会委員	5月21日～6月14日	保存科学課長　和田浩
161	文化庁	第13回指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー（東京会場） 講師「文化財梱包・輸送の科学」	7月12日	保存科学課長　和田浩
162	小金井市公民館東分館	令和6年度小金井市公民館東分館成人学校講師「トーハクって、どんなところ？」	7月13日	保存科学課長　和田浩
163	小金井市公民館東分館	令和6年度小金井市公民館東分館成人学校講師「宝の山、東京国立博物館を探検しよう」	7月14日	保存科学課長　和田浩
164	文化庁	第13回指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー（京都会場） 講師「文化財梱包・輸送の科学」	8月23日	保存科学課長　和田浩
165	埼玉県立さきたま史跡の博物館	展示ケース内環境保全に関する助言	7年2月25日	保存科学課長　和田浩
166	文化庁	非常勤調査員	4月1日～7年3月31日	保存科学課保存修復室主任研究員　大橋美織
167	文化庁	皇居三の丸尚蔵館所蔵文化財（絵画）保存修理事業」 審査委員会委員	6年1月31日～8年3月31日	保存科学課保存修復室主任研究員　大橋美織
168	東北芸術工科大学	保存修復学科の学生に向けた博物館の保存修復実務に関する講義	7月19日	保存科学課保存修復室主任研究員　野中昭美

169	さいたま市岩槻人形博物館	企画展「にんぱくの人形修復 ～文化財を未来へ～」に関しての支援	8月31日	保存科学課保存修復室主任研究員　野中昭美
170	東京藝術大学大学院	文化財保存学分野の学生に向けた博物館の保存修復実務に関する講義	10月21日	保存科学課保存修復室主任研究員　野中昭美
171	東京藝術大学大学院	文化財保存科学分野の学生に向けた博物館の保存修復実務に関する講義	7月8日	保存科学課保存修復室研究員　佐藤萌
172	中近東文化センター附属アナトリア考古学研究所	トルコにおけるテキスタイル・フィールドコース講師	10月7日～11日	保存科学課保存修復室研究員　佐藤萌
173	文化庁/東京文化財研究所	令和6年度文化芸術振興費補助金・染織品修理に係る協議	12月5日	保存科学課保存修復室研究員　佐藤萌
174	豊田市博物館	開館1周年記念「岸田吟香と岸田劉生ー近代、それは東洋にありー」の展覧会に関する援助、助言	4月1日～継続中	客員研究員　鍋島稲子
175	龍谷ミュージアム	特別展「バーミヤン」展の展示に関する援助、助言	4月17日、6月18日	客員研究員　鍋島稲子
176	産経国際書会	第41回産経国際書展の審査	5月31日	客員研究員　鍋島稲子
177	貞香会	呉昌碩と日本人	6月26日	客員研究員　鍋島稲子
178	三井記念美術館	特別展「バーミヤン」展の展示に関する援助、助言	9月9日、11月13日	客員研究員　鍋島稲子
179	公益財団法人日本博物館協会	制度委員	4月1日～7年3月31日	客員研究員　髙橋 裕次
180	九州国立博物館	請負候補者選定委員	7月5日	客員研究員　惠美千鶴子
181	公益財団法人日展	第11回日本美術展覧会第5科書審査員	8月1日～12月31日	客員研究員　惠美千鶴子
182	文化庁	国有文化財修理事業審査委員会委員	7年1月24日～3月31日	客員研究員　惠美千鶴子

【京都国立博物館】129件

	機　関	内　容	期　間	担　当　者
1	京都国立近代美術館	評議員	4月～7年3月	館長　松本伸之
2	公益社団法人日本工芸会	運営委員	4月～7年3月	館長　松本伸之
3	公益社団法人日本工芸会	顧問	4月～7年3月	館長　松本伸之
4	奈良国立博物館	顧問	4月～7年3月	館長　松本伸之
5	日本イタリア会館	顧問	4月～7年3月	館長　松本伸之
6	公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー　古典の日推進委員会	特別委員	4月～7年3月	館長　松本伸之
7	国立大学法人奈良国立大学機構	経営協議会委員	4月～7年3月	館長　松本伸之
8	公益財団法人京都古文化保存協会	評議員	4月～7年3月	館長　松本伸之
9	一般社団法人清風会	理事	4月～7年3月	館長　松本伸之
10	公益財団法人髙梨学術奨励基金	理事	4月～7年3月	館長　松本伸之
11	和泉市教育委員会生涯学習部久保惣記念美術館	和泉市久保惣記念美術館運営ビジョン策定委員会委	6月～7年3月	館長　松本伸之
12	文化庁企画調整課	文化審議会専門委員	6月～7年3月	館長　松本伸之
13	京都大学大学院人間・環境学研究科	客員教授・客員准教授	4月～7年3月	学芸部長　尾野善裕 学芸部教育室長　大原嘉豊 学芸部列品管理室長　永島明子 学芸員保存修理指導室主任研究員　上杉智英
14	公益財団法人大和文華館	公益財団法人大和文華館評議員	4月～7年3月	学芸部長　尾野善裕
15	公益財団法人樂美術館	公益財団法人樂美術館作品購入委員会委員	4月～7年3月	学芸部長　尾野善裕
16	大阪市教育委員会	大阪市文化財保護審議会委員	4月～7年3月	学芸部長　尾野善裕
17	岐阜市	史跡岐阜城跡整備委員会委員	4月～7年3月	学芸部長　尾野善裕
18	奈良国立博物館	奈良国立博物館文化財保存修理所運営委員会委員	4月～7年3月	学芸部長　尾野善裕
19	九州国立博物館	九州国立博物館文化財保存修復施設運営委員会委員	4月～7年3月	学芸部長　尾野善裕
20	野崎家塩業歴史館	評議員	4月～7年3月	学芸部長　尾野善裕
21	法蔵禅寺	第16回法蔵寺「乾山セミナー」講演	8月24日	学芸部長　尾野善裕
22	文化庁	古墳壁画保存活用検討会（修復班、材料調査班）	4月～7年3月	学芸部上席研究員兼保存科学室長　降幡順子
23	浄土宗総本山知恩院	浄土宗総本山「知恩院文化財保存委員」	4月～7年3月	学芸部上席研究員兼保存科学室長　降幡順子
24	日本文化財科学会	日本文化財科学会評議員	4月～7年3月	学芸部上席研究員兼保存科学室長　降幡順子

25	丸亀市教育委員会	丸亀市史跡快天山古墳保存整備委員会委員	4月～7年3月	学芸部上席研究員兼保存科学室長　降幡順子
26	法隆寺	「法隆寺金堂壁画保存活用委員会」壁画ワーキンググループ（材料調査班）専門委員	4月～7年3月	学芸部上席研究員兼保存科学室長　降幡順子
27	同志社女子大学	嘱託講師	4月～7年3月	学芸部上席研究員兼保存科学室長　降幡順子
28	日本文化財科学会	日本文化財科学会会計監査	4月～6月	学芸部上席研究員兼保存科学室長　降幡順子
29	鳥取県地域づくり推進部	とっとり弥生の王国調査整備活用委員会委員	4月～7月	学芸部上席研究員兼保存科学室長　降幡順子
30	神戸大学	非常勤講師	8月～9月	学芸部上席研究員兼保存科学室長　降幡順子
31	文化庁文化財第一課	皇居三の丸尚蔵館における蛍光Ｘ線調査	7月30日	学芸部上席研究員兼保存科学室長　降幡順子
32	岡谷市教育委員会	考古に関する講演会講師（岡谷市文化会館）	8月25日	学芸部上席研究員兼保存科学室長　降幡順子
33	岡谷市教育委員会	考古に関する講演会講師（岡谷東部中学校）	8月26日	学芸部上席研究員兼保存科学室長　降幡順子
34	立命館大学歴史防災研究所長	立命館大学ユネスコ・チェア「文化遺産と危機管理」国際研修講師	9月3日	学芸部上席研究員兼保存科学室長　降幡順子
35	京都府文化財所有者等連絡協議会	総会の講師	9月3日	学芸部上席研究員兼保存科学室長　降幡順子
36	一般財団法人デジタル文化財創出機構	シンポジウム「文化財保存における科学技術のこれまでとこれから」登壇	10月11日	学芸部上席研究員兼保存科学室長　降幡順子
37	名古屋城総合事務所	名古屋城所蔵の銅鯱及び本丸御殿焼損金具類の保存・修理指導	10月22日	学芸部上席研究員兼保存科学室長　降幡順子
38	文化庁	高台寺所有打敷の調査	12月24日	学芸部上席研究員兼保存科学室長　降幡順子
39	園城寺	国宝智証大師関係文書典籍保存活用専門委員会委員	4月～7年3月	学芸部企画室長兼美術室長　羽田聡
40	一般社団法人国宝修理装潢師連盟	国宝修理装潢師連盟「修理技術者資格制度委員会」委員	4月～7年3月	学芸部企画室長兼美術室長　羽田聡
41	臨済宗妙心寺派宗務本所	興祖微妙大師六百五十年遠諱大法会代表委員会委員	4月～7年3月	学芸部企画室長兼美術室長　羽田聡
42	近畿大学	非常勤講師	4月～7年3月	学芸部企画室長兼美術室長　羽田聡
43	護国寺	紀三井寺勧進状修理委員会委員	4月～7年3月	学芸部企画室長兼美術室長　羽田聡
44	文化庁文化財第一課	仁和寺聖教調査	7月31日	学芸部企画室長兼美術室長　羽田聡
45	文化庁文化財第一課	文化財の買取評価員	11月6日	学芸部企画室長兼美術室長　羽田聡
46	三重県教育委員会	三重県文化財保護審議会委員	4月～7年3月	学芸部列品管理室長　永島明子
47	学校法人裏千家学園	講義講師	4月～7年3月	学芸部列品管理室長　永島明子
48	越前市教育委員会	越前市文化財保護委員会委員	4月～7年3月	学芸部教育室長　大原嘉豊
49	法隆寺	「法隆寺金堂壁画保存活用委員会」壁画ワーキンググループ（美術史班）専門委員	4月～7年3月	学芸部教育室長　大原嘉豊
50	宗教法人四天王寺	国宝扇面法華経冊子保存修理委員会専門委員	4月～7年3月	学芸部教育室長　大原嘉豊
51	同志社大学	嘱託講師	9月～7年3月	学芸部教育室長　大原嘉豊
52	早稲田大学	講師	7月	学芸部教育室長　大原嘉豊
53	文化庁文化財第一課	美術工芸品買取鑑査会議委員	8月～7年3月	学芸部教育室長　大原嘉豊
54	NHK文化センター京都支社	講座「名画で学ぶ仏画」講師	10月～7年3月	学芸部教育室長　大原嘉豊
55	奈良国立博物館	特別展「空海」展出陳作品の展示撤収作業にかかる指導	5月13日、6月10日	学芸部教育室長　大原嘉豊
56	北海道新聞社	北海道立近代美術館で開催する展覧会「京都 高山寺ー明恵上人と文化財の伝承」の講演会講師	7月15日	学芸部教育室長　大原嘉豊
57	天台宗宗議会道興会	天台宗宗議会議員合同研修会の講演会講師	8月22日	学芸部教育室長　大原嘉豊
58	智山専修学院	特別講義「仏画入門」講師	8月31日	学芸部教育室長　大原嘉豊
59	碧南市教育委員会	「絹本著色釈迦三尊像」重要文化財新指定に伴う記念講演会の講師	10月12日	学芸部教育室長　大原嘉豊
60	京都府立堂本印象美術館	講演会講師「堂本印象の転換点！？ー歴史がでの模索ー」	2月11日	学芸部教育室長　大原嘉豊
61	文化庁文化財第一課	延暦寺所有重要文化財　絹本著色山王本地仏像ー幅復元模写模造事業審査委員会委員	7年2月～3月	学芸部教育室長　大原嘉豊
62	裏千家学園茶道専門学校	講義講師	4月～7年3月	学芸部調査・国際連携室長　降矢哲男
63	公益財団法人秋水美術館	評価選定委員	4月～7年3月	学芸部調査・国際連携室長　降矢哲男
64	学校法人瓜生山学園　京都芸術大学	非常勤講師	9月～7年3月	学芸部調査・国際連携室長　降矢哲男
65	学校法人瓜生山学園　京都芸術大学	特別講師	11月9日	学芸部調査・国際連携室長　降矢哲男

66	一般財団法人古田織部美術館	「第5回織部賞授賞式」記念公演講師	11月30日	学芸部調査・国際連携室長　降矢哲男
67	岡山県立博物館	特別展関連行事「茶碗についての座談会」の講師	2月24日	学芸部調査・国際連携室長　降矢哲男
68	京田辺市史編さん委員会	京田辺市史編さん専門部会会員	4月～7年3月	学芸部保存修理指導室長　福士雄也
69	彦根市	旧井伊神社修復検討委員会委員	6月～7年3月	学芸部美術室主任研究員　福士雄也
70	京都橘大学	非常勤講師	9月～7年3月	学芸部保存修理指導室長　福士雄也
71	十津川村	十津川村史編さん委員会編さん委員	4月～7年3月	学芸部考古室長　石田由紀子
72	鈴鹿市	令和6年度国史跡伊勢国府跡調査指導	7年2月21日	学芸部考古室長　石田由紀子
73	立命館大学	授業担当講師	4月～9月	学芸部企画室主任研究員　井並林太郎
74	北海道新聞社	北海道立近代美術館で開催する展覧会「京都 高山寺ー明恵上人と文化財の伝承」の講演会講師	8月18日	学芸部企画室主任研究員　井並林太郎
75	中日新聞社事業局 中日文化センター	講師（京都国立博物館 特別展「法然と極楽浄土」の見どころ）	10月11日	学芸部企画室主任研究員　井並林太郎
76	四万十市教育委員会	四万十市指定文化財七星剣調査委員会委員	4月～7年3月	学芸部列品管理室主任研究員　末兼俊彦
77	大阪よみうり文化センター	講演講師	4月～7年3月	学芸部列品管理室主任研究員　末兼俊彦
78	読売・日本テレビ文化センター	講義講演	4月～7年3月	学芸部列品管理室主任研究員　末兼俊彦
79	大阪府教育委員会	大阪府文化財保護審議会委員	4月～7年3月	学芸部列品管理室主任研究員　末兼俊彦
80	城端曳山祭保存会	城端曳山等保存修理委員会委員	10月～7年3月	学芸部列品管理室主任研究員　末兼俊彦
81	中日新聞社事業局 中日文化センター	講師（刀剣マスターに学ぶ日本刀の世界）	10月11日、11月8日、12月13日、7年1月10日、7年2月7日、7年3月7日	学芸部列品管理室主任研究員　末兼俊彦
82	文化庁	第13回指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー講師派遣	8月19日	学芸部列品管理室主任研究員　末兼俊彦
83	株式会社ニトロプラス	「刀剣乱舞 大本丸博2025」内「桜ステージ」登壇	7年1月18日	学芸部列品管理室主任研究員　末兼俊彦
84	株式会社読売・日本テレビ文化センター	講師（日本刀講座スペシャル～源氏にゆかりの刀剣たち～）	7年2月8日	学芸部列品管理室主任研究員　末兼俊彦
85	公益財団法人仏教美術上野記念財団	研究委員会委員及び研究給付金選考委員会委員	4月～7年3月	学芸部教育室主任研究員　竹下繭子
86	公益財団法人祇園祭山鉾連合会	祇園祭山鉾装飾品等専門委員	4月～7年3月	学芸部教育室主任研究員　竹下繭子
87	奈良大学	非常勤講師	10月～7年3月	学芸部教育室主任研究員　竹下繭子
88	奈良大学	博物館実習講演会講師	6月29日	学芸部教育室主任研究員　竹下繭子
89	文化庁	第13回指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー講師派遣	8月21日	学芸部教育室主任研究員　竹下繭子
90	智山専修学院	特別講義「仏像入門」講師	9月1日	学芸部教育室主任研究員　竹下繭子
91	中日新聞社事業局 中日文化センター	講師（京都国立博物館 特別展「法然と極楽浄土」の見どころ）	10月18日	学芸部教育室主任研究員　竹下繭子
92	文化庁	文化財の買取評価委員	11月27日	学芸部教育室主任研究員　竹下繭子
93	兵庫県立人と自然の博物館	兵庫県立人と自然の博物館協議会委員	4月～7年3月	学芸部教育室主任研究員　水谷亜希
94	大阪成蹊大学	非常勤教員	4月～9月	学芸部教育室主任研究員　水谷亜希
95	国立大学法人京都工芸繊維大学	非常勤講師	9月～7年3月	学芸部教育室主任研究員　水谷亜希
96	鳥取県	鳥取県文化財保護審議会委員	4月～7年3月	学芸部列品管理室主任研究員　森道彦
97	龍谷大学	非常勤講師	4月～7年3月	学芸部列品管理室主任研究員　森道彦
98	京都美術工芸大学	非常勤講師	4月～9月	学芸部列品管理室主任研究員　森道彦
99	一般社団法人 伝統技術伝承者協会	外部委員	5月～7年3月	学芸部列品管理室主任研究員　森道彦
100	奈良女子大学	非常勤講師	10月～7年3月	学芸部列品管理室主任研究員　森道彦
101	静岡県立美術館	臨時委員	10月～7年3月	学芸部列品管理室主任研究員　森道彦
102	公益財団法人仏教美術上野記念財団	研究委員会委員及び研究給付金選考委員会委員	4月～7年3月	学芸部保存修理指導室主任研究員　上杉智英
103	鳥取市教育委員会文化財課	大雲院資料調査委員会調査委員	4月～7年3月	学芸部保存修理指導室主任研究員　上杉智英
104	佛教大学	非常勤講師	9月～7年3月	学芸部保存修理指導室主任研究員　上杉智英
105	文化庁文化財第一課	仁和寺聖教調査	8月1日	学芸部保存修理指導室主任研究員　上杉智英

106	大永山圓光寺	若藤会講座講師	9月30日	学芸部保存修理指導室主任研究員　上杉智英
107	龍谷大学	「基礎演習Ⅰ」講座講師	10月11日	学芸部保存修理指導室主任研究員　上杉智英
108	文化庁文化財第一課	文化財の買取評価員	11月6日	学芸部保存修理指導室主任研究員　上杉智英
109	龍谷大学文学部真宗学科	講師派遣	11月20日	学芸部保存修理指導室主任研究員　上杉智英
110	浄土宗教学院	浄土宗教学院（東部）主催の浄土宗教学院公開講座の講師	7年2月7日	学芸部保存修理指導室主任研究員　上杉智英
111	京都大学	非常勤講師	10月～7年3月	学芸部特任研究員　宮川禎一
112	京都大学	日本文化研修「京都国立博物館見学」講師	7年1月29日	学芸部特任研究員　宮川禎一
113	國學院大學	非常勤講師	4月～7年3月	学芸部研究員　古谷毅
114	國學院大學	客員教授	4月～7年3月	学芸部研究員　古谷毅
115	野田市	野田市史編さん委員会専門委員	4月～7年3月	学芸部研究員　古谷毅
116	文化庁	第13回指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー講師派遣	8月21日	学芸部研究員　古谷毅
117	京都大学	日本文化研修「京都国立博物館見学」講師	7年1月29日	学芸部研究員　古谷毅
118	法隆寺	「法隆寺金堂壁画保存活用委員会」アーカイブワーキンググループ専門委員	4月～7年3月	学芸部列品管理室専門職員　岡田愛
119	京都産業大学神山天文台	資料撮影についてのレクチャー（助言・補助）	11月8日	学芸部列品管理室専門職員　岡田愛
120	文化庁文化財第一課	国宝・重要文化財の写真撮影	7年3月17日、18日	学芸部列品管理室専門職員　岡田愛
121	ICOM日本委員会	ICOM日本委員会理事就任	4月～7年3月	学芸部調査・国際連携室主任専門職　リンネ マリサ
122	国立歴史民俗博物館	「人をつなぐジャポニズム―野村正治郎着物コレクションの軌跡（仮称）」展示プロジェクト委員	4月～7年3月	学芸部調査・国際連携室主任専門職　リンネ マリサ
123	京都アメリカ大学コンソーシアム	非常勤講師	4月	学芸部調査・国際連携室主任専門職　リンネ マリサ
124	京都市立芸術大学	非常勤講師	10月～7年3月	学芸部調査・国際連携室主任専門職　リンネ マリサ
125	高岡市教育委員会	高岡御車山保存修理委員会委員	4月～7年3月	学芸部工芸室主任研究員　山内麻衣子
126	金沢大学	教育教員	4月～9月	学芸部工芸室主任研究員　山内麻衣子
127	公益財団法人祇園祭山鉾連合会	祇園祭山鉾装飾品等専門委員	9月～7年5月	学芸部工芸室主任研究員　山内麻衣子
128	女子美術大学	非常勤講師	12月	学芸部工芸室主任研究員　山内麻衣子
129	文化庁文化財第一課	林原美術館所蔵　重要文化財　能装束　繍箔葭水禽文復元模造事業審査委員会委員	7年2月～7年3月	学芸部工芸室主任研究員　山内麻衣子

【奈良国立博物館】117件

	機　関	内　容	期　間	担　当　者
1	奈良県文化・教育・くらし創造部	なら歴史芸術文化村コミッション委員	5年8月1日～7年7月31日	館長　井上洋一
2	ICOM日本委員会	ICOM日本委員会理事	4月1日～6年6月30日	館長　井上洋一
3	一般財団法人仏教美術協会	評議員	3年6月16日～7年定時評議会終結	館長　井上洋一
4	奈良市	奈良市文化振興戦略懇話会　委員	6月～6年3月31日	館長　井上洋一
5	公益財団法人松伯美術館	理事	6月27日～8年6月26日	館長　井上洋一
6	公益財団法人大和文華館	理事	6月27日～8年6月26日	館長　井上洋一
7	公益財団法人仏教美術研究上野記念財団	評議員	5年6月～7年6月	館長　井上洋一
8	公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館	理事	5年6月～7年6月	館長　井上洋一
9	公益財団法人日本博物館協会	参与	5年4月1日～7年3月31日	館長　井上洋一
10	京都国立博物館	評議員会評議員	4月1日～7年3月31日	館長　井上洋一
11	宮内庁	正倉院懇談会会員	4月1日～9年3月31日	館長　井上洋一
12	奈良県文化・教育・くらし創造部	なら歴史芸術文化村修復工房使用者等選定委員会委員	5年8月1日～7年3月31日	館長　井上洋一
13	奈良県立橿原考古学研究所	共同研究員	4年4月1日～8年3月31日	館長　井上洋一
14	一般財団法人東京国立博物館協力会	非常勤評議員	6年6月19日～8年6月19日	館長　井上洋一
15	公益社団法人日本工芸会	日本伝統工芸展運営委員	4月1日～8年3月31日	館長　井上洋一

16	文部科学省	「世界の記憶」国内案件に関する審査委員会審査委員	4月1日～8年3月31日	館長　井上洋一
17	文部科学省	「世界の記憶」国際登録・地域登録への申請候補となる記録物に関する助言	12月23日～7年3月31日	館長　井上洋一
18	法隆寺	法隆寺金堂壁画調査・保存活用委員会委員	4月1日～7年3月31日	館長　井上洋一
19	公益社団法人日本工芸会	顧問	4月1日～7年3月31日	館長　井上洋一
20	國學院大學	非常勤講師	4月1日～7年3月31日	館長　井上洋一
21	兵庫県立考古博物館	運営委員会委員	5年12月1日～7年11月30日	館長　井上洋一
22	中宮寺	中宮寺奉賛会参与	7月12日～8月	館長　井上洋一
23	大分大学	講師	2月21日	館長　井上洋一
24	奈良県	奈良県文化創造ギャザリング委員	7月26日～7年3月31日	館長　井上洋一
25	奈良県	奈良県文化財保護体系推進会議委員	4月1日～8年3月31日	館長　井上洋一
26	まるごと奈良博実行委員会	「まるごとなら博」展開会式等への出席	7月6日～7日	館長　井上洋一
27	東アジア仏教文化研究所	「歴史文化連続講座・ならへ」の講師	9月28日	館長　井上洋一
28	一般社団法人ナレッジキャピタル	「超学校」講演	9月28日	館長　井上洋一
29	公益財団法人メセナかがわ・濱野年宏芸術交流協会	四国新聞・紙面特集「濱野年宏展覧会in大阪・関西万博」特別対談	2月21日	館長　井上洋一
30	株式会社 平凡社	別冊太陽「千住博の世界」での対談	3月7日	館長　井上洋一
31	談山神社	談山神社刀剣保存会理事	5年11月15日～8年11月14日	館長　井上洋一
32	仏教美術協会	定時評議委員会	6月28日	副館長　城田由二
33	京都国立博物館	文化財保存修理所運営委員会委員	4月1日～8年3月31日	学芸部長　吉澤悟
34	九州国立博物館	文化財保存修復施設運営委員会委員	4月1日～8年3月31日	学芸部長　吉澤悟
35	公益財団法人大和文華館	評議員	3年6月30日～7年6月29日	学芸部長　吉澤悟
36	奈良県文化・教育・くらし創造部	なら歴史芸術文化村修復工房使用者等選定委員会委員	5年6月1日～7年5月31日	学芸部長　吉澤悟
37	大阪歴史博物館	大阪歴史博物館長選考委員会委員	6月1日～7年3月31日	学芸部長　吉澤悟
38	国立歴史民俗博物館	共同研究員	4月1日～7年3月31日	学芸部長　吉澤悟
39	奈良工業高等専門学校	しなやかエンジニア教育プログラムにかかる講師	12月11日	学芸部長　吉澤悟
40	哲文化創造一般社団法人	「卒塔婆」の設置にかんする協議での助言	11月29日	学芸部長　吉澤悟
41	文化庁文化財第一課考古資料部門	重要考古資料にかんする懇談会（近畿地区）の委員	12月3日～4日	学芸部長　吉澤悟
42	まるごと奈良博実行委員会	特別展「まるごと奈良博」開催にかかる協力	7月2日～6日	学芸部長　吉澤悟
43	まるごと奈良博実行委員会	特別展「まるごと奈良博」開催にかかる協力	8月25日～26日	学芸部長　吉澤悟、教育室長　中川あや、情報サービス室長　北澤菜月、主任研究員　三田覚之、研究員　樋笠逸人、アソシエイトフェロー　羽良朝風、アソシエイトフェロー　松井美樹
44	まるごと奈良博実行委員会	特別展「まるごと奈良博」開催にかかる協力	6月30日～7月2日	企画室長　谷口耕生、情報サービス室長　北澤菜月、研究員　樋笠逸人
45	まるごと奈良博実行委員会	特別展「まるごと奈良博」開催にかかる協力	7月28日～30日	企画室長　谷口耕生、教育室長　中川あや、アソシエイトフェロー　松井美樹
46	天理市教育委員会	天理市文化財保護審議会委員	5年11月1日～7年10月31日	企画室長　谷口耕生
47	法隆寺	法隆寺金堂壁画保存活用委員会　壁画ワーキング・グループ（美術史班）専門委員	4月1日～7年3月31日	企画室長　谷口耕生
48	神戸大学	国立大学法人神戸大学大学院人文学研究科　教授	4月1日～7年3月31日	企画室長　谷口耕生
49	愛知県立芸術大学	非常勤講師	4月1日～7年2月28日	企画室長　谷口耕生
50	三重県	文化財保護審議会委員	9月24日～8年9月23日	企画室長　谷口耕生
51	京田辺市	市史編さん専門部会委員	5年6月27日～8年6月26日	企画室長　谷口耕生
52	武蔵野美術大学	非常勤講師	9月1日～7年2月28日	企画室長　谷口耕生

53	東北大学	東北大学大学院文学研究科　非常勤講師	4月1日～7年2月28日	企画室長　谷口耕生
54	和歌山市立博物館	和歌山市立博物館特別展シンポジウムに伴う派遣	10月13日	企画室長　谷口耕生
55	島根県教育委員会	世界遺産室客員研究員	5月1日～9年3月31日	保存修理指導室長 鳥越俊行
56	法隆寺	法隆寺金堂壁画保存活用委員会　壁画ワーキング・グループ（材料調査班）専門委員	4月1日～7年3月31日	保存修理指導室長 鳥越俊行
57	国立アイヌ民族博物館	列品等修理請負候補者選定委員会委員	7年2月～3月11日	保存修理指導室長 鳥越俊行
58	愛媛県教育委員会教育長	文化財調査	8月21日	保存修理指導室長　鳥越俊行
59	横浜美術大学美術学部	文化財調査	8月5日～6日	保存修理指導室長　鳥越俊行
60	横浜美術大学美術学部	文化財調査	9月23日～24日	保存修理指導室長　鳥越俊行
61	横浜美術大学美術学部	文化財調査	11月29日	保存修理指導室長　鳥越俊行
62	名古屋市博物館	文化財調査　保存指導	2月17日	保存修理指導室長　鳥越俊行
63	一般財団法人沖縄美ら島財団　総合研究所	CT撮影画像についての所見、報告等	2月27～28日	保存修理指導室長　鳥越俊行
64	特定非営利活動法人　文化財保存支援機構	会員	5月1日～7年3月31日	上席研究員　荒木臣紀
65	國學院大學	非常勤講師	9月1日～9月30日	上席研究員　荒木臣紀
66	法隆寺	法隆寺金堂壁画保存活用委員会　アーカイブ・ワーキンググループ専門委員	4月1日～7年3月31日	資料室長　宮崎幹子
67	京都府立大学	非常勤講師	7月～7年3月31日	資料室長　宮崎幹子
68	同志社大学	非常勤講師	7月11日 7年1月17日	資料室長　宮崎幹子
69	神戸大学	国立大学法人神戸大学大学院人文学研究科　教授	4月1日～7年3月31日	美術室長　岩井共二
70	奈良女子大学	非常勤講師	4月1日～7年3月31日	美術室長　岩井共二
71	山口県	山口県文化財保護審議会委員	2月1日～8年1月31日	美術室長　岩井共二
72	山口市教育委員会	山口市文化財審議会委員	6年1月1日～7年12月31日	美術室長　岩井共二
73	河合町	河合町文化財保護審議会委員	4月1日～7年3月31日	美術室長　岩井共二
74	文化庁	「教王護国寺所有重要文化財 木造四天王立像［（焼損）/（所在食堂）］四軀復元模造事業」審査委員	7年3月11日～3月31日	美術室長　岩井共二
75	まるごと奈良博実行委員会	特別展「まるごと奈良博」開催にかかる協力	7月3日～5日	美術室長　岩井共二
76	まるごと奈良博実行委員会	特別展「まるごと奈良博」開催にかかる協力	8月25日～27日	美術室長　岩井共二
77	まるごと奈良博実行委員会	特別展「まるごと奈良博」開催にかかる協力	7月2日～4日	教育室長　中川あや、主任研究員　三田覚之、アソシエイトフェロー 羽良朝風
78	まるごと奈良博実行委員会	特別展「まるごと奈良博」開催にかかる協力	7月28日～29日	主任研究員　三田覚之、アソシエイトフェロー 羽良朝風
79	徳島県	徳島県文化財保護審議会	4年11月1日～6年10月31日 6年11月1日～8年10月31日	情報サービス室長 北澤菜月
80	神戸大学	非常勤講師	7年2月7日～2月17日	情報サービス室長 北澤菜月
81	文化庁	「延暦寺所有重要文化財 絹本著色山王本地仏像一幅復元模写模造事業」審査委員会委員	7年3月～3月31日	情報サービス室長　北澤菜月
82	国立中央博物館	国際学術コロキウムでの発表と研究者間の研究交流	8月5日～8日	情報サービス室長　北澤菜月
83	島根県	鳥取県文化財保護審議会 委員	3月1日～8年2月28日	教育室長　中川あや
84	文化庁	大山祇神社における調査協力	8月1日～7年3月31日	教育室長　中川あや
85	奈良女子大学	非常勤講師	4月1日～9月30日	主任研究員　山口隆介
86	高野山大学	非常勤講師	4月1日～7年3月31日	主任研究員　山口隆介
87	日本経済新聞社メディアビジネス	講師	9月18日	主任研究員　山口隆介
88	奈良教育大学	非常勤講師	10月1日～7年3月31日	主任研究員　三本周作
89	京都大学	非常勤講師	10月1日～7年3月31日	列品室長　斎木涼子
90	園城寺	国宝智証大師関係文書典関保存活用専門委員会委員	5年5月29日～10年3月31日	列品室長　斎木涼子

91	大阪中之島美術館	特別展「醍醐寺」（仮）開催に係る指導助言	5年5月29日～10年3月31日	列品室長　斎木涼子
92	文化庁文化財第一課	文化財調査	7月30日、8月2日	列品室長　斎木涼子
93	文化庁	買取評価委員	11月5日	列品室長　斎木涼子
94	宮内庁正倉院事務所長　飯田剛彦	正倉院宝物の特別調査	11月5日～8日	主任研究員　三田覚之
95	読売新聞東京本社　事業局　運化事業部	特別展の展示立ち合い	7月11日	主任研究員　三田覚之
96	国立文化財機構　東京文化財研究所	円空研究資料の調査	7月10日	主任研究員　三田覚之
97	読売新聞東京本社事業局　文化事業部	特別展の撤収作業立ち合い	9月10日	主任研究員　三田覚之
98	独立行政法人国立文化財機構　東京文化財研究所	円空研究資料の調査	2月12日	主任研究員　三田覚之
99	関市	文化財調査	8月6日～8日	美術室長　岩井共二、主任研究員　山口隆介、主任研究員　三田覚之、教育室員　内藤航、資料室員　西川夏永、アソシエイトフェロー　羽良朝風
100	関市	新長谷寺文化財悉皆調査協力	3月6日～3月7日	企画室長　谷口耕生、情報サービス室長　北澤菜月、主任研究員　三本周作、主任研究員　三田覚之、松井美樹、西川夏永、アソシエイトフェロー　羽良朝風
101	読売新聞大阪本社事業局　文化事業部	正倉院展講座講演	9月1日	主任研究員　三本周作
102	文化庁文化財第一課工芸品部門	文化財の買取評価員	11月26日	主任研究員　三本周作
103	読売新聞東京本社事業局　伝統文化部長　中島康雄	展覧会作品の事前調査	5月16日～17日	研究員　樋笠逸人
104	まるごと奈良博実行委員会	特別展「まるごと奈良博」開催にかかる協力	7月28日～31日	研究員　樋笠逸人
105	文化庁文化財第一課	文化財調査	8月1日	研究員　樋笠逸人
106	読売新聞東京本社事業局　文化事業部	展覧会作品の事前調査	8月6日～7日	研究員　樋笠逸人
107	文化庁	買取評価委員	11月5日	研究員　樋笠逸人
108	仁和寺	文化財調査協力	7年3月25日～26日	研究員　樋笠逸人
109	東京国立博物館	書跡の特別調査のため	2月19日	研究員　樋笠逸人
110	東京国立博物館	令和６年度連続講座（２月）における講師として	2月28日	研究員　樋笠逸人
111	まるごと奈良博実行委員会	特別展「まるごと奈良博」開催にかかる協力	7月26日～27日	美術室長　岩井共二、教育室員　内藤航、アソシエイトフェロー 久米彩也加
112	まるごと奈良博実行委員会	特別展「まるごと奈良博」開催にかかる協力	8月2日～4日	美術室長　岩井共二、教育室員　内藤航、教育室員　翁みほり
113	法隆寺	法隆寺金堂壁画保存活用委員会　アーカイブ・ワーキンググループ専門委員	4月1日～7年3月31日	資料室員　西川夏永
114	大和高田市文化財ボランティアガイドの会	講師	9月8日	教育室員　翁みほり
115	杉野服飾大学	非常勤講師	4月11日～7年3月19日	企画室員　落合広倫
116	奈良大学	非常勤講師	4月1日～7年3月31日	アソシエイトフェロー 小峰幸夫
117	静岡県スポーツ・文化観光部文化局文化財課	静岡県文化財等救済支援員ステップ講座の講師として	3月1日	アソシエイトフェロー 小峰幸夫

【九州国立博物館】64件

	機　関	内　容	期　間	担　当　者
1	株式会社TVQ九州放送	TVQ放送番組審議会委員長	11月1日～7年10月31日	館長　富田淳
2	公益社団法人日本伝統工芸会	日本伝統工芸展運営委員	4月1日～7年3月31日	館長　富田淳
3	一般財団法人　公園財団	研究顧問	5月15日～7年3月31日	館長　富田淳
4	西南学院大学博物館	協議会委員	5年11月1日～7年3月31日	館長　富田淳
5	千葉県立美術館	資料審査委員会(書道部門)委員	5年10月20日～7年6月30日	館長　富田淳

6	公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団	評議員	5年11月9日～8年6月	館長　富田淳
7	福岡県	古代日本の「西の都」文化観光推進協議会委員	5年11月15日～9年3月31日	館長　富田淳
8	福岡市博物館	協議会委員	1月1日～7年6月30日	館長　富田淳
9	九州ベトナム友好協会	特別顧問	9月1日～8年8月31日	館長　富田淳
10	光村図書出版	高校教科用図書「書道」編集委員	4月1日～7年3月31日	館長　富田淳
11	九州国立博物館を愛する会	顧問	4月1日～7年3月31日	館長　富田淳
12	西日本シティ財団	評議員	4月1日～6年10年6月	館長　富田淳
13	日本工芸会	顧問	4月1日～7年3月31日	館長　富田淳
14	兵庫県立美術館	梅舒適コレクションの整理公開に関する有識者会議委員	4月23日～7年3月31日	館長　富田淳
15	日展	第11回日本美術展覧会 審査員	8月1日～6年12月31日	館長　富田淳
16	文部科学省	文化審議会委員（文化功労者選考分科会）	9月2日～7年9月1日	館長　富田淳
17	公益財団法人台東区芸術文化財団	書道博物館事業アドバイザー	11月1日～7年10月31日	館長　富田淳
18	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立民族学博物館	国立民族学博物館運営会議委員	4月1日～8年3月31日	学芸部博物館科学課長（兼）環境保全室長　木川りか
19	文化庁	文化審議会専門委員（文化財分科会）	4月1日～7年3月31日	学芸部企画課長　伊藤信二
20	福岡県教育庁教育総務部文化財保護課	福岡県銃砲等剣類登録審査会補助員	4月1日～7年3月31日	学芸部企画課特別展室主任研究員　望月規史
21	奈良国立博物館	文化財保存修理所運営委員会委員	4月1日～8年3月31日	学芸部長　白井克也
22	長崎県松浦市教育委員会	松浦市鷹島海底遺跡調査指導委員会委員	4月1日～8年3月31日	副館長　小泉惠英
23	リウム美術館	講師	4月16日～4月19日	学芸部文化財課資料登録室長　森實久美子
24	京都国立博物館	文化財保存修理所運営委員会委員	4月1日～8年3月31日	学芸部長　白井克也
25	九州歴史資料館	九州歴史資料館協議会委員	6月1日～8年5月31日	学芸部博物館科学課長（兼）環境保全室長　木川りか
26	NPO法人福岡城市民の会	講師	9月17日	学芸部文化財課資料登録室研究員　松浦晃佑
27	福岡県高等学校国語部会	講師	9月18日	学芸部文化財課資料登録室研究員　大澤信
28	九州産業大学	文化庁「令和6年度大学における文化芸術推進事業」に係る実行委員会委員	5月30日～7年3月31日	学芸部企画課特別展室主任研究員　西島亜木子
29	日本文化財科学会	日本文化財科学会評議員	4月1日～8年3月31日	学芸部博物館科学課長（兼）環境保全室長　木川りか
30	宮崎県教育庁文化財課	講師	7月2日	学芸部博物館科学課長（兼）環境保全室長　木川りか
31	文化庁	美術工芸品買取鑑査会議委員	8月1日～7年3月31日	学芸部文化財課長（兼）資料管理室長　野尻忠
32	アート・ドキュメンテーション学会	役員（幹事）	5年4月1日～7年3月31日	本部文化財活用センターデジタル資源担当(併)九州国立博物館学芸部文化財課資料管理室専門職　竹内俊貴
33	静岡文化芸術大学	ゲスト講師	7月19日	本部文化財活用センターデジタル資源担当(併)九州国立博物館学芸部文化財課資料管理室専門職　竹内俊貴
34	福岡県豊前神楽保存連合会	豊前神楽民俗文化財伝承・活用等事業委員	7月1日～7年3月31日	学芸部企画課文化交流展室研究員　桑原有寿子
35	東洋陶磁学会	東洋陶磁学会大会撮影協力者	7月8日、8月24日	学芸部文化財課資料管理室主任　落合晴彦
36	大牟田市立図書館	講師	1月19日	学芸部企画課特別展室主任研究員　望月規史
37	宇佐市教育委員会	宇佐市平和ミュージアム（仮称）建設準備委員会委員	5月1日～9年3月31日	学芸部博物館科学課長（兼）環境保全室長 木川りか
38	福岡県伝統的工芸品振興協議会	第４８回福岡県伝統的工芸品展 審査委員	8月30日～11月25日	学芸部長 白井克也
39	福岡県立美術館	福岡県立美術館協議会委員	5年9月7日～7年9月6日	副館長 小泉惠英
40	栃木県文化財保護審議会	委員	7月19日～9年7月18日	学芸部企画課長　伊藤信二
41	太宰府市教育委員会	太宰府市文化財専門委員会委員	10月1日～8年7月31日	学芸部企画課特別展室長　川畑憲子
42	放送大学福岡学習センター	非常勤講師（面接授業担当）	10月1日～7年3月31日	学芸部長 白井克也
43	放送大学福岡学習センター	非常勤講師（面接授業担当）	10月1日～7年3月31日	総務課施設係主任 吉浦正訓
44	放送大学福岡学習センター	非常勤講師（面接授業担当）	10月1日～7年3月31日	学芸部企画課文化交流展室長 川村佳男
45	放送大学福岡学習センター	非常勤講師（面接授業担当）	10月1日～7年3月31日	学芸部博物館科学課環境保全室研究員 渡辺祐基

46	放送大学福岡学習センター	非常勤講師（面接授業担当）	10月1日～7年3月31日	学芸部文化財課長（兼）資料管理室長 野尻忠
47	福岡県立美術館	福岡県立美術館協議会委員	5年9月7日～7年9月6日	副館長 小泉惠英
48	九州産業大学	講師	9月20日	学芸部企画課特別展室主任研究員 西島亜木子
49	文化庁	「近代歴史資料の保存に関する調査研究事業」技術審査委員	10月16日～10月31日	学芸部博物館科学課保存修復室長 志賀智史
50	熊本県博物館ネットワークセンター	講師	11月27日	学芸部博物館科学課環境保全室研究員 渡辺祐基
51	公益財団法人文化財虫菌害研究所	講習会講師	12月12日	学芸部博物館科学課長（兼）環境保全室長　木川りか
52	公益財団法人立花財団 立花家史料館	講師	11月30日	学芸部企画課特別展室主任研究員　望月規史
53	文化庁	買取評価委員	11月26日	学芸部企画課長　伊藤信二
54	福岡県人づくり・県民生活部文化振興課	「新福岡県立美術館整備事業コミッションワーク設置計画策定支援業務プロポーザル審査会」委員	11月20日～7年3月31日	副館長 小泉惠英
55	公益財団法人文化財虫菌害研究所	講師	7年3月11日	学芸部博物館科学課環境保全室研究員　渡辺祐基
56	武蔵野大学	客員教授	5年9月1日～8年8月31日	副館長 小泉惠英
57	福岡県人づくり・県民生活部文化振興課新県立美術館建設室	新福岡県立美術館アドバイザリーボード構成員	3月4日～8年3月3日	副館長 小泉惠英
58	法隆寺	専門委員	6年4月1日～7年3月31日	文化財課資料登録室長 森實　久美子
59	法隆寺	専門委員	6年4月1日～7年3月31日	学芸部博物館科学課課長 木川　りか
60	文化庁	審査委員会委員	7年2月12日～7年3月31	企画課特別展室研究員 桑原　有寿子
61	文化庁	審査委員会委員	7年2月17日～7年3月31	文化財課資料登録室長 森實　久美子
62	佐賀県文化・観光局	講師	7年2月23日	博物館科学課保存修復室長 志賀　智史
63	文化庁	審査委員会委員	7年3月10日～7年3月31	企画課特別展室長 川畑　憲子
64	佐賀県文化・観光局	受託研究「吉野ヶ里遺跡出土赤色顔料の分析調査」	8月25日～7年2月28日	博物館科学課保存修復室長 志賀　智史

【皇居三の丸尚蔵館】67件

	機　関	内　容	期　間	担　当　者
1	一般財団法人言語教育振興財団	理事	4月1日～6月30日	館長　島谷弘幸
2	光村図書出版	高校教科用図書「書道」編集委員	4月1日～7年3月31日	館長　島谷弘幸
3	ICOM日本委員会	理事	4月1日～7年3月31日	館長　島谷弘幸
4	文化庁	文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律に係る計画認定委員会委員	4月1日～7年3月31日	館長　島谷弘幸
5	文化庁	文化審議会委員	4月1日～7年3月31日	館長　島谷弘幸
6	文化庁	文化審議会文化財分科会委員	4月1日～7年3月31日	館長　島谷弘幸
7	文化庁	文化審議会文化経済部会委員	4月1日～7年3月31日	館長　島谷弘幸
8	公益社団法人日展	日展諮問委員会委員	4月1日～7年3月31日	館長　島谷弘幸
9	徳島県立文学書道館	書道資料収集委員会委員	4月1日～7年3月31日	館長　島谷弘幸
10	独立行政法人国立美術館	運営委員会委員	4月1日～7年3月31日	館長　島谷弘幸
11	公益財団法人日本博物館協会	評議員	4月1日～7年3月31日	館長　島谷弘幸
12	福岡県	文化芸術振興審議会委員	4月1日～7年3月31日	館長　島谷弘幸
13	独立行政法人日本芸術文化振興会	評議員	4月1日～7年3月31日	館長　島谷弘幸
14	外務省	日米文化教育交流会議（カルコン）パネル委員	6月2日～8年6月1日	館長　島谷弘幸
15	一般社団法人毎日書道会	理事	6月10日～8年6月9日	館長　島谷弘幸
16	公益財団法人陽明文庫	理事	6月18日～8年6月17日	館長　島谷弘幸
17	東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究室	講師「文化施設経営論」	7月1日	館長　島谷弘幸
18	一般社団法人縄文文化発信会議	顧問	10月10日～7年10月9日	館長　島谷弘幸
19	上海博物館	M20＋全球頂尖博物館大会　講演者	12月4日	館長　島谷弘幸
20	文部科学省	ユネスコ「世界の記憶」国際登録・地域登録への申請候補となる記録物に関する助言	12月23日～7年3月31日	館長　島谷弘幸

21	公益社団法人創玄書道会	第61回創玄展　文部科学大臣賞・東京都知事賞選考委員	7年2月23日	館長　島谷弘幸
22	文化庁	文化審議会専門委員（文化財分科会）	4月1日～7年3月31日	副館長　朝賀浩
23	法隆寺	「法隆寺金堂壁画保存活用委員会」壁画ワーキンググループ（美術史班）専門委員	4月1日～7年3月31日	副館長　朝賀浩
24	東京都教育委員会	博物館の登録申請に係る意見聴取	7月8日～7年3月31日	副館長　朝賀浩
25	国立アイヌ民族博物館	令和6年第3回国立アイヌ民族博物館「買取評価員」	11月13日	副館長　朝賀浩
26	東京都教育委員会	東京都文化財保護審議会委員	12月1日～8年11月30日	副館長　朝賀浩
27	東京都人事委員会	令和7年度東京都職員採用試験の試験委員	7年2月17日～7年9月30日	副館長　朝賀浩
28	文化財虫菌害研究所	「総合的防除対策検討委員会」委員	4月1日～7年3月31日	学芸部長　建石徹
29	法隆寺	「法隆寺金堂壁画保存活用委員会」保存環境ワーキンググループ専門委員	4月1日～7年3月31日	学芸部長　建石徹
30	慶應義塾大学	大学講師（非常勤）（文学部）	4月1日～9月30日	学芸部長　建石徹
31	奈良県立橿原考古学研究所	共同研究員	4月1日～8年3月31日	学芸部長　建石徹
32	独立行政法人日本スポーツ振興センター	新博物館展示・運営に関する有識者懇談会委員	5月1日～7年3月31日	学芸部長　建石徹
33	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館	共同研究員	5月27日～7年3月31日	学芸部長　建石徹
34	岩手県教育委員会	講師（文化財に係るコンプライアンス等について）	6月14日	学芸部長　建石徹
35	國學院大學	非常勤講師（文学部）	9月21日～7年3月31日	学芸部長　建石徹
36	独立行政法人国立科学博物館	講義（「博物館における生物被害対策　現状・課題・展望」について）	10月9日	学芸部長　建石徹
37	福井市教育委員会	福井市文化財保護委員会委員	4月1日～8年5月31日	学芸部展示・普及課長　戸田浩之
38	文化庁	横山華渓筆　紙本著色三蟲之図1巻　保存修理事業　審査委員会委員	5月9日～7年3月31日	学芸部展示・普及課長　戸田浩之
39	文化庁	川合玉堂筆　遠浦晴光図1幅　保存修理事業　審査委員会委員	5月9日～7年3月31日	学芸部展示・普及課長　戸田浩之
40	文化庁	円山応挙筆　旭日老松双鶴図　保存修理事業　審査委員会委員	5月9日～7年3月31日	学芸部展示・普及課長　戸田浩之
41	永平寺	永平寺二世懐弉禅師頂相の調査	5月27日～5月28日	学芸部展示・普及課長　戸田浩之
42	独立行政法人国立美術館　東京国立近代美術館	小村雪岱≪邦枝完二著「江戸役者」挿絵≫修復業務に係る企画審査委員会委員	8月21日～8月30日	学芸部展示・普及課長　戸田浩之
43	京都芸術大学	非常勤講師	4月1日～7年3月18日	学芸部展示・普及課研究員　田中純一朗
44	京都芸術大学	学位審査　審査委員	6月18日～7年3月31日	学芸部展示・普及課研究員　田中純一朗
45	文化庁	天鷲絨友禅掛幅　保存修理事業における審査委員	12月4日～7年3月31日	学芸部管理・情報課長　五味聖
46	日本博物館協会	「博物館総合調査」委員会委員	4月1日～7年3月31日	学芸部上席研究員　瀬谷愛
47	鎌倉市教育委員会	鎌倉国宝館協議会委員	4月1日～7年11月14日	学芸部上席研究員　瀬谷愛
48	日本学術会議	連携会員	4月1日～8年9月30日	学芸部上席研究員　瀬谷愛
49	神奈川県教育委員会	神奈川県文化財保護審議会委員	4月11日～8年4月10日	学芸部上席研究員　瀬谷愛
50	法隆寺	「法隆寺金堂壁画保存活用委員会」壁画ワーキンググループ（美術史班）専門委員	5月1日～7年3月31日	学芸部上席研究員　瀬谷愛
51	文化庁	横山華渓筆　紙本著色三蟲之図1巻　保存修理事業　審査委員会委員	5月9日～7年3月31日	学芸部上席研究員　瀬谷愛
52	文化庁	川合玉堂筆　遠浦晴光図1幅　保存修理事業　審査委員会委員	5月9日～7年3月31日	学芸部上席研究員　瀬谷愛
53	文化庁	円山応挙筆　旭日老松双鶴図　保存修理事業　審査委員会委員	5月9日～7年3月31日	学芸部上席研究員　瀬谷愛
54	鎌倉市教育委員会	鎌倉市文化財専門委員会委員	6月1日～8年5月31日	学芸部上席研究員　瀬谷愛
55	学習院大学大学院人文科学研究科史学専攻	講師（博物館・美術館での業務と「大学院での学び」との繋がり）	10月9日	学芸部管理・情報課研究員　芳澤直之
56	アート・ドキュメンテーション学会	学会役員幹事	4月1日～7年3月31日	学芸部管理・情報課研究員　三島大暉
57	千葉県史料保存活用連絡協議会	講師（様々なレベルのデジタルアーカイブ）	7年2月4日	学芸部管理・情報課研究員　三島大暉
58	北海道立近代美術館	講師（絵画がつないだ人々ー蠣崎波響を中心として）	10月11日～10月12日	学芸部管理・情報課研究員　上嶋悟史
59	立教大学	ゲストスピーカー（観光学部の講義・演習に登壇）	11月28日	学芸部管理・情報課研究員　上嶋悟史
60	木更津市立中郷公民館	講師（近世仏画の展開）	12月18日	学芸部管理・情報課研究員　上嶋悟史
61	大正大学	非常勤講師	4月1日～7年3月31日	学芸部調査・保存課長　髙梨真行

62	埼玉学園大学	非常勤講師	4月1日～7年3月31日	学芸部調査・保存課長　髙梨真行
63	草加市教育委員会	草加市文化財保護委員会委員	6月1日～7年3月31日	学芸部調査・保存課長　髙梨真行
64	文化庁	川合玉堂筆「遠浦晴光図」の修理にかかる調査	8月9日、11月11日	学芸部調査・保存課主任研究員　清水緑
65	全国美術館会議	川崎市市民ミュージアムの美術作品救出	7年1月10日、7年1月14日、7年1月23日、7年2月17日、7年2月28日、7年3月24日	学芸部調査・保存課主任研究員　清水緑
66	ＮＰＯ法人文化財保存支援機構	修復技術者	4月1日～7年3月31日	学芸部調査・保存課研究員　加藤広樹
67	全国美術館会議	川崎市市民ミュージアムの美術作品救出	7年2月17日、7年2月28日、7年3月24日	学芸部調査・保存課研究員　山田千穂

1-(6) 文化財の積極的な活用による文化財の継承につながる新たな取組
1-(6)-① 文化財に親しむためのコンテンツの開発とモデル事業の推進
（レプリカや，VR・AR、8K映像など企画コンテンツの開発数）

【本部文化財活用センター】

令和7年3月31日現在

コンテンツ開発及び展開数　30件（うちコンテンツ開発数　18件）

	事業名称	内　容	期　間	担　当　者
1	コンテンツ開発	「松林図屏風」の高精細複製品製作（キヤノン株式会社との共同研究）	11月20日～8年3月31日	文化財活用センター企画担当主任研究員 小島有紀子
2	コンテンツ開発	重要文化財「三角縁五神四獣鏡」(樹脂製)の複製製作	6月1日～7年3月26日	文化財活用センター企画担当主任研究員 飯田茂雄
3	コンテンツ開発	「自在蛇置物」のハンズオンレプリカ製作	11月1日～7年3月31日	文化財活用センター企画担当専門職 松沼穂積
4	コンテンツ開発	重文「遮光器土偶（前後分割）」の複製製作（東京国立博物館との共同）	7年1月9日～6月30日	文化財活用センター企画担当主任研究員 飯田茂雄、同主任研究員 小島有紀子、東京国立博物館 小野塚拓三、永田香織
5	コンテンツ開発	茶碗型ハンズオンコントローラーと8Kモニターを活用した体験型コンテンツの新規制作（九州国立博物館との共同）	4月1日～7年3月31日	文化財活用センター企画担当専門職 松沼穂積、同主任研究員 神辺知加 九州国立博物館 酒井田千明
6	コンテンツ開発	複製屏風を使用したタイムラプス動画の制作（4本）	7年1月7日	文化財活用センター研究員 小島有紀子
7	コンテンツ開発	「８Ｋで楽しむ国宝屏風『洛中洛外 京めぐり』」コンテンツへの多言語（中国語・韓国語）全6エピソード分の追加、および手話CG2エピソード分（「食（土井善晴）」・「芸能（林家正蔵）」）の追加	4月1日～7年2月28日	文化財活用センター企画担当室長 髙橋美奈子、主任研究員 神辺知加
8	コンテンツ開発	作品の高精細画像と4Kモニターを活用した、江戸時代のきものに関する体験型コンテンツ「江戸きものLOOKBOOK」の新規制作（シャープ株式会社との共同）	4月1日～7月23日	文化財活用センター企画担当 専門職 松沼穂積、同主任研究員 神辺知加、同研究員 沼沢ゆかり
9	コンテンツ開発	「斎宮女御集断簡 小島切『うら水の」』」複製品制作	4月1日～7年3月31日	文化財活用センター企画担当主任研究員 飯田茂雄、同主任研究員 神辺知加、九州国立博物館文化財課 研究員 松浦晃佑
10	コンテンツ開発	「小大君集断簡 御蔵切『うりふのゝ』」複製品制作	4月1日～7年3月31日	文化財活用センター企画担当主任研究員 飯田茂雄、同主任研究員 神辺知加、九州国立博物館文化財課 研究員 松浦晃佑
11	コンテンツ開発	「三宝絵詞断簡 東大寺切『うつくしひの』」複製品制作	4月1日～7年3月31日	文化財活用センター企画担当主任研究員 飯田茂雄、同主任研究員 神辺知加、九州国立博物館文化財課 研究員 松浦晃佑
12	コンテンツ開発	「古今和歌集断簡 本阿弥切『よのなかは』」複製品制作	4月1日～7年3月31日	文化財活用センター企画担当主任研究員 飯田茂雄、同主任研究員 神辺知加、九州国立博物館文化財課 研究員 松浦晃佑
13	コンテンツ開発	「法華経断簡 戸隠切『舎利弗云々』」複製品制作	4月1日～7年3月31日	文化財活用センター企画担当主任研究員 飯田茂雄、同主任研究員 神辺知加、九州国立博物館文化財課 研究員 松浦晃佑
14	コンテンツ開発	「平城京SD5100出土土師器杯A」(盤上遊戯「かりうち」関連平城宮・京出土遺物)複製品制作	4月1日～7年1月20日	文化財活用センター企画担当主任研究員 飯田茂雄、同主任研究員 神辺知加、奈良文化財研究所文化遺産部遺跡整備研究室主任研究員 高橋知奈津
15	コンテンツ開発	「平城宮SK820出土須恵器皿B」(盤上遊戯「かりうち」関連平城宮・京出土遺物)複製品制作	4月1日～7年1月20日	文化財活用センター企画担当主任研究員 飯田茂雄、同主任研究員 神辺知加、奈良文化財研究所文化遺産部遺跡整備研究室主任研究員 高橋知奈津
16	コンテンツ開発	「十一面観音菩薩像」複製品制作 令和6年度分_三次元計測およびX線CTスキャンデータの統合処理事業	4月1日～6年12月31日	文化財活用センター企画担当主任研究員 飯田茂雄、同主任研究員 神辺知加、奈良国立博物館 翁みほり
17	コンテンツ開発	「泣不動縁起」複製品制作	4月1日～7年3月28日	文化財活用センター企画担当主任研究員 飯田茂雄、同主任研究員 神辺知加、奈良国立博物館 翁みほり
18	コンテンツ開発	「矢田地蔵縁起」複製品制作	4月1日～7年3月28日	文化財活用センター企画担当主任研究員 飯田茂雄、同主任研究員 神辺知加、奈良国立博物館 翁みほり
19	コンテンツ展開	茶碗型ハンズオンコントローラーと8Kモニターを活用した体験型コンテンツ「８Ｋで文化財　ふれる・まわせる名茶碗」展開（岡山県立博物館で公開）（文化庁「令和3年度地域ゆかりの文化資産地方展開促進事業　先端技術を活用した文化資産コンテンツ制作プロジェクト」受託により制作）	7年1月31日～3月16日	文化財活用センター企画担当専門職 松沼穂積
20	コンテンツ展開	複製・映像を使用した常設の体験型展示スペース「日本美術のとびら」でのコンテンツ展開（日本文化紹介映像、非接触体験展示「日本美術のデジタル年表」、高精細複製品を東京国立博物館で公開）	4月1日～7年3月31日（7月1日～10月7日は閉室）	文化財活用センター企画担当主任研究員 小島有紀子

21	コンテンツ展開	複製・デジタルコンテンツを活用した常設の展示スペース「デジタル法隆寺宝物館」でのコンテンツ展開（東京国立博物館で公開）	4月1日～7年3月31日（以降も継続）	文化財活用センター企画担当室長 髙橋美奈子、同主任研究員 神辺知加、同研究員 沼沢ゆかり、同アソシエイトフェロー 加納彩子
22	コンテンツ展開	複製を活用した展示スペース「日本美術のつばさ×HANEDA」での高精細複製品の展開（羽田空港第2ターミナル国際線出発ロビー、第3ターミナル江戸舞台で公開）	6月21日～7年3月31日	文化財活用センター企画担当主任研究員 小島有紀子
23	コンテンツ展開	複製を活用した展示スペース「日本美術のつばさ×東京国際クルーズターミナル」での高精細複製品の展開（東京国際クルーズターミナルで公開）	7年3月7日～31日	文化財活用センター企画担当主任研究員 小島有紀子
24	コンテンツ展開	複製・デジタルコンテンツの貸与（6件）	4月1日～7年3月31日	文化財活用センタ企画担当主任研究員 小島有紀子、同主任研究員 飯田茂雄、同専門職 松沼穂積
25	コンテンツ展開	「なぶんけん×ぶんかつアウトリーチプログラム」としてキットを活用した教育プログラムの提供（41件）	4月1日～7年3月31日	文化財活用センター企画担当主任研究員 小島有紀子、奈良文化財研究所研究員　髙橋 知奈津、小田 裕樹
26	コンテンツ展開	「ぶんかつアウトリーチプログラム」として複製を活用した教育プログラムの提供（26件）	4月1日～7年3月31日	文化財活用センター企画担当主任研究員 小島有紀子、飯田茂雄、研究員 沼沢ゆかり、同専門職 松沼穂積
27	コンテンツ展開	「８Ｋで楽しむ国宝屏風『洛中洛外 京めぐり』」の公開実証（NHK名古屋放送センター）	10月5日～10月14日	文化財活用センター企画担当室長 髙橋美奈子、同主任専門職 神辺知加
28	コンテンツ展開	「８Ｋ文化財」3DCGモデル[国宝　洛中洛外図屏風（舟木本）]の体験展示の公開実証（佐賀県立美術館　特別展内）	12月6日～7年1月29日	文化財活用センター企画担当室長 髙橋美奈子、同主任研究員 神辺知加
29	コンテンツ展開	複製を用いた教育プログラムの提供(東京国立博物館・キッズデー)	7年1月26日	文化財活用センター企画担当主任研究員 飯田茂雄
30	コンテンツ展開	GIGAスクール構想に適した教育コンテンツ「うるし体験for WEB」の公開	7年3月31日	文化財活用センター企画担当主任研究員 飯田茂雄

1-(6)-② 国立博物館収蔵品貸与促進事業

【本部文化財活用センター】6件

令和7年3月31日現在

	貸与先名	展覧会名称	期間	収蔵館・貸与件数（件）
1	鹿児島市立美術館	鹿児島市立美術館開館70周年記念 没後100年 黒田清輝とその時代	7月24日～9月1日	東京国立博物館：43件
2	岐阜県美術館	「清流の国ぎふ」文化祭2024　PARALLEL MODE：山本芳翠	9月27日～12月8日	東京国立博物館：6件
3	福井市立郷土歴史博物館	鉄の名工　越前明珍	10月19日～12月1日	東京国立博物館：6件
4	豊橋市美術博物館	銅鐸の国ー伊奈銅鐸出土100年ー	11月30日～7年2月2日	東京国立博物館：13件 奈良国立博物館：1件
5	佐野市立吉澤記念美術館	佐野市制20周年記念特別企画展　丸山瓦全と佐野のお宝 保護作戦！―エラスムス立像を見つけ、天明鋳物をまもったー	7年1月25日～3月9日	東京国立博物館：9件
6	茨城県立歴史館	開館50周年記念 春の特別展　雪村―常陸に生まれし遊歴の画僧ー	7年2月15日～4月6日	東京国立博物館：4件 京都国立博物館：4件

1-(6)-③ 文化財情報のデジタル資源化の推進と国内外への情報発信（後述の資料に記載）◎共通資料d

1-(6)-④-1 文化財の保存等の相談・助言・支援に関わる取組状況
（専門的・技術的な援助・助言の件数、行政、公私立博物館等の各種委員会等の各種委員等への就任件数、依頼事項への対応件数等）

【本部文化財活用センター】161件

令和7年3月31日現在

※令和3年度まで2-(5)-②-1 専門的・技術的な援助・助言の取組状況へ掲載していた実績を、令和4年度より本表に集約する。

	機　関	内　容	期　間	担　当　者
1	学校法人学習院大学　学習院女子大学	非常勤講師	4月1日～9月25日	文化財活用センター企画担当室長　髙橋美奈子
2	バハレーン国立博物館ほか湾岸諸国博物館,東京文化財研究所文化遺産国際協力センター	文化遺産国際協力拠点交流事業「デジタル技術を用いたバーレーンおよび湾岸諸国における文化遺産の記録・活用に関する拠点交流事業」招へい者への体験型展示、デジタルコンテンツ、複製品貸出に関する助言	10月30日	文化財活用センター企画担当課長藤田千織、同室長髙橋美奈子
3	佐賀県立美術館	特別展「桃山三都―京・大坂と肥前名護屋―」（主催：佐賀新聞社、佐賀県立美術館）における３ＤＣＧデータ（「８Ｋ文化財」）の体験展示の実施および利用者の日本美術鑑賞の導入効果にかかる調査・実証	12月6日～1月29日	文化財活用センター企画担当課長藤田千織、同室長髙橋美奈子、同主任研究員　神辺知加
4	内閣府	デジタルアーカイブ推進に関する検討会　構成員	4月1日～12月31日	文化財活用センターデジタル資源担当室長　阿児雄之
5	国立アートリサーチセンター	機関横断型デジタルアーカイブの構築と運営に関する助言	7月18日	文化財活用センターデジタル資源担当課長　村田良二、同室長　阿児雄之
6	学校法人大妻学院	大妻女子大学非常勤講師	4月1日～7年3月31日	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人
7	奈良県	なら歴史芸術文化村修復工房使用者等選定委員会委員	6月1日～7年5月31日	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人
8	公益財団法人文化財虫菌害研究所	総合調整委員会委員	5年4月1日～7年3月31日	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人
9	青山学院大学	非常勤講師	9月～7年3月31日	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
10	放送大学	講師	4月～7年3月31日	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
11	文化庁	令和6年度公開承認施設担当者会議　講師	6月14日	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
12	（独）人間文化研究機構　国文学研究資料館	2024年度アーカイブズ・カレッジ（史料管理学研修会）　講師	9月10日	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
13	（一社）文化財保存修復学会	理事	6月～8年6月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
14	（一社）文化財保存修復学会	公開シンポジウム実行委員会　委員	8月～7年3月31日	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
15	（一社）文化財保存修復学会	第46回大会実行委員会　委員	10月～7年3月31日	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
16	（一社）文化財保存修復学会	第46回大会プログラム作成委員会　委員	11月～7年3月31日	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
17	（公財）文化財虫菌害研究所	第13回文化財IPMコーディネータ資格取得のための講習会　講師	12月13日	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
18	東京文化財研究所	保存科学誌第64号編集委員会　委員	12月～7年3月31日	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
19	新潟県教育委員会	令和６年度 新潟県文化財保存活用講習会　講師	10月10日	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
20	杉並区立郷土博物館	学芸員研修　講師	11月21日	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同研究員　間渕創
21	豊田市博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	4月～7月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
22	佐野市立吉澤記念美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	4月～7月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
23	上越市立歴史博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	4月～5月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
24	鹿児島市立美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	4月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
25	新潟県立近代美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	4月～7月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
26	群馬県立近代美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	4月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
27	安城市歴史博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	4月～5月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
28	刈谷市歴史博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	4月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
29	松本市立博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	4月～10月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
30	備前長船刀剣博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	4月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
31	大阪市立美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	4月～10月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
32	仙台市博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	5月～7月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
33	国立能楽堂	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	5月～9月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
34	鳥取市歴史博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	5月～6月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
35	和歌山市立博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	5月～7月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
36	茨城県近代美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	5月～7月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
37	奈良県立万葉文化館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	6月～7月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創

38	朝日町歴史博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	6月～7月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
39	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	6月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
40	群馬県立歴史博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	6月～7月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
41	たつの市立龍野歴史文化資料館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	6月～7月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
42	弘前市立博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	6月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
43	芦屋町立芦屋釜の里	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	6月～7月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
44	岡山シティミュージアム	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	7月～8月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
45	大分市美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	7月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
46	宇和島市立伊達博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	7月～8月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
47	公益財団法人 大倉集古館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	7月～8月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
48	市原歴史博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	7月～8月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
49	福岡市美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	7月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
50	栃木県立美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	7月～9月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
51	敦賀市立博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	8月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
52	広島県立歴史民俗資料館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	8月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
53	長崎県美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	8月～10月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
54	下関市立歴史博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	8月～9月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
55	金沢市立中村記念美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	8月～10月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人
56	比叡山国宝殿	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	9月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人
57	長野県立美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	9月～10月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
58	仙台市博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	10月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
59	表千家北山会館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	10月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
60	なら歴史芸術文化村	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	10月～11月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
61	大阪市立住いのミュージアム	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	11月～12月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
62	上田市美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	11月～12月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
63	土浦市立博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	11月～12月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
64	中津市歴史博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	12月～継続中	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
65	佐倉市立美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	12月～継続中	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
66	北海道立近代美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	4月～6月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
67	大阪中之島美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	4月～6月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人
68	福井県立美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	4月～8月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
69	足利市立美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	4月～9月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人
70	岐阜県現代陶芸美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	12月～1月	文化財活用センター保存担当主任研究員　間渕創
71	郡山市立美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	1月～継続中	文化財活用センター保存担当主任研究員　間渕創
72	新潟県立近代美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	1月～2月	文化財活用センター保存担当主任研究員　間渕創
73	天童市美術館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	1月～2月	文化財活用センター保存担当主任研究員　間渕創
74	松本市立博物館	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	3月～継続中	文化財活用センター保存担当主任研究員　間渕創
75	名古屋市蓬左文庫	文化財保護法第53条に基づく、所有者以外による文化財の公開に係る保存環境調査協力	3月	文化財活用センター保存担当主任研究員　間渕創
76	豊橋市美術博物館	公開承認施設申請に係る保存環境調査協力	5月～10月	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
77	大阪歴史博物館	公開承認施設申請に係る保存環境調査協力	7月～9月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人
78	高知県立歴史民俗資料館	公開承認施設申請に係る保存環境調査協力	2月～継続中	文化財活用センター保存担当　主任研究員　間渕創
79	佐野美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月～9月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
80	郡山市立美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
81	香川県立ミュージアム	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月～6月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
82	茶道資料館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月～5月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創

83	刀剣博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月～9月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
84	岐阜市歴史博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
85	新潟県立歴史博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月～10月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
86	佐賀県立博物館・美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	5月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
87	秋田市立千秋美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	5月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
88	国立新美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	5月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
89	永青文庫	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	5月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
90	水野美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6月～7月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
91	愛知県美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
92	宇都宮美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6月～7月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
93	島根県立古代出雲歴史博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
94	福井市立郷土歴史博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6月～10月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
95	世田谷美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	6月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
96	公益財団法人 正木美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	7月～8月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
97	京都府立丹後郷土資料館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	7月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
98	日本博物館協会	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	8月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
99	香川県綾川町立生涯学習センター	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	8月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
100	三重県立美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	8月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
101	日光山輪王寺 宝物殿	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	8月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
102	岐阜関ケ原古戦場記念館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	8月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
103	奈良県立万葉文化館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	8月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
104	飛騨市教育委員会	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	8月～継続中	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
105	桑名市博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	9月～10月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
106	福井県立美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	10月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
107	国立国会図書館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	9月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
108	八王子市郷土資料館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	10月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
109	千葉県立美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	10月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
110	荒神谷博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	10月～継続中	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
111	鎌倉国宝館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	11月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
112	金沢21世紀美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	12月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
113	古河歴史博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	12月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創

114	独立行政法人造幣局 造幣博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
115	若松城天守閣郷土博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月～5月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
116	高槻市立しろあと歴史館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
117	弘前市立博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
118	都城市都城島津邸（宮崎県）	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	4月～6月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
119	県立神奈川近代文学館／公益財団法人神奈川文学振興会展示課	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	5月～10月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
120	鹿島建設株式会社	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	5月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
121	愛媛県観光スポーツ文化部文化部まなび推進課	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	5月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
122	北海道立帯広美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	7月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
123	福井県立若狭歴史博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	8月～11月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
124	静岡市歴史博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	8月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
125	さいたま市大宮盆栽美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	8月～10月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
126	東京都江戸東京博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	9月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
127	中山道広重美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	9月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
128	愛媛県美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	9月～10月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
129	西脇市岡之山美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	9月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
130	練馬区立美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	9月～10月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
131	（公財）東京動物園協会	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	10月～11月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
132	八王子市郷土資料館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	10月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
133	クマヒラ	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	11月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
134	鎌倉国宝館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	11月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
135	古河歴史博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	12月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
136	金沢21世紀美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	12月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
137	鎌倉彫資料館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	12月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
138	千葉県立美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	1月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
139	和歌山県教育庁	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	1月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
140	三重県総合博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	1月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
141	愛知県県民文化局	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	1月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
142	高知県立歴史民俗資料館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	1月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
143	文化庁	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	1月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
144	国立ハンセン病資料館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	1月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創

145	神奈川県教委生涯学習課	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	1月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
146	橋本市郷土資料館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	1月～2月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
147	愛知県美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	2月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
148	広島市現代美術館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	2月～継続中	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
149	千葉市教育委員会文化財課	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	2月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
150	大妻女子大学博物館	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	3月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
151	京セラ株式会社稲盛ライブラリ	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	3月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
152	宗教法人　覚林坊	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	3月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
153	東洋文庫	施設の文化財保存環境に係る相談対応・助言・改善協力	3月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
154	滋賀県立琵琶湖文化館	新築、増改築施設の環境に係る設計協議	7月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
155	土岐市新博物館	新築、増改築施設の環境に係る設計協議	9月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
156	深大寺白鳳院	新築、増改築施設の環境に係る設計協議	10月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
157	品川開発プロジェクト（第Ⅰ期）	新築、増改築施設の環境に係る設計協議	12月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
158	JRA馬の博物館	新築、増改築施設の環境に係る設計協議	1月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
159	福岡県立美術館	新築、増改築施設の環境に係る設計協議	3月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
160	佐野市立吉澤記念美術館	令和6年度貸与促進事業実施館の環境調査、改善協力	4月～7月	文化財活用センター保存担当課長 吉田直人、同主任研究員　間渕創
161	愛媛県歴史文化博物館	令和7年度貸与促進事業実施館の環境調査、改善協力	3月	文化財活用センター保存担当主任研究員　間渕創

2-(3) 文化遺産保護に関する国際協働

2-(3)-① 文化遺産保護に関する国際協働の総合的な推進

2-(3)-①-1 文化遺産保護の国際協働に関する取組状況
（文化遺産保護に関する国際情報の収集等事業の実施件数、諸外国における文化遺産の保存・修復に関する研修・ ワークショップ等の満足度）

【東京文化財研究所】4件

	研修・ワークショップ	実施時期	対象者	日数（日）	回数（回）	満足度（%）	備考
1	国際研修「紙の保存と修復」	8月26日～9月13日	世界各国の文化財保存修復関係者	15	1	100	
2	「文化遺産の3Dデジタル・ドキュメンテーションとその活用に関するワークショップ」および「日本の博物館、史跡におけるAR、VR、デジタル・コンテンツの活用に関するスタディー・ツアー」	10月21日～10月30日	バーレーン、サウジアラビア、クウェート、オマーンの専門家	10	1	―	
3	「海外調査のための３次元計測実習」	11月2日、3日、4日	海外で文化遺産保護に携わる日本の専門家	3	1	―	
4	「ネパール・キルティプルの伝統的民家の保全に向けたワークショップ」	12月26日	キルティプル市行政官、地域住民、歴史的建造物保存に関わる現地専門家	1	1	―	

【奈良文化財研究所】3件

	研修・ワークショップ	実施時期	対象者	日数	回数	満足度（%）	備考
1	ACCUの実施する文化遺産の保護に資する研修-集団研修	8月26日～10月3日	アジア太平洋諸国15か国からの研修生	39	1	―	
2	ACCUの実施する文化遺産ワークショップ	10月21日～10月26日	ベトナム	6	1	―	
3	ACCUの実施する文化遺産の保護に資する研修-個別テーマ研修	11月18日～11月29日	ラオス	12	1	―	

2-(3)-①-2 文化遺産保護の国際協働に関する取組状況（諸外国の研究機関等との共同研究等の実施件数）

【東京文化財研究所】3件

	名称	機関名	備考
1	アンコール遺跡群の保存に関する共同協力事業に関する覚書	アンコール・シェムリアップ地域保存整備機構（APSARA）・東京文化財研究所・奈良文化財研究所	
2	伝統民家を含むブータンの歴史的建造物の共同調査研究に関する覚書	ブータン王国内務文化省文化局・東京文化財研究所	
3	アラビア湾岸考古学と文化遺産のためのバーレーンセンターに関する覚書	バーレーン文化古物局・東京文化財研究所・金沢大学古代文明文化資源学研究所	

【奈良文化財研究所】　3件

	名称	機関名	備考
1	文化遺産における分子生物学及び化学的分析研究プログラムに関する合意書	奈良文化財研究所、マルグラン記念考古学研究所（カザフスタン）	
2	学術交流及び協力に関する合意書	奈良文化財研究所、ヨーク大学考古学部（イギリス）	
3	教育に関する協力合意書	奈良文化財研究所、バスク・クリナリーセンター（スペイン）	

2-(3)-② アジア太平洋地域の無形文化遺産保護に関する調査研究

2-(3)-②-1 アジア太平洋地域の無形文化遺産保護に関する取組状況（刊行物件数）

（後述の資料に記載） ◎共通資料c-⑥

2-(3)-②-2 アジア太平洋地域の無形文化遺産保護に関する取組状況（国際会議等開催件数）

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】10件

令和7年3月31日現在

	研修・ワークショップ	実施時期	対象者	日数（日間）	回数（回）	摘要
1	「若手研究者育成のための出版プログラム」キックオフ・ワークショップ（オンライン）	10月1日	ベトナム、インドネシア、フィリピン、ネパール、インド、スロバキア、イラン、オーストラリア他の無形文化遺産の若手研究者及び指導する研究者	1日	1	文化庁受託経費
2	無形文化遺産の持続的な開発への貢献に関する研究―持続可能なまちづくりと無形文化遺産　国際シンポジウム	10月10日～12日	カンボジア、マレーシア、マーシャル諸島、インド、キルギス、韓国、モンゴルの無形文化遺産の専門家、研究者 及び一般	3日	1	文化財保存活用基金
3	「若手研究者育成のための出版プログラム」第２回オンライン・ワークショップ（オンライン）	10月29日	ベトナム、インドネシア、フィリピン、ネパール、インド、スロバキア他の無形文化遺産の若手研究者及び指導する研究者	1日	1	文化庁受託経費
4	第13回IRCI運営理事会　（オンライン）	11月14日	IRCI運営理事	1日	1	文化庁受託経費
5	「若手研究者育成のための出版プログラム」第３回オンライン・ワークショップ（オンライン）	7年1月29日	ベトナム、インドネシア、フィリピン、ネパール、インド、スロバキア他の無形文化遺産の若手研究者及び指導する研究者	1日	1	文化庁受託経費
6	アジア太平洋地域における無形文化遺産保護のための研究フォーラム国際会議「無形文化遺産保護研究の新領域」	7年2月13日～15日	ベトナム、インドネシア、マレーシア、フィリピン、ネパール、インド、オーストラリア、ニュージーランド、スロバキア他無形文化遺産の研究者及び一般	3日	1	文化庁受託経費
7	「若手研究者育成のための出版プログラム」実地ワークショップ	7年2月12日～14日	タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、フィリピン、ネパール、インド、パキスタン、バングラディシュ他の無形文化遺産の若手研究者及び指導する研究者	2日	1	文化庁受託経費
8	気候変動事業オンラインセミナー「気候変動に関する先住民および在来の知識：ユネスコによるアフリカおよびカリブ海におけるコミュニティ主導の調査研究」	7年2月21日	無形文化遺産の研究者 及び一般	1日	1	文化財保存活用基金
9	気候変動事業オンラインセミナー「先住民および在来の知識を活用して適応能力を高める：東南アジア沿岸部コミュニティの事例から」	7年2月26日	無形文化遺産の研究者 及び一般	1日	1	文化財保存活用基金
10	持続的情報収集事業最終ワークショップ	7年2月28日	カザフスタン、キルギス、モンゴル、ウズベキスタン、フィジー、モルディブ、パラオ、パプアニューギニア、東ティモール、バヌアツの無形文化遺産の研究者	1日	1	文化庁受託経費

2-(3)-②-3　研究交流実績一覧　（後述の資料に記載） ◎共通資料c-①

2-(3)-②-4　調査研究テーマ一覧　（後述の資料に記載） ◎共通資料c-②

2-(3)-②-5　学会、研究会等発表実績一覧　（後述の資料に記載） ◎共通資料c-③

2-(3)-②-6　シンポジウム開催実績一覧　（後述の資料に記載） ◎共通資料c-④

2-(3)-②-7　論文等発表実績一覧　（後述の資料に記載） ◎共通資料c-⑤

2-(3)-②-8　調査研究刊行物一覧　（後述の資料に記載） ◎共通資料c-⑥

2-(3)-②-9　ウェブサイトアクセス件数　（後述の資料に記載） ◎共通資料d

2-(4) 文化財に関する情報資料の収集・整備及び調査研究成果の公開・活用

2-(4)-① 文化財情報基盤の整備・充実

2-(4)-①-1 図書、雑誌等の公開に関する取組状況

令和7年3月31日

		東京文化財研究所			奈良文化財研究所		
資料閲覧室・図書資料室の開室日数（日）		138日			148日		
資料閲覧室・図書資料室の利用者数（人）		752人			110人		
		令和5年度末	6年度追加	6年度末	令和5年度末	6年度追加	6年度末
文化財に関する資料・図書の受入件総数（件）	図書	130,268件	1,531件	131,799件	403,533件	5,806件	409,339件
	雑誌	180,742件	2,526件	183,268件	113,954件	2,523件	116,477件
	その他（図録・報告書等）	53,077件	1,989件	55,066件	213,093件	4,033件	217,126件 *
	計	357,757件	6,046件	363,803件	517,487件	8,329件	525,816件

＊奈良文化財研究所においては、その他（図録・報告書等）は図書に含む。

2-(4)-①-2 文化財に関するデータベースの状況

令和7年3月31日

	東京文化財研究所	奈良文化財研究所
文化財に関するデータベースの公開件数（件）	47件	35件
データベースのデータ件数（件）	1,948,320件	2,755,819件
データベース等へのアクセス件数（件）	5,105,857件	30,086,187件
（ホームページへのアクセス件数（件））	7,009,953件	31,358,951件

2-(4)-② 調査研究成果の発信

2-(4)-②-1 調査研究刊行物一覧

（後述の資料に記載）◎共通資料c-⑥

2-(4)-②-2 講演会等の開催実績

【東京文化財研究所】　5件　752人　令和7年3月31日

No.	名称	開催日	開催場所	主催	事業内容	来場者数	備考
1	こども文化遺産ワークショップ「文字と記号で謎を解く！古代エジプト人の技」	7月27日	東京文化財研究所	東京文化財研究所	文化遺産への関心の裾野を広げるため、小学生を対象に古代エジプトの調査・研究に触れるワークショップを開催した。	65人	
2	第58回オープンレクチャー「かたちを見る、かたちを読む」	11月1日、2日	東京文化財研究所	東京文化財研究所	美術史研究の成果を一般に公表する講座を開催した。	139人	
3	第18回東京文化財研究所無形文化遺産部公開学術講座「文化財修理と在来絹製作―絹織製作研究所の技術をつなぐ―」	12月6日	東京文化財研究所	東京文化財研究所	染織文化財の修理に欠かせない材料・技術である「在来絹製作」について、一般向けに分かりやすく紹介を行った。	122人	
4	第 19 回 無形民俗文化財研究協議会「ステージの上の民俗芸能～その魅せ方をめぐって～」	12月20日	東京文化財研究所	東京文化財研究所	ステージ上で上演される民俗芸能を通じて、民俗芸能の保存と活用に関する研究協議会を開催した。	122人	
5	第32回西アジア発掘調査報告会	3月22日、23日	東京文化財研究所	日本西アジア考古学会、東京文化財研究所	西アジア地域における2024年の発掘調査成果について発表する報告会を共催した。	304人	

【奈良文化財研究所】　11件　3,018人

No.	名称	開催日	開催場所	主催	事業内容	来場者数	備考
1	第１３０回公開講演会「東大寺東塔（天平塔）を復元する！」	6月29日	平城宮跡資料館講堂	奈良文化財研究所	テーマ「東大寺東塔（天平塔）を復元する！」について、2人による講演を行った。	253人	
2	第１３１回公開講演会「奈良時代の大嘗祭ー聖武天皇即位1300年を記念して」	10月26日	平城宮跡資料館講堂	奈良文化財研究所	テーマ「奈良時代の大嘗祭ー聖武天皇即位1300年を記念して」について、2人による講演を行った。	242人	
3	聖武天皇即位1300年記念　特別講演会「聖武天皇の宮−平城宮、恭仁宮、紫香楽宮、そして難波宮−」	10月27日	大阪歴史博物館講堂	奈良文化財研究所	テーマ「聖武天皇の宮−平城宮、恭仁宮、紫香楽宮、そして難波宮−」について、1人による講演及びパネルディスカッションを行った。	213人	
4	第１５回奈良文化財研究所東京講演会「奈文研、食に挑む―ヒトは何をどのように食べてきたのか？―」	11月16日	一橋大学一橋講堂	奈良文化財研究所	テーマ「奈文研、食に挑む―ヒトは何をどのように食べてきたのか？―」について、4人による講演及びパネルディスカッションを行った。	174人	
5	特別講演会「大織冠・藤原鎌足に迫る―史跡・阿武山古墳の新事実」	10月19日	飛鳥資料館講堂	奈良文化財研究所	帝塚山大学客員教授の牟田口章人氏を講師に迎え、藤原鎌足の墓とも考えられている阿武山古墳を最新の画像解析から新たに判明した研究成果を発表する特別講演会を開催した。	90人	
6	秋期特別展第１回関連講演会「田んぼの見方―明日香村の灌漑システムを読み解く」	10月12日	飛鳥資料館講堂	奈良文化財研究所	４年間にわたる灌漑水利に関する現地調査の成果をもとに、一部では古代から継承されてきた灌漑水利システムの歴史と特性を発表した。	40人	

7	秋期特別展第２回関連講演会「古地図の見方―江戸・明治の飛鳥の風景を読み解く」	11月2日	飛鳥資料館講堂	奈良文化財研究所	飛鳥地域の各集落に保管される古地図群についての調査成果をもとに、江戸・明治時代の水利権をめぐる衝突や調停の歴史や現在に継承される水利慣行を紹介した。	51人	
8	秋期特別展関連ウォークイベント　奈文研研究員と歩く飛鳥「水と暮らしの風景をたどる」	11月9日	飛鳥資料館から藤原宮跡資料室まで散策	奈良文化財研究所	秋期特別展で展示した古地図に描かれた地域を実際に歩きながら、現在の景観に秘められた歴史を案内した。	21人	
9	平城第660次調査（西大寺金堂回廊）	5月8日	西大寺金堂回廊	奈良文化財研究所	地元向け説明会	114人	
10	平城第665次調査（薬師寺回廊西北隅）	11月9日	薬師寺回廊西北隅	奈良文化財研究所	現地見学会	1,201人	
11	石神遺跡の調査（飛鳥藤原第217次調査）	3月8日	奈良県高市郡明日香村飛鳥	奈良文化財研究所	石神遺跡の調査（飛鳥藤原第217次調査）現地見学会を開催した。	619人	

2-(4)-②-3 シンポジウム開催実績一覧　（後述の資料に記載）◎共通資料c-④

2-(4)-②-4 ウェブサイトアクセス件数　（後述の資料に記載）◎共通資料d

2-(4)-②-5 学術情報リポジトリ等によるウェブサイトにおける論文等の公開件数

令和7年3月31日

	東京文化財研究所	奈良文化財研究所
学術情報リポジトリ等によるウェブサイトにおける論文等の公開件数（件）	4,070件	7,589件

2-(4)-③ 展示公開施設の充実

2-(4)-③-1 来館者数推移（入館料別）（過去５か年）　（後述の資料に記載）◎共通資料a-①

2-(4)-③-2 来館者数推移（展覧会別）（過去５か年）　（後述の資料に記載）◎共通資料a-②

2-(4)-③-3 平常展・特別展・海外展　（後述の資料に記載）◎共通資料a-③

2-(5) 地方公共団体等を対象とする文化財に関する研修及び協力等
2-(5)-① 文化財に関する研修の実施
2-(5)-①-1 文化財に関する研修の実施実績

【東京文化財研究所】　　1件　　受講者 24人

No.	研修課程	研修期間	日数（日）	研修対象	研修内容	参加者数	満足度	研修成果の活用実績	備考
1	博物館・美術館等の保存担当学芸員研修（上級コース）	7月8日～12日	5	博物館・美術館等の文化財の保存担当者	文化財の保存科学の基礎と実践上の諸問題についての講義と実習	24人	100%	96%	

【奈良文化財研究所】　　13件　　受講者 329人

No.	研修課程	研修期間	日数（日）	研修対象※	研修内容	参加者数	満足度	研修成果の活用実績	備考
1	文化財担当者研修「文化的景観調査計画課程」	6月5日～7日	3	地方公共団体の文化財担当職員※	文化的景観の保護制度、地域の文化遺産を総合的に理解するための調査手法、それらを保存活用するための計画立案等についての基礎を習得することを目的とする。弱体化する地域社会の中で、行政や住民自身が地域の生活・生業の仕方やその環境に潜む歴史文化の豊かさと魅力に気づき、それらを自然基盤を含めた背景から読み取っていくための方法、また、それらのストーリーを活かした地域づくりや観光振興を支援すること等に関心を持つすべての方を対象とする。	13人	92%	77%	
2	文化財担当者研修「文化財石垣保存整備（講義）課程」	6月12日～14日	3	地方公共団体の文化財担当職員※	近年の大規模地震等による城郭石垣等の被災・復旧を踏まえ、文化財石垣の保存活用に必要な専門的知識や管理活用事例などについて、地方公共団体の担当者としての基礎的な知識の習得を目指す研修をおこない、各地域の中核として文化財保護活動をおこなう者を育成するとともに、本研修を受講した者が、研修内容を踏まえた研修会の講師として活動することや指導・助言等をおこなうことを目的とする。オンラインによる講義で実施する。	93人	100%	85%	オンライン
3	文化財担当者研修「文化財石垣保存整備（実習）課程」	6月17日～18日	2	地方公共団体の文化財担当職員※	近年の大規模地震等による城郭石垣等の被災・復旧を踏まえ、文化財石垣の保存活用に必要な専門的知識や管理活用事例などについて、地方公共団体の担当者としての基礎的な知識の習得を目指す研修をおこない、各地域の中核として文化財保護活動をおこなう者を育成するとともに、本研修を受講した者が、研修内容を踏まえた研修会の講師として活動することや指導・助言等をおこなうことを目的とする。文化財石垣保存整備（講義）課程を受講した者を対象に実習を実施する。	10人	100%	90%	金沢市で開催
4	文化財担当者研修「文化財デジタルアーカイブ課程」	7月22日～26日	5	地方公共団体の文化財担当職員※	デジタル技術を用いて、調査記録類（画像含む）および報告書のデジタル化や文化財コンテンツの公開活用を行うための必要な知識やスキルを習得するための研修。コンテンツのデータベース公開、オープンデータ化、著作権などの知的財産権も扱う。対面に加えオンラインも同時開講する。	74人	100%	76%	対面：25　/　オンライン：49
5	文化財担当者研修「自然科学分析外注課程」	9月25日～27日	3	地方公共団体の文化財担当職員※	動植物遺体や年代測定などの自然科学分析を外注する際に必要な基礎知識の習得や留意点の理解を目指す研修	10人	100%	100%	

6	文化財担当者研修「遺跡調査技術課程」	9月30日～10月4日	5	地方公共団体の文化財担当職員※	発掘調査現場や調査成果の活用に役立つ、実践的な知識と技術の習得、多分野協業に求められる視点について実習を交えながら学ぶ。具体的には直営で必要となる地質調査や探査・計測、遺存体を含めた土壌の調査法を学び、対してどのような分析を、どのような形で委託すべきか、その際に必要な知識や判断基準は何か、加えて委託分析に向けた試料採取法について学ぶ。	21人	100%	95%	
7	文化財担当者研修「石造物調査課程」	10月15日～18日	4	地方公共団体の文化財担当職員※	発掘調査や野外調査で実践可能な、古代中世石造物にかんする基礎知識・観察記録技術と石材鑑定、保存科学的な基礎知識を習得することを目的とする。また、地域資源としての石造物の保存と活用についても理解を深めようとするものである。	13人	100%	85%	
8	文化財担当者研修「保存科学(木製遺物)課程」	10月21日～29日	7	地方公共団体の文化財担当職員※	出土木製遺物の保存に必要となる基礎的な知識と技術の習得を目的とした課程。 木製遺物の保存処理法を中心に、発掘現場における応急処置から一時保管、保存処理後の展示・保管環境にいたるまで、一連の流れに沿った講義と実習をおこなう。研修を通して、受講生自身で遺物の保存処理を実践可能となること、また処理の外注に際しても適切な仕様の策定が可能となることを目標とする。	13人	100%	92%	
9	文化財担当者研修「文化財写真課程」	11月18日～29日	10	地方公共団体の文化財担当職員※	文化財の記録保存と活用において中心的な役割を持つ写真記録について必要不可欠な写真技術の基礎知識と、デジタル写真を中心とした実習を通じて実技を習得する研修。	16人	94%	94%	
10	文化財担当者研修「報告書編集基礎課程」	12月2日～6日	5	地方公共団体の文化財担当職員※	文化財調査記録に必要不可欠な報告書出版について、記述内容の意義や記述記録の基礎知識を習得する研修。	24人	100%	83%	
11	文化財担当者研修「報告書デジタル作成課程」	12月9日～13日	5	地方公共団体の文化財担当職員※	報告書出版に必要な編集知識や図版制作について、デジタル技術を活用しながら出版物作成をおこなう実践的な技術を習得する研修。	16人	100%	94%	
12	文化財担当者研修「データベース活用課程」	7年2月25日～28日	4	地方公共団体の文化財担当職員※	多分野から共有されるデータ資源を、発掘調査でどのように活用し得るか、発掘調査成果をどのように他分野へ情報的郷出来得るか、外の分野からの視点を交えて習得する。	4人	100%	100%	
13	文化財担当者研修「文化財三次元計測課程」	7年1月21日～24日	4	地方公共団体の文化財担当職員※	文化財のフォトグラメトリに関する基礎知識と実技を習得する。また開講地域の三次元計測関連の課題解決に向けた方法を検討する。	22人	91%	86%	※奈文研で開催

※地域の中核となる地方公共団体の文化財担当職員若しくはこれに準ずる者

2-(5)-② 文化財に関する協力・助言等

2-(5)-②-1 専門的・技術的な援助・助言の取組状況
（行政、公私立博物館等の各種委員等への就任件数、依頼事項への対応件数等）

令和7年3月31日現在

計	東京文化財研究所	奈良文化財研究所
542件	243件	299件

【東京文化財研究所】　243件

	プロジェクト名称	件数
1	文化財の収集、保管に関する指導助言	38件
2	無形文化遺産に関する助言	41件
3	文化財の虫菌害に関する調査・助言	59件
4	文化財の修復及び整備に関する調査・助言	58件
5	文化財の材質・構造に関する調査・助言	24件
6	美術館・博物館等の環境調査と援助・助言	23件

【奈良文化財研究所】　299件

	プロジェクト名称	件数
1	地方公共団体等が行う史跡の整備、復原事業等に関する技術的助言	257件
2	地方公共団体が行う飛鳥・藤原地区の発掘調査への援助・助言	8件
3	地方公共団体等が行う平城地区の発掘調査等への援助・助言	33件
4	地震・水害等により被災した文化財の復旧に関する調査研究	1件

※文化財活用センターの実績は、
令和4年度より1-(6)-④-1 文化財の保存等の相談・助言・支援に関わる取組状況へ集約する。

2-(5)-③　平城宮跡、飛鳥・藤原宮跡等の公開・活用事業への協力

2-(5)-③-1　ボランティア受入実績　（後述の資料に記載）◎共通資料b

2-(6) 文化財防災に関する取組

2-(6)-① 地域防災体制の構築

2-(6)-①-1 防災・救援のための連携・協力体制構築への取組状況（都道府県内各種会議等参加数）

【本部文化財防災センター】76件　　令和7年3月31日現在

	機関	内容	期間	担当者	備考
1	1)2国立民族学博物館	共同研究員	4月1日～6年3月31日	文化財防災センター長 高妻洋成	
2	1)2大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館	人間文化研究機構基幹研究プロジェクト連携研究員、国立歴史民俗博物館共同研究員（研究課題：ネットワーク型基幹研究プロジェクト「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」（代表者：三上喜孝））	4月1日～7年3月31日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
3	1)1岐阜県	地域防災体制ヒアリング	5月10日	文化財防災センターアソシエイトフェロー　小峰幸夫、PT研究員荒木臣紀、PT研究員内藤航	
4	1)2香川県	「令和6年度香川県文化財保護管理指導事業巡視周知会」における講演	5月24日	文化財防災センター研究員 中島志保	
5	1)1群馬県	地域防災体制ヒアリング	5月24日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
6	1)1神奈川県	地域防災体制ヒアリング	5月30日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
7	1)1長野県	地域防災体制ヒアリング	6月4日	文化財防災センター研究員 中島志保、黄川田翔	
8	1)1宮城県	地域防災体制ヒアリング	6月4日	文化財防災センター研究員 後藤知美	
9	1)1山形県	地域防災体制ヒアリング	6月6日	文化財防災センター研究員 後藤知美、千葉毅	
10	1)1山梨県	地域防災体制ヒアリング	6月6日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
11	1)2文化庁	令和6年度記念物保護行政担当者会議における講演	6月12日	文化財防災センター研究員 後藤知美	
12	1)2文化庁	令和6年度国宝・重要文化財（美術工芸品）防災・防犯対策研修会	6月13日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー小谷竜介	
13	1)2文化庁	令和6年度公開承認施設担当者会議	6月14日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー小谷竜介	
14	1)2京都府南部ミュージアム連絡協議会	京都府南部ミュージアム連携連絡協議会研修会	6月19日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー小谷竜介	
15	1)2埼玉県	令和6年度県立博物館等経営総合調整会議 資料防災ワーキンググループ第1回会合	6月20日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
16	1)1千葉県	地域防災体制ヒアリング	6月25日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
17	1)2秋田県	秋田県文化財保護行政担当者会議	6月26日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー小谷竜介、PT研究員犬塚将英、研究員千葉毅	
18	1)1秋田県	地域防災体制ヒアリング	6月27日	文化財防災センター研究員 千葉毅、PT研究員犬塚将英	
19	1)2京都府	「令和6年度第1回京都文化財防災対策等連絡会」における講演	6月27日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー小谷竜介、PT研究員近藤無滴	
20	1)1茨城県	地域防災体制ヒアリング	6月27日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
21	1)2宮崎県	「令和6年度市町村文化財担当社会」における講演	7月2日	九州国立博物館博物館科学課長（PT）　木川りか	
22	1)1栃木県	地域防災体制ヒアリング	7月3日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
23	1)1三重県	地域防災体制ヒアリング	7月11日	文化財防災センターアソシエイトフェロー　小峰幸夫、PT研究員荒木臣紀、PT研究員内藤航	
24	1)2北海道	北海道博物館協議会大会における報告	7月11日	文化財防災センター研究員 後藤知美	

25	1)1埼玉県	地域防災体制ヒアリング	7月17日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
26	1)1鳥取県	地域防災体制ヒアリング	7月18日	文化財防災センター研究員 中島志保、上椙英之	
27	1)1島根県	地域防災体制ヒアリング	7月19日	文化財防災センター研究員 中島志保、上椙英之	
28	1)1新潟県	地域防災体制ヒアリング	7月19日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
29	1)1岡山県	地域防災体制ヒアリング	7月23日	文化財防災センター研究員 中島志保、上椙英之	
30	1)1愛媛県	地域防災体制ヒアリング	7月25日	文化財防災センター研究員 中島志保、上椙英之	
31	1)1香川県	地域防災体制ヒアリング	7月26日	文化財防災センター研究員 中島志保、上椙英之	
32	1)1静岡県	地域防災体制ヒアリング	7月29日	文化財防災センターアソシエイトフェロー　小峰幸夫、奈良国立博物館上席研究員（PT）荒木臣紀	
33	1)1愛知県	地域防災体制ヒアリング	7月30日	文化財防災センターアソシエイトフェロー　小峰幸夫、PT研究員荒木臣紀、PT研究員内藤航	
34	1)2奈良県	「令和6年度文化財防犯・防火・防災関係者連絡会議」講演	8月2日	文化財防災センターアソシエイトフェロー　小峰幸夫	
35	1)1山口県	地域防災体制ヒアリング	8月7日	文化財防災センター研究員 中島志保、上椙英之	
36	3）山形県新庄市	被災博物館現地調査・助言	8月9日	文化財防災センター副センター長　建石徹、研究員　後藤知美、千葉毅	
37	1)2沖縄県	「令和6年度文化財保護行政事務担当者研修会」における講演	8月21日	文化財防災センター研究員 和泉田絢子	
38	1)1高知県	地域防災体制ヒアリング	8月22日	文化財防災センター研究員 中島志保、上椙英之	
39	1)2高知県	「令和6年度高知県市町村文化財担当者会議及び文化財防災に係る研修会」における講演	8月23日	文化財防災センター研究員 中島志保	
40	1)2群馬県	群馬県文化財防災ネットワーク連携協議会 令和6年度会議	8月30日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
41	1)2奈良県建築士会	奈良県ヘリテージマネージャースキルアップ講座	9月14日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー小谷竜介	
42	1)2京都府	「令和6年度京都府文化財所有者等連絡協議会総会」における講演	9月3日	文化財防災センター研究員 中島志保	
43	1)2山形県	文化財日常管理・防災研修会における講演	9月7日	文化財防災センター研究員 後藤知美、千葉毅	
44	1)1富山県	地域防災体制ヒアリング	10月2日	文化財防災センター研究員 中島志保、同アソシエイトフェロー　中屋菜緒	
45	3）山梨県甲斐市	被災文化財現地調査・助言	10月5日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
46	1)2新潟県	『新潟県文化財保存活用講習会』講師	10月10日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	
47	1)1青森県	地域防災体制ヒアリング	10月10日	文化財防災センター研究員 後藤知美、千葉毅	
48	1)1福島県	地域防災体制ヒアリング	10月11日	文化財防災センター研究員 後藤知美、千葉毅	
49	1)2神奈川県	『県・市町村文化財大規模災害対策検討分科会』講師	10月11日	文化財防災センター研究員 黄川田翔	

50	1)2文化庁	令和6年度文化財建造物保存修理関係者等連絡協議会	10月21日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー小谷竜介、アソシエイトフェロー山野善紀、アソシエイトフェロー釜田みゆう	
51	1)1九州・山口ミュージアム連携事業実行員会	「九州・山口連携事業」第29回共同事業ワーキング会議	10月22日	文化財防災センター研究員和泉田絢子、九州国立博物館博物館科学課長木川りか、研究員渡辺祐基	
52	1)2埼玉県	非常災害に備えた県内文化財防災体制の強化に係る会合	10月25日	文化財防災センター研究員黄川田翔	
53	1)1福井県	地域防災体制ヒアリング	10月28日	文化財防災センターアソシエイトフェロー　中屋菜緒	
54	1)1奈良県	地域防災体制ヒアリング	8月28日	文化財防災センターアソシエイトフェロー　小峰幸夫、奈良国立博物館上席研究員（PT）荒木臣紀、研究員（PT）内藤航	
55	1)1滋賀県	地域防災体制ヒアリング	10月29日	文化財防災センターアソシエイトフェロー　中屋菜緒	
56	1)2文化庁	『文化財保護行政講座』講師	10月29日	文化財防災センター研究員黄川田翔	
57	3）山形県新庄市	被災博物館現地調査・助言	11月14日	文化財防災センター研究員千葉毅、東京文化財研究所保存科学研究センター生物科学研究室長　佐藤嘉則、アソシエイトフェロー　轟丈瑠	
58	1)2京都府	「令和6年度第2回京都文化財防災対策等連絡会」における講演	11月14日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー小谷竜介、研究員中島志保、アソシエイトフェロー　中屋菜緒	
59	1)2三重県	令和6年度三重県文化資産防災ネットワーク会議	11月19日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー小谷竜介、PT研究員荒木紀臣	
60	1)2京都府	「京都府ミュージアムフォーラム第4回合同研修会」における講演とワークショップ実施	11月22日	文化財防災センターセンター長　髙妻洋成、同研究員　中島志保	
61	1)1岩手県	地域防災体制ヒアリング	11月22日	文化財防災センター研究員千葉毅、PT研究員犬塚将英	
62	1)2山形県	文化財日常管理・防災研修会における講演	11月24日	文化財防災センター副センター長　研究員　後藤知美	
63	3）山形県新庄市	被災博物館現地調査・助言	11月25日	文化財防災センター研究員後藤知美、PT研究員犬塚将英、東京文化財研究所室長佐藤嘉則	
64	1)2文化財防災センター	関東甲信越ブロック　都県文化財防災担当者協議会	11月26日	文化財防災センター研究員黄川田翔　研究員中島志保	
65	1)2宮城県建築士会	宮城県ヘリテージマネージャ養成講座	12月21日	文化財防災センター文化財防災統括リーダー小谷竜介	
66	1)2福岡県建築士会	福岡県ヘリテージマネージャー・ヘリテージサポータースキルアップ講習会への出席	1月18日	文化財防災センター研究員和泉田絢子	
67	1)2埼玉県	令和6年度県立博物館等経営総合調整会議資料防災ワーキンググループ第4回会合	7年1月27日	文化財防災センター研究員黄川田翔	
68	1)2茨城県	『茨城県文化財保存活用セミナー』講師	7年2月6日	文化財防災センター研究員黄川田翔	
69	1)2埼玉県文化財保護協会	『令和6年度文化財レスキュー・防災研修会』講師	7年2月7日	文化財防災センター研究員黄川田翔	
70	1)2福島県	文化財に係る災害時の相互応援に関する協定連絡会講師	2月25日	文化財防災センター研究員後藤知美、千葉毅	
71	1)2文化財防災センター	中国・四国地方の文化財防災に関わる研究協議会開催と協議会内での報告	7年2月27日～28日	文化財防災センター研究員　中島志保、上椙英之	

72	1)2静岡県	「令和6年度第2回静岡県文化財等救援支援ステップ講座」講師	3月1日	文化財防災センターアソシエイトフェロー　小峰幸夫	
73	1)1兵庫県	地域防災体制ヒアリング	7年3月27日	文化財防災センター研究員 中島志保	
74	1)1和歌山県	地域防災体制ヒアリング	7年3月18日	文化財防災センター研究員 中島志保	
75	1)1広島県	地域防災体制ヒアリング	7年1月27日	文化財防災センター研究員 中島志保、上椙英之	
76	1)2京都府	「令和6年度第3回京都文化財防災対策等連絡会」への出席	3月13日	文化財防災センターアソシエイトフェロー　中屋菜緒	

2-(6)-③ レスキュー及び収蔵・展示における技術開発

2-(6)-③-1 文化財防災に関する技術開発への取組状況（論文等数、報告書等の刊行数）

（後述の資料に記載）◎共通資料c-⑤,⑥

2-(6)-④ 文化財防災を促進するための普及啓発

2-(6)-④-1 文化財防災に関するシンポジウムの開催件数

（後述の資料に記載）◎共通資料c-④

2-(6)-④-2 文化財防災に関する講演会・研修会等の開催件数

【本部文化財防災センター】4件

令和7年3月31日現在

	開催日	事業名称	開催場所	参加者数	備考
1	11月6日	被災文化財等の殺虫処理講習会	のと里山里海ミュージアム	26人	
2	11月29日	研修「民俗資料の応急処置ワークショップ」	国立民族学博物館	24人	
3	2月7日	研修「自然史資料の応急処置ワークショップ」	大阪市立自然史博物館	6人	
4	7年2月21日～3月6日	令和6年度被災文化財対応基礎研修	オンライン	156人	修了者数99人

Ⅲ　財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

１ 自己収入拡大への取組

1-(3)　保有資産の有効活用の推進

1-(3)-②　施設の有効利用件数

令和7年3月31日現在

○件数

（単位：件）

		国立文化財機構計	博物館					文化財研究所		
			計	東京国立博物館※1	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	計	東京文化財研究所	奈良文化財研究所
合 計	総件数	1,087	666	354	188	70	54	421	295	126
	うち有償	621	593	354	171	20	48	28	11	17
	うち無償	466	73	0	17	50	6	393	284	109
茶室	総件数	74	74	36	24	9	5			
	うち有償	73	73	36	24	8	5			
	うち無償	1	1	0	0	1	0			
講堂等（講堂、会議室、研修室）	総件数	532	129	50	29	8	42	403	292	111
	うち有償	131	111	50	18	1	42	20	8	12
	うち無償	401	18	0	11	7	0	383	284	99
その他（左記以外の建物、敷地）	総件数	82	64	15	28	21	0	18	3	15
	うち有償	50	42	15	23	4	0	8	3	5
	うち無償	32	22	0	5	17	0	10	0	10
撮影利用	総件数	399	399	253	107	32	7	0	0	0
	うち有償	367	367	253	106	7	1	0	0	0
	うち無償	32	32	0	1	25	6	0	0	0

※1 東博の貸出し件数については3年度以前は施設ごと、利用日ごとにカウントしていたが、4年度より申込件数にカウント方法を変更した。

○有償利用の利用金額

（単位：千円）

	国立文化財機構計	博物館					文化財研究所		
		計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	計	東京文化財研究所	奈良文化財研究所
合 計	147,643	143,758	122,842	20,128	486	302	3,885	3,299	586
茶室	4,052	4,052	3,202	597	184	69			
講堂等（講堂、会議室、研修室）	7,608	7,233	5,874	1,097	35	227	375	208	167
その他（左記以外の建物、敷地）	118,016	114,506	98,552	15,788	166	0	3,510	3,091	419
撮影利用	17,967	17,967	15,214	2,646	101	6	0	0	0

※アジア太平洋無形文化遺産研究センターは、堺市博物館の施設の一部を使用しているため、外部利用は行っていない。

◎共通資料
a 展示

a-① 来館者数推移（入館料別）（過去5か年）

令和7年3月31日現在

年度				R2	R3	R4	R5	R6
国立文化財機構	総来館者数			858,177	1,483,715	2,367,419	3,364,286	4,185,018
	平常展	計		344,392	432,362	1,084,003	1,728,018	2,206,507
		有料	一般	132,915	148,848	421,461	860,027	1,216,241
			大学生	14,005	19,183	50,978	85,030	113,731
			小・中・高生	0	0	0	0	0
			友の会	53,579	59,980	105,391	117,145	122,325
		無料	一般（黒田含む）	33,306	36,650	61,944	58,520	72,795
			小・中・高・大生	24,623	43,070	153,707	197,946	240,787
		招待者等		85,964	124,631	290,522	409,350	440,628
	特別展	計		513,785	1,051,353	1,283,416	1,636,268	1,978,511
		有料	一般	362,251	744,781	883,370	1,165,019	1,443,956
			高・大生	25,289	69,675	78,434	99,066	110,736
			小・中生	2,715	7,641	15,348	14,019	36,212
			友の会	4,834	13,341	17,731	12,629	8,701
		無料	小・中生・一般	32,499	37,937	47,965	62,668	65,878
		招待者等		86,197	177,978	240,568	282,867	313,028
東京国立博物館	総来館者数			375,575	836,720	1,247,750	1,980,388	2,563,820
	平常展	計		166,639	211,052	625,235	961,328	1,206,375
		有料	一般	65,236	79,707	284,486	529,098	707,802
			大学生	7,137	10,788	35,338	52,263	65,133
			小・中・高生	—	—	—	—	—
			友の会	46,389	50,122	91,518	103,428	108,598
		無料	高校生	3,183	5,627	27,055	33,072	35,505
			小・中生	8,519	10,336	44,843	62,825	74,331
		招待者等		22,290	35,990	107,072	144,758	173,947
		黒田記念館(無料)		13,885	18,482	34,923	35,884	41,059
	特別展	計		208,936	625,668	622,515	1,019,060	1,357,445
		有料	一般	158,484	471,946	454,781	748,984	1,000,256
			高・大生	11,591	45,712	41,527	66,425	80,276
			小・中生	—	—	—	—	26,309
			友の会	760	949	1,073	1,453	1,693
		無料	小・中生	5,244	18,264	18,822	34,141	36,359
		招待者等		32,857	88,797	106,312	168,057	212,552
京都国立博物館	総来館者数			170,494	132,793	245,489	319,950	338,444
	平常展	計		18,941	35,440	56,369	140,562	136,737
		有料	一般	8,525	17,911	32,398	86,884	85,233
			大学生	779	1,965	3,463	10,061	10,209
			友の会	1,562	2,268	2,187	3,339	3,968
		無料	小・中・高生	862	2,548	3,630	12,721	13,554
		招待者等		7,213	10,748	14,691	27,557	23,773
	庭園開放	計		9,932	5,851	12,081	11,551	15,307
		有料	一般	5,383	2,468	5,952	6,198	9,838
			大学生	572	357	934	570	767
			友の会	505	73	126	98	169
		無料	大学生	—	—	—	—	0
			小・中・高生	588	624	1,663	1,281	2,189
		招待者等		2,884	2,329	3,406	3,404	2,344
	特別展	計		141,621	91,502	177,039	167,837	186,400
		有料	一般	105,811	59,367	119,115	120,805	132,470
			高・大生	7,327	7,530	12,107	9,501	9,993
			友の会	1,175	372	1,796	1,146	1,598
		無料	小・中生	1,547	2,517	5,469	4,104	4,620
		招待者等		25,761	21,716	38,552	32,281	37,719
奈良国立博物館	総来館者数			122,452	253,196	279,613	355,246	552,359
	平常展	計		43,262	52,178	116,116	181,494	232,841
		有料	一般	17,695	18,185	46,685	85,644	115,747
			大学生	1,251	1,213	3,824	8,383	13,032
			小・中・高生	0	0	0	0	0
			友の会	3,062	4,258	6,262	5,865	8,001
		無料	小・中・高生	5,876	11,722	29,321	35,965	43,869
		招待者等		15,378	16,800	30,024	45,637	52,192
	特別展	計		79,190	201,018	163,497	173,752	319,518
		有料	一般	57,939	143,001	115,389	128,685	246,757
			高・大生	4,199	11,537	9,261	10,095	13,576
			小・中生	1,497	4,718	4,404	5,639	2,530
			友の会	1,278	6,245	5,454	3,372	4,434
		無料	小・中生	595	762	0	677	9,086
		招待者等		13,682	34,755	28,989	25,284	43,135
九州国立博物館	総来館者数			131,662	213,153	523,200	529,471	374,180
	平常展	計		81,230	104,898	239,282	287,160	285,699
		有料	一般	33,727	28,407	48,537	80,608	129,607
			大学生	4,181	4,761	7,092	10,826	13,189
			小・中・高生	—	—	—	—	0
			友の会	2,061	3,259	5,298	4,415	1,589
		無料	高校生	1,441	5,416	20,998	19,917	22,778
			小・中生	3,537	6,187	24,912	28,267	34,247
		招待者等		36,283	56,868	132,445	143,127	84,289
	特別展	計		50,432	108,255	283,918	242,311	88,481
		有料	一般	35,721	66,458	187,329	161,729	58,897
			高・大生	1,883	4,596	15,040	12,622	6,503
			小・中生	1,218	2,923	10,944	8,380	7,373
			友の会	1,621	5,775	9,408	6,658	976
		招待者等		9,989	28,503	61,197	52,922	14,732
皇居三の丸尚蔵館	総来館者数			—	—	—	114,334	286,180
	有料	一般		—	—	—	67,743	163,096
		大学生		—	—	—	2,570	10,882
	無料	小・中・高生		—	—	—	2,575	12,155
	招待者等			—	—	—	41,446	100,047
平城宮跡資料館	総来館者数			37,913	25,264	39,515	35,295	36,486
	平常展	無料	一般	15,004	12,942	19,888	15,130	23,610
	特別展	無料	一般	22,909	12,322	19,627	20,165	12,876
藤原宮跡資料館	総来館者数			4,417	5,226	7,133	7,506	8,126
	平常展	無料	一般	4,417	5,226	7,133	7,506	8,126
飛鳥資料館	総来館者数			15,664	17,363	24,719	22,096	25,423
	平常展	計		4,967	4,775	7,899	8,953	11,632
		有料	一般	2,349	2,170	3,403	3,852	4,918
			大学生	85	99	327	357	519
		無料	小・中・高生	617	610	1,285	1,323	2,159
		招待者等		1,916	1,896	2,884	3,421	4,036
	特別展	計		10,697	12,588	16,820	13,143	13,791
		有料	一般	4,296	4,009	6,756	4,816	5,576
			大学生	289	300	499	423	388
		無料	小・中・高生	2,204	4,072	4,047	3,581	2,937
		招待者等		3,908	4,207	5,518	4,323	4,890

※京都国立博物館における平常展、庭園開放については高校生以下の区別せず。

※京都国立博物館における庭園開放は、平常展に含む。

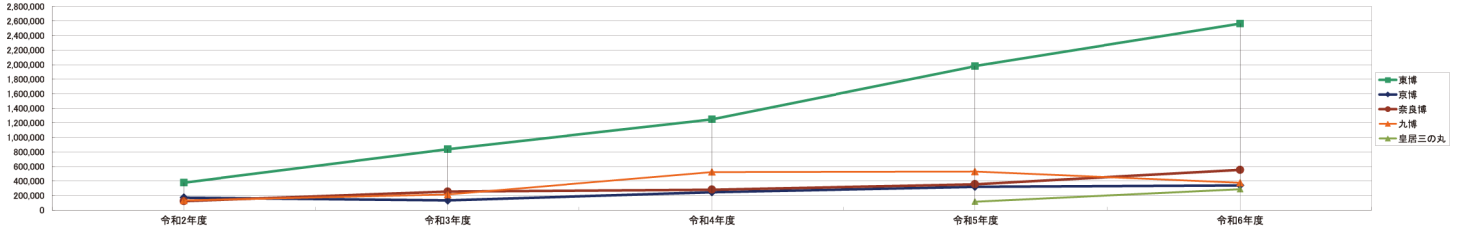
来館者数推移（展覧会別）（過去5か年）

a-②

国立文化財機構　合計

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
合計	総　合　計	858,177	総　合　計	1,483,715	総　合　計	2,367,419	総　合　計	3,364,286	総　合　計	4,185,018
	平常展のみの来館者	344,392	平常展のみの来館者	432,362	平常展のみの来館者	1,084,003	平常展のみの来館者	1,728,018	平常展のみの来館者	2,206,507
	特別（共催）展計	513,785	特別（共催）展計	1,051,353	特別（共催）展計	1,283,416	特別（共催）展計	1,636,268	特別（共催）展計	1,978,511

1）国立博物館

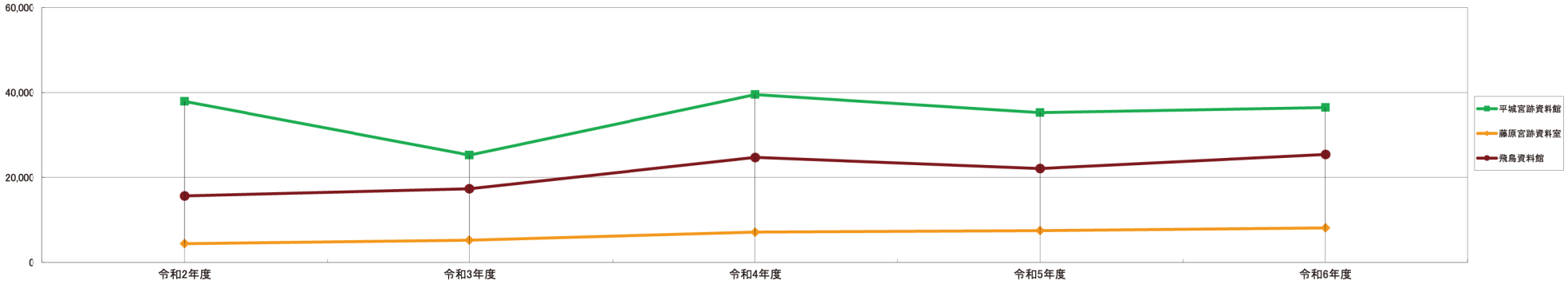


	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
計	総　計	800,183	総　計	1,435,862	総　計	2,296,052	総　計	3,299,389	総　計	4,114,983
	平常展のみの来館者	320,004	平常展のみの来館者	409,419	平常展のみの来館者	1,049,083	平常展のみの来館者	1,696,429	平常展のみの来館者	2,163,139
	特別（共催）展計	480,179	特別（共催）展計	1,026,443	特別（共催）展計	1,246,969	特別（共催）展計	1,602,960	特別（共催）展計	1,951,844
東博	総計（黒田記念館含む）	375,575	総計（黒田記念館含む）	838,720	総計（黒田記念館含む）	1,247,750	総計（黒田記念館含む）	1,960,388	総計（黒田記念館含む）	2,563,820
	平常展のみの来館者（黒田記念館含む）	166,639	平常展のみの来館者（黒田記念館含む）	211,052	平常展のみの来館者（黒田記念館含む）	625,235	平常展のみの来館者（黒田記念館含む）	961,328	平常展のみの来館者（黒田記念館含む）	1,206,375
	特別（共催）展計	208,936	特別（共催）展計	625,668	特別（共催）展計	622,515	特別（共催）展計	1,019,060	特別（共催）展計	1,357,445
	ユネスコ無形文化遺産「体感！日本の伝統芸能―歌舞伎・文楽・能楽・雅楽・組踊の世界―」	中止	特別展「国宝　鳥獣戯画のすべて」	129,349	特別展「ポンペイ」	13,581	特別展「東福寺」	78,435	建立900年　特別展「中尊寺金色堂」	53,584
	特別展「法隆寺金堂壁画と百済観音」	中止	特別展「聖林寺十一面観音―三輪山信仰のみほとけ」	59,125	特別展「空也上人と六波羅蜜寺」	100,495	特別展「古代メキシコ　―マヤ、アステカ、テオティワカン」	330,013	特別展「法然と極楽浄土」	119,024
	特別展「きもの　KIMONO」	91,830	東京2020オリンピック・パラリンピック開催記念特別展「スポーツNippon」	※1(22,735)	沖縄復帰50年記念特別展「琉球」	90,395	浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念　特別展「京都・南山城の仏像」	79,567	カルティエと日本　半世紀のあゆみ「結 MUSUBI」展 ― 美と芸術をめぐる対話	74,027
	特別展「聖林寺十一面観音―三輪山信仰のみほとけ」	延期	日中韓国立博物館共同企画特別展「東アジアのうるし世界」	中止	日中国交正常化50周年記念　特別デジタル展「故宮の世界」	27,839	特別展「やまと絵―受け継がれる王朝の美―」	162,104	特別企画「内藤礼　生まれておいで 生きておいで」	43,780
	東京2020オリンピック・パラリンピック開催記念特別展「スポーツNippon」	延期	マレーシア・イスラーム美術館精選「イスラーム王朝とムスリムの世界」	※1(125,463)	東京国立博物館創立150年記念　特別展「国宝　東京国立博物館のすべて」	351,153	「横尾忠則　寒山百得」展	47,719	創建1200年記念　特別展「神護寺―空海と真言密教のはじまり」	181,763
	日中韓国立博物館共同企画特別展「東アジアのうるし世界」	延期	聖徳太子１４００年遠忌記念 特別展「聖徳太子と法隆寺」	69,640	東京国立博物館創立150年記念　特別企画「未来の博物館」	※1(150,295)	特別展「木阿弥光代の大宇宙」	122,205	Wang Yancheng’s World ―Contemporary Art	4,428
	特別展「国宝　鳥獣戯画のすべて」	延期	「春夏秋冬／フォーシーズンズ　乃木坂46」	58,461	特別企画「大安寺の仏像」	※1(177,515)	建立900年　特別展「中尊寺金色堂」	199,017	挂甲の武人 国宝指定50周年記念 特別展「はにわ」	339,712
	特別展「工藝2020―日本の工藝と自然―」	13,851	伝教大師１２００年大遠忌記念 特別展「最澄と天台宗のすべて」	63,977	「150年後の国宝展―ワタシの宝物、ミライの宝物」	※1(178,525)			Hello Kitty展 ―わたしが変わるとキティも変わる―	344,096
	特別展「祓山―天下人の100年」	82,808	特別展「ポンペイ」	184,119	特別展「東福寺」	39,054			開創1150年記念　特別展「伝嵯峨御所 大覚寺―百花繚乱　御所ゆかりの絵画―」	190,754
	特別展「日本のたてもの―自然素材を伝統技術に活かす知恵」	20,447	ユネスコ無形文化遺産「体感！日本の伝統芸能―歌舞伎・文楽・能楽・雅楽・組踊の世界―」	15,405					イマーシブシアター　新ジャポニズム～縄文から浮世絵　そしてアニメへ～	6,277
	特別展「ジパング　世界と出会った日本の美」	中止	特別企画「手わざ―琉球王国の文化」	※1(27,440)						
	日本美術の魅力（在外日本美術品保存修復協力）事業による修復作品里帰り展）	延期	特別展「空也上人と六波羅蜜寺」	45,592						
京博	総　計	170,494	総　計	132,793	総　計	245,489	総　計	319,950	総　計	338,444
	平常展のみの来館者	18,941	平常展のみの来館者	35,440	平常展のみの来館者	56,369	平常展のみの来館者	140,562	平常展のみの来館者	136,737
	庭園のみ（全館閉館期、庭園のみ開放）	9,932	庭園のみ（全館閉館期、庭園のみ開放）	5,851	庭園のみ（全館閉館期、庭園のみ開放）	12,081	庭園のみ（全館閉館期、庭園のみ開放）	11,551	庭園のみ（全館閉館期、庭園のみ開放）	15,307
	平常展のみ+庭園のみ	28,873	平常展のみ+庭園のみ	41,291	平常展のみ+庭園のみ	68,450	平常展のみ+庭園のみ	152,113	平常展のみ+庭園のみ	152,044
	特別（共催）展計	141,621	特別（共催）展計	91,502	特別（共催）展計	177,039	特別（共催）展計	167,837	特別（共催）展計	186,400
	西国三十三所　草創1300年記念 特別展「聖地をたずねて―西国三十三所の信仰と至宝―」（※今夏に延期）	52,164	凝然国師没後七百年特別展「鑑真和上と戒律のあゆみ」	14,655	伝教大師1200年大遠忌記念特別展「最澄と天台宗のすべて」	43,235	親鸞聖人生誕850年 特別展「親鸞―生涯と名宝」	98,543	特別展「雪舟伝説－「画聖」の誕生－」	98,854
	御即位記念　特別展「皇室の名宝」	85,315	特別展「京（みやこ）の国宝―守り伝える日本のたから―」	37,065	特別展「河内長野の霊地 観心寺と金剛寺―真言密教と南朝の遺産―」	28,211	特別展「東福寺」	69,294	特別展「法然と極楽浄土」	87,546
	凝然国師没後七百年特別展「鑑真和上と戒律のあゆみ」	4,142	特別展「畠山記念館の名品―能楽から茶の湯、そして琳派－」	39,782	特別展「京（みやこ）に生きる文化　茶の湯」	91,675				
					親鸞聖人生誕850年 特別展「親鸞　生涯と名宝」	13,918				
奈良博	総　計	122,452	総　計	253,196	総　計	279,613	総　計	355,246	総　計	552,359
	平常展のみの来館者	43,262	平常展のみの来館者	52,178	平常展のみの来館者	116,116	平常展のみの来館者	181,494	平常展のみの来館者	232,841
	特別（共催）展計	79,190	特別（共催）展計	201,018	特別（共催）展計	163,497	特別（共催）展計	173,752	特別（共催）展計	319,518
	御大典記念特別展「よみがえる正倉院宝物―再現模造にみる天平の技―」（※今夏に延期）	42,846	聖徳太子1400年遠忌記念 特別展「聖徳太子と法隆寺」	44,233	特別展「大安寺のすべて―天平のみほとけと祈り―」	32,971	浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念　特別展「聖地南山城－奈良と京都を結ぶ祈りの至宝－」	58,559	生誕1250年記念特別展「空海　KŪKAI－密教のルーツとマンダラ世界－」	190,671
	仏教美術名品展	延期	特別展「奈良博三昧－至高の仏教美術コレクション－」	34,659	貴字本雲麻曼荼羅修理完成記念　特別展「中将姫と當麻曼荼羅－祈りが紡ぐ物語－」	19,966	第75回正倉院展	115,193	第７６回正倉院展	128,847
	特別展 第72回正倉院展	36,344	特別展 第73回正倉院展	73,968	第74回正倉院展	87,672				
	特別展「国宝　聖林寺十一面観音―三輪山信仰のみほとけ」	延期	特別展「名画の殿堂　藤田美術館展」	13,773	式年造替記念特別展「春日大社　若宮国宝展－祈りの王朝文化－」	22,888				
			特別展「国宝　聖林寺十一面観音―三輪山信仰のみほとけ」	34,385						
九博	総　計	131,662	総　計	213,153	総　計	523,200	総　計	529,471	総　計	374,180
	平常展のみの来館者	81,230	平常展のみの来館者	104,898	平常展のみの来館者	239,282	平常展のみの来館者	287,160	平常展のみの来館者	285,699
	特別（共催）展計	50,432	特別（共催）展計	108,255	特別（共催）展計	283,918	特別（共催）展計	242,311	特別（共催）展計	88,481
	特別展「ライデン国立古代博物館所蔵　古代エジプト展」	中止	御大典記念特別展「よみがえる正倉院宝物―再現模造にみる天平の技―」	18,157	特別展「北斎」	135,955	特別展「アール・ヌーヴォーのガラス―ガレとドームの自然賛歌―」	49,485	挂甲の武人　国宝指定50周年記念／九州国立博物館開館20周年記念／放送100年／朝日新聞西部本社発刊90周年記念　特別展「はにわ」	88,481
	開館15周年記念特別展「海幸山幸―折りと恵みの風景―」	延期	特別展「皇室の名宝―皇室と九州をむすぶ美―」	43,197	特別展「琉球」	41,054	特別展「憧れの東洋陶磁―大阪市立東洋陶磁美術館の至宝」	20,851		
	開館15周年記念特別展「加耶」	中止	開館15周年記念特別展「海幸山幸―折りと恵みの風景―」	17,383	特別展「ポンペイ」	79,919	特別展「古代メキシコ　―マヤ、アステカ、テオティワカン―」	88,895		
	特別展「壱良・中宮寺の国宝」	50,432	伝教大師1200年大遠忌記念 特別展「最澄と天台宗のすべて」	29,518	特別展「加耶」	26,990	特別展「生誕270年　長沢芦雪―若冲、応挙につづく、天才画家―」	83,080		
三の丸	総　計	0	総　計	0	総　計	0	総　計	114,334	総　計	286,180
							平常展のみの来館者	114,334	平常展のみの来館者	286,180
							特別（共催）展計	0	特別（共催）展計	0
							特別展示「御即位礼正殿の儀　御即位礼後朝見の儀　御即位礼後祝賀の儀　御即位礼当日賢所の儀　御即位礼当日皇霊殿の儀　御即位礼当日神殿の儀　御即位礼当日剣璽等承継の儀　御即位礼当日宮中三殿の儀　御即位礼当日三殿の儀　御即位礼当日宮中饗宴の儀　御即位礼当日祝賀御列の儀　御即位礼当日

来館者数推移（展覧会別）（過去5か年）

a−②

2）研究成果公開施設



	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
計	総　合　計	57,994	総　合　計	47,853	総　合　計	71,367	総　合　計	64,897	総　合　計	70,035
	平常展のみの来館者	24,388	平常展のみの来館者	22,943	平常展のみの来館者	34,920	平常展のみの来館者	31,589	平常展のみの来館者	43,368
	特別（共催）展計	33,606	特別（共催）展計	24,910	特別（共催）展計	36,447	特別（共催）展計	33,308	特別（共催）展計	26,667
平城宮跡資料館	総　計	37,913	総　計	25,264	総　計	39,515	総　計	35,295	総　計	36,486
	平常展のみの来館者	15,004	平常展のみの来館者	12,942	平常展のみの来館者	19,888	平常展のみの来館者	15,130	平常展のみの来館者	23,610
	特別（共催）展計	22,909	特別（共催）展計	12,322	特別（共催）展計	19,627	特別（共催）展計	20,165	特別（共催）展計	12,876
	ロビー展示「震災復興調査とその支援」（26.3.12より継続展示）	※1 －	ロビー展示「震災復興調査とその支援」（26.3.12より継続展示）	※1 －	春期特別企画展　平城宮跡史跡指定100周年記念・奈良文化財研究所70周年記念「未来につなぐ平城宮跡－保存運動のあけぼの－」	7,893	春期ミニ展示「よみがえる西大寺金堂院」	4,356	秋期特別展「聖武天皇が即位したとき。－聖武天皇即位1300年記念－」	8,154
	ミニ展示「古代のいのり―疫病退散！」	2,846	春期特別企画展「平城宮跡保存運動のさきがけ -大極殿模木建設式一二〇周年-」/「大地鳴動 －大地の知らせる危機と私たちの生活－」	688	夏期企画展「大地鳴動－大地の知らせる危機と私たちの生活－」展	4,106	夏期企画展「イカロスの翼　－薬師寺の発掘成果から見る近世と近代－」	5,468	春期企画展「UnEarth2025-平城宮・京の調査研究最前線－」	4,722
	夏期企画展「奈良の都の考古学―発掘された平城2019」「古代のいのり―疫病退散！」	3,968	夏期企画展「奈良を測る　―森蘊の庭園研究と作庭―」	1,157	秋期特別展①奈良文化財研究所70周年 平城宮跡史跡指定100周年記念 平城宮跡資料館 令和4年度 秋期特別展「地下の正倉院展－平城木簡年代記〔クロニクル〕－」	7,628	秋期特別展「女帝のいのり－発掘された西大寺と西隆寺－」	10,341	夏期企画展「万葉挽歌－人形からみる古の奈良－」	※2 (22,613)
	秋季特別展「地下の正倉院展」	14,670	秋季特別展「地下の正倉院展」	6,310	秋期特別展②奈良文化財研究所70周年 平城宮跡史跡指定100周年記念　特別展「のこった奇跡 のこした軌跡－未来につなぐ平城宮跡－」	※2 (36,339)				
	平城宮跡資料館新春ミニ展示「平城宮の丑」	1,425	企画展「発掘された平城2020・2021」	4,167						
	平城宮跡歴史公園第一次大極殿院南門復元整備工事記念特別展「鬼神乱舞-護る・祓う・鬼瓦の世界-」	※2 31,530								
藤原宮跡資料室	総　計	4,417	総　計	5,226	総　計	7,133	総　計	7,506	総　計	8,126
	平常展のみの来館者	4,417	平常展のみの来館者	5,226	平常展のみの来館者	7,133	平常展のみの来館者	7,506	平常展のみの来館者	8,126
	特別（共催）展計	0	特別（共催）展計	0	特別（共催）展計	0	特別（共催）展計	0	特別（共催）展計	0
飛鳥資料館	総　計	15,664	総　計	17,363	総　計	24,719	総　計	22,096	総　計	25,423
	平常展のみの来館者	4,967	平常展のみの来館者	4,775	平常展のみの来館者	7,899	平常展のみの来館者	8,953	平常展のみの来館者	11,632
	特別（共催）展計	10,697	特別（共催）展計	12,588	特別（共催）展計	16,820	特別（共催）展計	13,143	特別（共催）展計	13,791
	奈良国立博物館・奈良文化財研究所 合同企画 夏期特別展「日本人と古代仏教―仏教徒文字文化の考古学」	中止	ミニ展示「新収蔵品紹介－呉と書かれた瓦－」	535	ミニ展示「飛鳥資料館に寄贈された瓦－瓦の花咲く飛鳥資料館－」	3,268	ミニ展示「長法寺十三重石塔に納められた押出三尊仏像と御正体」	3,288	ミニ展示「高松塚古墳壁画 国宝指定50周年記念展」	4,221
	特別展「飛鳥の石造文化と石工」	3,212	夏期企画展　飛鳥資料館第12回写真コンテスト「飛鳥の木」	2,112	夏期企画展　飛鳥資料館第13回写真コンテスト「高松塚古墳」	2,912	夏期企画展　飛鳥資料館第14回写真コンテスト「飛鳥のくらし」	2,936	夏期企画展　飛鳥資料館第15回写真コンテスト「飛鳥の音」	3,200
	秋期企画展　飛鳥資料館第11回写真コンテスト作品展「飛鳥の祭」	5,114	秋期特別展「「屋根を彩る草花　－飛鳥の軒瓦とその文様」	7,353	秋期特別展「飛鳥美人　高松塚古墳の魅力 」	7,280	秋期特別展「川原寺と祈りのかけら」	6,919	秋期特別展「水と暮らしの風景史 古地図と景観がひらく飛鳥」	6,370
	冬期企画展「飛鳥の考古学2020」	2,371	冬期企画展「飛鳥の考古学2021」	2,588	冬期企画展「飛鳥の考古学２０２２」	3,360				

※:　平常展の一部として実施
※2　平城宮跡資料館ではなく、平城宮跡内のいざない館にて開催のため、

a-③ 平常展・特別展・海外展

【東京国立博物館】

(1) 総合文化展（平常展）

①開館日数　307 日間
②会　　場
(1) 本　館　1階、2階
(2) 東洋館　1階、2階、3階、4階、5階
(3) 法隆寺宝物館　1階、2階
(4) 平成館　1階
(5) 黒田記念館
③展示総件数　9,686件（うち国宝290件、重要文化財871件）
(1) 本館・平成館企画展示室　3,927件（うち国宝153件、重要文化財359件）
(2) 東洋館　3,058件（うち国宝 2件、重要文化財80件）
(3) 法隆寺宝物館　410件（うち国宝13件、重要文化財215件）
(4) 平成館考古展示室　2,162件（うち国宝122件、重要文化財202件）
(5) 黒田記念館　129件（うち国宝 0件、重要文化財15件）
④展示替件数　5,730 件　・　展示替回数　延べ 383 回
⑤入場料金
黒田記念館以外　　一般1,000円、大学生410円
黒田記念館　無料
⑥特集　全18件（●国宝、◎重要文化財、○重要美術品）

場所	名称	会期	件数(うち指定品件数)
本館 14 室	行道面　ほとけを演じるための仮面	4 月 2 日 ～ 5 月 26 日	16 件（重文 12 件）
＜主な作品＞ ◎行道面　持国天、◎行道面　菩薩、◎行道面　五部浄居天			
本特集は社寺の法要で用いられた行道面を展示する。当館が所蔵する高野山金剛峰寺の鎮守、丹生都比売神社の一切経会で経典を乗せた輿を担ぐ人が着用した二十八部衆面と追儺会で用いられた鬼面、鎌倉時代に東大寺大勧進俊乗坊重源が創建した兵庫・浄土寺で阿弥陀如来が二十五菩薩とともに来迎する様子を演じる来迎会で使用された菩薩面などを展示し、種類や表情、造形の違いを紹介した。			
本館 特別 2 室	親と子のギャラリー　よりそう動物たち―家族、仲間のすがたとかたち―	5 月 14 日 ～ 6 月 16 日	28 件
＜主な作品＞ 猿図、水仙に群狗、埴輪 子を背負う女子			
東京都恩賜上野動物園と国立科学博物館との三館園連携企画を受けて企画された特集陳列であり、今回が 17 回目となる。動物を中心に、所蔵作品にあらわされたさまざまな家族や親子、仲間の表現を紹介した。動物園の解説員、科博の研究員からの当館作品へのコメントを解説パネルとして展示するなど、合同企画の特色を生かした生態学的なアプローチも試みた。			
本館 特別 1 室	阿弥陀如来のすがた	5 月 21 日 ～ 7 月 7 日	12 件（重文 4 件）
＜主な作品＞ ◎阿弥陀如来倚像および両脇侍立像、法隆寺金堂壁画（模本）第六号壁、◎行道面　菩薩、阿弥陀如来立像、◎阿弥陀如来立像			
特別展「法然と極楽浄土」（会期 4 月 16 日～6 月 9 日）にあわせて開催する関連展示として、館蔵・寄託品のうち古代から江戸時代にかけての阿弥陀如来の彫刻作品を中心として紹介した。あわせて、快慶作の浄土寺所蔵面も展示することで、古代から中世にかけて展開した阿弥陀信仰をたどった。			
本館 14 室	吉野と熊野―山岳霊場の遺宝―	5 月 28 日 ～ 7 月 15 日	60 件（重文 11 件、重美 4 件）
＜主な作品＞ ◎白銅蓮池文磬、銅錫杖頭、◎銅板鋳出蔵王権現像、◎銅板鋳出蔵王権現像、線刻水分三神鏡像、無量寿如来像、金銅柄香炉、線刻千手観音鏡像			
日本を代表する山岳霊場として知られる吉野と熊野の世界文化遺産登録 20 年を記念して、当館が所蔵する那智山経塚出土品、金峯山経塚出土品の２大コレクションに、吉野・金峯山信仰の拠点である奈良・大峯山寺からの寄託品を加えて、修験道の生み出した特色ある造形の世界を提示した。			
本館 14 室	人間国宝・平田郷陽の人形―生人形から衣裳人形まで―	7 月 17 日 ～ 9 月 1 日	26 件
＜主な作品＞ 抱擁、薬玉、朝鮮の佳日、秋韻、越後路、宴の花			
本特集は創作人形作家として人間国宝に認定された二代平田郷陽により制作された人形を紹介した。二代平田郷陽の作風の変遷に合わせ、「創造の原点―生人形」、「芸術としての人形を目指して」、「写実からの解放」、「人形芸術の大成」の4章から創作人形の世界を紹介し、創作人形の伝統と発展を示した。			
本館 15 室	江戸時代の図譜文化―堀田正敦編『禽譜』とその魅力―	8月6日 ～ 10月6日	25件
＜主な作品＞ 禽譜 水禽 1、禽譜 水禽 2、禽譜 林禽 1、禽譜 林禽 2、禽譜 山禽 1、禽譜 山禽 2			
本特集では江戸時代の図譜文化の特徴や展開を示す作品を展示し、特に堀田正敦編『禽譜』に注目しながら図譜の楽しみ方を紹介した。解説文のみの「譜」から図が入り彩色が施される「図」譜への歴史的な展開を辿り、図の魅力のみならず、制作者や記載された情報からも図譜文化と江戸時代の収集文化を示した。			

場所	名称	会期	件数(うち指定品件数)
本館 特別1・2室	没後100年・黒田清輝と近代絵画の冒険者たち	8月20日 ～ 10月20日	40件（重文3件）
＜主な作品＞ ◎智・感・情のうち感、◎智・感・情のうち智、◎智・感・情のうち情、エロスとサイケ			
日本の近代絵画の先駆者である黒田清輝の没後100年という節目を記念して、東京国立博物館・東京文化財研究所の所蔵する近代絵画を展示した。西洋的な画法を取り入れた近代画家たちの作品を紹介するとともに、裸体画、神話画・歴史的故事、土地・時代の風俗など社会の変化の中で広がった画家の見聞をもとに、絵画の主題が拡大していく様を追った。			
本館 14室	能面に見る写しの文化	9月3日 ～ 10月20日	22件（重文8件）
＜主な作品＞ ◎能面　伝山姥、◎能面　曲見、◎能面　小面、◎能面　大天神			
本特集は能面のうち、中世に製作された古面・名物面を傷や彩色の剥落などを模倣して江戸時代に製作された「写し」の文化を紹介した。オリジナルと写しの関係にある面、同じオリジナルを写した異なる面に共通する特徴、写した傷の表現などを比較し、拡大写真パネルを使用しながら、傷などの肉眼で認識できない詳細な部分まで解説を行った。			
平成館 企画展示室	令和5年度新収品	10月1日 ～ 11月10日	22件（重文1件）
＜主な作品＞ 漆書格言軸、源氏物語図屏風（若菜上）、◎太刀、振袖 黒金通し縮緬地流水に百花模様、加彩官人			
令和5年度に新たに収蔵品に加わった文化財のうち、寄贈分、購入分より主だった作品を公開する。新収品を通じ、当館のもっとも重要な事業のひとつに位置づけられる「文化財の収集」について、その成果と意義を紹介する。			
本館 14室	やきものを彩る金と銀	10月22日 ～ 12月1日	35件（重文3件）
＜主な作品＞ 色絵金襴手龍虎図大瓶、五彩金襴手花弁文水滴、◎色絵月梅図茶壺、大瑠璃地金銀彩山水図徳利、赤楽島台茶碗			
本特集は陶磁器の賦彩法の一つである金彩・銀彩をテーマに、世界に先駆けて製陶を行った中国の作例、呈色剤に酸化銅や酸化銀を用いるラスター彩を採用したイスラームの作例、日本の作例について時代を追って紹介した。異なる地域、時代の作品を比較・通観することで金銀彩を通して日本のやきものの文化の豊かさ、独自性を示した。			
本館 特別1・2室	モダンきもの―名門「大彦」の東京ファッション―	10月29日 ～ 12月8日	33件(重文1件)
＜主な作品＞ 訪問着「とまり舟」、単衣訪問着「孫過庭の書譜」、◎振袖 白縮緬地梅樹衝立鷹模様、訪問着「鷹に衝立」、訪問着「シャルトルのノートルダム」、訪問着「インディアンの工芸」、黒留袖「鸚鵡のいる風景」、訪問着「緑の中のくれない」、振袖「しのあずり」、訪問着「樹立」			
呉服の名門である「大彦」の二代・野口眞造が手がけ、一昨年親族より寄贈された近現代の友禅染きもの22領を、初代・野口彦兵衛が収集し、現在は当館が所蔵する江戸時代の小袖や更紗裂等とともに紹介した。大彦きものの特徴である友禅染や刺繍の技術と、モダンデザインの源泉をたどった。			
東洋館 8室	中国書画精華― 宋・元時代の名品―	11月12日 ～ 12月22日	53件（国宝2件、重文20件、重美1件）
＜主な作品＞ ●雪景山水図軸、山水図軸、秋冬山水図、◎猿図軸、◎羅漢図（唐絵手鑑「筆耕園」のうち）、◎禅院額字「釈迦宝殿」、傑山偈、行書虹県詩巻、楷書玄妙観重脩三門記巻			
本特集は中国書画の逸品を鑑賞する機会として毎秋開催している恒例展示である。本年は日本に古くから伝わり、愛好者の多い宋代・元代の名品を選定した。士大夫・文人と禅僧が手がけた個性豊かな書、宮廷画家が主導した緻密な彩色と自在な筆墨による山水・花鳥画の魅力を紹介した。夏珪筆「山水図軸」と古林清茂筆「傑山偈」は修理後はじめて公開した。			
東洋館 13室	遊牧のくらしとテキスタイル―バローチを中心に―	11月12日 ～ 7年2月16日	17件
＜主な作品＞ 敷物 赤茶地段星幾何文様、サドルバッグ 焦茶地幾何文様、装飾布 焦茶地段花菱幾何文様			
本特集はパキスタン西南部、アフガニスタン南部、イラン南東部を中心に遊牧する人々であるバローチを取り上げ、当館所蔵の遊牧民染織研究者・松島清江氏(1922～92)収集のコレクションから、バローチや周辺の人々が用いた敷物、袋物に焦点を当て技法の特色をはじめ、くらしでどのように作品が用いられたかを図示しながら、バローチの染織文化と生活を紹介した。			
本館 特別1・2室	博物館に初もうで―ヘビ～なパワ～を巳（み）たいの蛇（じゃ）！―	7年1月2日～1月26日	52件（重文3件、重美1件）
＜主な作品＞ ナーガ上のブッダ坐像、祖霊像、蛇形容器、自在蛇置物、◎十二神将立像（巳神）、〇雉子と蛇、摺箔 白地鱗模様			
毎年実施している本特集では、令和7年(2025)の干支である巳年にちなみ、「ヘビ」をテーマとした展示を行った。「シンボルとしてのヘビ」、「ヘビのかたち」、「ヘビと祈り」、「物語のなかのヘビ」の４つの章から日本やアジアの文化の中にあらわれるヘビの姿を多角的な視点から紹介した。			
本館 14室	日本の伝統模様「雪」	7年1月2日 ～ 2月16日	23件(重文1件)
＜主な作品＞ 蕪平文鞍、◎胴服 染分地銀杏雪輪散模様、唐織 萌黄地雪持柳桐菊藤梅片身替模様、小袖 紅綸子地雪持笹桜模様、唐織 紅浅葱段籬菊雪輪露芝模様、長絹 淡萌黄地扁額雪持芭蕉雪持笹模様、雪華図説　正続、友禅着物「雪花」			

場所	名称	会期	件数(うち指定品件数)
本特集は日本の工芸に表される模様をテーマとしたシリーズ特集の第２弾として「雪」を取り上げ、時代ごとにデザインを異としてきた雪の表現を紹介した。雪の模様があらわされた漆工・陶磁・金工・染織などの工芸品を展示し、自然が織り成す四季を表現してきた日本の伝統模様を子供や外国人来館者に伝え、自然の形を模様にする日本独特の美意識を示した。			
東洋館 8室	拓本のたのしみ―明清文人の世界―	7年1月2日～3月16日	129件（重文1件）
＜主な作品＞ 千福寺多宝塔碑、十七帖、楷行草雑臨古帖巻、城南雅集図巻、晋唐小楷冊、群玉堂米帖、模九成宮醴泉銘冊			
本特集は台東区立書道博物館との連携企画第22弾として、明・清時代の文化的活動に目を向けながら、文人たちが魅了された書の拓本をテーマとした。碑拓法帖と、それらに関する明・清時代の文人による臨書や題跋等の付属資料、彼らの活動を示す雅集図等の絵画や文具等の工芸品などを合わせて展示し、書の拓本に魅せられた明清文人の高雅な世界を紹介した。			
本館 14室	おひなさまと日本の人形	7年2月18日～ 3月23日	45件
＜主な作品＞ 松竹梅文蒔絵雛道具 鏡台、古今雛、天児、御所人形、三折れ人形			
本特集は桃の節句にちなんだ毎年恒例となる雛飾りの展示で、雛飾りの源流といわれる天児・這子から、立雛や古式次郎左衛門雛、松江藩松平家伝来の雛道具など、雛人形の成立から発展までをたどる。かわいらしいものを尊び、繊細で美しく、高い技術を駆使して作品を作り上げてきた日本の美意識を紹介した。			
本館 14室	キリシタン関係遺品の保存と研究	7年3月25日～ 5月18日	35件（重文28件）
＜主な作品＞ ◎踏絵　キリスト像（ピエタ）、◎聖母像（親指のマリア）、◎マリア観音像、◎ロザリオ			
本特集は江戸時代から明治初年にかけて長崎各地のキリシタンから押収され、長崎奉行所で保管されていたキリシタン関係遺品のうち、イタリア人宣教師シドッチが携行したとみられる「親指のマリア」をはじめとして、プラケットや十字架、マリア観音といった信仰にまつわる資料と近年における調査研究の取り組みを紹介した。			

(2) 特別展、共催展等

展覧会名	特別展「中尊寺金色堂」
会　　期	1月23日(火)～4月14(日)
会　　場	東京国立博物館　本館特別5室
主　　催	東京国立博物館、中尊寺、NHK、NHKプロモーション、日本芸術文化振興会、文化庁
特別協賛	天台宗、岩手県、平泉町
協　　賛	SGC、光村印刷
作品件数	51件（うち、国宝6（41）件、重要文化財2（7）件）
来館者数	252,601人(目標100,000人、達成率252.5%)
入場料金	一般 1,600円、大学生 900円、高校生 600円、中学生以下無料
アンケート結果　満足度	82.8%
担当研究員数	2人
展覧会の内容	中尊寺金色堂は藤原清衡(1056～1128)によって建立された東北地方現存最古の建造物で、2024年に天治元年(1124)の上棟から900年を迎えた。本展はこれを記念したもので、金色堂の中央壇に安置されている国宝の仏像11体を一堂に展示するとともに、かつて堂内を荘厳していた工芸品や、清衡の棺、経典、仏画、文書など名品の数々を紹介した。さらに、会場内に大型LEDモニターを設置し、黄金に輝く金色堂とその内部を8KCGで原寸大に再現した高精細映像を放映した。
講演会等	開幕記念トークイベント、特別鑑賞会、教員研修、関連展示「親と子のギャラリー　中尊寺のかざり」などを実施

展覧会名	特別展「法然と極楽浄土」
会　　期	4月16日(火)～6月9日(日)
会　　場	東京国立博物館　平成館特別展会場
主　　催	東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション、読売新聞社
特別協力	浄土宗開宗850年慶讃委員会、文化庁
協　　力	NISSHA
協　　賛	JR東日本、清水建設、竹中工務店、三井住友銀行、三井不動産、三菱ガス化学、三菱地所、三菱商事
作品件数	126件（うち、国宝4件、重要文化財52件）
来館者数	119,024人(目標値6万人、達成率198.4%)
入場料金	一般 2,100円、大学生 1,300円、高校生 900円、中学生以下無料
アンケート結果　満足度	90.6%
担当研究員数	2人
展覧会の内容	令和6年（2024）に浄土宗開宗850年を迎えることを機に、法然による浄土宗開宗から徳川将軍家の帰依によって大きく発展を遂げるまでを、全国の浄土宗ゆかりの名宝の数々を中心に紹介。東京では初公開となる国宝「綴織當麻曼陀羅」（奈良・當麻寺蔵）、浄土宗の根本宗典として重視された重要文化財「選択本願念仏集（廬山寺本）」（京都・廬山寺蔵）、通常画像で描かれる釈迦入滅の場面を彫刻群像で構成した「仏涅槃群像」（香川・法然寺蔵）などを展示した。とくに阿弥陀来迎図の名品である国宝「阿弥陀二十五菩薩来迎図（早来迎）」（京都・知恩院蔵）は修理後初公開となった。
講演会等	記念講演会、トークイベントなどを実施

展覧会名	特別企画「内藤礼 生まれておいで 生きておいで」
会　　期	6月25日(火)～9月23日(月・祝)
会　　場	東京国立博物館　平成館企画展示室、本館特別5室、本館1階ラウンジ
主　　催	東京国立博物館
特別協力	エルメス財団
協　　力	タカ・イシイギャラリー
作品件数	100件(うち当館列品6件（うち重要文化財1件）)
来館者数	43,780人(目標値2万人、達成率218.9%)
入場料金	一般 1,500円、大学生 1,000円、高校生以下無料
アンケート結果　満足度	76.0%
担当研究員数	3人
展覧会の内容	本展は、美術家・内藤礼が当館の出会いから構想した展覧会である。本展では、内藤自身が選んだ考古遺物とともに、当館の建築や歴史を独自の視点で読み解くことで、平成館企画展示室、本館特別5室、本館1階ラウンジの3か所に、新たな空間作品（インスタレーション）を制作した。なお、本展はエルメス財団との共同企画であり、銀座メゾンエルメスフォーラムで開催される同名展覧会（9月7日～2025年1月13日）と連動しており、2会場を往還することで展示構成が完結する。
講演会等	記念トークイベント、月例講演会を実施した。

展覧会名	創建1200年記念　特別展「神護寺―空海と真言密教のはじまり」
会　　期	7月17日(水)～9月8日(日)
会　　場	東京国立博物館　平成館特別展会場
主　　催	東京国立博物館、高雄山神護寺、読売新聞社、NHK,NHKプロモーション
特別協賛	キヤノン、大和証券グループ、Ｔ＆Ｄ保険グループ、明治ホールディングス
協　　賛	JR東日本、清水建設、竹中工務店、三井住友銀行、三井不動産、三菱ガス化学、三菱地所、三菱商事
特別協力	文化庁
協　　力	SGC
作品件数	104件（うち国宝17件、うち重要文化財44件）
来館者数	181,763人(目標80,000人、達成率227.2%)
入場料金	一般 2,100円、大学生 1,300円、高校生 900円、中学生以下無料
アンケート結果　満足度	94.5%
担当研究員数	2人
展覧会の内容	令和6年（2024）に空海の生誕1250年と神護寺の創建から1200年目の節目を迎えるにあたり、空海ゆかりの宝物と1200年の時を経て連綿と受け継がれる神護寺の文化財の全貌を紹介。空海直筆の国宝「灌頂歴名」、5体が完全にそろった日本最古の国宝「五大虚空蔵菩薩」、「赤釈迦」の俗称で親しまれ、平安仏画の如来画像中の最高作される国宝「釈迦如来像」などを展示した。とくに本尊の国宝「薬師如来立像」は寺外では初公開であり、現存最古の大曼荼羅である国宝「高雄曼荼羅」は約230年ぶりに修復が行われ、東京で初の公開となった。
講演会等	シンポジウム、記念講演会、教員研修、ボランティア研修などを実施。

展覧会名	挂甲の武人 国宝指定50周年記念 特別展「はにわ」
会　　期	10月16日(水)～12月8日(日)
会　　場	東京国立博物館　平成館特別展会場
主　　催	東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社
特別協賛	BANK OF AMERICA
協　　賛	SGC、TOPPAN、パナソニック ホールディングス、三井住友海上
特別協力	宮内庁
協　　力	全日本空輸
作品件数	124件（うち、国宝18件、重要文化財21件）
来館者数	339,712人(目標値8万人、達成率424.64%)
入場料金	一般 2,100円、大学生 1,300円、高校生 900円、中学生以下無料
アンケート結果　満足度	90.8%
担当研究員数	3人
展覧会の内容	古墳時代の墓である古墳に立て並べられた焼き物、埴輪の歴史性や造形美を伝える展覧会。当館列品である「埴輪 挂甲の武人」の国宝指定50周年記念した企画であり、全国各地から埴輪を借用したほか、アメリカのシアトル美術館からも国宝「埴輪 挂甲の武人」と同一工房とみられる武人埴輪を借用するなど、埴輪の展覧会としては最大規模となった。
講演会等	

展覧会名	開創1150年記念 特別展「旧嵯峨御所 大覚寺―百花繚乱 御所ゆかりの絵画―」
会　　期	令和7年1月21日(火)～3月16日(日)
会　　場	東京国立博物館　平成館特別展会場
主　　催	東京国立博物館、大本山大覚寺、読売新聞社、日本テレビ放送網、BS日テレ
特別協賛	キヤノン、大和証券グループ、Ｔ＆Ｄ保険グループ、明治ホールディングス
協　　賛	JR 東日本、清水建設、竹中工務店、三井住友銀行、三井不動産、三菱ガス化学、三菱地所、三菱商事

特別協力	文化庁
協　　力	光村印刷
作品件数	68件（うち国宝2件、うち重要文化財38件）
来館者数	190,754人（目標80,000人、達成率238%）
入場料金	一般 2,100円、大学生 1,300円、高校生 900円、中学生以下無料
アンケート結果　満足度	92.1%
担当研究員数	2人
展覧会の内容	令和8年（2026）に旧嵯峨御所大覚寺が開創1150年を迎えるに先立ち、優れた寺宝の数々を一挙に紹介する展覧会。大覚寺宸殿と正寝殿を飾る約240面におよぶ障壁画のうち123面を公開したほか、東京では5体そろって初めて公開の重要文化財「五大明王像」（明円作）や、国宝「後宇多天皇宸翰 御手印遺告」といった歴代天皇による優れた書の数々、清和源氏に代々継承された重要文化財「太刀　銘口忠（名物 薄緑〈膝丸〉）など、日本美術史の各分野の代表作を展示した。またこのほか、「嵯峨天皇像」（宮内庁）や重要文化財「太刀　銘 安綱（名物　鬼切丸〈髭切〉）」など大覚寺とゆかりの深い文化財も併せて展示した。
講演会等	連続講座、刀剣プレミアムナイト、写経体験、生け花体験などを実施。

展覧会名	カルティエと日本　半世紀のあゆみ 『結 MUSUBI』展 ― 美と芸術をめぐる対話
会　　期	6月12日（水）～7月28日（日）(41日間)
会　　場	表慶館
主　　催	東京国立博物館
作品件数	270件
来館者数	74,027人
入場料金	一般 1,500円、大学生 1,200円

展覧会名	Wang Yancheng’s World ―Contemporary Art
会　　期	8月10日(土)～9月9日(月)(28日間)
会　　場	表慶館
主　　催	東京国立博物館
作品件数	40件
来館者数	4,428人
入場料金	一般 1,500円

展覧会名	Hello Kitty展　―わたしが変わるとキティも変わる―
会　　期	11月1日(金)～令和7年2月24日(月・祝)
会　　場	東京国立博物館　表慶館
主　　催	東京国立博物館
作品件数	120件
来館者数	344,096人
入場料金	一般 2,000円、大学生 1,800円、中学生・高校生 1,600円、小学生 1,000円
アンケート結果　満足度	82%
担当研究員数	1人
展覧会の内容	ハローキティは日本を代表するコンテンツとして世界中で親しまれており、様々なキャラクターの誕生とグッズ展開によって、その存在を進化させ、今日に至っている。本展では「キティとわたし」をテーマに、50年の間に生まれたハローキティのさまざまな「かたち」が、「わたし」の心にどんな風に語りかけるのか、ハローキティの展示史上、最大量のグッズ展示をはじめ、個性あふれるアーティストとのコラボ作品、オリジナル映像コンテンツなど、様々なコーナーでそのユニークさを紐解き、日本を代表するキャラクターと当館の新しい展覧会の在り様に挑戦した。

(3)海外展

展覧会名	**海外展「三国三色―東アジアの漆器」**
会　　期	6年7月10日(水)～9月22日(日)（76日間）
会　　場	国立中央博物館（韓国）常設展示室1階　特別展示室
主　　催	韓国国立中央博物館、東京国立博物館、中国国家博物館
作品件数	46件
来館者数	38,639人
入場料金	無料（常設展入館料で観覧可能）
担当研究員数	2人
展覧会の内容	韓国、日本、中国の国立博物館館長会議に連携して開催された展覧会。今回はアジア固有の工芸技術である漆芸をテーマとし、韓日中の三国で共通の素材「漆」を使用した優品を展観した。韓国の螺鈿、日本の蒔絵、中国の彫漆を中心に各国の文化において発達した技法を紹介し、その共通点と独自性を浮き彫りにした。
講演会等	学術フォーラムを実施

【京都国立博物館】

(1)平常展(名品ギャラリー)

①開館日数　222日(名品ギャラリー開館日数：142日、庭園のみ開館日数：80日)
②展示総件数　667件
③展示替件数　667件
④入場料金　一般700円、大学生350円　※庭園のみ開館時は一般300円
⑤特集展示等　全7件

場所	名称	会期	件数(うち指定品件数)
平成知新館 1F-2～4	豊臣秀次公 430 回忌 特集展示　豊臣秀次と瑞泉寺	6 月 18 日～8 月 4 日	42 件
＜主な作品＞ 豊臣秀次および眷族像、三首和歌　伝豊臣秀次筆、豊臣秀次朱印状			
当年は秀次とその一族の 430 回忌にあたります。瑞泉寺は、秀次一族の菩提を弔うために、その処刑地跡に建てられた寺院です。このたびの展示では、秀次一族の悲劇に関わる作品を中心に、瑞泉寺の寺宝を紹介します。			
平成知新館 1F-5	修理完成記念 特別公開　重要文化財 縹糸威胴丸	6 月 18 日～8 月 4 日	1 件(重要文化財 1 件)
＜主な作品＞ 縹糸威胴丸　兜・大袖付　附旗一旒			
必ずしも頑丈な材料ばかりではないことから、この胴丸も経年による損傷が激しく、次世代に伝えるためにも修理が不可欠でした。このたびバンク・オブ・アメリカの助成により修理が完成したことを記念して特別公開いたします。			
平成知新館 1F-2・3	上田コレクション収蔵記念 特集展示　密教図像の美	8 月 7 日～ 9 月 8 日	23 件
＜主な作品＞ 大悲心陀羅尼并四十二臂図像　紙背久安五年具注暦、金剛童子図像断簡、普賢延命菩薩図像			
上田コレクションは長らく公開されていませんでしたが、多くは平安～鎌倉時代の作品で占められており、伝来が明らかで歴史的価値だけでなく、美術的価値も高いものです。			
平成知新館 1F-2	新春特集展示　巳づくし―干支を愛でる―	7 年 1 月 2 日～2 月 2 日	18 件(重要文化財 3 件)
＜主な作品＞ 有孔鍔付土器、蛇小禽図蒔絵印籠および蛇象牙彫根付 印籠「古満寛哉作」銘、草花獅子蛇文様金華布裂			
新春恒例の干支がテーマの特集展示として、2025 年の干支、巳（へび）にちなんで開催。実在しないからこそ、想像力を働かせて描かれた、個性豊かなへびたちを紹介した。			
平成知新館 1F-5	特別公開　名刀再臨 ―時代を超える優品たち―	7 年 1 月 2 日～3 月 23 日	4 件(重要文化財 3 件)
＜主な作品＞ 重文　太刀　銘 備中以下切			
この度、京都国立博物館は重要文化財の刀剣 3 口を含む貴重な文化財の寄贈と寄託を受けました。これら 3 口の重要文化財は、日本刀の主要産地である山城・備前・備中を代表する名工の作品であるにもかかわらず、いずれも半世紀近く一般に公開されたことのない知られざる優品です。			
平成知新館 1F-4・6	特集展示　新時代の山城鍛冶―三品派と堀川派―	7 年 1 月 2 日～3 月 23 日	35 件(重要文化財 1 件、重要美術品 4 件)
＜主な作品＞ 太刀　銘（菊紋）和泉守来金道／遥奉　鈞命享保庚戌年於京師二柄ヲ打一柄ハ献シ一柄ハ則是也			
新刀は戦乱で荒廃した京都が復興する過程で生まれ、その後全国へと展開し、鎌倉時代に次ぐ刀剣の黄金期を迎えました。この展示では新刀期の山城（京）鍛冶の双璧をなす三品派と堀川派の名品を紹介いたします。華やかでエネルギッシュな新刀の魅力をご堪能ください。			
平成知新館 1F-2	雛まつりと人形	7 年 2 月 15 日～3 月 23 日	57
＜主な作品＞ 享保雛（大内雛）			
豪華な御殿飾り雛へと至る雛人形の変遷をたどります。江戸時代に流行した各種の雛人形をはじめ、御所人形や賀茂人形といった各種の京人形とともに、みやこで育まれた人形文化の諸相を紹介した。			

(2) 特別展、共催展等

展覧会名	特別展　雪舟伝説―「画聖（カリスマ）」の誕生―
会　　期	4月13日（土）～5月26日（日）（39日間）
会　　場	平成知新館
主　　催	京都国立博物館、日本経済新聞社、テレビ大阪、京都新聞
後　　援	FM大阪、エフエム京都
協　　賛	岩谷産業、特定社会福祉法人暁会、NISSHA
作品件数	87件（国宝7件、重要文化財15件、重要美術品2件）
来館者数	98,854人（目標来館者数50,000人、達成率：197.7%）
入場料金	一般1,800円、大学生1,200円、高校生700円
アンケート結果　満足度	94.9%
講演会等	・特別展キャンパスメンバーズ講演会（1回） 4月21日（日）　特別展「雪舟伝説―「画聖」の誕生―」キャンパスメンバーズ講演会　講師：福士 雄也（京都国立博物館 保存修理指導室長）

	・記念講演会（5回） 4月13日（土）　「誰が雪舟を画聖にして来た（いる）のか？」講師：福島 恒徳 氏（花園大学 文学部 教授） 4月20日（土）　「どうして雪舟！？」講師：綿田 稔 氏（文化庁 主任文化財調査官） 4月27日（土）　「浮世絵に流れる雪舟DNA」講師：樋口 一貴 氏（十文字学園女子大学 教育人文学部 教授） 5月11日（土）　「雪舟伝説前史―戦国社会における雪舟流」講師：森 道彦（京都国立博物館 主任研究員） 5月18日（土）　「雪舟的なもののゆくえ」講師：福士 雄也（京都国立博物館 保存修理指導室長）

展覧会名	特別展　法然と極楽浄土
会　　期	10月8日（火）～12月1日（日）（48日間）
会　　場	平成知新館
主　　催	京都国立博物館、NHK京都放送局、NHKエンタープライズ近畿、読売新聞社
特別協力	浄土宗開宗850年慶讃委員会、文化庁
特別協賛	キヤノン、大和証券グループ、T&D保険グループ、明治ホールディングス
協　　賛	JR東日本、清水建設、竹中工務店、三井住友銀行、三井不動産、三菱ガス化学、三菱地所、三菱商事
作品件数	165件（国宝6件、重要文化財70件）
来館者数	87,546人（目標来館者数50,000人、達成率：175.1%）
入場料金	一般1,800円、大学生1,200円、高校生700円
アンケート結果　満足度	95.3%
講演会等	・特別展キャンパスメンバーズ講演会（1回） 10月13日（日）「法然上人絵伝を考える」nixon（辻村 知夏）氏（紙芝居「法然上人一代記」作者／イラストレーター）×井並 林太郎（京都国立博物館 主任研究員） ・特別展関連トークイベント（1回） 10月24日（木）「笑い飯 哲夫と仏教について語る」 笑い飯 哲夫（漫才師）×　井並 林太郎（京都国立博物館 主任研究員） ・記念講演会（4回） 10月12日（土）「知恩院と天下和順―歴史の中の法然上人―」講師：今堀 太逸 氏　（佛教大学 名誉教授・総本山知恩院史料編纂所 編纂主任） 10月19日（土）「浄土宗と仏画とのかかわり」講師：大原 嘉豊（京都国立博物館 教育室長） 11月9日（土）「法然尊慕―肖像と絵伝を中心に―」講師：井並 林太郎　（京都国立博物館 主任研究員） 11月16日（土）　「阿弥陀仏の造形」講師：竹下 繭子　（京都国立博物館 主任研究員）

【奈良国立博物館】

(1)名品展（平常展）

①開館日数：315日(名品展のみの開館日数：144日)
②展示総件数：453件
③展示替回数：16回
④展示替件数：364件
⑤入場料金：一般　700円　大学生　350円
⑥特別陳列等：全235件

・名品展
　珠玉の仏たち（なら仏像館）114件
　珠玉の仏教美術（西新館）86件
　中国古代青銅器（青銅器館）124件

特別陳列等

場所	名称	会期	件数(うち指定品件数)
東新館	泉屋博古館の名宝―住友春翠の愛でた祈りの造形―	7月20日 ～9月1日	67件(うち国宝1件重文4件)
＜主な作品＞ 国宝　線刻仏諸尊鏡像（瑞花鴛鴦八稜鏡）、重要文化財　水月観音像　徐九方筆ほか			
住友家第十五第住友春翠のコレクションをはじめとした美術品の保管、研究、公開を行う泉屋博古館の協力で、中国古代青銅器や金銅仏、仏画を展観し、実業に携わりながら芸術文化をこよなく愛した住友春翠のまなざしを紹介した。			
西新館	わくわくびじゅつギャラリー 「フシギ！日本の神さまのびじゅつ」	7月20日～9月1日	37件（うち国宝4重文8件）
＜主な作品＞ 国宝　八幡三神像、国宝　辟邪絵のうち神虫、国宝　桐蒔絵手箱および内容品（熊野速玉大社古神宝類のうち）ほか			
日本では古来より、山や川、海などあらゆる自然に神さまが宿ると信じられてきたことから祈りの美術が生み出されたことを紹介し、当館公式キャラクターざんまいずとともにそのなぞを解き明かす体験型の展覧会を開催した。			
なら仏像館 第9室	東大寺伝来の伎楽面―春日人万呂と基永師―	10月1日～12月22日	9件（うち重文7件）
＜主な作品＞ 重要文化財　伎楽面　酔胡王　基永師作、重要文化財　伎楽面　太孤父　春日人万呂作ほか			
東大寺所蔵および近代に同時を離れた伎楽面の中から、近年の研究であらたに確認された伎楽面作者春日人万呂の3面をそろって公開した。また、大仏開眼会の面を制作した作者のひとりである基永師の面を展観し、個性的で異国情緒あふれる伎楽面の魅力を紹介した。			
なら仏像館 第11室	聖武天皇の大嘗祭木簡	10月22日～11月11日	8件

場所	名称	会期	件数(うち指定品件数)
＜主な作品＞ 佐波郡から、大嘗祭に用いる贄の押年魚を納めた木簡、神亀元年の紀年木簡			
聖武天皇の即位からちょうど1300年にあたる令和6年、平城京の発掘調査で出土した聖武天皇の大嘗祭に関わる木簡を、奈良文化財研究所との共催で公開した。			
東新館	春日若宮おん祭の信仰と美術	12月7日～7年1月13日	48件(うち国宝6件重文5件)
＜主な作品＞ 鹿島立神影図　二条英印筆、重要文化財　春日鹿曼荼羅、巫女装束（二人舞）・簪ほか			
平安時代に若宮社が建てられた翌年にはじまったとされ今年で889年目を迎える春日若宮おん祭を取り上げ、絵画や文献史料、芸能資料等を通じて、おん祭の歴史と祭礼の様子を紹介した。			
西新館 北側展示室	新たに修理された文化財	12月17日 ～7年 1月13日	11件（うち重文4件）
＜主な作品＞ 重要文化財　絹本著色十二天像、重要文化財　紺紙金銀泥法華経宝塔曼荼羅図（開結共）、木造彩色宝珠台ほか			
過去に人の手による修理を受けながら大切に保存されてきた文化財をさらに未来へと継承していくため、当館で毎年度計画的に修理を実施している彫刻・絵画・書跡・工芸・考古の各分野の収蔵品（館蔵品・寄託品）を公開した。また、修理内容についてパネルで紹介した。			
なら仏像館 第8室	特別公開「秘仏　深大寺　元三大師坐像　ー日本最大の肖像彫刻ー」	7年1月15日～3月16日	1件
＜作品＞ 元三大師坐像			
厄除け大師として信仰される東京都調布市深大寺元三大師堂の秘仏本尊、元三大師坐像の修理完了を記念して特別公開を行った。			
西新館 北側展示室	お水取り	7年2月8日～3月16日	54件（うち重文18件）
＜主な作品＞ 東大寺曼荼羅、重要文化財　十一面観音像、二月堂縁起、紙衣ほか			
毎年、東大寺でお水取りがおこなわれるこの時季にあわせ、お水取り（修二会）への理解が深まる一助となることを企図し開催する恒例の企画で、これまで実際に法会で用いられた法具や、歴史と伝統を伝える絵画、古文書、出土品などを展示した。			

(2)特別展、共催展等

展覧会名	生誕1250年記念特別展　空海KUKAI―密教のルーツとマンダラ世界
会　　期	4月13日(土)～6月9日(日)（51日間）
会　　場	奈良国立博物館　東新館・西新館
主　　催	奈良国立博物館、NHK奈良放送局、NHKエンタープライズ近畿、読売新聞社
後　　援	
学術協力	高野山大学
協　　賛	NISSHA、きんでん、築野グループ、パナソニックホールディングス、非破壊検査
協　　力	インドネシア国立中央博物館、陝西省文物局、陝西省文物交流中心、西安碑林博物館、種智院大学、日本香堂、仏教美術協会
作品件数	115件（うち国宝28件、重文59件）
来館者数	190,671人(目標来館者数95,000人・達成率 201%)
入場料金	一般2,000円、高校・大学生1,500円
アンケート結果　満足度	94.7%
担当研究員数	4名
展覧会の内容	空海の生誕1250年を記念し、中国・インドネシア・日本に遺された密教美術にまつわる作品の展観を通して、国際的な密教伝来の歴史をたどりながら、空海が目で見て理解するよう述べた密教の世界観を曼荼羅の空間として展示室に展開した。また、空海が直接製作に関わった現存唯一にして世界最古の高雄曼荼羅を、修理後初めて一般公開した。
講演会等	○公開講座 3回　参加者数合計 357人 4月27日（土）「空海マンダラの世界ー宇宙へのいざないー」松長 潤慶 氏（高野山大学副学長）/ 参加者数 151人 5月18日（土）「日本仏教史における空海と密教」斎木 涼子（当館学芸部列品室長）/ 参加者数　98人 5月25日（土）「高雄曼荼羅ー弘法大師御筆の両界曼荼羅―」谷口 耕生（当館学芸部企画室長）/ 参加者数　108人

展覧会名	第76回正倉院展
会　　期	10月26日（土）～11月11日（月）（17日間）
会　　場	奈良国立博物館　東新館・西新館
主　　催	奈良国立博物館
特別支援	DMC森精機
協　　賛	岩谷産業、印傳屋上原勇七、SGC、NTT西日本、関西電気保安協会、近畿日本鉄道、JR東海、JR西日本、シオノギヘルスケア、ダイキン工業、ダイセル、大和ハウス工業、中西金属工業、丸一鋼管、大和農園
特別協力	読売新聞社
協　　力	NHK奈良放送局、奈良交通、奈良テレビ放送、日本香堂、仏教美術協会、読売テレビ
作品件数	57件
来館者数	128,847人(目標来館者数110,000人・達成率 117%)
入場料金	一般2,000円、高校・大学生1,500円、小・中学生500円

アンケート結果　満足度	97.1%
担当研究員数	3名
展覧会の内容	8世紀の東アジア文化の至宝である正倉院宝物57件を公開した。
講演会等	○公開講座 2回　参加者数合計 281人 11月2日(土)「紫地鳳形錦御軾再現―伝統技術とデジタル技術の融合―」 田中　陽子（宮内庁正倉院事務所保存課整理室長）/参加者数 129人 11月10日(土)「黄金瑠璃鈿背十二稜鏡の魅力について」 吉澤　悟（奈良国立博物館学芸部長）/ 参加者数 152人

【九州国立博物館】

(1)文化交流展（平常展）

①開館日数：307 日(うち平常展のみ開館日数 247 日)＊台風の影響により臨時休館(8 月 29 日、30 日)
②展示総件数：2,262 件(うち国宝 70 件、重要文化財 245 件)
③展示替件数：1,914件
④入場料金：一般 700 円、大学生 350 円
⑤特集展示・特別公開等：全 4 件

場所	名称	会期	件数(うち指定品件数)
文化交流展示室 第9室	特集展示「さわって体験！本物のひみつ2024」	7月17日～10月14日	30件（うち重文1件）
＜主な作品＞ 鬼瓦、鬼瓦レプリカ、海獣葡萄鏡、海獣葡萄鏡レプリカ、六区袈裟襷文銅鐸、六区袈裟襷文銅鐸　模造鋳型			
実物展示に加えてレプリカや再現文化財を展示し、これらに触れ、体験してすることで、見るだけでは分からない文化財の特徴について公開した。			
文化交流展示室 第9・11室	特集展示「人吉球磨の玉手箱」	10月22日～12月15日	136件（うち重文18件）
＜主な作品＞ 鏨金鏡、阿弥陀如来坐像、板絵御正体、舎利容器、豊臣秀吉判物（肥後宗像家文書）、球磨絵図			
熊本県の南東部に位置する人吉球磨地域の、旧石器時代の石器類から江戸時代のウンスンカルタ、現代に続く工芸品などの資料を一堂に会し、紹介するとともに、令和2年の水害での被災後修復された作品も展示した。			
文化交流展示室 基本展示室 4テーマ	特集展示「モンゴル襲来の痕跡を探る」	10月29日～1月19日	14件（重文2件、重美1件）
＜主な作品＞ 関東御教書、蒙古襲来絵詞模本、下原第一遺跡出土品、てつはう			
モンゴル襲来750周年の節目に、当時の人びとが蒙古襲来と呼んだ出来事の痕跡をたどり、現在も進められている調査研究の一端を紹介した。			
文化交流展示室 第9室	新春特別公開「晴れなる輝き　徳川美術館所蔵 菊の白露蒔絵調度」	7年1月1日～1月26日	24件
＜主な作品＞ 菊の白露蒔絵文台、菊の白露蒔絵香盆、菊折枝蒔絵鏡台			
徳川美術館に所蔵される「菊の白露蒔絵調度」のうち、文台、香盆をはじめ、伝存する大名婚礼調度の中でも最大規模を誇る「菊折枝蒔絵調度」や、婚礼調度を代表する貝桶や祝枕、婚礼衣装など、江戸時代の婚礼を彩る品々を取り合わせて展示した。			

【皇居三の丸尚蔵館】

(1)展覧会

①開館日数 264 日
②展示総件数：266 件
③入場料金：一般 1,000 円、大学生 500 円

展示名称	開館記念展「皇室のみやび－受け継ぐ美－」第３期「近世の御所を飾った品々」
開催期間	3 月 12 日（火）～5 月 12 日（日）
作品件数	35 件
来館者数	54,307 人（うち令和 6 年度 37,410 人）
満 足 度	93.1%
内　　容	今年 11 月に開館 30 年を迎える三の丸尚蔵館が、令和という新たな時代に、装いを新たに「皇居三の丸尚蔵館」として開館することを記念して開催する。第３期では、国宝・藤原定家《更級日記》など、「御在来ございらい」と称される京都御所に伝来した作品をはじめ、旧桂宮家かつらのみやけ伝来の伝狩野永徳《源氏物語図屏風》など、近世の御所や宮家を飾った書画や工芸、楽器などを紹介した。

展示名称	開館記念展「皇室のみやび－受け継ぐ美－」第４期「三の丸尚蔵館の名品」
開催期間	5 月 21 日（火）～6 月 23 日（日）
作品件数	14 件

来館者数	48,193 人
満 足 度	96.8%
内　　容	今年 11 月に開館 30 年を迎える三の丸尚蔵館が、令和という新たな時代に、装いを新たに「皇居三の丸尚蔵館」として開館することを記念して開催する。開館記念展を締めくくる第４期では、国宝・狩野永徳《唐獅子図屏風》など、献上された品を中心に、当館を代表する名品の数々を紹介した。

展示名称	展覧会「いきもの賞玩」
開催期間	7 月 9 日（火）～9 月 1 日（日）
作品件数	52 件
来館者数	35,804 人
満 足 度	93.6%
内　　容	本展では、地球上に生きる「いきもの」の姿を、数々の作品をとおしてご覧いただく。生き物を表した工芸品や絵画、書跡などを、皇室に伝えられた作品のなかから紹介する。また、皇室には諸外国との交流のなかで、各国の貴重な品々が贈られており、そのような海外の作品も交えて紹介し、生きとし生けるものの力強さや愛らしさとともに、命の等しさ、尊さに思いを巡らせるような企画とした。

展示名称	展覧会「花鳥風月ー水の情景・月の風景」
開催期間	9 月 10 日（火）～10 月 20 日（日）
作品件数	27 件
来館者数	41,403 人
満 足 度	94.3%
内　　容	自然の景色のなかで、雨などの水の景色や、月をあらわした風景などの作品を、皇室伝来の収蔵品のなかから紹介した。

展示名称	展覧会「公家の書ー古筆・絵巻・古文書」／展覧会「皇室の美術振興ー日本近代の絵画・彫刻・工芸」
開催期間	10 月 29 日（火）～12 月 22 日（日）
作品件数	公家の書：13 件　皇室の美術振興：25 件
来館者数	38,556 人
満 足 度	93.2%
内　　容	「公家の書」では、公家たちが美しさを求めた名品とともに、実務で作成した書状や文書を紹介する。「皇室の美術振興」では、明治から昭和にかけて日本国内で開催された博覧会や展覧会に出品され、皇室による御買上を受けた絵画、彫刻、工芸のなかから、秋の季節を感じさせる作品を中心に紹介した。

展示名称	展覧会「瑞祥のかたち」
開催期間	令和 7 年 1 月 4 日（土）～3 月 2 日（日）
作品件数	46 件
来館者数	57,552 人
満 足 度	96.2%
内　　容	皇室伝来の書跡・絵画・工芸品の中から、蓬莱山や霊峰・富士、松や鶴、亀、宝船に霊獣といった「おめでたい」モチーフの数々が一堂に公開する。新たな年の幕開けにめでたいことの訪れを告げる、「瑞祥」の造形美を紹介した。

展示名称	展覧会「百花ひらくー花々をめぐる美ー」
開催期間	令和 7 年 3 月 11 日（火）～5 月 6 日（日）
作品件数	45 件
来館者数	27,262 人（7 年 3 月 31 日まで）
満 足 度	※満足度調査は、令和 7 年度に実施予定。
内　　容	花を題材とした 11 世紀から現代にいたる絵画・工芸・書跡 45 件を紹介し、春の季節に作品に込められた花々の美とかたちを紹介する企画とした。

(2)地方展開

展覧会名	**皇居三の丸尚蔵館名品選「美が結ぶ　皇室と香川」**
会　　期	4 月 20 日(土) ～ 5 月 26 日(日)
会　　場	香川県立ミュージアム
主　　催	香川県立ミュージアム、皇居三の丸尚蔵館 共催　香川県教育委員会、四国新聞社 特別協力　文化庁、金刀比羅宮、紡ぐプロジェクト、読売新聞社
作品件数	皇居三の丸尚蔵館の収蔵品 42 件（うち国宝 1 件、重要文化財 0 件）
来館者数	23,027 人
入場料金	一般 1,400 円（1,100 円：前売・20 名以上の団体料金） ※高校生以下、65 歳以上、障害者手帳をお持ちの方は無料
内　　容	皇居三の丸尚蔵館が収蔵する皇室ゆかりの美術品のうち、中世から近代の絵画の名品、近代の工芸や彫刻から香川県をはじめとする四国にゆかりのある作品を中心に展示した。

展覧会名	**皇居三の丸尚蔵館展「皇室の至宝　北海道ゆかりの名品」**
会　　期	9 月 21 日(土) ～ 10 月 27 日(日)
会　　場	北海道立近代美術館
主　　催	北海道立近代美術館、テレビ北海道、北海道新聞社、日本経済新聞社、皇居三の丸尚蔵館 特別協力　文化庁、紡ぐプロジェクト、読売新聞社
作品件数	皇居三の丸尚蔵館の収蔵品 56 件（うち国宝 1 件、重要文化財 0 件）
来館者数	36,877 人

入場料金	一般 1,700 円（1,500 円）　高大生 1,000 円（800 円）　中学生 700 円（500 円）　小学生以下無料（要保護者同伴） ※カッコ内は 20 名以上の団体料金
内　容	皇室ゆかりの美術作品を北海道でまとめて紹介する、初の本格的な展覧会となった。北海道と京都・江戸とのつながりを示す近世の名品や、北海道行幸啓にまつわる作品、北海道ゆかりの作家の作品など、皇室と北海道をつなぐ優品を一堂に展覧した。

展覧会名	「清流の国ぎふ」文化祭２０２４　皇居三の丸尚蔵館特別協力 「PARALLEL MODE：山本芳翠－多彩なるヴィジュアル・イメージ－」
会　期	9 月 27 日（金）～12 月 8 日（日）
会　場	岐阜県美術館
主　催	岐阜県美術館、文化庁 共催　岐阜新聞社、岐阜放送、中日新聞社 特別協力　皇居三の丸尚蔵館、東京国立博物館、文化財活用センター、紡ぐプロジェクト、読売新聞社
作品件数	皇居三の丸尚蔵館の収蔵品 10 件（うち国宝 0 件、重要文化財 0 件）
来館者数	16,907 人
入場料金	一般 1,200 円（1,100 円）　大学生 1,000 円（900 円）　高校生以下無料
内　容	山本芳翠および関連作家の作品約 200 点を展示した。特別協力として皇居三の丸尚蔵館が収蔵する皇室に伝来した芳翠の作品を展示し、皇室と岐阜をつなぐ明治洋画の世界を紹介した。

展覧会名	皇室の名宝と新潟 ―皇居三の丸尚蔵館収蔵品でたどる日本の技と美
会　期	令和 7 年 2 月 7 日(金) ～ 3 月 16 日(日)
会　場	新潟県立近代美術館
主　催	新潟県立近代美術館、皇居三の丸尚蔵館 特別協力　文化庁、紡ぐプロジェクト、読売新聞社
作品件数	皇居三の丸尚蔵館の収蔵品 57 件（うち国宝 1 件、重要文化財 1 件）
来館者数	8,256 人
入場料金	一般 1,400 円（1,200 円）　大学・高校生 1,000 円（800 円）　中学生以下無料 ※カッコ内は 20 名以上の団体料金
内　容	近世絵画の名品をはじめ、近代の油彩画や日本画、工芸作品など約 50 件を展示し、皇室に伝わる名宝を通して日本美術の技と美の世界を感じられる企画とした。また、明治天皇の北陸巡幸写真パネル、新潟ゆかりの作家による絵画や工芸品なども展示し、皇室と新潟の関わりも紹介した。

【奈良文化財研究所】

【平城宮跡資料館】

(1)平常展

①開館日数：301日（平常展のみの開館日数：114日）
②展示総件数：561件(うち国宝0件、重要文化財0件)
③展示替回数：0回
④入場料金：無料
⑤平常展のみの来館者数：23,610人

(2) 特別展、企画展等

展覧会名	令和６年度夏期企画展「万葉挽歌（レクイエム）－人形からみる古の奈良－」
会　期	7月13日(土) ～ 9月1日(日)　(51日間)
会　場	平城宮いざない館 企画展示室
主　催	平城宮跡管理センター、奈良文化財研究所、奈良大学
特別協賛	―
協　賛	―
協　力	―
作品件数	31件（うち国宝0件、重要文化財0件）
来館者数	22,613人
入場料金	無料
アンケート結果　満足度	99%
担当研究員数	1人
展覧会の内容	永瀬卓氏が制作した人形作品を中心に古代の奈良について展示。
講演会等	ギャラリートーク6回、関連トークイベント1回開催

展覧会名	令和６年度平城宮跡資料館秋期特別展「聖武天皇が即位したとき。―聖武天皇即位1300年記念―」
会　期	10月22日(火)～12月8日(日)　(42日間)
会　場	平城宮跡資料館　企画展示室
主　催	奈良文化財研究所
特別協賛	―
協　賛	―
協　力	―
作品件数	69件(うち国宝0件、重要文化財0件)
来館者数	8,154人
入場料金	無料

アンケート結果　満足度	97%
担当研究員数	2人
展覧会の内容	聖武天皇大嘗祭関連の木簡を中心に、聖武天皇の生涯について展示。
講演会等	ギャラリートーク5回、関連講演会1回、関連イベント（ナイトサイトミュージアム）1回開催

展覧会名	**特別陳列「聖武天皇の大嘗祭木簡」**
会　　期	10月22日(火)～11月11日(日)（21日間）
会　　場	奈良国立博物館なら仏像館第13室
主　　催	奈良文化財研究所・奈良国立博物館
特別協賛	―
協　　賛	―
協　　力	―
作品件数	8件(うち国宝0件、重要文化財0件)
来館者数	38,518人
入場料金	大人700円（入館料は奈良博の収入）
アンケート結果　満足度	―
担当研究員数	4人（奈文研2、奈良博2）
展覧会の内容	聖武天皇大嘗祭関連の木簡の中から8点を展示。
講演会等	プレスリリースを、9/20（於：奈文研）、10/22（於：奈良博）の2回開催。

展覧会名	**令和６年度平城宮跡資料館春期企画展「UnEarth2025」**
会　　期	7年2月15日（土）～4月13日（日）（58日間）（R6年度は38日間）
会　　場	平城宮跡資料館　企画展示室
主　　催	奈良文化財研究所
特別協賛	―
協　　賛	―
協　　力	―
作品件数	―件(うち国宝0件、重要文化財0件)
来館者数	4,722人 ※令和7年3月31日現在
入場料金	無料
アンケート結果　満足度	―%
担当研究員数	1人
展覧会の内容	奈良文化財研究所の最新の発掘調査・研究成果を出土資料とパネルで展示。
講演会等	ギャラリートーク

【藤原宮跡資料室】

(1)平常展

①開館日数：351日
②展示総件数：486件
③展示替回数：0回
④入場料金：無料
⑤特集陳列等　：2件
⑥平常展来館者数　：8,126人

藤原宮跡資料室 展示ロビー	石神遺跡南北溝ＳＤ1347Ａ･Ｂ出土の土器	5 月 8 日～7 年 3 月 31 日	36点
＜主な作品＞ 石神遺跡第 14 次調査 SD1347Ａ・Ｂ出土の土師器・須恵器			
2001 年 7 月から 12 月に実施した石神遺跡第 14 次調査において、南北溝 SD1347Ａ・Ｂから出土した土師器と須恵器を展示した。2023 年までの整理作業の成果報告であり、７世紀後半から末における土器の特徴の変化を、実際の遺物を見ながら、理解できる内容とした。			

藤原宮跡資料室 展示ロビー	日本最古級の九九一覧表	9 月 17 日～7 年 2 月 20 日	展示パネル1点、遺物0点
＜主な作品＞ 「日本最古級の九九一覧表」解説パネル及び配布用解説資料			
2001 年の飛鳥藤原第 115 次調査で出土した木簡を再検討したところ、西暦 700 年前後の日本最古級の実用的な九九一覧表であることが明らかとなった。本成果は 9 月 4 日に報道発表がなされ、比較的大きく取り上げられたことから、解説パネルを展示した。解説資料は、展示期間中に約 600 枚の配布が終了しており、国民の関心にあわせた適時適切な対応ができた。			

【飛鳥資料館】

(1)平常展

①開館日数：301日（平常展のみの開館日数：169日）
②展示総件数：146件
③展示替回数：0回
④入場料金：一般350円　大学生200円　高校生及び18歳未満、70歳以上は無料

⑤平常展のみの来館者数：11,632人

(2) 特別展、共催展等

展覧会名	ミニ展示「高松塚古墳壁画 国宝指定50周年記念展」
会　　期	4月19日（金）～5月19日（日）(27日間)
会　　場	飛鳥資料館　特別展示室
主　　催	奈良文化財研究所
特別協賛	―
協　　賛	―
協　　力	―
作品件数	4点（0件）
来館者数	4,221人
入場料金	一般350円　大学生200円　高校生及び18歳未満、70歳以上は無料
アンケート結果　満足度	―
担当研究員数	4人
展覧会の内容	高松塚古墳壁画の国宝指定50年を記念し、平山郁夫などの著名な日本画家たちによって描かれた「高松塚古墳壁画の現状模写」を展示。 模写制作時のエピソードや壁画発見から現在に至るまでの年表、模写からわかる当時の石室内の様子についてパネル解説した。
講演会等	ー

展覧会名	夏期企画展「第15回 写真コンテスト作品展『飛鳥の音』」
会　　期	7月12日（金）～9月16日（月）(56日間)
会　　場	飛鳥資料館　特別展示室
主　　催	奈良文化財研究所飛鳥資料館
協　　賛	岡村印刷工業株式会社、株式会社堀内カラー、コクヨマーケティング株式会社、NPO法人明日香の未来を創る会、両槻会
後　　援	文化庁、国土交通省近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所、明日香村、朝日新聞奈良総局、読売新聞奈良支局、毎日新聞奈良支局、奈良新聞社、NHK奈良放送局、近畿日本鉄道株式会社
作品件数	116点（0件）
来館者数	3,200人
入場料金	一般350円　大学生200円　高校生及び18歳未満、70歳以上は無料
アンケート結果　満足度	94.4%
担当研究員数	4人
展覧会の内容	2011年から開催し、今回で15回目となる本展では、「飛鳥の音」をテーマに作品を募集し、展示・表彰した。飛鳥の風景の中に隠れた「音」に着目し、そこを通して見える人々の営みを写した116点の作品が寄せられた。研究員による審査や来館者投票を経て入賞した12点については、9月8日（日）に表彰式を執り行った。
講演会等	○イベント「日光写真をつくろう」6回　参加者数合計 51人 8月1日　8月8日　8月22日　8月29日　　各日　午前、午後　に各1回　　8月29日は天候不良により中止

	秋期特別展「水と暮らしの風景史-古地図と景観がひらく飛鳥」
会　　期	10月4日（金）～12月1日（日）(51日間)
会　　場	飛鳥資料館　特別展示室
主　　催	奈良文化財研究所飛鳥資料館
後　　援	文化庁・近畿日本鉄道株式会社
作品件数	30点（うち重文1件）
来館者数	6,370人
入場料金	一般350円　大学生200円　高校生及び18歳未満、70歳以上は無料
アンケート結果　満足度	84.4%
担当研究員数	4人
展覧会の内容	「日本の原風景」とも讃えられる、飛鳥の田園風景の歴史と魅力を「水と暮らし」の切り口から発信した特別展である。飛鳥地域の各集落に保管される近世近代の古地図や古文書の調査成果と、現地で実施した文化的景観の調査成果を統合し、田園風景を成り立たせている、飛鳥時代以降の歴史と現代の暮らしの魅力を紹介した。講演会などの各種イベントも開催し、観光で訪れた来館者に飛鳥の風景の魅力を普及するとともに、地元住民に向けて郷土の歴史の成り立ちと価値を伝えることを図った。
講演会等	○講演会 2回　参加者数合計 91人 ・10月12日(土)「田んぼの見方―明日香村の灌漑システムを読み解く」 惠谷浩子（奈良文化財研究所文化遺産部景観研究室長）/参加者数 40人 ・11月 2日(土)「古地図の見方―江戸・明治の飛鳥の風景を読み解く」 竹内祥一朗（当館学芸室研究員）/ 参加者数 51人 ○ギャラリートーク　　10月10日　11月21日

b ボランティア受入実績

1　受入人数

令和7年3月31日現在

国立文化財機構計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	奈良文化財研究所
871人	163人	239人	147人	214人	108人

2　活動内容

【東京国立博物館】　計163人

種別　（登録人数）	概　　要
生涯学習ボランティア （162人）	**1)各種教育普及事業の補助活動の充実を図る** 【教育普及事業の補助】 ・ワークショップの補助（7回）（キッズデーを除く） ・スクールプログラムの補助（36回） ・講演会のサポート（14回）・東洋館6室オアシス「アジアの占い体験」実施（通年） ・本館19室みどりのライオン体験コーナー対応（通年） 【館内案内】 ・本館1階エントランス・17室での来館者対応（通年） 【資料印刷・作成】 ・点字パンフレットの印刷（10冊） ・たんけんマップの作成（5回） 【職場体験実施活動補助】 ・受入数：14校（中学校8校、高校6校）、生徒数44人（中学25人、高校19人） 【障がい者対応】 ・バリアフリー対応班登録者数（64人） ・盲学校のためのスクールプログラムの実施 （6回実施中3回をボランティアで実施） ・新規メンバー勧誘会（1回） ・バリアフリー班研修および受け入れ前打合せ（9回） 【各種連携事業】 ・「留学生の日」（10/5）内プログラム 留学生のための浮世絵ガイド（41人） 留学生のための彫刻ガイド（66人） 留学生のための近代の美術3分間ガイド（54人） アートスタジオ（「留学生のための根付づくり」34人） ・「博物館でアジアの旅」（10/1-11/10）内プログラム 樹木ツアー（2回：41人） 東洋館ツアー（3回：108人） 彫刻ガイド（東洋館でのガイドツアー、2回：73人） ・「博物館でお花見を」 たてもの散歩ツアー（1回、61人）（2024年4月実施）、 （1回、65人）（2025年3月実施） 樹木ツアー（1回、60人）（2024年4月）、 （3回、168人）（2025年3月実施） 英語ガイド（1回、25人）（2024年4月実施） 庭園茶室ツアー「草庵茶室に入ってみよう」（1回、12人） （2025年3月実施） 九条館桜茶会（2回、24人）（2025年3月実施分） 本館ハイライトツアー(スライドトーク)(1回、73人) 浮世絵ガイド（スライドトーク）（1回、74人） 陶磁ガイド（スライドトーク）（1回、54人） 刀剣・武士の装いツアー（スライドトーク）(1回、81人) アートスタジオ 「親子で楽しむ根付づくり」（さくら）（1回、18人） ・「キッズデー」（5/26、7/28、11/24、1/26） イベントサポート （7プログラム、34人） ボランティア企画子ども向けガイドツアー・イベント 「アートスタジオ」 （「子どもの勾玉づくり」3回、65人、 「親子で楽しむ勾玉づくり」2回、38人） 「こどもたてものさんぽツアー～たんけんマップをもって～」 （8回、533人） 「手遊び＆散策『ユリノキからたんけん！』」（4回、156人） 「東洋館でさがしてみよう！」（4回、408人） 「キッズ18室へ、これなーんだ！」（2回、459人） 「法隆寺宝物館でさがしてみよう！」（2回、132人） 「考古展示室ではにわをみよう」（3回、111人） 「お気に入りの色で仏像プラ板をつくろう！」（3回、295人）

種別 （登録人数）	概　　要
	・「東博縁日」8/27、8/28、8/29、8/30、8/31、9/1 ワークショップサポート 【ボランティアデー開催】（11/30・12/1実施） ・もようスタンプ体験コーナー（356人） ・たてもの散歩ツアー（2回、65人） ・樹木ツアー（2回、70人） ・九条館茶会（2回、28人） ・庭園茶室ツアー（2回、31人） ・英語ガイド（2回、61人） ・法隆寺宝物館ガイド（1回、25人） ・考古展示室ガイド（1回、84人） ・東洋館ツアー（1回、60人） ・アートスタジオ（「大人の勾玉づくり」19人） ・自主企画グループのうち本館屋内ガイドツアーよるスライドトーク（各1回） 彫刻ガイド（87人） 陶磁ガイド（40人） 浮世絵ガイド（70人） 本館ハイライトツアー（61人） 近代の美術ガイド（81人） 刀剣・武士の装いツアー（45人） **2)来館者向けガイドツアーｘ** 屋外ガイドツアーとワークショップ、法隆寺宝物館・東洋館・平成館考古展示室での屋内ガイドツアーを実施した。本館での屋内ガイドツアーグループは、本館地下みどりのライオン教育普及スペースを使ってのスライドトークを継続的に実施した。 ＊「留学生の日」「博物館でアジアの旅」「キッズデー」「博物館でお花見を」「ボランティアデー」として実施したガイドツアーは上述のとおり。 【スライドトーク】10回、のべ499人 ・彫刻ガイド（1回、56人） ・陶磁ガイド（1回、33人） ・浮世絵ガイド（3回、143人） ・本館ハイライトツアー（2回、97人） ・近代の美術ガイド（2回、124人） ・刀剣・武士の装いツアー（1回、46人） 【来館者向けガイドツアー】114回、2437人 ・たてもの散歩ツアー（16回、473人） ・樹木ツアー（15回、268人） ・九条館茶会（16回、180人） ・庭園茶室ツアー（11回、153人） ・英語ガイド（9回、191人） ・法隆寺宝物館ガイド（20回、493人） ・東洋館ツアー（10回、213人） ・考古展示室ガイド（11回、324人） ・彫刻ガイド（2回、70人） ・アートスタジオ 「大人の勾玉づくり」（1回、20人）、 「親子で楽しむ勾玉づくり」(1回、18人)、 「親子で楽しむ根付づくり」（1回、17人）、 「子どもの勾玉づくり」（1回、17人） **3)ボランティア向けガイドツアー・勉強会** 【ボランティア向けガイドツアー】12回、のべ149人 ・庭園茶室ツアー（1回、7人） ・考古展示室ガイド（3回、18人） ・彫刻ガイド（1回、9人） ・九条館茶会（2回、28人） ・刀剣・武士の装いツアー（スライドトーク、1回、17人） ・陶磁ガイド（スライドトーク、2回、27人） ・本館ハイライトツアー（2回、43人） 【自主企画グループ勉強会】（182回）
東京藝術大学大学院インターンシップ（1人）	本館地下教育普及スペースでのスライドトークとして実施（2025年2月、計4回） ・「『色絵花鳥図平鉢』と吉祥文様」（4回） ※「東京藝術大学大学院インターンシップ」は、従前との比較のため、ボランティア数の内数として計上している。従前の「東京芸術大学学生ボランティア」を平成25年4月より名称変更し、現在は「1(3)① 3」大学との連携事業等の実施」の事業である。詳細は処理番号1313Aを参照。

【生涯学習ボランティアに対する研修の実施】　計20回
- 新規ボランティア向け研修　1回
- 基本活動関連研修　14回
- サポート班研修　2回
- バリアフリー班研修　3回

【京都国立博物館】　　計239人

種　別　（登録人数）	概　　要
京博ナビゲーター（203人）	京博ナビゲーターが、下記の活動を行った。 ・ミュージアム・カートやレファレンス・コーナーにおける活動　136日 ・特別展でのワークショップ　87日（「めくって雪舟」39日、「とびだせ！たいまマンダラ」48日） 京博ナビゲーターに対して、下記の研修を行った ・雪舟伝説展ワークショップ　ナビゲーター研修　2日193人 ・法然と極楽浄土展ワークショップ　ナビゲーター研修　2日188人 ・3期ナビ第1回　ステップアップ研修　1回136人
調査・研究支援ボランティア(16人)	各研究員の指導のもと、調査・研究支援ボランティアが収蔵品調査及び社寺調査の補助を行った。
文化財ソムリエ(20人)	「文化財ソムリエ」として登録している大学生・大学院生が、当館研究員によるスクーリング（21回）を受けたのち、下記の活動で講師を務めた。 ・文化財に親しむ授業　7回・16人

【奈良国立博物館】　計147人

種　別　（登録人数）	概　　要
ならはくボランティア（147人）	【なら仏像館のガイド活動】活動日数　308日 ・ツアー実施回数　2,943回 ・ツアー案内人数　5,308人 【学校プログラム ならはく「世界遺産学習」の活動】 ・奈良市世界遺産学習で来館する奈良市立小学校5年生の受け入れ　30件、1,820人 ・奈良市立小学校5年生以外の小・中学校・高校の受け入れ　21件、1,704人 【学校プログラム参加者対象 とくべつワークショップ「ほとけさまに服を着せよう！」の実施】51回　着付け体験者数　696人 【学校オンライン中継授業の実施】 ・大分県連携事業 アバター（遠隔操作ロボット）を活用した中学校オンライン中継授業の実施　1校2回、53人 ・奈良市連携事業　学校向けオンライン中継授業　1校1回、51人 【奈良市教育委員会共催事業　みんなで学ぼう！奈良博ワクワク講座「仏像っておもしろい！」の活動】 ・実施回数2回、参加者数101人 【まいにちワークショップの活動】活動日数　284日 ・ハンズオン展示「さわって！発見！仏像の木」の実施　　284日 ・ハンズオン展示「ほとけさまにふれよう！」の実施　37日、3,364人 ・『仏像＆ならはくミニクイズ』の配布、クイズの答え合わせの対応　22,093枚 ・創作ワークショップ「ならはく5・7・5をつくろう！」の対応　2,094件 ・『今日会える仏像』シートの配布枚数　35,551枚 【とくべつワークショップの活動】 ・とくべつワークショップ「ほとけさまに服を着せよう！」の実施　13回、見学者数：1,273人、着つけ体験参加者数：1,083人 ・とくべつワークショップ「絵巻物をみて！きいて！さわろう！」の実施　12回、絵巻芝居の見学者数：1,570人、絵巻レプリカに触れる体験の参加者数：828人 【庭園・茶室の定点ガイド活動】 ・4月　2回、庭園入場者数：1,694人 ・5月　2回、庭園入場者数：793人 ・10月 2回、庭園入場者数：923人 ・11月 2回、庭園入場者数：998人 ・12月 1回、庭園入場者数：359人 ・3月　2回、庭園入場者数：12,085人 【わくわくびじゅつギャラリー「フシギ！日本の神さまのびじゅつ」のワークショップ活動】活動日数　40日 ・ワークシート「クイズではっけん！神さまのびじゅつのハテナ」配布枚数　36,352枚 ・ワークショップ「体験！お面をつくってポーズをとろう！」体験者数　1,326人 【講座のサポート活動】 ・サンデートーク　12回 ・特別展等の講座　9回 ・夏季講座　1回（5講座） 【その他サポート活動】 ・ワークショップ「体験！お面をつくってポーズをとろう！」の工作キット作成　5回 ・「今日会える仏像」シート組み作業　6回 【各種練習の実施】 ・仏像館デスク活動の練習　2回 ・学校プログラム ならはく「世界遺産学習」の練習　2回 ・学校オンライン中継授業等の実施準備のための練習　2回 ・奈良市教育委員会共催事業　みんなで学ぼう！奈良博ワクワク講座「仏像っておもしろい！」の練習　2回 ・とくべつワークショップ「絵巻物をみて！きいて！さわろう！」の練習　12回

【ボランティアに対する研修の実施】活動・展示等に関する研修（動画配信形式も含む）計25回

【九州国立博物館】　計214人

種　別　(登録人数)	概　　要
展示解説ボランティア(47人)	文化交流展示室内及び展示室入口において来館者の質問や案内依頼等に対応。 予約団体(一般・学校)、当日受付(個人・グループ)に対応。
教育普及ボランティア(26人)	体験型展示室「あじっぱ」で来館者への対応。参加体験型のものづくり教室などを企画・実施。 来館者と展示物を介して交流し、体験を通してアジアの文化を伝える。
館内案内日本語ボランティア(29人)	館内の施設案内(ガイド)およびバックヤードツアーの案内。 予約団体(一般・学校)、及び当日来館者に対応。 バックヤードツアーは毎週火・金曜は予約団体のみ、日曜は当日受付で実施。
館内案内外国語ボランティア(36人)	英語・韓国語・中国語での施設案内(ガイド)及びバックヤードツアーの案内。
環境ボランティア(26人)	IPM(総合的有害生物管理)活動に関する支援。
資料整理ボランティア(8人)	郷土人形(土人形)の調書の作成・データ化。 体験型展示室「あじっぱ」内での郷土人形の展示。
イベント・サポートボランティア (7人)	ボランティア主催イベントや他館ボランティアとの交流の企画・立案・実施。 ボランティア広報紙の作成（年4回）。
学生ボランティア(5人)	高校生・大学生による子供向けイベントの企画・実施。 他館学生ボランティアとの連携。
フィールドボランティア（14人）	博物館周辺の自然環境（山林及び水辺、遊歩道）の保全。
館内案内手話ボランティア（16人）	聴覚障がいのある来館者の対応。

【ボランティアに対する研修の実施】　計34回
- ・環境研修　　3回
- ・展示案内研修　20回
- ・館内案内研修　1回
- ・館外研修　　6回
- ・新規ボランティア事前研修 4回

・この他博物館周辺の環境整備グループとして35人が活動（NPO法人「九州国立博物館を愛する会」所属のためボランティアには含まない）。

【奈良文化財研究所】　計108人

種　別　(登録人数)	概　　要
解説ボランティア（108人）	平城宮跡資料館、遺構展示館、復原建物等の案内・解説

【ボランティアに対する研修の実施】　計7回
- 平城宮跡資料館企画展・特別展の展示研修　3回
- 奈文研研究調査成果研修　3回
- 奈良文化財研究所との交流会　1回

c 調査研究

c-① 研究交流実績一覧

1) 海外研究者招聘・受入実績（延べ人数）

令和7年3月31日現在

国立文化財機構合計	博物館計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	皇居三の丸尚蔵館
	61 人	24 人	10 人	7 人	2 人	18 人
198 人	文化財研究所計	東京文化財研究所		奈良文化財研究所		
	87 人	26 人		61 人		
	アジア太平洋無形文化遺産研究センター	本部文化財活用センター		本部文化財防災センター		
	40 人	0 人		10 人		

【本部文化財活用センター】　0人

【本部文化財防災センター】　10人

	氏名	国・地域名	所属機関・職名	用務	期間
1		トルコ	トルコ共和国文化観光省文化遺産博物館総局　博物館部門長	トルコにおける文化遺産防災体制向上のための拠点交流事業による招聘	1月24日～2月3日
2		トルコ	ガズィアンテプ修復保存総局地域研究所　研究員	トルコにおける文化遺産防災体制向上のための拠点交流事業による招聘	1月24日～2月3日
3		トルコ	イズミル修復保存総局地域研究所　研究員	トルコにおける文化遺産防災体制向上のための拠点交流事業による招聘	1月24日～2月3日
4		トルコ	カハラマンマラシュ博物館　館長	トルコにおける文化遺産防災体制向上のための拠点交流事業による招聘	1月24日～2月3日
5		トルコ	ハタイ博物館　館長	トルコにおける文化遺産防災体制向上のための拠点交流事業による招聘	1月24日～2月3日
6		トルコ	アドゥヤマン博物館　館長	トルコにおける文化遺産防災体制向上のための拠点交流事業による招聘	1月24日～2月3日
7		トルコ	シャンルウルファ博物館　館長	トルコにおける文化遺産防災体制向上のための拠点交流事業による招聘	1月24日～2月3日
8		トルコ	ガズィアンテプ博物館　館長	トルコにおける文化遺産防災体制向上のための拠点交流事業による招聘	1月24日～2月3日
9		トルコ	マラティヤ博物館　館長	トルコにおける文化遺産防災体制向上のための拠点交流事業による招聘	1月24日～2月3日
10		トルコ	エルビスタン市博物館　館長	トルコにおける文化遺産防災体制向上のための拠点交流事業による招聘	1月24日～2月3日

【東京国立博物館】　24人

	氏名	国・地域名	所属機関・職名	用務	期間
1	曹　蓉	中国	上海博物館書画研究部副研究館員	「利栄森交流計画」による研究交流のため	6月9日～12月11日
2	陳　莉	中国	国家博物館副館長	表敬訪問	7月10日
3	王　志強	中国	国家博物館収蔵品保管部主任　研究館員	同上	同上
4	趙　永	中国	国家博物館陳列工作部主任	同上	同上
5	金　燕	中国	国家博物館国際連絡部国際合作室主任	同上	同上
6	金　珍京	韓国	国立中央博物館デジタル博物館課学芸員	韓国国立中央博物館との学術交流のため	8月25日～9月7日
7	徐　琳	中国	故宮博物院器物部研究員	「太和学者プログラム」による研究交流のため	9月12日～11月12日
8	冀　洛源	中国	故宮博物院器物部陶磁組副課長	故宮博物院での特別展「儒家文化特別展」に係る貸与作品借用及び点検作業のため	9月16日～9月20日
9	傅　夢翔	中国	故宮博物院文物管理処　館員	同上	同上
10	斉　玥	中国	故宮博物院国際交流処　館員	同上	同上
11	Geneva Griswold	アメリカ	シアトル美術館	特別展「はにわ」に係る作品輸送及び点検作業のため	10月1日～10月8日
12	Aron Rio	アメリカ	シアトル美術館	特別展「はにわ」内覧会出席のため	10月13日～10月15日
13	林　恵憬	韓国	国立中央博物館学芸研究室考古歴史部学芸員	韓国国立中央博物館との学術交流のため	10月7日～10月19日
14	Lauren Barach	アメリカ	シアトル美術館	特別展「はにわ」撤収作業のため	12月3日～12月10日
15	Laura Mina	アメリカ	スミソニアン機構国立アフリカ系アメリカ人歴史文化博物館	東京国立博物館での保存修復に係るワークショップ講師のため	12月7日～12月21日

	氏名	国・地域名	所属機関・職名	用務	期間
16	Geneva Griswold	アメリカ	シアトル美術館	特別展「はにわ」に係る撤収及び輸送作業のため	7年1月10日～1月19日
17	孫　峰	中国	上海博物館文化交流弁公室　研究館員	上海博物館との学術交流のため	7年1月13日～1月26日
18	達　微佳	中国	故宮博物院器物部　副主任	故宮博物院での特別展「儒家文化特別展」に係る貸与作品返却及び点検作業のため	7年1月14日～1月18日
19	董　勃	中国	故宮博物院文物管理処　副課長	同上	同上
20	王　絲瀅	中国	故宮博物院国際交流処　秘書	同上	同上
21	馮 澤洲	中国	上海博物館陶磁研究部副研究館員	上海博物館との学術交流のため	7年3月2日～15日
22	Ahu Antmen	トルコ	サバンジュ美術館館長	東京国立博物館での講演会実施のため	7年3月18日～24日
23	Ayşe Aldemir	トルコ	サバンジュ美術館書跡部門責任者	同上	同上
24	Hüma Arslaner	トルコ	サバンジュ美術館絵画部門責任者	同上	同上

【京都国立博物館】　10人

	氏名	国・地域名	所属機関・職名	用務	期間
1	Perry, Jennifer	米国	メトロポリタン美術館　日本絵画修復長	文化財に安全な材料の確認や展示環境について情報交換	5月13日
2	Yamazaki, Masanobu	米国	メトロポリタン美術館　日本絵画修復主任	同上	同上
3	Breitung、Eric	米国	メトロポリタン美術館　保存科学主任研究員	同上	同上
4	魯禔件玹	韓国	国立扶餘博物館学芸研究士	展示室と収蔵庫の環境管理ならびに防災について情報交換のため	5月30日
5	權胤美	韓国	国立公州博物館保存科学研究士	同上	同上
6	Morishima, Yuki	米国	サンフランシスコ・アジア美術館　主任研究員	日本絵画の修復について情報交換	10月10日
7	Sasaki, Shiho	米国	サンフランシスコ・アジア美術館　主任研究員　絵画修復主任	日本絵画の修復について情報交換	同上
8	Kim Jiae	韓国	京畿道子供博物館学芸研究士	博物館教育について意見交換のため	10月31日
9	Kim Su-seong	韓国	京畿道子供博物館教育研究士	同上	同上
10	Cho Eun-jung	韓国	京畿道子供博物館管理部	同上	同上

【奈良国立博物館】　7人

	氏名	国・地域名	所属機関・職名	用務	期間
1	咸 舜燮	韓国	国立慶州博物館　館長	正倉院展視察並びに当館職員との意見交換のため	10月24日～10月26日
2	任 益均	韓国	国立慶州博物館　学芸研究士	同上	同上
3	リピット ユキオ	アメリカ	ハーバード大学　教授	正倉院学術シンポジウム特別講演のため	10月25日～10月27日
4	朴 娥延	韓国	国立慶州博物館　学芸研究士	学術交流に基づく招へいのため	11月6日～12月4日
5	夏 蓓蓓	中国	図書館主任、副研究館員	学術交流に基づく招へいのため	2月17日～2月26日
6	蔡 敏	中国	管理弁公室主任	学術交流に基づく招へいのため	2月17日～2月26日
7	李 华	中国	开放部主任	学術交流に基づく招へいのため	2月17日～2月26日

【九州国立博物館】　2人

	氏名	国・地域名	所属機関・職名	用務	期間
1	權胤美	韓国	国立公州博物館　学芸研究士	学術文化交流協定に基づく人的交流事業(視察・調査)	5月20日～6月1日
2	魯禔玹	韓国	国立扶餘博物館　学芸研究士	同上	同上

【皇居三の丸尚蔵館】　18人

	氏名	国・地域名	所属機関・職名	用務	期間
1	Sophie Richard	フランス	ー	視察・意見交換のため	5月10日
2	Sophie Richard	フランス	ー	視察・意見交換のため	5月27日
3	Miyuki Aoki Girardelli	トルコ	イスタンブール工科大学	視察・収蔵品に関連する調査のため	6月6日
4	John Szostak	アメリカ合衆国	ハワイ大学	収蔵品に関連する調査のため	6月14日
5	全 寅泫	韓国	韓国国立中央博物館	研究交流に関する意見交換のため	6月21日
6	李 源珍	韓国	韓国国立中央博物館	研究交流に関する意見交換のため	6月21日
7	Rania Putri	インドネシア	イェール大学美術館	調査研究のため	6月27日
8	尹 泰程	韓国	国立古宮博物館　企画運営次長	視察・意見交換のため	9月25日
9	金 志洪	韓国	国立古宮博物館	視察・意見交換のため	9月25日
10	鄭 湘憲	韓国	国立古宮博物館	視察・意見交換のため	9月25日
11	Samuel C. Morse	アメリカ合衆国	アマースト大学名誉教授	視察・意見交換のため	10月16日
12	Anne Morse	アメリカ合衆国	ボストン美術館	視察・意見交換のため	10月16日
13	Bradley Bailey	アメリカ合衆国	ヒューストン美術館	視察・意見交換のため	12月10日
14	山崎(クレップス)晶子	アメリカ合衆国	スミソニアン国立デザイン博物館	視察・意見交換のため	12月25日
15	Clement Onn	シンガポール	アジア文明博物館　館長	視察・意見交換のため	7年1月17日
16	Charlotte Chow	シンガポール	アジア文明博物館　収蔵品管理部長	視察・意見交換のため	7年1月17日
17	Samuel C. Morse	アメリカ合衆国	アマースト大学名誉教授	視察・意見交換のため	7年3月28日
18	Anne Morse	アメリカ合衆国	ボストン美術館	視察・意見交換のため	7年3月28日

【東京文化財研究所】　26人

※部分について…各国の個人情報保護に関する法律等により氏名は非公開とする。

	氏名	国・地域名	所属機関・職名	用務	期間
1	ヴェズ　サンドラ	スイス	マルタン・ボドメール財団・保存修復室長	ICCROM国際研修「紙の保存と修復」2024の受講	8月24日～9月15日
2	バチャシャン　リリット	アルメニア	マテナダラン古文書・上級保存修復士	ICCROM国際研修「紙の保存と修復」2024の受講	8月24日～9月15日
3	ハシモト ラウラ・レベッカ	カナダ	カナダ国立図書館・文書館・上級紙文化財保存修復士	ICCROM国際研修「紙の保存と修復」2024の受講	8月24日～9月14日
4	ヒルコート・イマニシアンナ	ドイツ	ケルン東洋美術館・保存修復士	ICCROM国際研修「紙の保存と修復」2024の受講	8月24日～9月15日
5	デリア　フェデリカ	イタリア	ローマ美術院・ 教授（紙保存）	ICCROM国際研修「紙の保存と修復」2024の受講	8月24日～9月15日
6	ミフスド　ブリッファシャネル	マルタ	ノタリアル文書財団・保存修復研究室長	ICCROM国際研修「紙の保存と修復」2024の受講	8月24日～9月14日
7	カッリーリョ・カブレラ　メリッサ	メキシコ	国家最高司法裁判所・技官・紙保存修復士	ICCROM国際研修「紙の保存と修復」2024の受講	8月24日～9月14日
8	ネデロフ　アレクサンドラ	オランダ	オランダ国立文書館・紙保存修復士	ICCROM国際研修「紙の保存と修復」2024の受講	8月24日～9月14日
11	ハンター・ジョンソン アマンダ	アメリカ	サンフランシスコ近代美術館・紙文化財保存修復士	ICCROM国際研修「紙の保存と修復」2024の受講	8月24日～9月14日
12	キルビー　サリー	イギリス	保存修復士(書籍・紙)・ケンブリッジ大学図書館	ICCROM国際研修「紙の保存と修復」2024の受講	8月24日～9月14日
13	アヌラック・プラパヴァディー	タイ	ワット・ラーチャプラディット・住職補佐、ワット・ラーチャプラディット サティマハシマラム修理事業事務所秘書	ワット・ラーチャプラディット漆扉部材に用いられた材料に関する共同研究	6月6日～6月14日
14	プラヴァチラダムメディ・テッペンボディラック	タイ	ワット・ラーチャプラディット・住職補佐、ワット・ラーチャプラディット サティマハシマラム修理事業事務所長	ワット・ラーチャプラディット漆扉部材に用いられた材料に関する共同研究	6月6日～6月14日
13	ザカリヤ・アッバス・ラディ・アハメド	バーレーン	バーレーン文化古物局・上級コンピューター・システム・アナリスト	文化遺産の３Dデジタル・ドキュメンテーションに関するワークショップ及びスタディー・ツアーの受講	10月19日～11月1日
14	マーシャル・ワリード・ムバラク・アルシャムス	バーレーン	バーレーン文化古物局・考古学者	文化遺産の３Dデジタル・ドキュメンテーションに関するワークショップ及びスタディー・ツアーの受講	10月19日～11月1日

	氏名	国・地域名	所属機関・職名	用務	期間
15	イマーン・モハメド・アリ・アリ・フウェイダ	バーレーン	バーレーン文化古物局・保存修復技術者	文化遺産の３Dデジタル・ドキュメンテーションに関するワークショップ及びスタディー・ツアーの受講	10月19日～11月1日
16	ハッサン・J.A.R. アシュカナニ	クウェート	クウェート大学・准教授	文化遺産の３Dデジタル・ドキュメンテーションに関するワークショップ及びスタディー・ツアーの受講	10月19日～11月1日
17	ファティマ・マンスール・ファディール・アルダイフ・アルタミーム	アラブ首長国連邦	ザイード国立博物館・職員	文化遺産の３Dデジタル・ドキュメンテーションに関するワークショップ及びスタディー・ツアーの受講	10月19日～11月1日
18	モハメド・アハメド・モハメド・ソリーマン	エジプト	観光考古省　イスラーム考古研究センター・上級考古学者	文化遺産の３Dデジタル・ドキュメンテーションに関するワークショップ及びスタディー・ツアーの受講	10月19日～11月1日
19	ラガド・サファル・アルカタニ	サウジアラビア	サウジアラビア文化省・遺産委員会・考古記録専門員補佐	文化遺産の３Dデジタル・ドキュメンテーションに関するワークショップ及びスタディー・ツアーの受講	10月19日～11月1日
20	ハジール・アハメド・サリム・アンブ・アリ	オマーン	オマーン国立博物館・保存修復師	文化遺産の３Dデジタル・ドキュメンテーションに関するワークショップ及びスタディー・ツアーの受講	10月19日～11月1日
21	ジョージ・アブング	ケニア	オケロ アブング ヘリテージコンサルタント・代表／元ケニア国立博物館・館長	文化遺産国際協力コンソーシアム第35回研究会及び令和6年度シンポジウム登壇	11月24日～12月3日
22	呂　舟	中国	清華大学国家遺産センター・所長	文化遺産国際協力コンソーシアム第35回研究会及び令和6年度シンポジウム登壇	11月24日～12月3日
23	ベンジャミン・ムートン	フランス	ノートルダム大聖堂修復主任建築家・歴史的記念物主任建築家	文化遺産国際協力コンソーシアム第35回研究会及び令和6年度シンポジウム登壇	11月24日～12月3日
24	ダニエラ・マリア・マーフィ	イタリア	フィレンツェ・バスティオーニ協会・理事長	鑓絵蔵の保存修復	9月25日～10月17日
25	ステファーニア・フランチェスキーニ	イタリア	フィレンツェ・バスティオーニ協会・保存修復士	鑓絵蔵の保存修復	9月25日～10月17日
26	シモーナ・カレッチャ	イタリア	フィレンツェ・バスティオーニ協会・保存修復士	鑓絵蔵の保存修復	9月25日～10月17日

【奈良文化財研究所】　61人

※部分について…各国の個人情報保護に関する法律等により氏名は非公開とする。

	氏名	国・地域名	所属機関・職名	用務	期間
1	※	オーストラリア	フリンダース大学	第２７回国際遺跡研究セミナー	5月31日
2	※	ブラジル	サンパウロ大学	研究打合せ	6月3日
3	※	中国	中国科学院自然科学史研究所	国際シンポジウム「東アジア冶金史学の開拓」での発表、ならびに科学研究費（基盤研究（B））「土製鋳型を中心とした冶金関連資料による東アジア冶金史学の構築」にかんする共同研究	6月7日～6月12日
4	※	中国	北京大学芸術学院	国際シンポジウム「東アジア冶金史学の開拓」での発表、ならびに科学研究費（基盤研究（B））「土製鋳型を中心とした冶金関連資料による東アジア冶金史学の構築」にかんする共同研究	6月7日～6月12日
5	※	中国	上海大学大学院	奈良文化財研究所での研究活動の視察のため	6月16日～6月20日
6	※	中国	復旦大学文物与博物館学系 8名	東アジアにおける土器・陶磁器に関する調査・研究	6月17日～6月22日
7	※	イスラエル	ネゲヴ・ベン - グリオン大学中東研究学科　2名	科研費（基盤研究C)による学術交流　共同研究のフォローアップ・次期プロジェクトの計画・出土土器データベース開発の継続・成果出版物の準備・次期発掘の調査方法論と目的の議論	6月23日～7月13日
8	※	韓国	国立慶州文化財研究所	発掘調査交流合意書に基づき、古代文化関連遺跡の共同発掘調査を実施	7月1日～8月9日
9	※	韓国	公州大学校　8名	平城宮跡の復元図作成に関する情報提供および宮跡の案内（公山城復元図作成にかかる調査の一環として実施する）	7月25日
10	※	不明	ACCU	集団研修	8月26日～9月10日
11	※	フランス	フランス大使館科学技術部　2名	施設見学	9月11日
12	※	韓国	韓国国立文化遺産研究院　2名	日韓共同研究（都城）に係る学術交流	9月30日～10月4日
13	※	韓国	韓国国立文化遺産研究院　2名	日韓共同研究（瓦）に係る学術交流	10月21日～10月25日
14	※	中国	中国文化遺産研究院　4名	中国文化遺産の保存修復に関する学術交流	10月14日～10月18日
15	※	ウズベキスタン共和国	サマルカンド考古学研究所　2名	拠点交流ウズベキスタン招聘研修	10月17日～10月26日
16	※	ウズベキスタン共和国	ウズベキスタン科学アカデミー国立考古学センター　3名	拠点交流ウズベキスタン招聘研修	10月17日～10月26日
17	※	ウズベキスタン共和国	サマルカンド国立大学	拠点交流ウズベキスタン招聘研修	10月17日～10月26日
18	※	カザフスタン共和国	マルグラン考古学研究所	拠点交流ウズベキスタン招聘研修	10月17日～10月26日

	氏名	国・地域名	所属機関・職名	用務	期間
19	※	アメリカ合衆国	アーカンソー大学	ウズベキスタン拠点交流事業	10月20日
20	※	中国		中央アジア陶磁器研究に関する交流	10月21日～10月26日
21	※	キルギス	国立歴史博物館	文化遺産保護に関する学術交流（龍谷大学・帝京大学による招へい）	10月30日
22	※	韓国	国立伽耶文化財研究所	見学	10月30日
23	※	韓国	韓国国立文化遺産研究院　3名	日韓共同研究（和紙製作過程の視察）に係る学術交流	11月11日～11月15日
24	※	中国	中国人専門家	二国間交流事業（早稲田大学）による受入	11月28日
25	※	韓国	国家遺産庁 国立文化遺産研究院国立伽倻文化遺産研究所	2024年度国外短期教育申請 公務国外短期訓練「日本の歴史文化環境の整備・復元事例に関する研究」	12月25日～7年6月18日
26	※	ウクライナ	ウクライナ国立科学アカデミー考古学研究所　5名	令和6年度緊急的文化遺産保護国際貢献事業「ウクライナ戦争被災文化遺産の保護のための専門家交流事業」の一環として、奈良文化財研究所が実施する戦災文化遺産保護に関するセミナーに参加するため。	7年1月15日～7年1月23日
27	※	ウクライナ	ウクライナ国立科学アカデミー　クルピアケヴィチ研究所	2024年度三菱財団人文科学助成研究（代表者：庄田慎矢）の一環として、奈良文化財研究所で共同研究を行うため、また、奈良文化財研究所が実施する戦災文化遺産保護に関するセミナーに参加するため。	7年1月18日～7年1月27日
28	※	スペイン	バスク・クリナリーセンター	インターン受入	7年1月6日～3月7日
29	※	韓国	韓国国立文化遺産研究院　3名	日韓共同研究（古墳）に係る学術交流	7年3月10日～3月14日

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】　40人

	氏名	国・地域名	所属機関・職名	用務	期間
1	Im SOKRITHY	カンボジア	Director, Department of Research Training and Communication, APSARA National Authority,Cambodhia	「無形文化遺産の持続可能な開発への貢献に関する調査研究―持続可能なまちづくりと無形文化遺産」事業国際シンポジウム「無形文化遺産と持続可能なまちづくり―アジア太平洋地域における文化遺産の統合的保護の視点」への出席	10月8日～15日
2	ANG Ming CHEE	マレーシア	General Manager, George Town World Heritage Incorporated, Malaysia	「無形文化遺産の持続可能な開発への貢献に関する調査研究―持続可能なまちづくりと無形文化遺産」事業国際シンポジウム「無形文化遺産と持続可能なまちづくり―アジア太平洋地域における文化遺産の統合的保護の視点」への出席	10月9日～14日
3	TING Siew JING	マレーシア	Built Environment and Monitoring Officer, George Town World Cultural Heritage Incorporated, Malaysia	「無形文化遺産の持続可能な開発への貢献に関する調査研究―持続可能なまちづくりと無形文化遺産」事業国際シンポジウム「無形文化遺産と持続可能なまちづくり―アジア太平洋地域における文化遺産の統合的保護の視点」への出席	10月8日～14日
4	Alson KELEN	マーシャル諸島	Director, Waan Aelõñ in Marshall Islands	「無形文化遺産の持続可能な開発への貢献に関する調査研究―持続可能なまちづくりと無形文化遺産」事業国際シンポジウム「無形文化遺産と持続可能なまちづくり―アジア太平洋地域における文化遺産の統合的保護の視点」への出席	10月8日～13日
5	Ananya BHATTACHARYA	インド	Director, Banglanatak dot com,India	「無形文化遺産の持続可能な開発への貢献に関する調査研究―持続可能なまちづくりと無形文化遺産」事業国際シンポジウム「無形文化遺産と持続可能なまちづくり―アジア太平洋地域における文化遺産の統合的保護の視点」への出席	10月9日～14日
6	Zhyldyz DOOLBEKOVA	キルギス	Lead Researcher, Taalim Forum Public Foundation,Kyrgyzstan	「無形文化遺産の持続可能な開発への貢献に関する調査研究―持続可能なまちづくりと無形文化遺産」事業国際シンポジウム「無形文化遺産と持続可能なまちづくり―アジア太平洋地域における文化遺産の統合的保護の視点」への出席	10月9日～15日
7	CHOI Milee	韓国	ICHCAP,South Korea	「無形文化遺産の持続可能な開発への貢献に関する調査研究―持続可能なまちづくりと無形文化遺産」事業国際シンポジウム「無形文化遺産と持続可能なまちづくり―アジア太平洋地域における文化遺産の統合的保護の視点」への出席	10月10日～13日
8	LEE Sailom	韓国	ICHCAP,South Korea	「無形文化遺産の持続可能な開発への貢献に関する調査研究―持続可能なまちづくりと無形文化遺産」事業国際シンポジウム「無形文化遺産と持続可能なまちづくり―アジア太平洋地域における文化遺産の統合的保護の視点」への出席	10月10日～13日
9	Anudei ERDENEBAT	モンゴル	IISNC (International Institute for the Study of Nomadic Civilizations under the auspices of UNESCO)・External Relations and Cooperation Unit/Academic Deputy Secretary, Mongolia	「無形文化遺産の持続可能な開発への貢献に関する調査研究―持続可能なまちづくりと無形文化遺産」事業国際シンポジウム「無形文化遺産と持続可能なまちづくり―アジア太平洋地域における文化遺産の統合的保護の視点」への出席及びIRCI訪問	10月10日～18日
10	Michelle STEFANO	アメリカ	Folklife Specialist, Research and Programs, American Folklife Center, Library of Congress	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月10日～20日

	氏名	国・地域名	所属機関・職名	用務	期間
11	Harriet DEACON	イギリス	Lecturer, Centre of Excellence for Data Science, Artificial Intelligence and Modelling (DAIM) & Research associate, Wilberforce Institute, University of Hull	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月10日～16日
12	OHINATA Fumiko	フランス	Secretary of the 2003 Convention for the Safeguarding of the Intangible Cultural Heritage & Chief of Entity, Living Heritage, Culture Sector, UNESCO	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月12日～19日
13	Chris BALLARD	オーストラリア	Associate Professor, School of Culture, History & Language, ANU	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月9日～17日
14	Hanafi HUSSIN	マレーシア	Honorary Professor, University Malaya	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月12日～17日
15	Tarisi VUNIDILO	ニュージーランド	Assistant Professor California State University, LA	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月12日～17日
16	Tim KONG	ニュージーランド	Digital Experience, National Library of New Zealand	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月11日～16日
17	Akhmedova MEHRINIGOR	ウズベキスタン	Associate professor, Bukhara State University, Uzbekistan	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月12日～16日
18	Sherine Al SHALLAH	オーストラリア	UNSW Sydney	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月11日～16日
19	CHENG Tak Chan	中国（マカオ）	Lecturer, Macao University of Tourism	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月12日～16日
20	Neel Kamal CHAPAGAIN	ネパール	Centre for Heritage Management, Ahmedabad University	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月12日～18日
21	Ayla DO VALE ALVES	ブラジル	University of South Australia	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月12日～16日
22	Robert Geoffrey LAZARUS	オーストラリア	University of Melbourne, Australia	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月10日～16日
23	Diogo MACHADO	ブラジル	UNSW Sydney	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月10日～16日
24	Monalisa MAHARJAN	ポルトガル	South Asia Institute (Heidelberg University)	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月12日～16日
25	Jaturong POKHARATSIRI	タイ	Lecturer, Faculty of Architecture, Chiang Mai University, Thailand	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月12日～16日
26	Saifur RASHID	バングラディシュ	Professor, Department of Anthropology	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月12日～16日
27	Mary Jane RODRIGUEZ	フィリピン	Department of Filipino and Philippine Literature, College of Arts and Letters University of the Philippines - Diliman	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月12日～18日
28	SAYMON ZAKARIA	バングラディシュ	Deputy Director, Bangla Academy	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月12日～16日
29	Dawood Shah TAREEN	パキスタン	Department of Culture and Tourism, Government of Balochistan, Pakistan	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月12日～18日
30	Carlos TATEL	フィリピン	Department of Anthropology, College of Social Sciences and Philosophy, University of the Philippines — Diliman	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月12日～18日
31	Benedetta UBERTAZZI	イタリア	Studio Ubertazzi and University of Milan-Bicocca	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月11日～16日
32	Janet BLAKE	イギリス	Associate Professor, Shahid Beheshti University	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月12日～16日
33	SHEN Ce	中国	CRIHAP	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月12日～16日
34	PARK Gyuri	韓国	ICHICAP	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月13日～16日
35	LEE Jehyun	韓国	ICHICAP	2024年度第1回フォーラム国際会議（2025年2月13日-15日開催）への出席	7年2月12日～16日
36	DUONG Thi Ha	ベトナム	Department of Anthropology and Archaeology, University of Bristol, UK	若手プログラムインフォーマルミーティングへの出席	7年2月10日～16日
37	Puji HASTUTI	インドネシア	Research Center for Population, National Research and Innovation Agency (BRIN)	若手プログラムインフォーマルミーティングへの出席	7年2月12日～16日
38	Kristina KOTZMANOVA	スロバキア	Universitas Kristen Satya Wacana, Salatiga, Indonesia	若手プログラムインフォーマルミーティングへの出席	7年2月12日～18日
39	Abner Omaging LAWANGEN	フィリピン	Provincial Government of Benguet	若手プログラムインフォーマルミーティングへの出席	7年2月12日～16日
40	Jyoti SHUKLA	インド	Independent Researcher	若手プログラムインフォーマルミーティングへの出席	7年2月12日～18日

2）他機関の共同研究への参画実績

科学研究費助成事業の研究分担者等として参画（延べ人数）

令和7年3月31日現在

国立文化財機構合計	博物館計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	皇居三の丸尚蔵館
	93 人	40人	16人	13人	20人	4人
195 人	文化財研究所計	東京文化財研究所		奈良文化財研究所		
	102 人	42人		60人		
	アジア太平洋無形文化遺産研究センター					
	0 人					

【東京国立博物館】延べ　40人

	機関名	研究課題	研究代表者名	分担者名
1.	一般社団法人照明学会（照明デザイン分科会）	照明デザインに関する研究調査	((株)トミタ・ライティングデザイン・オフィス 代表 富田泰行	学芸企画部上席研究員　木下史青
2.	大阪大学	光学的科学調査を軸とした初期洋風画とアジア太平洋海域美術交通に関する基盤的研究	教授　岡田 裕成	企画課特別展室主任研究員　福島修
3.	大阪工業大学	天文文化学の新展開：数理的手法の導入で文化史と科学論から自然観を捉える研究の加速	教授　松浦清	調査研究課工芸室主任研究員　清水健
4.	九州国立博物館	中国書画における題跋等の付属資料に関する総合的研究	館長　富田淳	調査研究課絵画・彫刻室主任研究員　植松瑞希
5.	九州国立博物館	中国書画における題跋等の付属資料に関する総合的研究	館長　富田淳	調査研究課東洋室研究員　六人部克典
6.	九州国立博物館	中国書画における題跋等の付属資料に関する総合的研究	館長　富田淳	客員研究員　鍋島稲子
7.	京都国立博物館	中世禅宗頂相のアーカイブに関する基礎的研究	主任研究員　森道彦	企画課海外展室主任研究員　高橋真作
8.	恵泉女学園大学	源氏文化ポータルを共有・活用した源氏絵の俯瞰的・創発的研究	教授　稲本 万里子	企画課特別展室主任研究員　福島修
9.	公益財団法人三島海雲記念財団	チンギス・ハーン博物館所蔵資料「モンゴル宮廷衣装」に関する学際的研究	関西学院大学名誉教授　河上繁樹	調査研究課長　小山弓弦葉
10.	国文学研究資料館	狩野派粉本を基軸とする画題の国際化のための基盤研究	教授　齋藤真麻理	博物館教育課教育講座室長　金井裕子
11.	国立歴史民俗博物館	秦漢時期の文字使用をめぐる学際的研究	東京学芸大学先端教育人材育成推進機構・准教授　下田誠	客員研究員　谷豊信
12.	国立歴史民俗博物館	機関拠点型基幹研究プロジェクト　日本歴史文化知の構築と歴史文化オープンサイエンス研究	准教授　後藤真	博物館情報課情報管理室長　阿児雄之
13.	国立歴史民俗博物館	展示プロジェクト「人をつなぐジャポニスム―野村正治郎着物コレクションの軌跡（仮称）」	准教授　澤田和人	調査研究課長　小山弓弦葉
14.	島根県芸術文化センター	益田家伝来品の伝来・伝世に関する文書の調査研究	主任学芸員　角野広海	調査研究課長　小山弓弦葉
15.	成城大学	東アジア及び東南アジアにおける木彫像の樹種と用材観に関する調査研究	教授　岩佐光晴	列品管理課登録室主任研究員　西木政統
16.	多摩美術大学	文化メディアとしての書籍研究―トレス・コレクションの目録化と解題作成、理解の促進	教授　木下 京子	企画課国際交流室アソシエイトフェロー　足立奈緒子
17.	千葉大学	土器製作技術と植物性混和材	教授　阿部昭典	保存科学課予測保存研究室専門職　宮田将寛
18.	中央大学	高精度年代体系による東アジア新石器文化過程ー地域文化の成立と相互関係ー	教授　小林謙一	保存科学課予測保存研究室専門職　宮田将寛
19.	筑波大学	恒久的保存に向けた災害被災資料の特性解明と保存環境の構築	教授　松井敏也	保存科学課長　和田浩
20.	天理大学	東地中海地域における鉄器時代の始まりと地域社会の変容	教授　桑原久男	博物館教育課ボランティア室長　小野塚拓造
21.	天理大学	後期青銅器時代における地中海東岸地域の都市国家と地域社会の考古学的研究	教授　桑原久男	博物館教育課ボランティア室長　小野塚拓造
22.	東京大学	基盤研究（A）　コンテキストに応じた人文科学データパッケージ化に関する研究	教授　山家浩樹	博物館情報課情報管理室長　阿児雄之
23.	東京大学	基盤研究（A）　「古文書科学」の応用実践	東京大学史料編纂所特任助教　渋谷綾子	博物館情報課情報管理室長　阿児雄之

	機関名	研究課題	研究代表者名	分担者名
24.	東京大学史料編纂所	幕末明治期古写真の調査とその解析・復元・保全を総合的に捉える写真史料学の構築	技術専門員　谷昭佳	企画課出版企画室主任研究員　遠藤楽子
25.	東京科学大学	近代建築発展の礎としての宮内省内匠寮の研究と設計史料の高度利用化	准教授　平賀あまな	企画課デザイン室長　矢野賀一
26.	東京藝術大学	美術史からみるドイツ・北欧と日本の皇室外交	教授　佐藤直樹	博物館教育課教育講座室主任研究員　横山梓
27.	東京文化財研究所	アジア螺鈿文化交流史の構築―物質文化史の視点から	研究員　小林公治	調査研究課工芸室長　猪熊兼樹
28.	奈良国立博物館	博物館が所蔵する古丁銀類の科学分析を通じた石州銀の解明	保存修理指導室長　鳥越俊行	調査研究課考古室長　井出浩正
29.	奈良国立博物館	博物館が所蔵する古丁銀類の科学分析を通じた石州銀の解明	保存修理指導室長　鳥越俊行	調査研究課工芸室主任研究員　清水健
30.	南山大学	芸術との対話を経た公共圏の形成過程に関する実証研究	外国語教育センター講師 佐々木陽子	博物館教育課教育講座室アソシエイトフェロー　山本　桃子
31.	新潟国際情報大学	型式学とAIを融合したデータ駆動型研究基盤への挑戦	教授　藤田晴啓	調査研究課考古室研究員　山本亮
32.	新潟国際情報大学	須恵器3D-RGBデータの深層学習クラスター解析による型式・年代分類基準の検証	教授　藤田晴啓	調査研究課考古室研究員　山本亮
33.	新潟国際情報大学・新潟県立歴史博物館	型式学とAIを融合したデータ駆動型研究基盤への挑戦	新潟国際情報大学教授　藤田晴啓	調査研究課考古室研究員　山本亮
34.	新潟国際情報大学・新潟県立歴史博物館	須恵器3D-RGBデータの深層学習クラスター解析による型式・年代分類基準の検証	新潟国際情報大学教授　藤田晴啓	調査研究課考古室研究員　山本亮
35.	花園大学	中近世律宗系寺院における宋仏教の受容と継承に関する総合的研究	准教授　西谷功	企画課海外展室主任研究員　高橋真作
36.	花園大学	中近世律宗系寺院における宋仏教の受容と継承に関する総合的研究	准教授　西谷功	企画課特別展室研究員　増田政史
37.	花園大学	中近世律宗系寺院における宋仏教の受容と継承に関する総合的研究	准教授　西谷功	調査研究課工芸室長　猪熊兼樹
38.	花園大学	中近世律宗系寺院における宋仏教の受容と継承に関する総合的研究	准教授　西谷功	列品管理課登録室長　瀬谷愛
39.	武蔵野大学	東南アジア古代宗教世界における「コトバとモノの関係史」への地域横断的アプローチ	准教授　佐藤桂	企画課長　原田あゆみ
40.	横浜美術大学	日本所在の中国木彫仏像の調査研究	教授　濱田 瑞美	保存科学課保存修復室長　児島 大輔

【京都国立博物館】延べ　16人

	機関名	研究課題	研究代表者名	分担者名
1	東京文化財研究所	アジア螺鈿文化交流史の構築―物質文化史の視点から	室長　小林公治	学芸部列品管理室主任研究員　末兼俊彦
2	国際仏教学大学院大学・仏教学研究科・教授	「奈良朝勅定一切経」の総合的研究一漢文仏教テクストの資料的基盤の再構築に向けて	教授　落合俊典	学芸部保存修理指導室主任研究員　上杉智英
3	京都大学	五台山仏教文化圏における文物の生成・継承・波及	教授　稲本泰生	学芸部教育室長　大原嘉豊
4	京都大学	五台山仏教文化圏における文物の生成・継承・波及	教授　稲本泰生	学芸部企画室主任研究員　井並林太郎
5	東京国立博物館	日本染織文化資源の再発見とその活用に資する基盤研究	調査研究課長　小山弓弦葉	学芸部調査・国際連携室主任専門職　リンネ・マリサ
6	奈良文化財研究所	古代都城から出土する製塩土器の生産地推定	室長　神野恵	学芸部長 兼 工芸室長　尾野善裕
7	奈良文化財研究所	蛍光X線分析と鉱物組成分析による大和の古代寺院・宮都出土瓦の生産・供給体制の研究	部長　清野孝之	学芸部上席研究員 兼 保存科学室長　降幡順子
8	国際仏教学大学院大学	日本現存宋版大蔵経の基礎的研究とその受容・展開に関する総合的な研究	研究員　牧野和夫	学芸部保存修理指導室主任研究員　上杉智英
9	三重大学	日本古代の都市造営をめぐる土木技術史的研究	特任教授　小澤毅	学芸部考古室長　石田由紀子
10	奈良県立橿原考古学研究所	三次元デジタル・アーカイブを活用した鋳造実験からみた青銅器製作技術の総合的研究	課長　水野敏典	学芸部考古室研究員　古谷毅
11	東京大学	中世絵師組織の社会的活動基盤と様式系統の相関―十四世紀の縁起・絵伝を結節点として	教授　高岸輝	学芸部企画室主任研究員　井並林太郎

	機関名	研究課題	研究代表者名	分担者名
12	東京国立博物館	伝来情報の分析による絵巻を中心とした古代・中世やまと絵の復原的研究	室長　土屋貴裕	学芸部企画室主任研究員　井並林太郎
13	東京国立博物館	仏教儀礼的観点に基づく明兆作品の総合的研究	研究員　高橋真作	学芸部列品管理室主任研究員　森道彦
14	富山大学	承久の乱を中心とした史料原本の基礎研究による中世前期公武関係論の基盤構築	講師　長村祥知	学芸部列品管理室主任研究員　末兼俊彦
15	奈良文化財研究所	令制施行時の土器・陶器調納制と都城・宮都出土土器の基礎的研究	室長　森川実	学芸部上席研究員 兼 保存科学室長　降幡順子
16	早稲田大学	金剛寺米蔵聖教の調査と摩尼院聖教の分析による日本中世の知の蓄積と継承に関する研究	教授　海野圭介	学芸部保存修理指導室主任研究員　上杉智英

【奈良国立博物館】延べ　13人

	機関名	研究課題	研究代表者名	分担者名
1	九州大学	唐絵の中の朝鮮絵画ー半島由来絵画の越境移動と受容史にかんする包括的研究ー	教授　井手誠之輔	企画室長　谷口耕生
2	同上	同上	同上	情報サービス室長　北澤菜月
3	北九州市立自然史・歴史博物館	藕糸織の基礎的研究ー非破壊調査による藕糸織の再検討を中心にー	学芸員　富岡優子	情報サービス室長　北澤菜月
4	京都大学	五台山仏教文化圏における文物の生成・継承・波及	教授　稲本泰生	企画室長　谷口　耕生
5	多摩美術大学	在米の仏像と仏具およびアーカイブ調査―寺宝流出と古美術商、収集家の関係とその実態	教授　木下京子	企画室主任研究員　山口隆介
6	同上	同上	同上	工芸考古室主任研究員　三本周作
7	東京国立博物館	仏教儀礼的観点に基づく明兆作品の総合的研究	学芸企画部企画課特別展室 研究員　高橋真作	上席研究員　荒木臣紀
8	東京国立博物館	能狂言面の制作年代および作者に関する総合的研究	副館長　浅見龍介	工芸考古室主任研究員　三田覚之
9	京都府立大学	古墳・副葬品の多角的検討にもとづく日本列島初期仏教受容史の再構築	准教授　諫早直人	工芸考古室主任研究員　三田覚之
10	東京文化財研究所	シミ科未記載種の国内分布の実態調査と生態学的特徴に基づく防除方法の検討	保存科学研究センター　アソシエイトフェロー　島田潤	保存修理指導室　アソシエイトフェロー　小峰幸夫
11	東京文化財研究所	アジア螺鈿文化交流史の構築―物質文化史の視点から	特任研究員　小林公治	保存修理指導室長　鳥越俊行
12	千葉大学	土器製作技術と植物性混和材	教授　阿部昭典	保存修理指導室長　鳥越俊行
13	中央大学	高精度年代体系による東アジア新石器文化過程ー地域文化の成立と相互関係ー	教授　小林謙一	保存修理指導室長　鳥越俊行

【九州国立博物館】延べ　20人

	機関名	研究課題	研究代表者名	分担者名
1	大阪大学	光学的科学調査を軸とした初期洋風画とアジア太平洋海域美術交通に関する基礎的研究	人文学研究科教授　岡田裕成	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史
2	同上	同上	同上	本部文化財防災センター研究員 （併）九州国立博物館学芸部博物館科学課館環境保全室 和泉田絢子
3	九州大学	作品誌の観点による半島由来仏教文物の包括的研究―彫刻・絵画・写経を中心に―	人文科学研究院教授 井手誠之輔	学芸部文化財課資料登録室長 森實久美子
4	同上	同上	同上	学芸部文化財課資料登録室研究員　大澤信
5	東京国立博物館	統計的画像処理と機械学習を併用した文化財のデジタル復元技術の基盤創出	東京国立博物館 河野一隆	学芸部文化財課資料管理室主任 落合晴彦
6	同上	同上	同上	本部文化財活用センターデジタル資源担当(併)九州国立博物館学芸部文化財課資料管理室専門職　竹内俊貴
7	関西学院大学	チンギス・ハーン博物館所蔵資料「モンゴル宮廷衣装」に関する学際的研究	文学部教授 河上繁樹	学芸部企画課特別展室研究員 桑原有寿子
8	奈良大学	黄銅（鍮石・真鍮）の歴史とその伝来の道「Brass Road」の研究	名誉教授　西山要一	学芸部文化財課長（兼）資料管理室長　野尻忠
9	同上	同上	同上	学芸部企画課特別展室主任研究員　望月規史
10	東京文化財研究所	シミ科未記載種の国内分布の実態調査と生態学的特徴に基づく防除方法の検討	保存科学研究センター　アソシエイトフェロー　島田潤	学芸部博物館科学課長（兼）環境保全室長　木川りか
11	同上	同上	同上	学芸部博物館科学課環境保全室研究員　渡辺祐基
12	大阪大学	ディープラーニングによる仏像の制作年代・地域推定システムの構築とその実装	人文学研究科教授　藤岡穣	学芸部文化財課資料登録室研究員　大澤信
13	東京国立博物館	在外日本美術の保存修復技法の比較調査と国際的な保存活用に向けて	皇居三の丸尚蔵館長 島谷弘幸	副館長　小泉惠英

	機関名	研究課題	研究代表者名	分担者名
14	同上	同上	同上	学芸部博物館科学課長（兼）環境保全室長　木川りか
15	同上	同上	同上	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史
16	同上	同上	同上	学芸部博物館科学課環境保全室研究員　渡辺祐基
17	同上	同上	同上	学芸部企画課特別展室研究員　桑原有寿子
18	同上	同上	同上	学芸部長　白井克也
19	東京国立博物館	文化財デジタル復元のための統計的画像処理および機械学習技術の創出	東京国立博物館 河野一隆	学芸部文化財課資料管理室主任　落合晴彦
20	同上	同上	同上	本部文化財活用センターデジタル資源担当(併)九州国立博物館学芸部文化財課資料管理室　専門職　竹内俊貴

【皇居三の丸尚蔵館】　4人

	機関名	研究課題	研究代表者名	分担者名
1	東京系術大学	美術史からみるドイツ・北欧と日本の皇室外交	准教授 佐藤直樹	学芸部展示・普及課長　戸田浩之
2	同上	同上	同上	学芸部管理・情報課長　五味　聖
3	同上	同上	同上	学芸部展示・普及課研究員　木谷知香
4	同上	同上	同上	学芸部管理・情報課研究員　　芳澤直之

【東京文化財研究所】延べ　42人

	機関名	研究課題	研究代表者名	分担者名
1	奈良大学	黄銅（鍮石・真鍮）の歴史とその伝来の道「Brass Road」の研究	名誉教授　西山　要一	特任研究員　早川　泰弘
2	公益財団法人元興寺文化財研究所	地球温暖化による劇的環境変動に適応した石造文化遺産の調査・保存法の総合的研究	所長　田邉　征夫	保存科学研究センター　室長　朽津信明
3	岡山大学	モノとヒトの相互構築史：マテリアマインドの実証的・理論的研究（物質と心班）	文明動態学研究所　教授　松本直子	無形文化遺産部　部長　石村　智
4	九州大学	作品誌の観点による半島由来仏教文物の包括的研究―彫刻・絵画・写経を中心に―	人文科学研究院　教授　井出誠之輔	文化財情報資料部　研究員　田代裕一朗
5	筑波大学	恒久的保存に向けた災害被災資料の特性解明と保存環境の構築	芸術系　教授　松井　敏也	保存科学研究センター　センター長　建石　徹
6	筑波大学	恒久的保存に向けた災害被災資料の特性解明と保存環境の構築	芸術系　教授　松井　敏也	保存科学研究センター　客員研究員　片山　葉子
7	金沢大学	エジプト、サッカラ遺跡の調査による古代エジプトの埋葬文化の変容に関する総合的研究	新学術創成研究機構　教授　河合　望	文化遺産国際協力センター　主任研究員　前川　佳文
8	京都大学	太平洋戦争における戦跡のもつ効力と記憶の継承に関する人類学的研究	人間・環境学研究科　教授　風間 計博	無形文化遺産部　部長　石村　智
9	東海大学	天体景観への認知と祭祀および暦の生成に関わる考古天文学の展開	文学部　教授　北條　芳隆	無形文化遺産部　部長　石村　智
10	京都国立博物館	備前児島の野崎家に伝わる文化財の総合調査：塩田王の美術コレクション	学芸部列品管理室　室長　永島明子	文化財情報資料部　研究員　月村紀乃
11	東京藝術大学	文化財修復に用いるナノセルロースの有用性の検討	美術研究科　准教授　貴田　啓子	保存科学研究センター　アソシエイトフェロー　西田　典由
12	東京藝術大学	幕末から明治期における工芸品としてのちりめん絵の鏃加工技術と構成材料の解明	美術研究科　助手　一宮　八重	保存科学研究センター　アソシエイトフェロー　大和　あすか
13	東京藝術大学	中国の芸術実践系大学において有効な「保存修復」教育の整備に関する研究	美術研究科　教授　荒井　経	保存科学研究センター　アソシエイトフェロー　大和　あすか
14	東京国立博物館	古代壁画物理モデル構築に向けての探索的研究	学芸研究部保存修復課　課長和田　浩	保存科学研究センター　研究員　水谷　悦子
15	千葉大学	平安時代後期・鎌倉時代の金銅仏鋳造技法の実証研究―多臂金銅仏を中心に―	教育学部　名誉教授　宮崎　甲	文化財情報資料部　主任研究員　米沢　玲
16	千葉大学	縄文時代の狩猟採集社会における人口動態推計と変動要因の研究	教授　阿部 昭典	その他部局等　東京文化財研究所付　建石　徹
17	愛媛大学	セルロースナノファイバーを活用した放射線防護材料の開発	紙産業イノベーションセンター教授　薮谷 智規	保存科学研究センター　アソシエイトフェロー　西田　典由

	機関名	研究課題	研究代表者名	分担者名
18	東北芸術工科大学	三内丸山遺跡の土遺構の保存に関する総合的研究	客員研究員　石崎　武志	保存科学研究センター　室長　佐藤　嘉則
19	宮城学院女子大学	木質材料の循環による文化財保存環境システム構築	非常勤講師　及川　規	保存科学研究センター　研究員　芳賀　文絵
20	九州国立博物館	博物館資料や包材から発生する有機酸、硫黄化合物等の放散量・影響調査と対策の検討	課長　木川　りか	保存科学研究センター　室長　佐藤　嘉則
21	九州国立博物館	博物館資料や包材から発生する有機酸、硫黄化合物等の放散量・影響調査と対策の検討	課長　木川　りか	保存科学研究センター　室長　島田　潤
22	九州国立博物館	日本絵画に用いられる色材の光褪色挙動の詳細分析と褪色計算オンラインソフトでの利用	学芸部博物館科学課　課長　木川　りか	保存科学研究センター　副センター長　早川　典子
23	九州国立博物館	日本絵画に用いられる色材の光褪色挙動の詳細分析と褪色計算オンラインソフトでの利用	学芸部博物館科学課　課長　木川　りか	保存科学研究センター　研究員　倉島　玲央
24	成城大学	江戸時代の和歌山の画家における彩色材料と絵画表現に関する研究	文芸学部　准教授　安永　拓世	その他部局等　特任研究員　早川　泰弘
25	名古屋大学	中世の気候異常期におけるエルニーニョとリモートオセアニアへの人類拡散	環境学研究科　講師　山崎　敦子	無形文化遺産部　部長　石村　智
26	沖縄国際大学	葬墓制資料に基づく近世琉球社会史の学際的研究	総合文化学部　教授　宮城　弘樹	文化遺産国際協力センター　主任研究員　前川　佳文
27	実践女子大学	『源氏物語』写本の非破壊分析による書写年代推定法の開発と河内本の再評価	研究推進機構　研究員　横井　孝	保存科学研究センター　アソシエイトフェロー　大和　あすか
28	実践女子大学	古典籍の料紙、用紙の研究　ー紙資源のリサイクルが支える文学と出版システムー	研究推進機構　研究員　澤山　茂	保存科学研究センター　アソシエイトフェロー　大和　あすか
29	東京国立博物館	在外日本美術の保存修復技法の比較調査と国際的な保存活用に向けて	皇居三の丸尚蔵館　館長　島谷　弘幸	保存科学研究センター　副センター長　早川　典子
30	東京国立博物館	在外日本美術の保存修復技法の比較調査と国際的な保存活用に向けて	皇居三の丸尚蔵館　館長　島谷　弘幸	保存科学研究センター　研究員　倉島　玲央
31	東京国立博物館	伝来情報の分析による絵巻を中心とした古代・中世やまと絵の復原的研究	学芸研究部調査研究課　室長　土屋　貴裕	文化財情報資料部　部長　江村　知子
32	東京国立博物館	高精細Ｘ線ＣＴスキャナー活用を中心とする古代中国の封泥に関する発展的研究	学芸研究部　客員研究員　谷　豊信	保存科学研究センター　センター長　犬塚　将英
33	嵯峨美術大学	製糸技術の変遷と画絹の性状に関する研究	芸術学部　准教授　京都　絵美	保存科学研究センター　副センター長　早川　典子
34	嵯峨美術大学	製糸技術の変遷と画絹の性状に関する研究	芸術学部　准教授　京都　絵美	無形文化遺産部　主任研究員　菊池　理予
35	二松學舍大學	日本アナキズム芸術運動研究：基礎資料の調査・公開・探究	文学部　准教授　足立 元	文化財情報資料部　アソシエイトフェロー　山永　尚美
36	奈良県立橿原考古学研究所	文化遺産を構成する煉瓦の微生物による劣化機構に関する研究	企画学芸部資料課　主任研究員　河﨑　衣美	保存科学研究センター　客員研究員　片山　葉子
37	帝京大学	海からみなとを探る：水中考古学と海洋科学の融合	付置研究所　准教授　佐々木　蘭貞	無形文化遺産部　部長　石村　智
38	国文学研究資料館	マテリアル分析で解明する１８・１９世紀の後印を含めた地本の展開と草双紙史再定義	研究部　特任准教授　松原　哲子	保存科学研究センター　アソシエイトフェロー　大和　あすか
39	早稲田大学	古代エジプト、ネクロポリス・テーベにおける岩窟墓のライフ・ヒストリー研究	文学学術院　名誉教授　近藤　二郎	文化遺産国際協力センター　主任研究員　前川　佳文
40	東京学芸大学	デジタル・アーカイブの拡充と発展的活用に向けた最盛期義太夫節浄瑠璃作品の研究	教育学部　名誉教授　黒石　陽子	無形文化遺産部　客員研究員　飯島　満
41	実践女子大学	草双紙の出版と流通に関する文理融合研究―合巻の用紙と色材を中心に―	文学部　教授　佐藤 悟	保存科学研究センター　アソシエイトフェロー　大和　あすか
42	総合地球環境学研究所	オマーン南部海港都市の脆弱な社会環境下にあるリビングヘリテージの復興と継承	基盤研究部　教授　近藤　康久	無形文化遺産部　部長　石村　智

【奈良文化財研究所】延べ　60人

○科学研究費補助金　延べ　24人

	機関名	研究課題	代表者名	分担者名
1	帝京大学	シルクロードの国際交易都市スイヤブの成立と変遷ー農耕都市空間と遊牧民世界の共存ー	教授　山内　和也	企画調整部　主任研究員 山藤　正敏
2	東京大学	史料データセンシングに基づく日本列島記憶継承モデルの確立	准教授　山田　太造	埋蔵文化財センター長 馬場　基
3	国際仏教学大学院大学	「奈良朝勅定一切経」の総合的研究ー漢文仏教テクストの資料的基盤の再構築に向けて	教授　落合　俊典	文化遺産部　歴史史料研究室 客員研究員　杉本　一樹
4	東京大学	コンテキストに応じた人文科学データパッケージ化に関する研究	教授　山家　浩樹	埋蔵文化財センター長 馬場　基
5	東北大学	石材構築文化財の保全のための３次元デジタルアーカイブの標準化の研究	教授　藤澤　敦	埋蔵文化財センター 上席研究員 金田　明大

	機関名	研究課題	代表者名	分担者名
6	東京大学	筆跡・花押情報の高度利活用研究―収集スキームの錬成と関連歴史情報との統合による―	教授　末柄　豊	文化遺産部　主任研究員 桑田　訓也
7	東京医療保健大学	東ユーラシア東辺における古代食の多角的視点による解明とその栄養価からみた疾病	教授　三舟　隆之	埋蔵文化財センター長 馬場　基
8	同上	同上	同上	企画調整部　主任研究員 小田　裕樹
9	同上	同上	同上	埋蔵文化財センター 環境考古学研究室長　山崎　健
10	同上	同上	同上	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区考古第二研究室長　森川　実
11	同上	同上	同上	企画調整部 国際遺跡研究室長 庄田　慎矢
12	筑波大学	クメール王朝の都市構造と社会基盤の解明ー高精度地形情報を利用した実査より	教授　下田　一太	企画調整部 主任研究員 山藤　正敏
13	立命館大学	実世界大規模構造物の形状理解のための，３次元計測ビッグデータの超高精細可視化	教授　田中　覚	埋蔵文化財センター 主任研究員 山口　欧志
14	埼玉大学	草原地帯における輸送動物出現とモニュメント築造からみた社会複雑化研究	教授　中村　大介	都城発掘調査部 主任研究員 田村　朋美
15	東京大学	荘園絵図調査・解析方法に関する総括的研究と汎用的な歴史地理情報への応用研究	准教授　井上　聡	企画調整部 主任研究員 高田　祐一
16	立命館大学	簡牘の形態に関する新研究：三次元形態解析による古文書学・考古学・年輪年代学の融合	教授　鷹取　祐司	埋蔵文化財センター 主任研究員 山口　欧志
17	同上	同上	同上	埋蔵文化財センター 年代学研究室長　星野　安治
18	同上	同上	同上	都城発掘調査部 平城地区考古第一研究室 研究員　浦　蓉子
19	元興寺文化財研究所	地球温暖化による劇的環境変動に適応した石造文化遺産の調査・保存法の総合的研究	所長　田邉　征夫	埋蔵文化財センター 上席研究員 金田　明大
20	東京文化財研究所	ディルムン文明形成に関する考古学的研究	室長　安倍　雅史	企画調整部 国際遺跡研究室長 庄田　慎矢
21	京都大学	気候変動を考慮した自然室温下における文化財保存公開施設の環境制御方法に関する研究	教授　小椋　大輔	埋蔵文化財センター 保存修復科学研究室長　脇谷　草一郎
22	金沢大学	中国文明起源解明の新・考古学イニシアティブ	中村　慎一	企画調整部 国際遺跡研究室長 庄田　慎矢
23	同志社女子大学	民族誌研究による認知世界の拡張メカニズムの解明（行動と制度班）	教授　大西　秀之	埋蔵文化財センター 遺跡調査技術研究室 客員研究員 平川　ひろみ
24	南山大学	考古・人類学データの多次元表象とモデリングによる文化動態の解明（表象とモデル班）	教授　中尾　央	埋蔵文化財センター 上席研究員 金田　明大

○学術研究助成基金助成金　延べ　36人

	機関名	研究課題	代表者名	分担者名
1	三重大学	日本古代の都市造営をめぐる土木技術史的研究	特任教授　小澤　毅	都城発掘調査部　副部長 今井　晃樹
2	奈良県立橿原考古学研究所	古墳時代における甲冑製作および生産組織の実態解明	課長　吉村　和昭	企画調整部 企画調整室 客員研究員　小林　謙一
3	名古屋大学	三関周辺における古墳時代から古代の地域動態に関する総合的研究	教授　梶原　義実	埋蔵文化財センター長　馬場　基
4	京都大学	ＡＩ（人工知能）による縄文土器型式の識別システムの構築と未知の縄文土器系統の創造	准教授　千葉　豊	埋蔵文化財センター 遺跡調査技術研究室　客員研究員 髙野　紗奈江
5	京都府立大学	古墳・副葬品の多角的検討にもとづく日本列島初期仏教受容史の再構築	准教授　諫早　直人	飛鳥資料館　古墳壁画室長 廣瀬　覚
6	同上	同上	同上	飛鳥資料館 学芸室長 石橋　茂登
7	帝京大学	牛馬文化の系譜と変容 - 動物遺体分析の限界を克服する複合的アプローチ -	教授　植月　学	企画調整部　国際遺跡研究室長 庄田　慎矢
8	金沢大学	和食の成立過程の解明：　湯取り法炊飯からウルチ米蒸しへの転換過程	客員教授　小林　正史	企画調整部　主任研究員 小田　裕樹
9	立命館大学	初期国家形成期における山城地域の地域開発と地方政体の成長に関する包括的研究	教授　長友　朋子 （中村朋子）	飛鳥資料館　古墳壁画室長 廣瀬　覚
10	同上	同上	同上	都城発掘調査部　主任研究員 川畑　純
11	同上	同上	同上	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区考古第二研究室 研究員 道上　祥武
12	国立歴史民俗博物館	航路・寄港地から見た倭と古代朝鮮の交渉史に関する日韓共同研究	教授　高田　貫太	飛鳥資料館　古墳壁画室長 廣瀬　覚
13	東北大学	古代の出土文化財が教えてくれる1000年超の腐食寿命予測モデル	教授　渡辺　豊	埋蔵文化財センター　主任研究員 柳田　明進
14	奈良県立橿原考古学研究所	東アジア盤上遊戯の変遷と盛衰の解明　ー史学的検討と知能情報学による評価からー	指導研究員　清水　康二	企画調整部　主任研究員 小田　裕樹

	機関名	研究課題	代表者名	分担者名
15	東京大学	16世紀西日本港町の構造と相関ー文献・考古学資料の国際・横断的分析によるー	准教授　岡　美穂子	企画調整部 国際遺跡研究室 主任専門職　佐藤　由似
16	京都大学	地区の多様な個別性公認化と広域調整計画論によるダイナミズム型都市計画の国際提案	教授　神吉　紀世子	文化遺産部 景観研究室 客員研究員　小浦　久子
17	奈良女子大学	日本と中国の建築工具及び加工痕跡の比較による東アジア木造建築造営技術史の基盤構築	協力研究員　李　暉	都城発掘調査部 平城地区考古第ー研究室 研究員　浦　蓉子
18	公立小松大学	考古学ビッグデータの統合・3D-GIS化による古代寺院立地・造営・景観論	特任准教授　野口　淳	企画調整部　主任研究員 高田　祐ー
19	同上	同上	同上	企画調整部 文化財情報研究室 アソシエイトフェローー　武内　樹治
20	京都橘大学	土器観察眼の機能拡張に基づく日本古代饗宴とその戦略の通時代的復元	准教授　中久保　辰夫	企画調整部　主任研究員 小田　裕樹
21	東北大学	ヒノキ科樹木の長期標準年輪曲線ネットワーク構築ー全国的な年輪年代学応用を目指して	助教　大山　幹成	埋蔵文化財センターー 年代学研究室 室長　星野　安治
22	九州国立博物館	博物館資料や包材から発生する有機酸、硫黄化合物等の放散量・影響調査と対策の検討	課長　木川　りか	埋蔵文化財センターー　主任研究員 柳田　明進
23	同上	同上	同上	埋蔵文化財センターー 保存修復科学研究室 室長　脇谷　草ー郎
24	奈良大学	3Dデータを利用した東アジアにおける文化遺産の保存と活用	教授　今津　節生	参与　高妻　洋成
25	島根大学	弥生・古墳時代併行期における日韓年代論の再構築と対外交渉の実証的研究	准教授　平郡　達哉	都城発掘調査部 飛鳥・藤原地区考古第ー研究室 研究員　谷澤　亜里
26	京都工芸繊維大学	組立工程から検証する日中台建築技術の比較研究	教授　清水　重敦	文化遺産部 建造物遺構研究室長 鈴木　智大
27	早稲田大学	衛星画像のGIS分析に基づく唐代都城中枢部の構造比較と設計原理の考古学的研究	教授　城倉　正祥	企画調整部　主任研究員 山藤　正敏
28	琵琶湖博物館	植物遺体群からみた古代都城における草本植物相に関する基礎的研究	特別研究員　上中　央子	埋蔵文化財センターー 環境考古学研究室長　山崎　健
29	東京文化財研究所	磨崖仏で過去に行われた保存対策の効果に関する定量的研究	修復計画研究室長　朽津　信明	埋蔵文化財センターー 保存修復科学研究室長　脇谷　草ー郎
30	筑波大学	フォークロリスティック・ハザードマップの協働的研究	准教授　中野　泰	埋蔵文化財センターー　保存修復研究室　研究院　小谷　竜介
31	奈良大学	３次元デジタル技術を活用した古代瓦葺技術の系譜と展開に関する考古学的検討	教授　岩戸　晶子	都城発掘調査部　副部長 今井　晃樹
32	同上	同上	同上	都城発掘調査部　主任研究員 川畑　純
33	京都府立大学	東大寺における資料アーカイブ情報の統合と資料秩序の復原によるプロソポグラフィ研究	教授　横内　裕人	文化遺産部長　吉川　聡
34	明治大学	紀元前３ー１千年紀のユーラシア農耕拡散に関する植物考古学的研究	研究推進員　遠藤　英子	企画調整部 国際遺跡研究室長 庄田　慎矢
35	東京国立博物館	古代壁画物理モデル構築に向けての探索的研究	保存修復課長　和田　浩	埋蔵文化財センターー 保存修復科学研究室長　脇谷　草ー郎
36	東北大学	古代の人々はどこから木を伐ってきたのか？	助教　大山　幹成	埋蔵文化財センターー 年代学研究室長　星野　安治

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】延べ　0人

3）研究者海外派遣実績（延べ人数）

令和7年3月31日現在

国立文化財機構合計	博物館計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	皇居三の丸尚蔵館
	297 人	182人	19人	24人	38人	34人
497 人	文化財研究所計	東京文化財研究所		奈良文化財研究所		
	185 人	97人		88人		
	アジア太平洋無形文化遺産研究センター	本部文化財活用センター		本部文化財防災センター		
	10 人	0 人		5 人		

【本部文化財活用センター】延べ　0人

【本部文化財防災センター】延べ　5 人

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
1	小谷竜介	フィリピン	10月13日～15日	第5回世界津波博物館会議への出席	受託事業費	
2	犬塚将英	フィリピン	10月13日～15日	第5回世界津波博物館会議への出席	受託事業費	
3	小谷竜介	韓国	10月16日～18日	ICHICAP「The 2024 World Forum for Intangible Cultural Heritage」にて報告	先方負担	
4	中島志保	中国	10月21日～23日	IRDR 2024 International Conference, Parallel Session1:Enhancing the Role of Culture in Disaster Risk Reduction　における報告	先方負担（一部運営費交付金）	
5	建石透	韓国	11月8日～9日	韓国文化遺産科学会	運営費交付金	

【東京国立博物館】延べ　182人（科学研究費助成事業を除く）

（参考：科学研究費助成事業を含む合計人数は212人）

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
1	鬼頭　智美	中国	4月10日～4月13日	国際展覧会オーガナイザー定期大会出席のため	自己収入	
2	楊　鋭	アメリカ	4月19日～4月24日	国立アジア美術館との調印式のため	寄附金	
3	ミウォシュ・ヴォズニ	アメリカ	4月19日～4月24日	国立アジア美術館との調印式のため	寄附金	
4	浅見　龍介	インドネシア	4月22日～4月27日	海外展にかかる現地視察・打合せ	自己収入	
5	小山　弓弦葉	インドネシア	4月22日～4月27日	海外展にかかる現地視察・打合せ	自己収入	
6	矢野　賀一	インドネシア	4月24日～4月27日	海外展にかかる現地視察・打合せ	自己収入	
7	小山　弓弦葉	韓国	5月5日～5月7日	海外展貸与作品の返却クーリエ	先方負担	
8	河野　一隆	中国	5月10日～5月15日	国際学術会議参加のため	先方負担	
9	楊　鋭	中国	5月10日～5月18日	国際学術会議参加のため	寄附金	
10	築島　愛美	オランダ ドイツ ベルギー	6月13日～6月23日	北米・欧州におけるミュージアムの先駆的活動調査	助成金	
11	安部　七瀬	オランダ ドイツ ベルギー	6月13日～6月22日	北米・欧州におけるミュージアムの先駆的活動調査	助成金	
12	髙木　結美	オランダ ドイツ ベルギー	6月13日～6月23日	北米・欧州におけるミュージアムの先駆的活動調査	助成金	
13	楊　鋭	中国	6月17日～6月20日	第3回世界博物館館長フォーラム参加のため	自己収入	
14	内尾　優子	中国	6月17日～6月20日	第3回世界博物館館長フォーラム参加のため	自己収入	
15	山本　桃子	オランダ ドイツ ベルギー	6月22日～7月6日	北米・欧州におけるミュージアムの先駆的活動調査	助成金	
16	吉岡　由哲	オランダ ドイツ ベルギー	6月22日～7月7日	北米・欧州におけるミュージアムの先駆的活動調査	助成金	
17	福島　修	韓国	7月1日～7月5日	海外貸与に係る展示作業のため	先方負担	
18	猪熊　兼樹	韓国	7月2日～7月6日	海外貸与に係る展示作業のため	先方負担	
19	所　昌弘	韓国	7月8日～7月10日	第13回日中韓国立博物館館長会議出席のため	自己収入	
20	楊　鋭	韓国	7月8日～7月10日	第13回日中韓国立博物館館長会議出席のため	自己収入	

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
21	鄭　雲卿	韓国	7月7日～7月10日	第13回日中韓国立博物館館長会議出席のため	自己収入	
22	品川　欣也	ドイツ オーストリア	7月7日～7月14日	収蔵品に係る調査及び学術交流	寄附金	
23	飯田　茂雄	ドイツ オーストリア	7月7日～7月14日	収蔵品に係る調査及び学術交流	寄附金	
24	遠藤　楽子	ドイツ オーストリア フランス	7月7日～7月15日	収蔵品に係る調査及び学術交流	寄附金	
25	勝木　言一郎	中国	7月30日～8月10日	調査研究のため	自己収入	
26	三笠　景子	韓国	8月5日～8月9日	朝鮮前期美術の研究会のため	先方負担	
27	小山　弓弦葉	モンゴル	8月8日～8月12日	調査研究のため	寄附金	
28	六人部　克典	台湾	8月26日～8月31日	海外貸与に係る展示作業のため	先方負担	
29	河野　一隆	アメリカ	8月27日～8月30日	はにわ展に係る作品輸送のため	寄附金	
30	宗像　梓	アメリカ	8月27日～9月4日	北米・欧州におけるミュージアムの先駆的活動調査	助成金	
31	猪熊　兼樹	アメリカ	8月27日～9月4日	北米・欧州におけるミュージアムの先駆的活動調査	助成金	
32	阿部　美里	アメリカ	8月27日～9月4日	北米・欧州におけるミュージアムの先駆的活動調査	助成金	
33	岩崎　絵里加	アメリカ	8月27日～9月4日	北米・欧州におけるミュージアムの先駆的活動調査	助成金	
34	中嶋　海文	アメリカ	8月27日～9月4日	北米・欧州におけるミュージアムの先駆的活動調査	助成金	
35	高橋　真作	インドネシア	8月28日～8月31日	海外展に係る打ち合わせのため	自己収入	
36	小山　弓弦葉	インドネシア	8月28日～8月31日	海外展に係る打ち合わせのため	自己収入	
37	原田　あゆみ	インドネシア	8月28日～8月31日	海外展に係る打ち合わせのため	自己収入	
38	矢野　賀一	インドネシア	8月28日～8月30日	海外展に係る打ち合わせのため	自己収入	
39	ミウォシュ・ ヴォズニ	イギリス	9月2日～9月8日	現地博物館の視察	受託研究費収入	
40	小島　佳	イギリス	9月3日～9月8日	現地博物館の視察	助成金	
41	江原　香	イギリス	9月3日～9月8日	現地博物館の視察	受託研究費収入	
42	荻堂　正博	イギリス	9月3日～9月8日	現地博物館の視察	受託研究費収入	
43	野中　昭美	オランダ ドイツ ベルギー	9月11日～9月23日	北米・欧州におけるミュージアムの先駆的活動調査	助成金	
44	内山　美代子	オランダ ドイツ ベルギー	9月11日～9月23日	北米・欧州におけるミュージアムの先駆的活動調査	助成金	
45	桐原　瑛奈	オランダ ドイツ ベルギー	9月11日～9月23日	北米・欧州におけるミュージアムの先駆的活動調査	助成金	
46	小野塚　拓造	オランダ ドイツ ベルギー	9月11日～9月21日	北米・欧州におけるミュージアムの先駆的活動調査	助成金	
47	楊　鋭	中国	9月12日～9月14日	瀋陽故宮博物院とのMOU締結	自己収入	
48	廣谷　妃夏	中国	9月12日～9月14日	瀋陽故宮博物院とのMOU締結	自己収入	
49	横山　梓	フランス	9月15日～9月22日	寄託候補コレクションの調査	寄附金	
50	小山　弓弦葉	フランス	9月15日～9月22日	寄託候補コレクションの調査	寄附金	
51	沼沢　ゆかり	フランス	9月17日～9月22日	寄託候補コレクションの調査	寄附金	
52	小野塚　拓造	トルコ	9月21日～9月27日	特別展の視察・打ち合わせ	先方負担	
53	福島　修	韓国	9月22日～9月29日	日中韓共同企画展示の作品輸送	先方負担	
54	朴　祥炫	韓国	9月22日～9月29日	日中韓共同企画展示の作品輸送	先方負担	
55	猪熊　兼樹	中国	9月25日～9月28日	海外貸与に係る展示作業のため	先方負担	
56	楊　鋭	中国	9月25日～9月30日	海外貸与に係る展示作業のため	先方負担	

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
57	小野塚　拓造	トルコ	9月27日～10月1日	特別企画打ち合わせ	自己収入	
58	佐藤　萌	トルコ	10月1日～10月14日	博物館学フィールドコース講師	先方負担	
59	福島　修	台湾	10月8日～10月15日	台湾原住民文化の調査	寄附金	
60	猪熊　兼樹	台湾	10月8日～10月15日	台湾原住民文化の調査	寄附金	
61	廣谷妃夏	台湾	10月8日～10月15日	台湾原住民文化の調査	寄附金	
62	増田　政史	韓国	10月9日～10月11日	海外貸与作品の撤収作業のため	先方負担	
63	小山　弓弦葉	台湾	10月13日～10月15日	海外貸与に係る展示作業のため	先方負担	
64	小山　弓弦葉	インドネシア	10月16日～10月19日	海外展にかかる現地視察・打合せ	自己収入	
65	矢野　賀一	インドネシア	10月16日～10月19日	海外展にかかる現地視察・打合せ	自己収入	
66	沼沢　ゆかり	インドネシア	10月16日～10月19日	海外展にかかる現地視察・打合せ	自己収入	
67	高橋　真作	インドネシア	10月16日～10月19日	海外展にかかる現地視察・打合せ	自己収入	
68	和田浩	中国	10月18日～10月22日	文物防震技術国際学術検討会への参加	自己収入	
69	玉城　真紀子	韓国	10月20日～11月2日	2024年度日韓学術交流のため	自己収入 先方負担	
70	勝木　言一郎	中国	10月24日～10月25日	新疆亀茲学会での発表のため	寄附金 自己収入	
71	植松　瑞希	中国	10月28日～10月31日	研究会出席のため	助成金	
72	楊　鋭	中国	11月2日～11月4日	上海博物館M20+フォーラム出席	自己収入	
73	六人部　克典	台湾	11月3日～11月5日	海外貸与に係る撤収作業のため	先方負担	
74	和田浩	フランス	11月6日～11月9日	国際会議「Vibration and conservation」への参加	自己収入	
75	福島　修	ベトナム	11月6日～11月10日	作品調査のため	先方負担	
76	髙木　結美	イギリス	11月6日～11月11日	国際会議へのスピーカーとしての参加のため	先方負担	
77	品川　欣也	チェコ	11月11日～11月15日	プラハ国立美術館との協定書調印	自己収入	
78	君波　妙子	チェコ	11月11日～11月15日	プラハ国立美術館との協定書調印	自己収入	
79	村瀬　可奈	韓国	11月12日～11月16日	学術交流のため	自己収入	
80	市元　塁	中国	11月13日～11月16日	漢唐文物の調査	自己収入 科研費	
81	三笠　景子	中国	11月13日～11月16日	漢唐文物の調査	自己収入	
82	崔　英花	中国	11月13日～11月16日	漢唐文物の調査	自己収入	
83	野中　昭美	アメリカ	11月17日～11月22日	法隆寺裂修理研究に関わる調査・研究のため	自己収入	
84	猪熊　兼樹	韓国	11月18日～11月21日	貸与作品の展示および借用作品の事前調査	自己収入	
85	児島　大輔	韓国	11月19日～11月21日	2025年日韓交流展のための出品作品事前調査のため	自己収入	
86	和田　浩	ニュージーランド	11月25日～11月28日	国際会議への参加のため	自己収入	
87	今井　敦	イギリス	11月26日～12月1日	2024年度国際交流連携事業作品調査のため	自己収入	
88	三笠　景子	イギリス	11月26日～12月1日	2024年度国際交流連携事業作品調査のため	自己収入	
89	横山　梓	イギリス	11月26日～12月1日	2024年度国際交流連携事業作品調査のため	自己収入	
90	ミウォシュ・ヴォズニ	イギリス	11月26日～12月1日	2024年度国際交流連携事業作品調査のため	自己収入	
91	足立　奈緒子	イギリス	11月26日～12月1日	2024年度国際交流連携事業作品調査のため	自己収入	
92	サミュエル・タン	イギリス	11月26日～12月1日	2024年度国際交流連携事業作品調査のため	自己収入	
93	小山　弓弦葉	台湾	12月1日～12月5日	貸与作品の撤収作業のため	先方負担	
94	沖松　健次郎	台湾	12月2日～12月4日	台北故宮での文物管理フォーラムでの発表のため	先方負担	
95	楊　鋭	中国	12月2日～12月4日	国際会議への参加者随行のため	自己収入	

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
96	猪熊　兼樹	中国	12月4日～12月17日	上海博物館との学術交流のため	自己収入 先方負担	
97	六人部　克典	台湾	12月15日～12月18日	台北故宮訪問	自己収入	
98	崔　英花	台湾	12月15日～12月18日	台北故宮訪問	自己収入	
99	小山　弓弦葉	韓国	12月16日～12月18日	令和7年度韓国交流展のための事前調査	自己収入	
100	鄭　雲卿	韓国	12月16日～12月18日	令和7年度韓国交流展のための事前調査	自己収入	
101	廣谷妃夏	韓国	12月16日～12月18日	令和7年度韓国交流展のための事前調査	自己収入	
102	三笠　景子	韓国	12月18日～12月20日	韓国国立博物館での作品調査	自己収入	
103	玉城　真紀子	韓国	12月18日～12月20日	韓国国立博物館での作品調査	自己収入	
104	小野塚　拓造	ヨルダン	12月26日～1月3日	調査研究のため	先方負担	
105	福島　修	中国	7年1月5日～1月8日	貸与作品の点検・撤収作業のため	先方負担	
106	周　昀	中国	7年1月5日～1月8日	貸与作品の点検・撤収作業のため	先方負担	
107	鬼頭　智美	ドイツ オランダ	7年1月13日～1月19日	MOU締結関係（館長随行）のため	自己収入	
108	足立　奈緒子	ドイツ オランダ	7年1月13日～1月19日	MOU締結関係（館長随行）のため	自己収入	
109	市元　塁	イギリス フランス	7年1月22日～1月30日	博物館視察調査	自己収入	
110	玉城　真紀子	イギリス フランス	7年1月22日～1月31日	博物館視察調査	自己収入	
111	髙木　結美	フランス	7年1月26日～2月3日	博物館視察調査	自己収入	
112	矢野　賀一	ドイツ	7年1月27日～1月31日	展示調査のため	自己収入	
113	小山　弓弦葉	インドネシア	7年1月28日～2月2日	海外展に係る打合せ	自己収入	
114	高橋　真作	インドネシア	7年1月28日～1月31日	海外展に係る打合せ	自己収入	
115	金　里織	インドネシア	7年1月28日～1月31日	海外展に係る打合せ	自己収入	
116	原田　あゆみ	イギリス フランス	7年1月28日～2月2日	資料調査及びMOU締結館との協議のため	自己収入	
117	沼沢　ゆかり	インドネシア	7年1月29日～2月2日	館蔵品にかかる調査のため	自己収入	
118	廣谷　妃夏	インドネシア	7年1月29日～2月2日	館蔵品にかかる調査のため	自己収入	
119	小山　弓弦葉	インドネシア	7年1月30日～2月2日	館蔵品にかかる調査のため	自己収入	
120	松嶋　雅人	ドイツ	7年1月30日～2月4日	施設調査および資料収集のため	自己収入	
121	勝木　言一郎	シンガポール	7年2月8日～2月10日	アジア文明博物館の調査	自己収入	
122	藤田　千織	韓国	7年2月9日～2月12日	韓国の博物館におけるデジタルコンテンツの実績と現状に関する調査	自己収入	
123	髙橋　美奈子	韓国	7年2月9日～2月12日	韓国の博物館におけるデジタルコンテンツの実績と現状に関する調査	自己収入	
124	神辺　知佳	韓国	7年2月9日～2月12日	韓国の博物館におけるデジタルコンテンツの実績と現状に関する調査	自己収入	
125	原田　あゆみ	イタリア	7年2月10日～2月15日	文化財の復元模造品を用いた展示・教育普及にかかる調査のため	自己収入	
126	品川　欣也	イタリア	7年2月10日～2月15日	文化財の復元模造品を用いた展示・教育普及にかかる調査のため	自己収入	
127	矢野　賀一	イタリア イギリス	7年2月10日～2月15日	展示調査のため	自己収入	
128	鄭　雲卿	韓国	7年2月11日～2月12日	交流展示の打ち合わせのため	自己収入	
129	楊　鋭	アメリカ	7年2月11日～2月16日	館長随行・博物館視察のため	自己収入	
130	ミウォシュ・ ヴォズニ	アメリカ	7年2月11日～2月20日	館長随行・博物館視察のため	自己収入	
131	和田　浩	フランス	7年2月12日～2月16日	本館改修に関する情報収集	自己収入 運営費交付金	
132	藤田　千織	香港、台湾	7年2月16日～2月22日	香港・台湾の博物館におけるデジタルコンテンツの実績と現状に関する調査	自己収入	
133	髙橋　美奈子	香港、台湾	7年2月16日～2月22日	香港・台湾の博物館におけるデジタルコンテンツの実績と現状に関する調査	自己収入	
134	神辺　知佳	香港、台湾	7年2月16日～2月22日	香港・台湾の博物館におけるデジタルコンテンツの実績と	自己収入	

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
				現状に関する調査		
135	矢野　賀一	インドネシア	7年2月18日～2月20日	海外展打合せ及び会場視察	自己収入	
136	高橋　真作	インドネシア	7年2月18日～2月20日	海外展打合せ及び会場視察	自己収入	
137	小野塚　拓造	韓国	7年2月19日～2月21日	ロッテミュージアム視察のため	自己収入	
138	沖松　健次郎	イギリス	7年2月19日～2月22日	展示・収蔵方法に関する調査	自己収入	
139	中東　達矢	イギリス	7年2月19日～2月23日	展示・収蔵方法に関する調査	自己収入	
140	安部　七瀬	イギリス	7年2月19日～2月23日	展示・収蔵方法に関する調査	自己収入	
141	廣谷　妃夏	イギリス	7年2月19日～2月23日	染織品交易の研究に関する視察	自己収入	
142	荻堂　正博	香港	7年2月19日～2月21日	展示デザインの調査	自己収入	
143	三笠　景子	中国	7年2月20日～2月24日	日中共同プロジェクト打合せ・調査	助成金	
144	市元　塁	中国	7年2月20日～2月24日	日中共同プロジェクト打合せ・調査	自己収入	
145	崔　英花	中国	7年2月20日～2月24日	日中共同プロジェクト打合せ・調査	自己収入	
146	矢野　賀一	台湾	7年2月24日～2月27日	展示手法、展示の安全対策に関する現地調査	自己収入	
147	荻堂　正博	台湾	7年2月24日～2月27日	展示手法、展示の安全対策に関する現地調査	自己収入	
148	黄川田　翔	台湾	7年2月24日～2月27日	展示手法、展示の安全対策に関する現地調査	自己収入	
149	高橋　真作	上海	7年2月25日～2月28日	上海博物館における作品調査	自己収入	
150	和田　浩	メキシコ	7年3月2日～3月6日	本館リニューアルに関する調査	運営費交付金	
151	矢野　賀一	メキシコ	7年3月2日～3月6日	本館リニューアルに関する調査	運営費交付金	
152	横山　梓	韓国	7年3月4日～3月6日	貸与作品の撤収作業のため	先方負担	
153	丸山　史郎	インド	7年3月4日～3月8日	インドの博物館が所蔵する彫刻作品の調査	自己収入	
154	増田　政史	インド	7年3月4日～3月8日	インドの博物館が所蔵する彫刻作品の調査	自己収入	
155	沖松　健次郎	オランダ	7年3月4日～3月9日	オランダにおける列品管理体制の調査のため	自己収入	
156	君波　妙子	オランダ	7年3月4日～3月9日	オランダにおける列品管理体制の調査のため	自己収入	
157	荻堂　正博	デンマーク ドイツ	7年3月4日～3月10日	展示手法、展示の安全対策に関する現地調査	自己収入	
158	黄川田　翔	デンマーク ドイツ	7年3月4日～3月10日	展示手法、展示の安全対策に関する現地調査	自己収入	
159	江原　香	韓国	7年3月6日～3月8日	こどもミュージアム調査のため	自己収入	
160	小島　佳	韓国	7年3月6日～3月8日	こどもミュージアム調査のため	自己収入	
161	朴　祥炫	韓国	7年3月6日～3月8日	こどもミュージアム調査のため	自己収入	
162	鬼頭　智美	アメリカ	7年3月11日～3月18日	博物館視察・調査のため	自己収入	
163	山口　朔実	アメリカ	7年3月11日～3月18日	博物館視察・調査のため	自己収入	
164	市元　塁	オランダ ベルギー	7年3月11日～3月16日	「東博ミッションステートメント2038」の実現に向けた欧州ミュージアム視察	自己収入	
165	玉城　真紀子	オランダ ベルギー	7年3月11日～3月19日	「東博ミッションステートメント2038」の実現に向けた欧州ミュージアム視察	自己収入	
166	髙木　結美	オランダ ベルギー	7年3月13日～3月20日	「東博ミッションステートメント2038」の実現に向けた欧州ミュージアム視察	自己収入	
167	和田　浩	トルコ	3月12日～3月16日	展示保存視察の調査のため	自己収入	
168	勝木　言一郎	マレーシア	3月15日～3月17日	作品調査のため	自己収入	
169	小山　弓弦葉	フランス	3月18日～3月22日	染織作品の展示調査のため	自己収入	
170	市元　塁	中国	3月19日～3月22日	館蔵遼金遺物の類例調査	自己収入	
171	崔　英花	中国	3月19日～3月22日	館蔵遼金遺物の類例調査	自己収入	
172	荻堂　正博	アメリカ	3月19日～3月26日	展示手法、展示の安全対策に関する現地調査	自己収入	

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
173	黄川田　翔	アメリカ	3月19日～3月26日	展示手法、展示の安全対策に関する現地調査	自己収入	
174	沖松　健次郎	中国	3月20日～3月23日	香港故宮とのMOUについての面会及び調査のため	自己収入	
175	猪熊　兼樹	中国	3月20日～3月23日	香港故宮とのMOUについての面会及び調査のため	自己収入	
176	足立　奈緒子	中国	3月20日～3月23日	香港故宮とのMOUについての面会及び調査のため	自己収入	
177	和田　浩	マレーシア	3月21日～3月25日	本館改修のための情報収集	運営費交付金	
178	小山　弓弦葉	スイス イギリス	3月24日～3月31日	欧州染織保存修復部門への調査訪問	自己収入	
179	佐藤　萌	スイス イギリス	3月24日～3月31日	欧州染織保存修復部門への調査訪問	自己収入	
180	沼沢　ゆかり	スイス イギリス	3月24日～3月31日	欧州染織保存修復部門への調査訪問	自己収入	
181	廣谷　妃夏	スイス イギリス	3月24日～3月31日	欧州染織保存修復部門への調査訪問	自己収入	
182	君波　妙子	スイス イギリス	3月24日～3月31日	欧州染織保存修復部門への調査訪問	自己収入	

○科学研究費助成事業：延べ 30人

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
1	河野　一隆	ニュージーランド	4月9日～4月12日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
2	山本　亮	ニュージーランド	4月9日～4月12日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
3	児島　大輔	韓国	6月2日～6月4日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
4	小山　弓弦葉	韓国	6月10日～6月12日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
5	沼沢　ゆかり	韓国	6月10日～6月12日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
6	廣谷　妃夏	韓国	6月10日～6月12日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
7	猪熊　兼樹	モンゴル	7月10日～7月15日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
8	足立　奈緒子	アメリカ	8月9日～8月17日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
9	原田　あゆみ	インド	8月11日～8月19日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
10	増田　政史	中国	9月17日～9月21日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
11	髙木　結美	アメリカ	9月27日～10月7日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
12	山本　桃子	スウェーデン フィンランド	10月8日～10月24日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
13	猪熊　兼樹	ベトナム	11月1日～11月10日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
14	福島　修	ベトナム	11月1日～11月5日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
15	矢野　賀一	韓国	11月22日～11月23日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
16	鬼頭智美	韓国	12月12日～12月17日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
17	和田　浩	台湾	12月22日～12月26日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
18	鄭　雲卿	韓国	12月25日～1月3日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
19	河野　一隆	スペイン	1月24日～2月2日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
20	山本　亮	スペイン	1月24日～2月2日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
21	和田　浩	ドイツ	1月26日～1月31日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
22	沼沢ゆかり	中国	2月10日～2月14日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
23	小山　弓弦葉	中国	2月10日～2月14日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
24	廣谷　妃夏	中国	2月10日～2月14日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
25	猪熊　兼樹	韓国	2月10日～2月15日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
26	楊　鋭	台湾	2月24日～2月27日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費 自己収入	
27	鬼頭　智美	台湾	2月25日～2月27日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
28	沼沢　ゆかり	アメリカ	3月2日～3月9日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
29	ミウォシュ・ヴォズニ	韓国	3月6日～3月8日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	
30	長谷川　聖子	フランス	3月18日～3月22日	科学研究費に係る調査研究	科学研究費	

【京都国立博物館】延べ　19人

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
1	永島　明子	インド	4月16日～22日	インド国立サラルジュン博物館における視察及び作品調査	鹿島美術財団助成金等	
2	降矢　哲男	アメリカ	5月6日～10日	サンフランシスコ・アジア美術館における共催展の展示撤収のため	先方負担	
3	森橋　なつみ	韓国	5月6日～10日	サンフランシスコ・アジア美術館における共催展の展示撤収のため	先方負担	
4	リンネ マリサ	フランス	6月9日～14日	ヨーロッパ・地中海文明博物館におけるICOM総会・諮問会議に出席するため	寄付金・館費	
5	山内　麻衣子	韓国	7月15日～17日	韓国国立中央博物館、Leeum美術館での国際学術交流についての打ち合わせ及び作品・資料調査	運営費交付金	
6	森橋　なつみ	韓国	7月15日～17日	韓国国立中央博物館、Leeum美術館での国際学術交流についての打ち合わせ及び作品・資料調査	運営費交付金	
7	尾野　善裕	韓国	7月15日～17日	韓国国立中央博物館、国立光州博物館、木浦自然史博物館、木浦文学館、木浦生活陶磁博物館、Leeum美術館での国際学術交流についての打ち合わせ及び調査	運営費交付金	
8	降矢　哲男	韓国	7月15日～17日	韓国国立中央博物館、国立光州博物館、木浦自然史博物館、木浦文学館、木浦生活陶磁博物館、Leeum美術館での国際学術交流についての打ち合わせ及び調査	運営費交付金	
9	降矢　哲男	韓国	8月5日～9日	2024年韓国国立中央博物館海外専門家招聘事業ー国際学術コロキウム「朝鮮時代前期の美術」への参加	先方負担・寄付金	
10	黄　紫娟	中国	8月12日～16日	瀋陽故宮博物院・遼寧省博物館・瀋陽博物館における特別展「瀋陽故宮」(仮) 開催協議等に係る九州国立博物館小泉副館長 随行	先方負担 （九州国立博物館）	
11	永島　明子	韓国	9月2日～4日	野崎家科研の関連作品調査の一環として国立中央博物館における日中韓国立博物館共同特別展「三国三色-東アジアの漆器」及び常設展の見学	科学研究費	
12	リンネ　マリサ	アメリカ	9月28日～10月6日	デトロイト美術館において基盤研究A「日本染織文化資源の再発見とその活用に資する基盤研究」による調査	科学研究費	
13	尾野　善裕	中国	11月1日～4日	景徳鎮市陶瓷考古研究所における第二回東アジア陶磁史研究国際シンポジウムへの参加	先方負担	
14	リンネ　マリサ	アラブ首長国連邦	11月10日～14日	ICOM（国際博物館会議）国際シンポジウム、ICOMドバイ2025大会準備会議への参加	先方負担	
15	リンネ　マリサ	アメリカ	11月14日～26日	ICOM-ICDAD（工芸とデザインの博物館・コレクション国際委員会）2024年次会議への出席及び日本美術・染織展示調査	科研費・先方負担	
16	松本　伸之	台湾	11月20日～23日	国立台南芸術大学開催「国際博物館長フォーラム」出席	先方負担	
17	北風　幸一	中国	12月2日～5日	上海博物館におけるM20+グローバルトップミュージアム館長サミット出席	先方負担 運営費交付金	
18	黄　紫娟	中国	12月2日～5日	上海博物館におけるM20+グローバルトップミュージアム館長サミット随行	運営費交付金	
19	永島　明子	中国	7年2月10日～14日	北京故宮博物院における漆器調査	科研費	

【奈良国立博物館】延べ　24人

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
1	北澤　菜月	韓国	5月4日～5月7日	東アジアの仏教美術と女性展展示替立会	先方負担	
2	井上　洋一	台湾	5月11日～5月15日	国立台湾博物館、国立台南芸術大学での講演及び交流・他視察	先方負担	
3	内藤　航	中国	6月17日～6月23日	空海展の作品返却	先方負担	
4	三本　周作	インドネシア	6月24日～7月3日	空海展の作品返却	先方負担	
5	三田　覚之	韓国	6月23日～6月26日	東アジアの仏教美術と女性展作品輸送・展示	先方負担	
6	谷口　耕生	アメリカ	7月8日～7月13日	2026年「南都仏画展」にかかる調査および協議	運営費交付金	
7	山口　隆介	同上	同上	同上	同上	
8	ﾙｳｨｰﾝ･ﾒｱﾘｰ	同上	同上	同上	同上	
9	安　賢善	韓国	8月3日～8月6日	韓国の博物館で行われている作品解説の翻訳を調べるため	運営費交付金	
10	北澤　菜月	韓国	8月4日～8月8日	韓国の美術館博物館での多言語化状況視察・国立中央博物館コロキウム参加	運営費交付金	

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
11	谷口　耕生	中国	8月21日～8月30日	科研「五台山仏教文化圏における文物の生成・継承・波及」に伴う中国山西省文化財調査	科学研究費	
12	樋笠　逸人	中国	9月6日～9月15日	上海博物館との交流のため	寄附金	
13	田中　こころ	同上	同上	同上	同上	
14	張　小娟	同上	同上	同上	同上	
15	内藤　航	韓国	11月25日～12月23日	学術交流協定に基づく派遣のため	同上	
16	井上　洋一	中国	12月2日～12月4日	M2O＋INTERNATIONAL MUSEUM SUMIMIT2024　講演	運営費交付金	
17	井上　洋一	韓国	12月16日～12月19日	学術交流に基づく派遣のため	寄附金	
18	久米　彩也加	同上	同上	同上	同上	
19	鳥越　俊行	ポルトガル	7年1月17日～1月28日	科研に関する調査のため	科学研究費	
20	北澤　菜月	韓国	7年1月26日～2月2日	同上	同上	
21	井上　洋一	イギリス	7年2月4日～2月9日	大英博物館視察及び学術交流ほか	運営費交付金	
22	谷口　耕生	同上	同上	科研「奈良時代の伝世品を中心とした東アジア仏教美術工芸の総合的研究」に伴う現地調査、欧米美術館との国際交流事業に伴う事前視察	寄附金、科学研究費	
23	三本　周作	アメリカ	7年2月23日～3月2日	在外日本仏教工芸作品の調査	科学研究費	
24	山口　俊介	同上	同上	同上	同上	

【九州国立博物館】延べ　38人

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
1	森實　久美子	韓国	4月16日～4月19日	ホアム美術館　特別展「泥に染まらぬ蓮のように」展示連動セミナーでの講演および修理施設調査	先方負担	
2	桑原　有寿子	ポルトガル	4月25日～5月1日	鹿島美術財団研究助成「中国明代の輸出用刺繍における色替り表現の研究」にかかる作品調査	鹿島美術財団助成	
3	畑　靖紀	韓国	5月4日～5月7日	展覧会「東アジア仏教美術と女性」にかかる撤収作業および作品輸送	先方負担	
4	西島　亜木子	韓国	6月6日～6月8日	カームダウン・スペース設置にかかる調査	運営費交付金	
5	李　梅	中国	6月9日～6月23日	中国天水麦積山石窟での現地調査	科学研究費	
6	大澤　信	韓国	6月13日～6月16日	科研【基盤A】「作品誌の観点による半島由来仏教文物の包括的研究ー彫刻・絵画・写経を中心にー」に係る作品調査	科学研究費	
7	川村　佳男	中国	6月14日～6月17日	「考古と中国文明」国際シンポジウムに参加するため	先方負担	
8	畑　靖紀	韓国	8月4日～8月8日	コロキウム「15-16世紀の東アジアの美術と朝鮮前期の美術」での発表と研究者間の研究交流	先方負担	
9	大澤　信	韓国	8月5日～8月8日	コロキウム「15-16世紀の東アジアの美術と朝鮮前期の美術」での発表と研究者間の研究交流	先方負担	
10	森實　久美子	韓国	8月5日～8月8日	コロキウム「15-16世紀の東アジアの美術と朝鮮前期の美術」での発表と研究者間の研究交流	先方負担	
11	桑原　有寿子	モンゴル	8月8日～8月12日	三島海雲記念財団助成「チンギス・ハーン博物館所蔵「モンゴル宮廷衣装」に関する学際的研究」にかかる作品調査	三島海雲記念財団助成	
12	小泉　惠英	中国	8月11日～8月16日	特別展「瀋陽故宮展（仮称）」の打合せおよび事前調査のため	運営費交付金	
13	川村　佳男	中国	8月11日～8月16日	特別展「瀋陽故宮展（仮称）」の打合せおよび事前調査のため	運営費交付金	
14	桑原　有寿子	韓国	8月20日～8月22日	【若手研究】「名物裂を中心とした日本伝世古渡裂の歴史的・技法的成立過程を探る研究」に係る学会発表	科学研究費	
15	岸本　圭	アメリカ	8月27日～8月29日	特別展「はにわ」に係る作品梱包立会	特別展特別協賛負担 福岡県負担	
16	川畑　憲子	韓国	9月9日～9月11日	【基盤C】「中国製鎗金器の基礎的研究ー東アジアにおける漆器の相互的影響ー」に係る調査	科学研究費	
17	渡辺　祐基	ドイツ	9月15日～9月23日	【若手研究】「数理モデルと非破壊評価法に基づく文化財害虫の検出精度の向上」に係る学会参加・調査・打ち合わせ	科学研究費	
18	一瀬　智	台湾	9月23日～9月26日	「中世日本往復外交文書の古文書学的研究―明清・朝鮮公文書研究の一環としてー」に係る調査研究	科学研究費	
19	西島　亜木子	韓国	9月25日～10月2日	学術文化交流協定に基づいた学術交流	運営費交付金 先方負担	
20	田中　健太	韓国	9月25日～10月2日	学術文化交流協定に基づいた学術交流	福岡県負担 先方負担	
21	伊藤　信二	台湾	9月26日～9月28日	特別展企画にかかるご所蔵者との協議及び作品調査	運営費交付金	
22	望月　規史	台湾	9月26日～9月28日	特別展企画にかかるご所蔵者との協議及び作品調査	運営費交付金	

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
23	桑原　有寿子	台湾	9月29日～10月1日	台湾故宮南院特別展「万国津梁:東アジアの海に浮かぶ琉球」にかかる作品撤収指導	先方負担	
24	川畑　憲子	台湾	10月1日～10月6日	【基盤C】「中国製鎗金器の基礎的研究―東アジアにおける漆器の相互的影響―」に係る調査	科学研究費	
25	富田　淳	台湾	10月3日～10月6日	国立故宮博物院嘉義南部院区における特別展国際交流フォーラム参加など	先方負担	
26	渡部　珠代	台湾	10月3日～10月7日	国立故宮博物院嘉義南部院区における特別展国際交流フォーラム参加など	自己収入	
27	李　梅	台湾	10月3日～10月7日	国立故宮博物院嘉義南部院区における特別展国際交流フォーラム参加など	自己収入	
28	和泉田　絢子	カナダ	10月12日～10月19日	国際共同研究加速基金（海外連携研究）「日本絵画に用いられる色材の光褪色挙動の詳細分析と褪色計算オンラインソフトでの利用」に係る協議・調査	科学研究費	
29	志賀　智史	ベトナム	10月28日～11月8日	ベトナム国立歴史博物館との学術文化交流事業（文化財修理）	運営費交付金	
30	小泉　惠英	パキスタン	11月1日～11月10日	兜率天の初期相をめぐる基礎的研究（JP22K 12976）に係る海外調査補助	先方負担	
31	桑原　有寿子	イギリス	11月1日～11月10日	科研「日本絵画に用いられる色材の光褪色挙動の詳細分析と褪色計算オンラインソフトでの利用」にかかる事例調査	科学研究費	
32	富田　淳	中国	12月2日～12月5日	上海博物館主催「M20＋国際博物館サミット」出席・講演/招聘	運営費交付金 先方負担	
33	森實　久美子	韓国	1月26日～1月28日	基盤(A)「作品誌の観点による半島由来仏教文物の包括的研究―彫刻・絵画・写経を中心に―」に係る作品調査	科学研究費	
34	大澤　信	韓国	2月5日～2月6日	基盤(A)「作品誌の観点による半島由来仏教文物の包括的研究―彫刻・絵画・写経を中心に―」に係る作品調査	科学研究費	
35	西島　亜木子	台湾	2月17日～2月20日	台湾の教育普及プログラム及びアクセシビリティについての調査	運営費交付金	
36	大澤　信	インド	2月20日～2月25日	大阪大学　藤本先生科研　基盤(S)「ディープランニングによる仏像の制作年代・地域推定システムの構築とその実装」に係る調査	科学研究費	
37	川畑憲子	中国	3月11日～3月16日	特別展企画のための北京・香港のミュージアム調査と要人面談時の館長随行	運営費交付金	
38	富田　淳	中国	3月11日～3月16日	皇居三の丸尚蔵館の海外ミュージアムの調査交流にかかる調査及び要人との面会	先方負担	

【皇居三の丸尚蔵館】延べ　34人

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
1	松井　邦子	イギリス	8月26日～9月15日	英国ロイヤルコレクション研修参加および英国博物館調査	運営費交付金	
2	島谷　弘幸	イギリス・ドイツ	11月2日～11月10日	科学研究費にかかる調査研究	科学研究費	
3	三島 大暉	オランダ	11月11日～11月17日	CIDOC International Conference 2024 への参加・発表	運営費交付金	
4	島谷　弘幸	中華人民共和国	12月2日～12月5日	上海博物館「The M20+ International Museum Conference」出席	先方負担	
5	松岡　広樹	中華人民共和国	12月2日～12月5日	上海博物館「The M20+ International Museum Conference」出席	運営費交付金	
6	周　思敏	中華人民共和国	12月2日～12月5日	上海博物館「The M20+ International Museum Conference」出席	運営費交付金	
7	島谷　弘幸	アメリカ	7年2月17日～2月20日	CULCON 日米文化教育交流会議　出席	先方負担	
8	瀬谷　愛	ポルトガル・スペイン	7年2月10日～2月15日	アジュダ宮殿、国立古美術館、マドリード王宮等とのコレクション調査・交流事業	自己収入	
9	細川　晋太郎	ポルトガル・スペイン	7年2月10日～2月15日	アジュダ宮殿、国立古美術館、マドリード王宮等とのコレクション調査・交流事業	自己収入	
10	上嶋　悟史	ポルトガル・スペイン	7年2月10日～2月16日	アジュダ宮殿、国立古美術館、マドリード王宮、エル・エスコリアル修道院、プラド美術館等とのコレクション調査・交流事業	自己収入	
11	木村　真美	ポルトガル・スペイン	7年2月10日～2月15日	アジュダ宮殿、国立古美術館、マドリード王宮等とのコレクション調査・交流事業	自己収入	
12	松井　邦子	ポルトガル・スペイン	7年2月10日～2月16日	アジュダ宮殿、国立古美術館、マドリード王宮、エル・エスコリアル修道院、プラド美術館等とのコレクション調査・交流事業	自己収入	
13	島谷　弘幸	ギリシャ	7年2月24日～3月2日	聖ミカエル・聖ジョージ宮殿、国立コルフ・アジア美術館視察、在ギリシャ日本大使館等でのコレクション調査・交流事業	自己収入	
14	中坊　智	ギリシャ	7年2月24日～3月2日	聖ミカエル・聖ジョージ宮殿、国立コルフ・アジア美術館視察、在ギリシャ日本大使館等でのコレクション調査・交流事業張	自己収入	
15	瀬谷　愛	ギリシャ・フランス	7年2月24日～3月2日	聖ミカエル・聖ジョージ宮殿、国立コルフ・アジア美術館視察、在ギリシャ日本大使館等でのコレクション調査・交流事業張	自己収入	
16	三島　大暉	ギリシャ	7年2月24日～3月2日	聖ミカエル・聖ジョージ宮殿、国立コルフ・アジア美術館視察、在ギリシャ日本大使館等でのコレクション調査・交流事業	自己収入	

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
17	上野　晃子	ギリシャ	7年2月24日～3月2日	聖ミカエル・聖ジョージ宮殿、国立コルフ・アジア美術館視察、在ギリシャ日本大使館等でのコレクション調査・交流事業	自己収入	
18	松岡　広樹	イギリス・フランス	7年2月25日～3月7日	大英博物館、セントジェームス宮殿、ウィンザー城、国会議事堂（ウェストミンスター宮殿）、ヴェルサイユ宮殿、王立ゴブラン製作所、ギメ東洋美術館等とのコレクション調査・交流事業	自己収入	
19	田中　純一朗	イギリス・フランス	7年2月25日～3月7日	大英博物館、セントジェームス宮殿、ウィンザー城、国会議事堂（ウェストミンスター宮殿）、ヴェルサイユ宮殿、王立ゴブラン製作所、ギメ東洋美術館等とのコレクション調査・交流事業	自己収入	
20	芳澤　直之	イギリス・フランス	7年2月25日～3月4日	大英博物館、セントジェームス宮殿、ウィンザー城、国会議事堂（ウェストミンスター宮殿）、ヴェルサイユ宮殿等とのコレクション調査・交流事業	自己収入	
21	大鐘　友佳	フランス	7年3月1日～3月7日	ヴェルサイユ宮殿、王立ゴブラン製作所、ギメ東洋美術館等とのコレクション調査・交流事業	自己収入	
22	瀬谷　愛	フランス	7年3月3日～3月7日	ヴェルサイユ宮殿、王立ゴブラン製作所、ギメ東洋美術館等とのコレクション調査・交流事業	自己収入	
23	高橋　さくら	イギリス・フランス	7年2月25日～3月4日	大英博物館、セントジェームス宮殿、ウィンザー城、国会議事堂（ウェストミンスター宮殿）、ヴェルサイユ宮殿とのコレクション調査・交流事業	自己収入	
24	松井　邦子	イギリス・フランス	7年2月25日～3月6日	大英博物館、セントジェームス宮殿、ウィンザー城、国会議事堂（ウェストミンスター宮殿）、ヴェルサイユ宮殿、王立ゴブラン製作所等とのコレクション調査・交流事業	自己収入	
25	周　思敏	イギリス	7年2月25日～3月1日	大英博物館、セントジェームス宮殿、ウィンザー城等とのコレクション調査・交流事業	自己収入	
26	金　昭賢	イギリス・フランス	7年2月25日～3月6日	大英博物館、セントジェームス宮殿、ウィンザー城、国会議事堂（ウェストミンスター宮殿）、ヴェルサイユ宮殿等とのコレクション調査・交流事業	自己収入	
27	島谷　弘幸	中華人民共和国	7年3月12日～3月15日	北京首都博物館、北京故宮博物院、香港中文大学文物館、香港故宮文化博物館等とのコレクション調査・交流事業	自己収入	
28	上嶋　悟史	中華人民共和国	7年3月12日～3月15日	北京首都博物館、北京故宮博物院、香港中文大学文物館、香港故宮文化博物館等とのコレクション調査・交流事業	自己収入	
29	周　思敏	中華人民共和国	7年3月12日～3月15日	北京首都博物館、北京故宮博物院、香港中文大学文物館、香港故宮文化博物館等とのコレクション調査・交流事業	自己収入	
30	瀬谷　愛	オランダ	7年3月24日～3月28日	ヘット・ローン宮殿、アムステルダム国立美術館等とのコレクション調査・交流事業	自己収入	
31	松岡　広樹	オランダ	7年3月22日～3月29日	アムステルダム王宮、ヘット・ローン宮殿、ハーグ宮殿、アムステルダム国立美術館等とのコレクション調査・交流事業	自己収入	
32	田中　純一朗	オランダ	7年3月22日～3月29日	アムステルダム王宮、ヘット・ローン宮殿、ハーグ宮殿、アムステルダム国立美術館等とのコレクション調査・交流事業	自己収入	
33	松井　邦子	オランダ	7年3月22日～3月29日	アムステルダム王宮、ヘット・ローン宮殿、ハーグ宮殿、アムステルダム国立美術館等とのコレクション調査・交流事業	自己収入	
34	金　昭賢	オランダ	7年3月22日～3月29日	アムステルダム王宮、ヘット・ローン宮殿、ハーグ宮殿、アムステルダム国立美術館等とのコレクション調査・交流事業	自己収入	

【東京文化財研究所】延べ　97名

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
1	久保田　裕道	韓国	4月11日～4月15日	国際会議への出席	先方負担	
2	二神　葉子	タイ	4月23日～4月27日	日本製漆工品に関する調査研究	運営費	
3	前川　佳文	イタリア	5月7日～5月31日	ポンペイ遺跡における壁画の調査研究	科研費 運営費	
4	早川　典子	韓国	5月12日～5月15日	絵画修復に使用する絹に関する協議と調査	先方負担	
5	江村　知子	ドイツ	6月27日～7月1日	シンポジウム参加・招待発表	先方負担	
6	小林公治	中国	5月18日～5月24日	調査	科研費	
7	加藤　雅人	スイス	5月23日～5月29日	絵画作品調査	運営費	
8	大川　柚佳	スイス	5月23日～5月29日	絵画作品調査	運営費	
9	友田　正彦	ブータン	5月11日～5月23日	ブータンにおける民家保存活用に関する調査	科研費	
10	金井　健	ブータン	5月11日～5月23日	ブータンにおける民家保存活用に関する調査	科研費	
11	黒岩　千尋	ブータン	5月11日～5月23日	ブータンにおける民家保存活用に関する調査	科研費	
12	石村　智	台湾	5月13日～5月15日	東海大学にて日本の無形文化遺産に関する講演を行う	先方負担	
13	安倍　雅史	サウジアラビア	5月24日～6月6日	サウジアラビア王国マスイユーン遺跡の発掘調査	先方負担	

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
14	大和　あすか	韓国	5月23日～5月26日	国際学術大会の発表	先方負担	
15	田代　裕一朗	韓国	6月14日～6月20日	会議、実見調査	助成金	
16	久保田　裕道	ブータン	6月21日～7月3日	祭礼調査	科研費	
17	江村　知子	イギリス アイルランド	9月9日～9月15日	作品調査	科研費	
18	島田　潤	ドイツ	9月16日～9月23日	IPM-CH 2024への参加	科研費 運営費	
19	友田　正彦	カンボジア	6月23日～7月3日	アンコール・タネイ寺院遺跡の保全整備	運営費	
20	黒岩　千尋	タイ カンボジア	6月9日～6月27日	SPAFACOM2024への参加（タイ） アンコール・タネイ寺院遺跡の保全整備	運営費	
21	金井　健	インド共和国	7月23日～7月31日	第４６回世界遺産委員会への参加	運営費	
22	前川　佳文	トルコ イタリア	6月24日～7月13日	共同研究に係る打合せ及び石造文化財保存に係る研究	運営費	
23	小林公治	タイ 中国（台北）	7月10日～7月21日	調査、協議	科研費	
24	藤井　郁乃	インド	7月18日～8月13日	第４６回世界遺産委員会への出席	運営費	
25	二神　葉子	インド	7月22日～7月31日	第４６回世界遺産委員会への出席	運営費	
26	松浦　一之介	インド	7月19日～8月1日	第４６回世界遺産委員会への出席　他視察	運営費	
27	小林公治	中国	8月3日～8月14日	調査、協議	科研費	
28	石村　智	中国	7月14日～7月17日	ユネスコ・シンポジウム参加	先方負担	
29	金子　雄太郎	インド	7月12日～7月31日	第４６回世界遺産委員会に係る ヤングプロフェッショナルフォーラムへの参加	先方負担	
30	早川　典子	イギリス ドイツ	11月2日～11月10日	海外における東洋絵画展示条件の実態調査	科研費	
31	淺田　なつみ	ネパール	7月15日～7月24日	ネパールにおける民家保存活用に関する調査	運営費	
32	黒岩　千尋	ネパール	7月15日～7月24日	ネパールにおける民家保存活用に関する調査	運営費	
33	石村　智	ニュージーランド	7月29日～8月4日	マテリアマインド科研による調査	科研費	
34	友田　正彦	ブータン	8月11日～8月24日	ブータンにおける民家保存活用に関する調査	科研費	
35	黒岩　千尋	カンボジア ブータン	8月7日～8月24日	アンコール遺跡群保護区域調査 ブータンにおける民家保存活用に関する調査	科研費 運営費 助成金	
36	山田　綾乃	エジプト	8月4日～8月31日	クフ王第２の船遺跡部材実測調査 北サッカラ遺跡発掘、同時代資料調査	科研費	
37	早川　典子	中国	9月23日～9月27日	壁画の保存修復に関する調査及び交流会	受託（文化庁）	
38	倉島　玲央	中国	9月23日～9月27日	壁画の保存修復に関する調査及び交流会	受託（文化庁）	
39	大和　あすか	中国	9月23日～9月27日	壁画の保存修復に関する調査及び交流会	受託（文化庁）	
40	趙　依寧	中国	9月23日～9月27日	壁画の保存修復に関する調査及び交流会	受託（文化庁）	
41	友田　正彦	モンゴル	7月28日～8月3日	「世界遺産文化的景観保存」 モンゴル・日本シンポジウム出席	先方負担 運営費	
42	金子　雄太郎	韓国	9月2日～9月7日	国際協力調査	受託（文化庁）	

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
43	田代　裕一朗	韓国	9月2日～9月9日	国際協力調査	受託(文化庁)	
44	前川　佳文	イタリア	8月29日～9月14日	スタッコ装飾に係る共同研究打合せ	運営費 科研費	
45	田代　裕一朗	韓国	9月23日～9月27日	研究書執筆のための調査	先方負担	
46	友田　正彦	バーレーン サウジアラビア	10月1日～10月12日	ディルムン古墳群などの調査(バーレーン) Qaryat al Faw国際シンポジウム参加(サウジ)	運営費 先方負担	
47	安倍　雅史	バーレーン サウジアラビア	10月1日～10月12日	ディルムン古墳群などの調査(バーレーン) Qaryat al Faw国際シンポジウム参加(サウジ)	運営費 先方負担	
48	山田　綾乃	バーレーン サウジアラビア	10月1日～10月12日	ディルムン古墳群などの調査(バーレーン) Qaryat al Faw国際シンポジウム参加(サウジ)	運営費 先方負担	
49	石村　智	ドイツ	9月8日～9月18日	メロエ学国際学会への参加	科研費	
50	大和　あすか	韓国	12月20日～12月23日	絵入本学会ワークショップの研究発表	科研費	
51	倉島　玲央	カナダ	10月12日～10月19日	色料の光褪色に関する視察・協議	科研費	
52	小林　公治	メキシコ	9月6日～9月21日	メキシコ合衆国における調査と協議	科研費	
53	小林　公治	ポルトガル	10月5日～10月21日	ポルトガル国内における調査、協議	科研費	
54	小野　真由美	アメリカ	9月23日～9月29日	メトロポリタン美術館における調査研究	科研費	
55	淺田　なつみ	バーレーン	10月1日～10月6日	ディルムン古墳等の調査（バーレーン）	科研費 先方負担	
56	松浦　一之介	イタリア	10月14日～11月1日	世界遺産研究協議会に係る現地調査	運営費	
57	金井　健	ブラジル	11月12日～11月21日	国際イコモス総会および研究集会への出席	運営費	
58	前川　佳文	トルコ	10月25日～11月9日	壁画の保存修復に係る共同研究	運営費	
59	犬塚 将英	フィリピン	10月13日～10月15日	第５回世界津波博物館会議への出席	先方負担	
60	久保田　裕道	韓国	10月19日～11月2日	研究交流会・国際会議	運営費 先方負担	
61	小林　公治	ベトナム	11月1日～11月10日	ベトナム調査	科研費	
62	二神　葉子	タイ	10月29日～11月5日	式典参加及び漆工品の原材料に関する調査	運営費	
63	倉島　玲央	タイ	10月31日～11月5日	漆工品の原材料に関する調査	運営費	
64	鎌田　紗弓	ニュージーランド	1月7日～1月17日	国際学術会議48th ICTMD World Conference発表	科研費	
65	江村　知子	ポーランド	11月17日～11月21日	絵画作品調査	運営費	
66	加藤　雅人	ポーランド	11月18日～11月22日	絵画作品調査	運営費	
67	石渡　美鈴	ポーランド	11月18日～11月22日	絵画作品調査	運営費	
68	芳賀　文絵	韓国	11月7日～11月9日	韓国文化財保存科学会発表	運営費	
69	千葉　毅	韓国	11月7日～11月9日	韓国文化財保存科学会発表	運営費	
70	前川　佳文	エジプト	11月19日～12月7日	壁画及び考古遺物の保存修復に係る調査	科研費 運営費	
71	江村　知子	アメリカ	1月26日～1月31日	絵画作品調査	科研費	

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
72	黒岩　千尋	カンボジア ベトナム	12月1日～12月26日	・アンコール・タネイ寺院遺跡保全整備 ・フランス植民地時代のベトナム及びカンボジアの遺跡保護に関する史料調査	助成金 運営費	
73	山田　綾乃	カンボジア	11月27日～12月26日	アンコール・タネイ寺院遺跡の保全整備	運営費	
74	石村　智	パラグアイ	11月30日～12月10日	ユネスコ政府間委員会への参加	運営費	
75	二神　葉子	パラグアイ	11月30日～12月10日	ユネスコ政府間委員会への参加	運営費	
76	友田　正彦	カンボジア	12月14日～12月31日	アンコール・タネイ寺院遺跡の保全整備	運営費	
77	淺田　なつみ	カンボジア ネパール	12月15日～12月28日	アンコール・タネイ寺院遺跡の保全整備 ネパールにおける民家保存活用に関する調査	運営費	
78	片渕 奈美香	イギリス	12月8日～12月16日	染織品の調査研究	科研費	
79	橘川　英規	イギリス	2月25日～3月3日	セインズベリー日本藝術研究所との共同事業に係る講演　他	運営費	
80	安倍　雅史	バーレーン	1月7日～2月14日	アアリ西遺跡の発掘調査 歴史的なイスラム墓碑の３次元計測	科研費 運営費	
81	長尾　琢磨	バーレーン	1月23日～2月14日	アアリ西遺跡の発掘調査 歴史的なイスラム墓碑の３次元計測	科研費 運営費	
82	前川　佳文	イタリア	1月12日～1月24日	塑像に係る共同調査	運営費 科研費	
83	田代　裕一朗	イギリス	2月24日～3月3日	セインズベリー日本藝術研究所との共同事業に係る講演随行、協議、調査	運営費	
84	石村　智	パラオ	1月17日～1月25日	パラオにおける水中文化遺産の調査	科研費	
85	石村　智	シンガポール	2月21日～2月24日	海港都市の景観に関する調査	科研費	
86	小林　公治	ポルトガル	1月17日～1月28日	ポルトガル国内における調査、協議	科研費	
87	田代　裕一朗	韓国	2月3日～2月6日	半島由来文物の制作地(生産地)における研究情報調査	科研費	
88	黒岩　千尋	カンボジア ベトナム	2月22日～3月12日	アンコール・西トップ寺院の発掘調査、フランス植民地時代のベトナムおよびカンボジアの遺跡保護に関する史料調査	助成金 先方負担	
89	前川　佳文	メキシコ イタリア クロアチア	2月23日～3月19日	塑像に係る研究調査および壁画の保存状態調査	先方負担 運営費	
90	前原　恵美	韓国	2月8日～2月12日	韓国伝統管楽器調査	科研費	
91	武　瀟瀟	中国	2月25日～2月28日	上海博物館所蔵日本・中国絵画作品調査	科研費	
92	淺田　なつみ	イラン	2月28日～3月16日	イランの農業遺産の建築構法および建築技術者に関する調査	科研費	
93	山田　綾乃	カンボジア	2月22日～3月1日	カンボジア王国西トップ遺跡における発掘調査	先方負担	
94	金井　健	アメリカ	3月5日～3月12日	近現代建築の保存実態に関する調査	科研費	
95	田代　裕一朗	韓国	3月17日～3月22日	半島由来文物の制作地(生産地)における研究情報調査(2次)	科研費	
96	小林　公治	イギリス	3月13日～3月24日	ロンドン市内各所における調査、協議	科研費	
97	小野　真由美	台湾	3月12日～3月14日	国立台湾大学での協議	運営費	

【奈良文化財研究所】延べ　88人

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
1	庄田　慎矢	アメリカ合衆国	4月15日～4月22日	SAA（アメリカ考古学会）第89回会議での研究発表	科研費	
2	笠原　朋与	韓国	5月6日～5月9日	韓国国立文化財研究院との共同研究（資料調査）	運営費交付金・先方負担	
3	庄田　慎矢	韓国	5月6日～5月9日	韓国国立文化財研究院との共同研究（資料調査）	運営費交付金・先方負担	
4	庄田　慎矢	ウズベキスタン	6月8日～6月15日	ウズベキスタン拠点交流における現地研修	運営費交付金	
5	笠原　朋与	ウズベキスタン	6月8日～6月15日	ウズベキスタン拠点交流における現地研修	運営費交付金	
6	佐々木　由香	ウズベキスタン	6月7日～6月15日	ウズベキスタン拠点交流における現地研修	運営費交付金	
7	中田　愛乃	ウズベキスタン	6月8日～6月15日	ウズベキスタン拠点交流における現地研修	運営費交付金	
8	荻山　琴美	ウズベキスタン	6月8日～6月15日	ウズベキスタン拠点交流における現地研修	運営費交付金	
9	清野　孝之	韓国	4月29日～5月3日	韓国所在文化財等の調査	京都大学　大学運営費	
10	田村　朋美	中国	5月8日～5月11日	中国博山古代ガラス関連遺物・遺跡の現地調査および学術交流	科研費	
11	谷澤　亜里	中国	5月8日～5月11日	中国博山古代ガラス関連遺物・遺跡の現地調査および学術交流	科研費	
12	山本　祥隆	韓国	5月9日～5月12日	韓国木簡学会学術大会への参加・研究発表	奈良女子大学教育研究費・先方負担（韓国木簡学会）	
13	前田　仁暉	アメリカ合衆国	5月11日～6月9日	アリゾナ大学年輪研究室研修会参加、およびそれに関わる米国南西部の歴史文化展示・植生視察	科研費	
14	廣瀬　覚	韓国	6月26日～6月29日	咸平金山里方台形古墳史跡指定国際学術大会への参加	先方負担	
15	山藤　正敏	カンボジア	7月10日～7月16日	カンボジア王国西トップ遺跡出土資料の調査	科研費	
16	庄田　慎矢	イギリス	6月30日～7月7日	資料調査およびシンポジウム参加	科研費・先方負担	
17	楊　曼寧	中国	5月8日～5月11日	ガラス関連資料・遺跡調査、学術交流	科研費	
18	惠谷　浩子	台湾	7月4日～7月7日	台南市の文化的景観に関する現地調査	科研費	
19	小浦　久子	台湾	7月4日～7月7日	台南市の文化的景観に関する現地調査	科研費	
20	加藤　真二	中国	8月15日～8月26日	山東省における学術交流と河北省における泥河湾国際シンポへの出席と報告（ユーラシア東部における細石刃石器群の出現と拡散）	科研費・先方負担	
21	星野　安治	台湾	6月25日～6月28日	台湾中央研究院歴史研究所で実施する国際検討会への参加および同研究所における資料調査	科研費	
22	山藤　正敏	キルギス	8月5日～8月24日	キルギス共和国チュー渓谷東部における考古学調査	科研費	
23	下岡　順直	キルギス	8月5日～8月11日	キルギス共和国チュー渓谷東部における考古学調査	科研費	
24	山本　祥隆	台湾	6月25日～6月28日	台湾中央研究院歴史研究所で実施する国際検討会への参加および同研究所における資料調査	科研費	
25	鈴木　智大	韓国	6月13日～6月15日	国際シンポジウムへの出席	先方負担・科研費	
26	浦　蓉子	台湾	6月25日～6月28日	台湾中央研究院歴史研究所で実施する国際検討会への参加および同研究所における資料調査	科研費	
27	田村　朋美	韓国	8月26日～8月29日	ICG2024（国際会議）に参加、研究発表	科研費	
28	小田　裕樹	韓国	10月23日～10月26日	国立慶州文化遺産研究所主催国際シンポジウムでの発表のため	先方負担	
29	本中　眞	モンゴル	7月28日～1月8日	ウランバートルでの国際シンポジウム、ハラホリンにて寺院調査	先方負担	
30	山口　欧志	ベトナム	7月22日～7月26日	ACCUユネスコ・アジア文化センター主催「文化遺産ワークショップ」事前協議	先方負担	
31	廣瀬　覚	中国	9月4日～9月13日	早稲田大学と中国社会科学院考古研究所が遂行する日本学術振興会二国間交流事業「日中古代都城の調査方法に関する比較考古学的研究」遂行にともなう中国訪問	先方負担	
32	岩戸　晶子	韓国	8月5日～8月9日	「日本の古代都城並びに韓国古代王京の形成と発展過程に関する共同研究」における資料調査	運営費交付金・先方負担	
33	鈴木　智大	中国	8月1日～8月5日	陝西省西安における建築史的調査	科研費	

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
34	廣瀬　覚	韓国	11月13日～11月16日	大韓民国国立扶余文化遺産研究所主催「古代東アジアと百済の葬送儀礼」国際学術大会への参加	先方負担	
35	鈴木　智大	中国	8月13日～8月22日	国際シンポジウムへの出席、中国北京・山西省における建築史的調査	科研費	
36	岩永　玲	韓国	8月5日～8月9日	「日本の古代都城並びに韓国古代王京の形成と発展過程に関する共同研究」における資料調査	運営費交付金・先方負担	
37	道上　祥武	韓国	8月5日～8月9日	「日本の古代都城並びに韓国古代王京の形成と発展過程に関する共同研究」における資料調査	運営費交付金・先方負担	
38	笠原　朋与	トルコ	9月16日～9月26日	チャクマックテペ（トルコ）遺跡発掘調査・出土資料の調査	先方負担 科研費	
39	庄田　慎矢	韓国	9月2日～9月5日	文化遺産国際協力コンソーシアム　国際協力調査	先方負担（東文研）	
40	清野　孝之	イギリス	9月13日～9月22日	英国所在文化財の調査	京都大学　大学運営費	
41	加藤　真二	中国	11月29日～12月5日	中国科学院古脊椎動物与古人類研究所での資料観察、北京原人発見95周年記念シンポジウムへの参加	科研費	
42	柳　成煜	モンゴル	9月30日～10月6日	古代東アジアにおける彩色顔料の期限と流通経路に関する自然科学的研究（モンゴル現地調査）	助成金	
43	石橋　茂登	韓国	10月21日～10月25日	日韓共同研究「日韓における古墳・寺院・都城の造営と儀礼執行をめぐる比較研究」にかかる調査	運営費交付金・先方負担	
44	廣瀬　覚	韓国	10月21日～10月25日	日韓共同研究「日韓における古墳・寺院・都城の造営と儀礼執行をめぐる比較研究」にかかる調査	運営費交付金・先方負担	
45	庄田　慎矢	イタリア・ドイツ	11月18日～12月17日	研究打合せ、国際シンポジウム参加、講義・実習、協議	科研費・先方負担	
46	垣中　健志	韓国	10月1日～11月29日	国立慶州文化遺産研究所での発掘交流への派遣と日韓共同研究への参加	運営費交付金 先方負担	
47	桑田　訓也	韓国	10月14日～10月16日	韓国出土木簡調査	運営費交付金・先方負担	
48	山本　祥隆	韓国	10月14日～10月16日	韓国出土木簡調査	運営費交付金・先方負担	
49	谷澤　亜里	韓国	10月21日～10月25日	日韓共同研究「日韓における古墳・寺院・都城の造営と儀礼執行をめぐる比較研究」にかかる調査	運営費交付金 先方負担	
50	中島　義晴	韓国	10月20日～10月24日	伝統造園国際学術大会での発表および現場踏査参加	運営費交付金・先方負担	
51	山口　欧志	ベトナム	10月19日～10月28日	ACCUユネスコ・アジア文化センター主催「文化遺産ワークショップ」	先方負担（ACCU）	
52	丹羽　崇史	中国	11月1日～11月7日	侯馬陶范技術与芸術国際学術研討会での発表・参加、資料調査	科研費	
53	山藤　正敏	カンボジア	12月8日～12月15日	文化芸術省における打合せ、ICC-Angkorへの参加	科研費	
54	国武　貞克	カザフスタン	11月17日～11月25日	国際会議出席	先方負担	
55	惠谷　浩子	中国	11月21日～11月26日	リビング・ヘリテージと持続可能な開発に関する国際シンポジウムへの参加と講演	先方負担	
56	廣瀬　覚	中国	7年1月16日～1月22日	国宝高松塚・キトラ古墳壁画の研究・公開活用業務遂行にかかる中華人民共和国における関連古墳・遺跡および展示の視察	文化庁受託	
57	石橋　茂登	中国	7年1月16日～1月22日	国宝高松塚・キトラ古墳壁画の研究・公開活用業務遂行にかかる中華人民共和国における関連古墳・遺跡および展示の視察	文化庁受託	
58	濵村　美緒	中国	7年1月16日～1月22日	国宝高松塚・キトラ古墳壁画の研究・公開活用業務遂行にかかる中華人民共和国における関連古墳・遺跡および展示の視察	文化庁受託	
59	山本　祥隆	韓国	7年1月7日～1月9日	慶北大学人文学術院HK+事業団第6回国際学術大会への参加および報告	先方負担	
60	山藤　正敏	カンボジア	7年2月22日～3月9日	カンボジア王国西トップ遺跡における発掘調査	科研費	
61	内田　和伸	韓国	12月4日～12月8日	石造物調査・宮殿等整備活用状況調査（内田科研　基盤研究C「近代庭園における遺跡由来石造物の取り扱いとインタープリテーションに関する研究」）	科研費	
62	笠原　朋与	バーレーン	7年1月23日～2月7日	アアリ古墳群西遺跡発掘調査	先方負担（東文研・基盤A）	
63	楊　萌	中国	7年1月16日～1月22日	国宝高松塚・キトラ古墳壁画の研究・公開活用業務遂行にかかる中華人民共和国における関連古墳・遺跡および展示の視察	文化庁受託	
64	大林　潤	カンボジア	7年2月26日～3月2日	カンボジア西トップ遺跡調査建造物調査	運営費交付金	
65	髙野　麗	カンボジア	7年2月26日～3月2日	カンボジア西トップ遺跡調査建造物調査	運営費交付金	
66	栗山　雅夫	中国	7年1月16日～1月22日	国宝高松塚・キトラ古墳壁画の研究・公開活用業務遂行にかかる中華人民共和国における関連古墳・遺跡および展示の視察	文化庁受託	

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
67	二村　真司	中国	7年1月16日～1月22日	国宝高松塚・キトラ古墳壁画の研究・公開活用業務遂行にかかる中華人民共和国における関連古墳・遺跡および展示の視察	文化庁受託	
68	石橋　茂登	韓国	7年2月16日～2月21日	初期仏教関連資料の調査およびシンポジウム参加	科研費	
69	廣瀬　覚	韓国	7年2月16日～2月21日	初期仏教関連資料の調査およびシンポジウム参加	科研費	
70	山口　欧志	インド	7年1月2日～1月8日	ムンバイ　カンヘーリー石窟群の調査指導・助言	先方負担	
71	高田　祐一	韓国	7年2月10日～2月12日	韓国国立文化研究院との意見交換会及び国立博物館の多言語化調査	運営費交付金	
72	Dudko Anastasiia	韓国	7年2月10日～2月12日	韓国国立文化研究院との意見交換会及び国立博物館の多言語化調査	運営費交付金	
73	張　賢雅	韓国	7年2月10日～2月12日	韓国国立文化研究院との意見交換会及び国立博物館の多言語化調査	運営費交付金	
74	楊　雅琲	韓国	7年2月10日～2月12日	韓国国立文化研究院との意見交換会及び国立博物館の多言語化調査	運営費交付金	
75	高田　祐一	イギリス	7年3月2日～3月9日	ARIADNE RI関係者との意見交換	受託	
76	武内　樹治	イギリス	7年3月2日～3月9日	ARIADNE RI関係者との意見交換	受託	
77	山藤　正敏	ウズベキスタン	7年3月2日～3月8日	ウズベキスタン共和国における情報収集に係る現地調査・協議	先方負担	
78	神谷　友理子	韓国	7年2月7日～2月11日	宮殿建築等の調査	国交省受託	
79	横山　舜	韓国	7年2月7日～2月11日	宮殿建築等の調査	国交省受託	
80	笠原　朋与	アルメニア	7年3月1日～3月13日	アルメニア・レルナゴーク遺跡出土の資料調査	先方負担	
81	国武　貞克	カザフスタン	7年3月7日～3月19日	発掘資料の整理	科研費	
82	須賀　永帰	カザフスタン	7年3月7日～3月19日	発掘資料の整理	科研費	
83	浦　蓉子	中国	7年3月12日～3月17日	西安・洛陽の瓦窯関連資料の調査	運営費交付金・先方負担	
84	田中　龍一	中国	7年3月12日～3月17日	西安・洛陽の瓦窯関連資料の調査	運営費交付金・先方負担	
85	我妻　佑哉	中国	7年3月12日～3月17日	西安・洛陽の瓦窯関連資料の調査	運営費交付金・先方負担	
86	道上　祥武	中国	7年3月12日～3月17日	西安・洛陽の瓦窯関連資料の調査	運営費交付金・先方負担	
87	岩永　玲	中国	7年3月12日～3月17日	西安・洛陽の瓦窯関連資料の調査	運営費交付金・先方負担	
88	楊　雅琲	イギリス	7年3月4日～3月9日	ARIADNE RI関係者との意見交換	受託	

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】延べ　10人

	氏名	用務先	期間	用務	経費	備考
1	町田　大輔	フランス	6月10日～15日	第10回ユネスコ無形文化遺産保護条約締約国会議及びC2C年次会合出席	文化庁受託	
2	野嶋　洋子	フランス	6月10日～15日	第10回ユネスコ無形文化遺産保護条約締約国会議及びC2C年次会合出席	文化庁負担	
3	松山　ひとみ	オーストラリア	10月14日～19日	動向調査及びFantastic Futures Canberra 2024 Conferenceへの参加	科学研究費補助金	
4	野嶋　洋子	韓国	10月16日～19日	2024 ICH World Forumへにパネリストとして参加	先方負担	
5	野嶋　洋子	中国	10月20日～24日	UNESCO-WHIPIC-WHITRAPワークショップへの参加 及びIRDR国際会議セッションへの参加	文化庁受託	
6	辻　貴志	バングラディシュ	10月24日～28日	11th Asian Buffalo Congress (Bangladesh)での 基調発表	科研（辻）	
7	町田　大輔	中国	11月25日～28日	CRIHAP事例報告会への参加	先方負担	
8	宮下　真理子	中国	11月25日～28日	CRIHAP事例報告会への参加	先方負担	
9	野嶋　洋子	パラグアイ	11月28日～12月10日	無形文化遺産保護条約政府間委員会(19.COM)への参加	文化財保存活用基金	
10	山本　倫未	パラグアイ	11月28日～12月10日	無形文化遺産保護条約政府間委員会(19.COM)への参加	文化財保存活用基金	

c-② 調査研究テーマ一覧

令和7年3月31日現在

国立文化財機構合計	博物館計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	皇居三の丸尚蔵館
	89 件	43 件	15 件	12 件	10 件	9 件
169 件	文化財研究所計	東京文化財研究所		奈良文化財研究所		
	73 件	22 件		51 件		
	アジア太平洋無形文化遺産研究センター	本部文化財活用センター		本部文化財防災センター		
	1 件	2 件		4 件		

【本部文化財活用センター】　2件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する研究　1件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	レプリカやVR等先端技術を使った、文化財の活用についての調査・研究	文化財活用センター	企画担当課長　藤田千織

○その他有形文化財に関連する調査研究　1件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	展示・収蔵環境の管理と改善に関する調査研究	文化財活用センター	保存担当課長　吉田直人

【本部文化財防災センター】　4件

○レスキュー及び収蔵・展示における技術開発　4件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	文化財建造物及び展示収蔵環境の防火対策に関する研究	文化財防災センター	文化財防災統括リーダー　小谷竜介
2	災害時の一時保管施設の確保と環境整備に関する調査研究	文化財防災センター	文化財防災統括リーダー　小谷竜介
3	文化財の災害リスクの所在とその対処手法に関する研究	文化財防災センター	文化財防災統括リーダー　小谷竜介
4	けいはんなオープンイノベーションセンターにおける一時保管体制の構築	文化財防災センター	文化財防災統括リーダー　小谷竜介

【東京国立博物館】　43件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する研究　41件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1.	a.特別調査「法隆寺献納宝物」（第44次）	学芸研究部	調査研究課長　小山弓弦葉
2.	b.特別調査「書跡」（第19回）	学芸研究部	調査研究課長　小山弓弦葉
3.	c.特別調査「工芸」第14回	学芸研究部	調査研究課長　小山弓弦葉
4.	d.特別調査「彫刻」第12回	学芸研究部	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕
5.	e.特別調査「絵画」第9回	学芸研究部	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕
6.	f.特別調査「考古」第2回	学芸研究部	企画課海外展室長　品川　欣也
7.	g.特別調査「東洋」第1回	学芸研究部	調査研究課東洋室長　三笠景子
8.	関東地域の社寺所蔵文化財に関する調査研究	学芸研究部	調査研究課長　小山弓弦葉
9.	収蔵品等の有形文化財に関する調査研究	学芸研究部	調査研究課長　小山弓弦葉
10.	東洋民族に関する調査研究	学芸企画部	調査研究課工芸室長　猪熊兼樹
11.	特集「行道面 ほとけを演じるための仮面」に関連する調査研究	学芸研究部	博物館教育課教育普及室長　川岸瀬里
12.	特集「親と子のギャラリー　よりそう動物たち―家族、仲間のすがたとかたち―」に関連する調査研究	学芸研究部	博物館教育課教育講座室主任研究員　横山梓
13.	特集「阿弥陀如来のすがた」に関連する調査研究	学芸研究部	列品管理課登録室主任研究員　西木政統
14.	特集「吉野と熊野―山岳霊場の遺宝―」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課工芸室主任研究員　清水健
15.	特集「人間国宝・平田郷陽の人形―生人形から衣裳人形まで―」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課長　小山弓弦葉
16.	特集「江戸時代の図譜文化―堀田正敦編『禽譜』とその魅力」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課書跡・歴史室研究員　長倉
17.	特集「没後100年・黒田清輝と近代絵画の冒険者たち」に関連する調査研究	学芸研究部	学芸研究部　吉田暁子
18.	特集「能面に見る写しの文化」に関連する調査研究	学芸研究部	博物館教育課教育普及室長　川岸瀬里
19.	特集「令和5年度新収品」に関連する調査研究	学芸研究部	保存科学課保存修復室主任研究員　大橋美織
20.	特集「やきものを彩る金と銀」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課東洋室長　三笠景子
21.	特集「モダンきもの―名門「大彦」の東京ファッション―」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課長　小山弓弦葉
22.	特集「中国書画精華-宋・元時代の名品-」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課絵画・彫刻室主任研究員　植松瑞希

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
23.	特集「遊牧のくらしとテキスタイル―バローチを中心に―」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課工芸室研究員　沼沢ゆかり
24.	特集「日本の伝統模様「雪」」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課長　小山弓弦葉
25.	特集「博物館に初もうで―ヘビ～なパワ～を巳（み）たいの蛇（じゃ）！―」に関連する調査研究	学芸研究部	博物館教育課ボランティア室長　小野塚拓造
26.	特集「拓本のたのしみ―明清文人の世界―」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課東洋室研究員　六人部克典
27.	特集「おひなさまと日本の人形」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課工芸室研究員　沼沢ゆかり
28.	館蔵の埴輪等資料に関する調査研究	学芸企画部	調査研究課考古室長　井出浩正
29.	特別展「法然と極楽浄土」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課書跡・歴史室研究員　長倉絵梨子
30.	特別企画「内藤礼　生まれておいで 生きておいで」に関連する調査研究	学芸企画部	学芸企画部上席研究員　鬼頭智美
31.	海外展「三国三色―東アジアの漆器」に関連する調査研究	学芸企画部	企画課特別展室主任研究員　福島修
32.	創建1200年記念　特別展「神護寺―空海と真言密教のはじまり」に関連する調査研究	学芸企画部	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一
33.	挂甲の武人　国宝指定50周年記念　特別展「はにわ」に関連する調査研究	学芸研究部	調査研究課考古室主任研究員　河野正訓
34.	開創1150年記念　特別展「旧嵯峨御所 大覚寺―百花繚乱　御所ゆかりの絵画―」に関連する調査研究	学芸企画部	博物館教育課教育講座室長　金井裕子
35.	特別展「蔦屋重三郎　コンテンツビジネスの風雲児」に関連する調査研究	学芸企画部	学芸企画部長　松嶋雅人
36.	海外展インドネシア日本国交記念企画展「染と織の道」に関連する調査研究	学芸企画部	調査研究課長　小山弓弦葉
37.	博物館環境デザインに関する調査研究	学芸企画部	企画課デザイン室長　矢野賢一
38.	博物館教育に関する調査研究	学芸企画部	博物館教育課長　鈴木みどり
39.	凸版印刷及び文化財活用センターと共同で実施するミュージアムシアターにおけるコンテンツの開発に関する調査研究	学芸企画部	博物館情報課長　村田 良二
40.	ICTを利用した博物館見学ガイドの開発に関する調査研究	学芸企画部	博物館教育課長　鈴木みどり
41.	博物館広報・国際交流活動に関する調査研究	学芸企画部	企画課国際交流室長　楊鋭

○その他有形文化財に関連する調査研究　2件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	文化財の修理・保存に関する調査研究	学芸研究部	保存修復課長　和田浩
2	博物館資料・業務の情報処理に関する調査研究	学芸企画部	博物館情報課長　村田良二

【京都国立博物館】　15件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する研究　11件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	近畿地区を中心とする社寺文化財の調査研究	学芸部	調査・国際連携室長　降矢哲男
2	訓点資料としての典籍に関する調査研究	学芸部	美術室研究員　上杉智英
3	旧家伝来品・収蔵品などの有形文化財に関する調査研究	学芸部	工芸室主任研究員　山内麻衣子
4	京都周辺出土の考古遺物に関する調査研究	学芸部	考古室長　石田由紀子
5	特集展示・特別企画に関連する調査研究	学芸部	企画室長　羽田聡
6	日本近代における中国書画の受容に関する調査研究	学芸部	美術室研究員　森橋なつみ
7	書跡及び絵画の伝来と散逸に関する調査研究	学芸部	美術室長　羽田聡
8	特別展「法然と極楽浄土」に関する調査研究	学芸部	保存修理指導室主任研究員　福士雄也
9	特別展「日本、美のるつぼ―異文化交流の軌跡―」に関する調査研究	学芸部	列品管理室長　永島明子
10	特別展「宋元仏画」に関する調査研究	学芸部	美術室研究員　森橋なつみ
11	博物館教育及びボランティアに関する調査研究	学芸部	教育室主任研究員　水谷亜希

○その他有形文化財に関連する調査研究　4件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	修復文化財に関する資料収集及び調査研究	学芸部	保存修理指導室長　福士雄也
2	文化財の製作・技法等に関わる材質構造調査・研究	学芸部	保存科学室長　降幡順子
3	社寺等における保存環境に関する調査研究	学芸部	保存科学室長　降幡順子
4	データベースやアーカイブズ等、収蔵品等情報の整理・活用に関する調査研究	総務課 学芸部	課長　森考平 列品管理室長　永島明子

【奈良国立博物館】　12件

○有形文化財の展覧事業・教育普及活動等に関連する調査研究　9件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	復元模写制作に伴う仏教絵画の調査研究	学芸部	企画室長　谷口耕生
1	復元模写制作に伴う仏教絵画の調査研究	学芸部	企画室長　谷口耕生
2	古代・中世の写経と聖教に関する基礎的研究	学芸部	列品室長　斎木涼子
3	仏教工芸・上代工芸の総合的調査	学芸部	主任研究員　三本周作
4	寺院出土品の調査研究	学芸部	教育室長　中川あや
5	南都の古代・中世の彫刻に関する調査研究	学芸部	美術室長　岩井共二
6	生誕1250年記念特別展「空海　KŪKAI ―密教のルーツとマンダラ世界」に関する調査研究	学芸部	列品室長　斎木涼子
7	特別展「第76回正倉院展」に関する調査研究	学芸部	主任研究員　三本周作
8	歴史、伝統文化の教育普及に資するための調査研究	学芸部	教育室長　中川あや
9	歴史、伝統文化の教育普及に資するための調査研究	学芸部	教育室長　中川あや

○その他有形文化財に関連する調査研究　3件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	収蔵庫・展示室・ケース内部等における環境が文化財に与える影響などに関する調査研究	学芸部	保存修理指導室長　鳥越俊行
2	文化財修理の観点からの収蔵品等の調査研究	学芸部	保存修理指導室長　鳥越俊行
3	保存科学の観点からの収蔵品等の調査研究	学芸部	保存修理指導室長　鳥越俊行

【九州国立博物館】　10件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する研究　6件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	X線CTスキャナ等による文化財の構造や製作技法に関する調査研究	学芸部博物館科学課	課長兼環境保全室長　木川りか
2	特集展示「さわって体験！本物のひみつ」に関する調査研究	展示課	課長　齋部麻矢
3	特集展示「人吉球磨の玉手箱」に関する調査研究	展示課	課長　齋部麻矢
4	挂甲の武人 国宝指定 50 周年記念 九州国立博物館開館 20 周年記念 特別展「はにわ」に関連する調査研究	学芸部	部長　白井克也
5	展示のテーマに則した解説パネル・冊子・ワークショップ等、観覧者の理解促進のための教育普及プログラムに関する調査研究	学芸部企画課	主任研究員　西島亜希子
6	文化交流展示室における障がい者向け展示解説プログラムに 関する調査研究	展示課 学芸部企画課 交流課	課長　齋部麻矢 主任研究員　一瀬智 主任研究員　西島亜木子 主任研究員　今井涼子

○その他有形文化財に関連する調査研究　4件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	文化財の材質・構造等に関する共同研究	学芸部博物館科学課	研究員　渡辺祐基
2	博物館における国内・アジア地域の文化財保存修復に関する研究	学芸部博物館科学課	保存修復室長　志賀智史
3	博物館危機管理としての持続的IPMシステムの研究	学芸部博物館科学課	課長兼環境保全室長　木川りか
4	展示収蔵環境の空気質に関する調査研究	学芸部博物館科学課	課長兼環境保全室長　木川りか

【皇居三の丸尚蔵館】　9件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する研究　7件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	展覧会「皇室のみやび」第４期「三の丸尚蔵館の名品」にかかる調査研究	学芸部	学芸部長　建石徹
2	展覧会「いきもの賞玩」にかかる調査研究	学芸部	学芸部長　建石徹
3	展覧会「花鳥風月ー水の情景・月の風景」にかかる調査研究	学芸部	学芸部長　建石徹
4	展覧会「公家の書ー古筆・絵巻・古文書／皇室の美術振興ー日本近代の絵画・彫刻・工芸」にかかる調査研究	学芸部	学芸部長　建石徹
5	展覧会「瑞祥のかたち」にかかる調査研究	学芸部	学芸部長　建石徹
6	地方展開展に関する調査研究	学芸部	学芸部長　建石徹
7	収蔵品等の有形文化財に関する調査研究	学芸部	学芸部長　建石徹

○その他有形文化財に関連する調査研究　2件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　（役職・名前）
1	収蔵品修理に関する調査	学芸部	調査・保存課長　髙梨真行
2	有形文化財に関連する国際交流・情報発信等に関する調査研究	学芸部	学芸部長　建石徹

【東京文化財研究所】　22件

(1) 新たな知見の開拓につながる基礎的・探求的な調査研究　7件

○有形文化財、伝統的建造物群に関する調査研究　4件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　（役職・名前）
1	文化財に関する調査研究成果及び研究情報の共有に関する総合的研究	文化財情報資料部	文化財アーカイブズ研究室長　米沢玲
2	日本東洋美術史の資料学的研究	文化財情報資料部	日本東洋美術史研究室長　小野真由美
3	近・現代美術に関する調査研究と資料集成	文化財情報資料部	近・現代視覚芸術研究室長　橘川英規
4	美術作品の様式表現・制作技術・素材に関する複合的研究と公開	文化財情報資料部	広領域研究室長　江村知子

○無形文化財、無形民俗文化財等に関する調査及び研究　3件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　（役職・名前）
1	重要無形文化財の保存・活用に資する調査研究等及び無形文化遺産に関わる音声・画像・映像資料のデジタル化	無形文化遺産部	無形文化財研究室長　前原恵美
2	重要無形民俗文化財の保存・活用に資する調査研究等	無形文化遺産部	無形民俗文化財研究室長　久保田裕道
3	無形文化遺産保護に関する研究交流・情報収集等	無形文化遺産部	部長　石村智

(2) 科学技術を応用した研究開発の進展等に向けた基盤的な研究　8件

○文化財の調査手法に関する研究開発の推進　1件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　（役職・名前）
1	文化財情報の分析・活用と公開に関する調査研究	文化財情報資料部	文化財情報研究室長　二神葉子

○文化財の保存修復及び保存技術等に関する調査研究　7件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　（役職・名前）
1	文化財生物劣化の分子生物学的手法による機構解明と環境調和型対策	保存科学研究センター	生物科学研究室長　佐藤嘉則
2	文化財の保存環境にかかる調査研究	保存科学研究センター	保存環境研究室長　秋山純子
3	文化財の材質・構造・状態調査に関する研究	保存科学研究センター	分析科学研究室長　犬塚将英
4	屋外文化財の保存修復計画に関する調査研究	保存科学研究センター	修復計画研究室長　朽津信明
5	文化財修復材料と伝統技法に関する調査研究	保存科学研究センター	修復材料研究室長　早川典子
6	多様な文化財の修復技術に関する調査	保存科学研究センター	修復技術研究室長　犬塚将英
7	高松塚古墳・キトラ古墳の恒久的保存に関する調査研究	保存科学研究センター	保存科学研究センター長　犬塚将英

(3) 文化遺産保護に関する国際協働　5件

○文化遺産保護に関する国際協働の総合的な推進　5件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　（役職・名前）
1	文化遺産保護に関する国際情報の収集・研究・発信	文化遺産国際協力センター	国際情報研究室長　金井健
2	アジア諸国等文化遺産保存修復協力	文化遺産国際協力センター	保存計画研究室長　安倍雅史
3	文化遺産の保存修復技術に係る国際的研究	文化遺産国際協力センター	技術支援研究室長　加藤雅人
4	国際研修	文化遺産国際協力センター	技術支援研究室長　加藤雅人
5	在外日本古美術品保存修復協力事業	文化遺産国際協力センター	技術支援研究室長　加藤雅人

(4) 文化財に関する情報資料の収集・整備及び調査研究成果の公開・活用　2件

○文化財情報基盤の整備・充実　2件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　（役職・名前）
1	文化財情報基盤の整備・充実	文化財情報資料部	文化財情報研究室長　二神葉子
2	専門的アーカイブと総合的レファレンスの拡充	文化財情報資料部	文化財アーカイブズ研究室長 米沢玲

【奈良文化財研究所】　51件

(1) 新たな知見の開拓につながる基礎的・探求的な調査研究　18件

○有形文化財、伝統的建造物群に関する調査研究　2件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	歴史的建造物及び伝統的建造物群の保存・修復・活用の実践的研究	文化遺産部	建造物遺構研究室長　鈴木智大
2	近畿を中心とする古寺社等所蔵の歴史資料等に関する調査研究	文化遺産部	文化遺産部長　吉川聡

○記念物、文化的景観、埋蔵文化財に関する調査研究　16件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	我が国の記念物に関する調査研究（遺跡等整備）	文化遺産部	遺跡研究室長　高橋知奈津
2	我が国の記念物に関する調査研究（庭園）	文化遺産部	遺跡研究室長　高橋知奈津
3	平城宮跡及び藤原宮跡の管理に関する調査研究	宮跡管理プロジェクトチーム	上席研究員　中島義晴
4	平城宮・京跡の発掘調査	都城発掘調査部（平城）	都城発掘調査部副部長　今井晃樹
5	藤原宮・京跡及び飛鳥地域等の発掘調査	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）	都城発掘調査部長　箱崎和久
6	平城宮・京跡出土遺物・遺構の調査・研究	都城発掘調査部（平城） 文化遺産部	都城発掘調査部副部長　今井晃樹
7	飛鳥・藤原京跡出土遺物・遺構に関する調査研究等	都城発掘調査部（飛鳥・藤原） 文化遺産部	都城発掘調査部長　箱崎和久
8	東アジアにおける工芸技術及び飛鳥時代の建築遺物等の研究	飛鳥資料館	学芸室長　石橋茂登
9	中国との共同研究	都城発掘調査部	都城発掘調査部副部長　今井晃樹
10	韓国との共同研究	都城発掘調査部	都城発掘調査部長　箱崎和久
11	文化的景観及びその保存・活用に関する調査研究	文化遺産部	景観研究室長　惠谷浩子
12	全国の埋蔵文化財に関する基盤的な調査研究	埋蔵文化財センター	遺跡調査技術研究室長　金田明大
13	古代官衙・集落遺跡に関する研究集会の開催及び報告書の刊行	都城発掘調査部	都城発掘調査部副部長　今井晃樹
14	古代瓦に関する研究集会の開催及び報告書刊行	都城発掘調査部	都城発掘調査部副部長　今井晃樹
15	出土文字資料の拠点的研究	文化遺産部	歴史史料研究室長　山本崇
16	水中文化遺産に関する調査研究	水中遺跡プロジェクトチーム	副所長　加藤真二

(2) 科学技術を応用した研究開発の進展等に向けた基盤的な研究　11件

○文化財の調査手法に関する研究開発の推進　5件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	埋蔵文化財の探査・計測方法の研究開発	埋蔵文化財センター	遺跡調査技術研究室長　金田明大
2	年輪年代学研究	埋蔵文化財センター	年代学研究室長　星野安治
3	動植物遺存体の分析方法の研究開発	埋蔵文化財センター	環境考古学研究室長　山崎健
4	文化財の調査・研究成果を社会・教育実装するためのICTを用いた普及・啓発手法の開発	埋蔵文化財センター	遺跡調査技術研究室長　金田明大
5	物質文化・地質情報等を基とした防災・減災・復興・復旧の歴史的研究	埋蔵文化財センター	主任研究員　村田泰輔

○文化財の保存修復及び保存技術等に関する調査研究　6件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	考古遺物の保存処理法に関する調査研究	埋蔵文化財センター	保存修復科学研究室長　脇谷草一郎
2	遺構の安定した保存のための維持管理方法に関する調査研究	埋蔵文化財センター	保存修復科学研究室長　脇谷草一郎
3	考古遺物を中心とした文化財の材質調査に関する調査研究	埋蔵文化財センター	保存修復科学研究室長　脇谷草一郎
4	高松塚古墳の壁画等の調査及び保存・活用に関する技術的な協力	文化遺産部 都城発掘調査部 埋蔵文化財センター 飛鳥資料館	古墳壁画室長　廣瀬覚
5	キトラ古墳の壁画等の調査及び保存・活用に関する技術的な協力	文化遺産部 都城発掘調査部 埋蔵文化財センター 飛鳥資料館	古墳壁画室長　廣瀬覚
6	遺跡現地における壁画の安定した保存と公開活用を行うための劣化状態調査、適切な石室内の熱水分環境に関する検討	埋蔵文化財センター	保存修復科学研究室長　脇谷草一郎

(3) 文化遺産保護に関する国際協働　4件

○文化遺産保護に関する国際協働の総合的な推進　4件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	文化遺産保護に関する国際情報の収集・研究・発信（ユネスコ等）	企画調整部	国際遺跡研究室長　庄田慎矢
2	文化遺産に関する研究交流（イギリス等）	企画調整部	国際遺跡研究室長　庄田慎矢
3	アジア地域等の文化遺産に関する調査研究及び保護協力事業	企画調整部	国際遺跡研究室長　庄田慎矢

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
4	ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）等が行う研修への協力	企画調整部	国際遺跡研究室長　庄田慎矢

(4) 文化財に関する情報資料の収集・整備及び調査研究成果の公開・活用　6件

○文化財情報基盤の整備・充実　3件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	文化財に関するデータベースの充実	企画調整部	文化財情報研究室長　高妻洋成
2	文化財情報のデジタルアーカイブに関する実践研究	企画調整部	文化財情報研究室長　高妻洋成
3	図書の収集・整理・公開・提供	研究支援推進部	総務課長　山上徹

○調査研究成果の発信　1件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	定期刊行物の刊行、公開講演会・現地説明会等の開催、ウェブサイトの充実	研究支援推進部	総務課長　山上徹

○展示公開施設の充実　2件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	平城宮跡資料館・飛鳥資料館・藤原宮跡資料室における展示公開	企画調整部 飛鳥資料館 都城発掘調査部（飛鳥・藤原）	展示公開活用研究室長　神野恵 学芸室長　石橋茂登 都城発掘調査部長　箱崎和久
2	平城宮跡解説ボランティアの研修内容の充実及び運用改善	研究支援推進部	総務課長　山上徹

(5) 地方公共団体等を対象とする文化財に関する研修及び協力等　12件

○文化財に関する研修の実施　1件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	文化財担当者研修	企画調整部 研究支援推進部	企画調整部長　清野孝之

○文化財に関する協力・助言等　5件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	地方公共団体等が行う平城地区の発掘調査等への援助・助言	都城発掘調査部（平城）	都城発掘調査部副部長　今井晃樹
2	地方公共団体が行う飛鳥・藤原地区の発掘調査への指導・助言	都城発掘調査部（飛鳥・藤原）	都城発掘調査部長　箱崎和久
3	地方公共団体等が行う文化財及びその保存・活用に関する技術的助言	奈良文化財研究所	所長　本中眞
4	他機関等との共同研究及び受託研究	奈良文化財研究所	所長　本中眞
5	地震・水害等により被災した文化財の復旧に関する地方公共団体等が行う文化財保護事業への支援・協力	埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター長　馬場基

○平城宮跡、飛鳥・藤原宮跡等の公開・活用事業への協力　5件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	文化庁、国土交通省が行う平城宮跡、飛鳥・藤原宮跡の整備・管理等への協力	研究支援推進部	環境整備課長　西川知延
2	文化庁が行うキトラ古墳壁画保存管理施設の管理・運営と古墳壁画の公開事業への協力	飛鳥資料館	古墳壁画室長　廣瀬覚
3	国土交通省が行う平城宮跡第一次大極殿院を中心とする復原・整備・活用等への協力	文化遺産部	建造物遺構研究室長　鈴木智大
4	国土交通省が行う平城宮いざない館での公開・活用事業への協力	企画調整部	展示公開活用研究室長　神野恵
5	NPO法人平城宮跡サポートネットワーク及び周辺自治会等が行う各種ボランティア活動への協力	研究支援推進部	総務課長　山上徹

○連携大学院との連携教育等の推進　1件

	調査研究テーマ名	担当部課	事業責任者　(役職・名前)
1	京都大学・奈良女子大学との間での連携大学院教育の推進及び奈良大学への教育協力	奈良文化財研究所	所長　本中眞

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】　1件

	調査研究テーマ名	担当部課
1	アジア太平洋地域の無形文化遺産保護に関する調査研究	アジア太平洋無形文化遺産研究センター

（参考）受託研究一覧

合計	本部文化財防災センター	東京文化財研究所	奈良文化財研究所	アジア太平洋無形文化遺産研究センター
49 件	4 件	5 件	39 件	1 件

【本部文化財防災センター】　4件

	調査研究テーマ名	担当部課
1	令和6年能登半島地震被災建造物復旧支援・被災文化財等救援事業（令和6年）	文化財防災センター
2	被災美術工芸品等安定化処置及び修理業務	文化財防災センター
3	水損資料クリーニング業務	文化財防災センター
4	文化財防災のための詳細資料調査業務	文化財防災センター

【東京文化財研究所】　5件

	調査研究テーマ名	担当部課
1	美術工芸品修理用具等と生産技術保護等③	保存科学研究センター
2	国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策に関する調査等業務	保存科学研究センター
3	特別史跡キトラ古墳保存対策等調査業務	保存科学研究センター
4	文化遺産国際協力コンソーシアム事業	文化遺産国際協力センター
5	旧機那サフラン酒製造本舗土蔵鰻絵保存修復調査業務委託	文化遺産国際協力センター

【奈良文化財研究所】　39件

	調査研究テーマ名	担当部課
1	生駒市内歴史的建造物詳細調査業務	文化遺産部
2	近代和風建築等総合調査事業仙北市角館武家住宅総合調査	文化遺産部
3	横手市西部地区建造物調査業務委託	文化遺産部
4	『新修 斑鳩町史』編さんに伴う町内歴史的建造物悉皆調査業務	文化遺産部
5	高野山地区所在建造物　指図等詳細調査業務	文化遺産部
6	法華寺旧境内の発掘調査	都城発掘調査部（平城） 企画調整部 文化遺産部 埋蔵文化財センター
7	平城宮跡歴史公園朱雀大路東側地区　文化財発掘調査業務その２（平城宮跡の利活用推進事業（東側地区・社会資本）（都づくり）外）	都城発掘調査部（平城） 企画調整部 文化遺産部 埋蔵文化財センター
8	西大寺金堂院の発掘調査	都城発掘調査部（平城） 企画調整部 文化遺産部 埋蔵文化財センター
9	平城京左京一条二坊九坪の発掘調査	都城発掘調査部（平城） 企画調整部 文化遺産部 埋蔵文化財センター
10	平城京一条条間路、左京一条二坊十五坪の発掘調査	都城発掘調査部（平城） 企画調整部 文化遺産部 埋蔵文化財センター
11	平城京左京二条二坊十五坪の発掘調査	都城発掘調査部（平城） 企画調整部 文化遺産部 埋蔵文化財センター
12	薬師寺西回廊・経楼の発掘調査	都城発掘調査部（平城） 企画調整部 文化遺産部 埋蔵文化財センター
13	法華寺旧蔵の発掘調査	都城発掘調査部（平城） 企画調整部 文化遺産部 埋蔵文化財センター
14	平城京跡重点地区発掘調査（平城京左京一条二坊九坪の発掘調査）	都城発掘調査部（平城） 企画調整部 文化遺産部 埋蔵文化財センター

	調査研究テーマ名	担当部課
15	平城京左京一条二坊十五坪の発掘調査	都城発掘調査部（平城） 企画調整部 文化遺産部 埋蔵文化財センター
16	飛鳥藤原第２１６－１次（別所町農業用倉庫新築）発掘調査	都城発掘調査部（飛鳥・藤原） 企画調整部 文化遺産部 埋蔵文化財センター
17	飛鳥藤原第２１６－５次（高殿町個人住宅離れ建替え）発掘調査	都城発掘調査部（飛鳥・藤原） 企画調整部 文化遺産部 埋蔵文化財センター
18	生駒市内須恵器窯跡の調査	企画調整部 都城発掘調査部（平城）
19	埋蔵文化財発掘調査における三次元測量技術導入に係る効果検証とAI技術の応用に関する調査研究事業	都城発掘調査部 企画調整部 埋蔵文化財センター
20	和束の茶業景観保存活用計画策定に向けた支援業務	文化遺産部
21	天草市﨑津・今富の文化的景観保存調査業務委託	文化遺産部
22	令和5年度水中遺跡保護体制の整備充実に関する調査研究事業	水中遺跡プロジェクトチーム
23	貝殻塊の内部構造解析	埋蔵文化財センター
24	炭化米ブロックの内部構造解析	埋蔵文化財センター
25	輪島塗碗構造調査	埋蔵文化財センター
26	重要文化財福山城伏見櫓年輪年代調査業務委託	埋蔵文化財センター
27	潜伏キリシタン配流地域で見いだされた石像に対する表面残存塗料の分析	埋蔵文化財センター
28	地層処分環境における金属の腐食現象に関する研究委託業務	埋蔵文化財センター 都城発掘調査部（平城）
29	令和6年度　国史跡ガランドヤ古墳における運用手法の検討及び墳丘復元法検討業務	埋蔵文化財センター
30	令和6年度史跡闘鶏山古墳の調査保存に資する基礎的調査	埋蔵文化財センター
31	国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策に関する研究等業務	文化遺産部 都城発掘調査部 埋蔵文化財センター 飛鳥資料館
32	特別史跡キトラ古墳の保存・活用にかかる研究等業務	文化遺産部 都城発掘調査部 埋蔵文化財センター 飛鳥資料館
33	令和6年度文化遺産国際協力拠点交流事業（ウズベキスタンにおける考古遺産の科学的調査に関する技術移転を目的とした拠点交流事業）	企画調整部
34	令和6年度緊急的文化遺産保護国際貢献事業（専門家交流）（ウクライナ戦争被災地における文化遺産の保護に係る専門家交流）	企画調整部
35	人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業（拠点機関）	企画調整部 文化遺産部
36	「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究（第３次）」に基づく共同事業計画 （①考古・地質・歴史資料による地形発達と地質表層部−深層部応答にみる災害発生メカニズム分析と歴史災害痕跡データベースの拡充構築②地震関連史料に基づく前近代の内陸地震の調査）	埋蔵文化財センター
37	特別史跡平城宮跡及び藤原宮跡地内における歴史的環境維持業務	研究支援推進部
38	第一次大極殿院建造物復原整備他にかかる調査委託	文化遺産部
39	平城宮いざない館詳覧ゾーンにかかる学芸業務および解説案内等業務	企画調整部

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】　1件

	調査研究テーマ名	担当部課
1	令和６年度無形文化遺産保護パートナーシッププログラム	アジア太平洋無形文化遺産研究センター

c-③ 学会、研究会等発表実績一覧

令和7年3月31日現在

国立文化財機構合計	博物館計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	皇居三の丸尚蔵館
	351件	116件	36件	76件	70件	53件
587件	文化財研究所計	東京文化財研究所		奈良文化財研究所		
	206件	87件		119件		
	アジア太平洋無形文化遺産研究センター	本部文化財活用センター		本部文化財防災センター		
	3件	8件		19件		

【本部文化財活用センター】　8件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究　1件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	同上	「考古資料の複製品を用いた文化財活用の実践」	文化財センター企画担当主任研究員　飯田茂雄、小島有紀子、博物館教育課教育普及室長　品川欣也	5月26日	第90回　日本考古学協会

○その他有形文化財に関連する調査研究　7件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	展示・収蔵環境の管理と改善に関する調査研究	博物館収蔵庫について（総論・５３条公開に伴う調査と対応策を踏まえて）	文化財活用センター保存担当主任研究員　間渕創	6月14日	文化庁　公開承認施設会議
2	同上	愛知県蒲郡市無量寺の宝物殿における環境整備の取り組み	文化財活用センター保存担当主任研究員　間渕創	6月22日	文化財保存修復学会第46回大会
3	同上	保存科学　環境制御（保存環境管理）	文化財活用センター保存担当主任研究員　間渕創	9月10日	国文学研究資料館令和6年度アーカイブズ・カレッジ長期コース
4	同上	文化財の保存環境について	文化財活用センター保存担当主任研究員　間渕創	10月10日	新潟県文化財保存活用講習会
5	同上	保存環境序論・温湿度管理　他3件	文化財活用センター保存担当課長　吉田直人、同主任研究員　間渕創	11月21日	杉並区立郷土博物館学芸員研修
6	同上	IPM からみた博物館等の施設環境	文化財活用センター保存担当主任研究員　間渕創	12月13日	文化財虫菌害研究所　第13回文化財IPMコーディネータ資格取得のための講習会
7	同上	博物館におけるカビ被害対策の現状と今後	文化財活用センター保存担当主任研究員　間渕創	7年2月21日	東京文化財研究所　フォーラム「ポスト・エキヒュームS」の資料保存を考える

【本部文化財防災センター】19件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	文化財等の防災・救援等への寄与	硝酸セルロース映画フィルムの安全かつ現実的な保存方法の確立に向けた取り組み	奈良国立博物館上席研究員（PT）荒木臣紀	6月22日	日本映像アーキビスト協会(JAMIA)2024
2	同上	能登半島地震における文化財防災センターの活動	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	9月7日	被災文化財救援フォーラム金沢2024
3	同上	Cultural Heritage Disaster Risk Management System and Resoinse in the Event of a Disaster in Japan	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	9月11日	立命館大学 International Training Course on Disaster Risk Management of Cultural Heritage 2023
4	同上	Changes in the transmission environment of the Namiita Tiger Dance after the Great East Japan Earthquake	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	10月18日	The 2024 World Forum for Intangible Cultural Heritage, Migration: Broadening the Horizon of Intangible Cultural Heritage
5	同上	Organization and Initiatives of the Cultural Heritage Disaster Risk Management Center, Japan	文化財防災センター研究員　中島志保	10月22日	IRDR 2024 International Conference, Parallel Session1:Enhancing the Role of Culture in Disaster Risk Reduction
6	同上	文化財防災がめざすもの	文化財防災センターセンター長　高妻洋成	11月8日	第60回韓国文化財保存科学会秋季学術大会
7	同上	令和6年能登半島地震文化財レスキュー事業における、日報システム構築の取り組み	文化財防災センター研究員　三谷直哉	11月9、10日	日本災害情報学会第29回学会大会
8	同上	文化財防災の現状と課題	文化財防災センターセン	11月16日	KOMOフェスタ2024

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
			ター長　高妻洋成		
9	同上	博物館の防災を考える	文化財防災センターセンター長　高妻洋成	11月22日	京都府ミュージアムフォーラム第４回合同研修会
10	同上	令和6年能登半島地震　能登の文化財をまもる	文化財防災センターセンター長　高妻洋成	11月27日	令和6年能登文化財保護連絡協議会総会・中能登大会
11	同上	令和6年能登半島地震文化財レスキュー事業における、データ管理の取り組み	文化財防災センター研究員　三谷直哉	12月1日	2024年度アート・ドキュメンテーション学会第17回秋季研究集会
12	同上	能登半島地震における文化財防災センターの活動	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	12月8日	被災文化財救援フォーラム七尾2024
13	同上	文化財の防災と地域の復興	文化財防災センターセンター長　高妻洋成	12月20日	日本博物館協会近畿支部創立50周年記念シンポジウム
14	同上	令和6年能登半島地震における文化財防災センターの対応について	文化財防災センター研究員上椙英之、黄川田翔、和泉田絢子	7年1月12日、13日	第11回全国史料ネット研究交流集会
15	同上	令和6年能登半島地震における文化財等レスキュー事業の活動と課題	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	7年1月26日	国立民族学博物館、近畿民俗学会、近畿民具学会公開シンポジウム 「いま改めて民俗文化財を考える―災害の問題、廃棄の問題―」
16	同上	文化財レスキューの取り組み　能登の復興をめざして	文化財防災センターセンター長　高妻洋成	7年2月22日	石川県歴史文化会議セミナー2024 震災1年能登の文化財を未来へつなぐ
17	同上	能登半島地震文化財レスキュー事業について（仮）	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	7年2月22日	石川県立歴史博物館歴史遺産セミナー
18	同上	文化財防災センターの設立と令和6年能登半島地震への対応	文化財防災センターセンター長　高妻洋成	7年2月28日	地盤工学会ATC19文化財防災シンポジウム
19	同上	文化財レスキューにおけるシステム支援の検討-令和6年能登半島地震文化財レスキュー事業の事例-	文化財防災センター研究員　三谷直哉	7年3月13日～15日	情報処理学会 第87回全国大会

【東京国立博物館】116件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究　98件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	有形文化財の収集・保管・展覧事業・教育普及活動等に関する調査研究	Issues and Solutions for Classification Models using Deep Learning for 3D data of Archaeological Materials	調査研究課考古室研究員　山本亮	4月11日	51st Computer Applications and Quantitative Methods in Archaeology International Conference
2	同上	Statistical image processing (Decorrelation Stretch) and deep learning (CycleGANs) to restore images of faded artworks	学芸研究部長　河野一隆、調査研究課考古室研究員　山本亮	4月11日	52nd Computer Applications and Quantitative Methods in Archaeology International Conference
3	同上	「東南アジアの弥勒菩薩像　特に宝冠弥勒の成立に関して」	企画課長　原田あゆみ	4月14日	東南アジア古代史研究会
4	同上	紫式部『源氏物語』に見る装いー平安時代の色と紋様ー	調査研究課長　小山弓弦葉	4月28日	講演会　劇場で楽しむ源氏物語（福井県越前市）
5	同上	装飾墓的比較考古学	学芸研究部長　河野一隆	5月11日	浙江大学芸術考古学院、浙江大学美術考古学博物館
6	同上	文明の交差点 - 九州について	学芸研究部長　河野一隆	5月11日	浙江大学東洋フォーラム第30回「文明の光」、浙江大学美術考古学博物館・中国
7	同上	考古資料の複製品を用いた文化財活用の実践	調査研究課考古室研究員飯田茂雄、博物館教育課小島有紀子、博物館教育課教育普及室長　品川欣也	5月26日	第90回　日本考古学協会
8	同上	北海道常呂郡置戸町置戸山２遺跡の第８次発掘調査概要報告	文化財活用センター企画担当主任研究員　飯田茂雄、ほか	5月26日	第90回　日本考古学協会
9	同上	「ミュージアムにおける茶道具の 展示について」	博物館教育課教育講座室主任研究員　横山梓	6月23日	岡山県立博物館　令和6年度「博物館講座」
10	同上	「ニール号引き揚げ資料について」	博物館教育課教育講座室主任研究員　横山梓	7月6日	静岡県伊豆の国市　ニール号追悼150年シンポジウム「ニール号と柏木忠俊」
11	同上	江戸モードを語る！ 唯一無二の奈良県美きものコレクション	調査研究課長　小山弓弦葉	7月21日	奈良県立美術館
12	同上	きものの歴史とデザイン	調査研究課長　小山弓弦葉	7月24日	大阪市教育委員会講演会
13	同上	「国宝・鳥獣戯画　入門」	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕	7月28日	国宝「鳥獣戯画」北海道初公開 京都 高山寺展―明恵上人と文化財の伝承　講演会

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
14	同上	群馬県藤岡市伝神流中学校校庭古墳(戸塚古墳群)出土古墳時代の 銀象嵌円頭大刀柄頭のX線CTによる観察事例報告	保存科学課予測保存研究室専門職　宮田将寛	7月27日～28日	日本文化財科学会第41回大会
15	同上	朝鮮前期の陶磁器	調査研究課東洋室長　三笠景子	8月6日	国際学術コロキウム「朝鮮時代前期の美術」（韓国国立中央博物館）
16	同上	美術館・博物館照明と「質感の表現」を考える報告会	学芸企画部上席研究員 木下 史青	9月12日	一般社団法人照明学会 2024年度（第57回）全国大会 照明デザイン分科会「美術館・博物館照明と質感に関する研究調査委員会」+ 視覚・色・光環境分科会 共催シンポジウム
17	同上	博物館における「鑑賞」と様々な「質感」をめぐって	学芸企画部上席研究員 木下 史青	9月12日	一般社団法人照明学会 2024年度（第57回）全国大会 照明デザイン分科会「美術館・博物館照明と質感に関する研究調査委員会」+ 視覚・色・光環境分科会 共催シンポジウム
18	同上	嚴島神社の宝物	客員研究員　惠美千鶴子	10月4日	県立広島大学「宮島学」講座
19	同上	請来仏画の影響 1―古代・中世編―	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一	10月16日	中郷カレッジ（於木更津市立中郷公民館）
20	同上	埴輪が語る古墳時代	調査研究課考古室研究員 山本亮	10月18日	かながわ考古学同好会
21	同上	浮世絵の楽しみ方	調査研究課絵画・彫刻室研究員　村瀬可奈	10月19日	新座市アートコミュニケーター講座
22	同上	「絵巻鑑賞のイロハ」	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕	10月26日	国立国会図書館「絵巻の世界」講演会
23	同上	「藤原定家の時代と歌仙絵」	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕	10月27日	筆の里工房　副館長対談 「定家さんの謎 百人一首と歌仙絵」
24	同上	Communicating the Appeal of Japanese Art through Digital Technology at Tokyo National Museum	列品管理課平常展調整室主任専門職　髙木結美	11月9日	セインズベリー日本藝術研究所25周年記念カンファレンス Sainsbury Institute for the Study of Japanese Arts and Cultures “Conference: Looking Forward in Japanese Arts and Cultures”
25	同上	Storing Ancient Egyptian Materials in Tokyo National Museum	博物館教育課ボランティア室長　小野塚拓造	11月9日	ICOM International Committee for Egyptology, *MUSEUM MATTERS III: Museum Storerooms and Care for Collections*
26	同上	Chinese Lacquerware and Imitation Products, or the Problem of Appraisal	企画課特別展室主任研究員　福島 修	11月10日～12月31日（オンライン動画配信）	The Ocha Zanmai: San Francisco International Conference on Chanoyu and Tea Culture
27	同上	「交易の華「彫漆」」	企画課特別展室主任研究員　福島 修	11月12日	シンポジウム「鎌倉文化と宋文化比較研究」
28	同上	土器編年と前方後円墳集成２～４期	調査研究課考古室研究員 山本亮	11月17日	シンポジウム「東日本における土器からみた古墳社会の成立」
29	同上	友禅染の歴史	調査研究課長　小山弓弦葉	11月17日	板橋区立郷土歴史博物館
30	同上	請来仏画の影響 2―近世編―	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一	11月20日	中郷カレッジ（於木更津市立中郷公民館）
31	同上	東京国立博物館における収蔵庫の運営・管理の現状と課題	列品管理課長　沖松健次郎	12月3日	國立故宮博物院文物管理論壇
32	同上	神護寺所蔵「釈迦如来像」―高雄法華会との関わりをめぐって―	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一	12月4日	令和6年度定例勉強会（於興風談所）
33	同上	総括コメント「基準資料の今日的評価」	列品管理課平常展調整室長　市元塁	12月7日	日本中国考古学会
34	同上	狩野元信筆「四季花鳥図屏風」の制作と受容	企画課海外展室主任研究員　高橋真作	12月8日	白鶴美術館開館90周年記念イベント≪屏風を知る≫アート・トーク
35	同上	縄紋土器片の圧痕レプリカ法と高精細 CT スキャン撮影による観察	保存科学課予測保存研究室専門職　宮田将寛	12月8日	第45回南北海道考古学情報交換会
36	同上	平安の服飾 ー和様の形、色と紋様ー	調査研究課長　小山弓弦葉	12月21日	「小さな親切運動」福井県本部
37	同上	「石製品・石製模造品」国宝部会報告	学芸研究部長　河野一隆	12月21日～22日	神宿る島・沖ノ島と関連遺産群 特別研究事業　第５回国際検討会
38	同上	考古学が語る後期青銅器時代の終焉	博物館教育課ボランティア室長　小野塚拓造	7年1月18日	東京国立博物館月例講演会
39	同上	3D Voxelデータによる考古資料の深層学習の課題解決に向けて	調査研究課考古室研究員 山本亮	7年2月16日	学術変革領域研究（A）「土器を掘る」最終年度研究成果報告会
40	同上	縄文時代中期の社会・文化交流　―ひとの動きモノの動き―	調査研究課考古室長　井出浩正	7年2月22日	令和6年度 かながわの遺跡展「縄文ムラの繁栄 ― かながわ縄文中期の輝き ―」講演会

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
41	同上	天目再考	調査研究課東洋室長　三笠景子	7年2月28日	茶の湯の歴史を問い直す研究会（日本教育会館）
42	同上	「塗りの鑑賞、塗師の活動」	企画課特別展室主任研究員　福島 修	7年2月28日	シンポジウム「茶の湯の歴史を問い直すⅡ―［１５２２－９１］の喫茶文化史―」
43	同上	弥生時代における小形青銅器生産の展開 －神奈川県横浜市大場第２地区遺跡群出土鏡を巡って－	企画課特別展室研究員　菊池望	7年3月1日	北金目からみつめる地域社会　東海大学湘南キャンパス
44	同上	占領期に設立した国立博物館について	学芸企画部主任研究員　神辺知加	7年3月8日	東京国立博物館月例講演会
45	同上	滑石製品から沖ノ島祭祀を考える	学芸研究部長　河野一隆	7年3月8日	令和6年度 世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 公開講座
46	同上	“Canaanite Elites” at Tel Rekhesh? An Archaeological View	博物館教育課ボランティア室長　小野塚拓造	7年3月12日	Workshop *Rethinking the Late Bronze Age*
47	同上	「堆朱楊成の模作と鑑定」	企画課特別展室主任研究員　福島 修	7年3月15日	茶の湯文化学会　東京例会
48	同上	東京国立博物館と東国埴輪	調査研究課考古室主任研究員　河野正訓	7年3月23日	すばらしき東国埴輪の世界―伊勢崎の埴輪を語る―
49	同上	AIを活用した群集墓の景観分析	学芸研究部長　河野一隆	7年3月28日～29日	考古文化財ディープラーニング研究会
50	同上	須恵器を例にした考古資料３Dデータ欠損補填プログラムの開発	調査研究課考古室研究員　山本亮	7年3月30日	日本情報考古学会第５０回大会
51	収蔵品等の有形文化財に関する調査研究	近代数寄者と横河民輔	調査研究課東洋室長　三笠景子	5月11日	月例講演会
52	同上	浮世絵師・楊洲周延を通してみる明治	調査研究課絵画・彫刻室研究員　村瀬可奈	6月9日	2024年日本演劇学会全国大会「シンポジウム 浮世絵と芸能に見る明治―描かれた『戦争』と『文化』をめぐって」
53	同上	内藤礼と東博考古コレクションの出会い	企画課海外展室長　品川欣也	8月5日	東京国立博物館月例講演会
54	同上	内藤礼と東博考古コレクションの出会い	企画課海外展室長・品川欣也	8月19日	「内藤礼　生まれておいで 生きておいで」展 東京国立博物館研究員とのオープンダイアローグ
55	同上	東京国立博物館所蔵考古関係絵画史料概観	企画課海外展室長　品川欣也	9月6日	東文研文化財資料部第5回研究会
56	同上	X射線計算機断層掃描影像下的五枚戦国封泥　ー日本東京国立博物館蔵陳介祺旧蔵品研究ー	東京国立博物館客員研究員・谷豊信	9月29日	中国古代璽印研究国際学術研討会（中国上海市・復旦大学）
57	同上	大谷探検隊がクチャで収集した舎利容器 TC-557	企画課海外展室研究員　勝木言一郎	10月26日	新疆亀茲学会
58	同上	元代墨梅画家吳太素的《雪梅図》	調査研究課絵画・彫刻室主任研究員　植松瑞希	10月30日	2024年元代書画国際学術研討会
59	同上	明治期の美人画―楊洲周延を中心に―	調査研究課絵画・彫刻室研究員　村瀬可奈	11月9日	第29回国際浮世絵学会秋季大会 シンポジウム「歌川派と明治」
60	同上	桃山文化の二つの顔　ー黄金と草庵ー	学芸研究部特任研究員　田沢裕賀	11月24日	企画展記念シンポジウム『黄金と草庵ー秀吉の茶室を像るー』（佐賀県立名護屋城博物館）
61	同上	基於X射線計算機断層掃描技術研究中国古代封泥　　ー其研究方法与初歩成果ー	客員研究員　谷豊信	11月29日	中国璽印國際學術研討会（中国香港・香港中文大学）
62	同上	大谷探検隊がクチャで収集したふたつの舎利容器	企画課海外展室研究員　勝木言一郎	7年3月4日	龍谷大学古典籍・文化財デジタルアーカイブ研究センター学術講演会
63	特集「特集親と子のギャラリー　よりそう動物たちー家族、仲間のすがたとかたちー」に関連する調査研究	「よりそう動物たち」見どころ解説	教育講座室主任研究員　横山梓	5月19日	国際博物館の日 記念講演会「上野の山で動物めぐり ～ひとりでくらすか、みんなでくらすか～」
64	特集「特集吉野と熊野―山岳霊場の遺宝―」に関連する調査研究	吉野・熊野に宿る神仏と造形	調査研究課工芸室主任研究員　清水健	6月8日	東京国立博物館月例講演会
65	同上	もう一歩近づいて見る『国宝 線刻蔵王権現像』	調査研究課工芸室主任研究員　清水健	7月9日	東京国立博物館　研究員によるスライドトーク
66	特集「特集拓本のたのしみ―明清文人の世界―」に関連する調査研究	拓本のたのしみ	調査研究課東洋室研究員　六人部克典、客員研究員　鍋島稲子	7年2月15日	東京国立博物館・台東区立書道博物館　連携講演会
67	同上	黒老虎ー拓本の光と闇ー	客員研究員　鍋島稲子	7年3月6日	東京国立博物館・台東区立書道博物館　連携講演会
68	海外展「三国三色ー東アジアの漆器」に関連する調査研究	「東アジアの中の日本漆芸」	企画課特別展室主任研究員　福島 修	9月6日	韓日中国立博物館共同企画特別展「三国三色ー東アジアの漆器」記念学術フォーラム

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
69	創建1200年記念　特別展「神護寺−空海と真言密教のはじまり」に関連する調査研究	研究史から読み解く神護寺三像	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一	7月24日	創建1200年記念　特別展「神護寺―空海と真言密教のはじまり」シンポジウム「神護寺三像を読み解く」（於東京国立博物館）
70	同上	「表現から読み解く神護寺三像」	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕	7月24日	特別展「神護寺―空海と真言密教のはじまり」シンポジウム「神護寺三像を読み解く」
71	同上	徹底解説！特別展「神護寺―空海と真言密教のはじまり」	博物館教育課教育普及室　研究員　古川攝一	7月25日	読売カルチャー北千住
72		神護寺展のみどころ一創建1200年の軌跡と奇跡―	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一	7月29日	NHK自治体講演会（於日本橋社会教育会館ホール）
73	同上	展覧会の見どころ―1200年の至宝集結！	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一	8月3日	創建1200年記念　特別展「神護寺―空海と真言密教のはじまり」記念講演会2（於東京国立博物館）
74	同上	神護寺展のみどころ一創建1200年の軌跡と奇跡―	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一	8月5日	NHK自治体講演会（於くにたち市民芸術 小ホール）
75	同上	徹底解説！特別展「神護寺　―空海と真言密教のはじまり」	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一	9月3日	真言宗智山派東京ブロック研修会（於東京国立博物館）
76	同上	神護寺展の見どころ	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一	9月6日	京都西・東京西ロータリークラブ（於東京国立博物館）
77	同上	国宝薬師如来立像と神護寺の至宝	企画課特別展室研究員　増田政史	7月23日	創建１２００年記念　特別展「神護寺一空海と真言密教のはじまり」関連文化講演会
78	挂甲の武人　国宝指定50周年記念　特別展「はにわ」に関連する調査研究	国宝「埴輪 挂甲の武人」の最新調査	調査研究課考古室主任研究員　河野正訓	4月27日	東京国立博物館月例講演会
79	同上	はにわ展の紹介	調査研究課考古室主任研究員　河野正訓	7月21日	古墳・はにわマーケット 渋谷にも古墳があった！
80	同上	ミニギャラリートークwithはに丸	調査研究課考古室主任研究員　河野正訓、調査研究課考古室研究員　山本亮	10月19日	特別展「はにわ」関連イベント
81	同上	はにわを楽しむ	調査研究課考古室主任研究員　河野正訓	10月26日	第２回国際理解講演会
82	同上	はにわ展の紹介	調査研究課考古室主任研究員　河野正訓	10月29日	史蹟会10月例会
83	同上	はにわ展の魅力	調査研究課考古室主任研究員　河野正訓	10月31日	挂甲の武人 国宝指定50周年記念 特別展「はにわ」特別協賛連動企画 はにわ勉強会
84	同上	特別展「はにわ」見どころ解説	調査研究課考古室主任研究員　河野正訓	11月6日	博物館の日
85	同上	特別展「はにわ」の見どころ解説	調査研究課考古室主任研究員　河野正訓	11月11日	障がいのある方のための特別鑑賞会
86	同上	はにわを語りつくすトークイベント	調査研究課考古室主任研究員　河野正訓	11月20日	KADOKAWAイベント
87	同上	特別展「はにわ」見どころ	調査研究課考古室主任研究員　河野正訓	11月25日	特別展「はにわ」BANK OF AMERICA特別内覧会
88	同上	特別展「はにわ」のみどころ	調査研究課考古室主任研究員　河野正訓	11月30日	朝日カルチャーセンター
89	同上	特別展「はにわ」裏話	調査研究課考古室主任研究員　河野正訓	7年2月13日	大田文化講演会「おおたの古墳の魅力」
90	同上	国宝「埴輪 挂甲の武人」の歴史的意義―最新の修理と調査―	調査研究課考古室主任研究員　河野正訓	7年3月16日	九州国立博物館記念講演会
91	開創1150年記念　特別展「旧嵯峨御所 大覚寺―百花繚乱　御所ゆかりの絵画―」に関連する調査研究	「大覚寺の襖と狩野山楽」	教育講座室長　金井裕子	9月28日	よみうりカルチャー大手町
92	同上	「展覧会担当者が語る旧嵯峨御所 大覚寺ー百花繚乱 御所ゆかりの絵画ー」	博物館教育課教育講座室長　金井裕子	7年2月8日	朝日カルチャーセンター
93	同上	「薄緑／膝丸」「鬼切丸／髭切」にみる日本刀の特質	企画課特別展室長佐藤寛介	7年2月28日	東京国立博物館 連続講座「百花繚乱　大覚寺の名宝」
94	同上	「華と心経の寺の1200年」	博物館教育課教育講座室長　金井裕子	7年2月28日	東京国立博物館 連続講座「百花繚乱　大覚寺の名宝」
95	同上	「大覚寺中興の祖　後宇多天皇の三つの肖像」	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕	7年2月28日	東京国立博物館 連続講座「百花繚乱　大覚寺の名宝」
96	同上	仏師明円と大覚寺五大明王像	企画課特別展室研究員　増田政史	7年2月28日	東京国立博物館 連続講座「百花繚乱　大覚寺の名宝」
97	同上	「宸殿・正寝殿の障壁画の謎」	博物館教育課教育講座室長　金井裕子	7年3月1日	東京国立博物館 連続講座「百花繚乱　大覚寺の名宝」
98	同上	大覚寺の飾金具	調査研究課工芸室主任研究員　清水健	7年3月1日	東京国立博物館連続講座「百花繚乱　大覚寺の名宝」

○その他有形文化財に関連する調査研究　18件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	文化財の修理・保存に関する調査研究	東京国立博物館所蔵「華角貼箱」の材質調査	保存科学課保存修復室主任研究員　野中昭美	6月22日	文化財保存修復学会第46回大会
2	同上	縮緬画帖と縮緬本における制作技法の比較	保存科学課保存修復室アソシエイトフェロー　桐原瑛奈	6月22日	文化財保存修復学会
3	同上	展示ケース内に生じる気流と湿度分布についての検証	学芸研究部保存科学課長・和田浩	6月23日	文化財保存修復学会第46回大会
4	同上	東京国立博物館所蔵キリシタン関係遺品ロザリオ・付札一群の収蔵方法改善	保存修復室AF・桐原瑛奈、保存修復室主任研究員・野中昭美、保存修復室研究員・佐藤萌、他2名	6月23日	文化財保存修復学会第46回大会
5	同上	鉄媒染絹布に対するフノリと膠を使用した処置方法の検討	保存科学課保存修復室研究員　佐藤萌	6月23日	文化財保存修復学会第46回大会
6	同上	美術品展示ケースにおける湿度伝達の可視化に関する検証	保存科学課長　和田浩	7月19日	第52回可視化情報シンポジウム
7	同上	ガラス乾板の長距離輸送時における振動計測について	保存科学課長・和田浩	7月27日	日本文化財科学会第41回大会
8	同上	ポリエステル綿の衝撃吸収性能に関する基礎的研究	保存科学課長・和田浩	8月29日	日本包装学会第33回年次大会
9	同上	博物館コレクションの保存修復	保存科学課保存修復室主任研究員　野中昭美	8月31日	さいたま市岩槻人形博物館　企画展「にんぱくの人形修復 ～文化財を未来へ～」特別講演
10	同上	文化財輸送時に発生した振動解析と梱包設計の評価	保存科学課長　和田浩	9月8日	日本機械学会2024年度年次大会
11	同上	Combining Experience, Experimentation, and Prediction to Mitigate Damage to Museum Artifacts from Earthquakes	保存科学課長　和田浩	10月20日	2024 International Symposium on Seismic Technology for Cultural Heritage
12	同上	Long distance transportation in Japan: continuous vibration measurement and analysis	保存科学課長　和田浩	11月7日	International Symposium ″ Vibration and Conservation ″
13	同上	衝撃対策と振動対策の両立を目指した包装資材特性の収集	保存科学課長　和田浩	11月22日	第62回全日本包装技術研究大会
14	同上	Visualization of Airflow and Humidity Distribution Inside Display Cases for Cultural Properties	保存科学課長　和田浩	11月27日	14th Pacific Symposium on Flow Visualization and Image Processing
15	同上	Analysis of Vibrations Generated during Transportation of Cultural Property and Response Characteristics of Packing Box	保存科学課長　和田浩	7年1月28日	Berlin National Museum Evening Lecture
16	同上	Preservation of Cultural Heritage– Tokyo National Museum in the Era of Sustainability	保存科学課長　和田浩	7年3月13日	Special Lecture at Istanbul Restoration and Conservation Center and Regional Laboratory Directorate
17	博物館資料・業務の情報処理に関する調査研究	博物館DXを通した社会課題解決のための、機械処理を用いたデータ作成プロセスの構築	博物館情報課情報管理室アソシエイトフェロー　岩崎絵里加	7月26日	第2回 DH若手の会（2024夏） －デジタル・ヒューマニティーズで ″繋がる×広がる″ 人文学–
18	同上	教科書に掲載されている図版のウェブコンテンツ所在調査 ― 小学校6年生社会科を対象にして	博物館情報課情報管理室長阿児雄之	10月26日	第50回全日本教育工学研究協議会全国大会

【京都国立博物館】36件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究　26件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	特別展「雪舟伝説―「画聖」の誕生―」に関する調査研究	「画聖」雪舟が生まれるまで	学芸部保存修理指導室長福士雄也	4月15日	京都新聞総合研究所提携講座「アートサロン」（佛教大学）
2	同上	特別展 雪舟伝説―「画聖」の誕生―	同上	4月15日	清風会鑑賞会（京都国立博物館）
3	同上	狩野派にとっての雪舟	同上	4月19日	特別展「雪舟伝説―「画聖」の誕生―」の見どころ（栄中日文化センター）
4	同上	特別展 雪舟伝説―「画聖」の誕生―	同上	4月21日	キャンパスメンバーズ講演会（京都国立博物館）
5	同上	雪舟受容の多様性	同上	5月10日	特別展「雪舟伝説―「画聖」の誕生―」の見どころ（栄中日文化センター）
6	同上	雪舟的なもののゆくえ	同上	5月18日	特別展「雪舟伝説―「画聖」の誕生―」記念講演会（京都国立博物館）
7	特別展「法然と極楽浄土」に関する調査研究	法然の生涯と浄土宗８５０年の歴史 特別展「法然と極楽浄土」の見どころ	学芸部企画室主任研究員井並林太郎	10月11日	「特別展『法然と極楽浄土』展の見どころ」（栄中日文化センター）

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
8	同上	二祖対面図の成立をめぐって	同上	10月27日	公益財団法人仏教美術上野記念算段　研究発表と座談会「浄土宗を中心とした祖師信仰とその造形」（京都国立博物館）
9	同上	浄土宗の仏像と阿弥陀の世界 特別展「法然と極楽浄土」の見どころ	学芸部教育室主任研究員 竹下繭子	10月18日	「特別展『法然と極楽浄土』展の見どころ」（栄中日文化センター）
10	同上	特別展「法然と極楽浄土」に学ぶ	学芸部保存修理指導室主任研究員　上杉智英	7年2月7日	浄土宗教学院公開講座（大正大学）
11	収蔵品・寄託品等及び各博物館の特色に応じた歴史・伝統文化に関連する調査研究	豊臣秀次と瑞泉寺	学芸部工芸部主任研究員 山内麻衣子	7月8日	清風会講演会
12	同上	雛まつりのよそおい	同上	3月1日	京都国立博物館　土曜講座
13	同上	鳥獣戯画における線の表現 ー乙巻・丙巻・丁巻の魅力ー	学芸部企画室主任研究員 井並林太郎	8月18日	「国宝「鳥獣戯画」北海道初公開 京都 高山寺展―明恵上人と文化財の伝承」展　講演会（北海道立近代美術館）
14	同上	狩野永徳を支えた画家―宗心種永のこと―	学芸部保存修理指導室長 福士雄也	7月26日	京都国立博物館 夏期講座
15	同上	仏像の見方	学芸部教育室主任研究員 竹下繭子	9月1日	智積院　智山専修学院特別講義
16	同上	刊本大蔵経の形成以前	学芸部保存修理指導室主任研究員　上杉智英	7月23日	日中国際ワークショップ「漢文大蔵経と高僧伝」（国際仏教学大学院大学）
17	同上	親鸞　生涯と名宝―特別展を開催して	学芸部保存修理指導室主任研究員　上杉智英	11月20日	龍谷大学世界仏教文化研究センター応用研究部門特別講義（龍谷大学）
18	同上	『高僧伝』十巻本とは何か	学芸部保存修理指導室主任研究員　上杉智英	12月7日	東アジア仏教研究会2024年度年次大会（駒澤大学）
19	同上	近代数寄者が憧れた松平不昧蒐集の茶道具	学芸部・調査・国際連携室長　降矢哲男	5月26日	特別展「畠山記念館名品展」記念講演会（島根県立美術館）
20	同上	茶の湯にみる高麗茶碗	同上	8月6日	国際学術コロキウム『朝鮮時代前期の美術』（韓国・国立中央博物館）
21	同上	茶碗の魅力ー形・ころ・様子ー	同上	6月30日	名美アートフェア2024　特別講演（名古屋美術倶楽部）
22	同上	日本からの注文によってつくられた高麗茶碗	同上	11月30日	古田織部美術館第5回「織部賞」記念講演会（西陣織会館）
23	同上	「茶碗についての座談会」	同上	7年2月24日	特別展「茶碗　茶の湯にふれる」座談会（岡山県立博物館）
24	同上	禅の肖像画―東福寺の頂相を知る	学芸部列品管理室 主任研究員　森道彦	5月25日	東福寺暁天講座(東福寺)
25	同上	日本名家与古寺院伝世的清朝瓷器	学芸部長　尾野善裕	11月2日	東亜陶瓷史研究国際研討会（中国・景徳鎮）
26	同上	近世密教法具の変容　大型五種鈴を中心とする大壇具について	学芸部列品管理室 主任研究員　末兼俊彦	7月20日	美術史学会 西支部例会

○その他有形文化財に関連する調査研究　10件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	国内外の博物館等への援助・助言等	高松塚古墳の今むかし	学芸部保存科学室長　降幡順子	8月23日	考古講演会（市立岡谷美術考古館）
2	同上	文化財を微生物から守る―ガス燻蒸の今後	学芸部保存科学室長　降幡順子	9月3日	京文連令和６年研究講演会（知恩院）
3	同上	Introduction on the Kyoto National Museums facilities and disaster risk countermeasures for movable cultural properties －	学芸部保存科学室長　降幡順子	9月3日	International Training Course on Disaster Risk Management of Cultural Heritage 2023
4	文化財の製作技法・材料等に関する調査研究	「仁清」印をもつ御室仁清窯跡出土陶片に関する調査	学芸部保存科学室長　降幡順子、調査国際連携室長　降矢哲男、学芸部長　尾野善裕	6月22日	文化財保存修復学会第46回大会
5	同上	観無量寿経の材料分析-平安時代末頃における真鍮の利用ー	学芸部保存科学室長　降幡順子、保存修理指導室主任研究員　上杉智英	7月28日	日本文化財科学会第41回大会
6	その他有形文化財に関連する調査研究	縄文時代の道具ー西と東を比べてみると	学芸部考古室長　石田由紀子	4月27日	宇治市民大学
7	同上	「京織部」としての乾山焼	学芸部長　尾野善裕	8月24日	第16回乾山セミナー（法蔵禅寺）
8	同上	小林行雄・楢崎彰一と猿投窯研究	学芸部長　尾野善裕	7年2月11日	名古屋大学考古学研究室談話会

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
9	博物館・有形文化財の国際交流に関連する調査研究	「Design, Domesticity, and the State」（座長）	学芸部調査・国際連携室主任専門職　リンネ マリサ	11月21日	ICOM-ICDAD工芸とデザイン博物館・コレクション国際委員会2024年次会議（米国・セイラム）
10	同上	「ICOM 2025 ドバイ大会紹介」	学芸部調査・国際連携室主任専門職　リンネ マリサ	7年1月13日	国際シンポジウム2025「博物館の多様性・包摂性を考える」（国立科学博物館）

【奈良国立博物館】　76件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究　40件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	収蔵品等及び館の特色に応じた歴史・伝統文化に関連する調査研究	山焼きと奈良の歴史と文化	館長　井上洋一	25年1月25日	DMG森精機
2	同上	世界の古代文明に学ぶ	館長　井上洋一	25年2月21日	大分大学
3	同上	中尾山古墳―古墳の終焉と火葬のはじまり―	学芸部長　吉澤悟	7月6日	かんだい明日香まほろば講座「最後の天皇陵古墳ー火葬と改葬ー」
4	同上	古代の墓制と火葬骨蔵器の広がり	同上	9月28日	橘樹学連続講座「古代橘樹を知り、活用する」
5	同上	仏教美術って何？	同上	12月17日	しなやかエンジニア教育プログラム
6	同上	仏さまの《スカート》	美術室長　岩井共二	5月19日	奈良国立博物館サンデートーク
7	同上	仏像ハカセのほとけさまファッション講座	同上	7月27、28日	石川県立美術館
8	同上	東アジアにおける補陀落観音像	情報サービス室長　北澤菜月	8月7日	콜로키움 15~16세기 동아시아와 조선 전기 미술（コロキウム　15～16世紀の東アジアと朝鮮前期の美術）
9	同上	貞享本當麻曼荼羅成立の経緯	同上	10月20日	シンポジウム　広がる中将姫説話と當麻曼荼羅―中世から近世へ―
10	同上	練供養を描く絵画とその周辺	同上	11月30日	特別展「當麻寺練供養 ―会式を彩るもの―」記念講演会
11	同上	藤原鎌足（大織冠）像の成立と伝播	企画室長　谷口耕生	11月24日	茨木市立歴史資料館開館40周年記念テーマ展「藤原鎌足と大織冠信仰」講演会
12	同上	植物混和土器をめぐって	保存修理指導室長　鳥越俊行	7月27日	日本文化財科学会第41回大会
13	同上	神社と鏡	教育室長　中川あや	4月21日	奈良国立博物館サンデートーク
14	同上	腰帯具から紐解く古代社会	同上	7月14日	2024発掘とくしま講演会
15	同上	金堂壁画写真ガラス原板をめぐって―歴史的意義と現代における活用	資料室長　宮崎幹子	25年2月23日	法隆寺シンポジウム　法隆寺金堂壁画と『文化財写真』―メディアとしての活用と可能性
16	同上	蘇る幻の麈尾―聖徳太子から日蓮聖人、そして未来へ	工芸考古室主任研究員　三田覚之	4月6日	奈良まほろば館
17	同上	甦る古代美術―修復と復元、そして創作―	同上	6月16日	奈良国立博物館サンデートーク
18	同上	興福寺の仏像―日本仏教彫刻の精華―	企画室主任研究員　山口隆介	9月18日	丸の内キャリア塾スペシャルセミナー
19	同上	古写真細見―東京国立博物館所蔵十一面観音像―	同上	12月28日	霊山寺塾
20	同上	獅子・狛犬の歴史と造形―神々をまもる霊獣	教育室研修員　内藤航	8月23日	奈良国立博物館夏季講座
21	同上	京都・清凉寺釈迦如来像の模像制作について―17世紀の事例を中心に	同上	12月11日	韓国・国立慶州博物館
22	同上	日本に舞い降りた鳳凰	企画室研究員　樋笠逸人	8月18日	奈良国立博物館サンデートーク
23	生誕1250年特別展「空海KŪKAI―密教のルーツとマンダラ世界」に関する調査研究	瞑想空間としてのマンダラ世界――認識を超えた世界へ――	館長　井上洋一	5月26日	シンポジウム「瞑想空間としてのマンダラ世界―自然中心への視座転回―」
24	同上	密教の源流ー海のシルクロードー	学芸部長　吉澤悟	5月23日	シンポジウム「密教の源流―海のシルクロード―」
25	同上	日本仏教史における空海と密教	列品室長　斎木涼子	5月18日	生誕1250年特別展「空海KŪKAI―密教のルーツとマンダラ世界」公開講座
26	同上	生誕1250年特別展　特別企画講座　空海と密教	同上	5月27日	読売カルチャー講座

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
27	同上	高雄曼荼羅―弘法大師御筆の両界曼荼羅	企画室長　谷口耕生	5月25日	生誕1250年特別展「空海KŪKAI―密教のルーツとマンダラ世界」公開講座
28	同上	密教法具の変容―インド、インドネシア、中国、日本―	工芸考古室主任研究員　三本周作	5月23日	シンポジウム「密教の源流―海のシルクロード―」
29	わくわくびじゅつギャラリー「フシギ！日本の神さまのびじゅつ」に関する調査研究	ナゾとき！神さまのびじゅつ	教育室研究員　翁みほり	7月27日	「わくわくびじゅつギャラリー『日本の神さまのびじゅつ』」子ども向け講座
30	同上	『ほっとけ』んよ！奈良博のお宝！	同上	8月4日	石川県立美術館
31	「第76回 正倉院展」に関する調査研究	世界唯一の至宝『正倉院宝物』を守り伝える	館長　井上洋一	12月3日	上海博物館
32	同上	正倉院宝物の魅力と不思議	学芸部長　吉澤悟	9月27日	アスニーセミナー
33	同上	第76回 正倉院展	同上	10月3日	せいぶ正倉院講座
34	同上	黄金瑠璃鈿背十二稜鏡の魅力について	同上	11月10日	「第76回　正倉院展」公開講座
35	同上	正倉院・東大寺伝来の伎楽面	企画室長　谷口耕生	10月26日	正倉院学術シンポジウム2024
36	同上	研究員レクチャー付き鑑賞券講演会　第76回正倉院展編	工芸考古室主任研究員　三田覚之	10月28日、11月11日	奈良国立博物館講堂
37	同上	第76回正倉院展の宝物の魅力に迫る	同上	十一月二日	朝日カルチャー名古屋
38	同上	第76回正倉院展のみどころ	工芸考古室主任研究員　三本周作	9月1日	正倉院展講座in東京
39	同上	東大寺旧蔵の伎楽面について	企画室主任研究員　山口隆介	10月26日	正倉院学術シンポジウム2024
40	同上	正倉院宝物―つくった人・守り継ぐ人びとの思い―	教育室研究員　翁みほり	9月20日	奈良教育大学附属中学校

○その他有形文化財に関連する調査研究　36件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	その他有形文化財に関する調査研究	独立行政法人化後の日本国立博物館の現状	館長　井上洋一	5月12、14日	国立台湾博物館、台南市美術館
2	同上	考古学に魅せられて	同上	6月23日	令和6年度神奈川県立厚木高等学校同窓会通常総会
3	同上	対談：井上館長（奈良国立博物館）×青柳館長（石川県立美術館）記念対談	同上	7月6日	石川県立美術館
4	同上	法隆寺と奈良国立博物館――特別展からみた交流の歴史――	同上	7月28日	法隆寺夏季大学
5	同上	奈良博のきのうきょうあした	同上	9月28日	東アジア仏教文化研究所・中部公民館
6	同上	魅力ある特別展の展開	同上	9月28日	一般社団法人ナレッジキャピタル
7	同上	東アジアの青銅器文化と『銅鐸の国』	同上	11月30日	豊橋市美術博物館
8	同上	対談：奈良国立博物館と私	学芸部長　吉澤悟	1月20日	奈良市西部公民館
9	同上	第8回　茶室・八窓庵をのぞいてみませんか	同上	9月15日	奈良国立博物館サンデートーク
10	同上	奈良きたまち近代建築巡り　奈良国立博物館の建築と景観―なら仏像館・東西新館・仏教美術資料研究センター	資料室長　宮崎幹子	6月2日	旧鍋屋交番と奈良きたまちの会
11	同上	博物館で広がる考古学研究の世界	教育室長　中川あや	8月24日	奈良カレッジズ学問祭
12	同上	大御堂廃寺をめぐる祈りの世界	同上	9月8日	大御堂廃寺 仏教の華ひらく はじまりの寺 記念講演会
13	同上	ならはくの世界遺産学習について	教育室研究員　翁みほり	7月27日	NPO法人 なら・観光ボランティアガイドの会
14	同上	みんなで見よう！わくわく『大和高田』のほとけさまのかたち	同上	9月8日	大和高田市観光協会講座
15	同上	3～7世紀における高句麗人の中国内地移動と徙民のあり方の変化―中国王朝の対異民族政策を中心とした問題提起	情報サービス室アソシエイトフェロー　安賢善	7月16日	朝鮮史料研究会

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
16	同上	3～7세기 고구려인의 중국 내지 이동과 사민 방식의 변화 - 중국 왕조의 對이민족 정책을 중심으로 한 문제제기（日本語訳：3～7世紀における高句麗人の中国内地移動と徙民のあり方の変化ー中国王朝の対異民族政策を中心とした問題提起）	同上	8月2日	韓国・中央大学校
17	同上	東アジアにおける墓誌銘の歴史	同上	11月17日	奈良国立博物館サンデートーク
18	同上	あなたも使える専門図書館2024トークイベント	資料室専門職　大内静華	11月28日	図書館総合展2024
19	同上	奈良国立博物館 仏教美術資料研究センターの紹介	同上	12月1日	第17回アート・ドキュメンテーション学会秋季研究集会
20	同上	机のない学校？―18世紀オーストリアにおける初等学校教育の変遷―	教育室アソシエイトフェロー　久米彩也加	10月20日	奈良国立博物館サンデートーク
21	保存科学の観点からの収蔵品・寄託品等の調査研究	絵画・書跡の修理	列品室長　斎木涼子	1月11日	文化財保存修理所特別公開
22	同上	奈良国立博物館の修理事業をめぐって	企画室長　谷口耕生	10月13日	聖武天皇と紀伊国 公開シンポジウム「文化財をまもり・つたえること　～文化財保存の光と影　いかに維持し、次の世代に伝えていくのか？～」
23	同上	ポルトガルで伝えられた松樹ＩＨＳ箔絵螺鈿書見台のＣＴ調査	保存修理指導室長　鳥越俊之、保存修理指導室アソシエイトフェロー　加藤沙弥	6月22日	文化財保存修復学会第46回大会
24	同上	琉球国大里城の雲版（徳島･浄智寺）の科学調査	同上	7月27日	日本文化財科学会第41回大会
25	同上	沈没船エルトゥールル号より回収された滑車の非破壊内部調査	同上	7月27日	日本文化財科学会第41回大会
26	同上	群馬県藤岡市伝神流中学校校庭古墳（戸塚古墳群）出土古墳時代の銀象嵌円頭大刀柄頭のＸ線ＣＴによる観察事例報告	保存修理指導室長　鳥越俊行	7月27日	日本文化財科学会第41回大会
27	同上	文化財を科学する	同上	8月17日	第155回サイエンスカフェ伊丹
28	同上	文化財を科学するⅨ	同上	12月15日	奈良国立博物館サンデートーク
29	同上	十六羅漢像3軀と観音菩薩立像のCT調査結果	同上	25年2月28日	令和6年度琉球王国文化遺産集積・再興事業復元製作・発信業務木彫部会ワーキング
30	同上	戦国時代の銭形金銀銭に対する材質調査	同上	25年3月21日	石見銀山遺跡客員研究員検討会
31	同上	木彫像のCT調査からわかること	保存修理指導室アソシエイトフェロー　加藤沙弥	25年3月8日	琉球王国文化遺産集積・再興事業報告会
32	同上	文化財修理とX線CT調査	保存修理指導室アソシエイトフェロー　加藤沙弥	25年3月16日	奈良国立博物館サンデートーク
33	同上	文化財の生物被害対策―文化財を生物被害から守る―	保存修理指導室アソシエイトフェロー　小峰幸夫	7月21日	奈良国立博物館サンデートーク
34	同上	文化財防災センターの活動について	同上	8月2日	令和6年度文化財防犯・防火・防災関係者連絡会議
35	同上	一時保管場所における生物被害対策	同上	11月6日	被災文化財等の殺虫処理講習会
36	同上	硝酸セルロース映画フィルムの安全かつ現実的な保存方法の確立に向けた取り組み	上席研究員　荒木臣紀	6月22日	日本映像アーキビスト協会

【九州国立博物館】　70件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究　33件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	有形文化財の収集・保管・展覧事業・教育普及活動等に関する調査研究	博物館の教育普及活動	学芸部企画課特別展室主任研究員　西島亜木子	8月22日	博物館実習、九州国立博物館
2	同上	発達障がい者を対象とした取り組み	学芸部企画課特別展室主任研究員　西島亜木子	9月3日	劇場・音楽堂等における社会包摂芸術×福祉　九州ネットワーク会議2024
3	同上	視覚障がい者向けプログラム	学芸部企画課特別展室主任研究員　西島亜木子	9月20日	博物館リンクワーカー人材養成講座　オンライン語り場

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
4	同上	発達障がい者を対象とした取り組み	学芸部企画課特別展室主任研究員　西島亜木子	9月27日	韓国国立公州博物館（学術交流事業）
5	同上	学芸員のカバンの中身：資料の取り扱いに必要な道具	学芸部企画課文化交流展室長　川村佳男	8月22日	西南学院大学講義
6	同上	展覧会が開くまで	学芸部企画課文化交流展室長　川村佳男	8月22日	西南学院大学講義
7	同上	博物館と文化財の未来	学芸部企画課文化交流展室長　川村佳男	8月22日	西南学院大学講義
8	同上	文化交流展のコンセプト	学芸部企画課文化交流展室長　川村佳男	8月22日	博物館実習（九州国立博物館）講師
9	同上	西漢銅鼎随葬制度初探	学芸部企画課文化交流展室長　川村佳男	6月16日	"考古学与中華文明"国際学術研討会
10	同上	青銅製浄瓶の形態と製作技法の遷移に関する初歩的研究ー内視鏡付きカメラを用いた内面観察結果を踏まえてー	学芸部企画課文化交流展室長　川村佳男	9月15日	アジア鋳造技術史学会 2024東京大会
11	同上	学芸員の”独り言”	学芸部企画課文化交流展室長　川村佳男	10月8日	太宰府ロータリークラブ「社会奉仕・卓話」
12	同上	博物館の展示ができるまで	学芸部企画課文化交流展室長　川村佳男	12月5日	放送大学
13	同上	文化交流展「いにしえの匠たち」と「カエルの逆襲」の見どころ	学芸部企画課文化交流展室長　川村佳男	12月22日	九博ふるさとセミナー
14	同上	日本所在の半島由来彫刻（渡来仏）をめぐる諸問題	学芸部文化財課研究員　大澤信	8月7日	国立中央博物館学術コロキウム 15-16世紀の東アジアと朝鮮前期の美術
15	同上	マイ国宝を探せ！―「好き」を見つめ直し、伝える―	学芸部文化財課研究員　大澤信	11月2日	福岡県立修猷館高等学校　令和6年度出前授業
16	同上	対馬の歴史や文化財からみる日韓交流のあゆみ	学芸部文化財課研究員　大澤信	11月9日	朝鮮半島由来文化財を知るための釜山・対馬国際ワークショップ
17	同上	仏像にみる中世対馬のダイナミズム	学芸部文化財課研究員　大澤信	6月26日	東京大学　令和６年度日本地域特殊演習
18	同上	夫婦道―男神・女神のエトセトラ―	学芸部文化財課研究員　大澤信	7月2日	ミュージアムトーク
19	同上	仏教と仏像のたどった道	学芸部文化財課研究員　大澤信	10月16日	ミュージアムトーク
20	同上	仏像と文学―和辻哲郎『古寺巡礼』の世界―	学芸部文化財課研究員　大澤信	5月31日	令和6年度福岡県高等学校国語部会福岡地区総会
21	同上	犬！？鹿！？	学芸部展示課主任研究員 小澤 佳憲	4月2日	ミュージアムトーク
22	同上	奈良・平安の写経	学芸部展示課主任研究員 一瀬　智	4月30日	ミュージアムトーク
23	同上	古墳の番人たち	学芸部展示課主任研究員 岸本　圭	6月11日	ミュージアムトーク
24	同上	さわって体験！本物のひみつ	学芸部展示課長 齋部麻矢	8月31日	ミュージアムトーク
25	同上	おしゃれな馬	学芸部展示課主任研究員 小澤 佳憲	9月3日	ミュージアムトーク
26	同上	さわって体験！本物のひみつ2024	学芸部展示課長 齋部麻矢	9月14日	きゅーはく☆とっておき講座 九州国立博物館
27	同上	銅鐸、作ってみたんですけど	学芸部展示課主任研究員 小澤 佳憲	10月29日	ミュージアムトーク
28	同上	人吉球磨の歴史と文化 ～特集展示「人吉球磨の玉手箱」から～	学芸部展示課長 齋部麻矢	11月5日	第15期（2024）福岡歴史観光市民大学講座 大手門パインビル
29	同上	「人吉球磨の玉手箱」展解説	学芸部展示課長 齋部麻矢	11月12日	ミュージアムトーク

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
30	同上	特集展示 「人吉球磨の玉手箱」のみどころ	学芸部展示課長 齋部麻矢	11月16日	特集展示リレー講座① 九州国立博物館
31	同上	人吉球磨の玉手箱を開けてみよう！	学芸部展示課長 齋部麻矢	12月6日	熊本県立第二高校解説 九州国立博物館
32	同上	もっと楽しもう！特別展「はにわ」	学芸部展示課主任研究員 岸本　圭	1月25日	特別展リレー講座①
33	同上	もっと楽しもう！特別展「はにわ」	学芸部展示課主任研究員 小澤 佳憲	2月1日	特別展リレー講座②

○その他有形文化財に関連する調査研究　37件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	その他有形文化財に関連する調査研究	循環ファン付き吸着剤（ケミカルフィルター）による展示ケースの空気質改善の試み	学芸部博物館科学課研究員和泉田絢子、同研究員　渡辺祐基、同研究補佐員　山本花乃、同研究補佐員　穴井恵理、同課長　木川りか	6月23日	文化財保存修復学会第46回大会
2	同上	海底から発掘された木製品、石製品等遺物（海揚り品）から発生する還元型硫黄ガス（硫化水素、硫化カルボニル）の調査	学芸部博物館科学課長　木川りか、同研究員　和泉田絢子、東京文化財研究所　島田潤、学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基、松浦市教育委員会　安木由美、東京文化財研究所　佐藤嘉則、奈良文化財研究所　柳田明進・脇谷草一郎、松浦市教育委員会　内野義、学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史、副館長　小泉惠英、文化財防災センター長　高妻洋成	6月23日	文化財保存修復学会第46回大会
3	同上	ニュウハクシミの生存率に与える温湿度環境の影響に関する研究	東京文化財研究所　島田潤・小野寺裕子、学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基、奈良国立博物館　小峰幸夫、学芸部博物館科学課長　木川りか、東京文化財研究所　佐藤嘉則	6月23日	文化財保存修復学会第46回大会
4	同上	藍染染織品から拡散したインジゴ分解生成物の蛍光特性	学芸部博物館科学課アソシエイトフェロー　奥島希子、東京芸術大学大学院美術研究科教授　塚田全彦	6年6月22日	文化財保存修復学会第46回大会
5	同上	藍染染織品の収蔵時における保存紙の黄変の事例研究	学芸部博物館科学課アソシエイトフェロー　奥島希子、東京芸術大学大学院美術研究科教授　塚田全彦	6年6月23日	文化財保存修復学会第46回大会
6	同上	国宝「初音の調度」のうち櫛箱、小角赤手箱、手箱（胡蝶蒔絵）の木地構造および制作技法のX線CT調査	学芸部博物館科学課研究員渡辺祐基、学芸部企画課特別展室長　川畑憲子、徳川美術館　板谷寿美、吉川美穂、学芸部博物館科学課研究補佐員　田中麻美、同課長　木川りか	7月28日	日本文化財科学会第41回大会
7	同上	日本二十六聖人記念館所蔵「日傘」の材質・構造調査と製作地の推定	大西漆芸修復スタジオ　大西智洋、後藤里架、学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基、同研究員　和泉田絢子、学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史、日本二十六聖人記念館　デ・ルカ・レンゾ、宮田和夫	7月27日	日本文化財科学会第41回大会
8	同上	Effects of temperature and humidity on the survival rate of the ghost silverfish (*Ctenolepisma calvum*) and insecticidal effects of poisoned baits	東京文化財研究所　島田潤、小野寺裕子、学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基、奈良国立博物館　小峰幸夫、学芸部博物館科学課長　木川りか、東京文化財研究所　佐藤嘉則	9月18日～20日	5th International Conference Integrated Pest Management for Cultural Heritage, Berlin
9	同上	A case study of the management of *Ctenolepisma calvum* using a residual pyrethroid emulsion, with reference to its behavioral characteristics	学芸部博物館科学課研究員渡辺祐基、東京文化財研究所　島田潤、学芸部博物館科学課研究員　和泉田絢子、東京文化財研究所　佐藤嘉則、学芸部博物館科学課長　木川りか	9月18日～20日	5th International Conference Integrated Pest Management for Cultural Heritage, Berlin

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
10	同上	Gaseous sulfur compounds from objects: Generation of “Black spots” on bronze and emission of H_2S and COS from various artefacts excavated from a marine archaeological site.	学芸部博物館科学課長　木川りか、同研究員　和泉田絢子、東京文化財研究所　島田潤、学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基、松浦市教育委員会　安木由美、東京文化財研究所　佐藤嘉則、奈良文化財研究所　柳田明進・脇谷草一郎、松浦市教育委員会　内野義、学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史、副館長　小泉惠英、文化財防災センター長　高妻洋成	11月19日	The International Conference on Indoor Air Quality in Heritage and Historic Environments (IAQ 2024), The Metropolitan Museum of Art
11	同上	博物館における文化財IPMの取り組みと意義	学芸部博物館科学課長　木川りか	9月5日収録	財）デジタル文化財創出機構シンポジウム
12	同上	Conservation, Restoration and Analysis in Kyushu National Museum	学芸部博物館科学課長　木川りか	10月2日	文化遺産の保護に資する集団研修2024、ユネスコアジア文化センター（ACCU奈良）研修
13	同上	昆虫の調査と環境の解析	学芸部博物館科学課長　木川りか	12月12日	第13回文化財IPMコーディネータのための講習会、（公財）文化財虫菌害研究所
14	同上	博物館資料の管理と保存　ー虫菌害対策を中心に	学芸部博物館科学課長　木川りか	7年2月20日	令和６年度　長野県博物館等関係職員研修会
15	同上	文化財害虫の特徴と九州国立博物館におけるIPMの取り組み	学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基	11月27日	令和6年度第1回博物館学芸員等スキルアップ研修会（熊本県）
16	同上	博物館の環境管理	学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基	12月6日	放送大学
17	同上	九州国立博物館IPMの実践と今後の展望	学芸部博物館科学課長　木川りか	7年2月21日	フォーラム「ポスト・エキヒュームSの資料保存を考える」、東京文化財研究所
18	同上	文化財IPMの国際的な潮流 ～IPM-CH 2024参加報告～	学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基、東京文化財研究所　島田潤	7年2月21日	フォーラム「ポスト・エキヒュームSの資料保存を考える」、東京文化財研究所
19	同上	昆虫に関する基礎知識と文化財に加害する昆虫類の特徴	学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基	7年3月11日	第46回文化財の虫菌害防除作業に関する講習会
20	同上	文化財の修復①②	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史	7月5日・12日	西南学院大学
21	同上	文化財の調査と修復	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史	8月23日	九州国立博物館博物館実習
22	同上	九州国立博物館のバックヤードツアー	学芸部博物館科学課　保存修復室長　志賀智史	10月2日	文化遺産の保護に資する集団研修2024、ユネスコアジア文化センター研修
23	同上	九州国立博物館のバックヤードツアー	学芸部博物館科学課　保存修復室長　志賀智史	7年2月10日	鹿児島国際大学
24	同上	石棺墓に使用された赤色顔料	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史	7年2月23日	佐賀県文化課文化財保護・活用室シンポジウム「吉野ヶ里遺跡の石棺墓のナゾに迫る」
25	同上	博物館の展示空間における空気汚染物質の管理と対策事例	学芸部博物館科学課研究員　和泉田絢子	8月2日	全国美術館会議・第59回保存研究部会会合
26	同上	資料保存の意義、博物館資料の劣化とその要因総論	学芸部博物館科学課長　木川りか	4月12日	西南学院大学
27	同上	温度・湿度環境、光環境	学芸部博物館科学課長　木川りか	4月19日	西南学院大学
28	同上	文化財の3次元調査、生物被害とその対策	学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基	5月24日	西南学院大学
29	同上	文化財の材質調査、室内空気汚染とその対策	学芸部博物館科学課研究員　和泉田絢子	5月31日	西南学院大学
30	同上	さまざまな環境にある文化財とその保存	学芸部博物館科学課長　木川りか	6月7日	西南学院大学
31	同上	災害と文化財	学芸部博物館科学課長　木川りか	7月19日	西南学院大学

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
32	同上	平戸藩主のコレクション再定義・継承とその思想	学芸部文化財課主任研究員 松浦晃佑	9月17日	福岡歴史観光市民大学
33	同上	コメンテーター	学芸部文化財課研究員 大澤信	11月25日	令和６年度奈良国立博物館国際研究集会
34	同上	討論会通訳	学芸部文化財課研究員 大澤信	12月14日	研究会　韓国仏教美術における腹蔵品研究の現在
35	同上	江戸時代の大宰府研究	学芸部展示課主任研究員 一瀬　智	1月15日	公益財団法人古都大宰府保存協会「大宰府アカデミー　令和編」 日本経済大学
36	同上	福岡県の近世焼物と八女地方	学芸部展示課主任研究員 岸本　圭	11月	いわいの郷歴史講座 八女市岩戸山歴史文化交流館
37	同上	はにわ大集合　埴輪の魅力を深掘り	学芸部展示課主任研究員 岸本　圭	2月～3月	朝日カルチャーセンター講座 朝日カルチャーセンター福岡教室

【皇居三の丸尚蔵館】　53件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究　35件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究	講演「日本の書の成立ー三筆から三跡へ」	館長　島谷　弘幸	4月20日	香川県立ミュージアム
2	同上	展示室 de いっぴんトーク 海北友松《浜松図屏風》	学芸部展示・普及課長　戸田浩之	4月27日	皇居三の丸尚蔵館開館記念展「皇室のみやびー受け継ぐ美」第３期「近世の御所を飾った品々」
3	同上	展示室 de いっぴんトーク 《閑庭鳴鶴・九重ノ庭之図刺繍屏風》	学芸部管理・情報課主任研究員　小林彩子、同研究員　上嶋悟史	5月24日、5月28日	皇居三の丸尚蔵館開館記念展「皇室のみやびー受け継ぐ美」第四期「三の丸尚蔵館の名品」
4	同上	皇居三の丸尚蔵館の収蔵品にみられる外国贈答品について	学芸部展示・普及課主任研究員　岡本隆志	6年6月5日	国際セミナー「中東王室の外交儀礼と日本：外交贈答品とその展示空間」、東京大学先端科学技術研究センター
5	同上	講演「被災文化財への対応に関するコンプライアンス等について」	学芸部長　建石徹	6月14日	令和６年度　「岩手県文化財保護行政研修会」及び「文化財に係るコンプライアンス研修会」岩手県教育委員会・岩手県文化財愛護協会、岩手県立博物館
6	同上	講演「令和 6 年能登半島地震における被災文化財への対応」	学芸部長　建石徹	7月10日	文化財虫菌害研究所 第46回文化財の虫菌害・保存対策研修会、飯田橋レインボービル大会議室
7	同上	展示室 de 作品解説「いきもの賞玩」	学芸部調査・保存課長　髙梨真行、同主任研究員　清水緑、管理・情報課研究員　三島大暉、野中愛理	7月12日、19日、8月2日、9日、23日	皇居三の丸尚蔵館「いきもの賞玩」（令和6年度第1回展）
8	同上	特別鑑賞会「いきもの賞玩」作品解説	学芸部調査・保存課長　髙梨真行、同主任研究員　清水緑	7月26日・8月30日	皇居三の丸尚蔵館「いきもの賞玩」（令和6年度第1回展）
9	同上	近代皇室と富士山の美術	学芸部展示・普及課研究員 田中純一朗	9月15日	静岡県富士山世界遺産センター 公開講座
10	同上	展示室 de 作品解説「花鳥風月―水の情景・月の風景」	学芸部調査・保存課主任研究員　清水緑、管理・情報課研究員　三島大暉	9月20日、10月4日	皇居三の丸尚蔵館「花鳥風月―水の情景・月の風景」（令和6年度第2回展）
11	同上	美が結ぶ―皇室と北海道	学芸部管理・情報課長　五味聖	9月21日	北海道立近代美術館「皇居三の丸尚蔵館展 皇室の至宝 北海道ゆかりの名品」
12	同上	特別鑑賞会「花鳥風月―水の情景・月の風景」	学芸部調査・保存課長　髙梨真行、同主任研究員　清水緑	9月27日・10月18日	皇居三の丸尚蔵館「花鳥風月―水の情景・月の風景」（令和6年度第2回展）
13	同上	皇居三の丸尚蔵館収蔵「小栗判官絵巻」について	学芸部展示・普及課長　戸田浩之	10月6日	藤沢市記念講演会「藤沢のおぐり伝承を語る」
14	同上	講演「ポスト・エキヒューム S を見据えた博物館の生物被害対策」	学芸部長　建石徹	10月9日	第30回自然史系博物館館長懇談会、国立科学博物館
15	同上	絵画がつないだ人々 蠣崎波響を中心として	学芸部管理・情報課研究員 上嶋悟史	10月12日	北海道立近代美術館「皇居三の丸尚蔵館展 皇室の至宝 北海道ゆかりの名品」

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
16	同上	講演「皇室が守り伝えた日本の美」	館長　島谷弘幸	10月21日	一般社団法人学士会
17	同上	展示室 de 作品解説「公家の書ー古筆・絵巻・古文書」	館長　島谷弘幸	11月1日	皇居三の丸尚蔵館「公家の書ー古筆・絵巻・古文書／皇室の美術振興ー日本近代の絵画・彫刻・工芸」（令和6年度第3回展）
18	同上	皇居三の丸尚蔵館の近代工芸と七宝	学芸部展示・普及課主任研究員　岡本隆志	11月3日	七宝焼アートヴィレッジ開館20周年記念シンポジウム「近代工芸を彩った尾張七宝」、あま市七宝焼アートヴィレッジ
19	同上	展示室 de 作品解説「皇室の美術振興ー日本近代の絵画・彫刻・工芸」（夜間）	学芸部展示・普及課研究員　木村真美	11月8日	皇居三の丸尚蔵館「公家の書ー古筆・絵巻・古文書／皇室の美術振興ー日本近代の絵画・彫刻・工芸」（令和6年度第3回展）
20	同上	記念講演会　山本芳翠と皇室、宮内省	学芸部展示・普及課研究員　田中純一朗	11月10日	皇居三の丸尚蔵館特別協力 PARALLEL MODE:山本芳翠―多彩なるヴィジュアル・イメージ
21	同上	皇室の盆器ー瀬戸を中心にー	学芸部展示・普及課主任研究員　岡本隆志	11月23日	シンポジウム「瀬戸染付の発展と展開」、瀬戸市文化センター文化交流館
22	同上	特別鑑賞会「皇室の美術振興ー日本近代の絵画・彫刻・工芸」	学芸部調査・保存課長　髙梨真行、展示・普及課主任研究員　岡本隆志	11月29日	皇居三の丸尚蔵館「公家の書ー古筆・絵巻・古文書／皇室の美術振興ー日本近代の絵画・彫刻・工芸」（令和6年度第3回展）
23	同上	基調講演「 縄文中期の土器―東日本―」	学芸部長　建石徹	11月30日	第2回とよはくセミナー「縄文中期の土器とくらし」、豊田市博物館
24	同上	展示室 de 作品解説「公家の書ー古筆・絵巻・古文書」	学芸部調査・保存課研究員　山田千穂	12月6日	皇居三の丸尚蔵館「公家の書ー古筆・絵巻・古文書／皇室の美術振興ー日本近代の絵画・彫刻・工芸」（令和6年度第3回展）
25	同上	講演「文化財防災のあゆみ・現状・展望―令和 6 年能登半島地震のおはなしを中心に―」	学芸部長　建石徹	12月10日	金沢美術工芸大学
26	同上	展示室 de 作品解説「瑞祥のかたち」	学芸部管理・情報課主任研究員主任研究員　小林彩子、同研究員　上嶋悟史	7年1月10日、2月7日	皇居三の丸尚蔵館「瑞祥のかたち」（令和6年度第4回展）
27	同上	こども鑑賞会「はじめのいっぽ」	学芸部展示・普及課　木谷知香、木村真美	7年1月13日、19日	皇居三の丸尚蔵館「瑞祥のかたち」（令和6年度第4回展）
28	同上	シンポジウム司会「対談：三輪嘉六氏×青柳正規氏」	学芸部長　建石徹	7年1月19日	文化財防災センター 阪神・淡路大震災30年シンポジウム 文化財レスキュー、広がりと深化の30年、東京国立博物館
29	同上	特別鑑賞会「瑞祥のかたち」作品解説	学芸部管理・情報課長　五味聖、同主任研究員　小林彩子	7年1月31日、2月28日	皇居三の丸尚蔵館展覧会「瑞祥のかたち」（令和6年度第4回展）
30	同上	特別講演 「史跡保存の歴史と実際そしてこれから」	学芸部長　建石徹	7年2月8日	ひたちなか市誕生30周年記念事業 十五郎穴横穴群国指定・虎塚古墳国指定50周年記念シンポジウム、ひたちなか市文化会館
31	同上	総合討議司会「東京文化財研究所フォーラム ポスト・エキヒュームSの資料保存を考える」	学芸部長　建石徹	7年2月21日	東京文化財研究所フォーラム ポスト・エキヒュームSの資料保存を考える、東京文化財研究所
32	同上	展示室 de 作品解説「百花ひらく―花々をめぐる美―」	学芸部調査・保存課　山田千穂	7年3月14日	館内展「百花ひらく―花々をめぐる美―」（令和6年度第5回展）
33	同上	ギャラリートーク（中国語）《百花齐放群芳艳》展	学芸部展示・普及課アソシエイトフェロー　周思敏	7年3月18日	皇居三の丸尚蔵館「百花ひらくー花々をめぐる美ー」展
34	同上	ギャラリートーク（英語）「Flowers: Floral Masterpieces at Sannomaru Shozokan」	学芸部展示・普及課アソシエイトフェロー　松井邦子	7年3月19日	皇居三の丸尚蔵館「百花ひらくー花々をめぐる美ー」展
35	同上	特別鑑賞会「百花ひらくー花々をめぐる美ー」作品解説	学芸部展示・普及課長　戸田浩之	7年3月28日	皇居三の丸尚蔵館展覧会「百花ひらくー花々をめぐる美ー」（令和6年度第5回展）

〇その他有形文化財に関連する調査研究　18件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	その他有形文化財に関連する調査研究	思維文化資産的保存與再利用：以與社區的連結為觀點（文化財の保存と活用について考える―地域社会とのかかわりを視座として）	学芸部管理・情報課研究員　上嶋悟史	4月13日	2025 超高齢化時代的來臨-永續發展與地方創生台日青年國際論壇（2025超高齢化時代の訪れ-SDGsと地方創生日台青年国際フォーラム）、国立台南医事科技大学
2	同上	講演「書の楽しみと国立博物館の国際交流」	館長　島谷弘幸	5月24日	一般社団法人岡山県国際経済交流協会
3	同上	北海道産朱をめぐる縄文時代晩期の交易の諸相ー新潟県正面ヶ原A遺跡を中心にー	学芸部長　建石徹	5月26日	日本考古学協会第90回総会、千葉大学
4	同上	皇居三の丸尚蔵館の収蔵品にみられる外国贈答品について	学芸部展示・普及課主任研究員　岡本隆志	6月5日	国際セミナー「中東王室の外交儀礼と日本：外交贈答品とその展示空間」、東京大学先端科学技術研究センター
5	同上	講義「いま、博物館（美術館）に経営改革としてできること」	館長　島谷弘幸	7月1日	東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻「文化施設経営論」
6	同上	文化財防災ワーキンググループ	学芸部長　建石徹	7月27日	日本文化財科学会第41回大会、青山学院大学
7	同上	火炎土器の胎土分析	学芸部長　建石徹	7月28日	同上
8	同上	History and Present of Japan’s Cultural Properties Protection: The Process of Establishing Comprehensive Protection	学芸部長　建石徹	8月1日	Mongolian-Japanese cultural heritage symposium ー Conservation of the world heritage cultural landscapes and historic monumentsー、モンゴル共和国文化・芸術省主催、モンゴル国立チンギス・ハーン博物館
9	同上	Constructing a Database of Cultural Property Restoration Records	学芸部長　建石徹	8月9日	Digital Humanities Conference 2024(DH2024)、米国ジョージメイソン大学
10	同上	若手研究者応援企画「皇居三の丸尚蔵館収蔵の写真資料と展示活動について」	学芸部管理・情報課研究員　芳澤直之	10月19日	学習院大学大学院人文科学研究科史学専攻・学習院大学文学会共催
11	同上	Developing a Thesaurus-based Hierarchical Search of Museum Collection	学芸部管理・情報課研究員　三島大暉	11月13日	ICOM CIDOC International Conference 2024
12	同上	Correlation between the Spread of the Concept of Cultural Properties and the Progress of Comprehensive Understanding in the Protection of Cultural Properties in Japan and the Construction of a Disaster Prevention System	学芸部長　建石徹	11月18日	韓国文化財保存科学会第60回大会、韓国全北大学校
13	同上	文化財と観光	学芸部管理・情報課研究員　上嶋悟史	11月28日	立教大学観光学部「地域社会論」
14	同上	講演「国立博物館から独法国立文化財機構へ―海外への情報発信ー」	館長　島谷弘幸	11月30日	せとうち美術館ネットワーク第16回「せとうち美術館サミット」
15	同上	Newly Reborn: The Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shozokan	館長　島谷弘幸	12月4日	上海博物館「M２０＋全球頂尖博物館大会」
16	同上	知識組織化システムに基づく収蔵品検索の構築	学芸部管理・情報課研究員　三島大暉	12月8日	情報処理学会 人文科学とコンピュータシンポジウム 「じんもんこん2024」
17	同上	近世仏画の展開	学芸部管理・情報課研究員　上嶋悟史	12月18日	木更津市立中郷公民館「中郷カレッジ」
18	同上	様々なレベルのデジタルアーカイブ	学芸部管理・情報課研究員　三島大暉	7年2月4日	千葉県史料保存活用連絡協議会令和6年度第2回研修会

【東京文化財研究所】　87件

(1) 新たな知見の開拓につながる基礎的・探求的な調査研究　19件

○有形文化財、伝統的建造物群に関する調査研究　16件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	文化財に関する調査研究成果および研究情報の共有に関する総合的研究	イギリス滞在報告ーセインズベリー日本藝術研究所とイギリスのライブラリー、ミュージアム視察	文化財情報資料部文化財アーカイブズ研究室長 米沢玲	4月30日	文化財情報資料部研究会
2	同上	シンポジウム「朝鮮白磁研究の現在」と京畿道広州における近年の窯跡調査に関する報告	文化財情報資料部研究員 田代裕一朗	6月8日	東洋陶磁学会総会
3	同上	韓国美術における自然と技藝	文化財情報資料部研究員 田代裕一朗	10月12日	第20回　松下幸之助国際スカラシップフォーラム
4	同上	東京文化財研究所所蔵近現代美術アーカイブ	文化財情報資料部近・現代視覚芸術研究室長　橘川英規	10月22日	ARLIS/NA来日記念国際シンポジウム「美術アーカイブと図書館における国際連携」
5	同上	Yutaka and Europe-Conceptual art exchange-From a library and archives perspective, Japan Research Centre Seminar Series	文化財情報資料部近・現代視覚芸術研究室長　橘川英規	2月26日	University of London, The School of Oriental and African Studies
6	同上	Building and Using Japan’s Modern and Contemporary Art Archive-The Work of the Tokyo National Research Institute for Cultural Properties	文化財情報資料部近・現代視覚芸術研究室長　橘川英規	2月27日	Tobunken Lecture Series, University of East Anglia
7	日本東洋美術史の資料学的研究	余紹宋と近代中国の書画史学	文化財情報資料部客員研究員　後藤亮子	7月23日	文化財情報資料部研究会
8	同上	江戸時代初期における袁宏道『瓶史』の受容について―藤村庸軒の花道書の紹介をかねて―	文化財情報資料部日本東洋美術史研究室長　小野真由美	10月29日	文化財情報資料部研究会
9	近・現代美術に関する調査研究と資料集成	特別講演会 黒田清輝《昔語り》の舞台裏	文化財情報資料部研究員 吉田暁子	7月13日	泉屋博古館東京　特別講演会
10	同上	織田東禹《コロポックルの村》をめぐって	文化財情報資料部 研究員 吉田暁子	9月6日	文化財情報資料部研究会
11	同上	風景の断片化 黒田清輝とそれ以降	文化財情報資料部研究員 吉田暁子	9月22日	明治美術学会第2回例会「生誕150年菱田春草展 不朽の名作《落葉》誕生秘話 シンポジウム」福井県立美術館
12	同上	近代絵画の冒険-黒田清輝と東博の近代絵画コレクション	文化財情報資料部 研究員 吉田暁子	10月12日	東京国立博物館　月例講演会
13	同上	秋元洒汀と菱田春草　画巻《四季山水》に連なる絆について	上席研究員　塩谷純	10月14日	飯田市美術博物館 特別展記念公講演
14	同上	黒田清輝の画業について―神津港人の視点から	文化財情報資料部 上席研究員 塩谷純	1月10日	シンポジウム「黒田清輝、その研究と評価の現在――没後100年を機に」
15	美術作品の様式表現・制作技術・素材に関する複合的研究と公開	長尾美術館に関する基礎的研究―美術研究所との関わりの解明に向けて―	文化財情報資料部 研究員 月村紀乃	12月18日	文化財情報資料部研究会
16	同上	酒呑童子絵巻の魔力	文化財情報資料部長 江村知子	2月25日	文化財情報資料部研究会

○無形文化財、無形民俗文化財等に関する調査及び研究　3件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	無形文化遺産保護に関する研究交流・情報収集等	『音楽』、教科用図書『音楽』と歌舞伎	無形文化遺産部　無形文化財研究室長　前原恵美	12月15日	歌舞伎学会大会
2	同上	Japan’s Intangible Cultural Heritage and Safeguarding Strategies	無形文化遺産部　部長 石村智	5月14日	台湾・東海大学特別講義
3	同上	Conservation Techniques for Historic Buildings in Japan: A case of Karakami, tradition and innovation of Japanese wallpaper	無形文化遺産部　部長 石村智	7月16日	シンポジウム「Youth and Traditional Building Skills」

(2) 科学技術を応用した研究開発の進展等に向けた基盤的な研究　47件

○文化財の調査手法に関する調査研究　0件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名

○文化財の保存修復及び保存技術等に関する調査研究　47件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	文化財生物劣化の分子生物学的手法による機構解明と環境調和型対策	油彩画の白色顔料上に見られる暗色斑点の発生要因の考察―東京藝術大学大学美術館所蔵 松平四郎《南佛風景》の光学調査および科学分析をもとに―	吉岡穂乃花、生物科学研究室長　佐藤嘉則　他	6月22日	文化財保存修復学会第46回大会
2	同上	油彩画で確認されたカビの種類と顔料との関係	乗名彩香、生物科学研究室研究補佐員　轟丈瑠、生物科学研究室長　佐藤嘉則　他	6月23日	文化財保存修復学会第46回大会
3	同上	空調設備のない保存環境におけるハイガスバリア袋を用いた高湿度対策の効果	生物科学研究室研究補佐員　小野寺裕子、生物科学研究室長　佐藤嘉則　他	6月23日	文化財保存修復学会第46回大会
4	同上	海底から発掘された木製品、石製品等遺物（海揚り品）から発生する還元型硫黄ガス（硫化水素、硫化カルボニル）の調査	木川りか、生物科学研究室アソシエイトフェロー　島田潤、生物科学研究室長　佐藤嘉則　他	6月23日	文化財保存修復学会第46回大会
5	同上	ニュウハクシミの生存率に与える温湿度環境の影響に関する研究	生物科学研究室アソシエイトフェロー　島田潤、生物科学研究室研究補佐員　小野寺裕子、生物科学研究室長　佐藤嘉則　他	6月23日	文化財保存修復学会第46回大会
6	同上	ニュウハクシミに対する簡便な物理的防除方法	高橋佳久、生物科学研究室アソシエイトフェロー　島田潤	6月23日	文化財保存修復学会第46回大会
7	同上	A case study of the management of *Ctenolepisma calvum* using a residual pyrethroid emulsion, with reference to its behavioral characteristics	渡辺祐基、生物科学研究室アソシエイトフェロー　島田潤、生物科学研究室長　佐藤嘉則　他	9月18日	The 5th international conference Integrated Pest Management for Cultural Heritage, 2024
8	同上	Effects of temperature and humidity on the survival rate of the ghost silverfish (*Ctenolepisma calvum*) and insecticidal effects of poisoned baits	生物科学研究室アソシエイトフェロー　島田潤、生物科学研究室長　佐藤嘉則　他	9月18日	The 5th international conference Integrated Pest Management for Cultural Heritage, 2024
9	同上	Gaseous sulfur compounds from objects: Generation of “Black spots” on bronze and emission of H2S and COS from various artefacts excavated from a marine archaeological site	柳田明進、生物科学研究室アソシエイトフェロー　島田潤、生物科学研究室長　佐藤嘉則　他	11月9日	The International Conference on Indoor Air Quality in Heritage and Historic Environments (IAQ 2024)
10	文化財の保存環境にかかる調査研究	美術館の展示室における温湿度環境と空調設備運用状況の調査	保存環境研究室客員研究員　伊庭千恵美、研究員　水谷悦子　他1名	6月22日	令和6年度日本建築学会近畿支部研究発表会
11	同上	冬季における空調の設定温度が保存環境に及ぼす影響について	保存環境研究室長　秋山純子、研究員　水谷悦子他	6月23日	文化財保存修復学会第46回大会
12	同上	Field Survey on Temperature/Humidity Environment and Heat Source Energy Consumption in an Art Museum with Intermittent Air conditioning Operation	保存環境研究室客員研究員　伊庭千恵美、研究員　水谷悦子、室長　秋山純子　研究補佐員　由井和子　他1名	7月25日	International Building Physics Conference-IBPC 2024
13	同上	岩窟仏堂における環境モニタリングによる高湿化要因の検討	保存環境研究室　研究員　水谷悦子　他1名	7月27日	日本文化財科学会第41回大会
14	同上	美術館の温湿度環境とエネルギー消費の調査および改善方法の提案　その1夏季の展示室の温湿度環境の調査	保存環境研究室客員研究員　伊庭千恵美、研究員　水谷悦子、室長　秋山純子　他1名	7月25日	日本建築学会大会（関東）
15	同上	首里城火災における城郭内収蔵庫の美術工芸品の曝露環境 - 壁面の輻射熱の影響	保存環境研究室　研究員　水谷悦子、特任研究員　早川泰弘　他1名	7月28日	第41回日本文化財科学会大会
16	同上	美術館の温湿度環境とエネルギー消費の調査および改善方法の提案	保存環境研究室客員研究員　伊庭千恵美、研究員　水谷悦子、室長　秋山純子　、研究補佐員　由井和子　他1名	9月12日	空気調査・衛生工学会大会（佐賀）
17	文化財の材質・構造・状態調査に関する研究	金沢市立玉川図書館所蔵『二之御丸御殿御造営内装等覚および見本・絵形』第三冊の絵形に使用された彩色材料の分析調査	分析科学研究室アソシエイトトフェロー　紀芝蓮、研究補佐員　寺島海、分析科学研究室長　犬塚将英　他2名	6月22日	文化財保存修復学会第46回大会
18	同上	サンプリングバッグを利用した床面からの放散化学物質の測定方法	分析科学研究室 客員研究員　古田嶋智子、分析科学研究室長　犬塚将英　他1名	6月23日	文化財保存修復学会第46回大会
19	同上	金沢市立玉川図書館所蔵『二之御丸御殿御造営内装等覚および見本・絵形』第二冊に添付された唐紙などの現物見本に用いられた材料の分析調査	分析科学研究室 研究補佐員　寺島海、アソシエイトトフェロー　紀芝蓮、分析科学研究室長　犬塚将英　他2名	7月27日	日本文化財科学会第41回大会
20	同上	浦賀ドックの人造石遺産 ー浦賀ドックから採取された目地材のＸ線分析結果と考察ー	分析科学研究室長　犬塚将英、分析科学研究室アソシエイトトフェロー　紀芝蓮、研究補佐員　寺島海、他2名	6月29日	産業遺産学会2024年度（第48回）総会研究発表会

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
21	同上	Development of Emission Test Method Using Sampling Bag	分析科学研究室 客員研究員　古田嶋智子、分析科学研究室長　犬塚将英 他1名	11月19-20日	IAQ24 conference
22	屋外文化財の保存修復計画に関する調査研究	都内の寺社に見られる石蔵状建物とその保存科学的評価	修復計画研究室長 朽津信明	6月23日	文化財保存修復学会第46回大会
23	同上	殿石仏群に構築された仮設覆屋の保護効果に関する評価	修復計画研究室長 朽津信明、他1名	7月28日	日本文化財科学会第41回大会
24	同上	鵜殿石仏群における風化対策の定量評価	修復計画研究室長 朽津信明、他1名	10月9-11日	日本応用地質学会2024年度研究発表会
25	文化財修復と伝統技法に関する調査研究	デンプン糊で裏打ちされる文化財の修理における市販α-アミラーゼ適用方法に関する検討	修復材料研究室長　早川典子　他3名	6月22日	文化財保存修復学会第46回大会
26	同上	鉄媒染絹布に対するフノリと膠を使用した処置方法の検討	修復材料研究室長　早川典子　他4名	6月23日	文化財保存修復学会第46回大会
27	同上	有機溶媒高含有ゲルによる文化財の旧修理材料除去の試み	修復材料研究室長　早川典子　他2名	6月23日	文化財保存修復学会第46回大会
28	同上	抄紙用ネリに用いるノリウツギの安定供給に向けた取り組み	修復材料研究室AF　西田典由、他7名	6月22日	文化財保存修復学会第46回大会
29	同上	合成樹脂の塗布された板絵著色画の修理事例―東京都有形文化財（絵画） 板絵著色大森彦七図一面および三人静白拍子図一面の保存修理から―	修復材料研究室長　早川典子　他2名	6月23日	文化財保存修復学会第46回大会
30	同上	武雄鍋島家資料「絵絹」調査報告　―製糸・製織技術の視点から―	修復材料研究室長　早川典子　他6名	6月22日	文化財保存修復学会第46回大会
31	同上	植物繊維の同定　―苧麻・大麻の識別―	修復材料研究室長　早川典子　他6名	6月22日	文化財保存修復学会第46回大会
32	同上	各分野の研究者と制作者の連携による仏像における古典彩色技法の解明 ―個人蔵「春日本地仏」修復および復元制作を通して―	修復材料研究室 客員研究員 宇高健太郎　他	6月23日	文化財保存修復学会第46回大会
33	同上	高度外部フィブリル化楮繊維のリーフキャスティングによる評価	同上	6月23日	文化財保存修復学会第46回大会
34	同上	文化財としての紙・文化財を守る紙	保存科学研究センター 主任研究員　西田典由	11月21日	文化財保存修復学会第46回大会
35	同上	日本における漆喰古墳壁画の保存修復と公開	修復材料研究室長　早川典子	9月26日	陝西歴史博物院東京文化財研究所文化財保存科学研究交流会
36	同上	日本の電子線劣化絹の製作経緯および紫外線劣化絹との比較	修復材料研究室長　早川典子	5月13日	韓国原子力研究所研究交流会
37	同上	日本画材料アンケートからみた膠濃度の東西	修復材料研究室　アソシエイトフェロー　大和あすか	12月8日	膠文化研究会第16回公開研究会
38	同上	文化財建造物装飾や板絵における塗装彩色材料調査の現状と課題	修復材料研究室　研究員 倉島玲央　他5名	6月22日	文化財保存修復学会第46回大会
39	同上	近代の文化財修理に使用された材料・技術に関する復元的実験―接着材料としての硫黄コンクリートの使用	修復材料研究室　研究員 倉島玲央　他2名	6月23日	文化財保存修復学会第46回大会
40	同上	壁画に関する科学分析	修復材料研究室　研究員 倉島玲央	9月26日	陝西歴史博物院東京文化財研究所文化財保存科学研究交流会
41	同上	近世社寺建造物の銅葺瓦の塗装に関する基礎的研究	修復材料研究室　研究員 倉島玲央　他5名	7月27日	日本文化財科学会第41回大会
42	同上	劣化した漆塗膜層および下地層の強度評価	修復材料研究室　研究員 倉島玲央	7月28日	日本文化財科学会第41回大会
43	同上	森と職人を繋ぐーキリを例に	修復材料研究室　研究員 倉島玲央	8月9日	森と支える「知恵とわざ」ー無形文化遺産の未来のためにー
44	多様な文化財の保存修復技術に関する研究	文化財としての航空機の保存-文化財保護法における近代動産文化財の捉え方の整理-	修復技術研究室　研究員 千葉毅	6月22日	文化財保存修復学会第46回大会
45	同上	被災紙資料からの揮発成分調査について- 処置状態・方法による比較結果 -	修復技術館吸湿　研究員 芳賀文絵　他1名	6月22日	文化財保存修復学会第46回大会
46	同上	일본에서의 수해로 피해를 입은 문화재로부터의 휘발 성분(냄새)과 그 분석 방법 사례에 대해서(日本における水害で被害を受けた文化財からの揮発成分（臭気）とその分析方法事例について)	修復技術館吸湿　研究員 芳賀文絵　他1名	11月8-9日	韓国文化財保存科学会第60回秋季学術大会
47	同上	일본 문화재 행정에서의 항공기 보호에 대하여-지방자치단체의 보호 사례 전수조사-／Protection of Aircraft in the Administration of Cultural Properties in Japan; A Complete Survey of Protection Cases by Local Governments	修復技術研究室　研究員 千葉毅、芳賀文絵　他5名	11月8-9日	韓国文化財保存科学会第60回秋季学術大会

(3) 文化遺産保護に関する国際協働　15件

○文化遺産保護に関する国際協働の総合的な推進　15件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	文化遺産の保存修復技術に係る国際的研究	Uno studio tecnico interdisciplinare sui dipinti murali del Perugino: due casi di studio. L’ Ultima Cena del Cenacolo del Fuligno e la Crocifissione di Santa Maria Maddalena in Cestello	文化遺産国際協力センター主任研究員　前川佳文他	5月15日	Perugino e Firenze 500 - L’artista umbro e la sua attività nella città toscana fra la Repubblica e il Principato. mediceo-
2	アジア諸国等文化遺産保存修復協力	バハレーンにおけるイスラーム墓碑の3次元計測調査（第2次）及びワークショップの開催	文化遺産国際協力センター　研究補佐員　長尾琢磨ほか	6月15日、16日	第29回日本西アジア考古学会大会
3	文化遺産の保存修復技術に係る国際的研究	旧機那サフラン酒本舗鏝絵の保存修復	文化遺産国際協力センター主任研究員　前川佳文他	6月23日	文化財保存修復学会第46回大会
4	在外日本古美術品保存修復協力事業	墨糊が装潢文化財の色に及ぼす影響	元文化遺産国際協力センターアソシエイトフェロー清水綾子、技術支援研究室長加藤雅人他	6月23日	文化財保存修復学会第46回大会
5	文化遺産の保存修復技術に係る国際的研究	無機物を主体とする保存修復材料による壁画の補強技法に係る研究	文化遺産国際協力センター主任研究員　前川佳文他	7月27日	日本文化財科学会第41回大会
6	アジア諸国等文化遺産保存修復協力	ブータンの伝統的石造民家の建築的特徴と文化財的価値の評価（その２）：タシガン県、タシヤンツェ県、モンガル県及びルンツェ県における建築学的調査の概要	文化遺産国際協力センター国際情報研究室長 金井健	8月30日	2024年度日本建築学会大会
7	文化遺産保護に関する国際情報の収集・研究・発信	国際協力における相互理解の構築	文化遺産国際協力センター国際情報研究室長 金井健	8月31日	日本イコモスフォーラム　英仏版の比較検討から読み直すベニス憲章の意義
8	アジア諸国等文化遺産保存修復協力	Bhutan’s First-ever Vernacular House Designated as Cultural Heritage -The Significance of Designation and Its Architectural Features-	副所長兼文化遺産国際協力センター長　友田正彦ほか	9月10-13日	14th International Symposium on Architectural Interchanges in Asia (ISAIA 2024)
9	アジア諸国等文化遺産保存修復協力	Stone Masonry Technique of Ancient Khmer Craftsmen: A case study of the East Gate in Ta Nei Temple, Angkor	文化遺産国際協力センター　研究員　淺田なつみほか	9月10-13日	14th International Symposium on Architectural Interchanges in Asia (ISAIA 2024)
10	アジア諸国等文化遺産保存修復協力	Comparative Study on the Architectural Features of the Outermost Gate, Ta Nei Temple, Cambodia	文化遺産国際協力センター　アソシエイトフェロー　黒岩千尋ほか	9月10-13日	14th International Symposium on Architectural Interchanges in Asia (ISAIA 2024)
11	文化遺産の保存修復技術に係る国際的研究	Preliminary Studies on the Conservation of the Wall Paintings of the Archangel Michael Church of Keşlik Monastery	文化遺産国際協力センター主任研究員　前川佳文他	11月6日	International Symposium on the Protection of Cultural Properties: Keşlik Monastery Wall Paintings Restoration Project
12	アジア諸国等文化遺産保存修復協力	文化遺産国際協力における3次元計測の活用	文化遺産国際協力センター　研究員　淺田なつみ・研究補佐員　長尾琢磨	11月24日	XRミートアップ東京
13	文化遺産保護に関する国際情報の収集・研究・発信	イタリアのバッファーゾーンとワイダーセッティング ー景観保護法制に基づく遺産価値の広がりー	文化遺産国際協力センターアソシエイトフェロー松浦一之介	11月25日	令和6年度世界遺産研究協議会　世界遺産の柔らかい輪郭
14	アジア諸国等文化遺産保存修復協力	Architectural survey of the historic house in old Kirtipur	文化遺産国際協力センター　研究員　淺田なつみ	12月26日	Seminar for the conservation of historic settlement in Kirtipur
15	アジア諸国等文化遺産保存修復協力	イスラーム墓碑の保存	文化遺産国際協力センター　研究補佐員　長尾琢磨ほか	3月23日	第32回西アジア発掘調査報告会

(4) 文化財に関する情報資料の収集・整備及び調査研究成果の公開・活用　6件

○文化財情報基盤の整備・充実　2件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	文化財情報基盤の整備・充実	データベースにおける検索とキーワードの関係について	文化財情報資料部 主任研究員 小山田智寛	11月1日	第58回オープンレクチャー
2	文化財情報基盤の整備・充実	世界遺産条約の履行に関する近年の状況	文化財情報資料部 文化財情報研究室長 二神葉子	2月4日	令和6年度第4回総合研究会

○調査研究成果の発信　4件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	専門的アーカイブと総合的レファレンスの拡充	行政機関で作成された映像資料とその関連資料の管理と利用可能性について	文化財情報資料部アソシエイトフェロー　山永尚美	5月14日	文化財情報資料部研究会
2	同上	関野貞の朝鮮絵画調査と朝鮮人蒐集家ー東京文化財研究所所蔵の調査資料をもとにー	文化財情報資料部　研究員　田代裕一朗	7年2月17日	文化財情報資料部研究会
3	同上	美術司書の仕事	近・現代視覚芸術研究室長　橘川英規	12月6日	〈アートwith〉レクチャー　泉屋博古館東京
4	日本東洋美術史の資料学的研究	韓国陶磁鑑賞史 ー韓国におけるコレクションの形成	文化財情報資料部 研究員 田代裕一朗	11月2日	第58回オープンレクチャー

【奈良文化財研究所】　119件

(1) 新たな知見の開拓につながる基礎的・探求的な調査研究　42件

○有形文化財、伝統的建造物群に関する調査研究　7件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	歴史的建造物及び伝統的建造物群の保存・修復・活用の実践的研究	五山十刹図に描かれたものとその描画技法	建造物遺構研究室長　鈴木智大	8月17日	「中日古典建築史料」国際学術検討会
2	同上	13～14世紀の日本における禅宗寺院	建造物遺構研究室長　鈴木智大	6月14日	楊州檜巌寺址の世界遺産登録推進のための国際学術大会
3	同上	中世禅宗寺院建築の研究	建造物遺構研究室長　鈴木智大	7年2月24日	日韓建築史学術交流
4	同上	小木町並み調査報告	主任研究員　福嶋啓人	7月6日	佐渡市小木町伝統的建造物群保存地区シンポジウム
5	近畿を中心とする古寺社等所蔵の歴史資料等に関する調査研究	廃都以後の平城宮跡	文化遺産部長　吉川聡	8月18日	入江泰吉旧居講座　世界遺産の社寺と入江泰吉
6	同上	興福寺から白鶴へ―創立者をはぐくんだ奈良―	文化遺産部長　吉川聡	10月20日	白鶴美術館　開館90周年記念　歴史文化講演会
7	同上	2024年度日本史研究会大会 近世史部会共同研究報告反省会	歴史史料研究室アソシエイトフェロー　栗原正東	12月1日	日本史研究会近世史部会

○記念物、文化的景観、埋蔵文化財に関する調査研究　35件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	我が国の記念物に関する調査研究（庭園）	日本庭園のグローバル化と文化観光の動向	上席研究員　中島義晴	10月23日	韓国国家遺産庁主催　伝統造園国際学術大会（韓国ソウル）
2	平城宮・京跡出土遺物・遺構の調査・研究	ウンチから天平人の腹を探る	都城発掘調査部長　今井晃樹	11月16日	奈良文化財研究所第15回東京講演会
3	同上	南都の瓦	主任研究員　川畑純・研究員　田中龍一	7年2月8日	第24回古代瓦研究会シンポジウム
4	同上	平城宮でみつかった奈良時代の大嘗宮遺構	主任研究員　福嶋啓人	10月26日	奈良文化財研究所第131回公開講演会
5	同上	東大寺東塔の復元研究の成果	建造物遺構研究室研究員　目黒新悟	4月24日	奈良文化財研究所記者発表
6	同上	東大寺東塔（天平塔）を復元する！	建造物遺構研究室研究員　目黒新悟・主任研究員　山本祥隆	6月29日	奈良文化財研究所第130回公開講演会
7	同上	平城京遷都の謎	主任研究員　桑田訓也	10月12日	都跡歴史講座
8	同上	平城京遷都の謎	主任研究員　桑田訓也	7年1月11日	佐保川地域ふれあい「歴史教室」
9	飛鳥・藤原京跡出土遺物・遺構に関する調査研究等	日本における王陵級古墳の構造と埋葬儀礼	古墳壁画室長　廣瀬覚	11月15日	古代東アジアと百済の葬送儀礼 国際学術大会
10	同上	藤原宮の造営過程と儀礼空間	古墳壁画室長　廣瀬覚	11月17日	シンポジウム前期難波宮・藤原宮の儀礼と空間構成
11	同上	古墳時代から飛鳥時代へ―畿内と出雲を比較する―	古墳壁画室長　廣瀬覚	11月30日	出雲弥生の森博物館 秋季企画展「出雲平野の後期古墳」講演会
12	同上	藤原宮大極殿後殿の発見とその意義	古墳壁画室長　廣瀬覚	7年3月15・16日	早稲田大学・中国社会科学院考古研究所 共催シンポジウム　生と死の儀礼空間―日中の都城・陵墓・寺院の発掘事例から―
13	文化的景観及びその保存・活用に関する調査研究	智頭の山の暮らしと風景史	景観研究室長　惠谷浩子	6月15日	智頭の林業景観シンポジウム「くらしと風土が育てる文化的景観」
14	同上	テロワールと文化的景観	景観研究室長　惠谷浩子	7月21日	日本都市史学会主催書評会　テロワール―ワインと茶をめぐる歴史・空間・流通
15	同上	田んぼの見方ー明日香村の灌漑システムを読み解く	景観研究室長　惠谷浩子	10月12日	飛鳥資料館 秋期特別展 関連講演会

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
16	同上	Conservation of Cultural Landscapes as Living Heritage in Japan	景観研究室長　惠谷浩子	11月23日	UNESCO Chair on Living Heritage and Community Development（復旦大学）「International Symposium on Living Heritage and Sustinable Development」
17	同上	風景を読み、生きるを考えるー京都/岐阜の調査から	景観研究室長　惠谷浩子	7年1月17日	Plant It Green! - 都市の緑を「コモンズ」の視点から考え直す! -
18	同上	地区レベルの実践と都市の計画をつなぐ計画論ー岡崎市・佐賀市・前橋市の中心市街地の再生への取り組みから	景観研究室客員研究員　小浦久子　他	11月3日	日本都市計画学会　2024年度全国大会
19	同上	住民さんとフィールドワークで「みつけた」和束らしさ	景観研究室長　惠谷浩子	7年3月16日	茶源郷和束 文化的景観シンポジウムーみんなで「みつけた」暮らしの物語ー
20	出土文字資料の拠点的研究	但馬の文字を読み披く	歴史史料研究室長　山本崇	8月3日	夏季企画展「ひょうご発掘調査速報2024」関連講演、兵庫県立考古博物館
21	同上	古代日本の呪符木簡	主任研究員　桑田訓也	5月10日	第三回韓中日木簡研究国際学術大会
22	同上	木簡概論　―木簡とは何か？ 古代木簡の特徴とは？	主任研究員　山本祥隆	5月31日	名桜大学 令和６年度前期「歴史学」講義（リレー形式）
23	同上	奈文研木簡の収蔵管理と公開の理念	主任研究員　山本祥隆	6月27日	科研費基盤研究（A）「簡牘の形態に関する新研究」〔研究代表者：鷹取祐司〕主催　円卓座談会「簡牘の物質・形態に関する新研究」
24	同上	2024年全国出土の木簡	主任研究員　山本祥隆	12月8日	第46回木簡学会研究集会
25	都城を中心とする文字資料の調査研究	木簡からみる日本古代の下級官人（予察）－休暇・習書・削屑	主任研究員　山本祥隆	7年1月8日	慶北大学校人文学術院HK+事業団第7回国際学術大会
26	同上	約100m！？それとも・・・　東大寺東塔（七重塔）の高さを文献から考える	主任研究員　山本祥隆	7年2月23日	鈴鹿市 寺院官衙シリーズ講演会第２回 奈良の都の寺を掘るⅥ
27	同上	大嘗祭木簡の語ること	歴史史料研究室長　山本崇	10月26日	第131回公開講演会、奈良文化財研究所平城宮跡資料館
28	同上	奈良県明日香村西橘遺跡の出土木簡	歴史史料研究室長　山本崇	12月8日	第46回木簡学会研究集会
29	同上	文献からみる高さは・・・　天平塔、１００年の謎を解き明かす　～歴史学の視点から～	主任研究員　山本祥隆	6月29日	奈良文化財研究所 第130回公開講演会
30	同上	東大寺東塔の発掘調査	主任研究員　山本祥隆	7年3月8日	佐保川地域ふれあい歴史教室
31	同上	大嘗祭　木簡と民衆の生業	歴史史料研究室研究員　垣中健志	11月15日	慶北大学校人文学術院HK事業団第50回専門家招請講演
32	同上	大嘗祭木簡　調査成果と課題	歴史史料研究室研究員　垣中健志	11月26日	慶州文化遺産研究所発掘調査交流研究発表会
33	全国の埋蔵文化財に関する基盤的な調査研究	弥生時代から古墳時代へ―山陰地域の自然の変化と景観の変遷ー	主任研究員 村田泰輔	6月15日	とっとり弥生の王国むきばんだ遺跡土曜講座
34	水中文化遺産に関する調査研究	海底から発掘された木製品、石製品等遺物（海揚り品）から発生する還元型硫黄ガス（硫化水素、硫化カルボニル）の調査	主任研究員　柳田明進、保存修復科学研究室長　脇谷草一郎　他7名	6月23日	文化財保存修復学会第46回大会
35	同上	海底遺跡出土鋳造鉄製遺物の埋蔵時の腐食と発掘後の劣化現象の検討	主任研究員　柳田明進、保存修復科学研究室長　脇谷草一郎　他4名	7月28日	日本文化財科学会第41回大会

(2) 科学技術を応用した研究開発の進展等に向けた基盤的な研究　49件

○文化財の調査手法に関する研究開発の推進　20件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	埋蔵文化財の探査・計測方法の研究開発	リアルタイムフォトグラメトリによる発掘調査における三次元計測の迅速化	主任研究員 山口欧志	5月26日	日本考古学協会第90回総会研究発表
2	同上	大和条里と平城京の関係	客員研究員 小澤毅	6月1日	大和古文化研究会
3	同上	鈴鹿関の成立をめぐって	客員研究員 小澤毅	6月30日	亀山市歴史博物館開館30周年記念講演会
4	同上	文化財科学への放射光応用推進ワーキンググループ	遺跡調査技術研究室研究員 上椙英之　他	7月27日	日本文化財科学会第41回大会
5	同上	縄文原体に関する知能情報学的検討	客員研究員　高野紗奈江　他	7月27日	日本文化財科学会第41回大会
6	同上	画像生成AI（VAE）による縄文土器研究の可能性	客員研究員　高野紗奈江　他	7月27日	日本文化財科学会第41回大会
7	同上	日本列島の「縄文」と世界の「縄文」	遺跡調査技術研究室客員研究員 高野紗奈江	10月25日	教室研究会
8	同上	Reconstructing, Understanding, and Analyzing Relief Type Cultural Heritage from a Single Old Photo	主任研究員 山口欧志（他7名　第3著者）	10月31日	ACM Multimedia 2024

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
9	同上	飛鳥宮の展開と皇極～天武朝	客員研究員 小澤毅	11月8日	賀茂真淵記念館歴史文化講座
10	同上	五条野丸山古墳について	客員研究員 小澤毅	11月16日	斑鳩町観光協会シンポジウム
11	同上	3D形状計測による土器製作痕の可視化	客員研究員 平川ひろみ他	3月30日	日本情報考古学会第49回大会
12	同上	美山伝来薩摩焼陶製品の新たな資料化と知見―3D計測の適用―	客員研究員 平川ひろみ他	3月30日	日本情報考古学会第49回大会
13	埋蔵文化財の探査・計測方法の研究開発／文化財の調査・研究成果を社会・教育実装するためのＩＣＴを用いた普及・啓発手法の開発	文化財“フォトグラメトリ”の過去・未来・現在	主任研究員 山口欧志	7月27日	日本文化財科学会第41回大会
14	同上	考古学とデジタル技術 ー大分県の展望ー	上席研究員 金田明大	11月2日	デジタル技術と大分県の埋蔵文化財・考古学
15	年輪年代学研究	マイクロフォーカスX線CT撮像に基づく木造伝親鸞聖人坐像頭部の年輪年代学的検討	年代学研究室長 星野安治員数5(3番目)	7月27日	日本文化財科学会第41回大会
16	同上	石清水八幡宮摂社狩尾社本殿の年輪年代学的検討	年代学研究室長 星野安治員数4(1番目)	7月28日	日本文化財科学会第41回大会
17	同上	曲物底板の年輪年代からみた福井県ー乗谷朝倉氏遺跡の暦年代検討ー年輪年代と紀年銘資料との比較からー	年代学研究室長 星野安治員数2(2番目)	12月8日	第39回日本植生史学会大会
18	動植物遺存体の分析方法の研究開発	奈良文化財研究所所蔵のリュウキュウイノシシ下顎骨標本（花井コレクション）	環境考古学研究室長　山崎健　他２名	7月7日	日本動物考古学会第11回大会
19	同上	縄文時代後晩期の外洋性漁撈	環境考古学研究室長　山崎健	10月4日	インターメディアテク特別展示『海の人類史 パイオニアたちの100万年』研究・討論会「日本列島の先史時代における海の人類史」
20	物質文化・地質情報等を基とした防災・減災・復興・復旧の歴史的研究	考古・歴史資料による潜在化ハザードの見える化ー今ある情報を見直し、私たちの将来の安心・安全へー	主任研究員 村田泰輔	11月14日	阪神・淡路大震災30年事業　令和6年度防災特別講演会

○文化財の保存修復及び保存技術等に関する調査研究　29件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	考古遺物の保存処理法に関する調査研究	出土銅製品に施された塗膜の剥離メカニズムの検討（その3）＿ 埋蔵環境が塗膜の変質に及ぼす影響＿	保存修復科学研究室アソシエイトフェロー・楊曼寧、同主任研究員・柳田明進、同室長・脇谷草一郎ほか2名	7月28日	日本文化財科学会第41回大会
2	同上	木製遺物の保存処理における脱水工程を要しない非水溶性薬剤含浸法の検討 ー陽イオン界面活性剤を用いた新たな高級アルコール含浸法の可能性ー	保存修復科学研究室主任研究員・松田和貴、同室長・脇谷草一郎	7月28日	日本文化財科学会第41回大会
3	同上	埋蔵時の鉄製遺物の腐食に及ぼすさび層の影響―古墳出土鉄製遺物のさび層の組成と構造	保存修復科学研究室主任研究員・柳田明進、同室長・脇谷草一郎、都城発掘調査部平城地区考古第一研究室長・和田一之輔	7月28日	日本文化財科学会第41回大会
4	同上	遺跡出土木製文化財の保存処理における界面活性剤の利用	保存修復科学研究室主任研究員・松田和貴	9月16日	第８回 未来のコロイドおよび界面化学を創る若手討論会
5	同上	遺跡から出土する水浸木製遺物の保存処理における陽イオン界面活性剤を用いた非水溶性薬剤含浸法の検討	保存修復科学研究室主任研究員・松田和貴	9月17日	第75回コロイドおよび界面化学討論会
6	同上	埋蔵環境の差異が鉄製文化財の腐食状態に及ぼす影響	保存修復科学研究室主任研究員・柳田明進	9月19日	ナチュラルアナログ研究ワークショップ2024
7	同上	銅製文化財の劣化を引き起こすBlack Spotsとは何か？	保存修復科学研究室主任研究員・柳田明進	11月2日	第9回 文理融合シンポジウム　量子ビームで歴史を探る -加速器が紡ぐ文理融合の地平-
8	同上	土質および埋没過程が鉄製文化財の腐食に及ぼす影響	保存修復科学研究室主任研究員・柳田明進、同室長・脇谷草一郎、都城発掘調査部平城地区考古第一研究室長・和田一之輔、同研究員・浦 蓉子	11月15日	第71回材料と環境討論会
9	同上	出土遺物の保存処理における漆塗膜の変形メカニズムの検討	保存修復科学研究室アソシエイトフェロー・楊曼寧	12月14日	保存科学研究集会2024日本木材学会木質文化財研究会2024年度例会
10	同上	出土木製品の保存処理における新たな薬剤含浸手法の試み	保存修復科学研究室主任研究員・松田和貴	12月14日	保存科学研究集会2024日本木材学会木質文化財研究会2024年度例会

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
11	遺構の安定した保存のための維持管理方法に関する調査研究	屋外文化財の塩類風化抑制のための環境制御方法に関する研究 ―塩の移動が多孔質材料中の温度・水分状態に与える影響と塩濃度の年周期的定常性の検討―	保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同客員研究員・小椋大輔、室長・脇谷草一郎ほか2名	6月22日	令和６年度日本建築学会近畿支部研究発表会
12	同上	文化財建造物における障壁画の保存対策に関する研究 ―３次元熱解析による壁貼り付け絵の亀裂抑制方法の検討―	保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同客員研究員・小椋大輔、室長・脇谷草一郎ほか4名	6月22日	令和６年度日本建築学会近畿支部研究発表会
13	同上	特別名勝一乗谷朝倉氏庭園の景石の冬季養生方法の検討―	保存修復科学研究室室長・脇谷草一郎、同主任研究員・柳田明進、ほか2名	7月28日	日本文化財科学会第41回大会
14	同上	数値解析による屋外文化財の塩類風化予測に関する研究 ―塩の析出状態予測における材料内初期塩濃度の影響―	保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同客員研究員・小椋大輔、室長・脇谷草一郎ほか2名	7月28日	日本文化財科学会第41回大会
15	同上	史跡名勝瑞泉寺庭園における庭石の風化状況に関する調査（II）	保存修復科学研究室室長・脇谷草一郎、文化財防災センター長・高妻洋成ほか3名	7月28日	日本文化財科学会第41回大会
16	同上	文化財建造物における障壁画の保存対策に関する研究 ― 熱水分移動解析を用いた壁貼付け絵の亀裂抑制方法の検討―	保存修復科学研究室客員研究員・高取伸光、同客員研究員・小椋大輔、室長・脇谷草一郎ほか4名	7月28日	日本文化財科学会第41回大会
17	考古遺物を中心とした文化財の材質調査に関する調査研究	ガラス玉の産地と分析化学	都城発掘調査部主任研究員（保存修復科学研究室兼任）・田村朋美	4月21日	考古学研究会第70回総会・研究集会
18	同上	中世日本におけるカリ石灰ガラス	都城発掘調査部主任研究員（保存修復科学研究室兼任）・田村朋美	5月10日	博山古代ガラス学術交流会
19	同上	赤外線マイクロスコープを用いた文化財調査の有効性に関する研究	都城発掘調査部主任研究員（保存修復科学研究室兼任）・田村朋美、ほか2名	6月6日	光・量子ビーム科学合同シンポジウム2024（OPTO2024）
20	同上	青色顔料の判別における赤外線顕微鏡による表面観察の有効性についての研究	都城発掘調査部主任研究員（保存修復科学研究室兼任）・田村朋美、ほか1名	7月27日	日本文化財科学会第41回大会
21	同上	ブハラオアシス出土のガラス製遺物のSr同位体比分析（2）―パイケンドおよびブハラ遺跡出土品を対象に―	都城発掘調査部主任研究員（保存修復科学研究室兼任）・田村朋美、ほか6名	7月28日	日本文化財科学会第41回大会
22	同上	Compositional and Isotopic Analysis of the Double Layered Cobalt Blue Glass Beads Excavated in Japan	都城発掘調査部主任研究員（保存修復科学研究室兼任）・田村朋美	8月28日	ICG 2024 (International Commission on Glass Annual Meeting)
23	同上	日本の古代ガラスの考古科学的研究	都城発掘調査部主任研究員（保存修復科学研究室兼任）・田村朋美	8月30日	東京藝術大学集中講義
24	同上	出土ガラスの考古科学	都城発掘調査部主任研究員（保存修復科学研究室兼任）・田村朋美	11月16日	NAIST STELLAプログラム 2024 特別講義
25	同上	古代ガラスロードが読み解く飛鳥の東西交易―最新の科学分析の現場から―	都城発掘調査部主任研究員（保存修復科学研究室兼任）・田村朋美	7年1月18日	ACCU文化遺産セミナー2024
26	同上	ガラス玉の科学ー産地と交易ー	都城発掘調査部主任研究員（保存修復科学研究室兼任）・田村朋美	7年2月9日	令和６年度 たつの市埋蔵文化財センター特別展「ガラス玉―古代人を魅了した小さきものたち―」記念講演会
27	同上	ウズベキスタン・ブハラオアシス出土のイスラーム・ガラスについて（調査報告）	都城発掘調査部主任研究員（保存修復科学研究室兼任）・田村朋美ほか3名	7年3月22日	ガラス工芸学会第79回研究会
28	遺跡現地における壁画の安定した保存と公開活用を行うための劣化状態調査／適切な石室内の熱水分環境に関する検討	壁画におけるアズライトの緑色化に関する研究 ―劣化生成物の粒径と生成量に着目した緑色化の傾向―	保存修復科学研究室アソシエイトフェロー・大迫美月ほか１名	6月22日	文化財保存修復学会第46回大会
29	同上	漆喰下地に残存するアルカリが群青・緑青の変質に及ぼす影響 ―初期pHの異なるCa(OH)2水溶液を用いた浸漬実験による検討―	保存修復科学研究室アソシエイトフェロー・大迫美月、同主任研究員・柳田明進、同室長・脇谷草一郎	7月28日	日本文化財科学会第41回大会

(3) 文化遺産保護に関する国際協働　7件

○文化遺産保護に関する国際協働の総合的な推進　7件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	アジア地域等の文化遺産に関する調査研究及び保護協力事業	Prasat Top West: Finalization of the Restoration Work.	主任研究員　山藤正敏他	12月11日	39th Technical Session, ICC-Angkor
2	文化遺産保護に関する国際情報の収集・研究・発信（ユネスコ等）	バハレーン、サール集落遺跡における住居跡の調査	国際遺跡研究室アソシエイトフェロー　笠原朋与他	6月15日	日本西アジア考古学会　第29回大会

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
3	文化遺産に関する研究交流（イギリス等）	Agricultural and culinary significance of millet and rice in the Bronze Age Korea	国際遺跡研究室長　庄田慎矢　他	7月4日	The Transition to Agriculture at the edges of Eurasia Neolithisation in the British Isles and the Jomon-Yayoi transition
4	同上	Territoriality and Resource Control: Coastal Exploitation from the Paleolithic to Jomon Periods in Japan	国際遺跡研究室長　庄田慎矢　他	11月21日	Territoriality of Marine Resources
5	同上	Exploring Prehistoric Plant Use by Biomolecular Archaeology	国際遺跡研究室長　庄田慎矢　他	12月6日	Seminar on Evolutionally System Biology, University of Zurich Irchel Cumpus
6	同上	Living the gap: between the field and the laboratories, between science and the humanities	国際遺跡研究室長　庄田慎矢　他	12月11日	Seminar at Dipartimento di Scienze della Vita e Biologia dei Sistemi, Università degli studi di Torino
7	同上	Millet Eastwards and Westwards: Penetration into culinary tradition	国際遺跡研究室長　庄田慎矢　他	12月13日	Debates in archaeosciences

(4) 文化財に関する情報資料の収集・整備及び調査研究成果の公開・活用　21件

○文化財情報基盤の整備・充実　21件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	文化財に関するデータベースの充実	石丁場・矢穴研究の到達点と 今後の課題 矢穴研究は歴史性に迫ることができる	主任研究員　高田祐一	6月1日	第20回石造物研究会
2	同上	奈文研の英語担当者の仕事について	アソシエイトフェロー ドゥドコ アナスタシア	6月12日	奈良教育大学開講科目「比較言語文化論 I」第6回～第7回 日本文化を外国語で説明すること
3	同上	文化財と地理空間 -デジタルデータの活用と集積状況-	主任研究員　高田祐一	6月27日	地理空間と言語処理勉強会
4	同上	文化財分野におけるLiDARおよび３D技術の利活用-遺跡踏査を中心に	主任研究員　高田祐一	6月28日	日本写真測量学会関西支部 特別講演会（第125回空間情報話題交換会）
5	同上	日本考古学分野におけるオープンデータ・オープンメソドロジーの現在地	アソシエイトフェロー 武内樹治	7月26日	第2回 DH若手の会（2024夏） -デジタル・ヒューマニティーズで ″繋がる×広がる″ 人文学-
6	同上	デジタル時代の文化財データ～ 3D技術による遺跡の発見と記録 ～	主任研究員　高田祐一	8月7日	第99回けいはんなサイエンスカフェ
7	同上	デジタル時代の新たな遺跡の見つけ方	主任研究員　高田祐一	8月8日	KG歴史考古の会
8	同上	文化財OSINTと文化財総覧WebGIS	主任研究員　高田祐一	8月9日	考古学・文化財のためのデータサイエンス・サロン
9	同上	文化財情報を防災・減災に向けて活用・分析する	アソシエイトフェロー 武内樹治	8月9日	考古学・文化財のためのデータサイエンス・サロン
10	同上	歴史災害史料を対象とした地名の自動抽出	アソシエイトフェロー 武内樹治　他	9月6日	第19回YANSシンポジウム
11	同上	地理情報システムを用いた文化財の情報基盤と分析	アソシエイトフェロー 武内樹治	10月26日	第33回地理情報システム学会学術研究発表大会セッション シンポジウム「文化財情報とFOSS4Gの活用」（FOSS4G分科会）
12	同上	日本における埋蔵文化財包蔵地の地理情報基盤の調査とその展望	アソシエイトフェロー 武内樹治	10月27日	第33回地理情報システム学会学術研究発表大会
13	同上	考古学ビッグデータと災害史研究	アソシエイトフェロー 武内樹治	12月14日	考古学・歴史学と災害史研究―過去を知り、未来に備えるために―（古代寺院3D-GIS科研研究集会01）
14	同上	すべての文化財情報にアクセスできるようにする計画	主任研究員　高田祐一	12月28日	データ可視化イベント Data Visualization Japan Meetup
15	同上	奈良文化財研究所の取組	アソシエイトフェロー 武内樹治	7年1月31日	人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業フォーラム
16	同上	文化財分野においていかにデータ公開を進めているか	主任研究員　高田祐一	7年2月23日	第44回S-Net研究会 自然史博物館の画像公開を考える :実務とシステムの両面から
17	同上	大規模言語モデルを用いた発掘調査報告書からの考古学情報抽出	主任研究員　高田祐一、アソシエイトフェロー　武内樹治　他	7年3月11日	言語処理学会第31回年次大会
18	同上	ＡＩによる集積データの分析や三次元計測データなどの最新技術を用いた文化財調査方法の可能性	主任研究員　高田祐一	7年3月18日	令和６年度エル・おおさか歴史セミナー
19	同上	リソースが限られているからこそ文化財情報のオープン化	主任研究員　高田祐一	7年3月19日	デジタルアーカイブ学会シンポジウム「博物館デジタルアーカイブの現在地（第3回：コモンズ編）」
20	文化財情報のデジタルアーカイブに関する実践研究	XRミートアップ奈良は「成功」したのか	主任研究員　高田祐一	11月24日	XRミートアップ東京
21	同上	XR平城京	主任研究員　高田祐一、他	11月24日	XRミートアップ東京

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】　3件

	研究テーマ	発表テーマ	発表者（職名・名前）	実施日	学会等名
1	アジア太平洋地域の無形文化遺産保護に関する調査研究	東アジアにおける遺産管理の総合的アプローチ：有形・無形の相乗効果	研究担当室長 野嶋　洋子 ユネスコ北京事務局 Duong Bich hanh	10月21日	Addressing Gap:Roled ICH and the 2003 Convention in an Integrated Approach
2	アジア太平洋地域の無形文化遺産保護に関する調査研究	Intangible cultural perspectives for DRR: the latest development and challenges	研究担当室長 野嶋　洋子	10月22日	Integrated Research on Disaster Risk 12024 International Conference
3	アジア太平洋地域の無形文化遺産保護に関する調査研究	第45回無形文化遺産理解セミナー・ワークショップ「フィリピン民族舞踊にふれあおう」	アソシエイトフェロー 並木　香奈美	12月1日	無形文化遺産理解セミナー・ワークショップ（堺市博物館）

c-④ シンポジウム開催実績一覧

令和7年3月31日現在

国立文化財機構合計	博物館計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	皇居三の丸尚蔵館
	4件	1件	1件	1件	1件	0件
25件	文化財研究所計	東京文化財研究所		奈良文化財研究所		
	17件	12件		5件		
	アジア太平洋無形文化遺産研究センター	本部文化財活用センター		本部文化財防災センター		
	2件	0件		2件		

【本部文化財活用センター】　0件

【本部文化財防災センター】　2件

○富山県における文化財防災に関する専門家会議ー令和 6 年能登半島地震への対応を受けてー

開 催 日　10月19日
開催場所　高岡市美術館 企画展示室2
主　　催　文化財防災センター
参 加 者　30人
事業内容　令和6年能登半島地震による富山県内の文化財の被害状況と対応、外部からの支援の事例を共有するとともに、それらをとおして今後の富山県内の関係機関のあり方や、文化財防災のための平常時からの取り組みについて考える専門家会議を開催。

○阪神・淡路大震災 30 年シンポジウム「文化財レスキュー、広がりと深化の 30 年」

開 催 日　7年1月19日
開催場所　東京国立博物館
主　　催　文化財防災センター
参 加 者　81人
事業内容　初めて被災文化財の救援活動が行われた阪神・淡路大震災から30年となる令和7年1月、過去の対応を振り返りながら、これからの文化財防災について考えるシンポジウムを開催。

【東京国立博物館】　1件

○子育て世代の来館者・非来館者調査結果報告シンポジウム『“未就学児”にフォーカスしたミュージアムの未来図』

開 催 日　7年2月27日
開催場所　東京国立博物館大講堂
参加者数　153人
事業内容　当館が実施した子育て世代を対象とした来館者・非来館者調査の結果を公表するとともに、他のミュージアムでの未就学児向け施策の事例紹介や有識者によるパネルディスカッションを実施した。

【京都国立博物館】　1件

○研究発表と座談会　浄土宗を中心とした祖師信仰とその造形

開 催 日　10月27日
開催場所　京都国立博物館
主　　催　公益財団法人仏教美術研究上野記念財団・京都国立博物館
参加人数　48人
事業内容　仏教美術研究上野記念財団と当館との共催で行ったシンポジウム。特別展「法然と極楽浄土」（10月8日～12月1日）に合わせて開催したものである。特別展「法然と極楽浄土」に関連した美術作品に焦点をあて、これらの機能や目的、様式や作者などの諸問題について、宗教史・美術史の両面から解明し、日本仏教の特質の一面を明らかにしていくことをテーマとして、仏教史、美術史の学際的な研究者3名の発表、それに基づき座談会を行った。

【奈良国立博物館】　1件

○正倉院学術シンポジウム2024「正倉院・東大寺伝来の伎楽面」

開 催 日　10月26日
開催場所　奈良国立博物館　講堂
主　　催　奈良国立博物館
参加者数　59人
事業内容　テーマに基づき3名の研究者による研究発表とパネルディスカッションを行った。
第1部：研究発表　「正倉院・東大寺系伎楽面の分類―役柄・製作工房・セット―」、「東大寺所蔵および同寺旧蔵の伎楽面について」、「伎楽面の美術史と文化史」
第2部：パネルディスカッション

【九州国立博物館】　1件

○公開シンポジウム　全国高等学校歴史学フォーラム2024

開 催 日　8月3日
開催場所　ミュージアムホール
主　　催　九州国立博物館
参加者数　25人（参加校関係者数）
事業内容　高校生が、歴史学研究に関する活動内容や成果をポスターセッションにて発表。
「幻の小八郎様祭～日本唯一？為朝の息子を祀る謎～」（福岡県立朝倉高等学校 史学部A），「雉と琴と神宮皇后～美しき伝承の裏を読み解く～」（福岡県立朝倉高等学校 史学部B），「戦時下の神奈川第一抑留所と北足柄」（神奈川県立足柄高等学校 歴史研究部），「小郡の幻の鉄路を追って～鳥栖・小郡・三輪を結ぶ「中央軌道」はなぜ消えたのか～」（福岡県立小郡高等学校 郷土研究部），「伝統産業と近代化～埼玉県行田の足袋産業の発展・衰退・復活～」（埼玉県立熊谷西高等学校），「能島村上氏と筑前かむり村～大名勢力への帰属と海賊の終焉～」（西南学院高等学校 社会調査研究部），「様々な姿で祀られる養蚕の神様たち～養蚕信仰の地域間格差について～」（群馬県立高崎北高等学校），「海路の要塞～細川氏と門司城～」（常磐高等学校），「安場古墳から出土した大刀から日本刀の歴史を解く」（日本大学東北高等学校），「御前原秘匿飛行場建設の謎に迫る」（栃木県立矢板東高等学校 リベラルアーツ同好会），「甲冑レプリカの製作」（福岡県立香椎工業高等学校 電子機械科）

【皇居三の丸尚蔵館】　0件

【東京文化財研究所】　12件

○国際シンポジウム「Perugino e Firenze 500 – L’artista umbro e la sua attività nella città toscana fra la Repubblica e il Principato. mediceo-」
開 催 日　5月14日・15日
開催場所　Museo del Cenacolo del Fuligno（イタリア・フィレンツェ）
主　　催　東京文化財研究所、イタリア文化省、イタリア学術会議(CNR)、フィレンツェ美術監督局、文化財科学研究所(ispc)、南スイス応用科学芸術大学(SUPSI)、エリオ・コンティ歴史研究協会
参加者数　200人
事業内容　イタリアルネサンスを代表する画家ピエトロ・ペルジーノの没後500年を記念し、改めて彼にまつわる作品の価値を問い、今後の保存や維持管理について議論する国際シンポジウムを開催した。

○“Reunion, Rehabilitation, and Revitalization” International Online Workshop for Safeguarding Intangible Cultural Heritage and Living Heritage in Sudan
開 催 日　5月28日・29日
開催場所　オンライン
主　　催　東京文化財研究所
参加者数　オンライン40人
事業内容　武力紛争下にあるスーダンのリビングヘリテージの保護について、国内外の専門家及びスーダン人専門家がオンラインで一堂に会し、その現状について情報共有を行うとともに、その保護と復興について議論した。

○第34回文化遺産国際協力コンソーシアム研究会「学校教育と文化遺産」
開 催 日　9月28日
開催場所　東京文化財研究所
主　　催　文化遺産国際協力コンソーシアム、文化庁
参加者数　69人
事業内容　文化遺産国際協力と学校教育の関係にあらためて目を向け、その意義を共有することを目的に、将来世代の文化遺産への認識の醸成や、国際理解の促進、持続可能な地域社会づくりへの貢献などにつながるような国内外の事例を紹介・議論する研究会を開催した。

○東京文化財研究所における実演記録事業（講談）　一龍斎貞水師を偲んで
開 催 日　10月3日
開催場所　東京文化財研究所
主　　催　東京文化財研究所
参加者数　会場77人
事業内容　重要無形文化財保持者（各個認定）で2020年に逝去された講釈師・一龍斎貞水の、当研究所で制作した実演記録映像を上映するとともに、専門家の講演、貞水師門弟・一龍斎貞橘師の講談と対談を実施した。

○ARLIS/NA来日記念国際シンポジウム「美術アーカイブと図書館における国際連携」
開 催 日　10月22日
開催場所　東京文化財研究所
共　　催　北米美術図書館協会(ARLIS/NA)
参加者数　会場 86人
事業内容　北米美術図書館協会(ARLIS/NA)の初めての日本視察旅行に合わせ、北米からの参加者15人および所内外からの参加者71名によるシンポジウムを開催した。美術図書・美術資料に関する情報をいかに発信し、記録を構築し、諸機関と連携していくかについて具体的な事例とともに協議を行なった。

○XRミートアップ東京 文化財編
開 催 日　11月24日
開催場所　東京文化財研究所
共　　催　東京文化財研究所/奈良文化財研究所/ 株式会社桑山瓦（ワイクウーデザイン）/株式会社ホロラボ/ 公立小松大学次世代考古学研究センター
参加者数　会場 119人
事業内容　XR技術の文化財分野での活用について、学術研究、行政実務や教育関係者、技術開発者の間での交流を深め、取り組みの拡大と展開を推進することをねらいとしたセミナーと展示のイベントを開催した。

○世界遺産研究協議会「世界遺産の柔らかい輪郭―バッファゾーンとワイダーセッティング―」
開 催 日　11月25日
開催場所　東京文化財研究所
主　　催　東京文化財研究所
参加者数　84人
事業内容　国内の世界遺産に関係する自治体担当者や研究者等とする研究会を開催した。

○第35回文化遺産国際協力コンソーシアム研究会「文化遺産保護と奈良文書―国際規範としての受容と応用―」
開 催 日　11月28日
開催場所　東京文化財研究所
主　　催　文化遺産国際協力コンソーシアム、文化庁
参加者数　55人、オンライン80人
事業内容　奈良文書採択30周年を機会として、同文書が押し広げた「オーセンティシティ」の概念がこの30年間に世界の諸地域の文化遺産保護の現場でどのように理解され、いかに実践されてきたかについて、ヨーロッパ、アフリカ、アジアの事例を通じて議論する研究会を開催した。

○令和6年度文化遺産国際協力コンソーシアムシンポジウム「「モニュメント」はいかに保存されたか　ノートルダム大聖堂の災禍からの復興」
開 催 日　11月30日
開催場所　東京富士大学二上講堂
主　　催　文化遺産国際協力コンソーシアム、文化庁
参加者数　会場 74人、オンライン106人
事業内容　「モニュメント」保存の長い歴史と伝統をもつフランスにおいて、木造の復旧を中心とした今回のノートルダム大聖堂の修復で「オーセンティシティ」がどのように認識され、実際の修復方法にいかに適用されたか、また奈良文書が提起した木造建築や修復技術の「オーセンティシティ」がどのような影響を与えたか、日中仏の専門家による議論を通じて展望するシンポジウムを開催した。

○シンポジウム「黒田清輝、その研究と評価の現在―没後 100 年を機に」
開 催 日　7年1月10日
開催場所　黒田記念館セミナー室、オンライン同時配信
主　　催　東京文化財研究所
参加者数　会場参加　19名　オンライン参加　44名
事業内容　黒田清輝の没後100年を迎えたのを記念して、創設の地である黒田記念館のセミナー室を会場として1月10日に、シンポジウム「黒田清輝、その研究と評価の現在−没後100年を機に」を開催した。最新の研究成果をふまえ、フランス近代美術との関連、日本近代洋画壇への影響、そして地方への波及という視点から黒田清輝の画業を捉え直した。

○2024年度 美術工芸品修理のための用具・原材料と生産技術の保護・育成等促進事業報告会
開 催 日　7年2月5日
開催場所　東京文化財研究所
主　　催　東京文化財研究所
参加者数　会場38人 、オンライン83人
事業内容　東文研で遂行している文化庁補助事業「美術工芸品修理のための用具・原材料と生産技術の保護・育成等促進事業」の今年度の報告を行い、今後の課題について議論した。所内の成果報告に加え、ご協力機関の方々にもお越しいただき、ご活動についてご紹介いただいた。

○フォーラム「ポスト・エキヒュームSの資料保存を考える」
開 催 日　　2月21日
開催場所　　東京文化財研究所地下セミナー室、オンライン同時配信
主　　催　　東京文化財研究所
参加者数　　会場参加 159人　オンライン 754人
事業内容　　資料保存における生物被害対策に欠かすことのできない「エキヒュームS」の販売停止を迎え、持続可能な新しい資料保存の在り方について専門家を招いた講演会と討議会を催した。

【奈良文化財研究所】　5件

○文化的景観研究集会（第12回）「風景を耕す、その悦び」
開 催 日　　9月1日
開催場所　　大会議室
主　　催　　奈良文化財研究所
参加者数　　会場141人
事業内容　　風景の捉え方に関する基礎的・学術的検討を行った。

○古代官衙・集落研究会特別研究集会「律令国家成立期の地域動態１ー筑紫から大宰府へー」
開 催 日　　9月21日・22日
開催場所　　福岡市博物館講堂
主　　催　　奈良文化財研究所
参加者数　　会場93人
事業内容　　官衙・集落に関わる調査・研究の進展の著しい北部九州の地域において、西海道・筑紫国の成立と糟屋屯倉・那津官家・大宰府の成立前後の集落・官衙の様相を明らかにした。

○第28回古代官衙・集落研究集会「古代集落の構造と変遷5（古代集落を考える5）」
開 催 日　　12月21日・22日
開催場所　　平城宮跡資料館講堂
主　　催　　奈良文化財研究所
参加者数　　会場75人、オンライン78人
事業内容　　5名の報告者が各地域の集落遺跡の構造とその変遷についての研究報告を行い、討議を行った。

○国際シンポジウム「ウクライナ文化遺産と戦災」
開 催 日　　7年1月19日
開催場所　　奈良国際春日野フォーラム甍
主　　催　　文化庁
共　　催　　奈良文化財研究所・東京文化財研究所
参加者数　　会場97人
事業内容　　ウクライナの考古学者5名を招へいし、ウクライナの文化遺産を取り巻く現状について詳細な報告を行った。

○第24回古代瓦研究会シンポジウム「平安時代後期の軒瓦」
開 催 日　　7年2月8日・9日
開催場所　　平城宮跡資料館講堂
主　　催　　奈良文化財研究所
参加者数　　会場84人、オンライン46人
事業内容　　各地の「平安時代後期の軒瓦」について報告を行い、その地域的特徴と変遷過程、地域間の関係を明らかにし、瓦の形状や文様、製作技法、各地における共通点や相違点について議論した。

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】　2件

○「無形文化遺産の持続可能な開発への貢献に関する調査研究ー持続可能なまちづくりと無形文化遺産（2022～2024年度）」事業における最終シンポジウム「持続可能なまちづくりと無形文化遺産―アジア太平洋地域における文化遺産の統合的保護の視点」
開 催 日　　10月10日～12日
開催場所　　同志社大学寒梅館　会議室地下A
主　　催　　アジア太平洋無形文化遺産研究センター
参加者数　　会場43人
事業内容　　文化・自然遺産の保護を強化による持続可能なまちづくり・地域づくりの実現をうたうSDGターゲット11.4における無形文化遺産の重要性について、地域の遺産保護やマネジメントに無形文化遺産が貢献しているアジア太平洋各地の事例を共有しながら考えた。文化的・歴史的景観を構成する様々な「無形」の要素に着目し、有形と無形の文化遺産の相互作用や相乗効果、地域コミュニティ中心の文化遺産の統合的保護の在り方について議論を深めた。

○アジア太平洋地域における無形文化遺産保護のための研究フォーラム国際会議「無形文化遺産保護研究の新領域」
開 催 日　　7年2月13日～15日
開催場所　　国立民族学博物館　本館2階　第5セミナー室
主　　催　　アジア太平洋無形文化遺産研究センター、国立民族学博物館、文化庁
参加者数　　会場48人、オンライン86人
事業内容　　IRCIが重点的に扱ってきた調査研究やユネスコのテーマ別イニシアティブに関連するトピックに加え、IRCIがこれまであまり扱ってこなかったジェンダー問題、移民やニューテクノロジーといった重要な課題を含む幅広いトピックを取り上げながら、アジア太平洋地域内外の無形文化遺産保護と研究における新たなアプローチや方法論について議論することを目的とし開催した。学術的かつ学際的な会議として開催し、ユネスコの2003年条約の枠組内外で、アジア太平洋地域の無形文化遺産に関する研究に取り組んでいる研究者や専門家らが、批判的かつ建設的に議論し、意見や見解を交換した。

c-⑤ 論文等発表実績一覧

令和 7 年 3 月 31 日現在

国立文化財機構合計	博物館計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	皇居三の丸尚蔵館
	389 件	155 件	65 件	74 件	39 件	56 件
642 件	文化財研究所計	東京文化財研究所		奈良文化財研究所		
	248 件	78 件		170 件		
	アジア太平洋無形文化遺産研究センター	本部文化財活用センター		本部文化財防災センター		
	0 件	2 件		3 件		

【本部文化財活用センター】　2件

〇有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究　0 件

〇その他有形文化財に関連する調査研究　2件

	研究テーマ	発表者（職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載年月日	査読有無
1	展示・収蔵環境の管理と改善に関する調査研究	本部文化財活用センター保存担当主任研究員　間渕創	博物館における新型コロナウイルス感染症への対応	文化財保存環境学 第３版	朝倉書店	1月	無
2	展示・収蔵環境の管理と改善に関する調査研究	本部文化財活用センター保存担当主任研究員　間渕創	HERIe を利用した山・鉾・屋台を保管する倉庫の温湿度環境評価について	保存科学第 64 号	東京文化財研究所	3月	有

【本部文化財防災センター】　3件

〇文化財防災に関する調査研究　　3件

	研究テーマ	発表者（職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載年月日	査読有無
1	文化財防災に関する調査研究	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	大規模自然災害と博物館	[改定新版]博物館資料保存論	放送大学	7年3月20日	無
2	同上	文化財防災センター文化財防災統括リーダー　小谷竜介	博物館の防災	[改定新版]博物館資料保存論	放送大学	7年3月20日	無
3	同上	文化財防災センターセンター長　高妻洋成	特集　災害から能楽をまもる	月刊国立能楽堂第 490 号	独立行政法人日本芸術文化振興会	7年1月1日	無

【東京国立博物館】　155件

〇有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究　137件

	研究テーマ	発表者（職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載年月日	査読有無
1	有形文化財の収集・保管・展覧事業・教育普及活動等に関する調査研究	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕	「異本伊勢物語絵巻」他解説	伊勢物語造形表現集成	思文閣出版	4 月 25 日	無
2	同上	客員研究員　惠美千鶴子	鑑賞する書としての伊勢物語	伊勢物語 造形表現集成	思文閣出版	4 月 25 日	無
3	同上	学芸研究部特任研究員 今井敦	東アジアにおける宮本屋窯の赤絵の位置	九谷赤絵の極致　宮本屋窯と飯田屋八郎右衛門の世界	「九谷赤絵の極致　宮本屋窯と飯田屋八郎右衛門の世界」実行委員会	5 月 24 日	無
4	同上	調査研究課考古室研究員 山本亮	古墳出土土器と古式土師器の編年研究	日本考古学の論点 上	雄山閣	6 月 8 日	無
5	同上	学芸研究部長　河野一隆	死の神聖王権論	日本考古学の論点　下巻	雄山閣	6 月 8 日	有
6	同上	列品管理課登録室アソシエイトフェロー　廣谷妃夏、調査研究課工芸室研究員　沼沢ゆかり	東京国立博物館所蔵大谷探検隊将来染織資料-コレクションの全体像、及び将来以降の整理について-	MUSEUM,710	東京国立博物館	6 月 15 日	有
7	同上	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕	鳥獣戯画の歩んできた道	「国宝「鳥獣戯画」北海道初公開　京都 高山寺展―明恵上人と文化財の伝承」図録	北海道立近代美術館	7 月 9 日	無
8	同上	企画課特別展室研究員 菊池　望	内間銅鐸と弥生時代中期後半の銅鐸生産	内間銅鐸調査報告	鎌田共済会郷土博物館	7 月 31 日	無
9	同上	学芸研究部特任研究員 今井敦	九谷赤絵の魅力	『陶説』№852	日本陶磁協会	8 月 1 日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
10	同上	企画課特別展室研究員 菊池　望	布留遺跡出土土製鋳型外枠の位置づけ	布留遺跡の考古学 物部氏隆盛の地	–	8月1日	無
11	同上	学芸研究部長　河野一隆	DIFFUSION OR DOMESTIC DEVELOPMENT? HOW TO EXPLAIN THE EMERGENCE OF THE PAINTED TOMB IN SOUTH SUMATRA?	Tumuli and Megaliths in Eurasia	Cambridge Scholars Publishing	8月2日	有
12	同上	調査研究課考古室研究員 山本亮	布留遺跡と平等坊・岩室遺跡	布留遺跡の考古学	金沢大学	8月10日	無
13	同上	列品管理課登録室主任研究員　西木政統	「大明宣徳年施」銘をもつ東京国立博物館所蔵の無量寿仏坐像と九鈷鈴	『Museum』711号	東京国立博物館	8月15日	有
14	同上	調査研究課考古室主任研究員　河野正訓	島嶼の女性首長ー山口県黒山1号墳の研究ー	MUSEUM711	東京国立博物館	8月15日	有
15	同上	企画課出版企画室主任研究員　遠藤楽子	「ワークショップ「写真の技法識別と取り扱い・保存」に参加して」	東京大学史料編纂所画像史料解析センター通信105号	東京大学史料編纂所	9月30日	無
16	同上	調査研究課長　小山弓弦葉	友禅染の歴史と現在	第21回板橋区伝統工芸展「江戸手描友禅 寺澤森秋―時代を彩る染と技―」図録	板橋区立郷土資料館	10月5日	無
17	同上	列品管理課登録室研究員 野中愛理	コラム「【皇室の美】制作21年気品に満ちた「雪月花」」	読売新聞朝刊	読売新聞	10月9日	無
18	同上	客員研究員　惠美千鶴子	護り伝えられた平家納経-嚴島神社の歴史と文化財-	ビオ・シティ100号	（株）ブックエンド	10月10日	無
19	同上	調査研究課考古室主任研究員　河野正訓、調査研究課考古室研究員　山本亮	―	はにわのヒミツ	新泉社	10月30日	無
20	同上	調査研究課考古室研究員 山本亮	瀬田遺跡SZ4500と奈良盆地の社会	季刊考古学169	雄山閣	11月1日	無
21	同上	調査研究課長　小山弓弦葉	宝生宗家伝来能装束	「宝生宗家展」図録	国立能楽堂	11月23日	無
22	同上	客員研究員　惠美千鶴子	円珍関係文書典籍のユネスコ「世界の記憶」登録	日本歴史919号	吉川弘文館	12月1日	有
23	同上	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕	『荏柄天神縁起』解説／場面解説	前田育徳会尊経閣文庫編／〔編集委員・解説〕土屋貴裕『尊経閣善本影印集成89　荏柄天神縁起〔第十一輯　絵巻〕』	八木書店	12月20日	無
24	同上	列品管理課登録室主任研究員　西木政統、保存科学課予測保存研究室専門職　宮田将寛	「エラスムス立像のＸ線ＣＴ調査」	『佐野市立吉澤記念美術館「丸山瓦全と佐野のお宝保護作戦！」図録』	佐野市立吉澤記念美術館	7年1月	無
25	同上	調査研究課工芸室主任研究員　清水健	「聆涛閣集古帖」に収められた正倉院宝物図についての覚書	『国立歴史民俗博物館研究報告』第250集　［共同研究］『聆涛閣集古帖』の総合資料学的研究	国立歴史民俗博物館	7年2月14日	有
26	同上	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一	高橋逸斎筆「両界曼荼羅」（知恩院蔵）―江戸時代後期、高雄曼荼羅再評価の一事例―	『美術史論集』第25号	神戸大学美術史研究会	7年2月19日	有
27	同上	企画課特別展室研究員 菊池望	弥生時代における小形青銅器生産の展開 -神奈川県横浜市大場第２地区遺跡群出土鏡を巡って-	北金目からみつめる地域社会発表要旨集・資料集	真田・北金目遺跡群集落復元プロジェクト	7年3月	無
28	同上	博物館教育課ボランティア室長　小野塚拓造	「聖書の世界」の遺跡と考古学	ORIENTE	古代オリエント博物館	7年3月	無
29	同上	列品管理課平常展調整室研究員　玉城真紀子	韓国文化財行政に関する調査	2024年度国際協力調査 報告書	文化遺産国際協力コンソーシアム	7年3月	無
30	同上	企画課特別展室主任研究員　福島 修	「聖龕の蒔絵螺鈿装飾について」	『光学的科学調査を軸とした初期洋風画とアジア太平洋海域美術交通に関する基盤的研究』報告書	―	7年3月	無
31	同上	列品管理課平常展調整室主任専門職　髙木結美	「三熊野神社大祭の祢里行事」民俗文化財調査報告書・天幕・各概要	「三熊野神社大祭の祢里行事」民俗文化財調査報告書	静岡県掛川市	7年3月	無
32	同上	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕	『一遍聖絵』場面解説	前田育徳会尊経閣文庫編／〔編集委員・解説〕土屋貴裕『尊経閣善本影印集成90　一遍聖絵 1〔第十一輯　絵巻〕』	八木書店	7年3月20日	無
33	同上	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕	「春日権現験記絵巻（亥二-1）」他解説	国立国会図書館デジタルコレクション解題（オンライン公開）	国立国会図書館	7年3月26日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
34	同上	学芸研究部長　河野一隆	DIGITAL MUSEUM 2025 宣言-デジタルアーカイブから AI へー	東京国立博物紀要　第 60 号	東京国立博物館	7 年 3 月 31 日	無
35	同上	学芸研究部長　河野一隆	石製品・石製模造品編	沖ノ島研究　第 11 号	世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会	7 年 3 月 31 日	無
36	同上	列品管理課登録室主任研究員　西木政統、保存科学課予測保存研究室専門職　宮田将寛	釈迦如来坐像Ｘ線ＣＴ調査報告	『北奥の慶派仏像』	北上市立博物館	7 年 3 月 31 日	無
37	特別調査「法隆寺献納宝物」（第 43 次）	列品管理課登録室アソシエイトフェロー　廣谷妃夏	法隆寺献納宝物の錦類	法隆寺献納宝物特別調査概報４４	東京国立博物館	7 年 3 月 28 日	無
38	同上	列品管理課登録室アソシエイトフェロー　廣谷妃夏	作品解説	法隆寺献納宝物特別調査概報４４	東京国立博物館	7 年 3 月 28 日	無
39	d.特別調査「彫刻」第 12 回	列品管理課登録室主任研究員　西木政統、保存科学課予測保存研究室専門職　宮田将寛	栃木・龍江院所蔵エラスムス立像のＸ線ＣＴ調査	『丸山瓦全と佐野のお宝保護作戦！』図録	佐野市立吉澤記念美術館	7 年 1 月 25 日	無
40	収蔵品等の有形文化財に関する調査研究	調査研究課東洋室研究員　六人部克典	書跡をたどる 第 1 回　宝印斎印式　汪関編	『月刊　書写書道』395 号	公益財団法人日本武道館	4 月 1 日	無
41	同上	調査研究課絵画・彫刻室研究員　村瀬可奈	「飛鳥山図-特輯 鍬形蕙斎 没後二百年」	『國華』第 1542 号	國華社	4 月 20 日	無
42	同上	学芸研究部特任研究員　田沢裕賀	鍬形蕙斎筆　近世職人尽絵詞	國華 1542	國華社	4 月 20 日	有
43	同上	学芸研究部特任研究員　田沢裕賀	「雛形若菜の初模様・松葉屋瀬川」他解説	『伊勢物語造形表現集成』	思文閣出版	4 月 25 日	無
44	同上	調査研究課東洋室研究員　六人部克典	書跡をたどる 第 2 回　草書詩巻　陳献章筆	『月刊　書写書道』396 号	公益財団法人日本武道館	5 月 1 日	無
45	同上	調査研究課東洋室研究員　六人部克典	書跡をたどる 第 3 回　草書千字文巻　文徴明筆	『月刊　書写書道』397 号	公益財団法人日本武道館	6 月 1 日	無
46	同上	調査研究課工芸室長　猪熊兼樹	Introduction of Korean Culture at the TokyoNational Museum	The Review of Korean Studies	韓国学中央研究院	6 月 1 日	無
47	同上	学芸企画部長　松嶋雅人	カルティエの琴線にふれた日本―ルイ・カルティエのプライベートコレクションからみた東西の対話	『「カルティエと日本 半世紀のあゆみ 『結 MUSUBI』展　美と芸術をめぐる対話』図録	カルティエ	6 月 12 日	無
48	同上	列品管理課平常展調整室長　市元塁	皇賞龍牌と清朝の漂流民政策をめぐる予察	MUSEUM 東京国立博物館研究誌（710）	東京国立博物館	6 月 15 日	有
49	同上	調査研究課東洋室研究員　六人部克典	書跡をたどる 第 4 回　行草書千字文巻　陳淳筆	『月刊　書写書道』398 号	公益財団法人日本武道館	7 月 1 日	無
50	同上	調査研究課絵画・彫刻室主任研究員　植松瑞希	橋本末吉と橋本コレクション	受贈記念　橋本コレクション　一　明（一）	東京国立博物館	7 月 17 日	無
51	同上	調査研究課東洋室研究員　六人部克典	書跡をたどる 第 5 回　草書宋之問詩巻　王寵筆	『月刊　書写書道』399 号	公益財団法人日本武道館	8 月 1 日	無
52	同上	企画課海外展室長　品川欣也	内藤礼と東博考古コレクションの出会い	内藤礼　生まれておいで　生きておいで	ＨｅＨｅ	8 月 28 日	無
53	同上	調査研究課東洋室研究員　六人部克典	書跡をたどる 第 6 回　楊大眼造像記	『月刊　書写書道』400 号	公益財団法人日本武道館	9 月 1 日	無
54	同上	調査研究課東洋室研究員　六人部克典	書跡をたどる 第 7 回　行書七言聯　曾国藩筆	『月刊　書写書道』401 号	公益財団法人日本武道館	10 月 1 日	無
55	同上	企画課海外展室研究員　勝木言一郎	「菩薩立像幡」「地蔵菩薩立像幡」「如来坐像」「菩薩立像」「舎利容器」「インド貴族のエレガントファッション」「ジャハンギール帝立像」「アウラングゼーブ帝立像」「ダーラー・シコー胸像」「ズィーナト・マハル像」「アクバル帝胸像」	『博物館でアジアの旅　アジアのおしゃれ』	東京国立博物館	10 月 1 日	無
56	同上	調査研究課工芸室研究員　沼沢ゆかり	作品解説	『博物館でアジアの旅　アジアのおしゃれ』	東京国立博物館	10 月 1 日	無
57	同上	企画課海外展室長　品川欣也	近代によみがえった埴輪	特別展　はにわ	ＮＨＫ・ＮＨＫプロモーション・朝日新聞	10 月 16 日	無
58	同上	学芸企画部長　松嶋雅人	キティちゃんのひみつ	『Hello Kitty 展―わたしが変わるとキティも変わる―』図録	Hello Kitty 展東京実行委員会	10 月 30 日	無
59	同上	学芸研究部特任研究員　田沢裕賀		『もっと知りたい東洲斎写楽』	東京美術	11 月 30 日	無
60	同上	列品管理課平常展調整室長　市元塁	中国考古学の情報共有と基準資料	2024 年度日本中国考古学会大会 予稿集	日本中国考古学会	12 月 7 日	無
61	同上	調査研究課工芸室長　猪熊兼樹	「桜山鵲蒔絵硯箱」の意匠に関する考察	漆工史	漆工史学会	7 年 3 月 30 日	有
62	同上	調査研究課工芸室主任研究員　清水健	今号のイチ推し！　自在蛇置物	『東京国立博物館ニュース』779 号	東京国立博物館	11 月 20 日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
63	同上	客員研究員　谷豊信	X 射線計算機断層掃描影像下的五枚戦国封泥　一形制・成形方法・印文・縄痕及相関関係一	『書法研究』2024 年第 6 期	上海書画出版社（中国上海市）	12 月 10 日	有
64	同上	列品管理課登録室主任研究員　西木政統、保存科学課保存修復室主任研究員　野中昭美	特集 キリシタン関係遺品の保存と研究	リーフレット	東京国立博物館	7 年 3 月 21 日	無
65	同上	列品管理課登録室主任研究員　西木政統	東京国立博物館のチベット仏教関係資料	『東京国立博物館図版目録　チベット仏教関係資料篇』	東京国立博物館	7 年 3 月 31 日	無
66	同上	企画課海外展室長　品川欣也	茂辺地遺跡出土の人形装飾付異形注口土器	国立歴史民俗博物館共同研究「顔身体土器の通文化比較にみる身体・モノ認識」資料集 『縄文時代異形土器集成図譜２　縄文時代の顔身体土器』	国立歴史民俗博物館	7 年 3 月 31 日	無
67	同上	企画課海外展室長　品川欣也	十腰内遺跡出土の人形装飾付壺形土器	国立歴史民俗博物館共同研究「顔身体土器の通文化比較にみる身体・モノ認識」資料集 『縄文時代異形土器集成図譜２　縄文時代の顔身体土器』	国立歴史民俗博物館	7 年 3 月 31 日	無
68	同上	調査研究課絵画・彫刻室主任研究員　植松瑞希	中国絵画史研究視野中的画絹関注	中国美術研究	上海書画出版社	7 年 3 月 31 日	無
69	特集「特集親と子のギャラリー　よりそう動物たち一家族、仲間のすがたとかたち一」に関連する調査研究	博物館教育課教育講座室長　金井裕子	「猿図」	特集「特集親と子のギャラリー　よりそう動物たち一家族、仲間のすがたとかたち一」リーフレット	東京国立博物館	5 月 14 日	無
70	特集「特集吉野と熊野―山岳霊場の遺宝―」に関連する調査研究	調査研究課工芸室主任研究員　清水健	特集　吉野と熊野―山岳霊場の遺宝―	『特集　吉野と熊野―山岳霊場の遺宝―』	東京国立博物館	5 月 28 日	無
71	特集「特集能面に見る写しの文化」に関連する調査研究	副館長　浅見龍介、博物館教育課教育普及室長　川岸瀬里	章解説、作品解説	特集「特集能面に見る写しの文化」リーフレット	東京国立博物館	9 月 3 日	無
72	特集「特集モダンきもの―名門「大彦」の東京ファッション―」に関連する調査研究	調査研究課工芸室研究員　沼沢ゆかり	「彦根更紗とモダンきもの」、作品解説	『モダンきもの―名門「大彦」の東京ファッション―』	東京国立博物館	10 月 29 日	無
73	同上	列品管理課平常展調整室主任専門職　髙木結美	コラム「二代野口眞造が目指した染繍」、章解説、作品解説	特集「モダンきもの―名門「大彦」の東京ファッション―」図録	東京国立博物館	10 月 29 日	無
74	特集「特集中国書画精華–宋・元時代の名品–」に関連する調査研究	調査研究課東洋室研究員　六人部克典	書跡をたどる 第 8 回　傑山偈古林清茂筆	『月刊　書写書道』402 号	公益財団法人日本武道館	11 月 1 日	無
75	同上	調査研究課東洋室研究員　六人部克典	書跡をたどる 第 9 回　禅院額字「釈迦宝殿」　無準師範筆	『月刊　書写書道』403 号	公益財団法人日本武道館	12 月 1 日	無
76	特集「特集遊牧のくらしとテキスタイル―バローチを中心に―」に関連する調査研究	調査研究課工芸室研究員　沼沢ゆかり	章解説、作品解説	『遊牧のくらしとテキスタイル―バローチを中心に― 』リーフレット	東京国立博物館	11 月 12 日	無
77	特集「特集博物館に初もうで―ヘビ～なパワ～を巳（み）たいの蛇（じゃ）！―」に関連する調査研究	博物館教育課ボランティア室長　小野塚拓造、調査研究課絵画・彫刻室研究員　村瀬可奈	特集博物館に初もうで―ヘビ～なパワ～を巳（み）たいの蛇（じゃ）！―	リーフレット	東京国立博物館	7 年 1 月 2 日	無
78	特集「特集拓本のたのしみ―明清文人の世界―」に関連する調査研究	調査研究課東洋室研究員　六人部克典	書跡をたどる 第 10 回 万安橋記 蔡襄筆	『月刊　書写書道』404 号	公益財団法人日本武道館	7 年 1 月 1 日	無
79	同上	調査研究課絵画・彫刻室主任研究員　植松瑞希	まだ見ぬ文字を求めて―黄易の碑文探索とその絵画化	拓本のたのしみ	台東区芸術文化財団	7 年 1 月 2 日	無
80	同上	調査研究課絵画・彫刻室主任研究員　植松瑞希	清朝最盛期の文人雅集―城南雅集が伝説になるまで	拓本のたのしみ	台東区芸術文化財団	7 年 1 月 2 日	無
81	同上	調査研究課東洋室研究員　六人部克典	端方の寄贈品―第五回内国勧業博覧会から東京帝室博物館へ―	拓本のたのしみ	台東区芸術文化財団	7 年 1 月 2 日	無
82	同上	調査研究課東洋室研究員　六人部克典	清朝文人と碑帖	拓本のたのしみ	台東区芸術文化財団	7 年 1 月 2 日	無
83	同上	客員研究員　鍋島稲子	拓本のたのしみ	拓本のたのしみ	公益財団法人台東区芸術文化財団	7 年 1 月 2 日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
84	同上	客員研究員　鍋島稲子	九成宮醴泉銘ものがたり	拓本のたのしみ	公益財団法人 台東区芸術文化 財団	7年1月2日	無
85	同上	調査研究課東洋室研究員 六人部克典	書跡をたどる 第11回　雁塔聖教序　褚遂良筆	『月刊　書写書道』405号	公益財団法人 日本武道館	7年2月1日	無
86	同上	調査研究課東洋室研究員 六人部克典	書跡をたどる 第12回　仏頂尊勝陀羅尼経幢	『月刊　書写書道』406号	公益財団法人 日本武道館	7年3月1日	無
87	特別展「法然と極楽浄土」に関連する調査研究	列品管理課登録室主任研究員　西木政統	作品解説9件	『法然と極楽浄土』図録	東京国立博物館，京都国立博物館，九州国立博物館，日本放送協会，NHKプロモーション	4月16日	無
88	同上	列品管理課登録室長　瀬谷愛	総説1、扉解説1、コラム1、作品解説23	『特別展 法然と極楽浄土』図録	ＮＨＫ、ＮＨＫプロモーション、読売新聞社	4月16日	無
89	同上	博物館教育課教育講座室長 金井裕子	NHKジュニアガイド「極楽すごろく」	NHKジュニアガイド「極楽すごろく」	東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション	4月16日	無
90	同上	列品管理課登録室長　瀬谷愛	特別展 法然と極楽浄土―みんなの死後の幸せを願う	『うえの』65周年記念号	上野のれん会	5月1日	無
91	特別企画「内藤礼　生まれておいで　生きておいで」に関連する調査研究	学芸企画部上席研究員　鬼頭智美	内藤礼　生まれておいで 生きておいで「生きる死」の顕現	内藤礼　生まれておいで 生きておいで図録	HeHe	8月28日	無
92	海外展「三国三色―東アジアの漆器」に関連する調査研究	企画課特別展室主任研究員　福島 修	「日本の漆芸」	『東アジアの漆器―三國三色』図録	韓国・国立中央博物館	6月28日	無
93	同上	企画課特別展室主任研究員 福島 修	作品解説	『東アジアの漆器―三國三色』図録	韓国・国立中央博物館	6月28日	無
94	創建1200年記念特別展「神護寺-空海と真言密教のはじまり」に関連する調査研究	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一	創建1200年記念　特別展「神護寺-空海と真言密教のはじまり」	月刊うえの	上野のれん会	7月5日	無
95	同上	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一	神護寺の歴史と高雄曼荼羅	創建1200年記念　特別展「神護寺-空海と真言密教のはじまり」図録	東京国立博物館	7月17日	無
96	同上	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一	高雄山寺と神願寺	創建1200年記念　特別展「神護寺-空海と真言密教のはじまり」図録	東京国立博物館	7月17日	無
97	同上	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一	高雄曼荼羅を写した白描図像	創建1200年記念　特別展「神護寺-空海と真言密教のはじまり」図録	東京国立博物館	7月17日	無
98	同上	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一	高雄曼荼羅の修理史	創建1200年記念　特別展「神護寺-空海と真言密教のはじまり」図録	東京国立博物館	7月17日	無
99	同上	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一	冷泉為恭と神護寺宝物	創建1200年記念　特別展「神護寺-空海と真言密教のはじまり」図録	東京国立博物館	7月17日	無
100	同上	調査研究課絵画・彫刻室長 土屋貴裕	文覚上人像と大師御筆の八幡大菩薩像	創建1200年記念　特別展「神護寺-空海と真言密教のはじまり」図録	東京国立博物館	7月17日	無
101	同上	調査研究課絵画・彫刻室長 土屋貴裕	神護寺山水屏風　各扇の配列と復原	創建1200年記念　特別展「神護寺-空海と真言密教のはじまり」図録	東京国立博物館	7月17日	無
102	同上	調査研究課絵画・彫刻室長 土屋貴裕	神護寺三像を見つめなおす	創建1200年記念　特別展「神護寺-空海と真言密教のはじまり」図録	東京国立博物館	7月17日	無
103	同上	調査研究課長　小山弓弦葉	唐代染織の残照 ― 紺紙金字一切経経帙の組紐と織	創建1200年記念　特別展「神護寺-空海と真言密教のはじまり」図録	読売新聞社、NHK、NHKプロモーション	7月17日	無
104	同上	企画課特別展室研究員　増田政史	コラム 八幡神画像をめぐる三者競望	創建1200年記念　特別展「神護寺-空海と真言密教のはじまり」図録	読売新聞社、NHK、NHKプロモーション	7月17日	無
105	同上	企画課特別展室研究員　増田政史	コラム 神護寺と運慶の模刻像	創建1200年記念　特別展「神護寺-空海と真言密教のはじまり」図録	読売新聞社、NHK、NHKプロモーション	7月17日	無
106	同上	企画課特別展室研究員　増田政史	神護寺四天王立像・十二神将立像と江戸時代の復興	創建1200年記念　特別展「神護寺-空海と真言密教のはじまり」図録	読売新聞社、NHK、NHKプロモーション	7月17日	無
107	同上	調査研究課工芸室主任研究員　清水健	空海の伝えた形と教え――密教法具をめぐって	『創建1200年記念　特別展　神護寺――空海と真言密教のはじまり』	読売新聞社、NHK・NHKプロモーション	7月17日	無
108	同上	博物館教育課教育普及室研究員　古川攝一	PREVIEW「創建1200年記念　特別展「神護寺-空海と真言密教のはじまり」」	「美術の窓」2024年8月号	生活の友社	7月20日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
109	同上	列品管理課登録室主任研究員　西木政統	仏像制作の歴史的背景 ―神護寺薬師如来立像と僧道鏡をめぐって―	『歴史評論』899 号	歴史科学協議会	7 年 3 月 1 日	無
110	挂甲の武人　国宝指定 50 周年記念特別展「はにわ」に関連する調査研究	調査研究課考古室主任研究員　河野正訓	挂甲の武人 国宝指定 50 周年記念 特別展「はにわ」	陶説 853	日本陶磁協会	8 月 25 日	無
111	同上	企画課特別展室研究員　菊池　望	魚形埴輪はなぜ作られたのか	特別展はにわ ： 挂甲の武人国宝指定 50 周年記念 ： 九州国立博物館開館 20 周年記念	東京国立博物館	10 月	無
112	同上	調査研究課考古室主任研究員　河野正訓	はにわの今昔物語、など	特別展はにわ	NHK・NHK プロモーション・朝日新聞社	10 月 16 日	無
113	同上	調査研究課考古室研究員　山本亮	埴輪の色	特別展「はにわ」	東京国立博物館	10 月 16 日	無
114	開創 1150 年記念特別展「旧嵯峨御所 大覚寺―百花繚乱　御所ゆかりの絵画―」に関連する調査研究	企画課特別展室主任研究員　福島 修	「正寝殿帳台構の蒔絵表現」	『旧嵯峨御所 大覚寺―百花繚乱　御所ゆかりの絵画―』図録	東京国立博物館	7 年 1 月 20 日	無
115	同上	企画課特別展室主任研究員　福島 修	作品解説	『旧嵯峨御所 大覚寺―百花繚乱　御所ゆかりの絵画―』図録	東京国立博物館	7 年 1 月 20 日	無
116	同上	調査研究課工芸室長　猪熊兼樹	大覚寺正寝殿の帳台構の桐竹文様	『旧嵯峨御所 大覚寺―百花繚乱　御所ゆかりの絵画―』図録	東京国立博物館	7 年 1 月 21 日	無
117	同上	博物館教育課教育講座室長　金井裕子	「百花繚乱―大覚寺をめぐる美術」	『旧嵯峨御所 大覚寺―百花繚乱　御所ゆかりの絵画―』図録	東京国立博物館	7 年 1 月 21 日	無
118	同上	博物館教育課教育講座室長　金井裕子	「大覚寺本「源氏物語」と大覚寺義俊」	『旧嵯峨御所 大覚寺―百花繚乱　御所ゆかりの絵画―』図録	東京国立博物館	7 年 1 月 21 日	無
119	同上	博物館教育課教育講座室長　金井裕子	「最後の「桃山」絵師・狩野山楽」	『旧嵯峨御所 大覚寺―百花繚乱　御所ゆかりの絵画―』図録	東京国立博物館	7 年 1 月 21 日	無
120	同上	調査研究課絵画・彫刻室長　土屋貴裕	大覚寺の後宇多天皇像	『旧嵯峨御所 大覚寺―百花繚乱　御所ゆかりの絵画―』図録	東京国立博物館	7 年 1 月 21 日	無
121	同上	調査研究課工芸室主任研究員　清水健	飾金具にご注目	『旧嵯峨御所 大覚寺―百花繚乱　御所ゆかりの絵画―』図録	東京国立博物館	7 年 1 月 21 日	無
122	同上	企画課特別展室長　佐藤寛介	コラム「薄緑／膝丸」「鬼切丸／髭切」にみる日本刀の特質	『旧嵯峨御所 大覚寺―百花繚乱　御所ゆかりの絵画―』図録	東京国立博物館	7 年 1 月 21 日	無
123	同上	企画課特別展室研究員　増田政史	旧嵯峨御所 大覚寺―百花繚乱 御所ゆかりの絵画―	『旧嵯峨御所 大覚寺―百花繚乱　御所ゆかりの絵画―』図録	東京国立博物館	7 年 1 月 21 日	無
124	同上	企画課特別展室研究員　増田政史	コラム　五大明王と大覚寺	『旧嵯峨御所 大覚寺―百花繚乱　御所ゆかりの絵画―』図録	東京国立博物館	7 年 1 月 21 日	無
125	同上	企画課特別展室研究員　増田政史	仏師明円と宮廷貴族	『旧嵯峨御所 大覚寺―百花繚乱　御所ゆかりの絵画―』図録	東京国立博物館	7 年 1 月 21 日	無
126	特別展「蔦屋重三郎　コンテンツビジネスの風雲児」に関連する調査研究	学芸研究部特任研究員　田沢裕賀	写楽（クローズアップ人物伝）	NHK 大河ドラマ歴史ハンドブック　べらぼう	NHK 出版	7 年 1 月 5 日	無
127	同上	学芸企画部長　松嶋雅人		蔦屋重三郎と浮世絵―「歌麿美人」の謎を解く	NHK 出版	12 月 10 日	無
128	博物館教育に関する調査研究	博物館教育課教育普及室長　川岸瀬里	スクールプログラムと体験展示	月刊教育旅行	公益財団法人日本修学旅行協会	7 年 1 月 1 日	無
129	同上	博物館教育課長　鈴木みどり	トーハクキッズデー	月刊うえの No. 777	上野のれん会	7 月 1 日	無
130	同上	博物館教育課長　鈴木みどり	感覚過敏の来館者のための東京国立博物館センサリーマップ	カレントアウェアネス-E No. 485	国立国会図書館	8 月 8 日	無
131	同上	博物館教育課教育講座室アソシエイトフェロー　山本桃子	月イチ！トーハクキッズデー来場者アンケート集計結果（報告）	MUSEUM	東京国立博物館	10 月 1 日	有
132	同上	博物館教育課教育講座室主任研究員　横山　梓	事例報告「はじめてのお茶室たんけん」	『MUSEUM』第 712 号	東京国立博物館	10 月 15 日	無
133	同上	博物館教育課長　鈴木みどり	感覚過敏の来館者のためのセンサリーマップ作製と、館内での取り組みについて	MUSEUM　東京国立博物館研究誌	東京国立博物館	10 月 15 日	有
134	同上	博物館教育課長　鈴木みどり	月イチ！トーハクキッズデーの実施について	MUSEUM　東京国立博物館研究誌	東京国立博物館	10 月 15 日	有

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
135	同上	学芸研究部特任研究員　勝木言一郎	《報告》博物館でヨガ体験	『MUSEUM』712 号	東京国立博物館	10 月 15 日	有
136	同上	博物館教育課ボランティア室主任専門職　永田香織	「月イチ！トーハクキッズデー」におけるボランティア活動について	MUSEUM 東京国立博物館研究誌（712）	東京国立博物館	10 月 15 日	有
137	同上	博物館教育課教育普及室研究員　中村麻友美、博物館教育課ボランティア室主任専門職　永田香織	触察ボード「漆の塗りと飾り」の制作について―制作過程と今後の課題―	MUSEUM 東京国立博物館研究誌（712）	東京国立博物館	10 月 15 日	有

○その他有形文化財に関連する調査研究　18件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	文化財の修理・保存に関する調査研究	保存修復室 AF・桐原瑛奈、保存修復室主任研究員・野中昭美、保存修復室研究員・佐藤萌	東京国立博物館所蔵「華角貼箱」の材質調査	文化財保存修復学会第 46 回大会要旨集	文化財保存修復学会第 46 回大会実行委員会	6月22日	無
2	同上	保存修復室 AF・桐原瑛奈、保存修復室主任研究員・野中昭美、保存修復室研究員・佐藤萌、他 2 名	東京国立博物館所蔵キリシタン関係遺品　ロザリオ・付札一群の収蔵方法改善	文化財保存修復学会第 46 回大会要旨集	文化財保存修復学会第 46 回大会実行委員会	6月22日	無
3	同上	鉄媒染絹布に対するフノリと膠を使用した処置方法の検討	東京藝術大学大学院・Ajla Redzic、保存修復室研究員・佐藤萌、東京藝術大学大学院・一宮八重・渡邉尚恵・早川典子	文化財保存修復学会第 46 回大会要旨集	文化財保存修復学会第 46 回大会実行委員会	6月22日	無
4	同上	学芸研究部保存科学課長・和田浩	展示ケース内に生じる気流と湿度分布についての検証	文化財保存修復学会第 46 回大会研究発表要旨集	文化財保存修復学会	6月23日	無
5	同上	学芸研究部保存科学課長・和田浩	美術品展示ケースにおける湿度伝達の可視化に関する検証	第 52 回可視化情報シンポジウム講演論文集	可視化情報シンポジウム	7月19日	無
6	同上	学芸研究部保存科学課長・和田浩	ガラス乾板の長距離輸送時における振動計測について	日本文化財科学会第 41 回大会研究発表要旨集	日本文化財科学会	7月27日	無
7	同上	学芸研究部保存科学課長・和田浩	ポリエステル綿の衝撃吸収性能に関する基礎的研究	日本包装学会第 33 回年次大会予稿集	日本包装学会	8月29日	無
8	同上	学芸研究部保存科学課長・和田浩	文化財輸送時に発生した振動解析と梱包設計の評価	日本機械学会 2024 年度年次大会要旨集	日本機械学会	9月8日	無
9	同上	保存科学課長　和田浩	Combining Experience, Experimentation, and Prediction to Mitigate Damage to Museum Artifacts from Earthquakes	2024 International Symposium on Seismic Technology for Cultural Heritage, Conference Manual	2024 International Symposium on Seismic Technology for Cultural Heritage	10月20日	無
10	同上	保存科学課長　和田浩	Long distance transportation in Japan: continuous vibration measurement and analysis	International Symposium ″ Vibration and Conservation ″, Proceedings	French National Institute for Heritage	11月7日	無
11	同上	保存科学課長　和田浩	衝撃対策と振動対策の両立を目指した包装資材特性の収集	第 62 回全日本包装技術研究大会予稿集	日本包装技術協会	11月22日	無
12	同上	保存科学課長　和田浩	Visualization of Airflow and Humidity Distribution Inside Display Cases for Cultural Properties	14th Pacific Symposium on Flow Visualization and Image Processing, Proceedings	14th Pacific Symposium on Flow Visualization and Image Processing	11月27日	有
13	同上	保存科学課長　和田浩	地球環境の保全と博物館	教職センター紀要第 9 号	大東文化大学教職課程センター	12月31日	無
14	同上	博物館情報課情報資料室長　山崎美和	一次資料原本の保存とデジタル化について	「昭和 20・30 年代の文集を用いて国語教育的に子どもの表現力を探究する研究」科研費研究成果報告集	聖徳大学教育学部	7年3月	無
15	博物館資料・業務の情報処理に関する調査研究	博物館情報課情報管理室アソシエイトフェロー岩崎絵里加	第 8 回研究大会（金沢）座長が推すベスト発表 セッション D1	デジタルアーカイブ学会誌	デジタルアーカイブ学会	5月1日	無
16	同上	博物館情報課情報管理室長　阿児雄之	博物館デジタルアーカイブとジャパンサーチでつくるエコシステム	『博物館 DX と次世代考古学』	雄山閣	9月10日	無
17	同上	博物館情報課情報管理室長　阿児雄之	収蔵品情報の集約と展開を目指す際のデジタルアーカイブ編成	『デジタル時代のコレクション論』	勉誠社	10月18日	無
18	同上	博物館情報課情報管理室長　阿児雄之	―	『ミュージアムの未来をつくる 博物館情報・メディア論』	美学出版	7年3月31日	無

【京都国立博物館】　65件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究　40件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	特別展「法然と極楽浄土」に関する調査研究	学芸部企画室主任研究員 井並林太郎	総説　法然と極楽浄土―浄土宗八百五十年の歴史と文化財―（共著）	特別展「法然と極楽浄土」展覧会図録	東京国立博物館、京都国立博物館、九州国立博物館、NHK,NHKプロモーション	4月16日	無
2	同上	同上	法然の忌日法要と御影・伝記	同上	同上	同上	無
3	同上	同上	浄土五祖像について	同上	同上	同上	無
4	同上	同上	国宝　法然上人絵伝	『なにわ』No.832、10月号	大阪府警察本部	9月27日	無
5	同上	学芸部教育室主任研究員 竹下繭子	當麻寺の来迎会	特別展「法然と極楽浄土」展覧会図録	東京国立博物館、京都国立博物館、九州国立博物館、NHK,NHKプロモーション	4月16日	無
6	同上	同上	重要文化財　阿弥陀如来立像	『なにわ』No.833、11月号	大阪府警察本部	10月	無
7	同上	学芸部保存修理指導室 主任研究員　上杉智英	『選択本願念仏集』――立教開宗の理論書	特別展「法然と極楽浄土」展覧会図録	東京国立博物館、京都国立博物館、九州国立博物館、NHK,NHKプロモーション	4月16日	無
8	同上	同上	増上寺三大蔵の文化史的意義	同上	同上	同上	無
9	同上	同上	重要文化財　選択本願念仏集	『なにわ』No.831、9月号	大阪府警察本部	8月	無
10	同上	学芸部上席研究員兼保存科学室長　降幡順子	国宝阿弥陀二十五菩薩来迎図（早来迎）と科学調査ー特別展「法然と極楽浄土」によせてー	清風会会報第215号	一般社団法人清風会	7月25日	無
11	特別展「雪舟伝説―「画聖」の誕生―」に関する調査研究	学芸部保存修理指導室長 福士雄也	「画聖」雪舟への道程	特別展「雪舟伝説―「画聖」の誕生―」展覧会図録	日本経済新聞社、テレビ大阪、京都新聞	4月13日	無
12	同上	同上	雪舟の肖像	同上	同上	同上	無
13	同上	同上	曾我蕭白筆　富士三保図屏風	『なにわ』No.826、4月号	京都国立博物館	6月20日	無
14	同上	学芸部列品管理室 主任研究員　森道彦	戦国期の雪舟流と畿内	特別展「雪舟伝説―「画聖」の誕生―」展覧会図録	日本経済新聞社、テレビ大阪、京都新聞	4月13日	無
15	同上	同上	海をわたった雪舟	『なにわ』No.828、5月号	大阪府警察	5月	無
16	特集展示・特別企画に関連する調査研究	学芸部教育室主任研究員 竹下繭子（共著：奥野美和）	大阪・泉穴師神社と神像群について	『学叢』46号	京都国立博物館	6月	無
17	収蔵品・寄託品等及び各博物館の特色に応じた歴史・伝統文化に関連する調査研究	学芸部工芸室主任研究員 山内麻衣子、同企画室主任研究員　井並林太郎	作品解説	豊臣秀次公四三〇回忌 特集展示「豊臣秀次と瑞泉寺」展覧会図録	京都国立博物館	6月18日	無
18	同上	学芸部企画室主任研究員 井並林太郎	項目解説	『伊勢物語 造形表現集成』	思文閣出版	5月10日	無
19	同上	学芸部工芸室主任研究員 山内麻衣子	「武将と能楽」	『博物館ディクショナリー』237号	京都国立博物館	8月7日	無
20	同上	同上	「極楽浄土と蝶」	京都国立博物館だより225号	京都国立博物館	7年1月1日	無
21	同上	同上	「舞台芸術にみる伊勢物語ー能における「形見」の機能と展開ー」	『伊勢物語 造形表現集成』	思文閣出版	4月25日	無
22	同上	同上	作品解説	同上	同上	同上	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
23	同上	同上	御殿雛飾り	『なにわ』No.837、3 月号	大阪府警察本部	7年2月28日	
24	同上	学芸部企画室長 兼美術室長　羽田聡	霧を晴らしたのは誰か？	清風会会報 216 号	一般社団法人 清風会	10月25日	無
25	同上	学芸部保存修理指導室長 福士雄也	描かれた農村風景	『中学校社会科のしおり』第 59 号	帝国書院	10月30日	無
26	同上	同上	狩野山楽筆　源氏物語図屏風―物語図と風俗画のあわい―	『國華』 第 1550 号	國華社	12月20日	無
27	同上	学芸部考古室長 石田由紀子	国指定史跡　方広寺石垣	『なにわ』No.834、12 月号	大阪府警察本部	12月	無
28	同上	学芸部調査・国際連携室長　降矢哲男	「茶道具にみる伊勢物語」	『伊勢物語 造形表現集成』	思文閣出版	4月25日	無
29	同上	学芸部列品管理室 主任研究員　末兼俊彦同	「たち」と「かたな」	『博物館ディクショナリー』234 号	京都国立博物館	2月7日	無
30	同上	同上	重要文化財　縹糸威胴丸	鑑賞ガイド	京都国立博物館	6月18日	無
31	同上	同上	短刀　銘兼見	『なにわ』No.828、6 月号	大阪府警察本部	5月30日	無
32	同上	学芸部企画室アソシエイトフェロー　青木 麻佑花	重要文化財　縹糸威胴丸　兜・大袖付　附旗一旒	『なにわ』No.829、7 月号	大阪府警察本部	6月27日	無
33	同上	学芸部列品管理室 主任研究員　森道彦	戦国の地方画家、式部輝忠	『博物館ディクショナリー』235 号	京都国立博物館	6月18日	無
34	同上	同上	嚴冬中的絶美身姿　京都國立博物館「禪意雅韻―松竹梅」	『典蔵古美術』No.388	典藏藝術家庭	6年1月	無
35	同上	学芸部調査・国際連携室 研究員　森橋なつみ	鹽都揚州的繁榮與藝術―袁江、王雲繪〈樓閣山水圖屏風〉	『典蔵古美術』No.388	典藏藝術家庭	6年1月	無
36	同上	同上	斉白石ってどんな画家？	『博物館ディクショナリー』240 号	京都国立博物館	7年2月11日	無
37	博物館教育及びボランティアに関する調査研究	学芸部教育室主任研究員 水谷亜希	京都国立博物館の教育普及史 130 年	美術による学び研究会メールマガジン　第 518 号	美術による学び研究会	4月14日	有
38	同上	学芸部教育室主任研究員 水谷亜希	日本の絵画を主題としたワークショップの手法 5 例	美術による学び研究会メールマガジン　第 543 号	美術による学び研究会	10月6日	有
39	同上	学芸部教育室主任研究員 水谷亜希	教室に若冲がやってくる！　文化財ソムリエの訪問授業	ぶんかつブログ	文化財活用センター	12月19日	無
40	収蔵品・寄託品等及び各博物館の特色に応じた歴史・伝統文化に関連する調査研究	学芸部列品管理室長	コラム「輸出漆器に見る伊勢物語」	『伊勢物語 造形表現集成』	思文閣出版	4月25日	無

○その他有形文化財に関連する調査研究　25件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	京都周辺出土の考古遺物に関する調査研究	学芸部研究員　古谷毅、同上席研究員　降幡順子、同保存科学室アソシエイトフェロー　中屋奈緒	兵庫県西宮山古墳出土品の研究Ⅱ―非鉄金属製遺物 2（金銅製品）―	『学叢』46 号	京都国立博物館	6 月	無
2	近畿地区を中心とする社寺文化財の調査研究	学芸部教育室長　大原嘉豊、同上席研究員　降幡順子（共著：川岸和樹）	兵庫・斑鳩寺所蔵「紺紙金泥釈迦三尊十六羅漢像」に関する考察	『学叢』46 号	京都国立博物館	6 月	無
3	旧家伝来品・収蔵品等の有形文化財に関する研究	学芸部列品管理室長　永島明子（共著：松田清）	オランダ商館長ドゥーフ撰「亀鶴斎記」について	『学叢』46 号	京都国立博物館	6 月	無
4	同上	学芸部長　尾野善裕	日本名家与古寺院伝世的清朝瓷器	東亜陶瓷史研究国際研討会会議手冊	復旦大学文物与博物館学系	11 月	無
5	その他有形文化財に関連する調査研究	学芸部長　尾野善裕（共著：水橋公恵・山中由紀子・土橋明梨紗）	斎宮跡出土土器暦年代観の補正―平安時代中・後期を中心に―	『学叢』46 号	京都国立博物館	6 月	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
6	同上	学芸部考古室長 石田由紀子	藤原宮造営における瓦生産体制と瓦窯構造	『瓦窯の構造研究』	真陽社	5月	無
7	同上	同上	布留遺跡出土の古代の瓦	『布留遺跡の考古学―物部氏隆盛の地―』	金沢大学	8月	無
8	同上	同上	日高山瓦窯の瓦―1978年調査、藤原宮第17次	『発掘調査報告2024』	奈良文化財研究所	12月	無
9	同上	学芸部長　尾野善裕（共著：平尾政幸）	「桃山陶器」生産技術交流論	『中近世陶磁器の考古学第18巻』	雄山閣	10月	無
10	同上	学芸部長　尾野善裕	乾山焼伝書考―「陶工必用」と「陶磁製方」にみる「乾山」―	『大和文華』第146号	大和文華館	12月	有
11	同上	同上	小林行雄・楢崎彰一と猿投窯研究	令和６年度 考古学研究室談話会資料集	名古屋大学考古学研究室	6年2月	無
12	同上	学芸部考古室長 石田由紀子	村史編さんにともなう分布調査と採集遺物	『十津川村史　歴史資料編（古代・中世）』	十津川村	6年3月	無
13	同上	同上（共著：小澤毅）	大峯奥駈道の考古資料	『十津川村史　歴史資料編（古代・中世）』	十津川村	6年3月	無
14	同上	学芸部列品管理室 主任研究員　森道彦	公益財団法人渡辺美術館調査報告書（第11回）	『公益財団法人渡辺美術館調査報告書（第11回）』	公益財団法人渡辺美術館	6年3月	無
15	同上	学芸部保存修理指導室 主任研究員　上杉智英	平安時代（12c）写『高僧伝』十巻本よりみる五月一日経の実態	科研費研究成果報告書『「奈良朝勅定一切経」の総合的研究』	国際仏教学大学院大学	7年3月20日	無
16	同上	同上	大雲院の法華経について	『大雲院資料調査報告書【3】典籍・書籍編／歴史資料補遺編』	鳥取市教育委員会	7年3月31日	無
17	同上	学芸部保存科学室長　降幡順子、企画室主任研究員　井並林太郎（共著：大島幸代）	制作当初の法華経絵巻のすがた - 修理と顔料分析の成果から -	特別展法華経絵巻と千年の祈り』展覧会図録	中之島香雪美術館	6年10月4日	無
18	同上	学芸部上席研究員兼保存科学室長　降幡順子	文化財を微生物から守る　ガス燻蒸の今後	令和６年度京文化の華総会講演録	京文連会報	7年3月	無
19	同上	学芸部上席研究員兼保存科学室長　降幡順子（共著：和澄浩介）	玉林寺（守山市洲本町）所蔵銅造薬師如来坐像について	琵琶湖文化館研究紀要	琵琶湖文化館	7年3月	無
20	博物館・有形文化財の国際交流に関連する調査研究	学芸部調査・国際連携室 主任専門職　リンネ マリサ	「禅の心」展のはじまり	『南遊行』10号	龍光院　小堀月浦	10月1日	無
21	同上	同上	『Ornament』 （Maria Jose Gaivao de Tavaresと共編）	『Ornament』 Proceedings of the Annual Conference of ICOM-ICDAD, International Committee for Museums and Collections of Decorative Arts and Design	ICOM-ICDAD、Palacio Nacional da Ajuda（ポルトガル・リスボン）	7年2月	無
22	同上	同上	『Ornament』Foreword （序論）	同上	同上	7年2月	無
23	同上	同上	「Yanagi Takashi: An Interview Cut Short (2018)」	『Impressions』Special Issue Yanagi: A Family of Art Dealers in Kyoto	Japanese Art Society of America, Inc.（米国・ニューヨーク）	7年2月	無
24	同上	同上	「Yanagi Kōji: Next Chapter (2022)」	同上	同上	7年2月	無
25		同上	「ICOMドバイ大会紹介」	『国際連携による博物館の多様性・包摂性推進事業実施報告書』	国際連携による博物館の多様性・包摂性推進事業実行委員会	7年2月28日	無

【奈良国立博物館】　74件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究　40件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	生誕 1250 年記念特別展「空海　KŪKAI―密教のルーツとマンダラ世界」に関する調査研究	美術室長　岩井共二、情報サービス室長　北澤菜月、列品室長　斎木涼子、企画室長　谷口耕生、工芸考古室主任研究員　三田覚之、工芸考古室主任研究員　三本周作、企画室主任研究員　山口隆介、教育室研究員　内藤航、美術室研究員　樋笠逸人、美術室アソシエイトフェロー　松井美樹	作品解説	生誕 1250 年記念特別展「空海　KŪKAI―密教のルーツとマンダラ世界」展覧会図録	奈良国立博物館、NHK 奈良放送局、NHK エンタープライズ近畿、読売新聞	4 月	無
2	同上	列品室長　斎木涼子	総論　空海―密教のルーツとマンダラ世界	同上	同上	同上	無
3	同上	同上	コラム　密教の伝来ルート―『大日経』と『金剛頂経』	同上	同上	同上	無
4	同上	同上	コラム　『聾瞽指帰』と『三教指帰』	同上	同上	同上	無
5	同上	同上	コラム　恵果と空海	同上	同上	同上	無
6	同上	同上	コラム　唐の密教	同上	同上	同上	無
7	同上	同上	コラム　高雄山寺と空海と最澄	同上	同上	同上	無
8	同上	同上	コラム　東寺と空海	同上	同上	同上	無
9	同上	同上	コラム　後七日御修法の創設	同上	同上	同上	無
10	同上	教育室長　谷口耕生	各論　高雄曼荼羅―弘法大師御筆の両界曼荼羅	同上	同上	同上	無
11	同上	工芸考古室主任研究員　三本周作	各論　空海と密教法具	同上	同上	同上	無
12	同上	教育室研究員　内藤航	各論　空海以後の彫像制作―安祥寺五智如来像を例に	同上	同上		無
13	特別展「まるごと奈良博―奈良国立博物館至高の仏教美術コレクション―」に関する調査・研究	学芸部長　吉澤悟、美術室長　岩井共二、情報サービス室長　北澤菜月、列品室長　斎木涼子、企画室長　谷口耕生、教育室長　中川あや、工芸考古室主任研究員　三田覚之、考古室主任研究員　三本周作、企画室主任研究員　山口隆介、教育室研究員　内藤航	作品解説	特別展「まるごと奈良博―奈良国立博物館 至高の仏教美術コレクション―」展覧会図録	石川県立美術館	7 月	無
14	同上	学芸部長　吉澤悟	各論　奈良国立博物館の考古部門について	同上	同上	同上	無
15	同上	同上	コラム　経塚について	同上	同上	同上	無
16	同上	美術室長　岩井共二	各論　奈良博の仏像コレクション―種類と時代―	同上	同上	同上	無
17	同上	企画室長　谷口耕生	各論　奈良博の仏画コレクション	同上	同上	同上	無
18	同上	同上	コラム　春日曼荼羅と奈良博	同上	同上	同上	無
19	同上	資料室長　宮崎幹子	奈良国立博物館と「コレクション」―草創期を中心に―	同上	同上	同上	無
20	同上	工芸考古室主任研究員　三本周作	各論　館蔵の工芸品	同上	同上	同上	無
21	同上	企画室主任研究員　山口隆介	コラム　興福寺旧蔵の仏像	同上	同上	同上	無
22	特別陳列「泉屋博古館の名宝―住友春翠の愛でた祈りの造形―」に関する調査研究	学芸部長　吉澤悟、美術室長　岩井共二、情報サービス室長　北澤菜月、企画室長　谷口耕生、教育室長　中川あや、工芸考古室主任研究員　三田覚之、工芸考古室主任研究員　三本周作、企画室主任研究員　山口隆介、教育室研究員　内藤航、美術室研究員　樋笠逸人、工芸考古室アソシエイトフェロー　羽良朝風、美術室アソシエイトフェロー　松井美樹	作品解説	特別陳列「泉屋博古館の名宝―住友春翠の愛でた祈りの造形―」展覧会図録	奈良国立博物館	7 月	無
23	同上	保存修理指導室長　鳥越俊行	コラム　泉屋博古館所蔵青銅器の X 線 CT スキャン調査	同上	同上	同上	無
24	同上	工芸考古室主任研究員　三本周作	コラム　「棺形」の舎利容器は何を語っているか？	同上	同上	同上	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
25	同上	企画室主任研究員　山口隆介	コラム　阿弥陀如来像が旅した1世紀	同上	同上	同上	無
26	同上	美術室アソシエイトフェロー　松井美樹	コラム　住友春翠と仏教絵画先人の祈りへのまなざし	同上	同上	同上	無
27	わくわくびじゅつギャラリー「フシギ！日本のかみさまのびじゅつ」に関する調査研究	教育室研究員　翁みほり	作品解説	わくわくびじゅつギャラリー「フシギ！日本のかみさまのびじゅつ」展覧会図録	奈良国立博物館	7月	無
28	特別陳列「東大寺伝来の伎楽面―春日人万呂と基永師―」に関する調査研究	資料室長　宮崎幹子	コラム　東大寺伝来の伎楽面と奈良博覧会	特別陳列「東大寺伝来の伎楽面―春日人万呂と基永師―」展覧会図録	奈良国立博物	10月	無
29	同上	企画室主任研究員　山口隆介	概説　春日人万呂と基永師	同上	同上	同上	無
30	「第76回 正倉院展」に関する調査研究	学芸部長　吉澤悟、美術室長　岩井共二、情報サービス室長　北澤菜月、列品室長　斎木涼子、企画室長谷口耕生、教育室長　中川あや、工芸考古室主任研究員　三田覚之、工芸考古室主任研究員　三本周作、企画室主任研究員　山口隆介、教育室研究員　内藤航、美術室研究員　樋笠逸人、工芸考古室アソシエイトフェロー　羽良朝風、美術室アソシエイトフェロー　松井美樹	作品解説	「第76回 正倉院展」展覧会図録	同上	同上	無
31	同上	学芸部長　吉澤悟	概説　正倉院と正倉院宝物について	同上	同上	同上	無
32	同上	同上	宝物寸描　黄金瑠璃鈿背十二稜鏡の背景について	同上	同上	同上	無
33	同上	工芸考古室主任研究員　三本周作	宝物寸描　「紫檀塔」をさぐる	同上	同上	同上	無
34	同上	企画室主任研究員　山口隆介	宝物寸描　捨目師作の伎楽面―大英博物館所蔵童子面の紹介をかねて―	同上	同上	同上	無
35	特別陳列「春日若宮おん祭の信仰と美術」に関する調査研究	学芸部長　吉澤悟、美術室長　岩井共二、情報サービス室長　北澤菜月、列品室長　斎木涼子、企画室長谷口耕生 工芸考古室主任研究員　三田覚之、工芸考古室主任研究員　三本周作、企画室主任研究員　山口隆介、教育室研究員　内藤航、美術室研究員　樋笠逸人、工芸考古室アソシエイトフェロー　羽良朝風	作品解説	特別陳列「春日若宮おん祭の信仰と美術」展覧会図録	奈良国立博物	12月	無
36	同上	学芸部長　吉澤悟	展示概説　春日若宮おん祭の信仰と美術	同上	同上	同上	無
37	「開創1150年記念醍醐寺　国宝展」に関する調査研究	列品室長　斎木涼子	作品解説	「開創1150年記念　醍醐寺　国宝展」展覧会図録	大阪中之島美術館	6月	無
38	倉吉博物館開館50周年記念特別展「大御堂廃寺　仏教の華ひらく　はじまりの寺」	教育室長　中川あや	大御堂廃寺をめぐる祈りの世界	倉吉博物館開館50周年記念特別展「大御堂廃寺　仏教の華ひらく　はじまりの寺」展覧会図録	倉吉博物館	9月	無
39	特別展「法然と極楽浄土」に関する調査研究	美術室研究員　樋笠逸人	作品解説	特別展「法然と極楽浄土」展覧会図録	東京国立博物館	4月	無
40	「壮麗なる理知」に関する調査研究	工芸考古室アソシエイトフェロー　羽良朝風	作品解説	「壮麗なる理知」展覧会図録	ロンドンギャラリー	10月	無

○その他有形文化財に関連する調査研究　34件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	その他有形文化財に関連する調査研究	館長　井上洋一	法隆寺と奈良国立博物館――特別展からみた交流の歴史――	法隆寺夏季大学資料	法隆寺	7月25日	無
2	同上	同上	観光考古学に思うこと	『考古学ジャーナル』No.806	ニュー・サイエンス社	25年1月20日	無
3	同上	同上	国立博物館における文化観光	『改正博物館法で博物館はどうなる』	同成社	25年1月25日	無
4	同上	同上	東アジアの青銅器文化と『銅鐸の国』	『銅鐸の国　伊奈銅鐸出土100年』	豊橋市美術博物館	11月30日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
5	同上	学芸部長　吉澤悟	鎌原遺跡発掘の現場から	天明三年浅間山大噴火を語り継ぐ	雄山閣	8月	無
6	同上	情報サービス室長　北澤菜月	藤原宗弘筆 両部大経感得図	『國華』第1543号	朝日新聞出版	5月	無
7	同上	列品室長　斎木涼子	円宗寺結縁灌頂―院政期御願寺仏事の変転―	講座　畿内の古代学Ⅴ　イデオロギーと文化	雄山閣	9月	無
8	同上	企画室長　谷口耕生	高階隆兼筆　春日明神影向図	『國華』第1543号	朝日新聞出版	5月	無
9	同上	同上	漆金薄絵盤（香印座）の制作年代と使用方法をめぐって	『正倉院宝物の研究　漆金薄絵盤〈香印座〉』	株式会社ライブアートブックス	10月	無
10	同上	保存修理指導室長　鳥越俊行	皇賞龍牌と清朝の漂流民政策をめぐる予察	『ＭＵＳＥＵＭ』第710号	東京国立博物館	6月	無
11	同上	KOBAYASHI　Koji・NAKAMURA　Ichiro・TORIGOE Toshiyuki・NOSHIRO Shuichi	Scientific Analysis on Two Christian Lecterns in Portugal: A Wooden Substrate Investigation	保存科学	東京文化財研究所	25年3月	有
12	同上	保存修理指導室長　鳥越俊行、沖縄県立博物館・美術館　崎原恭子	沖縄県所在の銅鐘(琉球鐘)に対する蛍光X線分析調査	沖縄県立博物館・美術館研究紀要	沖縄県立博物館・美術館	25年3月	無
13	同上	資料室長　宮崎幹子	イギリス王子たちがみた明治十四年の奈良―旅行記ならびに古写真の解題と旅行記の翻訳―	奈良国立博物館研究紀要『鹿園雑集』第27号	奈良国立博物館	25年3月	無
14	同上	同上	日本及び東洋の美術・歴史系博物館	『ミュージアムの未来をつくる　博物館情報・メディア論』（共著）	美学出版	25年3月31日	無
15	同上	工芸考古室主任研究員　三田覚之	法隆寺探訪記〈6〉令和の糞掃衣プロジェクト	『聖徳』第252号	聖徳宗教学部	7月	無
16	同上	工芸考古室主任研究員　三本周作	伊能忠敬も拝見した薬師寺の宝物　黒漆鼓胴	『薬師寺』第221号	法相宗大本山薬師寺	9月	無
17	同上	企画室主任研究員　山口隆介	康俊・康成作　地蔵菩薩像	『国華』第1545号	朝日新聞社	7月	有
18	同上	同上	伎楽面　伝太孤父	『聖徳』第252号	聖徳宗教学部	同上	無
19	同上	同上	古写真細見―東京国立博物館所蔵十一面観音像―	『ＭＵＳＥＵＭ』第713号	東京国立博物館	12月	有
20	同上	同上	3～7세기 고구려계 집단의 강제 이주 및 정착 – 중원왕조의 對이민족 정책을 중심으로 한 문제 제기	『木簡과 文字』	周留城出版社	12月	無
21	同上	同上	延暦寺薬師如来像とサンフランシスコ・アジア美術館持国天・増長天像――奈良・興善寺伝来の平安彫刻――	奈良国立博物館研究紀要『鹿園雑集』第27号	奈良国立博物館	25年3月	無
22	同上	情報サービス室アソシエイトフェロー　チュイビアンカ	A Journey within Fifty-three Squares：Playing with *Tōkaidōchū Hizakurige* in Sugoroku Board Games	修士論文	ブリティッシュコロンビア大学大学院アジア研究学科	9月	無
23	同上	情報サービス室アソシエイトフェロー　チュイビアンカ	Eating Your Way through Sugoroku: Imaginary Travel in a Japanese Board Game	Handbook of Japanese Games and Gameplay (edited volume)	Japan Documents, an imprint of MHM Limited, Tokyo, Japan	25年3月17日	有
24	同上	美術室アソシエイトフェロー　松井美樹	笠置寺般若台の造形と構想――貞慶の遁世と実践をめぐって	『解脱房貞慶の世界　『観世音菩薩感応抄』を読み解く』	法藏館	9月	無
25	同上	同上	中世南都寺院の霊山信仰と美術	博士論文	東北大学大学院文学研究科	2025年1月6日提出、2月3日口頭試問、3月25日学位授与	有
26	同上	同上	奈良・如意輪寺所蔵蔵王権現立像および吉野曼荼羅彩絵厨子――厨子の制作年代と制作背景を中心に	『美術史』第197冊	美術史学会	10月	有
27	同上	同上	古代中世の神仙像と山岳信仰―役行者像を中心に―	『鹿島美術研究』年報第41号別冊	鹿島美術財団	11月	無
28	保存科学の観点からの収蔵品・寄託品等の調査研究	保存修理指導室アソシエイトフェロー　加藤沙弥、保存修理指導室アソシエイトフェロー　小峰幸夫	奈良国立博物館における生物被害対策―燻蒸設備のあゆみと対策の現状―	奈良国立博物館研究紀要『鹿園雑集』第27号	奈良国立博物館	25年3月31日	無
29	同上	保存修理指導室アソシエイトフェロー　加藤沙弥	ＣＴ画像解析からみる興福寺乾漆像の木彫技法を用いた鎌倉期修理について	『文化財保存修復学会第46回大会研究発表要旨集』	文化財保存修復学会	6月22日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
30	同上	保存修理指導室アソシエイトフェロー　小峰幸夫	事業報告	『令和5年度文化財防災センター 年次報告書』	文化財防災センター	4月30日	無
31	同上	同上（分担執筆）	アーカイブス学用語辞典	『アーカイブス学用語辞典』	柏書房	8月5日	無
32	博物館教育に関する調査研究	教育室研究員　翁みほり、教育室アソシエイトフェロー　久米彩也加	【事業報告】子ども向け展覧会わくわくびじゅつギャラリー「フシギ！日本の神さまのびじゅつ」	奈良国立博物館研究紀要『鹿園雑集』第27号	奈良国立博物館	25年3月31日	無
33	同上	教育室アソシエイトフェロー　久米彩也加	【論文】18世紀末～19世紀初頭ザルツブルク及びウィーンにおける女性使用人と教育―教育家フィアターラーの著作を手がかりに―	『史境』	歴史人類学会	25年3月25日	有
34	多言語対応に関する調査研究	情報サービス室アソシエイトフェロー　張小娟	【事業報告】奈良国立博物館来館者における中国語話者の割合とその傾向― 2014年8月特別陳列の分析 ―	奈良国立博物館研究紀要『鹿園雑集』第27号	奈良国立博物館	25年3月31日	無

【九州国立博物館】　39件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究　14件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究	学芸部企画課特別展室主任研究員　西島亜木子	発達障がい者向けの取り組み―あんしんマップ、あんしんガイド	紀要『東風西声』20号	九州国立博物館	3月	無
2	同上	学芸部企画課文化交流展室長　川村佳男	「青銅製浄瓶の形態と製作技法の遷移に関する初歩的研究―内視鏡付きカメラを用いた内面観察結果を踏まえて―」	『アジア鋳造技術史学会大会概要集』17	アジア鋳造技術史学会	6年8月	有
3	同上	学芸部企画課文化交流展室長　川村佳男	「響銅 長頸瓶の内面形態観察報告：九州国立博物館所蔵品より」	紀要『東風西声』20号	九州国立博物館	7年3月	無
4	特集展示「人吉球磨の玉手箱」に関する調査研究	学芸部文化財課主任研究員　松浦晃佑	作品解説20件及びコラム「ウンスンカルタ～その始まりから、「再発見」、そして普及～」	『人吉球磨の玉手箱』（特集展示図録）	九州国立博物館	10月22日	無
5	有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究	学芸部文化財課主任研究員　松浦晃佑	「日本の書に親しむ」	『月刊書写書道』2024年4月号～2025年3月号	公益財団法人日本武道館	4月～7年3月	無
6	特集展示「人吉球磨の玉手箱」に関する調査研究	学芸部文化財課研究員　大澤信	作品解説2件及びコラム「願成寺阿弥陀如来坐像の伝来と修理」	『人吉球磨の玉手箱』（特集展示図録）	九州国立博物館	10月22日	無
7	有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究	学芸部文化財課研究員　大澤信	翻訳　鄭恩雨「陝川海印寺希朗大師像の特徴と制作の意味」	『美術研究』442号	東京文化財研究所	6年3月29日	無
8	有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究	学芸部文化財課研究員　大澤信	仏像の魅力を一人でも多くの人に伝えたい	『哲学部・宗教学部―中高生のための学部選びガイド―』	ぺりかん社	6年8月	無
9	有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究	学芸部展示課長　齋部麻矢	主担当、図録執筆（総論「人吉球磨の歴史」、作品解説、総括、編集）	『人吉球磨の玉手箱』（特集展示図録）	九州国立博物館	10月21日	無
10	同上	学芸部展示課主任研究員　一瀬智	「平戸松浦家の「御譲道具」とその形成」	『東風西声』20号	九州国立博物館	9月4日	無
11	同上	学芸部展示課主任研究員　一瀬智	作品解説	『特別展　法然と極楽浄土』（特別展図録）	東京国立博物館・京都国立博物館・九州国立博物館・NHK・NHKプロモーション・読売新聞社	4月	無
12	同上	学芸部展示課長　齋部麻矢	「九州地方の鬼瓦」	『鴟尾・鬼瓦の展開2 鬼瓦 古代瓦研究12』	奈良文化財研究所	2月	無
13	同上	学芸部展示課主任研究員　岸本　圭・小澤佳憲	作品解説	『特別展　はにわ』（特別展図録）	東京国立博物館・九州国立博物館・NHK・NHKプロモーション・朝日新聞社	10月	無
14	同上	学芸部展示課主任研究員　岸本　圭	作品解説	『人吉球磨の玉手箱』（特集展示図録）	九州国立博物館	10月21日	無

○その他有形文化財に関連する調査研究　25件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	その他有形文化財に関連する調査研究	学芸部博物館科学課長 木川りか	第5章「生物」	『文化財保存環境学』第3版	朝倉書店	6年12月	無
2	同上	奈良文化財研究所　柳田明進・脇谷草一郎、学芸部博物館科学課長　木川りか、東京文化財研究所　佐藤嘉則、学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史、副館長　小泉惠英、松浦市教育委員会,内野義・安木由美、文化財防災センター長　高妻洋成	What kind of corrosion products are “black spots? – Effects of reduced sulphur compounds on corrosion of bronze artifacts	Journal of Cultural Heritage、68	Elsevier	6年	有
3	同上	学芸部博物館科学課長 木川りか、同研究員　和泉田絢子、東京文化財研究所　島田潤、学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基、松浦市教育委員会,安木由美、東京文化財研究所　佐藤嘉則、奈良文化財研究所　柳田明進・脇谷草一郎、松浦市教育委員会,内野義、学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史、副館長　小泉惠英、文化財防災センター長　高妻洋成	海底遺跡から発掘された木製品、石製品等遺物（海揚り品）から発生する還元型硫黄ガス（硫化水素、硫化カルボニル）の調査	『保存科学』64号	東京文化財研究所	7年3月	有
4	同上	学芸部企画課特別展室長 川畑憲子、学芸部物館科学課長　木川りか、学芸部企画課主任研究員　望月規史、同研究員　桑原有寿子、同アソシエイトフェロー　折山桂子、学芸部物館科学課研究員 渡辺祐基、同研究員　和泉田絢子、同アソシエイトフェロー　奥島希子、学芸部企画課研究補佐員 髙野奏、同研究補佐員 志賀玲美奈	特別展造作に関するVOC対策研究会について―共催者・造作会社・博物館との取組み―	紀要『東風西声』20号	九州国立博物館	7年3月	無
5	同上	学芸部学物館科学課研究員　和泉田絢子、同研究員　渡辺祐基、学芸部企画課特別展室長　川畑憲子、学芸部博物館科学課研究補佐員　穴井恵理、同研究補佐員　桑原紀久美、同アソシエイトフェロー　奥島希子、学芸部企画課望月主任研究員 望月規史、同研究員　桑原有寿子、同アソシエイトフェロー　折山桂子、学芸部物館科学課長　木川りか	展示ケース・展示室で使用するガス放散性の少ない展示材料のスクリーニングの試み	紀要『東風西声』20号	九州国立博物館	7年3月	無
6	同上	学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基	竹材害虫チビタケナガシンクイの生活史および食害行動の非破壊的手法による解明	木材学会誌 70(4)	日本木材学会	10月	有
7	同上	学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基、東京文化財研究所　島田潤	国際文化財 IPM 会議“IPM-CH 2024”参加報告―文化財 IPM の世界的潮流と取り組み―	『保存科学』64号	東京文化財研究所	7年3月	有
8	同上	学芸部博物館科学課長 木川りか	昆虫の調査と環境の解析	文化財 IPM コーディネータのための講習会テキスト	文化財虫菌害研究所	6年12月	無
9	同上	学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基	昆虫に関する基礎知識と文化財に加害する昆虫類の特徴	文化財の虫菌害防除と安全の知識　2025年	文化財虫菌害研究所	7年1月	無
10	同上	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史	上遠原遺跡から出土した赤色顔料について	上遠原遺跡	技研コンサル株式会社	7月	無
11	同上	大西漆芸修復スタジオ 大西智洋、後藤里架、学芸部博物館科学課研究員 渡辺祐基、文化財防災センター研究員　和泉田絢子、学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史、日本二十六聖人記念	日本二十六聖人記念館所蔵 「日傘」の材質・構造調査と製作地の推定	日本文化財科学会第41回大会研究発表要旨集	日本文化財科学会	7月	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
		館　デ・ルカ・レンゾ、宮田和夫					
12	同上	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史	上官塚遺跡等出土赤色顔料の分析調査	上官塚遺跡２	嘉島町教育委員会	8月	無
13	同上	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史	石棺墓に使用された赤色顔料	吉野ヶ里遺跡の石棺墓のナゾに迫る	佐賀県文化課文化財保護・活用室	7年2月	無
14	同上	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史	十郎丸長谷古遺跡から出土した赤色顔料について	十郎丸長谷古遺跡２	九州歴史資料館	7年3月	無
15	同上	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史	赤司定格遺跡（第３次調査）及び良積遺跡から出土した赤色顔料について	令和6年度久留米市内遺跡群	久留米市教育委員会	7年3月	無
16	同上	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史、国立歴史民俗博物館 研究部　准教授 中村耕作	九州国立博物館所蔵 伝長野県山形村三夜塚遺跡出土の顔面把手付深鉢	『縄文時代異形土器集成図譜Ⅱ　顔身体土器』	国立歴史民俗博物館	7年3月	無
17	同上	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史、国立歴史民俗博物館 研究部　准教授 中村耕作	九州国立博物館所蔵 千葉県成田市荒海貝塚出土の顔面付注口土器	『縄文時代異形土器集成図譜Ⅱ　顔身体土器』	国立歴史民俗博物館	7年3月	無
18	同上	学芸部博物館科学課保存修復室長　志賀智史、同研究員　和泉田絢子	光学調査の目的と方法、機材等概要・蛍光X線調査の結果と所見	科学研究費・基盤研究(B)　光学的科学調査を軸とした初期洋風画とアジア太平洋海域美術交通に関する基盤的研究　報告書	大阪大学文学研究科教授　岡田裕成	7年3月	無
19	同上	学芸部文化財課主任研究員　松浦晃佑	「永和二年（一三七六）二月十五日付今川了俊書状」	『日本歴史』913号	吉川弘文館	6月	無
20	同上	学芸部文化財課主任研究員　松浦晃佑、公益財団法人松浦史料博物館　久家孝史、滋賀県立安土城考古博物館　瓜生翠	平戸藩主の印章　―『御家乗』と残された印章から―	紀要『東風西声』20号	九州国立博物館	7年3月	無
21	同上	学芸部文化財課長　野尻忠	紫紙金字『金光明最勝王経』の製作にかかる一史料	宮﨑健司編『正倉院文書を考える』	法蔵館	11月	無
22	同上	学芸部企画課アソシエイトフェロー　折山桂子、学芸部博物館科学課研究補佐員　田中麻美、同保存修復室長　志賀智史、同研究員　渡辺祐基、同研究員　和泉田絢子	「福岡・誓願寺所蔵銭弘俶八万四千塔　調査報告」	紀要『東風西声』20号	九州国立博物館	7年3月	無
23	同上	学芸部企画課特別展室長川畑憲子、学芸部博物館科学課研究員　渡辺祐基、同研究補佐員　田中麻美	「叢梨地牡丹唐草向鶴紋散蒔絵調度の木地構造について（5）化粧道具（櫛台・櫛箱・払箱・元結箱・髭箱）」	紀要『東風西声』20号	九州国立博物館	7年3月	無
24	同上	学芸部文化財課主任研究員　松浦晃佑	近世大名家資料の再定義・利用・継承の構造―松浦家資料をめぐる松浦清と熙の思想―	東京国立博物館研究誌『MUSEUM』714号	東京国立博物館	7年2月	有
25	同上	学芸部文化財課長　野尻忠	奈良時代書写巻の巻頭部分の補写時期について	小川八幡神社大般若経調査概報2022―2023 各論篇	東京大学史料編纂所	7年3月	無

【皇居三の丸尚蔵館】　56件

○有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究　30件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	有形文化財の展覧事業・教育活動等に関連する調査研究	学芸部調査・保存課主任研究員 清水緑	コラム「皇室に献上された大観の紙本作品」	『北陸新幹線福井・敦賀開業記念　横山大観展』図録	福井県立美術館	4月	無
2	同上	学芸部展示・普及課長 戸田浩之	皇室の美　海北友松「浜松図屏風」―金地に濃彩 優美な情趣	読売新聞　朝刊	読売新聞	4月7日	無
3	同上	学芸部調査・保存課主任研究員 清水緑、同研究員　山田千穂、管理・情報課研究員 野中愛理、展示・普及課研究員 木村真美	巻頭論文、コラム、作品解説、	『春季特別展　皇居三の丸尚蔵館名品選　美が結ぶ皇室と香川』図録	香川県立ミュージアム	4月20日	無

4	同上	学芸部展示・普及課長 戸田浩之、同主任研究員 岡本隆志、同研究員 木村真美、管理・情報課長 五味聖、同主任研究員 小林彩子、同研究員 上嶋悟史、野中愛理、調査・保存課主任研究員 清水緑、同研究員 山田千穂	章解説、作品解説	『開館記念展　皇室のみやび－受け継ぐ美－第4期三の丸尚蔵館の名品』図録	皇居三の丸尚蔵館	5月21日	無
5	同上	学芸部展示・普及課研究員 木村真美	TSUMUGU Gallery 皇室の美　宇治川蛍蒔絵料紙箱・硯箱	TSUMUGU Gallery	読売新聞（紡ぐプロジェクト）	5月	無
6	同上	学芸部展示・普及課研究員 木村真美	皇室の美　大正の大礼 精巧な下賜品	読売新聞　朝刊	読売新聞	5月9日	無
7	同上	学芸部管理・情報課研究員 上嶋悟史	皇室の美　京都の面目 刺繍で縫い表す	読売新聞　朝刊	読売新聞社	6月2日	無
8	同上	学芸部管理・情報課研究員 上嶋悟史	TSUMUGU Gallery　皇室の美　国宝唐獅子図屏風	TSUMUGU Gallery	読売新聞（紡ぐプロジェクト）	6月	無
9	同上	学芸部展示・普及課研究員 井上真里奈	皇室の美　最先端の磁石　伝統と融合	読売新聞　朝刊	読売新聞社	7月7日	無
10	同上	学芸部管理・情報課長 五味聖、同主任研究員 小林彩子、同研究員 三島大暉、野中愛理、展示・普及課主任研究員 岡本隆志、同研究員 木村真美、調査・保存課長 髙梨真行、同主任研究員 清水緑、同研究員 細川晋太郎、山田千穂	章解説、作品解説	『いきもの賞玩』展図録	皇居三の丸尚蔵館	7月9日	無
11	同上	学芸部管理・情報課研究員 三島大暉	皇室の美　雍仁親王 海外の美術品に関心－コリントス式アンフォリスコス	読売新聞　朝刊	読売新聞	8月17日	無
12	同上	学芸部管理・情報課長 五味聖、同主任研究員 小林彩子、同研究員 三島大暉、野中愛理、展示・普及課主任研究員 岡本隆志、同研究員 井上真里奈、木村真美、調査・保存課長 髙梨真行、同主任研究員 清水緑、同研究員 細川晋太郎、山田千穂	章解説、作品解説	『花鳥風月―水の情景・月の風景』展図録	皇居三の丸尚蔵館	9月10日	無
13	同上	学芸部管理・情報課長　五味聖、同研究員 上嶋悟史、調査・保存課研究員　加藤広樹、展示・普及課研究員 木谷知香	総論、作品解説	北海道立近代美術館編『皇居三の丸尚蔵館展　皇室の至宝 北海道ゆかりの名品』図録	テレビ北海道	9月	無
14	同上	学芸部管理・情報課研究員 上嶋悟史	【史料探訪80】「高山彦九郎遺墨」	『鴨東通信』No.119（2024年秋・冬号）	思文閣出版	9月27日	無
15	同上	学芸部展示・普及課　木谷知香	皇室の美　明治天皇が「見た」風景写真に記録	読売新聞 朝刊	読売新聞	9月9日	無
16	同上	副館長 朝賀浩、学芸部調査・保存課研究員 加藤広樹、展示・普及課研究員 田中純一朗、管理・情報課研究員 芳澤直之	論文、コラム、作品解説、参考文献	『皇居三の丸尚蔵館特別協力 PARALLEL MODE:山本芳翠―多彩なるヴィジュアル・イメージ』展図録	岐阜県美術館	9月26日	無
17	同上	学芸部調査・保存課長 高梨真行、同研究員 山田千穂、展示・普及課主任研究員 岡本隆志、同研究員 田中純一朗、木村真美	展示概要、コラム、作品解説	『公家の書－古筆・絵巻・古文書/皇室の美術振興－日本近代の絵画・彫刻・工芸』展図録	皇居三の丸尚蔵館	10月29日	無

18	同上	学芸部調査・保存課研究員 山田千穂	作品解説（監修）	作品紹介リーフレット・英版「Three Celebratory Poems from Collection of Japanese Poems Ancient and Modern」）	皇居三の丸尚蔵館	10月29日	無
19	同上	学芸部調査・保存課研究員 山田千穂	作品解説	作品紹介リーフレット「古今和歌集賀歌三首（大色紙）の楽しみかた　和歌×書×料紙にあらわされる平安貴族の美意識」	皇居三の丸尚蔵館	10月29日	無
20	同上	学芸部管理・情報課研究員 上嶋悟史	相国寺承天閣美術館開館 40 周年記念「相国寺展――金閣・銀閣　鳳凰がみつめた美の歴史」「伊藤若冲《鹿苑寺大書院障壁画 二之間襖絵 松鶴図》」	中日新聞　愛知・県内総合版、三重・広域三重版、岐阜・岐阜総合版	中日新聞社	11月9日、12日、14日	無
21	同上	学芸部調査・保存課研究員 加藤広樹	皇室の美　虹色の光帯びた月暈　独特の情景へ	読売新聞　朝刊	読売新聞（紡ぐプロジェクト）	11月3日	無
22	同上	学芸部展示・普及課主任研究員 岡本隆志	皇室の美　稲穂に群雀図花瓶	読売新聞　朝刊	読売新聞（紡ぐプロジェクト）	12月1日	無
23	同上	学芸部展示・普及課長　戸田浩之、同主任研究員　岡本隆志、同研究員 田中純一朗、木村真美、管理・情報課長 五味聖、同主任研究員 小林彩子、同研究員 上嶋悟史、調査・保存課長 髙梨真行、同主任研究員 清水緑、同研究員 細川晋太郎、山田千穂	展示概要、コラム、作品解説	『瑞祥のかたち』展図録	皇居三の丸尚蔵館	7年1月4日	無
24	同上	学芸部管理・情報課研究員 上嶋悟史	作品解説	作品紹介リーフレット「伊藤若冲『動植綵絵』の世界」	皇居三の丸尚蔵館	7年1月1日	無
25	同上	学芸部管理・情報課長　五味聖	皇室の美　鼈甲細工 皇室と長崎結ぶ船	読売新聞　朝刊	読売新聞（紡ぐプロジェクト）	7年1月5日	無
26	同上	学芸部管理・情報課長　五味聖	瑞祥のかたち　日本美術の名品でたどる瑞祥の造形美	新美術新聞	美術年鑑社	7年1月15日	無
27	同上	学芸部調査・保存課主任研究員 清水緑	皇室の美　「カラリスト」観山 美しき彩色	読売新聞　朝刊	読売新聞（紡ぐプロジェクト）	7年2月2日	無
28	同上	学芸部調査・保存課主任研究員 清水緑、同研究員　細川晋太郎、学芸部展示・普及課研究員 木谷知香、学芸部管理・情報課研究員 芳澤直之	総論、コラム、章解説、作品解説	『皇居三の丸尚蔵館収蔵品でたどる日本の技と美　皇室の名宝と新潟』展図録	新潟県立近代美術館	7年2月	無
29	同上	学芸部調査・保存課主任研究員 山田千穂	皇室の美　唐様 豊潤で流麗な線、見事	読売新聞　朝刊	読売新聞（紡ぐプロジェクト）	7年3月2日	無
30	同上	学芸部展示・普及課長 戸田浩之、同主任研究員 岡本隆志、同研究員 田中純一朗、木谷知香、木村真美、管理・情報課長 五味聖、同主任研究員 小林彩子、調査・保存課主任研究員 清水緑、同研究員 細川晋太郎、山田千穂、学芸部上席研究員　瀬谷愛	作品解説	『花ひらく―花々をめぐる美―』図録	皇居三の丸尚蔵館	7年3月11日	無

○その他有形文化財に関連する調査研究　26件

	研究テーマ	発表者（職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載年月日	査読有無
1	その他有形文化財に関連する調査研究	学芸部展示・普及課長 戸田浩之	作品解説	『伊勢物語　造形表現集成』	思文閣	5月	無
2	同上	学芸部展示・普及課主任研究員 岡本隆志	三代清風與平と明治の京焼　コレクションルーム　特集「世界が見惚れた京都のやきもの～明治の神業」に寄せて	京都市京セラ美術館ニュース　224号	京都市文化市民局美術館	7月1日	無
3	同上	学芸部管理・情報課研究員 三島大暉	知識組織化システムに基づく収蔵品検索の構築	人文科学とコンピュータシンポジウム 2024 論文集	情報処理学会	11月30日	有
4	同上	副館長　朝賀浩	選評 平川信幸氏『琉球国王の肖像画「御後絵」とその展開』	『国華』1550	国華社	12月	無
5	同上	学芸部長　建石徹	自然科学の手法を用いた石材加熱処理の識別	『考古学ジャーナル』804	ニューサイエンス社	12月	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
6	同上	学芸部長　建石徹	令和 6 年能登半島地震における被災文化財への対応ー文化財レスキュー事業・文化財ドクター派遣事業を中心にー	『文化財の虫菌害』88	文化財虫菌害研究所	12 月	無
7	同上	学芸部調査・保存課長 高梨真行	伊勢貞孝敗死考―永禄四・五年の近江六角氏進攻をめぐる幕府、将軍、近臣の動向から-	埼玉学園大学紀要　人文科学篇 24 号	埼玉学園大学	12 月	無
8	同上	副館長　朝賀浩	博物館施設の総合性と保存担当学芸員の専門性	『博物館研究』681	日本博物館協会	7 年 2 月 25 日	無
9	同上	学芸部上席研究員 瀬谷愛	中世律宗絵画としての本法寺蔵法華経曼荼羅図	アジア遊学　描かれた法華経　本法寺蔵法華経曼荼羅図の時空	勉誠社	7 年 3 月 25 日	無
10	同上	学芸部上席研究員 瀬谷愛	幕府祈願所霊雲寺の名宝と覚彦浄厳	寺院文献資料学の新展開 第 8 巻 近世仏教資料の諸相（Ⅰ）	臨川書店	7 年 3 月 31 日	無
11	同上	学芸部調査・保存課長 高梨真行	藤原師長書状考	『尚蔵―皇居三の丸尚蔵館紀要』創刊号	皇居三の丸尚蔵館	7 年 3 月 31 日	有
12	同上	学芸部展示・普及課研究員　田中純一朗・松井邦子	明治期日英宮廷交流における「肖像画外交」―ジェームズ・サント《ヴィクトリア女王像》を例として	『尚蔵―皇居三の丸尚蔵館紀要』創刊号	皇居三の丸尚蔵館	7 年 3 月 31 日	有
13	同上	学芸部管理・情報課研究員 上嶋悟史	光格天皇、妙法院宮真仁法親王と画僧・月僊―新出の二作品をめぐって―	『尚蔵―皇居三の丸尚蔵館紀要』創刊号	皇居三の丸尚蔵館	7 年 3 月 31 日	有
14	同上	学芸部調査・保存課研究員 山田千穂	研究ノート 「和歌懐紙・詩懐紙貼交屏風」について	『尚蔵―皇居三の丸尚蔵館紀要』創刊号	皇居三の丸尚蔵館	7 年 3 月 31 日	有
15	同上	学芸部管理・情報課研究員 三島大暉	研究ノート 《ジェセル王の壺》に関する一考察	『尚蔵―皇居三の丸尚蔵館紀要』創刊号	皇居三の丸尚蔵館	7 年 3 月 31 日	有
16	同上	学芸部展示・普及課研究員 井上真里奈	研究ノート 幼稚園を対象とした鑑賞プログラムの実施―井草幼稚園における模写・立体制作との連携を事例に	『尚蔵―皇居三の丸尚蔵館紀要』創刊号	皇居三の丸尚蔵館	7 年 3 月 31 日	有
17	同上	学芸部管理・情報課研究員 三島大暉、総務課情報システム係長 澁谷完滋	研究ノート 皇居三の丸尚蔵館における IT インフラの整備―ミュージアム DX に備えて	『尚蔵―皇居三の丸尚蔵館紀要』創刊号	皇居三の丸尚蔵館	7 年 3 月 31 日	有
18	同上	学芸部調査・保存課研究員 細川晋太郎	《蒔絵重箱入　発掘品類集》の考古資料―銅鏃・筒形銅器	『尚蔵―皇居三の丸尚蔵館紀要』創刊号	皇居三の丸尚蔵館	7 年 3 月 31 日	有
19	同上	学芸部管理・情報課研究員　芳澤直之	「御手許写真」明治初年日本風景帖	『三の丸尚蔵館収蔵品目録』第 10 号	皇居三の丸尚蔵館	7 年 3 月 31 日	無
20	同上	学芸部　調査・保存課研究員 加藤広樹	《紙本著色世界図》の制作背景―光学調査の結果を受けて―	『《紙本著色世界図》光学調査報告書』	東京文化財研究所	7 年 3 月 28 日	無
21	同上	学芸部調査・保存課研究員　加藤広樹、矢澤南歩、学芸部長　建石徹	文化財 IPM プログラムにおける５段階制御の項目間の有機的連関―皇居三の丸尚蔵館の取り組みから―	保存科学　第 64 号	東京文化財研究所	7 年 3 月 17 日	有
22	同上	館長　島谷弘幸	賢愚経残巻（大聖武）（国宝大手鑑所収）	『陽明文庫講座　図録』6	東京大学史料編纂所・公益財団法人陽明文庫	7 年 3 月 31 日	無
23	同上	学芸部調査・保存課長　高梨真行	近衛稙家書状	『陽明文庫講座　図録』6	東京大学史料編纂所・公益財団法人陽明文庫	7 年 3 月 31 日	無
24	同上	学芸部長　建石徹	本事業について	『国宝高松塚古墳壁画修理報告書』	文化庁・東京文化財研究所	7 年 3 月	無
25	同上	学芸部長　建石徹	国立文化財機構によるトルコ被災文化遺産への支援事業―文化遺産防災を核とした二国間連携をめざして―	『西アジア考古学』26	西アジア考古学会	7 年 3 月	無
26	同上	学芸部管理・情報課研究員 上嶋悟史	宇多天皇所有の長恨歌屏風に対する復元的考察ー蓮華王院宝蔵の長恨歌絵を通してー	原本が現存しない院政期絵巻の諸作品に関する基礎的考察（科研費報告書　課題番号 21K1289　研究代表者 苫名悠）	苫名悠（佛教大学歴史学部）	7 年 3 月	無

【東京文化財研究所】　78件

(1) 新たな知見の開拓につながる基礎的・探求的な調査研究　21件

○有形文化財、伝統的建造物群に関する調査研究　10件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	文化財建造物の保護に関する研究	文化遺産国際協力センターー国際情報研究室長　金井健	国宝保存法下の指定建造物の「復原」と「整備」:現状変更行為による遺産価値向上の理路と手法	日本建築学会計画系論文集 825 号	日本建築学会	11 月 1 日	有
2	文化財保護と観光に関する研究	文化遺産国際協力センターアソシエイトフェロー　米山大三郎	近代の日光における観光資源としての文化的景観 -ガイドブックにおける地物の見方の変遷を通して-	日本建築学会計画系論文集 826 号	日本建築学会	12 月 1 日	有

3	史跡の保護に関する研究	文化遺産国際協力センターアソシエイトフェロー　松浦一之介	蓬萊園の遺構―都市における近世・近代の遺跡を保護する視点―	先史学・考古学論究　IX	龍田考古会	7年2月28日	無
4	美術作品の様式表現・制作技術・素材に関する複合的研究と公開	客員研究員　安永拓世	「東京文化財研究所の「売立目録デジタルアーカイブ」について」	國華　1549号	國華社	11月20日	無
5	日本東洋美術史の資料学的研究	文化財情報資料部文化財アーカイブズ研究室長　米沢玲	資料紹介　モントリオール美術館所蔵　熊野曼荼羅図	美術研究　444号	東京文化財研究所	7年1月	無
6	近・現代美術に関する調査研究と資料集成	上席研究員　塩谷純	黒田記念館と東京文化財研究所―その沿革と近年の研究成果について	没後100年　黒田清輝とその時代	鹿児島市立美術館	7月24日	無
7	近・現代美術に関する調査研究と資料集成	文化財情報資料部研究員　吉田暁子	失われた裸体画 -古郡良雄『彼の頃の麻布 記事』より	没後100年 黒田清輝とその時代	鹿児島市立美術館	7月24日	無
8	近・現代美術に関する調査研究と資料集成	文化財情報資料部研究員　吉田暁子	展覧会番外編 近代洋画の風景表現をめぐる一考察	生誕150年記念 菱田春草展 不朽の名作《落葉》誕生秘話	福井県立美術館	9月15日	無
9	近・現代美術に関する調査研究と資料集成	上席研究員　塩谷純	秋元洒汀と菱田春草	菱田春草生誕150年記念特別展　創造への道筋-画巻《四季山水》への歩み	飯田市美術博物館	10月5日	無
10	近・現代美術に関する調査研究と資料集成	文化財情報資料部研究員　吉田暁子	岸田劉生の静物画における制作プロセスの研究	鹿島美術研究　年報第41冊別冊	鹿島美術財団	11月	無

○無形文化財、無形民俗文化財等に関する調査及び研究　　11件

	研究テーマ	発表者（職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載年月日	査読有無
1	重要無形文化財の保存・活用に資する調査研究等	無形文化遺産部無形文化財研究室長 前原恵美	楽器を中心とした文化財保存技術調査報告8	無形文化遺産研究報告第19号	東京文化財研究所	7年3月31日	有
2	同上	無形文化遺産部主任研究員 菊池理予	東京藝術大学未来創造継承センター大学史史料室（旧制東京美術学校部門）所蔵中村勝馬関係資料から見た工芸技術保護の実態Ⅱ―統制関連団体の実態―	無形文化遺産研究報告第19号	東京文化財研究所	7年3月31日	有
3	重要無形民俗文化財の保存・活用に資する調査研究等	無形文化遺産部無形民俗文化財研究室長 久保田裕道	民俗芸能のネットワーク化をめぐる現状と課題	無形文化遺産研究報告第19号	東京文化財研究所	7年3月31日	有
4	同上	無形文化遺産部無形民俗文化財研究室長 久保田裕道	宇原獅子舞	『民俗芸能』102	日本青年館公益事業部	6年11月	有
5	同上	無形文化遺産部主任研究員 今石みぎわ	碁石茶の生産と利用	『四国山地の発酵茶の製造技術 碁石茶製造技術調査報告書』	大豊町教育委員会	7年3月	無
6	同上	無形文化遺産部 研究員 後藤知美	創られる文化財保護の文脈―運用から捉える『財と遺産の仕組み』	『現代思想』52-6	青土社	6年4月	無
7	無形文化遺産保護に関する研究交流・情報収集	文化財情報資料部文化財情報資料研究室長　二神葉子	無形文化遺産の保護に関する第19回政府間委員会における議論の概要と今後の課題	無形文化遺産研究報告第19号	東京文化財研究所	7年3月31日	有
8	同上	無形文化遺産部 部長 石村智	Restoration of Intangible Cultural Heritage and Communities after Disasters: Cases of “Soma Nomaoi” and “Obori SomaYaki” in Fukushima Prefecture, Japan	『Handbook on Intangible Cultural Practice as Global Strategies for the Future』	Springer Nature	6年12月	有
9	重要無形文化財の保存・活用に資する調査研究等	無形文化遺産部無形文化財研究室長 前原恵美	楽器を中心とした文化財保存技術調査報告8	無形文化遺産研究報告第19号	東京文化財研究所	7年3月31日	有
10	同上	無形文化遺産部主任研究員 菊池理予	東京藝術大学未来創造継承センター大学史史料室（旧制東京美術学校部門）所蔵中村勝馬関係資料から見た工芸技術保護の実態Ⅱ―統制関連団体の実態―	無形文化遺産研究報告第19号	東京文化財研究所	7年3月31日	有
11	重要無形民俗文化財の保存・活用に資する調査研究等	無形文化遺産部無形民俗文化財研究室長 久保田裕道	民俗芸能のネットワーク化をめぐる現状と課題	無形文化遺産研究報告第19号	東京文化財研究所	7年3月31日	有

(2) 科学技術を応用した研究開発の進展等に向けた基盤的な研究　33件

○文化財の調査手法に関する研究開発の推進　7件

	研究テーマ	発表者（職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載年月日	査読有無
1	文化財情報の分析・活用と公開に関する調査研究	特任研究員　早川泰弘、文化財情報資料部専門職員　城野誠治	春日権現験記絵の彩色材料調査（巻十七・巻十八）	皇居三の丸尚蔵館収蔵国宝 絹本著色 春日権現験記絵 巻十七・巻十八 光学調査報告書	東京文化財研究所	2月28日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
2	同上	文化財情報資料部客員研究員　山梨絵美子	「春日権現験記絵」の成立と受容の変遷	皇居三の丸尚蔵館収蔵国宝 絹本著色 春日権現験記絵 巻十七・巻十八 光学調査報告書	東京文化財研究所	2月28日	無
3	同上	文化財情報資料部客員研究員　田中潤	『春日権現験記絵』と有職故実	皇居三の丸尚蔵館収蔵国宝 絹本著色 春日権現験記絵 巻十七・巻十八 光学調査報告書	東京文化財研究所	2月28日	無
4	同上	特任研究員　早川泰弘、文化財情報資料部専門職員　城野誠治	皇居三の丸尚蔵館「紙本著色世界図」、香雪美術館「チュニス戦闘図・世界地図」、神戸市立博物館「四都図・世界図」の彩色材料の比較	皇居三の丸尚蔵館収蔵重要文化財 紙本著色世界図 光学調査報告書	東京文化財研究所	3月28日	無
5	同上	特任研究員　早川泰弘、文化財情報資料部専門職員　城野誠治	「紙本著色世界図」に用いられている彩色材料について	皇居三の丸尚蔵館収蔵重要文化財 紙本著色世界図 光学調査報告書	東京文化財研究所	3月28日	無
6	同上	文化財情報資料部長　江村知子	初期洋風画の時代	皇居三の丸尚蔵館収蔵重要文化財 紙本著色世界図 光学調査報告書	東京文化財研究所	3月28日	無
7	同上	文化財情報資料部専門職員　城野誠治	縄文文化への探究　最新の研究成果など　画像解析からわかる縄文土器の制作技法	釧路市立博物館企画展 道東考古ー縄文の世界ー	釧路市立博物館	3月22日	無

○文化財の保存修復及び保存技術等に関する調査研究　26件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	文化財生物劣化の分子生物学的手法による機構解明と環境調和型対策	柳田明進、生物科学研究室長　佐藤嘉則　他	What kind of corrosion products are “black spots”? -Effects of reduced sulfur compounds on corrosion of bronze artefacts	Journal of Cultural Heritage	Elsevier	7年6月10日	有
2	同上	生物科学研究室アソシエイトフェロー　島田潤	文化財害虫検索について	ネットワーク資料保存	東京文化財研究所	7年6月	有
3	同上	生物科学研究室長　佐藤嘉則	ポスト・エキヒューム S を見据えた資料の生物被害対策	ネットワーク資料保存	東京文化財研究所	7年9月	有
4	同上	生物科学研究室研究補佐員　小野寺裕子、生物科学研究室長　佐藤嘉則　他	湿熱処理による紙資料への影響	保存科学　第64号	東京文化財研究所	8年3月31日	有
5	同上	生物科学研究室アソシエイトフェロー島田潤、生物科学研究室長　佐藤嘉則　他	ヒメハキリバチによる文化財建造物への営巣事例の報告	保存科学　第64号	東京文化財研究所	8年3月31日	有
6	同上	渡辺祐基、生物科学研究室アソシエイトフェロー島田潤	国際文化財IPM会議”IPM-CH 2024”参加報告 ―文化財IPMの世界的潮流と取り組み―	保存科学　第64号	東京文化財研究所	8年3月31日	有
7	文化財の保存環境にかかる調査研究	保存環境研究室　研究員水谷悦子、客員研究員伊庭千恵美	博物館・美術館施設の保存環境のこれから	建築設備士56(4)	一般社団法人建築設備技術者協会	4月	無
8	同上	保存環境研究室客員研究員　伊庭千恵美、研究員水谷悦子、室長　秋山純子、研究補佐員　由井和子　他1名	Field Survey on Temperature/Humidity Environment and Heat-Source Energy Consumption in an Art Museum with Intermittent Air Conditioning Operation	Multiphysics and Multiscale Building Physics (IBPC 2024)	International Association of Building Physics	12月13日	有
9	同上	保存環境研究室　研究員水谷悦子、客員研究員伊庭千恵美	ものと湿気 - 文化財の予防的保存の観点から	第53回熱シンポジウム「未来に向けた湿気研究」	日本建築学会	11月25日	無
10	同上	保存環境研究室　研究員水谷悦子	持続可能な環境管理に向けた環境ガイドラインの国際動向	文化財保存修復学会誌68号	文化財保存修復学会	7年3月	有
11	文化財の材質・構造・状態調査に関する研究	分析科学研究室アソシエイトフェロー　紀芝蓮、研究補佐員 寺島海、同室長　犬塚将英	~~文化財調査における~~近赤外線ハイパースペクトルカメラの性能評価と文化財彩色材料の識別検討	保存科学　第64号	東京文化財研究所	8年3月31日	有
12	同上	分析科学研究室長　犬塚将英	ハイパースペクトルカメラを用いた文化財の分光分析と求められる性能	『光学』53巻12号	日本光学会	12月	無
13	屋外文化財の保存修復計画に関する調査研究	修復計画研究室長 朽津信明	覆屋とは何か	保存科学　第64号	東京文化財研究所	8年3月31日	有
14	同上	修復計画研究室長 朽津信明	文化財の保存、修復、調査の歴史と科学	『化学と工業』2025年2号	日本化学会	7年2月	無
15	文化財修復と伝統技法に関する調査研究	修復材料研究室長 早川典子　他	紫外線照射および電子線照射した劣化絹の使用後劣化挙動予測とその作業性	保存科学　第64号	東京文化財研究所	7年3月31日	有

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
16	同上	修復材料研究室長 早川典子　他	文化財のクリーニングに関する近年の動向	化学と工業 2 月号	日本化学会	7 年 2 月 1 日	無
17	同上	保存科学研究センター 主任研究員　西田典由	文化財としての紙・文化財を守る紙	機能紙研究会誌　第 63 巻	特定非営利活動法人 機能紙研究会	月　日	有
18	同上	修復材料研究室　アソシエイトフェロー　大和あすか　他	電磁式膜厚計による紙厚測定の精度評価	保存科学　第 64 号	東京文化財研究所	3 月　31 日	有
19	同上	修復材料研究室 客員研究員 宇高健太郎	Inkstick (sumi) and Classical Animal Glue	Collagens -Basic Science and Applications	Impress Nextpublishing, TUAT	6 月 19 日	無
20	同上	修復材料研究室 客員研究員 宇高健太郎　他	若冲の三大超絶技巧	和樂 10・11 (No.218)	株式会社小学館	9 月 1 日	無
21	同上	保存科学研究室　研究員 倉島玲央	森と職人を繋ぐ―キリを例に	森と支える「知恵とわざ」 ―無形文化遺産の未来のために	東京文化財研究所	9 月 30 日	無
22	多様な文化財の保存修復技術に関する研究	修復技術研究室、千葉毅	日本における航空機の保存に関する諸制度	保存科学　第 64 号	東京文化財研究所	7 年 3 月 31 日	有
23	高松塚古墳・キトラ古墳の恒久的保存に関する調査研究	分析科学研究室長　犬塚将英	キトラ古墳壁画の泥に覆われた部分の分析調査	『化学と工業』2025 年 2 号	日本化学会	7 年 2 月	無
24	同上	修復材料研究室　アソシエイトフェロー　西田典由	和紙材料「ネリ」について	月刊文化財　722 号	第一法規株式会社	11 月 1 日	無
25	同上	修復材料研究室　アソシエイトフェロー　西田典由	多層ワイヤーを用いた機械的解繊セルロースナノファイバー脱水濃縮法の開発	Journal of Fiber Science and Technology	一般社団法人 繊維学会	5 月 26 日	有
26	高松塚古墳・キトラ古墳の恒久的保存に関する調査研究	分析科学研究室長　犬塚将英、修復材料研究室長 早川典子　他	泥に覆われたキトラ古墳壁画の元素マッピング調査	保存科学　第 63 号	東京文化財研究所	6 年 3 月 31 日	有

(3) 文化遺産保護に関する国際協働　16件

○文化遺産保護に関する国際協働の総合的な推進　16件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	文化遺産保護に関する国際情報の収集・研究・発信	文化遺産国際協力センター国際情報研究室長 金井健	イコモス 2024 年次総会／学術シンポジウムでのベニス憲章をめぐる議論	INFORMATION / JAPAN ICOMOS 冬号	日本イコモス国内委員会	12 月 14 日	無
2	文化遺産保護に関する国際情報の収集・研究・発信	文化遺産国際協力センター国際情報研究室長 金井健	国際協力における相互理解の構築	新訳　ベニス憲章	日本イコモス国内委員会	12 月	無
3	文化遺産保護に関する国際情報の収集・研究・発信	文化遺産国際協力センターアソシエイトフェロー 金子雄太郎	世界遺産ヤングプロフェッショナルフォーラム二〇二四参加記	月刊文化財　令和 6 年 12 月号	第一法規	11 月 25 日	無
4	アジア諸国等文化遺産保存修復協力	文化遺産国際協力センター　アソシエイトフェロー　山田綾乃	コラム（動向）　文化遺産研究の裾野を広げる：こども文化遺産ワークショップの開催	『文化遺産の世界　ウェブサイト　コラム』	NPO 法人　文化遺産の世界	6 月 23 日	無
5	同上	文化遺産国際協力センター国際情報研究室長 金井健　他	ブータンの伝統的民家の建築的特徴と文化財的価値の評価その 1―トンサ県及びブムタン県における予備調査の概要―	2023 年度学術講演梗概集　日本建築学会大会	日本建築学会	8 月 10 日	無
6	同上	文化遺産国際協力センター　研究員　淺田なつみ	イランの垂直軸型風車　その 1 建築構法と建築技術者の現状	2023 年度学術講演梗概集　日本建築学会大会	日本建築学会	8 月 10 日	無
7	同上	文化遺産国際協力センター　アソシエイトフェロー　黒岩千尋	フランス領インドシナにおける「歴史的記念物」保全の組織化とその変容	2023 年度建築学会関東支部研究発表会研究報告集	日本建築学会	6 年 3 月 7～8 日	無
8	海外に所在する日本古美術品等の保存に関する協力	文化遺産国際協力センター　技術支援研究室長 加藤雅人	Analysis of papermaking technology in selected Japanese woodblocks from Taisho period	The European Physical Journal plus	Springer	10 月 12 日	有
9	文化遺産保護に関する国際情報の収集・研究・発信	文化遺産国際協力センター国際情報研究室長 金井健	諸外国等の建築文化振興に係る制度：フランス、イギリス、台湾	近現代建築等の保護・継承に係る海外事例調査	東京文化財研究所	11 月 30 日	無
10	同上	文化遺産国際協力センター国際情報研究室長 金井健	フランス：創造の自由、建築、文化財に関する法律（LCAP 法）の運用	近現代建築等の保護・継承に係る海外事例調査	東京文化財研究所	11 月 30 日	無
11	同上	文化遺産国際協力センター国際情報研究室長 金井健	デンマーク：リアルダニアによる建築遺産保護を目的とした活動	近現代建築等の保護・継承に係る海外事例調査	東京文化財研究所	11 月 30 日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
12	同上	文化遺産国際協力センター国際情報研究室長 金井健	台湾：PFI 事業等による建築遺産の保存活用の実施	近現代建築等の保護・継承に係る海外事例調査	東京文化財研究所	11 月 30 日	無
13	同上	文化遺産国際協力センター　アソシエイトフェロー　松浦一之介	諸外国等の建築文化振興に係る制度：ドイツ、イタリア、オランダ	近現代建築等の保護・継承に係る海外事例調査	東京文化財研究所	11 月 30 日	無
14	同上	文化遺産国際協力センター　アソシエイトフェロー　松浦一之介	イタリア：ローマ市における現代建築の保護	近現代建築等の保護・継承に係る海外事例調査	東京文化財研究所	11 月 30 日	無
15	同上	文化遺産国際協力センター　アソシエイトフェロー 前田康記、藤井郁乃	The potential of the Maritime Silk Routes as shared heritage –Through advocacy of the Maritime Exchange Network (MEN)	2022 UNESCO Silk Roads Youth Research Grant report	UNESCO	12 月	無
16	同上	文化遺産国際協力センター　アソシエイトフェロー　松浦一之介	オランダにおける文化遺産保護	各国の文化財保護法令シリーズ[28]オランダ	東京文化財研究所	6 年 3 月 31 日	無

(4) 文化財に関する情報資料の収集・整備及び調査研究成果の公開・活用　8件

○調査研究成果の発信　6件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	文化財情報基盤の整備・充実	文化財情報資料部主任研究員　小山田智寛	デジタルデータの長期保存について	美術研究　443 号	東京文化財研究所	10 月	無
2	文化財情報基盤の整備・充実	文化財情報資料部文化財情報研究室長　二神葉子	世界遺産一覧表登録推薦の評価プロセスにおける課題と解決に向けた取り組み―特に信頼性の確保について―	美術研究　443 号	東京文化財研究所	10 月	無
3	文化財情報基盤の整備・充実	文化財情報資料部主任研究員　小山田智寛、文化財情報資料部主任専門職石灰秀行、文化財情報資料部文化財情報研究室長二神葉子	WordPress を用いたデジタルコンテンツの長期運用について	デジタルアーカイブ学会誌　2025 年 9 巻 1 号	デジタルアーカイブ学会	7 年 2 月	有
4	文化財情報基盤の整備・充実	文化財情報資料部文化財情報研究室長　二神葉子	Japan-made Lacquerwork Recorded in Old Photographs in Thailand	Japanese Lacquerwork and Craftspersons in Thailand – Study of the Japan-made Lacquerwork Found in Thailand (2) –	東京文化財研究所	7 年 3 月	無
5	文化財情報基盤の整備・充実	文化財情報資料部文化財情報研究室長　二神葉子	Interpreting the Activities of Japanese in Thailand Through Contemporary Materials: Miki Sakae's Activities as a Lacquerwork Expert	Japanese Lacquerwork and Craftspersons in Thailand – Study of the Japan-made Lacquerwork Found in Thailand (2) –	東京文化財研究所	7 年 3 月	無
6	文化財情報基盤の整備・充実	文化財情報資料部文化財情報研究室長　二神葉子	Description of the Items Formerly Owned by Miki Sakae Donated to the Fine Arts Department, Ministry of Culture, Thailand	Japanese Lacquerwork and Craftspersons in Thailand – Study of the Japan-made Lacquerwork Found in Thailand (2) –	東京文化財研究所	7 年 3 月	無

○調査研究成果の発信　2件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	専門的アーカイブと総合的レファレンスの拡充	文化財情報資料部　研究員　田代裕一朗	李朝私感	目の眼　577 号	目の眼	9 月 17 日	無
2	専門的アーカイブと総合的レファレンスの拡充	文化財情報資料部　研究員　田代裕一朗	韓国における陶磁蒐集史(試論)	陶器　856 号	日本陶磁協会	1 月 1 日	無

【奈良文化財研究所】170件

(1) 新たな知見の開拓につながる基礎的・探求的な調査研究　78件

○有形文化財、伝統的建造物群に関する調査研究　2件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	歴史的建造物及び伝統的建造物群の保存・修復・活用の実践的研究	特任研究員　島田敏男、上席研究員　大林潤	建造物	十津川村史歴史資料編(古代中世・文化財)	十津川村	7 年 3 月 31 日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
2	近畿を中心とする古寺社等所蔵の歴史資料等に関する調査研究	客員研究員　橘悠太	奈良文化財研究所所蔵『東宝記』について（下）	奈文研論叢第５号	奈良文化財研究所	7年3月18日	有

○記念物、文化的景観、埋蔵文化財に関する調査研究　76件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	我が国の記念物に関する調査研究（遺跡等整備）	遺跡研究室長　高橋知奈津	遺跡現地の活用の促進３　ー平城宮跡の活用に関する実践的研究ー	奈良文化財研究所紀要2024	奈良文化財研究所	8月28日	無
2	同上	シニアフェロー　内田和伸	中尾山古墳墳丘の本来形状の考え方（中間報告）	『遺跡学研究』第21号	日本遺跡学会	7年2月	有
3	同上	シニアフェロー　内田和伸	遺跡の活用に向けた乾拓板の利用のための実験	『遺跡学研究』第21号	日本遺跡学会	7年2月	無
4	同上	シニアフェロー　内田和伸	近世城跡整備における近現代遺構の取扱いについて	『グリーンマトリックス手法による都市の再考』	ぶんしん出版	7年1月1日	無
5	我が国の記念物に関する調査研究（庭園）	上席研究員　中島義晴	日本庭園のグローバル化と文化観光の動向	伝統造園国際学術大会　発表資料集	韓国国家遺産庁	10月23日	無
6	同上	遺跡研究室長　高橋知奈津	土田家住宅庭園と長岡安平	横手市西部地区建造物調査報告書	横手市	7年3月31日	無
7	我が国の記念物に関する調査研究（宮跡管理）	上席研究員　中島義晴、シニアフェロー　内田和伸、保存修復科学研究室長 脇谷草一郎、主任研究員　松田和貴	宮跡管理に関する調査研究	奈良文化財研究所紀要2024	奈良文化財研究所	8月28日	無
8	平城宮・京跡出土遺物・遺構の調査・研究	主任研究員　川畑純　他	法華寺旧境内・海龍王寺旧境内の調査ー第653・656次	奈良文化財研究所発掘調査報告2024	奈良文化財研究所	12月27日	無
9	同上	主任研究員　小田裕樹他	法華寺旧境内の発掘調査ー第659次	奈良文化財研究所発掘調査報告2024	奈良文化財研究所	12月27日	無
10	同上	考古第二研究室長　丹羽崇史他	城京および周辺寺院出土長沙窯系陶瓷器の再整理	奈良文化財研究所紀要2024	奈良文化財研究所	8月28日	無
11	同上	副部長　今井晃樹他	明治期の佐紀池築造に関する石碑	奈良文化財研究所紀要2024	奈良文化財研究所	8月28日	無
12	同上	主任研究員　川畑純他	機械学習と画像生成AIを活用した鉄器実測図の生成	奈良文化財研究所紀要2024	奈良文化財研究所	8月28日	無
13	同上	考古第二研究室長　丹羽崇史　他	砥石からみた平城京における冶金生産体制	奈文研論叢５	奈良文化財研究所	7年3月18日	有
14	飛鳥・藤原京跡出土遺物・遺構に関する調査研究等	研究員　道上祥武	特別史跡　藤原宮跡（飛鳥・藤原第210次調査）	大和を掘る　39	奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	7月27日	無
15	同上	専門職員　栗山雅夫、研究員　道上祥武	遺跡の撮影その６ー瓦窯（の発掘調査）を撮る	文化財写真研究Vol.14	文化財写真技術研究会	9月20日	無
16	同上	歴史史料研究室長　山本崇、考古第二研究室長　森川実	藤原宮西面外濠の出土遺物―藤原宮第23-5次	奈良文化財研究所発掘調査報告書集2024	奈良文化財研究所	12月27日	無
17	同上	研究員　道上祥武　他	日高山瓦窯の調査ー第213次	奈良文化財研究所発掘調査報告書集2024	奈良文化財研究所	12月27日	無
18	同上	主任研究員　福嶋啓人、考古第二研究室長　森川実、研究員　谷澤亜里	石神遺跡の調査―第214次	奈良文化財研究所発掘調査報告書集2024	奈良文化財研究所	12月27日	無
19	同上	研究員　谷澤亜里　他	飛鳥池遺跡出土木製品の樹種	奈文研論叢　第５号	奈良文化財研究所	7年3月18日	有
20	同上	専門職員　栗山雅夫、研究員　道上祥武	土器の観察と認識ー木葉痕の視覚化について	奈文研論叢　第５号	奈良文化財研究所	7年3月18日	有
21	同上	考古第二研究室長　森川実	第Ⅰ章第１節　調査の経緯	石神遺跡発掘調査報告Ⅰ	奈良文化財研究所	7年3月28日	無
22	同上	考古第二研究室長　森川実	第Ⅰ章第２節　調査組織	石神遺跡発掘調査報告Ⅰ	奈良文化財研究所	7年3月28日	無
23	同上	考古第二研究室長　森川実	第Ⅰ章第３節　報告書の作成	石神遺跡発掘調査報告Ⅰ	奈良文化財研究所	7年3月28日	無
24	同上	考古第二研究室長　森川実	第Ⅱ章第１節　遺跡の立地と地形	石神遺跡発掘調査報告Ⅰ	奈良文化財研究所	7年3月28日	無
25	同上	考古第二研究室長　森川実	第Ⅱ章第１節　周辺の遺跡	石神遺跡発掘調査報告Ⅰ	奈良文化財研究所	7年3月28日	無
26	同上	考古第二研究室長　森川実	第Ⅱ章第１節　遺跡観の形成過程と発掘史	石神遺跡発掘調査報告Ⅰ	奈良文化財研究所	7年3月28日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
27	同上	主任研究員　福嶋啓人	第Ⅲ章第１節　測量と地区割	石神遺跡発掘調査報告Ⅰ	奈良文化財研究所	7年3月28日	無
28	同上	考古第二研究室長　森川実	第Ⅲ章第２節　調査概要	石神遺跡発掘調査報告Ⅰ	奈良文化財研究所	7年3月28日	無
29	同上	考古第二研究室長　森川実	第Ⅲ章第３節　調査日誌抄	石神遺跡発掘調査報告Ⅰ	奈良文化財研究所	7年3月28日	無
30	同上	考古第二研究室長　森川実	第Ⅳ章第１節　基本層序	石神遺跡発掘調査報告Ⅰ	奈良文化財研究所	7年3月28日	無
31	同上	考古第二研究室長　森川実	第Ⅳ章第２節　整地土と遺構検出面	石神遺跡発掘調査報告Ⅰ	奈良文化財研究所	7年3月28日	無
32	同上	考古第二研究室長　森川実	第Ⅳ章第３節　水田の削平と造成	石神遺跡発掘調査報告Ⅰ	奈良文化財研究所	7年3月28日	無
33	同上	主任研究員　福嶋啓人	第Ⅳ章第４節　遺構各説	石神遺跡発掘調査報告Ⅰ	奈良文化財研究所	7年3月28日	無
34	同上	考古第二研究室長　森川実、主任研究員　山藤正敏	第Ⅴ章第１節　土器・土製品	石神遺跡発掘調査報告Ⅰ	奈良文化財研究所	7年3月28日	無
35	同上	研究員　岩永玲	第Ⅴ章第２節　瓦製品	石神遺跡発掘調査報告Ⅰ	奈良文化財研究所	7年3月28日	無
36	同上	研究員　谷澤亜里、研究員岩永玲　他	第Ⅴ章第７節　石製品	石神遺跡発掘調査報告Ⅰ	奈良文化財研究所	7年3月28日	無
37	同上	考古第二研究室長　森川実	第Ⅶ章第１節　土　器	石神遺跡発掘調査報告Ⅰ	奈良文化財研究所	7年3月28日	無
38	同上	研究員　岩永玲	第Ⅶ章第２節　瓦	石神遺跡発掘調査報告Ⅰ	奈良文化財研究所	7年3月28日	無
39	同上	考古第二研究室長　森川実	第Ⅶ章第４節　遺構変遷案の再構築	石神遺跡発掘調査報告Ⅰ	奈良文化財研究所	7年3月28日	無
40	同上	主任研究員　福嶋啓人	第Ⅶ章第５節　遺　構	石神遺跡発掘調査報告Ⅰ	奈良文化財研究所	7年3月28日	無
41	同上	考古第二研究室長　森川実	第Ⅷ章　総　括	石神遺跡発掘調査報告Ⅰ	奈良文化財研究所	7年3月28日	無
42	東アジアにおける工芸技術及び飛鳥時代の建築遺物等の研究	学芸室長・石橋茂登、客員研究員・諫早直人　他	飛鳥寺塔跡出土舎利容器の調査（２）	奈文研論叢　第5号	奈良文化財研究所	7年3月18日	有
43	同上	学芸室長・石橋茂登　他	飛鳥寺塔跡出土札甲の調査	奈文研論叢　第5号	奈良文化財研究所	7年3月18日	有
44	文化的景観及びその保存・活用に関する調査研究	景観研究室長　惠谷浩子	風景を読み，生きるを考える −日本における文化的景観20年	ランドスケープ研究 88巻1号	日本造園学会	4月30日	無
45	同上	景観研究室長　惠谷浩子	文化財として〈地域らしさ〉を紡いでいく	時代をつくる造園家のしごと	建築資料研究社	5月25日	無
46	同上	景観研究室長　惠谷浩子	田んぼの水利を推理する	水と暮らしの風景史ー古地図と景観がひらく飛鳥	奈良文化財研究所飛鳥資料館	10月4日	無
47	同上	景観研究室長　惠谷浩子	長良川が生んだ営みの多様性	月刊 文化財　令和７年１月号	第一法規	7年1月1日	無
48	同上	景観研究室長　惠谷浩子他	座談会 並行して展望する 20 年後の未来	ランドスケープ研究 88巻4号	日本造園学会	7年2月1日	無
49	同上	景観研究室長　惠谷浩子	生きやすい世界へつながる風景を目指して	ランドスケープ研究 88巻4号	日本造園学会	7年2月1日	無
50	同上	客員研究員　小浦久子	風景の見出し方とその保全	ランドスケープ研究 88巻1号	日本造園学会	4月30日	無
51	同上	客員研究員　小浦久子	景観から能登の復興を考える ： 暮らしの風景に内在する地域性と持続力	都市計画 369	都市計画学会	7月	無
52	同上	客員研究員　小浦久子	関西ブロック実例 22 : 芦屋市/住宅都市の景観地区	造景 2024	建築資料研究社	9月1日	無
53	同上	客員研究員　小浦久子	中国ブロック実例 24 : 奥出雲/暮らしの風景の成り立ちを次世代に伝える	造景 2024	建築資料研究社	9月1日	無
54	同上	客員研究員　小浦久子	四国ブロック概説 : 景観まちづくりへの試行	造景 2024	建築資料研究社	9月1日	無
55	同上	客員研究員　小浦久子	実例 26 : 四万十川流域/広域景観への取り組み	造景 2024	建築資料研究社	9月1日	無
56	同上	客員研究員　小浦久子他	地区レベルの実践と都市の計画をつなぐ計画論	都市計画論文集 vol.59-3	都市計画学会	10月	有
57	同上	客員研究員　小浦久子	景観の保全創出を地域の持続可能性につなぐ	公園緑地 vol.85	日本公園緑地協会	7年1月	無
58	出土文字資料の拠点的研究	歴史史料研究室長　山本崇	天平びとの「好（よ）き処（ところ）」―丹後地域の出土文字資料調査便り	コラム作寶樓 283	奈良文化財研究所	6月3日	無
59	同上	歴史史料研究室研究員垣中健志	呪符木簡の利用と古代日本の精神世界	東西人文科学　25号	慶北大学校人文科学研究所	8月25日	無
60	同上	歴史史料研究室研究員垣中健志	古来より人々の信仰を集めた、律令国家の東の守り　香取神宮	日本史のなかの千葉県	山川出版社	7年3月	無
61	同上	歴史史料研究室研究員垣中健志	3章　律令制下の房総三国	日本史のなかの千葉県	山川出版社	7年3月	無
62	同上	歴史史料研究室研究員垣中健志	4章　寺院の創建と人々の祈りの姿	日本史のなかの千葉県	山川出版社	7年3月	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
63	都城を中心とする文字資料の調査研究	歴史史料研究室長　山本崇	別勅賜物木簡にみる大宝初年の王族	本郷真紹監修山本崇・毛利憲一編集『日本古代の国家・王権と宗教』	法藏館	4月25日	無
64	同上	歴史史料研究室長　山本崇	来田物司考―石神遺跡出土の墨書土器	日本歴史　912号	吉川弘文館	5月1日	有
65	同上	歴史史料研究室長　山本崇	平城京跡で「大嘗祭」にまつわる木簡を発見―聖武天皇の皇位継承の儀式を解明する手がかりに	歴史人　188号	ABCアーク	11月6日	無
66	同上	歴史史料研究室長　山本崇、考古第二研究室長　森川実	藤原宮西面外濠の出土遺物―藤原宮第29-5次調査	奈良文化財研究所発掘調査報告集2024	奈良文化財研究所	12月27日	無
67	同上	歴史史料研究室長　山本崇、主任研究員　桑田訓也	藤原京跡左京七条一坊出土木簡の再釈読ー飛鳥藤原第115次調査	奈良文化財研究所紀要2024	奈良文化財研究所	8月28日	無
68	同上	主任研究員　桑田訓也	（口絵解説）聖武天皇の大嘗祭に関わる木簡	日本歴史　916号	吉川弘文館	8月20日	無
69	同上	主任研究員　山本祥隆	平城木簡は何を語るか	大津透編『日本史の現在　2　古代』	山川出版社	5月	無
70	同上	主任研究員　山本祥隆	平城宮跡資料館秋期特別展「聖武天皇が即位したとき。」　Ⅱ期　木簡から味わう「文字の姿」	読売新聞（奈良版24面）	読売新聞社	11月27日	無
71	同上	歴史史料研究室研究員　垣中健志	国府の行政・籍帳支配と行政	木簡研究　46号	木簡学会	11月25日	無
72	同上	歴史史料研究室研究員　垣中健志	平城京を歩く	歩いて学ぶ日本古代史2	吉川弘文館	7年1月	無
73	水中文化遺産に関する調査研究	保存修復科学研究室主任研究員・柳田明進、同室長・脇谷草一郎ほか7名	海底から発掘された木製品、石製品等遺物（海揚り品）から発生する還元型硫黄ガス（硫化水素、硫化カルボニル）の調査	文化財保存修復学会第46回大会要旨集	文化財保存修復学会	6月23日	無
74	同上	保存修復科学研究室主任研究員・柳田明進、同室長・脇谷草一郎ほか4名	海底遺跡出土鋳造鉄製遺物の埋蔵時の腐食と発掘後の劣化現象の検討	日本文化財科学会第41回大会要旨集	日本文化財科学会	7月28日	無
75	同上	企画調整部長・清野孝之、水中遺跡プロジェクトチーム主任研究員・国武貞克、主任研究員・柳田明進、保存修復科学研究室長・脇谷草一郎	令和５年度水中遺跡調査研究事業の成果	奈良文化財研究所紀要 2024	奈良文化財研究所	8月28日	無
76	同上	保存修復科学研究室主任研究員・柳田明進、同室長・脇谷草一郎、文化財防災センター長・高妻洋成ほか6名	What kind of corrosion products are “black spots”? -Effects of reduced sulfur compounds on corrosion of bronze artefacts	Journal of Cultural Heritage	Elsevier BV	7月	有

(2) 科学技術を応用した研究開発の進展等に向けた基盤的な研究　69件

○文化財の調査手法に関する研究開発の推進　35件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	埋蔵文化財の探査・計測方法の研究開発	上席研究員 金田明大、客員研究員 野下浩司・中川朋美　他	Macro-Scale Population Patterns in the Kofun Period of the Japanese Archipelago: Quantitative Analysis of a Larger Sample of Three-Dimensional Data from Ancient Human Crania	Humans　4(2)	MDPI AG	4月2日	有
2	同上	客員研究員 平川ひろみ他	「日本」考古学の特質	考古学研究会70周年記念誌 考古学の輪郭	考古学研究会	4月20日	有
3	同上	客員研究員 中川朋美他	第7章 考古学と形質人類学：51形質人類学的研究2	考古学研究会70周年記念誌 考古学の輪郭	考古学研究会	4月20日	有
4	同上	客員研究員 高野紗奈江	続・縄文原体の素材選択 - 植物性/動物性素材による縄文の比較検討 -	縄文時代 第35号	縄文時代文化研究会	5月	有
5	同上	主任研究員 山口欧志	リアルタイムフォトグラメトリによる発掘調査における三次元計測の迅速化	日本考古学協会第90回総会研究発表要旨	日本考古学協会	5月26日	有
6	同上	上席研究員　金田明大他	第8章 日本考古学の未来　墳墓の探査	日本考古学の論点 下	雄山閣	6月	無
7	同上	遺跡調査技術研究室研究員 上椙英之　他	明治期の佐紀池築造に関する石碑 ー資料紹介	奈良文化財研究所紀要2024	奈良文化財研究所	8月28日	無
8	同上	上席研究員 金田明大	埋蔵文化財研究・保護における物理探査の意義	物理探査 77巻	物理探査学会	9月12日	有
9	同上	主任研究員 山口欧志	Reconstructing, Understanding, and Analyzing Relief Type Cultural Heritage from a Single Old Photo	MM '24: Proceedings of the 32nd ACM International	ACM Multimedia 2024	10月28日	有

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
				Conference on Multimedia			
10	同上	客員研究員　野下浩司他	ossible roles of Wnt in the shell growth of the pond snail Lymnaea stagnalis	Scientific Reports 14(1)	Springer Science and Business Media LLC	11月3日	有
11	同上	遺跡調査技術研究室研究員 上椙英之、主任研究員 村田泰輔　他	X線CTを用いた非破壊観察による積層した和紙の分離と紙上の墨による文字の可視化	人文科学とコンピュータシンポジウム2024論文集 Vol.2024(No.1)	情報処理学会	12月	有
12	同上	客員研究員 高野紗奈江	縄文時代研究の動向	日本考古学年報76	日本考古学協会	12月10日	無
13	同上	客員研究員 高野紗奈江	正倉院宝物の三次元計測	正倉院紀要第47号	宮内庁正倉院事務所	7年3月	無
14	同上	主任研究員 山口欧志	文化財“フォトグラメトリ”の過去・未来・現在	本文化財科学会第41回大会研究発表要旨集	日本文化財科学会	7月27日	無
15	同上	主任研究員 村田泰輔（他5名、第4著者）	飛鳥寺塔跡出土舎利容器の調査（2）建久舎利内容器内部の構造解析	奈文研論叢　第5号	奈良文化財研究所	7年3月	有
16	年輪年代学研究	年代学研究室長 星野安治 員数4(2番目)	Tree-ring dates of excavated wooden containers provide a chronological framework for the ancient capital of Nara in Japan	Journal of Archaeological Science: Reports 57	Elsevier	6月8日	有
17	同上	年代学研究室長 星野安治	広隆寺講堂の年輪年代	国宝・重要文化財広隆寺桂宮院本堂及び講堂修理工事報告書	京都府教育委員会	6月30日	無
18	同上	年代学研究室長 星野安治 員数2(1番目)	布留遺跡出土曲物の年輪年代測定	布留遺跡の考古学ー物部氏隆盛の地ー	金沢大学	8月10日	無
19	同上	年代学研究室長 星野安治 員数2(1番目)	栗塚古墳出土埴輪を対象としたハケメの年輪年代学的検討	奈良文化財研究所紀要2024	奈良文化財研究所	8月28日	無
20	同上	年代学研究室長 星野安治 員数2(2番目)	藤原京右京七条一坊SE1850の井戸枠と柱材ー藤原宮第17次	奈良文化財研究所発掘調査報告2024	奈良文化財研究所	12月27日	無
21	同上	年代学研究室長 星野安治 員数2(2番目)	徳島県川西遺跡出土木質遺物の年輪年代ー四国地域における暦年代情報拡充のためにー	立命館大学考古学研究報告2	立命館大学考古学研究室	7年2月23日	無
22	同上	年代学研究室長 星野安治	石清水八幡宮摂社狩尾社本殿の樹種と年輪年代	重要文化財石清水八幡宮摂社狩尾社本殿修理工事報告書	京都府教育委員会	7年3月31日	無
23	同上	年代学研究室長 星野安治 員数4(2番目)	徳島城下町跡徳島町2丁目地点から出土した木質遺物の樹種・年輪年代	徳島県埋蔵文化財センター調査報告書103	徳島県埋蔵文化財センター	7年3月24日	無
24	動植物遺存体の分析方法の研究開発	環境考古学研究室長　山崎健	動物遺存体からみた陸産資源利用	考古学研究会70周年記念誌　考古学の輪郭	考古学研究会	4月20日	無
25	同上	環境考古学研究室長　山崎健	古代におけるカツオ漁の再検討	カツオの古代学	吉川弘文館	6月10日	無
26	同上	環境考古学研究室長　山崎健　他６名	正倉院宝物特別調査　動物由来素材「牙甲角」調査報告	正倉院紀要47	宮内庁正倉院事務所	7年3月31日	無
27	同上	環境考古学研究室長　山崎健	日本における考古動物学の展望と課題	琵琶湖博物館研究調査報告37	滋賀県立琵琶湖博物館	12月	無
28	同上	環境考古学研究室長　山崎健　他２名	千葉市荒屋敷貝塚出土の動物遺存体	貝塚博物館紀要51	千葉市立加曽利貝塚博物館	7年3月31日	無
29	同上	環境考古学研究室長　山崎健　他２名	貝塚群出土の動物遺存体	渥美半島貝塚群Ⅱ研究・総括編	田原市教育委員会	7年3月31日	無
30	文化財の調査・研究成果を社会・教育実装するためのＩＣＴを用いた普及・啓発手法の開発	遺跡調査技術研究室研究員 上椙英之　他	和郡山市より発見された観音像産地推定のための放射光CTとXRD測定	日本文化財科学会第41回大会研究発表要旨集	日本文化財科学会	7月27日	無
31	物質文化・地質情報等を基とした防災・減災・復興・復旧の歴史的研究	客員研究員　西山昭仁他	1855年安政江戸地震による佐倉城・城下の被害報告の比較	歴史地震 第39号	歴史地震研究会	7月	有
32	同上	遺跡調査技術研究室研究員 上椙英之　他	高知県須崎市の自然災害伝承碑を活用した防災教育プログラム	歴史地震 第39号	歴史地震研究会	9月	有
33	同上	主任研究員 村田泰輔（他4名、第3著者）	Elucidation of earthquake and volcanic phenomena based on Japanese historical and archaeological data	Journal if Disaster Research	富士技術出版株式会社	7年3月	有
34	同上	主任研究員 村田泰輔（他2名、第1著者）	歴史災害痕跡データベースの表示デザインの研究	奈文研論叢　第5号	奈良文化財研究所	7年3月18日	有

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
35	同上	主任研究員 村田泰輔他	地震痕跡	門田遺跡第 6 次発掘調査報告書	京田辺市	7 年 3 月	無

○文化財の保存修復及び保存技術等に関する調査研究　34 件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	考古遺物の保存処理法に関する調査研究	主任研究員・松田和貴、保存修復科学研究室長・脇谷草一郎	木製遺物の保存処理における脱水工程を要しない非水溶性薬剤含浸法の検討 ー陽イオン界面活性剤を用いた新たな高級アルコール含浸法の可能性ー	日本文化財科学会第 41 回大会研究発表要旨集	日本文化財科学会	7 月 27 日	無
2	同上	保存修復科学研究室アソシエイトフェロー・楊曼寧、同主任研究員・柳田明進、同室長・脇谷草一郎ほか 2 名	出土銅製品に施された塗膜の剥離メカニズムの検討（その 3）_ 埋蔵環境が塗膜の変質に及ぼす影響 _	日本文化財科学会第 41 回大会 研究発表要旨集	日本文化財科学会	7 月 28 日	無
3	同上	主任研究員・柳田明進、保存修復科学研究室長・脇谷草一郎、都城発掘調査部平城地区考古第一研究室長・和田一之輔	埋蔵時の鉄製遺物の腐食に及ぼすさび層の影響―古墳出土鉄製遺物のさび層の組成と構造	日本文化財科学会第 41 回大会要旨集	日本文化財科学会	7 月 28 日	無
4	同上	保存修復科学研究室長・脇谷草一郎、主任研究員・柳田明進、ほか 2 名	特別名勝一乗谷朝倉氏庭園の景石保存に関する研究― 景石の冬季養生方法の検討―	日本文化財科学会第 41 回大会要旨集	日本文化財科学会	7 月 28 日	無
5	同上	展示公開活用研究室研究員・小原敏行、埋蔵文化財センター主任研究員・柳田明進、保存修復科学研究室長・脇谷草一郎他	金属製品の展示環境に関する一試案	奈良文化財研究所紀要 2024	奈良文化財研究所	8 月 28 日	無
6	同上	主任研究員・松田和貴、保存修復科学研究室長・脇谷草一郎	遺跡から出土する水浸木製遺物の保存処理における陽イオン界面活性剤を用いた非水溶性薬剤含浸法の検討	第 75 回コロイドおよび界面化学討論会 講演要旨集	日本化学会 コロイドおよび界面化学部会	9 月 6 日	無
7	同上	主任研究員・柳田明進	埋蔵環境の差異が鉄製文化財の腐食状態に及ぼす影響	2024 年度ナチュラルアナログワークショップ要旨集	原子力発電環境整備機構	9 月 19 日	無
8	同上	主任研究員・柳田明進、保存修復科学研究室長・脇谷草一郎、都城発掘調査部平城地区考古第一研究室長・和田一之輔、同研究員・浦 蓉子	土質および埋没過程が鉄製文化財の腐食に及ぼす影響	第 71 回材料と環境討論会要旨集	腐食防食学会	11 月 15 日	無
9	同上	保存修復科学研究室アソシエイトフェロー・楊曼寧	出土遺物の保存処理における漆塗膜の変形メカニズムの検討	埋蔵文化財ニュース 187 号	奈良文化財研究所	7 年 2 月 28 日	無
10	同上	主任研究員・松田和貴	出土木製品の保存処理における新たな薬剤含浸手法の試み	埋蔵文化財ニュース 187 号	奈良文化財研究所	7 年 2 月 28 日	無
11	同上	主任研究員・松田和貴、保存修復科学研究室長・脇谷草一郎	水浸出土木製遺物の保存処理における脱水工程を要しない非水溶性薬剤含浸法の検討ー陽イオン界面活性剤を用いた新たな高級アルコール含浸法	文化財科学	日本文化財科学会	7 年 3 月	有
12	遺構の安定した保存のための維持管理方法に関する調査研究	客員研究員・高取伸光、客員研究員・小椋大輔、保存修復科学研究室長・脇谷草一郎ほか 2 名	屋外文化財の塩類風化抑制のための環境制御方法に関する研究 ―塩の移動が多孔質材料中の温度・水分状態に与える影響と塩濃度の年周期的定常性の検討―	令和 6 年度日本建築学会近畿支部研究発表会要旨集	日本建築学会近畿支部	6 月 22 日	無
13	同上	客員研究員・高取伸光、客員研究員・小椋大輔、保存修復科学研究室長・脇谷草一郎ほか 4 名	文化財建造物における障壁画の保存対策に関する研究 ―３次元熱水分解析による壁貼り付け絵の亀裂抑制方法の検討―	令和 6 年度日本建築学会近畿支部研究発表会要旨集	日本建築学会近畿支部	6 月 22 日	無
14	同上	客員研究員・高取伸光、客員研究員・小椋大輔、保存修復科学研究室長・脇谷草一郎ほか 2 名	数値解析による屋外文化財の塩類風化予測に関する研究 ―塩の析出状態予測における材料内初期塩濃度の影響―	日本文化財科学会第 41 回大会要旨集	日本文化財科学会	7 月 28 日	無
15	同上	保存修復科学研究室長・脇谷草一郎、文化財防災センター長・高妻洋成ほか 3 名	史跡名勝瑞泉寺庭園における庭石の風化状況に関する調査（II）	日本文化財科学会第 41 回大会要旨集	日本文化財科学会	7 月 28 日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
16	同上	客員研究員・高取伸光、客員研究員・小椋大輔、保存修復科学研究室長・脇谷草一郎ほか４名	文化財建造物における障壁画の保存対策に関する研究 ― 熱水分移動解析を用いた壁貼付け絵の亀裂抑制方法の検討―	日本文化財科学会第 41 回大会要旨集	日本文化財科学会	7 月 28 日	無
17	同上	客員研究員・高取伸光、客員研究員・小椋大輔、保存修復科学研究室長・脇谷草一郎	Simultaneous heat, moisture, and salt transfer in porous building materials considering osmosis flow: Part 1: Theoretical modeling based on nonequilibrium thermodynamics	Journal of Building Physics	SAGE Publications	8 月 10 日	有
18	同上	文化遺産部上席研究員・中島義晴、保存修復科学研究室長・脇谷草一郎、主任研究員・松田和貴、文化遺産部研究員・内田和伸	宮跡管理に関する調査研究	奈良文化財研究所紀要 2024	奈良文化財研究所	8 月 28 日	無
19	同上	保存修復科学研究室長・脇谷草一郎、主任研究員・柳田明進、ほか１名	景石の凍結破砕抑制のための陶器養生材料の検討	一乗谷朝倉氏遺跡博物館年報・紀要 2023	一乗谷朝倉氏遺跡博物館	10 月 30 日	無
20	同上	客員研究員・高取伸光、客員研究員・小椋大輔、保存修復科学研究室長・脇谷草一郎ほか２名	Biot's Coefficient Estimation for a Substrate Clay Material in Historical Wall Paintings Using Humidity-Induced Strain	Lecture Notes in Civil Engineering	Springer Nature Singapore	12 月 14 日	有
21	考古遺物を中心とした文化財の材質調査に関する調査研究	都城発掘調査部主任研究員（保存修復科学研究室兼任）・田村朋美	分析科学（玉類）	考古学研究会 70 周年記念誌 考古学の輪郭	考古学研究会	4 月 20 日	無
22	同上	都城発掘調査部主任研究員（保存修復科学研究室兼任）・田村朋美	日本出土インド・パシフィックビーズの起源を探る―南インド・Papanaidupet 探訪から	インド考古研究 第 37 号	インド考古研究会	5 月 31 日	無
23	同上	都城発掘調査部主任研究員（保存修復科学研究室兼任）・田村朋美　ほか１名	青色顔料の判別における赤外線顕微鏡による表面観察の有効性についての研究	日本文化財科学会第 41 回大会要旨集	日本文化財科学会	7 月 27 日	無
24	同上	都城発掘調査部主任研究員（保存修復科学研究室兼任）・田村朋美、ほか６名	ブハラオアシス出土のガラス製遺物の Sr 同位体比分析（2）―パイケンドおよびブハラ遺跡出土品を対象に―	日本文化財科学会第 41 回大会要旨集	日本文化財科学会	7 月 27 日	無
25	同上	展示公開活用研究室長・神野恵、保存修復科学研究室アソシエイトフェロー・大迫美月	考古資料の製塩土器に苦汁は残っているのか？	奈良文化財研究所紀要 2024	奈良文化財研究所	8 月 28 日	無
26	同上	都城発掘調査部主任研究員（保存修復科学研究室兼任）・田村朋美、ほか１名	青色顔料の判別における赤外線顕微鏡による表面観察の有効性についての研究	奈良文化財研究所紀要 2024	奈良文化財研究所	8 月 28 日	無
27	同上	古墳壁画室長・廣瀬覚、都城発掘調査部主任研究員（保存修復科学研究室兼任）田村朋美、都城発掘調査部アソシエイトフェロー・柳成煜ほか１名	ヒシャゲ古墳出土埴輪の胎土分析	奈良県立橿原高校学研究所彙報 青陵 第 175 号	橿原考古学研究所	11 月 21 日	無
28	同上	都城発掘調査部主任研究員（保存修復科学研究室兼任）田村朋美	ガラス玉の科学ー産地と交易ー	令和６年度 たつの市埋蔵文化財センター特別展「ガラス玉―古代人を魅了した小さきものたち―」記念講演会図録	たつの市埋蔵文化財センター	7 年 2 月 5 日	無
29	同上	都城発掘調査部主任研究員（保存修復科学研究室兼任）・田村朋美、保存修復科学研究室アソシエイトフェロー・大迫美月ほか１名	染料の可視反射スペクトル―日本古代壁画を想定して―	保存科学 64 号	東京文化財研究所	7 年 3 月 17 日	有
30	同上	都城発掘調査部主任研究員（保存修復科学研究室兼任）・田村朋美、保存修復学研究室客員研究員・大賀克彦ほか１名	材質分析からみた糸島市内出土玉類の特徴―三雲・井原遺跡八反田地区 390ー１番地出土ガラス製切子玉の紹介をかねて―	伊都国歴史博物館紀要	伊都国歴史博物館	7 年 3 月 31 日	無
31	同上	都城発掘調査部主任研究員（保存修復科学研究室兼任）・田村朋美ほか１名	苫小牧市出土ガラス玉の分析	苫小牧市美術博物館紀要	苫小牧市美術博物館	7 年 3 月 31 日	無
32	遺跡現地における壁画の安定した保存と公開活用を行うための劣化状態調査／適	保存修復科学研究室アソシエイトフェロー・大迫美月ほか１名	壁画におけるアズライトの緑色化に関する研究 ―劣化生成物の粒径と生成量に着目した緑色化の傾向―	文化財保存修復学会第 46 回大会要旨集	文化財保存修復学会	6 月 22 日	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
	切な石室内の熱水分環境に関する検討						
33	同上	保存修復科学研究室アソシエイトフェロー・大迫美月、主任研究員・柳田明進、同室長・脇谷草一郎	漆喰下地に残存するアルカリが群青・緑青の変質に及ぼす影響 ―初期 pH の異なる Ca(OH)2 水溶液を用いた浸漬実験による検討―	日本文化財科学会第 41 回大会要旨集	日本文化財科学会	7 月 28 日	無
34	同上	保存修復科学研究室アソシエイトフェロー・大迫美月ほか 1	【報文】壁画におけるアズライトの緑色化に関する研究―塩化物イオンの影響に関する基礎的考察―	文化財保存修復学会誌	文化財保存修復学会	6 月	有

(3) 文化遺産保護に関する国際協働　3 件

○文化遺産保護に関する国際協働の総合的な推進 3 件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	文化遺産保護に関する国際協働	国際遺跡研究室長　庄田慎矢　他	Culinary continuity in central Japan across the transition to agriculture	Archaeological and Anthropological Sciences	Springer	6 月	有
2	同上	国際遺跡研究室長　庄田慎矢　他	Regional variations in the demographic response to the arrival of rice farming in prehistoric Japan	Antiquity	Cambridge University Press	9 月	有
3	アジア地域等の文化遺産に関する調査研究及び保護協力事業	国際遺跡研究室主任専門職　佐藤由似,アソシエイトフェロー　笠原朋与	西トップ遺跡の修復：中央祠堂屋蓋部の再構築	奈良文化財研究所紀要 2024	奈良文化財研究所	8 月 28 日	無

(4) 文化財に関する情報資料の収集・整備及び調査研究成果の公開・活用　20件

○文化財情報基盤の整備・充実　19件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	文化財に関するデータベースの充実	アソシエイトフェロー 楊雅琲	明時代 八仙図	國華 1554 130(9) 37-41	國華社	4 月	無
2	同上	アソシエイトフェロー 武内樹治	埋蔵文化財調査ビッグデータの分析	日本考古学 (58) 89-99	日本考古学協会	5 月	無
3	同上	アソシエイトフェロー 武内樹治	考古遺産マネジメントの視点からみた平安京跡の現状と課題	考古学研究 71(1) 32-54	考古学研究会	6 月	有
4	同上	主任研究員　高田祐一	AI 技術を用いた埋蔵文化財の把握の試み	月間文化財 (731) 36-42	文化庁	8 月 1 日	無
5	同上	主任研究員　高田祐一	AI と立体地図を活用！兵庫県内の 35 ヶ所で古墳・寺院跡を発見！	歴史人 (2024 年 9 月号)	ABC アーク	8 月 6 日	無
6	同上	主任研究員　高田祐一	城郭石材の採石	ユリイカ 2024 年 9 月号	株式会社青土社	8 月 27 日	無
7	同上	主任研究員　高田祐一	文化財総覧 WebGIS による遺跡情報の統合と活用	日本考古学 (59) 77-85	一般社団法人日本考古学協会	10 月 19 日	有
8	同上	アソシエイトフェロー 武内樹治	日本における埋蔵文化財包蔵地の地理情報基盤の調査とその**展望**	地理情報システム学会講演論文集 (33) 1-4	地理情報システム学会	10 月	無
9	同上	アソシエイトフェロー 武内樹治	平安京跡における考古資料の地理空間情報を用いた歴史災害復原―発掘調査データベースを用いたデータ駆動型研究の実践―	GIS―理論と応用 32(2) 35-46	地理情報システム学会	12 月	有
10	同上	アソシエイトフェロー ドゥドコ アナスタシア	里村紹巴（1567）『紹巴富士見道記』―作者、内容と主な特徴―	日本 2024 年鑑	Association of Japanologists	12 月	無
11	文化財情報のデジタルアーカイブに関する実践研究	主任研究員　高田祐一	XR ミートアップ奈良　開催趣旨＆結果報告	奈良文化財研究所研究報告 44 冊『デジタル技術による文化財情報の記録と利活用７』	奈良文化財研究所	7 年 3 月	無
12	同上	主任研究員　高田祐一	2024 年度数字で見る全国遺跡報告総覧	文化財多言語化研究報告 5	奈良文化財研究所	7 年 3 月	無
13	多言語化の推進	アソシエイトフェロー 楊雅琲	文化財関連用語日中対訳集	文化財多言語化研究報告 5	奈良文化財研究所	7 年 3 月	無

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
14	同上	アソシエイトフェロー ドゥドコ アナスタシア	文化財関連用語日英対訳集	文化財多言語化研究報告5	奈良文化財研究所	7年3月	無
15	同上	アソシエイトフェロー 張賢雅	文化財関連用語日韓対訳集	文化財多言語化研究報告5	奈良文化財研究所	7年3月	無
16	同上	主任研究員　高田 祐一、アソシエイトフェロー　楊雅琲、アソシエイトフェロー　ドゥドコ アナスタシア、他	大学教育と文化財多言語化	文化財多言語化研究報告5	奈良文化財研究所	7年3月	無
17	同上	アソシエイトフェロー 楊雅琲、アソシエイトフェロー　ドゥドコ アナスタシア、他	多言語化についての意見交換会記録ーA.N.メシェリャコフ教授とM.V.トロピギナ教授ー	文化財多言語化研究報告5	奈良文化財研究所	7年3月	無
18	同上	【共訳】アソシエイトフェロー　楊雅琲、アソシエイトフェロー　ドゥドコ アナスタシア、アソシエイトフェロー　張賢雅、他	【共訳】日本の将棋における仏教的要素	文化財多言語化研究報告5	奈良文化財研究所	7年3月	無
19	同上	アソシエイトフェロー 張賢雅	明治期における多言語学習について一赤峰瀬一郎『日韓英三国対話』(1892)を中心にー	文化財多言語化研究報告5	文化財多言語化研究報告5	7年3月	無

○展示公開施設の充実　1件

	研究テーマ	発表者 （職名・名前）	論文テーマ	掲載誌名	発行元	掲載 年月日	査読 有無
1	平城宮跡資料館・飛鳥資料館・藤原宮跡資料室における展示公開	学芸室研究員　竹内祥一朗	飛鳥資料館写真コンテストの応募作品を通した景観分析	奈良文化財研究所紀要2024	奈良文化財研究所	8月28日	無

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】　0件

c-⑥ 調査研究刊行物一覧

令和7年3月31日現在

【本部文化財活用センター】

○調査研究刊行物　　1件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	2023年度ぶんかつアウトリーチプログラム報告書	300	文化庁、都道府県教育委員会、都道府県教育センター、国内の美術館・博物館等

【本部文化財防災センター】

○調査研究刊行物　2件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	令和5年度文化財防災センター年次報告書	400	連携協力機関、関係者・協力者等（奈良文化財研究所「全国遺跡報告総覧」を通じて、WEB上にて公開）
2	文化財防災ハンドブック―被災視聴覚資料の基礎と応急処置―	800	連携協力機関、関係者・協力者等（奈良文化財研究所「全国遺跡報告総覧」を通じて、WEB上にて公開）

【東京国立博物館】

○調査研究刊行物　　5件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	「MUSEUM」709～714号（6冊）	各1,800	美術館・博物館・大学・研究所等
2	「東京国立博物館紀要」第60号	550	ウェブ公開、美術館・博物館・大学・研究所等
3	「東京国立博物館文化財修理報告」25	―	ウェブ公開
4	「法隆寺献納宝物特別調査概報」44　染織２　錦	300	ウェブ公開、美術館・博物館・大学・研究所等
5	「東京国立博物館図版目録」チベット仏教関係資料篇	300	ウェブ公開、美術館・博物館・大学・研究所等

○展覧会図録等　　21件

	刊　行　物　名		発行部数	配　　布　　先
1	特別展図録	『特別展　法然と極楽浄土』	―	―
2		『特別展　神護寺―空海と真言密教のはじまり』	―	―
3		『特別展　内藤礼　生まれておいで 生きておいで』	―	―
4		『特別展　はにわ』	―	―
5		『特別展　旧嵯峨御所 大覚寺―百花繚乱 御所ゆかりの絵画―』	―	―
6	特集展示そのほか	「特集 親と子のギャラリー　よりそう動物たち」リーフレット	3,000	来館者無料配布、ウェブ公開
7		「特集 吉野と熊野―山岳霊場の遺宝―」リーフレット	3,000	来館者無料配布、ウェブ公開
8		「特集 人間国宝・平田郷陽の人形―生人形から衣裳人形まで―」リーフレット	3,000	来館者無料配布、ウェブ公開
9		「特集 やきものを彩る金と銀」リーフレット	3,000	来館者無料配布、ウェブ公開
10		「特集 能面に見る写しの文化」リーフレット	3,000	来館者無料配布、ウェブ公開
11		「特集遊牧民のくらしとテキスタイル―バローチを中心に―」リーフレット	3,000	来館者無料配布、ウェブ公開
12		「特集 日本の模様 雪」リーフレット	3,000	来館者無料配布、ウェブ公開
13		「キリシタン関係遺品の保存と研究１」リーフレット	3,000	来館者無料配布、ウェブ公開
14		「博物館に初もうで　ヘビ～なパワ～を巳（み）たいの蛇（じゃ）！」リーフレット	10,000	来館者無料配布、ウェブ公開
15		『モダンきもの―名門「大彦」の東京ファッション―』	2,000	関係機関・協力先等
16		『博物館でアジアの旅　アジアのおしゃれ』	1,500	関係機関・協力先等
17		『没後100年・黒田清輝と近代絵画の冒険者たち』	1,500	関係機関・協力先等
18		『受贈記念 橋本コレクション 一　明（一）』	1,500	関係機関・協力先等
19		『東京国立博物館ハンドブック』（日本語）増刷	3,000	関係機関・協力先等
20		『東京国立博物館ハンドブック』（英語　Tokyo National Museum Handbook）増刷	3,000	関係機関・協力先等
21		『東京国立博物館セレクション 「旧儀式図画帖」にみる宮廷の年中行事』英語版 TOKYO NATIONAL MUSEUM SELECTIONS “Annual Rituals in the *Illustrated Records of Court Ceremonies*”	1,500	関係機関・協力先等

【京都国立博物館】

○調査研究刊行物　　2件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	研究紀要「學叢」第46号	780	美術館・博物館・大学等
2	文化財保存修理所　修理報告書22	390	美術館・博物館・図書館・大学・研究機関・教育委員会等

○展覧会図録等　　5件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	特別展　雪舟伝説―「画聖（カリスマ）」の誕生―	―	美術館・博物館・大学等
2	特別展　法然と極楽浄土	―	同上
3	豊臣秀次公430回忌 特集展示　豊臣秀次と瑞泉寺	1,300	同上
4	修理完成記念 特別公開　重要文化財 縹糸威胴丸　リーフレット（日本語版）	9,000	来館者無料配布、ウェブ公開
5	修理完成記念 特別公開　重要文化財 縹糸威胴丸　リーフレット（英語版）	4,000	同上

※博物館だより、Newsletterの発行数については「1-(3)-②-6 広報刊行物一覧」参照

【奈良国立博物館】

○調査研究刊行物　　2件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	奈良国立博物館研究紀要「鹿園雑集」第27号	700	美術館・博物館・大学・研究機関等
2	奈良国立博物館 文化財保存修理所 修理報告書 第7号	650	美術館・博物館・大学・研究機関等・教育委員会等

○展覧会図録等　　6件

	刊　行　物　名		発行部数	配　　布　　先
1	特別展	『生誕1250年記念特別展　空海　KŪKAI ―密教のルーツとマンダラ世界』	21,000	美術館・博物館・大学・研究機関等
2	特別展	『第76回正倉院展』	5,000	美術館・博物館・大学・研究機関等
3	特別陳列	『特別陳列　泉屋博古館の名宝―住友春翠の愛でた祈りの造形―』	2,300	美術館・博物館・大学・研究機関等
4	特別陳列	『わくわくびじゅつギャラリー フシギ！日本の神さまのびじゅつ』	4,000	美術館・博物館・大学・研究機関等
5	特別陳列	『特別陳列　春日若宮おん祭の信仰と美術』	2,000	美術館・博物館・大学・研究機関等
6	特別陳列	『特別陳列　東大寺伝来の伎楽面　春日人万呂と基永師』	3,900	美術館・博物館・大学・研究機関等

※博物館だよりの発行数については「1-(3)-②-6 広報刊行物一覧」参照

【九州国立博物館】

○調査研究刊行物　　2件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	九州国立博物館　研究紀要『東風西声』第20号	900	美術館・博物館・大学・研究機関等
2	九州国立博物館　文化財修復報告　第7号（平成30年度ー令和元年度）	600	文化財所有者・博物館・行政機関・研究機関等

○展覧会図録等　　2件

	刊　行　物　名		発行部数	配　　布　　先
1	特集展示等	特集展示「人吉球磨の玉手箱」	2,300	博物館・美術館・大学・研究機関等
2	特集展示等	図録「煌めきの古伊万里ー小郡C.C.コレクションー」	1,500	博物館・美術館・大学・研究機関等

※アジアージュの発行数については「1-(3)-②-6 広報刊行物一覧」参照

【皇居三の丸尚蔵館】

○調査研究刊行物　2件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	『尚蔵―皇居三の丸尚蔵館研究紀要』創刊号(通巻30号)	500	美術館・博物館・大学・研究機関等
2	皇居三の丸尚蔵館収蔵品目録　第10号『「御手許写真」明治初年日本風景帖』	600	美術館・博物館・大学・研究機関等

○展覧会図録等　10件

	刊　行　物　名		発行部数	配　　布　　先
1	展覧会図録	開館記念展『皇室のみやびー受け継ぐ美ー　第4期三の丸尚蔵館の名品』	2,000	博物館・美術館・大学・研究機関等
2	展覧会図録	『いきもの賞玩』	2,000	博物館・美術館・大学・研究機関等
3	展覧会図録	『花鳥風月ー水の情景・月の風景ー』	2,500	博物館・美術館・大学・研究機関等
4	展覧会図録	『公家の書ー古筆・絵巻・古文書／皇室の美術振興ー日本	2,500	博物館・美術館・大学・研究機関等

	刊　行　物　名		発行部数	配　　布　　先
		近代の絵画・彫刻・工芸』		
5	展覧会図録	『瑞祥のかたち』	3,700	博物館・美術館・大学・研究機関等
6	展覧会図録	『百花ひらく』	3,000	博物館・美術館・大学・研究機関等
7	作品紹介リーフレット・中国語版	作品紹介リーフレット・中国語版「春日权现验记绘」（日本語訳：「春日権現験記絵」）	10,000	博物館・美術館・大学・研究機関等
8	作品紹介リーフレット・韓国語版	作品紹介リーフレット・韓国語版「가스가곤겐 영험기 두루마리 그림」（日本語訳：「春日権現験記絵」）	10,000	博物館・美術館・大学・研究機関等
9	作品紹介リーフレット	「古今和歌集賀歌三首（大色紙）の楽しみかた」	20,000	博物館・美術館・大学・研究機関等
10	作品紹介リーフレット	伊藤若冲「動植綵絵」の世界	40,000	博物館・美術館・大学・研究機関等

【東京文化財研究所】

○調査研究刊行物

(1) 新たな知見の開拓につながる基礎的・探求的な調査研究　　4件

・有形文化財、伝統的建造物群に関する調査研究　2件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	『和泉市久保惣記念美術館・東京文化財研究所共同研究資料1 重要文化財　絹本著色「山崎架橋図』（リーフレット）	2000	来訪者への無料配布、大学・研究機関・博物館・美術館・図書館等
2	『没後100年・黒田清輝と近代絵画の冒険者たち』※東京国立博物館併任職員による東京国立博物館刊行物	1 500	東京国立博物館で販売

・無形文化財、無形民俗文化財等に関する調査及び研究　2件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	東流二絃琴の伝承	100	大学・研究機関・教育委員会・図書館等、ウェブ公開
2	パンフレット『Techniques That Support Japanese Performing Arts IV Gagaku Fukimono』	200	大学・研究機関・教育委員会・図書館等、ウェブ公開

(2) 科学技術を応用した研究開発の進展等に向けた基盤的な研究　　5 件

・文化財の調査手法に関する研究開発の推進　3件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	『皇居三の丸尚蔵館収蔵 国宝 絹本著色 春日権現験記絵　蛍光Ｘ線分析結果』	500	大学・研究機関、図書館等
2	『皇居三の丸尚蔵館収蔵 国宝 絹本著色 春日権現験記絵 巻十七・巻十八 光学調査報告書』	500	大学・研究機関、図書館等
3	『皇居三の丸尚蔵館収蔵 重要文化財 紙本著色世界図 光学調査報告書』	500	大学・研究機関、図書館等

・文化財の保存修復及び保存技術等に関する調査研究　2件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	『文化財保存修復処置に関するワークショップ　―モジュラー・クリーニング・プログラムの利用について―』	300	大学・研究機関、文化財修復関係者、図書館等
2	『国宝キトラ古墳壁画修理報告書』	700	大学・研究機関、図書館等

(3) 文化遺産保護に関する国際協働　　13 件

・文化遺産保護に関する国際協働の総合的な推進　13 件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	令和6年度世界遺産研究協議会　世界遺産の柔らかい輪郭	300	官公庁、自治体、国際機関等
2	各国の文化財保護法令シリーズ［29］スペイン（暫定版）	120	官公庁、図書館等
3	Technical Cooperation Project for the Conservation and Sustainable Development of Ta Nei Temple, Angkor -Progress Report of 2022-2023-	80	関連機関
4	大陸部東南アジアの古代木造建築を考える	1,070	
5	令和6年度　旧機那サフラン酒製造本舗土蔵鏝絵の保存修復に関する研究	40	外部評価委員会、研究機関、関係団体等
6	在外日本古美術品保存修復協力事業　『熊野曼荼羅』No. 2020-2	250	大学、研究機関、博物館等
7	『JCIC-Heritage's 2023 Symposium “50 years of World Cultural Heritage: Past and Future of Japan’s contribution”』（英語版）	200	大学・研究機関・図書館等
8	『Report on the 33rd Seminar “International trends in safeguarding cultural heritage”』（英語版）	200	大学・研究機関・図書館等
9	『第34回文化遺産国際協力コンソーシアム研究会「学校教育と文化遺産」』（日本語版）	200	大学・研究機関・図書館等
10	『第35回文化遺産国際協力コンソーシアム研究会「文化遺産保護と奈良文書ー国際規範としての受容と応用ー」』（英語版）	200	大学・研究機関・図書館等
11	『令和6年度文化遺産国際協力コンソーシアムシンポジウム「モニュメント」はいかに保存されたか：ノートルダム大聖堂の災禍からの復興』（日本語版）	200	大学・研究機関・図書館等

12	『文化遺産国際協力コンソーシアム令和6年度国際協力調査　韓国における文化財行政の組織改編と国際協力の状況に関する調査報告書』（日本語版）	200	大学・研究機関・図書館等
13	パンフレット『日本の文化遺産国際協力』	1200	関係機関・一般

(4) 文化財に関する情報資料の収集・整備及び調査研究成果の公開・活用　12件

・文化財情報基盤の整備・充実 1件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	『Japanese Lacquerwork and Craftspersons in Thailand- Study of the Japan-made Lacquerwork Found in Thailand (2)』	600	大学・研究機関・教育委員会・博物館・美術館・図書館等

・調査研究成果の発信 11件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	『東京文化財研究所年報』2023年度版	100	博物館・美術館・大学・研究機関等
2	『東京文化財研究所概要』2024年度版	2,000	博物館・美術館・大学・研究機関等
3	『東文研ニュース』81号	10,000	博物館・美術館・大学・研究機関等
4	『令和4年版　日本美術年鑑』	600	大学・研究機関、図書館等
5	『美術研究』443号	400	大学・研究機関、図書館等
6	『美術研究』444号	400	大学・研究機関、図書館等
7	『美術研究』445号	400	大学・研究機関、図書館等
8	『無形文化遺産研究報告』第19号	300	博物館・美術館・大学・研究機関等
9	『第19回無形民俗文化財研究協議会報告書』	800	博物館・美術館・大学・研究機関等
10	『保存科学』64号	600	博物館・美術館・図書館・大学・研究機関等
11	第17回東京文化財研究所 無形文化遺産部 公開学術講座「宮園節の魅力を探る」報告書	100	大学・研究機関・教育委員会・図書館等、ウェブ公開

【奈良文化財研究所】

○調査研究刊行物

(1) 新たな知見の開拓につながる基礎的・探求的な調査研究　10件

・有形文化財、伝統的建造物群に関する調査研究　2件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	『横手市西部地区建造物調査報告書』	100	文化庁等（受託：横手市発行）
2	『仙北市角館武家住宅総合調査報告書』	350	文化庁等（受託：仙北市発行）

・記念物、文化的景観、埋蔵文化財に関する調査研究　8件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	石神遺跡東方の調査　飛鳥藤原第 217 次調査　記者発表資料	20	奈良県内報道機関
2	石神遺跡東方の調査　飛鳥藤原第 217 次調査　現地見学会資料	400	現地見学会・一般参加者
3	『第 27 回古代官衙・集落研究会報告書　古代集落の構造と変遷 4』	300	大学・研究機関・教育委員会・図書館等
4	『第 28 回古代官衙・集落研究集会古代集落の構造と変遷 5 報告資料集』	300	研究集会参加者
5	『古代官衙・集落研究会特別研究集会 律令国家成立期の地域動態 1』	300	研究集会参加者
6	『古代瓦研究会第 24 回シンポジウム 平安時代後期の軒瓦 発表要旨集』	120	研究集会参加者
7	『石神遺跡発掘調査報告Ⅰ―石造物出土地の調査―』	300	大学・研究機関・教育委員会・図書館等、web公開
8	『飛鳥藤原墨書土器集成』	150	大学・図書館等、web公開

(2) 科学技術を応用した研究開発の進展等に向けた基盤的な研究　2件

・文化財の調査手法に関する研究開発の推進　2件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	『山内清男コレクションⅠ 縄文原体資料』	300	大学・研究機関・教育委員会・図書館等
2	埋蔵文化財ニュース 187号	―	ウェブ公開

(3) 文化遺産保護に関する国際協働　1件

○文化遺産保護に関する国際協働の総合的な推進 1 件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	『西トップ遺跡調査修復　中間報告12―中央祠堂・南祠堂屋蓋部および仏教テラス基壇外装再構築編―』	50	大学・研究機関等

(4) 文化財に関する情報資料の収集・整備及び調査研究成果の公開・活用　27件

・文化財情報基盤の整備・充実　19件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	発掘調査報告書総目録 三重県編	110	教育委員会・図書館
2	発掘調査報告書総目録 長野県編	160	教育委員会・図書館
3	発掘調査報告書総目録 神奈川県編	110	教育委員会・図書館
4	発掘調査報告書総目録 宮城県編	110	教育委員会・図書館
5	発掘調査報告書総目録 静岡県編	110	教育委員会・図書館
6	発掘調査報告書総目録 埼玉県編	140	教育委員会・図書館
7	発掘調査報告書総目録 東京都編	140	教育委員会・図書館
8	発掘調査報告書総目録 福島県編	140	教育委員会・図書館
9	発掘調査報告書総目録 茨城県編	120	教育委員会・図書館

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
10	発掘調査報告書総目録 滋賀県編	93	教育委員会・図書館
11	発掘調査報告書総目録 京都県編	100	教育委員会・図書館
12	発掘調査報告書総目録 愛知県編	130	教育委員会・図書館
13	発掘調査報告書総目録 奈良県編	120	教育委員会・図書館
14	文化財防災文献総目録	100	教育委員会・図書館
15	奈良文化財研究所研究報告 第41冊『デジタル技術による文化財情報の記録と利活用６』第1分冊	10	図書館
16	奈良文化財研究所研究報告 第41冊『デジタル技術による文化財情報の記録と利活用６』第2分冊	10	図書館
17	奈良文化財研究所研究報告 44冊『デジタル技術による文化財情報の記録と利活用７』	―	ウェブ公開
18	奈良文化財研究所研究報告 第42冊 『文化財多言語化研究報告４』	10	図書館
19	奈良文化財研究所研究報告 第45冊 『文化財多言語化研究報告５』	―	ウェブ公開

・調査研究成果の発信　5件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	奈良文化財研究所紀要2024	300	図書館、大学、研究機関、関連市町村、ウェブ公開
2	奈良文化財研究所概要2024	―	ウェブ公開
3	『奈文研ニュース』No.93、No.94	―	ウェブ公開
4	奈文研論叢第5号	300	大学・研究機関・教育委員会・図書館等、ウェブ公開
5	奈良文化財研究所発掘調査報告2024	300	県立図書館及び埋蔵文化財センター等、ウェブ公開

・展示公開施設の充実　3件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	令和六年度平城宮跡資料館秋期特別展図録『聖武天皇が即位したとき。―聖武天皇即位一三〇〇年記念-』	3,000	大学・研究機関・教育委員会・図書館等
2	聖武天皇即位一三〇〇年記念　特別講演会　聖武天皇の宮-平城宮、恭仁宮、紫香楽宮、そして難波宮	300	大学・研究機関・教育委員会・図書館等
3	飛鳥資料館図録第77冊『水と暮らしの風景史-古地図と景観がひらく飛鳥』	1,400	大学・研究機関・教育委員会・図書館等および販売

(5) 地方公共団体等を対象とする文化財に関する研修及び協力等　　2件

・平城宮跡、飛鳥・藤原宮跡等の公開・活用事業への協力　2件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	『平城宮第一次大極殿院の復元研究』	―	ウェブ公開
2	令和6年度夏期企画展図録『万葉挽歌-人形からみる古の奈良-』	1,500	大学・研究機関・教育委員会・図書館等

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】

○調査研究刊行物　　10件

	刊　行　物　名	発行部数	配　　布　　先
1	『IRCI概要2024(日本語版)』	600 データ版でも公開	国内のユネスコ関係、研究協力依頼機関等
2	IRCI2024-2025（概要英語版）	600 データ版でも公開	ユネスコ関係、研究協力依頼機関等
3	IRCIリーフレット（日本語版）	500 データ版でも公開	国内のユネスコ関係、研究協力依頼機関等
4	IRCIリーフレット（英語版）	500 データ版でも公開	ユネスコ関係、研究協力依頼機関等
5	Case Studies on Intangible Cultural Heritage Amid COVID-19 Pandemic in the Asia-Pacific Region	300 データ版はR5に公開	ユネスコ関係、研究協力依頼機関等
6	Policy Brief I （英語版）	200 データ版でも公開	ユネスコ関係、研究協力依頼機関等
7	Policy Brief I （日本語版）	500	ユネスコ関係、研究協力依頼機関等
8	Intangible Cultural Heritage and Sustainable Communities in the Asia-Pacific Region	300 データ版でも公開	ユネスコ関係、研究協力依頼機関等
9	Sustainable Research Data Collection for ICH Safeguarding: Focusing on Central Asia and Small Island Developing States Project Report part I (Fy2024))	300 データ版でも公開	ユネスコ関係、研究協力依頼機関等
10	Towards Safeguarding Endangered Traditional Crafts in Post-Conflict Areas of Sri Lanka [Second Edition]	―	ウェブ公開

c-⑦ 科学研究費助成事業による調査研究

令和7年3月31日現在

件数	国立文化財機構計	博物館						文化財研究所			アジア太平洋無形文化遺産研究センター
		計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館	皇居三の丸尚蔵館	計	東京文化財研究所	奈良文化財研究所	
合計	165	58	39	5	4	10	0	105	37	68	2
科学研究費補助金のみ	15	7	5	1	1	0		8	3	5	0
学術研究助成基金助成金のみ	150	51	34	4	3	10		97	34	63	2
科学研究費補助金と学術研究助成基金助成金の両方からの交付を受けた調査研究	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0

※各施設に所属する研究員が研究代表者として交付された研究課題のみ記載している。(日本学術振興会特別研究員を除く)
※科学研究費助成事業の研究分担者等として参画しているものについてはc①2)他機関の共同研究への参画実績参照
※科学研究費の交付決定額には間接経費を含む。
※皇居三の丸尚蔵館の職員は科研費に関しては東京国立博物館に併任となった上で調査研究をしている。

【東京国立博物館】

1)科学研究費補助金のみ 5件

	研究テーマ	氏名	役職	研究種目	交付決定額(千円)
1	日本染織文化資源の再発見とその活用に資する基盤研究	小山 弓弦葉	学芸研究部調査研究課長	基盤研究(A)	8,450
2	文化遺産アセットの効率的利活用を目指したミュージアムDX技術の開発	和田 浩	学芸研究部保存科学課長	基盤研究(A)	9,750
3	能狂言面の制作年代および作者に関する総合的研究	浅見 龍介	副館長	基盤研究(B)【繰越】	0
4	学校教育とデジタル・アーカイブを結ぶ学習内容情報LODを用いた架橋モデルの設計	阿児 雄之	学芸企画部博物館情報課情報管理室長	基盤研究(B)【繰越】	0
5	春秋庵三世川村碩布の書と画を巡る調査研究:近世地域文化人の実相と評価	高田 智仁	学芸研究部調査研究課 アソシエイトフェロー	奨励研究	320

2)学術研究助成基金助成金のみ 34件

	研究テーマ	氏名	役職	研究種目	当年度の交付決定額(採択時)(千円)	全研究期間での交付決定額(千円)〈研究期間〉
1	統計的画像処理と機械学習を併用した文化財のデジタル復元技術の基盤創出	河野 一隆	学芸研究部長	基盤研究(B)	2,340	4,290〈6～7年度〉
2	在外日本美術の保存修復技法の比較調査と国際的な保存活用に向けて	島谷 弘幸	皇居三の丸尚蔵館長	基盤研究(B)	4,810	8,580〈6～7年度〉
3	学校教育とデジタル・アーカイブを結ぶ学習内容情報LODを用いた架橋モデルの設計	阿児 雄之	学芸企画部博物館情報課情報管理室長	基盤研究(B)	6,240	11,180〈6～8年度〉
4	伝来情報の分析による絵巻を中心とした古代・中世やまと絵の復原的研究	土屋 貴裕	学芸研究部調査研究課絵画・彫刻室長	基盤研究(B)	4,290	18,590〈6～10年度〉
5	松島コレクションを起点としたアジア遊牧民染織・服飾に関する基礎的研究	沼沢 ゆかり	学芸研究部調査研究課工芸室研究員	基盤研究(B)	1,950	8,320〈6～8年度〉
6	文書・典籍料紙における繊維の再利用に関する基礎的研究	高橋 裕次	客員研究員	基盤研究(C)	0	2,210〈元～6年度〉
7	藤原定家の和歌に基づく「定家詠十二ヶ月和歌花鳥図」の歴史的展開の解明	遠藤 楽子	学芸企画部企画課出版企画室主任研究員	基盤研究(C)	390	4,420〈2～6年度〉
8	仏教儀礼的観点に基づく明兆作品の総合的研究	高橋 真作	学芸研究部調査研究課絵画・彫刻室主任研究員	基盤研究(C)	780	4,420〈2～6年度〉
9	海外博物館の日本美術展示にみる現代「日本」観の研究	鬼頭 智美	学芸企画部上席研究員	基盤研究(C)	0	4,290〈2～5年度〉
10	中国と日本の書画における表装文化の総合的研究	鍋島 稲子	客員研究員	基盤研究(C)	0	4,160〈3～5年度〉
11	明治初期宝物調査資料の収集整理による書の鑑賞・受容の歴史に関する研究	恵美 千鶴子	客員研究員	基盤研究(C)	0	3,900〈3～6年度〉
12	高精細スキャナー画像を活用した日本刀の研究	佐藤 寛介	学芸企画部企画課特別展室長	基盤研究(C)	260	2,600〈3～7年度〉
13	X線断層写真(CT)を用いた乾漆技法の研究	丸山 士郎	学芸研究部調査研究課絵画・彫刻室研究員	基盤研究(C)	520	4,160〈3～7年度〉
14	中世の神仏習合における仏教彫刻に関する研究	増田 政史	学芸研究部調査研究課絵画・彫刻室研究員	基盤研究(C)	650	2,470〈4～6年度〉
15	保存環境と鑑賞環境が調和した次世代型の展示照明の構築に向けた基礎的研究	黄川田 翔	学芸研究部保存科学課予測保存研究室研究員	基盤研究(C)	390	3,770〈4～6年度〉
16	東アジア宮廷空間を形成する工芸に関する物質文化研究―文化相対主義的歴史観による―	猪熊 兼樹	学芸研究部調査研究課工芸室長	基盤研究(C)	1,560	4,680〈5～7年度〉
17	造形化された聖性:仏像・青銅器等の礼拝像・祭具制作における心性に関する調査・研究	児島 大輔	学芸研究部保存科学課保存修復室長	基盤研究(C)	910	4,680〈5～8年度〉
18	近世前期における刀剣目利書(鑑定書)のテキスト分析と文化史上の位置づけ	酒井 元樹	学芸研究部調査研究課工芸室主任研究員	基盤研究(C)	780	3,900〈5～9年度〉
19	大谷探検隊将来染織資料の基礎研究:6～10世紀オアシス都市における染織品の諸相	廣谷 妃夏	学芸研究部列品管理課アソシエイトフェロー	基盤研究(C)	1,560	4,680〈5～7年度〉
20	古代・中世仏画の研究手法による江戸仏画へのアプローチ―絵仏師・画僧に着目して―	古川 攝一	学芸企画部博物館教育課教育普及室研究員	基盤研究(C)	1,430	4,420〈6～9年度〉
21	日本所在の中央アジア探検隊将来品を対象とした西域美術研究の再構築	勝木 言一郎	学芸研究部調査研究課絵画・彫刻室特任研究員	基盤研究(C)	1,690	4,550〈6～8年度〉
22	江戸期における表道具の鑑定と模写に関する総合的調査	金井 裕子	学芸企画部博物館教育課教育講座室長	基盤研究(C)	1,560	4,680〈6～10年度〉
23	江戸時代中・後期の風景画の研究-実作品や伝来情報、複製芸術による総合的検討から-	大橋 美織	学芸研究部保存科学課保存修復室主任研究員	基盤研究(C)	1,040	4,420〈6～10年度〉
24	高精細X線CTスキャナー活用を中心とする古代中国の封泥に関する発展的研究	谷 豊信	客員研究員	基盤研究(C)	1,430	4,680〈6～8年度〉
25	簡易ガス検査法で安全な材料を見極める手法の開発	野中 昭美	学芸研究部保存科学課保存修復室主任研究員	基盤研究(C)	1,950	4,550〈6～8年度〉
26	幻の博物館「文部省管轄国立博物館」の研究	神辺 知加	学芸企画部企画課海外展室主任研究員	基盤研究(C)	1,040	3,380〈6～9年度〉
27	黒染め染織文化財に対する脱酸化・抗酸化・強化処置法の開発	佐藤 萌	学芸研究部保存科学課保存修復室研究員	若手研究	0	3,900〈平成30～7年度〉
28	天台宗における仏像の模刻と信仰上の意義	西木 政統	学芸研究部列品管理課登録室主任研究員	若手研究	0	4,290〈2～5年度〉
29	北欧ミュージアムにおける多文化共生のための教育活動に関する国際研究	山本 桃子	学芸企画部博物館教育課アソシエイトフェロー	若手研究	1,690	4,680〈6～9年度〉
30	文化財デジタル復元のための統計的画像処理および機械学習技術の創出	河野 一隆	学芸研究部長	挑戦的研究(萌芽)	2,600	6,240〈4～6年度〉
31	古代壁画物理モデル構築に向けての探索的研究	和田 浩	学芸研究部保存科学課長	挑戦的研究(萌芽)	1,040	6,240〈4～6年度〉
32	高精細複製絵画を中心とする実験的美術照明とDX技術を用いた公開戦略の探索的研究	松嶋 雅人	学芸企画部長	挑戦的研究(萌芽)	2,340	6,110〈6～8年度〉
33	日本の文化遺産に適した韓国語翻訳の基盤構築―染織の技法および種類―	鄭 雲卿	学芸企画部企画課アソシエイトフェロー	研究活動スタート支援	910	1,690〈6～7年度〉
34	ヨーロッパ先史装飾墓の保存と公開活用にむけたデジタルツイン基盤の構築	河野 一隆	学芸研究部長	国際共同研究加速基金(海外連携研究)	5,070	20,930〈6～9年度〉

3)科学研究費補助金と学術研究助成基金助成金の両方からの交付を受けた調査研究 0件

【京都国立博物館】

1)科学研究費補助金のみ 1件

	研究テーマ	氏名	役職	研究種目	交付決定額(千円)
1	備前児島の野崎家に伝わる文化財の総合調査:塩田王の美術コレクション	永島 明子	学芸部教育室長	基盤研究(A)	5,200

2)学術研究助成基金助成金のみ 4件

	研究テーマ	氏名	役職	研究種目	当年度の交付決定額(採択時)(千円)	全研究期間での交付決定額(千円)〈研究期間〉
1	藤原宮造営に伴う造瓦の新技術とその導入経路に関する総合的研究	石田 由紀子	学芸部考古室長	基盤研究(C)	444	9,100
2	御室仁清窯跡出土陶片の科学的特徴―野々村仁清が受容した生産技術と陶工必用	降幡 順子	学芸部上席研究員 兼保存科学室長	基盤研究(C)	1,513	4,290
3	中世禅宗頂相のアーカイブに関する基礎的研究	森 道彦	学芸部列品管理室主任研究員	基盤研究(C)	1,430	3,380
4	博物館の多言語翻訳への翻訳論的アプローチ	権 保慶	学芸部企画室アソシエイトフェロー	若手研究	650	2,470

3)科学研究費補助金と学術研究助成基金助成金の両方からの交付を受けた調査研究　0件

【奈良国立博物館】
1)科学研究費補助金のみ 1件

	研究テーマ	氏名	役職	研究種目	交付決定額（千円）
1	奈良時代の伝世品を中心とした東アジア仏教美術工芸の総合的研究	吉澤　悟	学芸部長	基盤研究(A)	16,900

2)学術研究助成基金助成金のみ 3件

	研究テーマ	氏名	役職	研究種目	当年度の交付決定額（採択時）（千円）	全研究期間での交付決定額（千円）〈研究期間〉
1	古写真・絵はがき・売立目録をもちいた仏像彫刻の研究―奈良地方の作品を中心に―	山口　隆介	学芸部主任研究員	若手研究	1,300	4,420 〈令和4～6年度〉
2	博物館が所蔵する古丁銀類の科学分析を通じた石州銀の解明	鳥越　俊行	学芸部保存修理指導室長	基盤研究(C)	1,430	4,680 〈令和5～7年度〉
3	東アジアの仏教絵画における裏彩色に関する基礎的研究	北澤　菜月	学芸部情報サービス室	基盤研究(C)	1,170	3,510 〈令和6～9年度〉

3)科学研究費補助金と学術研究助成基金助成金の両方からの交付を受けた調査研究　0件

【九州国立博物館】
1)科学研究費補助金のみ 0件

2)学術研究助成基金助成金のみ 10件

	研究テーマ	氏名	役職	研究種目	当年度の交付決定額（採択時）（千円）	全研究期間での交付決定額（千円）〈研究期間〉
1	中国書画における題跋等の付属資料に関する総合的研究	富田　淳	館長	基盤研究 (B)	2,860	9,818 〈2～6年度〉
2	博物館資料や包材から発生する有機酸、硫黄化合物等の放散量・影響調査と対策の検討	木川　りか	学芸部博物館科学課長	基盤研究 (B)	4,940	19,960 〈6～9年度〉
3	九州の古墳出土ベンガラの流通に関する実証的研究	志賀　智史	学芸部博物館課保存修復室長	基盤研究（C）	0	2,860 〈3～5年度〉 〈補助事業期間延長〉
4	中国製鎗金器の基盤的研究−東アジアにおける漆器の相互的影響−	川畑　憲子	学芸部企画課・室長	基盤研究（C）	780	4,030 〈3～7年度〉
5	近世大名家伝来コレクションの基礎的研究−松浦家コレクションの分析を通じて−	松浦　晃佑	学芸部文化財課・主任研究員	基盤研究（C）	520	2,860 〈3～7年度〉
6	日本古写経の所在情報の収集と分析に基づく仏典の伝播・伝来の研究	野尻　忠	学芸部文化財課・課長	基盤研究（C）	2,210	4990 〈6～8年度〉
7	中国天水麦積山石窟壁画・編年的新研究	李　梅	学芸部企画課・アソシエイトフェロ	基盤研究（C）	1,820	4860 〈6～8年度〉
8	名物裂を中心とした日本伝世古渡裂の歴史的・技法的成立過程を探る研究	桑原　有寿子	学芸部企画課・研究員	若手研究	0	4,160 〈2～5年度〉 〈補助事業期間延長〉
9	数理モデルと非破壊評価法に基づく文化財害虫の検出精度の向上	渡辺　祐基	博物館科学課・研究員	若手研究	1,300	4,550 〈4～6年度〉
10	日本絵画に用いられる色材の光褪色挙動の詳細分析と褪色計算オンラインソフトでの利用	木川　りか	学芸部博物館科学課長	海外連携研究	1,300	4,550 〈4～6年度〉

3)科学研究費補助金と学術研究助成基金助成金の両方からの交付を受けた調査研究　0件

【東京文化財研究所】
1)科学研究費補助金のみ 3件

	研究テーマ	氏名	役職	研究種目	交付決定額（千円）
1	アジア螺鈿文化交流史の構築―物質文化史の視点から	小林　公治	特任研究員	基盤研究(A)	6,200
2	ディルムン文明形成に関する考古学的研究	安倍　雅史	室長	基盤研究(A)	8,700
3	沖縄久高島イザイホー映像記録データベース	石村　智	部長	研究成果公開促進費（データベース）	1,600

2)学術研究助成基金助成金のみ 34件

	研究テーマ	氏名	役職	研究種目	当年度の交付決定額（採択時）（千円）	全研究期間での交付決定額（千円）〈研究期間〉
1	ポストコンフリクト国における文化多様性と平和構築実現のための文化遺産研究	石村　智	部長	挑戦的研究（萌芽）	500	6,370（令和4～令和6）
2	酒呑童子絵巻の研究	江村　知子	部長	基盤研究(B)	1,800	17,810（令和4～令和6）
3	ポンペイ遺跡壁画における無機物を主体とした保存修復材料による補強技法の確立	前川　佳文	主任研究員	基盤研究(B)	2,800	14,040（令和2～令和6）
4	能管の「製作技術」と「原材料の安定的な確保」に関する研究	前原 恵美	室長	基盤研究(B)	2,700	11,960（令和5～令和7）
5	ブータンにおける伝統的石造民家の建築的特徴の解明と文化遺産保護手法への応用	友田 正彦	副所長	基盤研究(B)	5,100	18,590（令和5～令和7）
6	近世日本における彩色文化史の解明を目的とした多色摺木版画の色材研究	大和 あすか	アソシエイトフェロー	基盤研究(B)	2,700	19,110（令和5～令和9）
7	日本戦後芸術のアーカイブ構築と学術的方法論の研究：三つのケーススタディをもとに	橘川　英規	室長	基盤研究(B)	5,600	14,300（令和6～令和8）
8	イランの乾燥地帯における農業施設の建築構法および建築技術者の存在形態に関する研究	淺田　なつみ	研究員	基盤研究(C)	0	1,950（令和3～令和6）
9	近現代建造物の価値評価における同時代性に着目した文化財の現状変更概念の再考	金井　健	室長	基盤研究(C)	1,040	3,510（令和3～令和6）
10	ブータンにおける祭礼芸能の変容実態とその保護に関する研究	久保田　裕道	室長	基盤研究(C)	1,170	3,770（令和4～令和6）
11	博物館で用いるためのサンプリングバッグによる放散試験方法の開発	古田嶋　智子	客員研究員	基盤研究(C)	910	4,160（令和4～令和6）
12	占領期の文化財保護に関する研究ーGHQの博物館概念と博物施策の展開ー	境野 飛鳥	客員研究員	基盤研究(C)	910	3,510（令和4～令和7）
13	シミ科未記載種の国内分布の実態調査と生態学的特徴に基づく防除方法の検討	島田　潤	アソシエイトフェロー	基盤研究(C)	1,040	4,160（令和4～令和6）
14	染織技術史に関する研究ー原材料の国産化に焦点をあててー	菊池 理予	主任研究員	基盤研究(C)	650	4,810（令和5～令和9）
15	古典的膠及び墨に関する文化財修復材料及び書画制作材料としての材料学的体系化	宇髙　健太郎	客員研究員	基盤研究(C)	1,820	4,680（令和5～令和7）
16	磨崖仏で過去に行われた保存対策の効果に関する定量的研究	朽津　信明	室長	基盤研究(C)	1,040	4,550（令和5～令和8）
17	ー般室を使用した文化財収蔵施設運用法に関する研究	芳賀　文絵	研究員	基盤研究(C)	1,040	4,550（令和5～令和7）
18	行政映画とその関連資料の整理と管理の支援	山永　尚美	アソシエイトフェロー	基盤研究(C)	1,690	4,550（令和5～令和7）

19	鎌倉時代仏教彫刻・絵画の彩色に関する基礎的調査研究	米沢　玲	室長	基盤研究(C)	1,170	4,290(令和6～令和9)
20	織豊時代における公武の知的交流についての研究―本草学から絵事へ	小野　真由美	室長	基盤研究(C)	1,820	4,680(令和6～令和8)
21	樹木を素材とする編組品に関する民俗学的基礎研究ー広葉樹ヘギ材の籠を中心に	今石　みぎわ	主任研究員	基盤研究(C)	1,690	4,680(令和6～令和8)
22	染織品等を対象とした赤外線画像の有効性に関する研究	秋山　純子	室長	基盤研究(C)	780	4,290(令和6～令和10)
23	漆芸品に与えるクリーニング溶液の影響に関する研究	倉島　玲央	研究員	基盤研究(C)	2,730	4,680(令和6～令和9)
24	中小規模の博物館で実践可能な文化財防災ー地震・水害対策を中心としてー	千葉　毅	研究員	基盤研究(C)	2,080	4,550(令和6～令和8)
25	メタゲノム解析を用いた浮遊菌測定による博物館のゾーニングに関する研究	間渕　創	保存科学研究センター付	基盤研究(C)	1,170	3,770(令和6～令和8)
26	クフ王第2の船の実物資料を用いた造船から埋納過程の復元研究	山田　綾乃	アソシエイトフェロー	基盤研究(C)	1,430	4,550(令和6～令和9)
27	初期合成染料の導入と染色法に関する研究	片渕　奈美香	アソシエイトフェロー	基盤研究(C)	910	3,250(令和6～令和8)
28	古典的膠の製造方法と各用途適性の体系化	宇高　健太郎	客員研究員	若手研究	0	4,160(令和元～令和6)
29	組積造建造物の通電による脱塩の適応可能性に関する検討	水谷　悦子	研究員	若手研究	0	4,160(令和2～令和6)
30	初期合成染料の染色堅牢性評価と変退色挙動の検討	片渕　奈美香	アソシエイトフェロー	若手研究	0	3,380(令和3～令和6)
31	日本音楽合奏における「間」：多様な拍の伸縮をめぐって	鎌田　紗弓	研究員	若手研究	1,040	4,550(令和4～令和6)
32	洪水常襲地における水害経験の地域史と災害文化形成プロセスの解明	後藤　知美	研究員	若手研究	1,040	4,680(令和4～令和7)
33	協働的な博物館活動に関する研究ーオランダ「共有の文化遺産」概念の検証	邱　君妮	アソシエイトフェロー	若手研究	1,430	4,160(令和5～令和7)
34	日本における土地利用計画に準拠した史跡環境の評価および保護に向けた研究	松浦　一之介	アソシエイトフェロー	若手研究	650	4,550(令和5～令和8)

3)科学研究費補助金と学術研究助成基金助成金の両方からの交付を受けた調査研究　0件

【奈良文化財研究所】

1)科学研究費補助金のみ 5件

	研究テーマ	氏名	役職	研究種目	交付決定額（千円）
1	植物考古学から探るイネ、雑穀、ムギ食文化の交流と変容	庄田　慎矢	企画調整部　国際遺跡研究室長	学術変革領域研究(A)計画研究	13,650
2	災害で埋没した建物による民家建築史の研究	箱崎　和久	都城発掘調査部長	基盤研究(A)	8,190
3	東北アジアの農耕化過程における食と調理の変化への考古生化学的アプローチ	庄田　慎矢	企画調整部　国際遺跡研究室長	基盤研究(A)	8,190
4	東アジアを俯瞰した日本列島かな文字確立に関する総合的研究	馬場　基	埋蔵文化財センター長	基盤研究(A)	8,840
5	奈良の都の木簡に会いに行こう！2023	馬場　基	埋蔵文化財センター長	ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI	470

2)学術研究助成基金助成金のみ 63件

	研究テーマ	氏名	役職	研究種目	当年度の交付決定額（採択時）（千円）	全研究期間での交付決定額（千円）（研究期間）
1	蛍光X線分析と鉱物組成分析による大和の古代寺院・宮都出土瓦の生産・供給体制の研究	清野　孝之	企画調整部　部長	基盤研究(B)	1,040	1,040（R2～R6）
2	古代都城から出土する製塩土器の生産地推定	神野　恵	企画調整部　展示公開活用研究室長	基盤研究(B)	1,950	1,950（R2～R6）
3	土製鋳型を中心とした冶金関連資料による東アジア冶金史学の構築	丹羽　崇史	都城発掘調査部　平城地区考古第二研究室長	基盤研究(B)	2,730	2,730（R2～R6）
4	古建築用語の相互訳及び英訳を通した系統的把握による東アジア木造建築史の基盤構築	鈴木　智大	文化遺産部　建造物遺構研究室長	基盤研究(B)	3,900	3,900（R2～R6）
5	古代官衙における空間構造の変遷と展開に関する実証的研究	小田　裕樹	企画調整部　　主任研究員	基盤研究(B)	1,040	2,600（R3～R7）
6	古代における年輪年代学的木材産地推定を可能にする標準年輪曲線ネットワークの整備	星野　安治	埋蔵文化財センター　年代学研究室長	基盤研究(B)	2,990	6,110（R3～R7）
7	平城宮跡・藤原宮跡・飛鳥宮跡における風景の再現・創造・継承に関する計画論的研究	本中　眞	所長	基盤研究(B)	4,940	7,410（R4～R7）
8	石造物による被災履歴学習を通した持続可能な社会のための地域総合学習プログラム開発	上椙　英之	埋蔵文化財センター　遺跡調査技術研究室　研究員	基盤研究(B)	6,240	14,040（R5～R8）
9	古代東アジアにおける壁画図像の伝播と変容の考古学・文化財科学による研究	石橋　茂登	飛鳥資料館　学芸室長	基盤研究(B)	6,240	17,810（R6～R10）
10	劣化現象の機構論的理解に基づく出土鉄製文化財の展示環境条件の新提案	柳田　明進	埋蔵文化財センター　主任研究員	基盤研究(B)	7,410	18,200（R6～R8）
11	遺跡を構成する多孔質材料の乾湿繰り返し劣化メカニズムの解明と劣化抑制手法の開発	脇谷　草一郎	埋蔵文化財センター　保存修復科学研究室長	基盤研究(B)	11,310	16,250（R6～R8）
12	カザフスタンにおける現生人類北回り拡散ルートの解明に関する国際共同研究の基盤強化	国武　貞克	主任研究員	国際共同研究強化(B)【再延長】	0	18,200（H30～R4）
13	東アジア窯業考古学の開拓：奈良三彩成立過程解明を目的として	丹羽　崇史	都城発掘調査部　平城地区考古第二研究室長	海外連携研究	3,640	21,190（R5～R10）
14	絵画表現の多様性を生みだす彩色材料のナノ構造	杉岡　奈穂子	埋蔵文化財センター　保存修復科学研究室　客員研究員	基盤研究(C)【再延長】	0	4,420（R2～R4）
15	古墳に埋葬された鉄製文化財の腐食は予測可能か？ー数値解析による現地保存評価の確立	柳田　明進	埋蔵文化財センター　　主任研究員	基盤研究(C)【延長】	0	4,030（R3～R5）
16	古代における食文化の実態解明に関する環境考古学的研究	山崎　健	埋蔵文化財センター　環境考古学研究室長	基盤研究(C)	910	4,160（R3～R7）
17	三次元データで拓く木簡研究の新地平	山本　祥隆	文化遺産部　主任研究員	基盤研究(C)	1,040	4,160（R4～R7）
18	出土漆塗膜の模擬試料作成の試み―より安定的な保存処理法の開発のために	楊　曼寧	埋蔵文化財センター　保存修復科学研究室　アソシエイトフェロー	基盤研究(C)	650	4,160（R4～R6）
19	大嘗宮にみる宮中祭祀施設の配置・造営計画に関する研究	福嶋　啓人	文化遺産部　主任研究員	基盤研究(C)	650	3,900（R4～R8）
20	近代庭園における遺跡由来石造物の取り扱いとインタープリテーションに関する研究	内田　和伸	文化遺産部　研究員	基盤研究(C)	1170	4,030（R4～R6）
21	飛鳥地域を中心とした古代彩色の絵画技法および素材の研究	濱村　美緒	飛鳥資料館　学芸室　アソシエイトフェロー	基盤研究(C)	1560	3,640（R5～R7）
22	丹波丹後地域出土文字資料の悉皆再釈読による古代山陰道の歴史的地域的特質の解明	山本　崇	文化遺産部　歴史資料研究室長	基盤研究(C)	1170	4,680（R5～R8）
23	前4千年紀末南西カナン出土土器群の悉皆分析によるエジプト系拠点の考古学的検証	山藤　正敏	企画調整部　主任研究員	基盤研究(C)	1560	4,680（R5～R7）
24	令制施行時の土器・陶器調納制と都城・宮都出土土器の基礎的研究	森川　実	都城発掘調査部　飛鳥・藤原地区考古第二研究室長	基盤研究(C)	1300	3,770（R5～R7）
25	生産技術伝承の高精度検証と社会構造復元に基づく埴輪生産体制の維持管理モデルの構築	和田　一之輔	都城発掘調査部　平城地区考古第一研究室長	基盤研究(C)	780	4,680（R5～R8）
26	地域における古墳と寺院の関係とその社会的背景	林　正憲	都城発掘調査部　飛鳥・藤原地区考古第一研究室長	基盤研究(C)	780	2,470（R5～R7）
27	水浸出土木製遺物の保存処理の飛躍的効率化を実現する非水溶性薬剤含浸法の開発	松田　和貴	埋蔵文化財センター　主任研究員	基盤研究(C)	1430	4,680（R5～R7）
28	境界領域のガラス玉ー日本ガラス史構築に向けての基礎的研究ー	田村　朋美	都城発掘調査部　主任研究員	基盤研究(C)	1430	4,680（R5～R7）
29	近世末期から近代の住宅庭園の地域性とその要因―地域の文化遺産の継承に向けて	中島　義晴	文化遺産部　上席研究員	基盤研究(C)	650	3,250（R5～R8）
30	季節の中でかごを編む：複雑狩猟採集民の植物資源管理の民俗考古学的研究	西原　和代	企画調整部　国際遺跡研究室　客員研究員	基盤研究(C)	2470	4,160（R6～R8）

31	飛鳥地域の土器編年の全容解明と宮名比定に関する考古学的研究	若杉　智宏	都城発掘調査部　主任研究員	基盤研究（C）	1950	2,860 （R6～R8）
32	発掘調査記録のデジタルトランスフォーメーション	山口　欧志	埋蔵文化財センター　主任研究員	基盤研究（C）	780	4,160 （R6～R8）
33	多様な絵画表現技法を可能にする白色彩色材料のナノ構造解析	杉岡　奈穂子	埋蔵文化財センター　保存修復科学研究室　客員研究員	基盤研究（C）	1430	4,680 （R6～R8）
34	地域性の生成メカニズムを価値指標とする変化の評価と調整の計画論	小浦　久子	文化遺産部　景観研究室　客員研究員	基盤研究（C）	1040	4,420 （R6～R8）
35	歴史災害の実像解明への考古・歴史・地質学的複合解析による災害履歴検索地図の開発	村田　泰輔	埋蔵文化財センター　主任研究員	挑戦的研究（開拓）【延長】	0	22,880 （H30～R5）
36	XR技術を活用した発掘・被災文化財保護現場のデジタルトランスフォーメーション	金田　明大	埋蔵文化財センター　上席研究員	挑戦的研究（開拓）	5460	24,700 （R4～R8）
37	埴輪ハケメの年輪年代学：年輪年代学的同一材推定を応用した埴輪同工品の認定	星野　安治	埋蔵文化財センター　年代学研究室長	挑戦的研究（萌芽）【延長】	0	6,370 （R3～R5）
38	後期旧石器時代開始期の日本列島における新人到来研究の革新	国武　貞克	主任研究員	挑戦的研究（萌芽）【延長】	0	6,500 （R3～R5）
39	出土カンボジア漆分析に関する学際的研究	佐藤　由似	企画調整部　国際遺跡研究室　主任専門職	挑戦的研究（萌芽）	2119	6,240 （R4～R6
40	X線CTを用いた非破壊観察による固着資料の文字復元	上椙　英之	埋蔵文化財センター　遺跡調査技術研究室　研究員	挑戦的研究（萌芽）	2600	6,500 （R4～R6）
41	石垣刻印データベースによる城郭普請の解明：生産地・作業集団・普請プロセス	高田　祐一	企画調整部　主任研究員	挑戦的研究（萌芽）	3250	6,370 （R6～R7）
42	発掘調査で発見される地震痕跡の分布と地質構造の応答性解明のための萌芽研究	村田　泰輔	埋蔵文化財センター　主任研究員	挑戦的研究（萌芽）	3120	6,370 （R6～R7）
43	墨書木製品の分類を手がかりとした日本における木簡利用全史の解明	藤間　温子	文化遺産部　歴史資料研究室　客員研究員	若手研究【再延長】	0	2,860 （R元～R4）
44	文化的景観における棚田集落の相対的価値の解明にむけた比較研究	恵谷　浩子	文化遺産部　景観研究室長	若手研究【再延長】	0	3,900 （R元～R3）
45	石造物からみるブリテン島における古代と初期中世の境界	岩永　玲	都城発掘調査部　飛鳥・藤原地区考古第二研究室　研究員	若手研究【再延長】	0	1,560 （R2～R4）
46	玉類の流通からみた弥生・古墳時代併行期の日韓交渉	谷澤　亜里	都城発掘調査部　飛鳥・藤原地区考古第一研究室　研究員	若手研究【再延長】	0	4,290 （R2～R4）
47	西日本集落遺跡の分析に基づく古代地域社会の実証的研究	道上　祥武	都城発掘調査部　飛鳥・藤原地区考古第二研究室　研究員	若手研究【延長】	0	4,290 （R2～R5）
48	文化財修理に用いられる和紙の膨潤収縮挙動	金　旻貞	埋蔵文化財センター　保存修復科学研究室　客員研究員	若手研究【再延長】	0	3,900 （R2～R4）
49	考古系展示施設における観覧行動分析とそれに基づく多様な「学び」の構築と実践	廣瀬　智子	企画調整部　展示公開活用研究室　客員研究員	若手研究【再延長】	0	4,030 （R2～R4）
50	越後大工・小黒杢右衛門一族の作風―近世在方大工の作家論的研究	目黒　新悟	文化遺産部　建造物遺構研究室　研究員	若手研究【延長】	0	4,160 （R2～R5）
51	『築山庭造伝』前編・後編にみる作庭技術とその流布に関する基礎的研究	髙橋　知奈津	文化遺産部　遺跡研究室長	若手研究【延長】	0	2,340 （R2～R5）
52	大破した寺院聖教の保存・活用にむけた調査方法に関する研究	橘　悠太	文化遺産部　歴史史料研究室　客員研究員	若手研究【延長】	0	3,250 （R3～R5）
53	残材と周辺植生に基づく古墳時代集落における木材調達とその利用に関する研究	浦　蓉子	都城発掘調査部　平城地区考古第一研究室　研究員	若手研究	780	3,900 （R3～R6）
54	3Dデジタル技術等の多角的応用による土器製作者の動的身体技法復元	平川　ひろみ	埋蔵文化財センター　遺跡調査技術研究室　客員研究員	若手研究	1430	4,680 （R6～R8）
55	平安京・大和国における瓦生産・流通構造―9～12世紀を中心に―	田中　龍一	都城発掘調査部　平城地区考古第二研究室　研究員	研究活動スタート支援【再延長】	0	2,340 （R3～R4）
56	顕在化した遺跡である古墳が持つ顕著な文化財的価値とその現在的な利活用に関する研究	川畑　純	都城発掘調査部　主任研究員	研究活動スタート支援【延長】	0	2,860 （R4～R5）
57	戦後文化財修理としての桂離宮御殿整備工事の研究―合成樹脂を始めとした新技術の導入	髙野　麗	文化遺産部　建造物遺構研究室　研究員	研究活動スタート支援【延長】	0	2,860 （R4～R5）
58	古墳壁画の漆喰下地がCu含有顔料に及ぼす劣化機構の解明	大迫　美月	埋蔵文化財センター　保存修復科学研究室　アソシエイトフェロー	研究活動スタート支援	1430	2,860 （R5～R6）
59	博物館施設を拠点とする現代飛鳥地域の景観変化と地域特性の再構築	竹内　祥一朗	飛鳥資料館　学芸室　研究員	研究活動スタート支援	1300	2,730 （R5～R6）
60	日本産材に適応した少数年輪試料に対する年輪年代学的解析手法の開発	星野　安治	埋蔵文化財センター　年代学研究室長	特別研究員奨励費	1000	2,000 （R6～R7）
61	中央アジアにおける上部旧石器時代初期石器群の石材利用研究	須賀　永帰	PD	特別研究員奨励費	1300	3,900 （R6～R8）
62	木質遺物の年輪年代を情報源とした古代の遺跡における高精度年代体系構築	前田　仁暉	埋蔵文化財センター　年代学研究室 PD	特別研究員奨励費	1300	3,900 （R6～R8）
63	発掘調査GISデータベースの構築と災害研究・遺跡管理への活用	武内　樹治	企画調整部　文化財情報研究室　アソシエイトフェロー	特別研究員奨励費	900	1,800 （R5～R6）

3）科学研究費補助金と学術研究助成基金助成金の両方からの交付を受けた調査研究　0件

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】
1）科学研究費補助金のみ　0件

2）学術研究助成基金助成金のみ 2件

	研究テーマ	氏名	役職	研究種目	当年度の交付決定額 （採択時）（千円）	全研究期間での 交付決定額（千円） 〈研究期間〉
1	琉球列島及び東南アジア島嶼部における干潟の資源利用文化に関する人類学的研究	辻　貴志	アソシエイトフェロー	基盤C	1,300	4,030
2	越境する旅行記録を対象とした初期アマチュア映画の協働目録作成に関する試行的研究	松山ひとみ	アソシエイトフェロー	研究活動スタート支援	1,300	2,600

3）科学研究費補助金と学術研究助成基金助成金の両方からの交付を受けた調査研究　0件

c-⑧ 客員研究員一覧

令和7年3月31日現在

国立文化財機構合計	博物館計	東京国立博物館	京都国立博物館	奈良国立博物館	九州国立博物館
158人	56人	36人	12人	8人	0人
	文化財研究所計	東京文化財研究所	奈良文化財研究所		
	95人	43人	52人		
	アジア太平洋無形文化遺産研究センター	本部文化財防災センター			
	0人	7人			

【東京国立博物館】 36人

	氏 名（所 属）	研 究 課 題
1	松原　茂（公益財団法人根津美術館理事・副館長）	絵画に関する研究
2	宮永 美知代（人とかたち研究所主宰）	解剖学・美術解剖学及び医学関係の館史資料に関する調査研究
3	東野　治之（公益財団法人武田科学振興財団杏雨書屋館長）	法隆寺献納宝物の資料の研究
4	田辺　龍太（一般財団法人水原フィラテリー財団学芸員）	切手に関する調査研究
5	金子　浩昌（日本考古学協会員）	日本考古・民族資料の骨角牙製品に関する調査研究
6	湊　信幸（元東京国立博物館副館長）	絵画に関する研究
7	鍋島　稲子（台東区立書道博物館主任研究員）	中国書跡の調査研究
8	西岡　康宏（大倉集古館長）	東洋漆工に関する研究
9	田中　淑江（共立女子大学家政学部教授）	江戸時代を中心とする小袖に関する研究
10	佐々木　利和	アイヌ・琉球民族資料に関する調査研究
11	望月　幹夫	日本考古資料に関する調査研究
12	澤田　むつ代（名誉館員）	法隆寺献納宝物のうち法隆寺裂などの上代裂の保存と修理に関する調査研究
13	高濱　秀	中央ユーラシア青銅器に関する研究
14	加藤　雅久（居住技術研究所主宰）	帝室博物館・復興本館建設における技術史的考察
15	池田　宏（元東京国立博物館上席研究員）	工芸品、歴史資料に関する調査研究
16	田中　公明（公益財団法人中村元東方研究所専任研究員）	チベット・ネパール仏教美術の調査研究
17	日高　慎(東京学芸大学教育学部文化財科学分野(考古学)教授)	埴輪 挂甲の武人 についての調査と修理における助言
18	石松 日奈子（奈良県立万葉文化館参与）	日本所在の中国彫刻に関する調査研究
19	赤沼　多佳	茶陶の調査
20	西脇　康	貨幣の鑑別・完全非破壊品位測定

21	髙橋　裕次（立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター研究員）	書跡の料紙に関する調査研究
22	石川　岳彦（南山大学人文学部人類文化学科教授）	漢代土器の調査研究
23	藤田　晴啓（新潟国際情報大学経営情報学部経営学科教授）	考古資料デジタルデータの活用研究
24	村上　佳代（文化学園服飾博物館学芸員）	アジア遊牧民染織コレクションに関する調査研究
25	谷　豊信（元東京国立博物館学芸研究部長）	東洋列品情報整理と東洋資料図版目録作成のための調査研究
26	中川原 育子（名古屋大学人文学研究科助教）	大谷探検隊収集品の価値の再評価に向けての基礎的調査研究
27	堀内　秀樹（東京大学埋蔵文化財調査室准教授）	館蔵陶片の調査研究
28	皿井　舞（学習院大学文学部哲学科教授）	彫刻作品のX線CT撮影における調査研究
29	小林　牧	博物館教育および、東京国立博物館博物館教育史の調査研究
30	鄭　美娟（韓国国立中央博物館学芸研究士）	朝鮮絵画の悉皆調査（撮影、調書作成補助）
31	阿利　よし乃（沖縄国際大学総合文化学部講師）	琉球コレクションにおける民俗資料基礎調査
32	稲田　奈津子（東京大学史料編纂所准教授）	正倉院宝物の模写・模造の研究
33	豊久　宗玄（(株)キルトプランニングオフィス）	来館者行動評価に関する基礎的研究 展示環境の来館者行動に与えるファクターに関する基礎的研究
34	惠美　千鶴子（嚴島神社学芸員）	日本書跡の鑑賞と受容の歴史
35	武　瀟瀟	当館所蔵の中世漢画に関する研究
36	奥　健夫（武蔵野美術大学教授）	彫刻作品の調査・研究

【京都国立博物館】 12人

	氏 名（所 属）	研 究 課 題
1	宇都宮　啓吾（大阪大谷大学文学部教授）	訓点資料としての典籍に関する調査研究
2	後藤　真（国立歴史民俗博物館准教授）	文化財情報に関する調査研究
3	守屋　雅史（大阪市立東洋陶磁美術館長）	陶磁器に関する調査研究
4	赤尾　栄慶（京都国立博物館名誉館員）	古写経に関する調査研究
5	山本　英男（嵯峨美術短期大学教授）	中世絵画に関する調査研究
6	呉　孟晋（京都大学准教授）	中国絵画に関する調査研究
7	池田　宏（京都国立博物館名誉館員）	甲冑に関する調査研究
8	難波　洋三（京都国立博物館名誉館員）	弥生の青銅器に関する調査研究
9	根立　研介（京都大学名誉教授）	彫刻に関する調査研究
10	田中　健一（京都大学大学院文学研究科准教授）	彫刻に関する調査研究
11	伊東　哲夫	工芸品に関する調査研究
12	山川　曉（関西学院大学教授）	工芸品に関する調査研究

【奈良国立博物館】 8人

	氏 名（所 属）	研 究 課 題
1	井出誠之輔（九州大学大学院人文科学研究院教授）	仏教絵画の調査及び整理
2	清水昭博（帝塚山大学文学部教授）	飛鳥・奈良時代の仏教考古、斑鳩地区出土瓦の調査及び整理
3	根立研介（公益財団法人美術院理事長）	仏教彫刻の調査と整理
4	板倉聖哲（東京大学東洋文化研究所教授）	中国・朝鮮絵画の調査及び整理
5	橋詰　文之（和泉市久保惣記念美術館副館長）	金工品の調査及び研究
6	澤田　むつ代（東京国立博物館名誉館員）	染織品の調査及び研究
7	藤岡　穣（大阪大学大学院文学研究科教授）	仏教彫刻の調査と整理
8	高橋　悠介（慶応義塾大学斯道文庫准教授）	書跡の調査及び研究

【九州国立博物館】 0人

【東京文化財研究所】 43人

	氏 名（所 属）	研 究 課 題
1	三上　豊	近現代美術資料の収集・整理・公開に関する調査研究
2	丸川雄三（国立民族学博物館先端人類科学研究部教授）	近現代美術資料の収集・整理・公開に関する調査研究
3	山梨絵美子(千葉市美術館長)	文化財に関する調査研究成果および研究情報の共有に関する総合的研究
4	田中　淳（大川美術館長）	近現代美術資料の収集・整理・公開に関する調査研究
5	片山まび（東京藝術大学美術学部教授）	『売立目録』工芸部門の調査研究
6	永崎研宣（慶応義塾大学教授）	刊行物アーカイブズシステムの運用・評価に関する調査研究
7	津田徹英（青山学院大学文学部比較芸術学科　教授）	日本東洋古美術に関する資料整理とウェブ公開
8	田中　潤（学習院大学非常勤講師）	古文書の解読や絵画等に見られる服飾の解析
9	川瀬由照（早稲田大学教授）	仏教美術作品の専門的アーカイブと総合的レファレンスの拡充
10	後藤　亮子（有限会社うすき林業代表取締役社長）	日本東洋美術史の資料学的研究
11	薬師寺　君子（昭和薬科大学非常勤講師）	文化財情報の分析・活用と公開に関する調査研究
12	田良島　哲（東京国立博物館特任研究員）	専門的アーカイブと総合的レファレンスの拡充
13	片倉　峻平（東北大学学術資源研究公開センター史料館特任講師）	専門的アーカイブと総合的レファレンスの拡充
14	安永　拓世（成城大学准教授）	美術作品の様式表現・制作技術・素材に関する複合的研究と公開
15	山崎　剛（金沢美術工芸大学教授）	無形文化財の保存・継承に関する調査研究
16	俵木　悟（成城大学文芸学部教授）	無形民俗文化財の保存・活用に関する調査研究
17	大西秀紀（京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター客員研究員）	音声映像記録に関する調査研究
18	飯島　満	古典芸能に関する資料の整理・分析・アーカイブ化

19	森下愛子（公益財団法人泉屋博古館分館学芸課学芸員）	工芸技術（主に陶芸分野）に関する調査研究
20	宮田繁幸（東京福祉大学大学院特任教授）	ユネスコ無形文化遺産条約に関わる調査研究及び情報収集
21	神野知恵（岩手大学准教授）	無形文化遺産保護に関する研究交流・情報収集
22	谷垣内和子	無形文化財の保存・継承に関する調査研究
23	伊藤　純（川村学園女子大学准教授）	無形民俗文化財の保存・活用に関する調査研究
24	川野邊渉	文化財修復材料と伝統技術に関する研究
25	佐野真規	沖縄久高島イザイホー映像記録データベース
26	金子健（武蔵野大学准教授）	無形文化財（古典芸能・諸芸）の保存・継承に関する調査研究
27	伊庭千恵美（京都大学大学院工学研究科准教授）	文化財の保存環境と維持管理に関する調査研究
28	藤井義久（京都大学大学院農学研究科教授）	木造建造物の生物被害対策の研究
29	本多貴之（明治大学理工学部准教授）	伝統的修復材料と伝統技術に関する研究
30	北原博幸（トータルシステム研究所代表）	文化財生物劣化の分子生物学的手法による機構解明と環境調和型対策
31	山本記子（一般社団法人国宝修理装潢師連盟代表理事）	国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策に関する調査研究
32	貴田啓子（東京藝術大学准教授）	文化財修復材料と伝統技術に関する研究
33	岡田　健（奈良大学特別研究員）	法隆寺金堂壁画をはじめとする文化財の化学分析調査
34	片山葉子（東京農工大学名誉教授）	高松塚・キトラ古墳壁画及び他の装飾古墳等における微生物生態学的調査研究
35	苅田重賀（一般財団法人日本航空協会文化情報室専任部長）	近代文化遺産（特に航空関連）の保存修復に関する調査・研究
36	古田嶋智子（国立アイヌ民族博物館研究主査）	博物館で用いるためのサンプリングバッグによる放散試験方法の開発
37	宇髙健太郎	伝統材料・技法に関する複合的調査研究
38	大河原典子（鎌倉女子大学児童学部児童学科教授）	在外日本古美術品保存修復協力事業の修復研究及び技術移転の手法研究
39	杉山恵助（東北芸術工科大学芸術学部文化財保存修復学科教授）	在外日本古美術品保存修復協力事業における修復手法研究、国際研修での技術移転方法に関する研究
40	山田大樹（帝京大学文化財研究所講師）	南アジア・西アジア地域等における歴史的都市・集落保存に関する研究
41	境野飛鳥（東北大学研究推進・支援機構　リサーチ・マネージメントセンター特任講師（運営））	文化財保護制度に関する研究
42	邱君妮（東京藝術大学共創拠点推進機構特任研究員）	協働的な博物館活動に関する研究ーオランダ「共有の文化遺産」概念の検証
43	片渕奈美香	初期合成染料の導入と染色法に関する研究

【奈良文化財研究所】 52人

	氏 名（所 属）	研 究 課 題
1	小林謙一	武器・武具を中心とする遺物及びその調査技術、文化財情報の蓄積、国内外の文化財保護に関する指導助言
2	杉山洋（龍谷大学文学部歴史学科特任教授）	カンボジアプロジェクトを中心とした国際協力事業への参加・助言
3	羽生淳子（カリフォルニア大学バークレー校日本研究センター長、大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所客員教授）	研究所の研究活動へ国際的な視野と新たな研究課題の点からの指導助言

4	森本晋（ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所所長）	奈文研がおこなう国際協力事業への助言
5	西原和代	国際遺跡研究室がおこなう国際支援活動等における助言
6	廣瀬智子	考古系展示施設に関わる調査研究、教育普及事業および展示活動等に対する助言
7	前川歩（畿央大学健康科学部人間環境デザイン学科講師）	近現代建築に関する調査・研究
8	小野健吉（大阪観光大学教授）	庭園史研究・遺跡整備研究についての指導・助言
9	Emmanuel MARES（京都産業大学文化学部文化学科准教授）	森蘊旧蔵資料・村岡正旧蔵資料の整理に関する助言
10	小浦久子（神戸芸術工科大学芸術工学部環境デザイン学科教授）	運営費交付金でおこなう文化的景観に関する基礎的・体系的な研究
11	橘悠太	歴史史料研究室所蔵の調書・写真類の調査
12	杉本一樹（宮内庁正倉院事務所調査員）	文化遺産部歴史史料研究室における正倉院文書関連研究などに対する指導・助言
13	舘野和己（奈良女子大学名誉教授 大阪府立近つ飛鳥博物館長）	木簡の整理・釈読等に関する指導・助言
14	方国花（韓国慶北大学人文学術院HK研究教授）	東アジア木簡の共同研究
15	渡邉晃宏（奈良大学文学部教授）	木簡の整理・釈読に関する指導・助言
16	藤間温子	墨書木製品の調査研究
17	水谷友紀（京都府立大学共同研究員）	近世の大和国内における地震被害状況の史料の確認及び読解、平城京・奈良を中心とする地域の近世文書、特に地方文書の調査を実施し、その調査成果をふまえ、平城京・奈良地域の産業・地域的特色を明らかにする。
18	岩永省三	古代都城制および都城出土遺物の調査・研究
19	難波洋三	都城および寺院出土の金属器等の調査・研究
20	青木敬	官衙・集落に関するデータベース拡充に関する指導・助言
21	巽淳一郎	中国河南省文物考古研究所との共同研究「東アジアにおける生産遺跡の調査研究協力」に参加
22	深澤芳樹	学報の編集作業にかかる弥生土器整理における学術的な助言
23	岩戸晶子（奈良大学文学部文化財学科教授）	古代瓦研究にたいする助言および鬼瓦や鴟尾の共同研究
24	諫早直人（京都府立大学文学部歴史学科准教授）	飛鳥藤原地区出土金属器の調査研究への助言、および中国遼寧省文物考古研究所と行う共同研究「３－６世紀日中古代遺跡出土遺物の比較研究」への参加
25	上原眞人（公益財団法人辰馬考古資料館長）	都城発掘調査部考古第一研究室の出土木器整理、調査・研究への指導、助言
26	松村恵司	都城発掘調査部考古第一研究室の出土木器・金属器整理、研究に関する指導、助言
27	大賀克彦（奈良女子大学古代学学術研究センター特任講師）	古代における玉類の生産と流通に関する調査研究
28	小椋大輔（京都大学大学院工学研究科教授）	文化財の保存環境の研究
29	北田正弘	考古遺物等の調査分析
30	金旻貞（株式会社修美保存科学部長）	彩色文化財の材料調査業務
31	肥塚隆保	古墳壁画の保存修理業務
32	杉岡奈穂子	壁画等の材料調査業務

33	髙取伸光（京都大学大学院工学研究科助教）	文化財の保存環境および遺跡の塩害に関する研究
34	辻本與志一（株式会社文化財保存）	古墳壁画の保存修理業務
35	中村力也（宮内庁正倉院事務所保存課長）	奈良時代の遺物および古代壁画等の材料調査業務
36	福永香（国立研究開発法人情報通信研究機構電磁波研究所電磁波先進研究センター長、(クロスアポイントメント)横浜国立大学）	文化財の非破壊診断調査
37	村上隆（京都美術工芸大学工芸学部美術工芸学科特任教授）	考古遺物の保存科学
38	三村衛（一般財団法人GRI財団代表理事）	文化財の保存環境の研究
39	中田愛乃（大阪大学特任研究員）	彩色文化財の材質分析等
40	大江文雄	遺跡出土資料の指導助言や調査研究
41	伊東隆夫（京都大学名誉教授）	木造文化財の木材組織学的研究
42	光谷拓実	木造文化財の年輪年代学的研究
43	小澤毅（三重大学人文学部教授）	遺跡及びその調査技術に関する研究
44	岸田徹（同志社大学文化遺産情報科学調査研究センター嘱託研究員）	遺跡探査法の開発および遺跡探査の知見からの考古学研究の推進
45	狭川真一（大阪大谷大学文学部歴史文化学科教授、㈶元興寺文化財研究所副所長）	遺跡及びその調査技術に関する研究
46	髙野紗奈江（京都大学大学院文学研究科非常勤講師）	山内清男縄文原体関係資料の調査および指導
47	中川朋美（名古屋大学大学院人文学研究科准教授）	出土古人骨への形態測定学・三次元計測手法の開発研究の推進
48	西口和彦	遺跡探査の研究
49	西山昭仁（京都大学防災研究所地震・火山研究グループ非常勤研究員）	「地震関連史料に基づく前近代の内陸地震の調査」事業への協力
50	野下浩司（九州大学理学研究院助教）	考古資料への形態測定学・三次元計測手法の開発研究の推進
51	平川ひろみ（鹿児島国際大学非常勤講師）	三次元計測手法の開発及び民族学的知見からの考古学研究の推進
52	ヴォイティシェック エレーナ（京都外国語大学外国語学部 教授）	水中遺跡PTが推進する水中遺跡の調査研究において、自らの研究実績に基づき、学術的な助言と協力、及び共同での論文執筆等を行う

【アジア太平洋無形文化遺産研究センター】 0人

【本部文化財防災センター】 7人

	氏 名（所 属）	研 究 課 題
1	天野真志（大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館准教授）	地域防災体制の構築、災害時ガイドライン等の整備
2	岡田健（奈良大学文学部教授）	災害時ガイドライン等の整備
3	鶴岡典慶（京都女子大学家政学部教授）	災害時ガイドライン等の整備、レスキュー及び収蔵・展示における技術開発
4	浜田拓志（元和歌山県立近代美術館副館長）	災害時ガイドライン等の整備
5	日髙真吾（大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立民族学博物館人類基礎理論研究部教授）	災害時ガイドライン等の整備、レスキュー及び収蔵・展示における技術開発
6	前川歩（畿央大学健康科学部専任講師）	災害時ガイドライン等の整備、レスキュー及び収蔵・展示における技術開発
7	松下正和（国立大学法人神戸大学地域連携推進室特命准教授）	地域防災体制の構築、レスキュー及び収蔵・展示における技術開発

d ウェブサイトアクセス件数

令和7年3月31日現在

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
国立文化財機構	302,279	409,102	379,623	422,016	524,744
文化財活用センター※4	124,300	114,951	166,535	94,525	29,156
e国宝※4	1,952,296	650,197	818,665	193,341	159,010
国立文化財機構所蔵品統合検索システム（ColBase）※4	140,553	142,970	250,005	106,174	172,982
国立文化財機構寄附ポータルサイト	3,998	6,166	11,698	8,856	15,139
文化財防災センター※1	219,544	52,561	18,111	167,561	232,327
東京国立博物館※4	7,021,923	11,382,143	10,569,749	10,377,906	11,843,900
京都国立博物館※2	3,480,100	3,514,043	1,948,061	2,262,584	1,573,710
奈良国立博物館※4	1,082,864	1,236,917	1,129,746	1,374,092	2,082,768
九州国立博物館※4	824,819	977,605	1,430,301	1,726,318	1,492,580
皇居三の丸尚蔵館※3				945,068	5,324,685
東京文化財研究所	5,094,252	3,865,899	3,457,717	5,455,299	7,009,953
奈良文化財研究所	15,138,198	10,467,301	11,020,663	16,549,750	31,358,951
アジア太平洋無形文化遺産研究センター※4	13,284	15,472	17,146	44,229	65,776

・アクセス件数の単位は、ユーザーセッション数。

・「文化財活用センター」及び「文化財防災センター」以外の施設は、データベースのアクセス件数を含む。

※1 2年度までは、文化財防災ネットワークのウェブサイトアクセス件数。（3年度のウェブサイトリニューアルにより統合）

※2 ウェブサイトの解析システム変更のため、4年度のウェブサイトアクセス件数は、旧解析システム期間（4/1～5/17）及び新解析システム期間（5/18～3/31）のアクセス数を合算し実績値とした。

※3「皇居三の丸尚蔵館」webサイトは5年10月1日に開設。

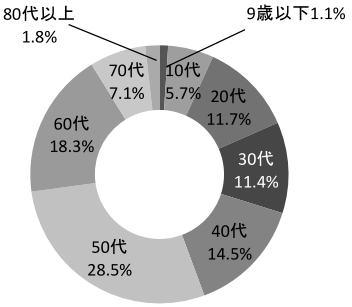
※4 5年度よりウェブサイト解析システムのバージョン変更による計測方法変更があった。

※5 6年度は4/1～11/30の数値。詳細は個別表1323Dを参照。

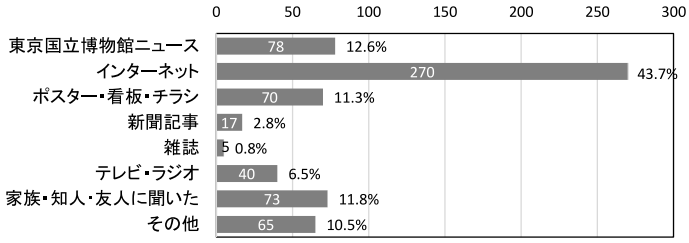
平常展（総合文化展）
アンケート集計結果

開催期間：令和6年4月1日（月）～令和7年3月31日（月） うち開館日数：309日間
アンケート実施日：4月13日　5月18日　6月8日　8月10日　9月16日　10月12日　11月3日　12月14日　2月8日（計9回）
回答者数：日本語745人、英語204人
アンケート実施日総合文化展来館者数： 63,202人
アンケート回収率：1.5%

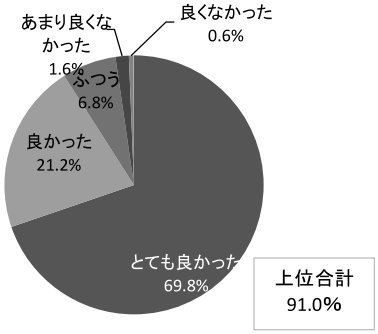
①アンケート回答年齢層



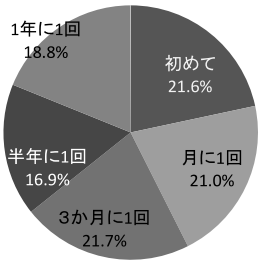
②認知経路 （複数回答）



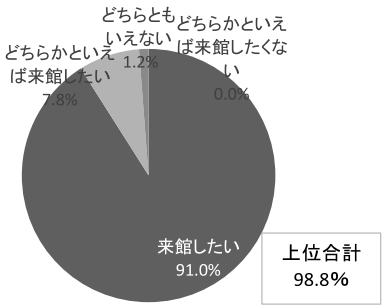
③展示に関する満足度



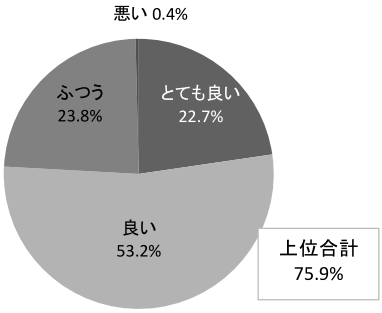
④来館頻度



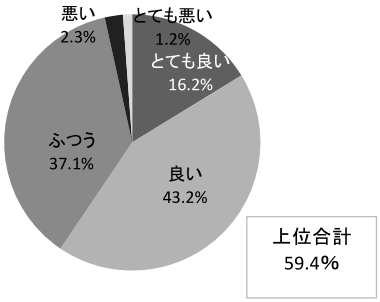
⑤再来館希望率



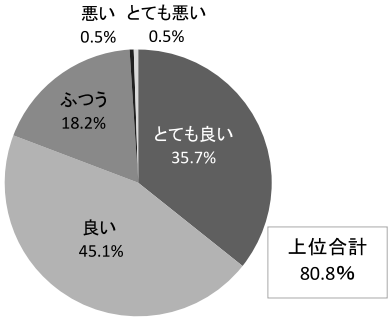
⑥ミュージアムショップに対する満足度



⑦レストランに対する満足度



⑧館内スタッフの対応について

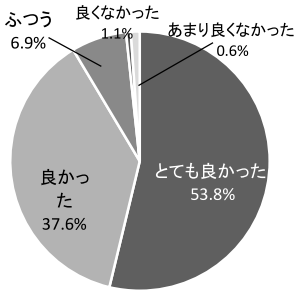


主な意見・感想

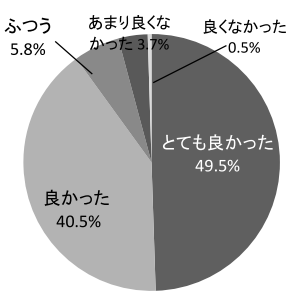
- 予想以上にボリュームが多く、満足感があった。
- その日にどの作品が展示されているか、わかりやすく告知してほしい。
- 館内Wi-Fiがつながりにくい。
- 敷地内に軽食・チェーンのカフェのような店舗が欲しい
- 書には書き下し文や現代語訳をつけてほしい。
- 夜間開館が20時まであることでじっくり見られて助かっている
- 休憩場所を増やしてほしい

《外国人アンケート集計結果》

1.（外国人アンケート）施設の案内・説明・看板



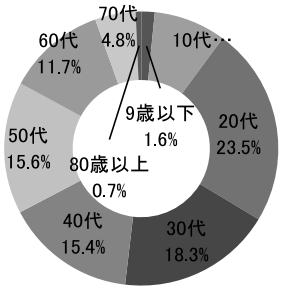
2.（外国人アンケート）展示のパネル、キャプション



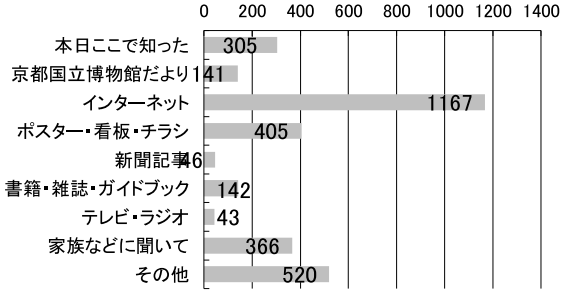
平常展（名品ギャラリー）
アンケート集計結果

開催期間：令和6年6月18日（火）～令和6年9月8日（日）　開館日数：72日間
　　令和7年1月2日（木）～令和7年3月23日（日）　開館日数：70日間
回答者数：2,037人
来館者数：136,737人（平常展開催期間のみ）
アンケート回収率：1.5%

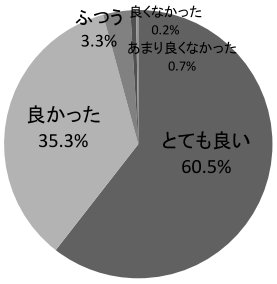
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）

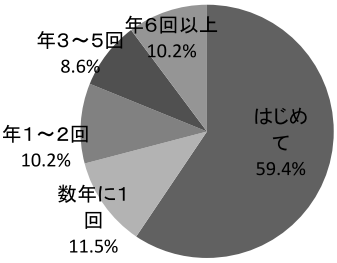


③展示に関する満足度



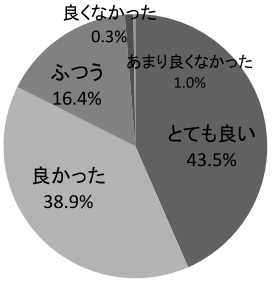
上位合計
95.8%

④来館頻度



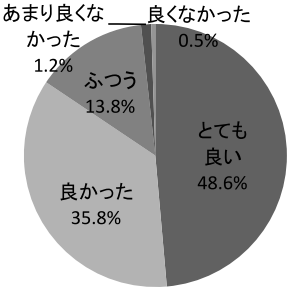
上位合計
18.9%

⑤ミュージアムショップに対する満足度



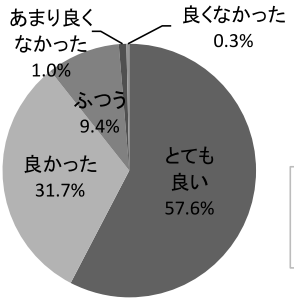
上位合計
82.4%

⑥カフェに対する満足度



上位合計
84.5%

⑦館内スタッフの対応について



上位合計
89.4%

主な意見・感想
・ゆったりと鑑賞できた
・撮影を許可してほしい
・ミュージアム・カートがとても勉強になった
・夜間開館がよかった
・解説の文字が小さすぎる
・若い人にはやや退屈

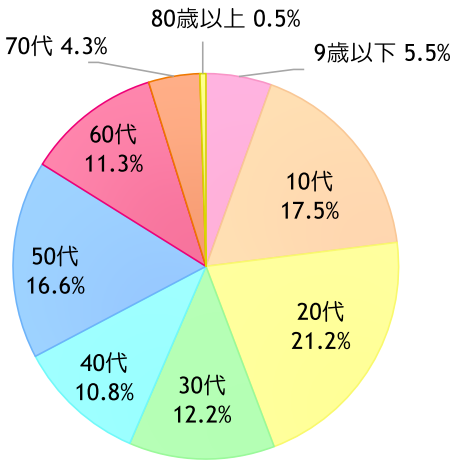
奈良国立博物館

平常展（名品展）アンケート集計結果

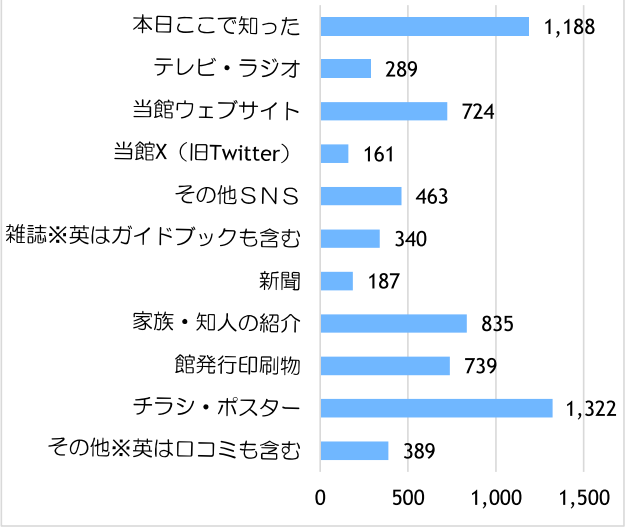
開催期間　令和6年4月1日(月)　～　令和7年3月31日(月)　開館日数　315日
回答者数　4,120人　入館者数　232,841人　アンケート回収率　1.77%
（日本語：　2,935人　/英語：　1,185人　）

日本語内訳		英語内訳	
記述	2544	記述	1008
Web	391	Web	177

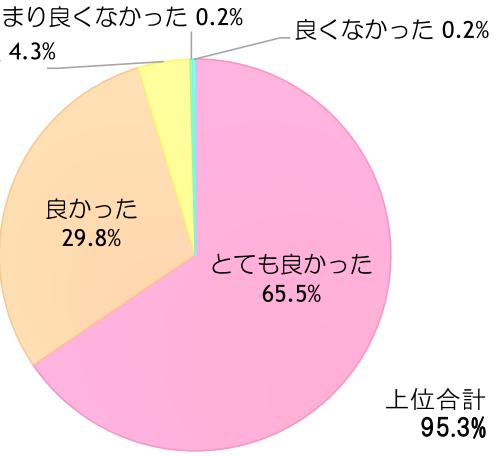
①年齢層



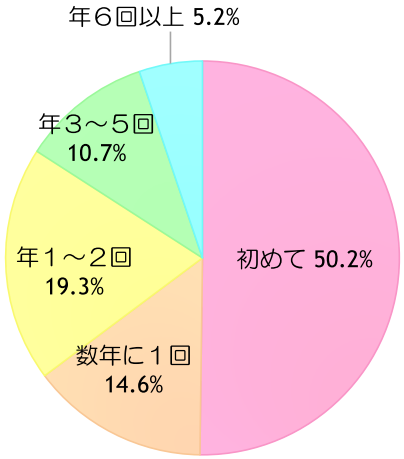
②認知経路（複数回答）



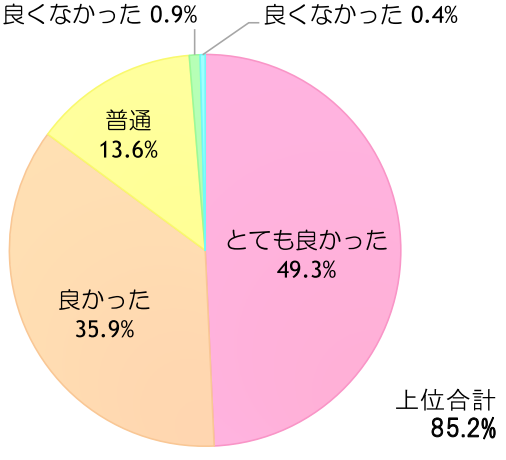
③展示に関する満足度



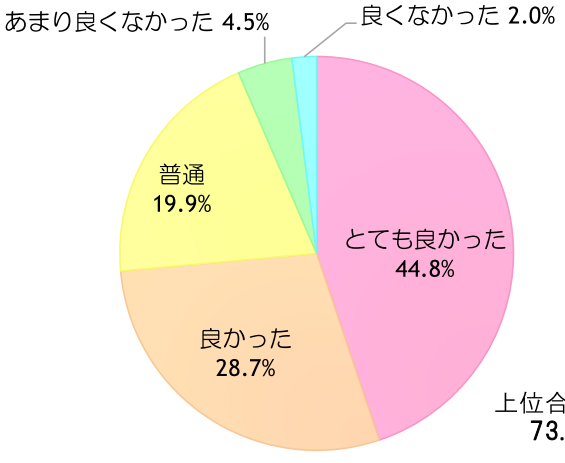
④来館頻度



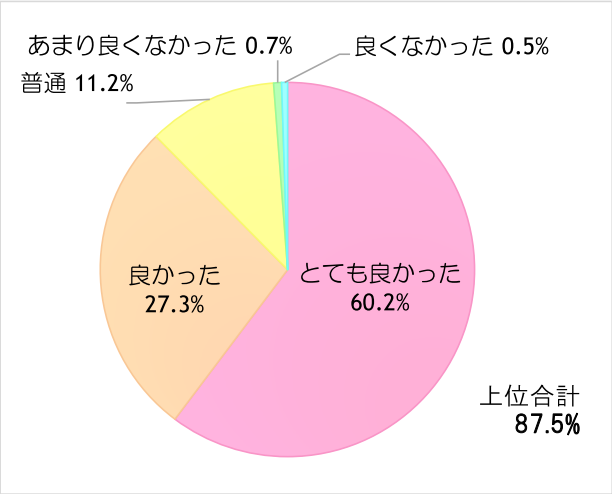
⑤ミュージアムショップに対する満足度



⑥レストランに対する満足度

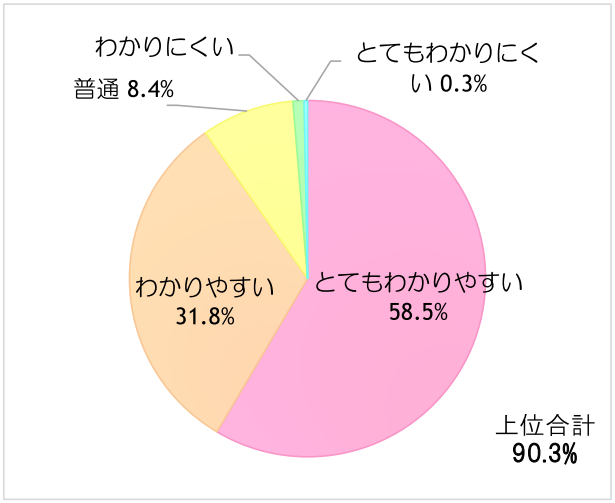


⑦スタッフ対応に関する満足度

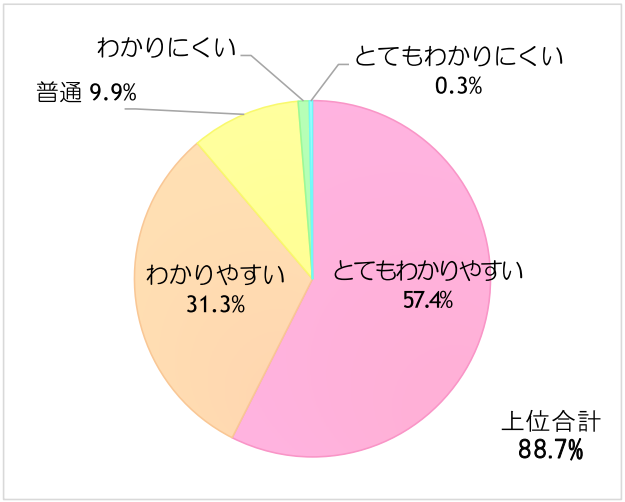


《外国人アンケート集計結果》

1．（外国人アンケート）
施設の案内・説明・看板について



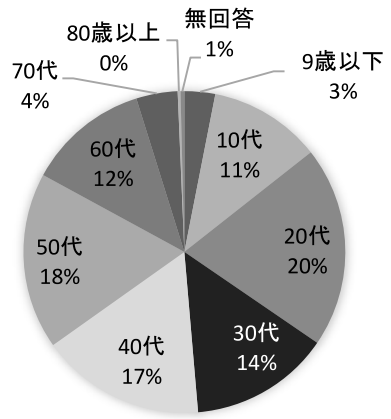
2．（外国人アンケート）
展示のパネル・キャプションについて



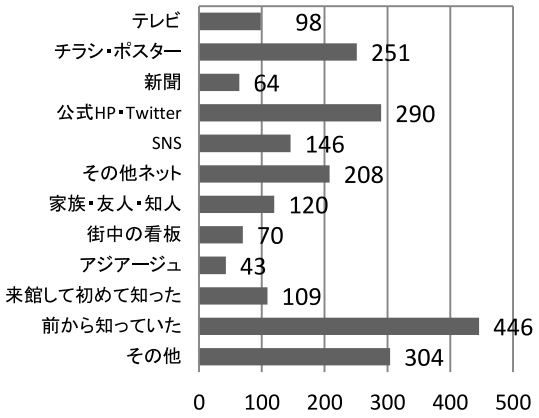
文化交流展　アンケート集計結果

開催期間：令和6年4月1日(月)～令和7年3月31日(月)　開館日数:307日間
回答者数：1,488人　来館者数：285,699人　アンケート回収率：0.52%

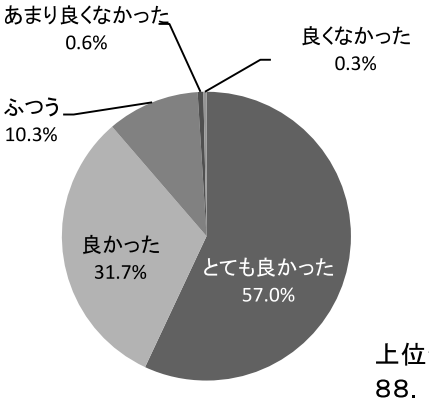
①年齢層



②認知経路（複数回答）

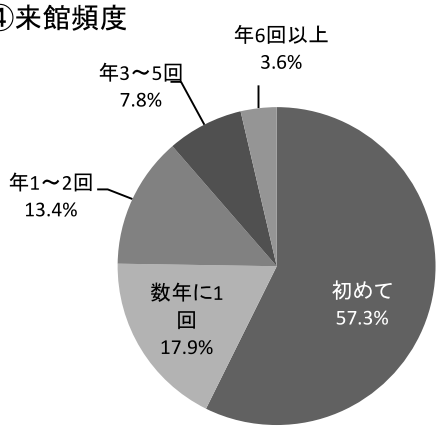


③平常展の満足度

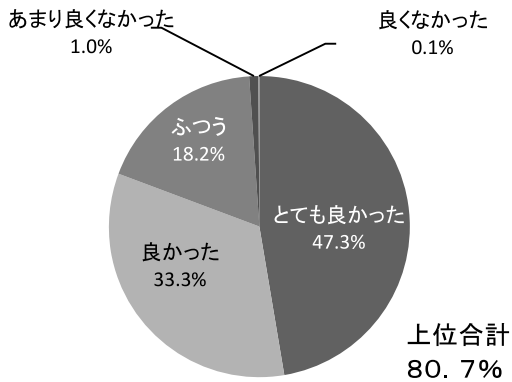


上位合計の平均
88．7%

④来館頻度

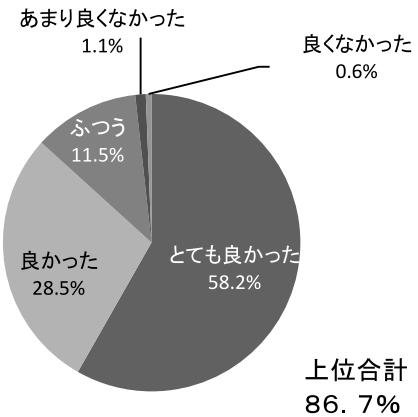


⑤ミュージアムショップに対する満足度



上位合計
80．7%

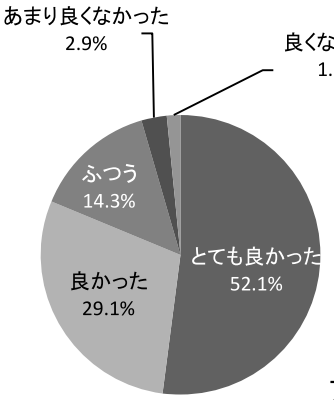
⑥館内スタッフの対応について



上位合計
86．7%

主な意見・感想
・他の国立博物館よりも開放感があってとても良いと思います。
・20周年のポスター展示がよかった。
・テーマに沿った展示は分かりやすくとても良いです。規模も適度で良いと思います。
・初めての来館でしたが、案内にルートごとの所要時間が記載されていて目安になって良かったです

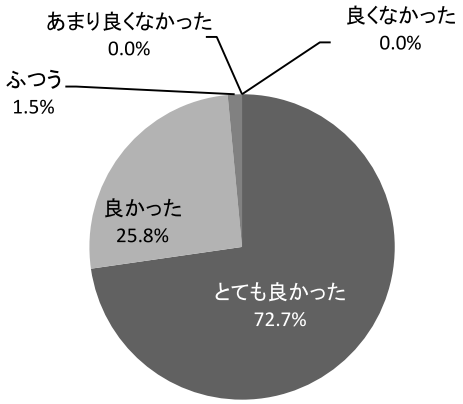
⑦レストランに対する満足度



上位合計
81．2%

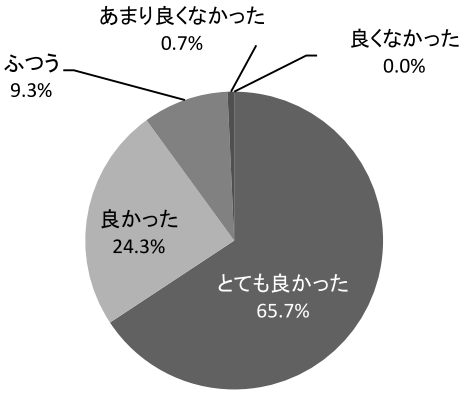
《外国人アンケート集計結果》
回答者数：140人

１．（外国人アンケート）
施設の案内・説明・看板について



上位合計
98．5%

２．（外国人アンケート）展示のパネル・キャプションについて



上位合計
90．0%

主な意見・感想
・とても親切なスタッフと興味深い展示が非常によくプレゼンテーションしてありました。
・素晴らしい体験になりました。ここが大好きです。

皇居三の丸尚蔵館　アンケート集計結果

開催期間 ：①「近世の御所を飾った品々」 令和6年3月12日(火)～5月12日(日) ※開館記念展「皇室のみやび―受け継ぐ美―」第3期
②「三の丸尚蔵館の名品」 令和6年5月21日(火)～6月23日(日) ※開館記念展「皇室のみやび―受け継ぐ美―」第4期
③「いきもの賞玩」 前期：令和6年7月9日(火)～8月4日(日) 後期：令和6年8月6日(火)～9月1日(日)
④「花鳥風月　水の情景・月の風景」 令和6年9月10日(火)～10月20日(日)
⑤「公家の書/皇室の美術振興」 前期：令和6年10月29日(火)～11月24日(日) 後期：令和6年11月26日(火)～12月22日(日)
⑥「瑞祥のかたち」 前期：令和7年1月4日(土)～2月2日(日) 後期：令和7年2月4日(火)～3月2日(日)

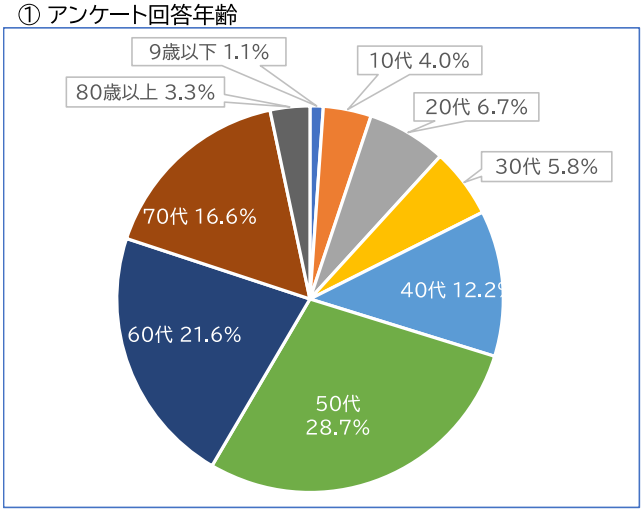
アンケート実施日 ：①令和6年4月28日(日)、29日(月・祝) ②令和6年6月8日(土)、9日(日) ③令和6年7月20日(土)、21日(日)
④令和6年9月21日(土)、22日(日) ⑤令和6年11月16日(土)、17日(日) ⑥令和7年1月25日(土)、26日(日)

回答者数 ： ①740人 ②800人 ③535人 ④679人 ⑤389人 ⑥480人

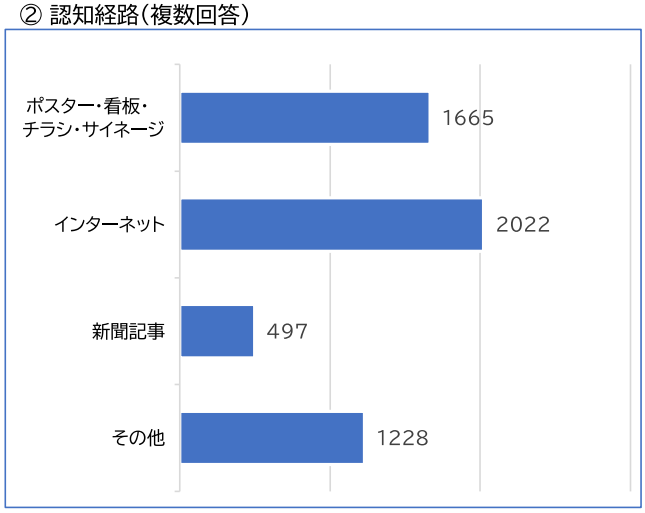
アンケート実施日の来館者数 ： ①2,721人 ②3,436人 ③1,834人 ④1,873人 ⑤1,475人 ⑥2,901人

アンケート回収率 ： ①27.2% ②23.3% ③29.2% ④36.3% ⑤26.4% ⑥16.5%

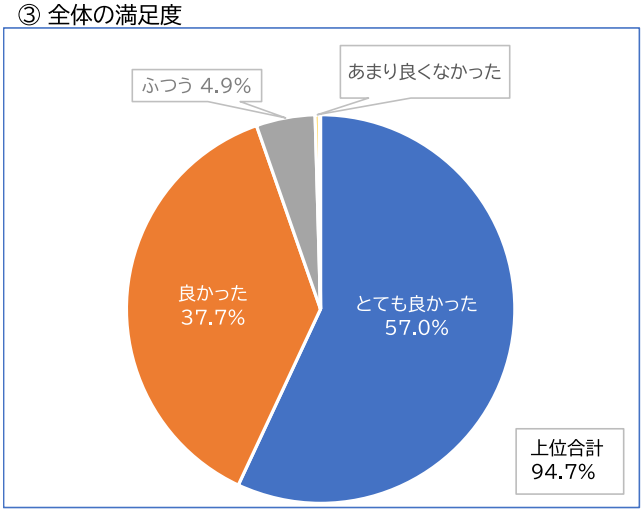
① アンケート回答年齢



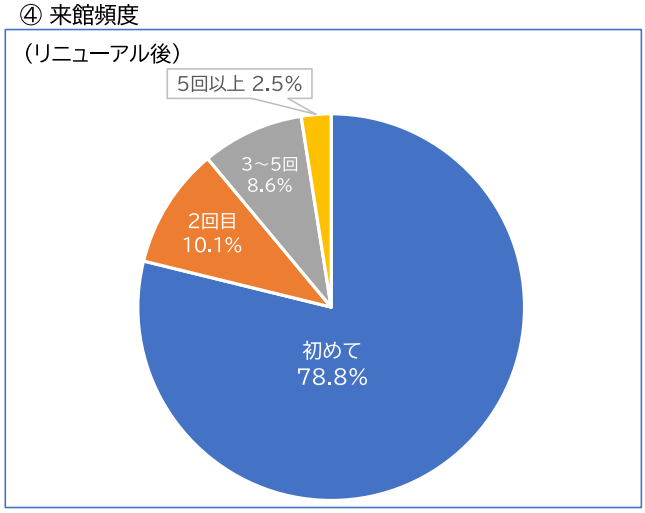
② 認知経路(複数回答)



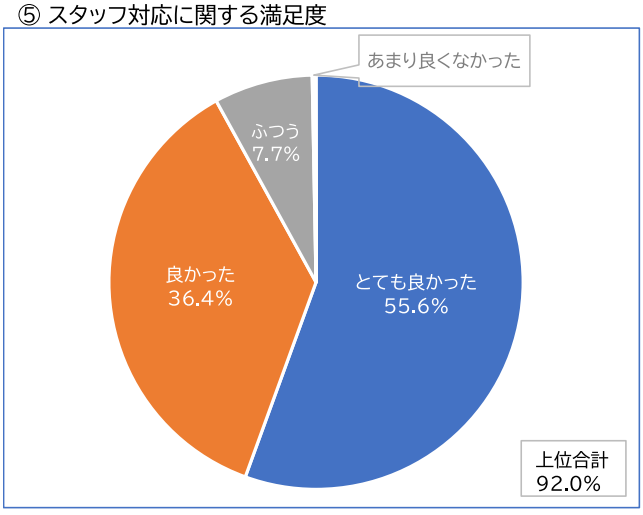
③ 全体の満足度



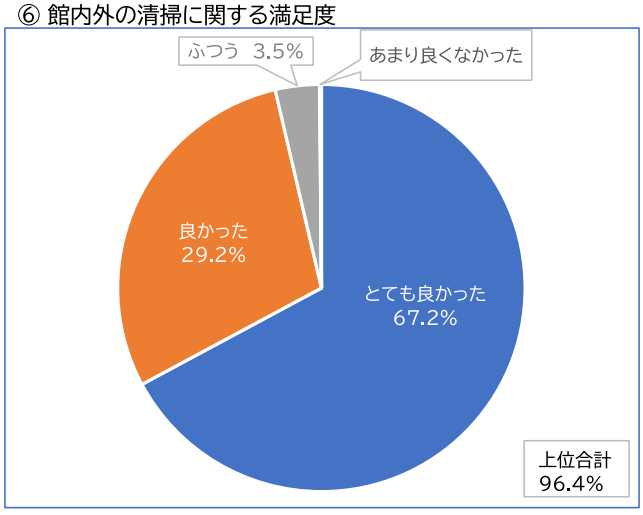
④ 来館頻度
(リニューアル後)



⑤ スタッフ対応に関する満足度



⑥ 館内外の清掃に関する満足度

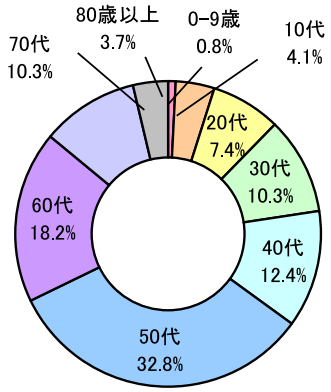


建立900年　特別展「中尊寺金色堂」

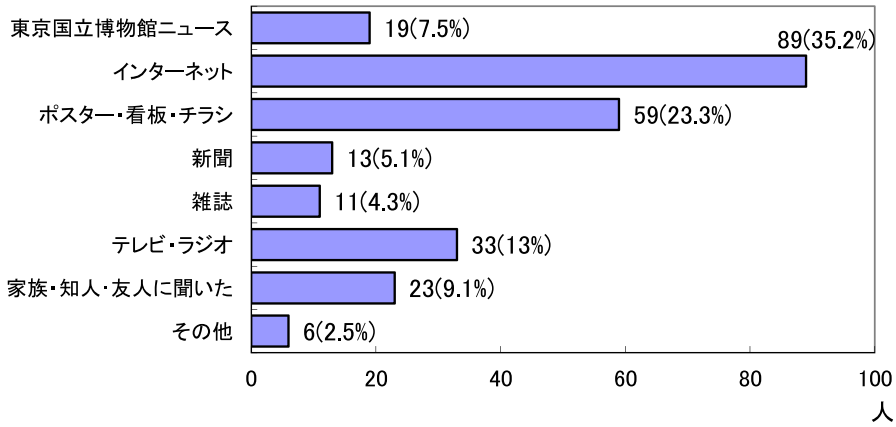
アンケート集計結果

令和６年１月２３日（火）～４月１４日（日）（会期日数：７２日）
総入館者数：２５２，６０１人
回答者数：２４１人

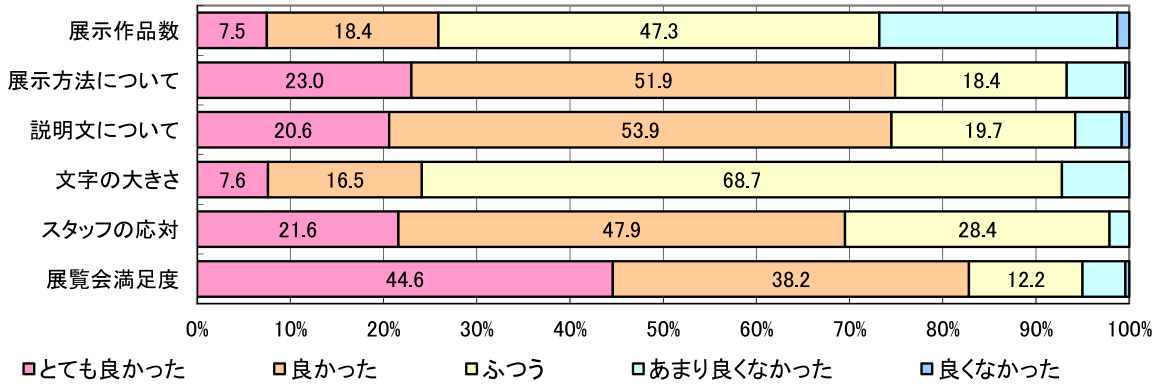
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想
・なかなか行けない中尊寺金色堂の仏像群が東京で見られてよかった
・普段は正面からしか見られない仏像が、至近距離で、裏側まで見ることができてよかった
・8K映像で細部を拡大して見ることができよかった

・混雑であまりゆっくりと見られなかった

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品数	25.5	1.3
展示方法	6.3	0.4
説明文	5.0	0.8
文字サイズ	7.2	0.0
スタッフの応対	2.1	0.0
展覧会の満足度	4.6	0.4

（%）

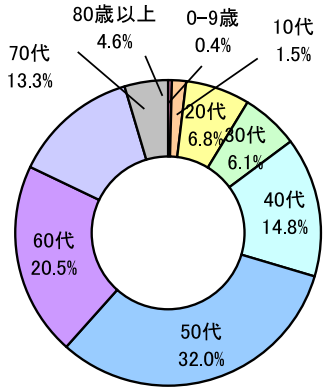
本展は中尊寺金色堂の上棟の天治元年（1124）を建立年ととらえ、建立900年を記念して開催する特別展です。国宝の仏像11体が一堂にそろうほか、かつて金色堂を荘厳していた国宝・金銅迦陵頻伽文華鬘をはじめとした工芸品の数々を紹介しており、展覧会会場入口では、さながら現地にいるような臨場感で金色堂をデジタル拝観できる8K映像の上映も行いました。
アンケートでは、現地ではなかなか見られない仏像の背面まで、至近距離で観覧できる展示方法が好評でした。

会期全体で25万人超の来場者があったように、非常に盛況な特別展となりましたが、混雑状況に対するご意見も多く、人の多さゆえにじっくり観覧することができなかったという声もありました。
中尊寺金色堂そのものの認知度・注目度の高さもさることながら、国宝の仏像群、文化財を東京で見られる展覧会として多くの来館者に繋がった形となりました。
今回のアンケート結果を参考に、引き続き、観覧環境の向上に努めてまいります。

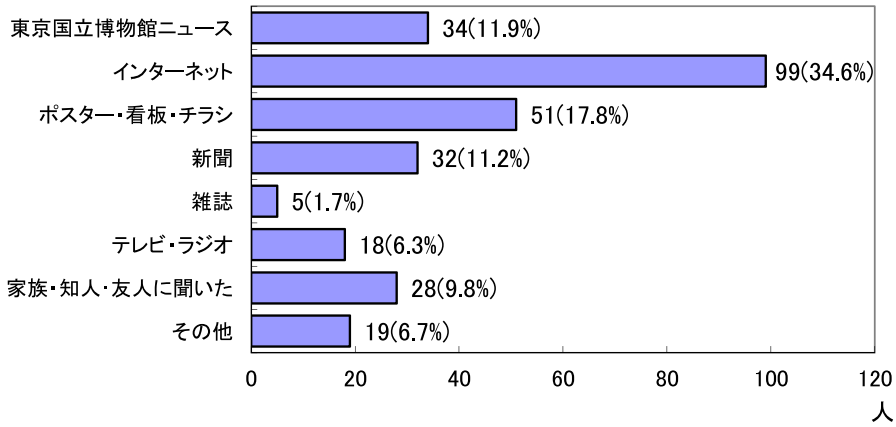
特別展「法然と極楽浄土」
アンケート集計結果

令和６年４月１６日（火）～６月９日（日）（４９日間）
総入館者数：１１９，０２４人
回答者数：２６８人

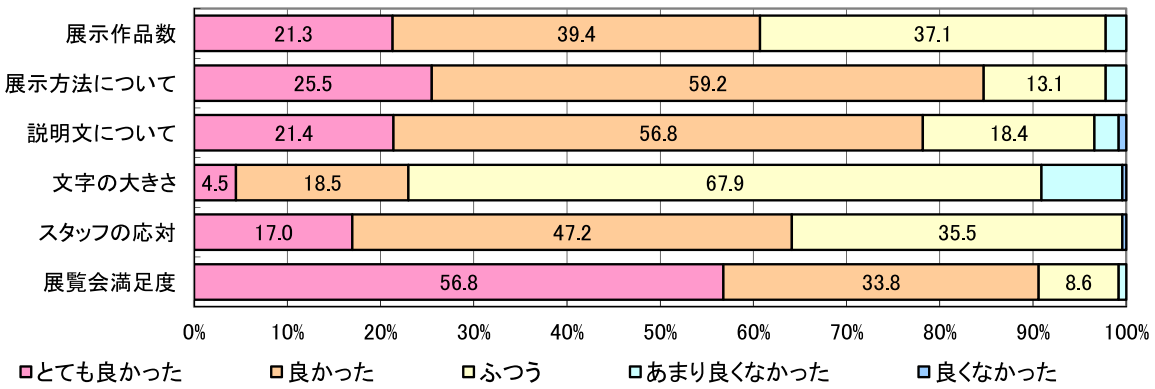
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想
・早来迎が見られてよかった
・時系列を追って見ることができた
・仏涅槃群像コーナーで撮影ができてよかった
・作品に描かれている内容の詳しい説明や現代語訳があるとなお良かった

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品数	2.2	0.0
展示方法	2.2	0.0
説明文	2.6	0.8
文字サイズ	8.7	0.4
スタッフの応対	0.0	0.4
展覧会の満足度	0.8	0.0

（%）

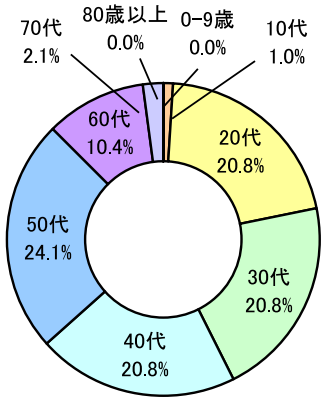
本展では、令和6年（2024）に浄土宗開宗850年を迎えることを機に、法然による浄土宗の立教開宗から850年に及ぶ美術と歴史を、全国の浄土宗各派の諸寺院等が所蔵する国宝、重要文化財を含む貴重な名宝によって通覧しました。
修理後初公開の国宝「阿弥陀二十五菩薩来迎図（早来迎）」や、国宝「綴織當麻曼荼羅」、「仏涅槃群像」といった優品から、「選択本願念仏集（廬山寺本）」といった法然にちなむ資料、また東京会場では篤い帰依をしていた徳川将軍家の名宝や関東の浄土宗にスポットを当て、時系列に沿った展示をおこないました。本展は、京都国立博物館、九州国立博物館にも巡回します。
ご覧になったお客様からは、「『早来迎』を見られて良かった」など展示構成全般、撮影コーナーの設置など運営全般に対して、好評をいただきました。一方で、特に絵巻や書跡の展示に対して、「もう少し展示作品の内容説明や現代語訳があるとよりよい」とのご意見をいただきました。
今回のアンケート結果を参考に、引き続き、観覧環境、来館者サービスの向上に努めてまいります。

内藤礼　生まれておいで　生きておいで

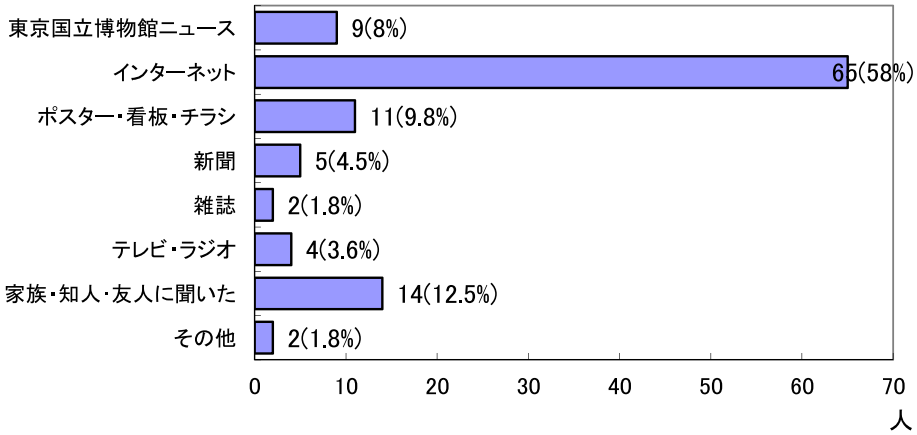
アンケート集計結果

令和６年６月２５日（火）～９月２３日（月・休）（７９日間）
総入館者数：４３，７８０人
回答者数：９８人

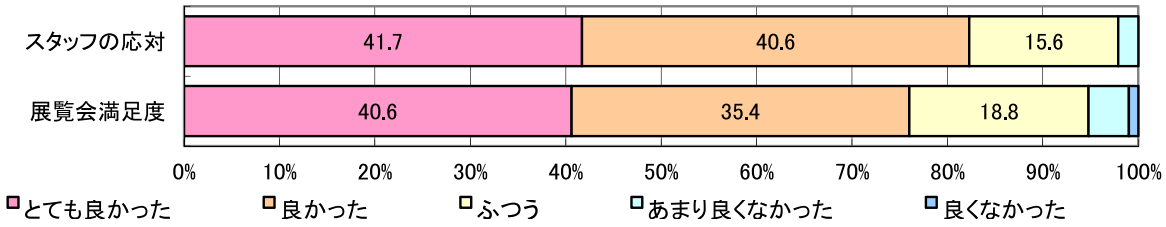
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想
・展示空間が他の特別展とは雰囲気が異なっていてよかった
・普段は入れない特別5室に入ることができてよかった
・順路が少し分かりにくかった
・第三会場が調整中だったのが惜しまれた

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
スタッフの応対	2.1	0.0
展覧会の満足度	4.2	1.0

（%）

「内藤礼　生まれておいで　生きておいで」は、現代美術家・内藤礼が当館所蔵品との出会いから構想した特別企画です。

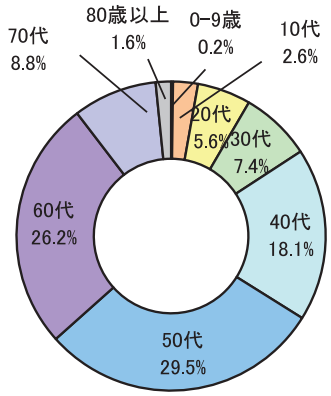
アンケートの回答では、現代作家の作品を扱った珍しさや新鮮さ、総合文化展や普段当館で開催される特別展とは様相の異なる静謐かつ広がりを感じる展示空間に対するコメントを多く頂きました。
また、平成館企画展示室から観覧をスタートし本館の２会場を観覧した後に、再び平成館会場に戻る形での鑑賞順については、間に徒歩移動をはさむ点からも、「わかりにくい」というご意見を頂いていました。このようなご意見を受け、会期後半からは順路表示を増やす等の対応を行ったことで、鑑賞順のわかり難さへの改善を図りました。
なお、第三会場の「母型」については、本館・総合文化展15-16室間のスペースで往来がある中の展示であったため、アンケート実施当日に限らず同作品は何度か調整中とする場面がありました。床面に近い位置で、非常に繊細な作品を露出展示した事例として、今後の参考といたします。

今回のアンケートの結果も踏まえ、引き続き、よりよい観覧環境の提供へ検討を重ねてまいります。

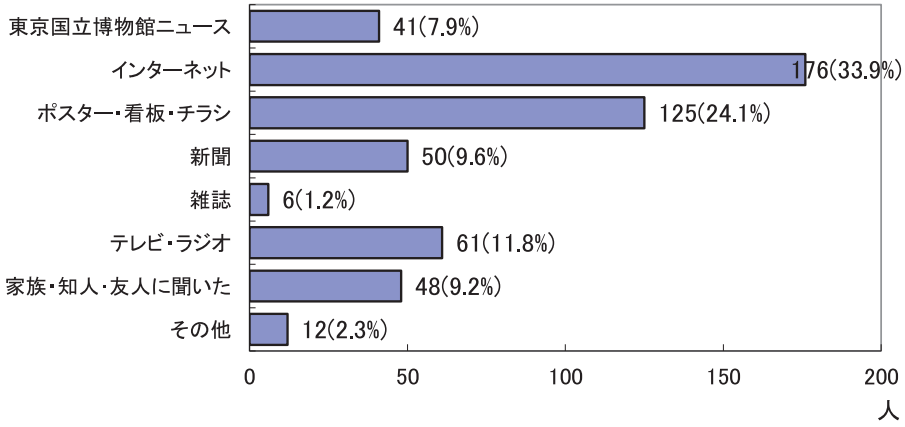
創建1200年記念特別展「神護寺―空海と真言密教のはじまり」
アンケート集計結果

令和６年７月１７日（水）～９月８日（日）（４７日間）
総入館者数 ： １８１，７６３人
回答者数 ： ４３２人

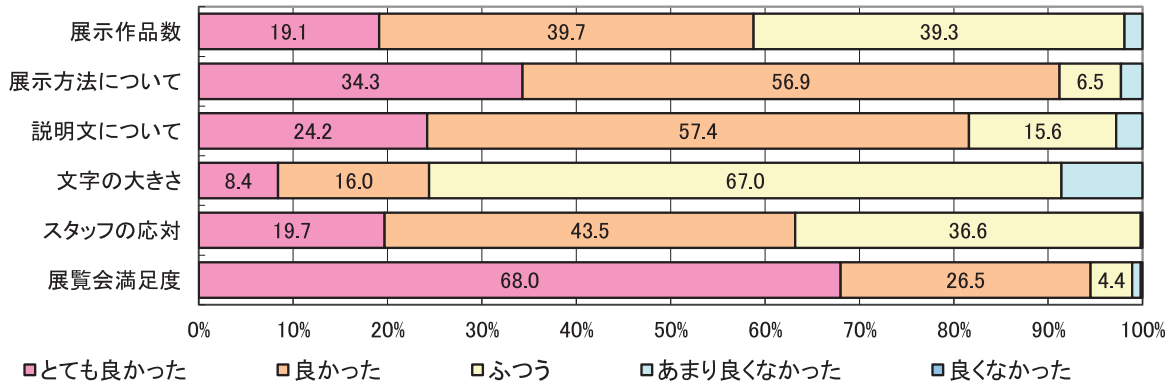
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想
- ▸最後の展示室の薬師如来立像を360度から見られる展示がよかった
- ▸五大虚空蔵菩薩坐像・十二神将立像のライティングがとてもよかった
- ▸曼荼羅のような細かい作品を映像で拡大して見られるのがよかった
- ▸人は多かったが見やすかった
- ▸神護寺に行きたくなった
- ▸展示室内が寒かった

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品数	1.9	0.0
展示方法	2.3	0.0
説明文	2.8	0.0
文字サイズ	8.6	0.0
スタッフの応対	0.2	0.0
展覧会の満足度	0.9	0.2

（%）

本展は、神護寺の開山1200年を記念し開催された特別展です。会期中、連日の猛暑や悪天候による臨時休館もあったにもかかわらず、18万人超のお客様にご来場いただきました。

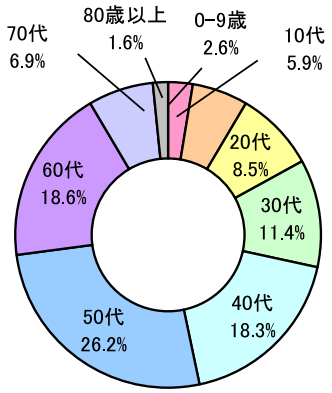
ご覧になったお客様からは、「本尊の薬師如来立像が見られて良かった」「混雑している割に見やすかった」など展示構成全般において好評をいただいたほか、最終展示室での仏像展示におけるライティング・影の美しさには特に多くのご感想が寄せられました。
「映像で解説する高雄曼荼羅」のコーナーにおいては、わかりやすい解説に努め、作品の理解に役立ったとの声を頂きました。全体的に見やすい展示であったなど、展覧会全般に対する好意的なご感想が多く寄せられ、94%の高い満足度をいただく結果となりました。

今回のアンケート結果を参考に、引き続き、観覧環境、来館者サービスの向上に努めてまいります。

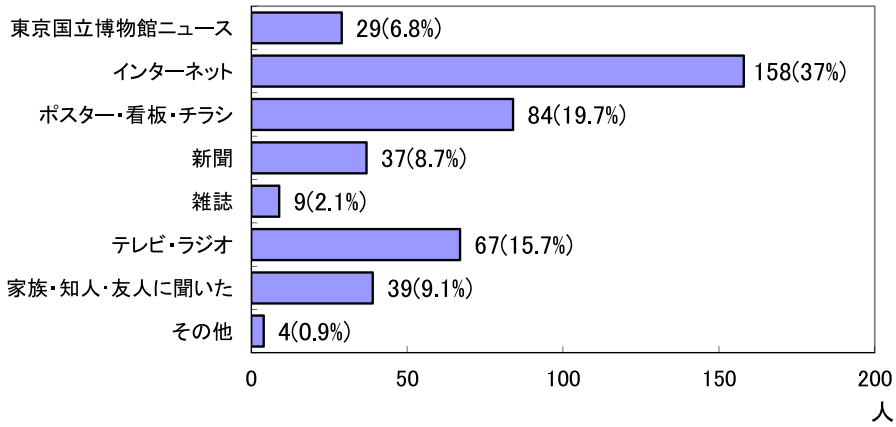
挂甲の武人　国宝指定50周年記念　特別展「はにわ」
アンケート集計結果

令和６年１０月１６日（水）～１２月８日（日）（４８日間）
総入館者数：３３９，７１２人
回答者数：３０６人

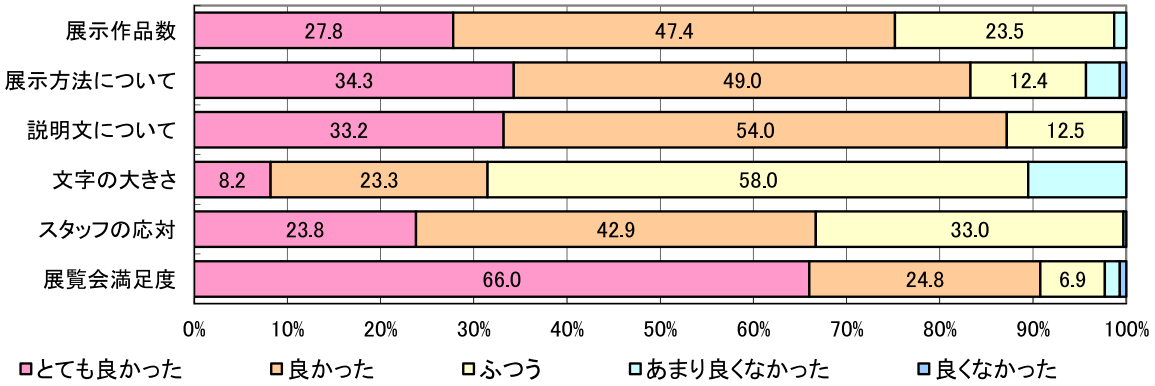
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想
・混んでいたが数も種類も沢山の埴輪が見られて充実感があった
・360度から見られる展示が多くよかった
・挂甲の武人5体が一堂に会した展示室がよかった
・さまざまな種類の埴輪を見られて埴輪のイメージが覆された
・撮影可能な作品が多いのはよかったが、撮影者のマナーや混雑、見やすさへの影響が気になった。撮影可能な日や時間帯を分けてほしい。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品数	1.3	0.0
展示方法	3.6	0.7
説明文	0.3	0.0
文字サイズ	10.5	0.0
スタッフの応対	0.3	0.0
展覧会の満足度	1.6	0.7

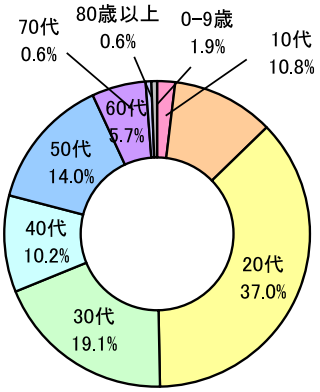
（%）

本展は、挂甲の武人の国宝指定50年を記念し、全国から約120件のよりすぐりの埴輪を集結させた特別展です。
本展では、埴輪を360度から観賞できる展示が多かった点が非常に好評でした。特に、挂甲の武人5体が集合した展示室については、ゆったりとした空間設計もあり、「他の展示室以上に見やすかった」というご感想をいただきました。
また、「地元の埴輪が沢山の人に見られて誇らしい」といったご感想や、人形だけでなく動物、形象埴輪など多種多様な埴輪、彩色復元された展示があったことにより「今までの埴輪のイメージが覆された」「復元についてもっと知りたくなった」といったご感想もいただきました。
一方で、一部の作品を除き撮影可能であったことから、混雑した会場でのシャッター音や動線の確保などについて、複数のご意見をいただきました。
今回のアンケート結果も参考に、引き続きよりよい観覧環境・来館者サービスの提供に努めてまいります。

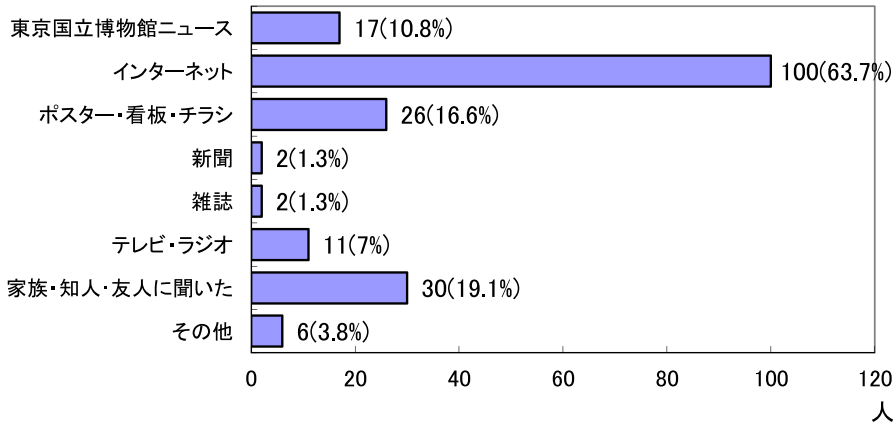
Hello Kitty展―わたしが変わるとキティも変わる―
アンケート集計結果

令和６年１１月１日（金）～令和７年２月２４日（月祝）（９４日間）
総入館者数：３４４，０９６人
回答者数：１５７人

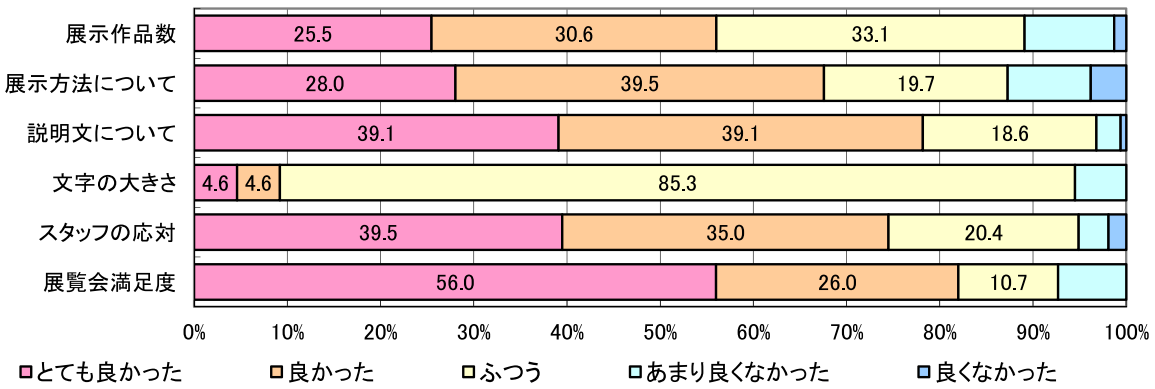
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

・幼少期に使っていたグッズや、見たことのなかったものを見られて楽しかった。
・映像展示が良かった。
・混雑していて見にくかった。
・グッズが売り切れていて残念だった。
・また企画してほしい。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品数	9.6	1.3
展示方法	8.9	3.8
説明文	2.6	0.6
文字サイズ	5.5	0.0
スタッフの応対	3.2	1.9
展覧会の満足度	7.3	0.0

（%）

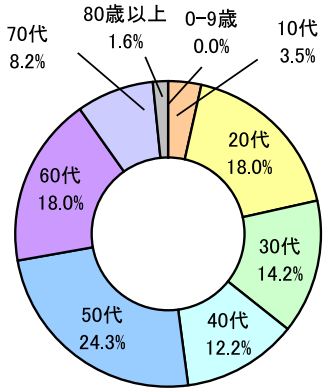
本展は、ハローキティ50周年を記念して、史上最大量のグッズ展示をはじめ、個性あふれるアーティストとのコラボ作品、オリジナル映像コンテンツなど 様々なコーナーでそのユニークさを紐解く展覧会です。
本展では、「懐かしいキティちゃんが見られてよかった」「見たことのなかったものを見られて楽しかった」といったご感想が多く寄せられました。
一方で、会場内の混雑や、品切れのグッズが多かったことについてのご意見も複数いただきました。
今回のアンケート結果も参考に、引き続きよりよい観覧環境・来館者サービスの提供に努めてまいります。

開創1150年記念 特別展「旧嵯峨御所 大覚寺―百花繚乱 御所ゆかりの絵画―」

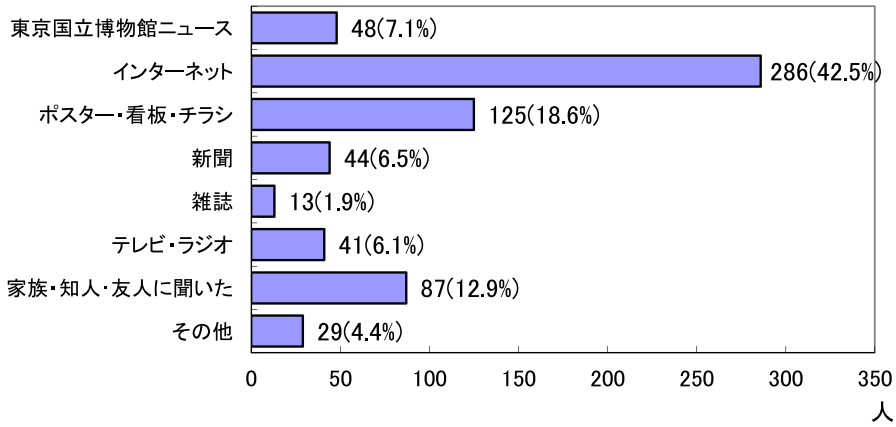
アンケート集計結果

令和７年１月１５日（水）～３月１６日（日）（４９日間）
総入館者数 ： １９０，７５４人
回答者数：５７４人

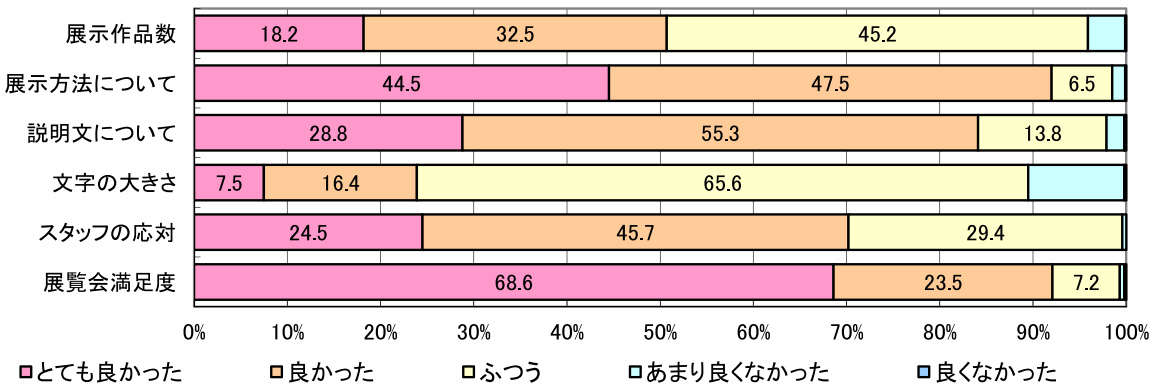
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

・障壁画の部屋が臨場感があり圧巻だった。イスに座って眺められたのも良かった。
・スペースに余裕がありゆったり見ることができた。
・仏像、刀剣、障壁画のいずれも配置や照明などが見やすかった。
・御冠の間の再現がよかった。
・音声ガイドもとてもよかった。
・会場内の写真撮影ルールがわかり難かった。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品数	4.0	0.1
展示方法	1.4	0.1
説明文	1.9	0.2
文字サイズ	10.3	0.2
スタッフの応対	0.4	0.0
展覧会の満足度	0.5	0.2

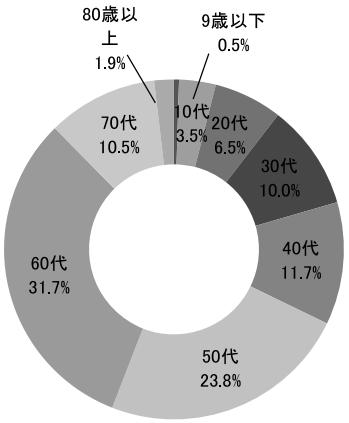
（%）

本展は、京都嵯峨の大覚寺が開創1150年を迎えるのに先立ち、優れた寺宝の数々を東京国立博物館で一挙にご紹介する特別展です。
障壁画や五大明王像など非常に貴重な作品が出展し、また仏像や刀剣に関しては普段は見られない方向からの観覧も可能だったため、多くの方から印象に残ったとのご感想をいただきました。
加えて、特に牡丹図、野兎図をはじめとした障壁画については、第4章での展示室の壁面・空間全体を使った展示方法により、臨場感を味わいつつ各作品をゆったり、じっくりと観覧できたことで、作品の持つ美しさがより伝わったと思われます。
また、「御冠の間」再現についても「わかりやすくて良かった」とのご感想があったほか、音声ガイドも聞き取りやすく観覧のよい助けとなったようです。
アンケート実施当日も多数の来館者が来場されましたが、第4章をはじめ混雑を感じにくい会場設計の工夫もあって、全体的な満足感に繋がり、本展全体として92%の方から「とても良かった」「良かった」と大変高い評価をいただきました。
一方で、「解説については仏像や背景知識の補足的な内容があるとより良い」というご意見や、写真撮影ルールに対するご意見もいただきました。
この度のアンケート結果も参考に、引き続きよりよい観覧環境・来館者サービスの提供に努めてまいります。

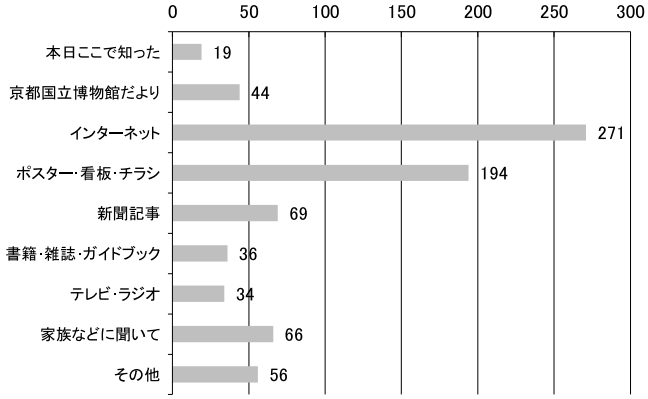
特別展「雪舟伝説―「画聖（カリスマ）」の誕生―」アンケート集計結果

開催期間：令和6年4月13日（土）～令和6年5月26日（日）　開館日数：39日間
回答者数：461人
来館者数：98,854人
アンケート回収率：0.5%

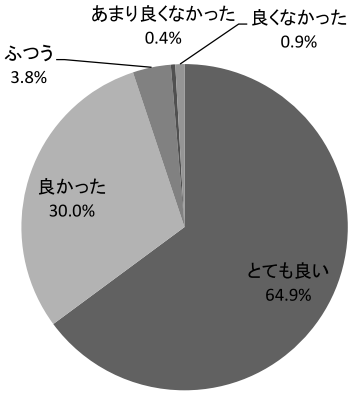
①年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



アンケート結果の上位合計
（とても良かった+良かった）
94.9%

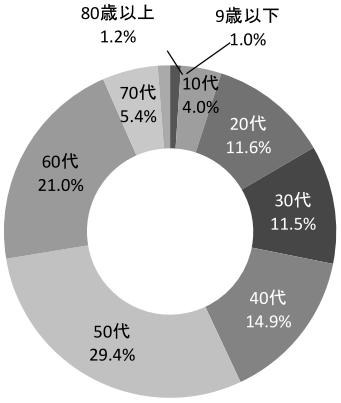
主な意見・感想

・雪舟が後世に与えた影響を知ることができた
・参考元の作品を近くに展示してほしかった
・音声ガイドを楽しめた
・順路が少しわかりにくかった
・ワークショップが楽しかった

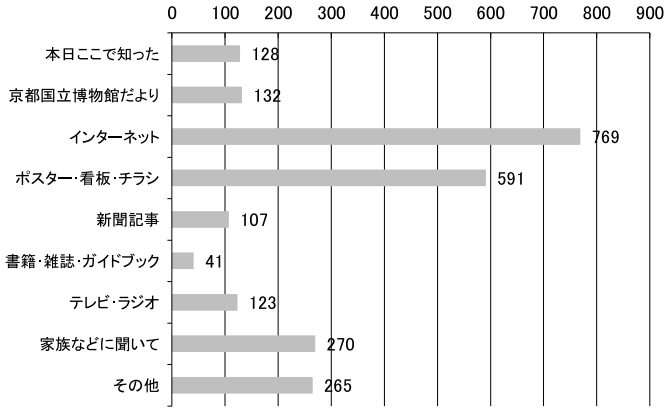
特別展「法然と極楽浄土」
アンケート集計結果

開催期間：令和6年10月8日（火）～令和6年12月1日（日）　開館日数：48日間
回答者数：1,467人
来館者数：87,546人
アンケート回収率：1.7%

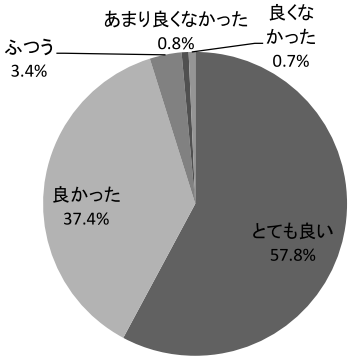
①年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



アンケート結果の上位合計
（とても良かった+良かった）
95.3%

主な意見・感想

・撮影コーナーがあってよかった
・ニコニコ美術館がとても事前勉強になりました
・絵巻の内容をもっと詳しく解説してほしい
・ワークショップが楽しかった

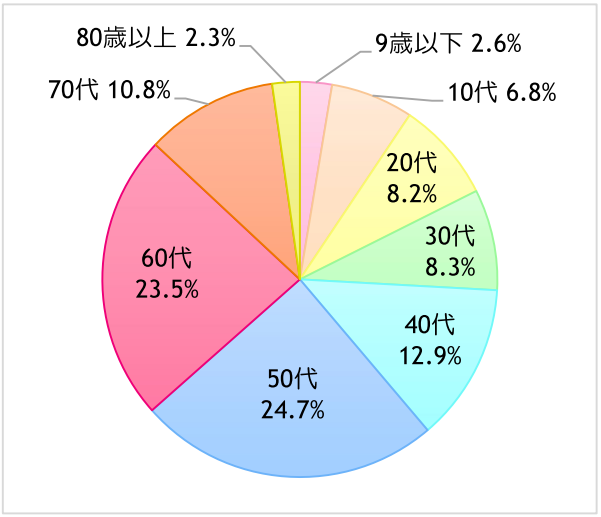
生誕1250年記念特別展「空海　KŪKAI―密教のルーツとマンダラ世界」

アンケート集計結果

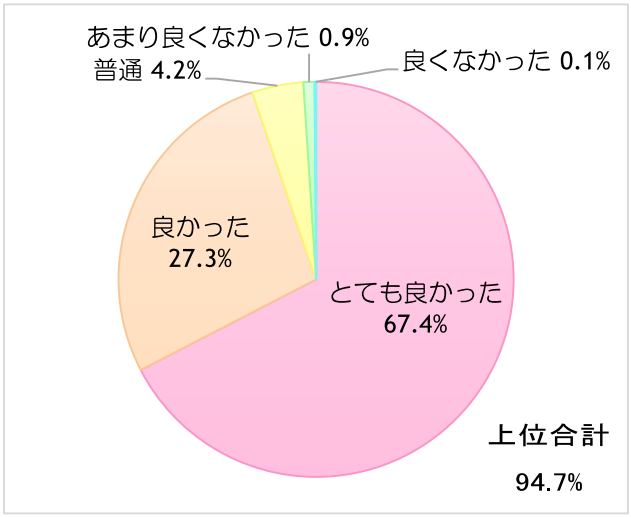
開催期間：令和6年4月13日（土）～令和6年6月9日（日）（51日間）

回答者数：1,660人　入場者数：190,671人　回収率：0.87%

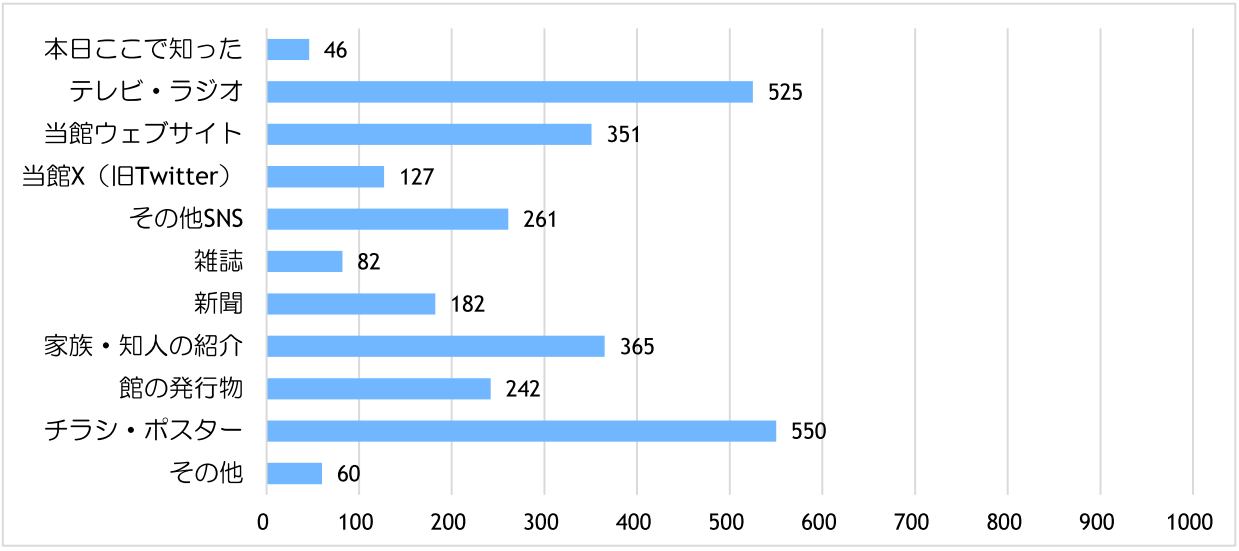
①年齢層



②展示に関する満足度



③認知経路（複数回答あり）



④主な意見・感想

- 展示が充実していてすばらしい展覧会だった
- 鑑賞ワークシートがわかりやすかった
- とても展示内容が分かりやすくて空海に関する理解が深まった
- 多くの寺や博物館所蔵のものが一度に見られて壮観だった
- 音声ガイドがよかった
- ″ざんまいず”の解説が分かりやすくて良かった
- 解説キャプションの字をもう少し大きくしてほしい

「第76回正倉院展」

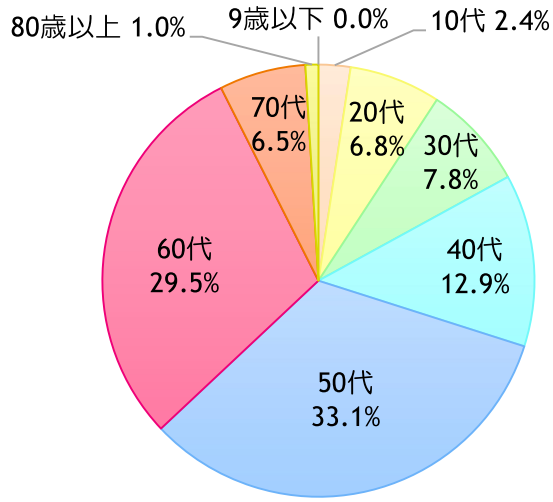
アンケート集計結果

開催期間：令和6年10月26日（土）～令和6年11月11日（月）（17日間）

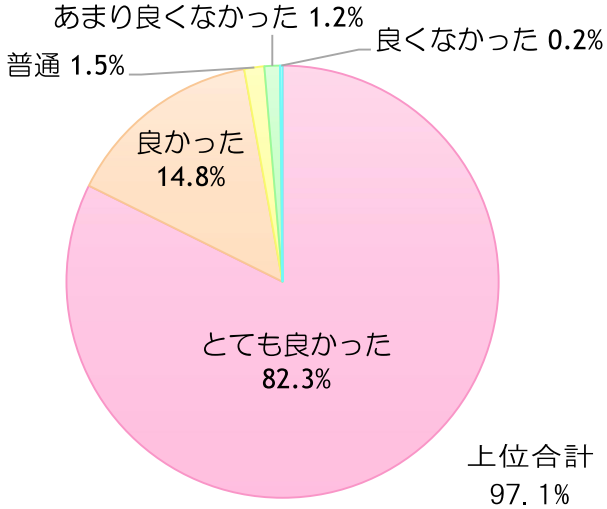
回答者数：1,127人　入場者数：128,847人　回収率：0.87%

（日本語：1,125人／英語：2人）

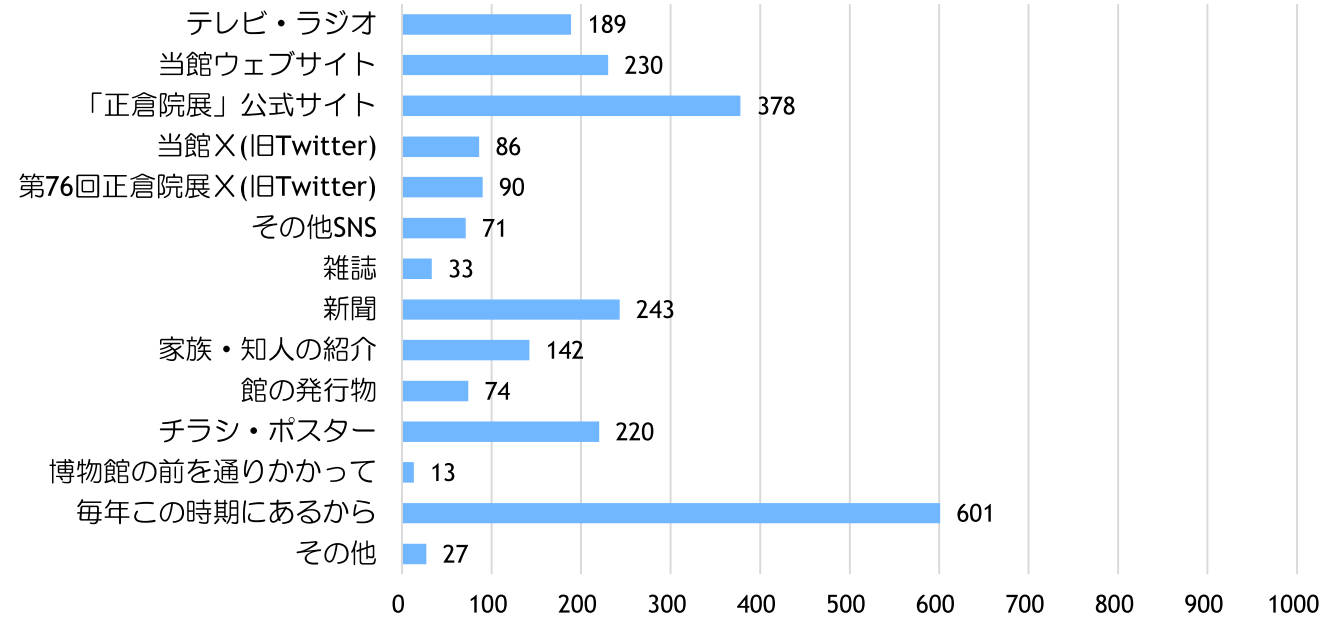
①年齢層



②展示に関する満足度



③認知経路（複数回答あり）



④主な意見・感想

- 音声ガイドの解説が分かりやすくて良かったです
- 貴重な素晴らしい宝物がたくさん見られ、とても有意義でした
- 再現模造の展示は、本物の素晴らしさがより貴重なものであると再認識でき深く鑑賞できました
- 展示物が例年より少なかったように感じました
- 展示ケースが高くて見づらいです
- グッズは可愛いものや普段使いできるものも多く良かったです
- 会期中はグッズの売り切れがないようにして欲しいです
- 日時指定制なのに混雑しているのでもう少し対策をして欲しいです